

---

# JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 8.11 SP1 PeopleBook

---

2005 年 8 月

JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 8.11 SP1 PeopleBook  
SKU E1\_APPS811SP1ASO-B JPN  
Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、知的財産が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。また、当社は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式、手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複写、複製、または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

## U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Retek は米国 Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

## オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたはドキュメンテーションの使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

この製品には、Apache Software Foundation 社 (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも暗示的にも、一切の保証はありません。Apache Software Foundation 社およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Apache Software Foundation 社は一切責任を負いません。

# 目次

## はじめに

この PeopleBook について .....	xxix
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xxix
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎.....	xxix
印刷・製本されたドキュメンテーションの入手.....	xxx
印刷・製本されたドキュメンテーションの注文.....	xxx
追加情報.....	xxxi
表記規則.....	xxxi
表記規則.....	xxxi
注意事項の表示.....	xxxi
国、地域、業種の表記.....	xxxi
通貨コード.....	xxxi
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xxxi
全ての PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxxi

## まえがき

JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 – まえがき.....	xxxi
対象の製品.....	xxxi
アプリケーションの基礎.....	xxxi
『JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 8.11 SP1 PeopleBook』で使用する共通フィールド.....	xi

## 第 1 章

JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 – はじめに.....	1
受注管理の概要.....	1
受注管理のビジネス プロセス.....	2
受注管理の統合.....	2
(Rapid Start) Sales Order Management Business Processes.....	4
受注管理の導入.....	18
グローバル導入ステップ.....	18
受注管理の導入ステップ.....	18

**第 2 章**

<b>受注管理システムの設定</b>	<b>21</b>
受注管理のシステム構成について	21
UDC の設定	22
固定情報の設定	24
受注管理の固定情報について	24
事前設定	25
固定情報の設定に使用するフォーム	26
事業所固定情報の設定	26
品目引当可能数量の設定	30
システム固定情報の設定	31
バッチ制御固定情報の設定	33
保管場所フォーマットの設定	34
事業所内保管場所の設定	35
AAI の設定	36
受注管理の AAI について	36
受注管理の AAI の設定に使用するフォーム	39
受注管理の AAI の設定	39
オーダー行タイプの設定	39
オーダー行タイプについて	40
オーダー行タイプの設定に使用するフォーム	40
オーダー行タイプの設定	41
オーダー処理順序定義の設定	43
オーダー処理順序定義について	43
事前設定	44
オーダー処理順序定義の設定に使用するフォーム	44
オーダー処理順序定義の設定	44

**第 3 章**

<b>オーダー処理情報の設定</b>	<b>47</b>
オーダー処理情報について	47
レコード予約について	48
コミッション情報の設定	49
コミッション固定情報について	49
コミッション情報について	49
コミッション割当について	50
事前設定	51
コミッション情報の設定に使用するフォーム	52
コミッション固定情報の設定	52



販売グループの設定.....	53
事業所間の原価割増しの設定.....	54
事業所間の原価割増しについて.....	55
事業所間の原価割増しの設定に使用するフォーム.....	55
事業所間の原価割増しの設定.....	55
任意勘定科目設定コードの定義.....	56
任意勘定科目設定コードについて.....	56
事前設定.....	59
任意勘定科目コードの定義に使用するフォーム.....	60
任意勘定科目コードの設定.....	60
オーダー テンプレートの設定.....	60
オーダー テンプレートについて.....	61
事前設定.....	61
オーダー テンプレートの作成に使用するフォーム.....	62
標準テンプレートの作成.....	62
システム生成テンプレートの作成.....	62
顧客履歴テンプレートの再作成プログラム (P42815) の処理オプションの設定.....	62
顧客テンプレートの改訂プログラム (P4015) の処理オプションの設定.....	63
オーダー保留情報の設定.....	64
オーダー保留情報について.....	64
オーダーへの保留コードの割当について.....	67
顧客請求指示への保留コードの割当について.....	67
オーダー保留コードの設定に使用するフォーム.....	68
オーダー保留コードの設定.....	68
受注管理システムのセルフサービス情報の設定.....	69
顧客および仕入先に対するセルフサービス設定について.....	69
セキュリティ問題について.....	70
カスタマー セルフサービスの処理オプションについて.....	70
セルフサービス オーダー入力の製品階層設定について.....	71
事前設定.....	71
製品階層の設定に使用するフォーム.....	71
製品階層の設定.....	71
品目階層プログラム (P4101H) の処理オプションの設定.....	72

## 第 4 章

顧客関連情報の設定.....	73
顧客関連情報について.....	73
関連住所の設定.....	74
関連住所について.....	74

事前設定.....	75
関連住所の設定に使用するフォーム.....	75
関連住所の設定.....	75
請求先住所の定義.....	77
デフォルト住所タイプの定義.....	78
顧客請求指示の設定.....	78
顧客請求指示について.....	79
事前設定.....	79
顧客請求指示の設定に使用するフォーム.....	80
顧客請求情報の設定.....	80
運賃および配送情報の入力.....	82
品目制約の入力.....	83
コミッション情報の入力.....	83
与信情報の入力.....	84
顧客限度額の換算.....	84
顧客限度額の通貨換算について.....	85
住所録換算 – F03012 プログラム (R8903012E) の実行.....	86
処理オプション: 住所録換算 – F03012 (R8903012E) の設定.....	86
日付基準顧客セットの設定.....	87
日付基準顧客セットについて.....	87
事前設定.....	87
日付基準顧客セットの設定に使用するフォーム.....	87
日付基準顧客セットの設定.....	87
 <b>第 5 章</b>	
UCC 128 準拠の設定.....	91
UCC 128 準拠について.....	91
UCC ID コードについて.....	92
バーコード ラベルについて.....	94
階層構成の設定.....	95
階層構成について.....	95
階層構成の設定に使用するフォーム.....	97
階層構成の設定.....	97
出荷情報の設定.....	99
出荷ラベルについて.....	99
出荷情報の設定に使用するフォーム.....	101
出荷情報の設定.....	101
UCC 128 における品目情報の設定.....	102
UCC 128 における品目情報について.....	102

事前設定.....	102
UCC 128 における品目情報の設定に使用するフォーム.....	103
UCC 128 における品目情報の設定.....	103

## 第 6 章

<b>基本価格設定および標準価格設定の設定.....</b>	<b>105</b>
価格設定について.....	105
基本価格構造の設定.....	107
基本価格構造について.....	107
事前設定.....	109
基本価格構造グループの設定に使用するフォーム.....	110
顧客価格設定グループへの顧客の割当て.....	110
品目価格設定グループへの品目の割当て.....	111
価格階層の設定.....	111
基本価格の設定.....	111
基本価格について.....	111
事前設定.....	112
基本価格の設定に使用するフォーム.....	113
基本価格の設定.....	113
複合価格グループの設定.....	115
複合価格グループについて.....	115
事前設定.....	116
複合価格グループの設定に使用するフォーム.....	117
複合価格グループの設定.....	117
顧客の価格グループへの割当て.....	118
複合品目グループの設定.....	118
品目グループへの品目の割当て.....	118
価格グループ関係の生成.....	119
標準価格調整の設定.....	119
標準価格調整について.....	119
事前設定.....	120
標準価格調整の設定に使用するフォーム.....	121
標準価格調整の設定.....	121
在庫価格設定規則の設定.....	123
顧客および顧客グループへの価格設定規則の割当て.....	123
取引値引の設定.....	124

## 第 7 章

受注オーダーの入力.....	125
受注オーダー入力について.....	125
事前設定.....	127
受注オーダー見出しおよび明細情報の入力.....	127
受注オーダー見出し情報について.....	128
受注オーダー明細情報について.....	129
受注オーダー入力時におけるワークフロー処理について.....	132
サブシステム処理の有効化について.....	132
事前設定.....	133
受注オーダー情報の入力に使用するフォーム.....	133
受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション.....	135
受注オーダー見出し情報の入力.....	163
受注オーダー品目情報の入力.....	165
デフォルト行情報の入力.....	168
クロスドッキング情報の入力.....	169
受注オーダー情報の更新とコピー.....	169
明細フォームに対して見出し情報を更新する処理について.....	170
受注オーダーのコピーについて.....	170
事前設定.....	170
受注オーダーの更新とコピーに使用するフォーム.....	171
見出し情報の更新.....	171
受注オーダーのコピー.....	171
テンプレートを使用した受注オーダーの入力.....	171
テンプレートを使用したオーダー処理について.....	171
事前設定.....	172
テンプレートを使用した受注オーダー入力に使用するフォーム.....	172
テンプレートを使用した受注オーダーの入力.....	172
代替品目、関連品目または販促品の入力.....	173
代替品目、関連品目または販促品について.....	173
事前設定.....	174
代替品目、関連品目または販促品の入力に使用するフォーム.....	174
代替品目、関連品目または販促品の入力.....	174
扱い高基準のアップセルの通知の有効化.....	175
扱い高基準のアップセルについて.....	175
事前設定.....	176
扱い高基準のアップセル価格の作成に使用されるフォーム.....	176
扱い高基準のアップセル価格の作成.....	176
受注オーダー入力の納期回答.....	176
納期回答について.....	177

約束納入日付の選択に使用するフォーム.....	179
約束納入日付の選択.....	179
監査ログ生成と承認プロセス.....	179
監査ログについて.....	179
承認プロセスについて.....	180
事前設定.....	181
監査ログの検討に使用するフォーム.....	181
キット品目およびコンフィギュレーション品目のオーダー入力.....	181
キット品目およびコンフィギュレーション品目について.....	181
キット オーダー入力について.....	183
事前設定.....	184
キット オーダーの入力に使用するフォーム.....	184
キット オーダーの入力.....	184
(Rapid Start AUS and NZL) Entering Order Detail.....	185
Entering Order Detail.....	185
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Entry – ST Order Type (P4210).....	185
(Rapid Start AUS and NZL) Performing Customer Service Inquiry.....	193
Performing Customer Service Inquiry.....	193
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).....	194
(Rapid Start CAN and USA) Entering Sales Order for Equipment.....	201
Entering Sales Order for Equipment.....	202
Preconfigured Processing Options for Canada and United States Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).....	202
(Rapid Start) Entering Direct Sales Order for Selling a Direct Ship Item.....	210
Entering Direct Sales Order for Selling a Direct Ship Item.....	210
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).....	211
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SD Order Type (P4210).....	219
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling a Make-To-Order Item.....	227
Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling a Make-To-Order Item.....	227
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).....	228
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling from Inventory.....	236
Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling from Inventory.....	236
定期受注オーダーの処理.....	237
定期受注オーダーについて.....	238
定期受注オーダーの入力に使用するフォーム.....	238
定期オーダー (P4004Z) の処理オプションの設定.....	238
定期受注オーダーの入力.....	240

定期オーダーの処理.....	240
[編集済み定期オーダー作成] (R40211Z) の処理オプションの設定.....	240
マトリックス品目の受注オーダー入力.....	241
マトリックス品目の受注オーダー入力について.....	242
事前設定.....	242
マトリックス品目の受注オーダー入力に使用するフォーム.....	242
マトリックス品目の受注オーダー入力.....	242
(BRA) Entering Additional Sales Order Information for Brazil.....	243
Understanding Additional Sales Order Information.....	243
Prerequisites.....	243
Forms Used to Enter Additional Information for Brazilian Sales Orders.....	244
Setting Processing Options for Sales Order Brazilian Additional Information – Brazil (P4210BR).....	244
Entering Additional Information for Brazilian Sales Orders.....	245
(ARG) Entering Sales Orders for Argentina.....	246
Understanding Sales Order Entry for Argentina.....	246
Prerequisites.....	246
Forms Used to Enter Sales Orders for Argentina.....	247
Setting Processing Options for PO Sales Order Entry (P76A4210).....	247
Entering Sales Orders for Argentina.....	247
(RUS) Entering Sales Orders for Russia.....	248
Understanding Sales Order Entry.....	248
Setting Processing Options for Sales Order – PO (P7424210).....	248

## 第 8 章

カスタマ サービス担当者用の受注オーダーの入力.....	251
カスタマ サービス担当者用の受注オーダー入力について.....	251
事前設定.....	252
カスタマ サービス担当者用に受注オーダー見出しと明細情報を入力する.....	253
受注オーダー見出し情報について.....	253
受注オーダー明細情報について.....	253
受注オーダー入力時のワークフロー プロセスについて.....	253
受注オーダー情報の入力に使用するフォーム.....	254
受注オーダー入力 (P42101) の処理オプションの設定.....	254
受注オーダー見出し情報の入力.....	258
デフォルト行情報の入力.....	259
受注オーダー品目情報の入力.....	260
カスタマ サービス担当者用の受注オーダーのコピー.....	261
受注オーダーのコピーについて.....	261
受注オーダーのコピー.....	261

テンプレートによるカスタマ サービス担当者用の受注オーダーの入力.....	262
オーダー処理でのテンプレートの使用について.....	262
テンプレートによる受注オーダーの入力に使用するフォーム.....	262
テンプレートによる受注オーダーの入力.....	262
カスタマ サービス担当者への代替品目、関連品目、販促品の入力.....	262
代替品目、関連品目、および販促品について.....	262
代替品目、関連品目、または販促品の入力に使用するフォーム.....	263
代替品目、関連品目、または販促品の入力.....	263
カスタマ サービス担当者への扱い高基準のアップセルに関する通知の有効化.....	263
扱い高基準アップセルについて.....	263
扱い高基準のアップセル価格の作成に使用するフォーム.....	264
扱い高アップセル価格の作成.....	264
カスタマ サービス担当者に対する受注入力オーダーのサブシステム処理の有効化.....	264
カスタマ サービス担当者に対する受注オーダー入力のサブシステム処理の有効化について.....	264
カスタマ サービス担当者の受注オーダー入力での納期回答.....	264
納期回答について.....	264
約束納入日付の選択に使用するフォーム.....	265
約束納入日付の選択.....	265
カスタマ サービス担当者の監査ログと承認状況の生成.....	265
監査ログについて.....	265
監査ログの検討に使用するフォーム.....	265
監査ログの検討.....	265
カスタマ サービス担当者用のキットおよびコンフィギュレーション品目のオーダーの入力.....	266
キットおよびコンフィギュレーション品目について.....	266
キット オーダーの入力に使用するフォーム.....	266
キット オーダーの入力.....	266

## 第 9 章

<b>追加オーダーの入力.....</b>	<b>267</b>
追加オーダー入力について.....	267
返品オーダーの入力.....	268
返品オーダーについて.....	268
事前設定.....	269
履歴からの返品オーダー生成に使用するフォーム.....	269
販売履歴照会 (P42025) の処理オプションの設定.....	269
履歴からの返品オーダーの入力.....	270
(Rapid Start) Entering Credit Orders from History.....	271
Entering a Credit Order from History for Customer Credit with Return.....	272
Entering a Credit Order from History for Customer Credit Without Return.....	272

Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – CO Order Type (P4210).....	273
(CHL) Processing Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.....	281
Understanding Credit and Debit Notes for Chile.....	281
Prerequisites.....	282
Forms Used to Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.....	283
Setting Processing Options for Enter Credit Notes and Debit Notes Related to Documents (P76H4210).....	283
Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.....	283
(PER) Processing Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.....	284
Understanding Credit and Debit Notes for Peru.....	284
Prerequisites.....	284
Forms Used to Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.....	284
Setting Processing Options for Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents (P76H4210).....	285
Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.....	285
転送オーダーの入力.....	285
転送オーダーについて.....	285
事前設定.....	286
転送オーダーの入力に使用するフォーム.....	286
転送オーダーの入力.....	286
(Rapid Start CAN and USA) Entering Transfer Orders with Receipt Routing.....	287
Entering a Transfer Order with Receipt Routing.....	287
Preconfigured Processing Options for Canada and United States Sales Order Entry – ST Order Type (P4210).....	288
直送オーダーの入力.....	296
直送オーダーについて.....	296
関連する受注オーダーと購買オーダーの整合性の維持.....	297
事前設定.....	298
直送オーダーの入力に使用するフォーム.....	299
直送オーダーの入力.....	299
一括オーダーの入力.....	300
一括オーダーについて.....	300
事前設定.....	301
一括オーダーの入力に使用するフォーム.....	301
一括オーダーの入力.....	301
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Blanket Orders for Selling a Make-To-Order Item....	302
Entering Blanket Order for Selling a Make-To-Order Item.....	302
(Rapid Start) Entering and Printing Blanket Orders.....	303
Entering and Printing Blanket Order for Selling a Direct Ship Item.....	303
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SB Order Type (P4210).....	304



Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Blanket Order (R42565).....	311
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Blanket Order for Selling from Inventory.....	315
見積オーダーの入力.....	316
見積オーダーについて.....	316
事前設定.....	316
見積オーダーの入力に使用するフォーム.....	317
見積オーダーの入力.....	317
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item.....	317
Entering Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item.....	317
(Rapid Start) Entering and Printing Sales Quotes.....	318
Entering and Printing a Sales Quote for Selling a Direct Ship Item.....	319
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210).....	319
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Quote Order (R42565).....	327
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Quote Order (R42565).....	330
Entering and Printing a Sales Quote for Selling from Inventory.....	334
顧客セグメント ベース販売の入力.....	335
顧客セグメント ベース販売について.....	335
事前設定.....	336
顧客セグメント ベース販売の入力に使用するフォーム.....	337
購買セグメントコードの顧客への割り当て.....	337
顧客セグメント品目の処理オプションの設定.....	337
顧客セグメント品目の受注オーダーへの追加.....	338
顧客セグメントコードの更新プログラムの実行.....	338
購買セグメントコードの更新 (R42442) の処理オプションの設定.....	338
顧客セグメント品目の作成プログラムの実行.....	338
顧客セグメント品目の作成 (P42441) の処理オプションの設定.....	338
事業所間オーダーの入力.....	339
事業所間オーダーについて.....	339
事業所間オーダーのデフォルト情報について.....	340
事業所間オーダー入力について.....	341
事前設定.....	341
事業所間オーダーの入力に使用するフォーム.....	342
事業所間オーダーの入力.....	342
 <b>第 10 章</b>	
<b>オーダーの保留、リリース、および検討.....</b>	<b>343</b>
オーダーの保留とリリースについて.....	343
事前設定.....	344

オーダーの保留.....	344
オーダーの保留について.....	344
与信保留のバッチ処理プログラム (R42542) の処理オプションの設定.....	344
保留オーダーのリリース.....	345
オーダーのリリースについて.....	346
事前設定.....	346
保留オーダーのリリースに使用するフォーム.....	347
保留リリース (P43070) の処理オプションの設定.....	347
保留オーダーのリリース.....	349
与信保留のバッチ リリース.....	349
与信保留のバッチ リリース (R42550) の処理オプションの設定.....	349
(Rapid Start) Releasing Order Hold for Selling a Direct Ship Item.....	350
Releasing Order Hold for Selling a Direct Ship Item.....	351
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Held Order Release – Sales (P43070).....	351
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Order Hold for Selling a Make-To-Order Item.....	353
Releasing Order Hold for Selling a Make-To-Order Item.....	353
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Order Hold for Selling from Inventory.....	354
Releasing Order Hold for Selling from Inventory.....	355
バックオーダーのリリース.....	356
バックオーダー リリースについて.....	356
バックオーダーのオンライン リリースに使用するフォーム.....	357
バックオーダー リリース (オンライン) (P42117) の処理オプションの設定.....	357
バックオーダーのオンライン リリース.....	361
バックオーダーのバッチ リリース.....	361
バックオーダー リリース/レポート (R42118) の処理オプション.....	361
(Rapid Start CAN, FRA, GBR and USA) Releasing Backorders Online for Selling from Inventory.....	365
Releasing Backorders Online for Selling from Inventory.....	365
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Release Backorders (P42117).....	366
一括オーダー リリース.....	367
一括オーダー リリースについて.....	368
一括オーダーのリリースに使用するフォーム.....	369
受注一括オーダー リリース (P420111) の処理オプションの設定.....	369
一括オーダーのリリース.....	370
見積オーダーのリリース.....	370
見積オーダー リリースについて.....	370
見積オーダーのリリースに使用するフォーム.....	371
見積オーダーのリリース.....	371
(Rapid Start) Releasing Sales Quote for Selling a Direct Ship Item.....	372
Releasing Sales Quote for Selling a Direct Ship Item.....	372
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Release – Quote Order (P420111).....	372

(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item.....	373
Releasing Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item.....	373
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Sales Quote for Selling from Inventory.....	374
Releasing Sales Quote for Selling from Inventory.....	375
品目情報の検討.....	376
受注オーダーの複写について.....	376
事前設定.....	376
品目情報の処理に使用するフォーム.....	377
価格/引当可能数量の照会 (P4074) の処理オプションの設定.....	377
標準価格および引当可能数量の情報の検討.....	378
在庫状況 (P41202) の処理オプションの設定.....	378
数量情報の検索.....	381
引当可能数量の計算の検討.....	381
需要/供給照会 (P4021) の処理オプションの設定.....	382
需要/供給情報の検討.....	387
顧客情報と売上情報の検討.....	388
顧客勘定情報について.....	388
受注オーダー情報について.....	388
販売明細実績情報について.....	389
事前設定.....	389
顧客情報と受注情報の検討に使用するフォーム.....	390
顧客の売掛情報の検討.....	391
受注オーダーの検討.....	391
販売明細履歴の照会 (P42025) の処理オプションの設定.....	392
配送票照会 (P42290) の処理オプションの設定.....	393
(ARG) Reviewing Sales Order Information for Argentina.....	393
コミッション情報の検討.....	394
コミッション情報について.....	394
事前設定.....	394
コミッション情報の検討に使用するフォーム.....	395
受注オーダーのコミッション情報の検討.....	395
見越しコミッションの検討.....	396

## 第 11 章

受注オーダー情報の使い方.....	397
受注オーダー情報について.....	397
(CHL, PER, POL and RUS) Inquiring on Sales Orders.....	398
Understanding Sales Order Inquiries for Chile and Peru.....	398
Prerequisites.....	399

Forms Used for Sales Order Inquiries.....	399
(CHL and PER) Setting Processing Options for Order Inquiry by Legal Document (P76H2012).....	400
(POL and RUS) Searching for Sales Orders by Legal Number.....	401
(POL and RUS) Setting Processing Options for Sales Legal Document Inquiry by Legal Number (P7420002).....	401
請求情報の使い方.....	402
オンライン請求書について.....	403
注文承認書の印刷について.....	403
請求情報の処理で使用するフォーム.....	404
オンライン請求書照会 (P42230) の処理オプションの設定.....	404
(ARG) Reviewing Tax Calculations for Argentina.....	406
注文承認書の印刷.....	406
請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定.....	406
(CHL and PER) Work with Billing Information for Chile and Peru.....	413
Understanding Billing Information for Chile and Peru.....	413
Understanding Sales Order Inquiry by Status by Batch.....	416
Prerequisites.....	416
Forms Used to Work with Billing Information.....	417
Setting Processing Options for Printing Invoices and Shipping Guides (P76H2565).....	417
Setting Processing Options for Lot Inquiry (P76H3B50).....	418
(POL and RUS) Working with Sales Order Management Processes for Poland and Russia.....	420
Understanding Sales Order Processes for Poland and Russia.....	420
(RUS) Understanding the Invoice Print – Russia (R74R3030) Program.....	421
Understanding the Stock Delivery Note Report (R74R3032).....	421
(RUS) Understanding the Goods Dispatch Note Report (R74R3031).....	422
(RUS) Understanding the Stock Movement Note Report (R74R3033).....	422
(POL and RUS) Understanding the Print Process for Legal Documents.....	422
Prerequisites.....	424
Setting Processing Options for Invoice Print – PO (P7420565).....	424
 <b>第 12 章</b>	
<b>受注オーダーの処理.....</b>	<b>427</b>
受注オーダー処理について.....	427
トランザクション処理について.....	428
状況コードの更新.....	429
状況コードについて.....	429
事前設定.....	429
状況コードの更新に使用するフォーム.....	429
状況コード更新の処理オプションの設定.....	429

状況コードの更新.....	431
ピッキング伝票の印刷.....	431
ピッキング伝票のタイプについて.....	431
ピッキング リストの印刷.....	433
ピッキング リスト印刷 (R42520) の処理オプションの設定.....	433
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Standard Pick Slip for Selling a Make-To-Order Item. ....	437
Printing Standard Pick Slip for Selling a Make-To-Order Item.....	437
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Pick Slips – Batch (R42520).....	438
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Standard Pick Slip for Selling from Inventory.....	440
Printing Standard Pick Slip for Selling from Inventory.....	440
(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Pick Slips.....	442
Printing and Reprinting Pick Slips.....	442
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Individual Pick Slips (R42520).....	442
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Individual Pick Slips (R42520).....	444
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1510) (R42520).....	445
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1520) (R42520).....	447
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2510) (R42520).....	448
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2520) (R42520).....	449
(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Pick Slips for Transfer Order Without Receipt Routing.....	451
Printing and Reprinting Pick Slips for Transfer Order Without Receipt Routing.....	451
シリアル番号情報の処理.....	452
シリアル番号の処理について.....	452
流通システムでのシリアル番号処理について.....	453
事業所用のシリアル番号設定について.....	454
シリアル番号の入力に使用するフォーム.....	454
シリアル番号照会 (P4220) の処理オプションの設定.....	454
事業所用のシリアル番号の入力.....	455
出荷の確認.....	455
出荷確認時の追加オーダー処理について.....	455
出荷確認について.....	457
自重および梱包情報について.....	458
出荷確認バッチ アプリケーションについて.....	459
事前設定.....	459
出荷の確認で使用するフォーム.....	460

出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定.....	460
出荷の確認.....	470
自重および梱包情報の入力.....	471
出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) の実行.....	471
出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) の処理オプションの設定.....	471
(Rapid Start CAN and USA) Confirming Shipment for Equipment Sales Order.....	472
Confirming Shipment for Equipment Sales Order.....	472
Preconfigured Processing Options for Canada and United States Shipment Confirmation (P4205).....	472
(Rapid Start) Confirming Shipment for Customer Credit With Return.....	476
Confirming Shipment for Customer Credit With Return.....	477
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Shipment Confirmation (P4205).....	477
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment Online for Selling a Make-To-Order Item. ....	481
Confirming Shipment Online for Selling a Make-To-Order Item.....	481
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment Online for Selling from Inventory.....	482
Confirming Shipment Online for Selling from Inventory.....	483
(Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Selling from Inventory.....	484
Confirming Shipment for Selling from Inventory.....	484
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Ship Confirm Domestic Sales Orders (P4205).....	485
(Rapid Start CAN and USA) Confirming Shipment for Transfer Order with Receipt Routing.....	489
Confirming Shipment for Transfer Order with Receipt Routing.....	489
Preconfigured Processing Options for Canada and United States Ship Confirm Transfer Orders with Routing (P4205).....	489
(Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Transfer Order Without Receipt Routing.....	493
Confirming Shipment for Transfer Order Without Receipt Routing.....	494
(Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Intercompany Sales Order.....	494
Confirming Shipment for Intercompany Sales Order.....	494
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Ship Confirm Intercompany Sales Orders (P4205).....	494
出荷伝票の印刷.....	498
船荷証券について.....	499
配送票について.....	499
事前設定.....	499
船荷証券 (B/L) の印刷.....	500
船荷証券の印刷 (R42530) の処理オプションの設定.....	500
配送票の印刷.....	501
配送票印刷 (R42535) の処理オプションの設定.....	501
UCC 128 に従った出荷処理.....	503
UCC 128 に従った出荷処理について.....	503
事前設定.....	504

出荷、梱包、UCC 128 に関する情報の入力に使用するフォーム.....	504
出荷処理 (P4915) の処理オプションの設定.....	505
出荷、梱包、および UCC 128 出荷の情報の入力.....	508

## 第 13 章

<b>前払処理.....</b>	<b>511</b>
前払処理について.....	511
事前設定.....	512
前払処理の設定.....	512
前払状況コードについて.....	512
前払タイプについて.....	513
前払保留コードについて.....	513
クレジット カード取引の承認.....	514
クレジット カードの承認について.....	514
前払取引 (トランザクション) の承認プログラムの実行.....	514
前払取引 (トランザクション) の承認 (R004201) の処理オプションの設定.....	515
前払トランザクションの更新.....	515
手作業によるトランザクション状況の更新.....	517
トランザクション状況の更新について.....	517
トランザクション状況の更新で使用するフォーム.....	517
トランザクション状況コードの更新.....	517
前払取引の決済.....	518
前払取引の決済プログラムの実行.....	519
前払取引の決済 (R004202) の処理オプションの設定.....	519
前払の手形の使い方.....	519
事前承認手形について.....	519
手形の回収について.....	519

## 第 14 章

<b>請求書作成.....</b>	<b>521</b>
請求書について.....	522
請求書サイクルの設定.....	522
請求書サイクルの設定について.....	522
請求書サイクル優先情報の作成に使用するフォーム.....	525
請求書サイクル優先情報の作成.....	525
計画請求書日付範囲の追加.....	527
標準請求書の印刷.....	527
請求書印刷プログラムについて.....	527

事前設定.....	529
請求書印刷プログラムの実行.....	529
請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定.....	529
サイクル請求の実行.....	536
サイクル請求について.....	536
事前設定.....	538
計画請求書サイクル プログラムの実行.....	538
計画請求書サイクル (R49700) の処理オプションの設定.....	538
(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Credit Order Acknowledgements and Credit Memos. ....	539
Printing and Reprinting Credit Order Acknowledgement for Customer Credit With and Without Return.....	539
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565).....	539
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Order Acknowledgement (R42565).....	542
Printing and Reprinting Credit Memo for Customer Credit With and Without Return.....	546
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Credit Invoice (R42565).....	546
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Credit Note (R42565).....	549
(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Invoices and Sales Order Acknowledgements.....	552
Printing Invoices in Batch.....	553
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Invoice in Batch by B/P (R42565).....	553
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Sales Order (R42565).....	556
Printing and Reprinting Sales Order Acknowledgements.....	559
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565).....	559
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Order Acknowledgement (R42565).....	563
(Rapid Start AUS and NZL) Printing Invoices Automatically from Ship Confirm.....	566
Printing Invoice Automatically from Ship Confirm.....	566
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Invoice from Ship Confirm (R42565).....	566
(Rapid Start CAN and USA) Printing Invoices for Transfer Order with Receipt Routing.....	569
Printing an Invoice for Transfer Order with Receipt Routing.....	569
Preconfigured Processing Options for Canada and United States Print Invoice for Transfer Orders (R42565).....	570
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices for Customer Credit.....	573
Printing Credit Memo for Customer Credit With Return.....	574
Printing Credit Memo for Customer Credit Without Return.....	574
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Credit Memo (R42565).....	575



(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Return Authorizations for Customer Credit With Return.....	578
Printing Return Authorization for Customer Credit With Return.....	578
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565).....	579
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Acknowledgement On Demand (R42565).....	582
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Sales Order Acknowledgements.....	586
Printing Sales Order Acknowledgements for Selling a Make-To-Order Item.....	586
Printing Sales Order Acknowledgements for Selling from Inventory.....	587
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices Automatically from Ship Confirm.....	587
Printing Invoices Automatically from Ship Confirm for Selling a Make-To-Order Item.....	588
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Packing List from Ship Confirm (R42565).....	588
Printing Invoices Automatically from Ship Confirm for Selling from Inventory.....	592
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices for Selling a Make-To-Order Item.....	592
Printing an Invoice for Selling a Make-To-Order Item.....	592
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices for Selling from Inventory.....	593
Printing Invoice for Selling from Inventory.....	593
(Rapid Start) Printing Sales Order Acknowledgement for Selling a Direct Ship Item.....	594
Printing Sales Order Acknowledgement for Selling a Direct Ship Item.....	594
(Rapid Start) Printing Invoices for Selling a Direct Ship Item.....	595
Printing an Invoice for Selling a Direct Ship Item.....	595
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Print Invoices (R42565).....	596
(CHN) Setting Up Next Numbers and Matching Versions to Print Sales Orders for China.....	599
Forms Used to Set Up Next Numbers for JinSui Processing.....	600
Setting Up Next Numbers for JinSui Processing.....	600
Setting Up a Version of the GUI Interface File from Sales Order Program.....	600
Setting Processing Options for GUI Interface File from Sales Order (R75C421).....	600
(CHN) Printing Invoices from Sales Order Management.....	601
Understanding the Invoice Print Process for China.....	601
Run the Print Invoice from Sales Order program.....	602
(ARG) Printing Invoices.....	602
Understanding the Invoice Print Program for Argentina.....	602
Prerequisites.....	603
Setting Processing Options for PO Invoice/Shipment Note Print (R76A565).....	603
(ARG) Printing Shipment Notes.....	606
Understanding Shipment Note Print for Argentina.....	606
Understanding Shipment Note Print According to RG 889.....	607
Prerequisites.....	607
(ARG) Working with Prenumbered Documents.....	608

Understanding Prenumbered Documents.....	608
Forms Used to Work with Prenumbered Documents.....	610
Setting Processing Options for Invoice Print (P76A715).....	610
Setting Processing Options for Invoice Void (P76A725).....	611
Verifying Legal Numbers.....	612
Voiding Printed Invoices.....	612
Unlocking Legal Numbering.....	612
Voiding a Shipment Note.....	612
Reprinting Documents.....	613
(PER) Selecting Voucher Print UBEs.....	613
Understanding Voucher Print.....	613
Forms Used to Select Voucher Print UBEs.....	613
Selecting a Voucher Print Version.....	613
(CHL) Selecting Voucher Print UBEs.....	613
Understanding Voucher Print.....	613
Forms Used to Select Voucher Print UBEs.....	614
Selecting Voucher Print Version.....	614
 <b>第 15 章</b>	
<b>価格の更新.....</b>	<b>615</b>
基本価格の更新.....	615
基本価格の更新について.....	615
基本/価格の保守管理 (バッチ) プログラムの実行.....	616
基本/価格の保守管理 (バッチ) (R41830) の処理オプションの設定.....	616
顧客価格の更新.....	617
顧客価格の更新について.....	617
受注オーダー価格/原価のバッチ更新の実行.....	618
受注オーダー価格/原価のバッチ更新 (R42950) の処理オプションの設定.....	618
価格レベルの変換.....	620
価格レベルの換算について.....	620
品目販売価格レベルの換算プログラムの実行.....	621
品目販売価格レベルの換算 (R41816) の処理オプションの設定.....	621
異なる通貨を使用した基本価格の新規作成.....	622
異なる通貨を使用した新しい基本価格について.....	622
新しい基本価格/通貨の生成.....	623
通貨別基本価格の生成 (R410601) の処理オプションの設定.....	624

## 第 16 章

日次締め処理の実行.....	625
日次締め処理について.....	625
顧客売上の更新.....	626
顧客売上更新プログラムについて.....	626
事業所間および会社間の取引について.....	630
顧客売上の更新に使用する AAI について.....	631
事前設定.....	632
顧客売上の更新プログラムの実行.....	633
顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定.....	633
(PER) Sales Close – Invoice Legal Number in Current Account.....	641
(CHL) Sales Close – Invoice Legal Number in Current Account.....	641
(Rapid Start AUS and NZL) Updating Customer Sales.....	642
Updating Customer Sales for Customer Credit With and Without Return.....	642
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800).....	642
Updating Customer Sales for Selling from Inventory.....	645
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800).....	646
Updating Customer Sales for Transfer Order Without Receipt Routing.....	649
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types ST (R42800).....	649
Updating Customer Sales for Intercompany Sales Order.....	652
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800).....	653
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SK (R42800).....	655
(Rapid Start CAN and USA) Updating Transfer Order Sales.....	658
Running Sales Update for Transfer Order with Receipt Routing.....	658
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Updating Customer Sales.....	659
Running Sales Update for Customer Credit Without Return.....	659
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update–Invoice Number Already Assigned (R42800).....	660
Running Sales Update for Customer Credit With Return.....	663
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Updating Item, Inventory, and Transfer Order Sales.....	664
Running Sales Update for Selling a Make-To-Order Item.....	664
Running Sales Update for Selling from Inventory.....	665
(Rapid Start) Updating Direct Ship Item Sales.....	665
Running Sales Update for Selling a Direct Ship Item.....	665
顧客売上の更新レポートの検討.....	666
売上更新レポートについて.....	666
請求書仕訳の検討.....	666

売上仕訳の検討.....	667
(ARG) Reviewing the Sales Journal for Argentina.....	667
売上仕訳の印刷 (R42810) の処理オプションの設定.....	667
(ARG) Updating Customer Sales for Argentina.....	668
Understanding Updating Customer Sales for Argentina.....	668
Updating Customer Sales for Argentina.....	668
オーダーの再転記.....	668
オーダーの再転記処理について.....	669
処理中受注オーダーの再転記プログラムの実行.....	670
処理中受注オーダーの再転記 (R42995) の処理オプションの設定.....	670
仕訳バッチの検討および承認.....	671
仕訳バッチの転記.....	672
(Rapid Start AUS and NZL) Posting Invoices.....	673
Posting Invoices for Transfer Order Without Receipt Routing.....	673
Posting Invoices for Intercompany Sales Order.....	674
(Rapid Start CAN and USA) Posting Sales Transactions for Transfer Orders.....	674
Posting Sales Transactions for Transfer Orders with Receipt Routing.....	674
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Sales Transactions for Selling a Make-To-Order Item. ....	675
Posting Sales Transactions for Selling a Make-To-Order Item.....	675
(Rapid Start) Posting Journal Entries for Customer Credit.....	677
Posting Journal Entries for Customer Credit with Return.....	677
Posting Journal Entries for Customer Credit Without Return.....	678
Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801).....	678
(Rapid Start) Posting Invoices for Selling from Inventory.....	679
Posting an Invoice for Selling from Inventory.....	679
(Rapid Start) Posting Sales Transactions for Selling Direct Ship Items.....	680
Posting Sales Transactions for Selling a Direct Ship Item.....	680
データの除去.....	681
受注管理の除去プログラムについて.....	681
受注オーダー テキスト行の除去プログラムについて.....	682
事前設定.....	682
受注オーダーのテキスト行の除去.....	682
受注オーダーの見出しレコードの除去.....	682
処理済み受注オーダー バッチの除去.....	682
受注オーダー明細行の除去.....	683
監査ログ トランザクションの除去.....	683
監査ログの除去 (R42420) の処理オプションの設定.....	683
(ARG) Purging Sales Orders for Argentina.....	683
Understanding the Purge Process for Argentinean Sales Orders.....	683
Running the Invoice Total Purge – Argentine Program.....	684

**第 17 章**

<b>返品承認の設定</b> .....	<b>685</b>
返品承認について.....	685
返品承認デフォルト値の設定.....	685
返品承認デフォルト値について.....	686
返品承認デフォルトの設定に使用するフォーム.....	686
返品承認の改訂 (P400511) の処理オプションの設定.....	686
返品承認デフォルト値の設定.....	689
返品承認の設定.....	690
返品承認の設定について.....	690
事前設定.....	691
返品承認の設定に使用するフォーム.....	692
返品承認 (RMA) の処理 (P40051) の処理オプションの設定.....	692
返品承認の入力.....	694
返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新 (R400502) の実行.....	695
返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新について.....	695
返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新 (R400502) の実行.....	695
返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新 (R400502) の処理オプションの設定.....	695
返品承認の除去プログラム (R400510) の実行.....	696
返品処理の除去について.....	696
返品承認の除去プログラム (R400510) の実行.....	696
返品承認の除去 (R400510) の処理オプションの設定.....	697

**第 18 章**

<b>優先情報の設定</b> .....	<b>699</b>
優先情報と優先タイプについて.....	699
優先タイプ.....	700
基本優先情報.....	704
基本優先情報の使用方法.....	705
優先マスターと階層.....	706
基本優先情報と詳細優先情報との違いについて.....	706
カスタム優先タイプについて.....	707
運送業者の優先情報.....	707
顧客通貨優先情報.....	707
顧客運賃の優先情報.....	708
納期の優先情報.....	708
伝票セットの優先情報.....	709
最終用途優先情報.....	710
延長期限優先情報.....	711

運賃優先情報.....	711
等級および濃度の優先情報.....	711
売上高総利益率価格設定優先情報.....	712
在庫引当優先情報.....	712
業種優先情報.....	714
輸送モード優先情報.....	714
複数の入出荷保管場所優先情報.....	714
次のオーダー状況優先情報.....	715
オプションおよび設備の優先情報.....	715
オーダー準備日数優先情報.....	715
支払条件優先情報.....	716
支払条件（事業所）優先情報.....	716
価格調整スケジュール優先情報.....	717
価格設定計量単位優先情報.....	717
価格設定計量単位（事業所）優先情報.....	717
製品割当て優先情報.....	718
製品割当て（事業所）優先情報.....	719
品質管理優先情報.....	720
収益ビジネスユニット優先情報.....	721
収益ビジネスユニット優先情報（事業所）.....	721
販売コミッション優先情報.....	722
販売価格基準日優先情報.....	722
ユーザー定義価格コード優先情報.....	722
優先マスター情報の設定.....	722
優先マスターの設定について.....	723
優先マスター情報の設定に使用するフォーム.....	723
優先マスター情報の設定.....	723
優先階層の作成.....	724
優先階層の作成について.....	724
優先階層の作成に使用するフォーム.....	725
優先階層の作成.....	725
基本優先情報の設定.....	725
基本優先情報の設定について.....	726
基本優先情報の入力に使用するフォーム.....	726
詳細優先情報の設定.....	732
詳細優先情報について.....	732
詳細優先情報の設定に使用するフォーム.....	734
優先定義の改訂の設定.....	734
優先スケジュールの改訂の設定.....	734
優先詳細の改訂の設定.....	735

顧客と品目のグループへの割当て.....	735
顧客と品目のグループへの割当てについて.....	735
事前設定.....	735
顧客と品目をグループに割り当てるために使用するフォーム.....	736
優先情報グループへの顧客の割当て.....	736
優先情報グループへの品目の割当て.....	737
優先情報の有効化.....	737
優先情報の有効化について.....	737
優先情報の選択方法について.....	738
事前設定.....	738
優先情報の選択プログラムの実行.....	738
優先情報選択 (R40400) の処理オプションの設定.....	738

## 付録 A

JD Edwards EnterpriseOne 受注管理の標準ワークフロー.....	741
JD Edwards EnterpriseOne 受注管理の標準ワークフロー.....	741
JDESOENTRY ワークフロー プロセス.....	741
受信確認ワークフロー.....	742
受注オーダー変更承認.....	742

## 付録 B

JD Edwards EnterpriseOne 受注管理のレポート.....	745
受注管理のレポート.....	745
JD Edwards EnterpriseOne 受注管理のレポートの一覧.....	745
JD Edwards EnterpriseOne 受注管理のレポート.....	746
R004203 - 前払取引レポート.....	746
前払取引レポート (R004203) の処理オプション.....	746
R42600 - 販売履歴レポート.....	747
販売履歴レポート (R42600) の処理オプション.....	747
R42611 - 売上分析集計.....	748
売上分析集計レポート (R42611) の処理オプション.....	748
R42620 - 顧客別発注残レポート.....	749
顧客別発注残レポート (R42620) の処理オプション.....	749
R42632 - 品目別受注残レポート.....	750
R42640 - 保留オーダー レポート.....	750

EnterpriseOne 用語集.....751

索引 .....763



# この PeopleBook について

PeopleBook には、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎
- 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

---

**注:** PeopleBook には、システムで使用されている全てのフィールドについて説明されているわけではありません。アプリケーションで共通して使用される主なフィールドは、共通フィールドとしてまとめて説明しています。全てのアプリケーションで共通するフィールドはこの PeopleBook に、各アプリケーションで共通するフィールドは、それぞれの製品ライン、PeopleBook、またはその章やセクションごとに、共通フィールドとしてまとめて説明されています。それ以外に説明が必要だと思われるものについては、処理や業務を実行する具体的なページの説明と併せて、フィールドやチェック ボックスの説明をそれぞれ記載しています。

---

---

## JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基本的な使い方を熟知する必要があります。

また、JD Edwards EnterpriseOne の入門トレーニング コースを少なくとも 1 つ修了していることが推奨されます。

この PeopleBook では、ユーザーが JD Edwards EnterpriseOne システムを操作でき、メニューやページ、フォームなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、JD Edwards EnterpriseOne システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne システムを効果的に使用するために必要な情報や、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

---

## JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

また、システムを設定したり設計するときに必要となる情報が、製品ラインで共通する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている場合もあります。ほとんどの製品ラインについて『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』が用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、製品ラインのどのアプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。JD Edwards EnterpriseOne システムを導入する場合、製品ラインの中から 1 つのアプリケーションだけを導入する、いくつかのアプリケーションを組み合わせで導入する、または製品ライン全体を導入する、といういずれの場合でも、この『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておくことが必要です。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

---

## 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、印刷・製本されたドキュメンテーションの注文について説明します。

### 印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

PeopleBooks CD-ROM に収録されているドキュメンテーションは、印刷・製本された形のものも用意されています。印刷・製本されたドキュメンテーションは、以下のいずれかの方法でご注文いただけます。

- Web サイト
- 電話（米国およびカナダのみ）
- 電子メール

#### Web サイト

PeopleSoft の Web サイトである Customer Connection から注文できます。Ordering PeopleBooks リンクをクリックすると、PeopleBooks Press の Web サイトにアクセスすることができます。このサイトは、PeopleSoft と印刷会社 MMA Partners 社が共同で運営しています。ご注文の際、クレジットカード、郵便為替、銀行小切手、または注文書をご利用いただけます。

#### 電話（米国およびカナダのみ）

877 588 2525 (MMA Partners 社) までご連絡ください。

#### 電子メール

peoplebookspress@mmapartner.com (MMA Partners 社) までご連絡ください。

#### 関連項目:

PeopleSoft Customer Connection  
<https://www.peoplesoft.com/corp/en/login.jsp>

## 追加情報

PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス マップ	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
データモデル	[Support]、[Documentation]、[Data Models]
エンタープライズ インテグレーション ポイント (EIP) のカタログ	[Support]、[Documentation]、[Enterprise Integration Point (EIP) Catalog]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
PeopleBook ドキュメンテーションのアップデート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
サポートポリシー	[Support]、[Support Policy]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]
リリースノート	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]、[Upgrade Documentation and Software]、[Release Notes]
テーブルのロード順序	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Table Loading Sequences]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]

## 表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

## 表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しで、そのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。
Monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2 つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒 ( ) で区切られています。
[ ](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。  また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

## 注意事項の表示

PeopleBook では、注意事項が以下のような形式で示されています。

### 注

JD Edwards EnterpriseOne システムを使って作業するときに注意すべき事項が書かれています。

---

**注:** 注意事項は、このような形式で示しています。

---

システムが正しく機能するために必ず守るべき大切な事柄は、“重要:”と示されています。

---

**重要:** 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

---

## 警告

JD Edwards EnterpriseOne システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

---

**警告:** 警告は、このような形式で示しています。

---

## 相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

## 国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています。

特定の国を対象とした見出しの例: 「従業員の採用 (FRA)」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「減価償却の設定 (中南米)」

### 国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

### 地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

### 業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

## 通貨コード

金額は、ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

---

## ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒154-0005  
東京都世田谷区三宿 1-13-1  
東映三宿ビル 5 階

日本オラクル インフォメーション システムズ株式会社  
エンタープライズ ランゲージ サービス マネジャー宛

TEL: 03-5251-8768

または、ETSJPN\_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

---

## 全ての PeopleBook で使用する共通フィールド

以下 Enterprise の用語です。

指定日	どの日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象となるかを指定します。
ビジネスユニット	業務上、区分された上位レベルの組織の ID です。ビジネスユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
名称	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。データを表示、変更できる時期も有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時、実行しない	<p>“1 回限り”を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に“実行しない”に設定されます。</p> <p>“常時”を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない”を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。

<b>リクエスト ID</b>	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
<b>実行</b>	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
<b>セットID</b>	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これにより、データの重複やシステムのメンテナンス作業を減らすことができます。ビジネスユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネスユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、複数のビジネスユニットで共通する職務コードのグループを定義して共有することができます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
<b>略称</b>	15 文字までのテキストを入力できます。
<b>ユーザー ID</b>	トランザクションを実行するユーザーを表す ID です。
<b>以下 EnterpriseOne の用語です。</b>	
<b>住所番号</b>	エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号です。住所番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員番号、応募者番号、加入者番号、などに相当する場合もあります。
<b>仮定通貨コード</b>	取引金額を表示する際に使用する通貨を指定する 3 文字のコードです。このコードを指定することにより、取引の入力時に実際に使用された通貨ではなく、指定した通貨に基づいて取引金額を参照することができます。
<b>バッチ番号</b>	システムによって処理される取引のグループを識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが手動でバッチ番号を割り当てるか、自動採番プログラム (P0002) によって自動的に割り当てることもできます。
<b>バッチ日付</b>	バッチが作成された日付です。このフィールドを空白のままにすると、自動的にシステム日付がバッチ日付として指定されます。
<b>バッチ状況</b>	<p>バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) 98/IC の値を表示します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白: バッチが転記されていないか、承認待ちです。</p> <p>A: バッチの転記が承認され、貸借も一致していますが、まだ転記されていません。</p> <p>D: バッチが正常に転記されました。</p> <p>E: バッチにエラーが発生しました。転記の前にエラーを修正する必要があります。</p> <p>P: バッチの転記処理中です。転記処理が完了するまで、バッチにアクセスすることはできません。転記中にエラーが発生した場合は、バッチ状況コードが E に変更されます。</p>

U: ほかのユーザーがこのバッチを使用しているか、バッチが開かれている間に電源障害が発生したために、バッチが一時的に使用できなくなっています。

事業所	倉庫、作業、プロジェクト、作業所、支店、工場など、配送業務や製造業務が行われる場所や単位を表すコードです。システムによっては、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
ビジネスユニット	個別に費用がトラッキングされる各エンティティを表すコードです。システムによっては、事業所とも呼ばれます。
カテゴリ コード	各カテゴリを表すコードです。カテゴリ コードは、ユーザー定義コードで、トラッキングや申告など、組織の業務要件に合わせてカスタマイズできます。
会社	組織、資金、報告主体などを識別するコードです。会社コードは、F0010 に定義済みである必要があり、このコードで表される単位ごとに、完全な貸借対照表を備えている必要があります。
通貨コード	取引の通貨を表す 3 文字のコードです。EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) に準拠した通貨コードを提供しています。通貨コードは F0013 テーブルに格納されています。
伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号です。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と併せて使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度によって次の番号を割り当てる場合、この会社番号に基づいて、その会社の次の番号が自動的に抽出されます。</p> <p>同じ伝票番号と伝票タイプが複数の当初伝票に割り当てられていても、伝票会社番号を使用すれば、目的の当初伝票を表示することができます。</p>
伝票番号	伝票、請求書、仕訳入力、タイム シートなどの当初伝票を識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが当初伝票番号を割り当てるか、自動採番プログラムによって自動的に割り当てることもできます。
伝票タイプ	<p>取引のソースおよび目的を表すユーザー定義コード 00/DT の値 (2 文字) です。伝票、請求書、仕訳入力、タイム シートなどがあります。EnterpriseOne では、伝票タイプに以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛伝票</p> <p>R: 売掛伝票</p> <p>T: 時間/給与伝票</p> <p>I: 在庫伝票</p> <p>O: 購買伝票</p> <p>S: 受注伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、取引、レコードなどがアクティブになる日付です。このフィールドは、プログラムによって意味が変わります。たとえば、以下のような日付を表すことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 住所変更が有効になる日付</li><li>• 賃貸契約が有効になる日付</li><li>• 価格が有効になる日付</li><li>• 為替換算レートが有効になる日付</li></ul>



- 税率が有効になる日付

**会計期間、会計年度**

元帳の期間、年度を表す番号です。多くのプログラムでは、このフィールドを空白のままにできます。その場合、会社固定情報プログラム (P0010) で定義された現在の会計期間と会計年度が自動的に使用されます。

**元帳日付**

取引の転記先の会計期間を示すための日付です。取引に対してこの日付が入力されると、その会社に割り当てられている会計期間パターンと比較して、適切な会計期間および会計年度が抽出されます。日付の検証も併せて行われます。



# JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 – まえがき

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の製品
- アプリケーションの基礎
- この PeopleBook で使用する共通フィールド

---

## 対象の製品

この PeopleBook では、以下の製品についての情報も記載されています。

- JD Edwards EnterpriseOne 受注処理
- JD Edwards EnterpriseOne 所要量計画
- JD Edwards EnterpriseOne 倉庫管理
- JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理
- JD Edwards EnterpriseOne 輸送管理
- JD Edwards EnterpriseOne コンフィギュレータ
- JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理
- JD Edwards EnterpriseOne 一般会計
- JD Edwards EnterpriseOne 基本設定 – 住所録

---

## アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook』に記載されています。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 – まえがき」

# 『JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 8.11 SP1 PeopleBook』 で使用する共通フィールド

<b>口座番号</b>	顧客のクレジットカード番号または銀行口座番号を入力します。これは、クレジットカード取引を記録するための 3 つのフィールドの 1 つです。
<b>運賃の適用</b>	処理中に運賃計算を実行するよう指定する場合にこのオプションを選択します。
<b>承認済み</b>	このフィールドのコードを参照して、価格のアクティブな状況を確認します。
<b>承認番号</b>	取引を識別するためにクレジットカード会社や銀行から発行された番号またはコードを入力します。
<b>基本通貨</b>	会社の取引の通貨を指定するコードを入力します。外貨建て取引の場合、これは取引の国内通貨側の通貨コードです。通貨コードの指定プログラムでシステムに定義されているコードであれば、どのコードでも使用できます。
<b>(BRA) Associated Substitute Amount</b>	Review the value in this field to determine the amount of the total associated state tax ID in occurrences when the tax ID is from a substitute.
<b>(BRA) City Code</b>	Enter the city code associated with the state and city name. The code that you enter must exist in the GIA City Code table (F76B132). The code is required in the GIA extraction.
<b>(BRA) CNAE(Classificacao Nacional de Atividades Economicas – Fiscal)</b>	Enter the CNAE (Classificacao Nacional de Atividades Economicas – Fiscal) code for a fiscal company.
<b>(BRA) Company Profile</b>	Enter the name of the profile that you set up to identify the fiscal companies with data extracted for GIA reporting. The Company Profile and the GIA Keyword comprise the GIA identification. You set up Company Profiles using the Company Profile program (P76B129).
<b>(BRA) DIPAM-B Code</b>	Enter a code that indicates a grouping of transaction nature codes. The code that you enter must exist in the GIA Valid DIPAM-B Code table (F76B127A). If you enter a code that already exists in the GIA Valid DIPAM-B Code table (F76B127A), you add additional cross-references to the existing code. If you are not sure if a particular DIPAM-B code has been set up, click Search next to the DIPAM-B Code field, and then click Find on the Electronic GIA DIPAM-B Search & Select form to display existing codes.
<b>(BRA) DIPAM-B Description</b>	Displays the legal text associated with a DIPAM-B code.
<b>(BRA) ICMS Basis (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Basis)</b>	Displays the amount on which ICMS taxes are assessed.
<b>(BRA) ICMS Code (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Code)</b>	Review this value to determine how ICMS tax is applied. You set up the codes that you need in the ICMS Code – Fiscal Value user-defined code ((UDC) 76/II). The system uses the code when it calculates ICMS tax, and when printing fiscal books.

<b>(BRA) ICMS Exempt</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Exempt)	Review the amount that is not subject to ICMS tax.
<b>(BRA) ICMS Other</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Other)	Review the value of amounts that are classified as Other for ICMS taxing purposes.
<b>(BRA) ICMS Rate</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Rate)	<p>Enter the percentage of tax that should be assessed or paid to the corresponding tax authority, based on the tax area.</p> <p>Enter the percentage as a whole number and not as the decimal equivalent. For example, to specify 7 percent, enter 7, not .07.</p>
<b>(BRA) ICMS Reduction Amount</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Reduction Amount)	Review the amount by which the ICMS taxable amount is reduced due to the sale of given products.
<b>(BRA) ICMS Tax</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Tax)	Review the ICMS tax amount that is printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) ICMS Tax Amount</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Tax Amount)	Review the total of the ICMS tax amount in the GIA reporting period.
<b>(BRA) ICMS Tax Situation</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Tax Situation)	<p>Enter a code that indicates a product's ICMS tax eligibility. The value that you enter for the first character of the code specifies the origin of the product, based on the BORI edit rules. The values you enter for the second and third characters of the code specify how the product will be taxed by ICMS. Values are:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0: Domestic Goods.</li> <li>1: Foreign product, direct import.</li> <li>2: Foreign product, purchased in local market.</li> </ul> <p>The values to specify the ICMS tax condition of a product are:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>00: Pay full tax.</li> <li>10: Pay ICMS and ICMS Sub. Markup.</li> <li>20: Reduced base for tax calculation.</li> <li>30: Exempt/Not ICMS; Pay ICMS Substitution.</li> <li>40: Exempt.</li> <li>50: Suspended.</li> <li>51: Deferred.</li> <li>70: With reduction of Base of Calculation and ICMS charged previously for substitution tax.</li> </ul>

	90: Others (Codigo de Situacao Tributaria).
<b>(BRA) ICMS Tax Substitute Amount</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Tax Substitute Amount)	Review the total of the substitute ICMS tax amount.
<b>(BRA) ICMS Tax Substituted Amount</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Tax Substituted Amount)	Review the total amount of the substituted ICMS tax.
<b>(BRA) ICMS Tax Substitution Amount</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Tax Substitution Amount)	Review the total of the ICMS Tax Substitution amounts for the GIA reporting period.
<b>(BRA) ICMS Taxable</b> (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços Taxable)	Review the amount on which ICMS taxes are assessed.
<b>(BRA) IPI Basis</b> (Imposto Sobre Produtos Industrializados Basis)	Review the amount on which IPI taxes are assessed.
<b>(BRA) IPI Exempt</b> (Imposto Sobre Produtos Industrializados Exempt)	Review the amount that is not subject to IPI tax.
<b>(BRA) IPI Other</b> (Imposto Sobre Produtos Industrializados Other)	Review the merchandise value amount that is classified as Other for IPI taxing purposes.
<b>(BRA) IPI Recoverable</b> (Imposto Sobre Produtos Industrializados Recoverable)	Review the IPI tax amount that is eligible for recovery.
<b>(BRA) IPI Taxable</b> (Imposto Sobre Produtos Industrializados Taxable)	Review the IPI tax amount that is printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) IR Tax</b>	Review the IR tax amount that is printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) IR Taxable</b>	Review the amount on which IR taxes are assessed.
<b>(BRA) ISS Basis</b> (Imposto sobre Servicio Basis)	Review the amount on which ISS taxes are assessed.
<b>(BRA) ISS Tax</b> (Imposto sobre Servicio Tax)	Review the ISS tax amount that is printed on the nota fiscal.

<b>(BRA) ISS Taxable</b> (Imposto sobre Servico Taxable)	Review the amount on which ISS taxes are assessed.
<b>(BRA) Keyword</b>	Enter text, that along with the company profile, identifies the GIA record. You associate a keyword with a company profile when you generate a GIA or manually create a GIA.
<b>(BRA) Legal Arguments</b>	<p>Review this field to determine why a sub-item code was used. You complete this field on the Electronic GIA Sub-Item Codes form.</p> <p>The system completes the Legal Arguments and Occurrence Description fields on the Electronic GIA Occurrences form with the text from the GIA Sub-Item Code table (F76B128A).</p>
<b>(BRA) Legal Company</b>	<p>Enter a code that identifies a specific organization, fund, or other reporting entity. The company code must already exist in the Company Constants table (F0010) and must identify a reporting entity that has a complete balance sheet. At this level, you can have intercompany transactions.</p> <hr/> <p><b>注:</b> You can use company 00000 for default values such as dates and automatic accounting instructions. You cannot use company 00000 for transaction entries.</p> <hr/>
<b>(BRA) Legal Document Type</b>	Enter a UDC (H76/DT) that identifies the legal document type of the transaction. For example, an invoice or voucher.
<b>(BRA) NF Expenses</b> (Nota Fiscal Expenses)	Enter the total amount of financial expenses that are printed on the nota fiscal.
<b>(BRA) NF Freight</b> (Nota Fiscal Freight)	Displays a complementary expense to the customer. The system prorates this expense amount among each of the notas fiscais listed and adds the prorated amount to the ICMS taxable amount for each document.
<b>(BRA) NF Insurance</b> (Nota Fiscal Insurance)	Enter the insurance amount that you charge the client as a complementary expense. This amount must be included on the nota fiscal.
<b>(BRA) N.F. Number</b> (Nota Fiscal Number)	Review the number that identifies a nota fiscal. The number consists of the nota fiscal number and the nota fiscal series.
<b>(BRA) NF Series</b> (Nota Fiscal Series)	Review the two-character number that, along with the nota fiscal number, identifies a nota fiscal. The Nota Fiscal Series field is the second key that the system uses to access a specific nota fiscal.
<b>(BRA) NF Source</b> (Nota Fiscal Source)	<p>Enter a code that identifies how a nota fiscal was generated in the system. You select a code from the Nota Fiscal Source UDC (76/NF). The codes are hard-coded. Values are:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: Stand-alone Nota Fiscal – PO.</li> <li>2: Complementary Nota Fiscal – PO.</li> <li>3: 2-Way Match Nota Fiscal – PO.</li> <li>4: 3-Way Match Nota Fiscal – PO.</li> <li>5: Stand-along Nota Fiscal – SO.</li> <li>6: Complementary Nota Fiscal – SO.</li> <li>7: Nota Fiscal – SO.</li> </ol>

<b>(BRA) Nt Sf (Nature Suffix)</b>	<p>Enter a value for this two-character field that, in conjunction with the Transaction Nature code, is used to identify the complementary implications of a type of transaction. For example, the suffix might indicate that a certain type of transaction represents a inventory change, or that a transaction is eligible for a certain type of tax.</p> <p>Values might include:</p> <p>01: Bonus</p> <p>02: Demo</p> <p>03: Sample</p> <p>04: Return merchandise</p> <p>05: Back order</p> <p>06: Donation</p> <p>Examples of Transaction Nature codes with suffixes:</p> <p>511 01: In-state sale, bonus.</p> <p>511 05: In-state sale, back order.</p>
<b>(BRA) Occurrence Description</b>	<p>Review the information about an occurrence that is associated with a sub-item code.</p> <p>The system completes the Occurrence Description field on the Electronic GIA Occurrences form with the text from the GIA Sub-Item Code table (F76B128A).</p>
<b>(BRA) Period Number</b>	<p>Enter a code that specifies the period of time for which the tax is reported. Values vary, based on the calendar year for which you report the tax.</p> <p>Values for notas fiscais dated in 2003 are:</p> <p>1: The nota fiscal date is between the 1st and 10th of the month.</p> <p>2: The nota fiscal date is between the 11th and 20th of the month.</p> <p>3: The nota fiscal date is between the 21st and 31st of the month.</p> <p>Values for notas fiscais dated in 2004 are:</p> <p>1: The nota fiscal date is between the 1st and 15th of the month.</p> <p>2: The nota fiscal date is between the 16th and the 31st of the month.</p> <p>Values for notas fiscais dated in 2005 are:</p> <p>1: The nota fiscal date is between the 1st and the 31st of the month.</p>
<b>(BRA) Repasse Discount</b>	<p>Review this field to determine whether an additional discount is granted to the client on interstate sales. It is based on the tax rate difference among states.</p>
<b>(BRA) State Tax ID</b>	<p>Review this field to determine the system calculated state tax ID. This value is used on the Electronic GIA Occurrences with the ID number of the Fiscal Company.</p>
<b>(BRA) Sub-Item Code</b>	<p>Enter the code that applies to the occurrence. The code that you enter must exist in the GIA Sub-Item table (F76B128A).</p>



<b>(BRA) Substitute State Tax ID</b>	Review the state tax ID number for the company.
<b>(BRA) Substitute Tax</b>	Review the ICMS Substitute amount that the customer must remit in advance if they are subject to Tax Substitution Mark-up.
<b>(BRA) Substitute Taxable</b>	Review the amount on which ICMS Substitute tax is assessed. Products that are eligible for ICMS Substitute tax are listed in ICMS government directive 14.
<b>(BRA) Substitution Basis</b>	Review the amount on which ICMS Substitute tax is assessed. Products that are eligible for ICMS Substitute tax are listed in ICMS government directive 14.
<b>(BRA) Substitution Tax</b>	Review the ICMS Substitute amount that the customer must remit in advance if they are subject to Tax Substitution Mark-up.
<b>(BRA) Taxation Rules</b>	Enter a code that indicates the taxation rules for a fiscal company. The code that you enter must exist in the Taxation Rules UDC (76B/G1) table.
<b>(BRA) Trn Nat (Transaction Nature)</b>	<p>Enter this three-character code to indicate different types of transactions for tax purposes. You can associate a transaction nature code to only one DIPAM-B code. If you enter a transaction nature code that is already associated to a DIPAM-B code, the system displays an error message.</p> <p>To enter values for the Transaction Nature code, use this convention: X.YY, where X and YY are defined as:</p> <p>Values for X are:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1: Inbound, inside the state.</li> <li>2: Inbound, other states.</li> <li>3: Inbound, import.</li> <li>5: Outbound, inside state.</li> <li>6: Outbound, other states.</li> <li>7: Outbound, export.</li> </ul> <p>Use values for YY to define the transaction as a whole, such as a sales transaction. Examples of Transaction Nature codes:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>511: In state sale.</li> <li>611: Out of state sale.</li> </ul>
<b>取消日付</b>	<p>商品が顧客に送付されなかった場合や仕入先から商品を受領しなかった場合にオーダーを取り消す日付を入力します。受注オーダーの入力時に受注オーダー行が取り消された場合、このフィールドはその行が取り消された日付に更新されます。これはメモ用のフィールドであり、見積オーダーや一括オーダーで取消日付が指定されている場合を除き、いかなるタイプの自動処理も行われることはありません。見積オーダーや一括オーダーで取消日付が指定されている場合、指定された取消日付以降にこの見積オーダーや一括オーダーからの数量をリリースしようとすると、エラーが表示されます。</p>
<b>運送業者 No.</b>	<p>品目の優先運送業者の住所番号を入力します。配送経路や特殊取扱などの条件を考慮して、顧客が優先的に運送業者を指定します。</p>

<b>相互参照タイプ</b>	<p>この顧客に設定した相互参照タイプを識別する UDC (41/DT) を入力します。次のような相互参照タイプがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 代替品目</li> <li>• 置換品目</li> <li>• バーコード</li> <li>• 顧客品目番号</li> <li>• 仕入先品目 No.</li> <li>• 販促品</li> </ul>
<b>顧客価格グループ</b>	<p>この顧客または仕入先に関連付けられている価格設定グループを識別する UDC (40/PC) を入力します。</p> <p>受注オーダーでは、顧客請求指示を通して価格設定グループを顧客に割り当てます。通常、小売業者や卸売業者など、共通の価格設定特性を持つ顧客がグループに含まれます。</p> <p>購買オーダーでは、仕入先請求指示を通して価格設定グループを仕入先に割り当てます。</p>
<b>顧客発注番号</b>	<p>相互参照番号または 2 次参照番号として使用する購買オーダーの番号を入力します。</p>
<b>明細事業所</b>	<p>原価のトラッキング対象となる個々の事業単位を表す英数字のコードを入力します。このフィールドには、倉庫保管場所、ジョブ、プロジェクト、ワークセンター、事業所、工場などのコードを入力できます。</p> <p>この値を伝票、会社、または個人に割り当て、さまざまなレポートを作成することができます。たとえば、ビジネスユニット別の未決済買掛金/売掛金レポートを作成して、管轄部門ごとの支払/入金予定を把握することができます。</p> <p>ビジネスユニットにセキュリティを設定すると、権限のないユーザーにはビジネスユニットに関する情報が表示されません。</p>
<b>容量表示</b>	<p>(省略可) この事業所の容量を表示する計量単位を識別する UDC (00/UM) を入力します。事業所固定情報 - ページ 2 (P41001) から、このフィールドに値が入力されます。このデフォルト値は変更できます。</p>
<b>重量表示</b>	<p>オーダー集計フォームを使用するときに、この顧客に対して、個々のオーダー行およびオーダー全体の重量を表示する計量単位を識別する UDC (00/UM) を入力します。</p>
<b>為替レート</b>	<p>国内通貨金額を算出するために外貨金額に掛け合わせる数字 (為替レート) を入力します。</p> <p>このフィールドには、小数点以下最大 7 桁の数字を入力できます。小数点以下の桁数がそれ以上の場合、小数点以下 7 桁に調整されます。</p>
<b>失効日</b>	<p>顧客が使用するクレジットカード番号の有効期限が切れる日付を入力します。この日付は参照専用です。</p>
<b>FL/請求書レポート</b>	<p>販売 IVG 履歴に請求書が記録された日付。</p>
<b>FL 磁気請求書レポート</b>	<p>磁気販売 IVG 履歴に請求書が記録された日付を表示します。</p>

外貨	<p>トランザクションに関連する会社の国内通貨と顧客の外貨のどちらの金額にするかを指定するコードを入力します。</p> <p>有効値は以下のとおりです。</p> <p>D: 国内通貨</p> <p>F: 外貨</p>
貨物コード	<p>仕入先の出荷貨物が納入される方法を指定する UDC (42/FR) を入力します。たとえば、仕入先がドックまで出荷貨物を納入してくることもあれば、仕入先のドックで出荷貨物を受け取ることもできます。また、このコードを使用して、だれが運賃を支払うのかを指定することもできます。たとえば、仕入先の倉庫から商品が搬出された時点で商品の法的な所有権が顧客に移り、出荷先までの輸送料金は顧客が支払うというようなコードを設定することができます。</p>
総重量	<p>この値により、基本計量単位で 1 品目の重量を確認できます。</p>
保留コード	<p>オーダーの保留理由を識別する UDC (42/HC) を入力します。販売オーダー入力プログラム (P4210 および P42101) の処理オプション設定でこのタイプの保留コードの保留チェックが指定され、該当する保留基準が満たされた場合、オーダー処理中にこのフィールドに値が割り当てられます。</p>
請求書日付	<p>請求書が印刷された日付を表示します。販売オーダー管理で請求書印刷プログラムを実行すると、この日付が更新されます。</p>
品目番号	<p>品目の識別に使用する番号を入力します。3 種類の品目番号に加え、代替品目番号に対する拡張相互参照機能が提供されています。品目番号には、3 つのタイプがあります。</p> <p>品目 No. (略式)</p> <p>8 桁の番号で自動的に割り当てられます。</p> <p>第 2 品目 No.</p> <p>英数字を使用してユーザーが定義する 25 桁の番号です。</p> <p>第 3 品目 No.</p> <p>英数字を使用してユーザーが定義する 25 桁のもう 1 つの番号です。</p> <p>この 3 つのタイプの基本的な品目番号に加え、拡張相互参照検索機能が提供されています。代替部品番号に対して数多くの相互参照を定義できます。たとえば、代替品目 No.、置換品目、販促品、バーコード、顧客 No.、仕入先 No. などを定義できます。</p>
必要な前回状況	<p>この UDC (40/AT) により、処理サイクル内でこのオーダー行について正常に完了した前回のステップを確認できます。</p>
ライセンス プレート No.	<p>トラック割当てシステムで所定のトラックのライセンス プレート No. を確認できます。</p>
行タイプ	<p>トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。この値は、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理とのトランザクションのインターフェイスを制御します。また、行をレポートに印刷する場合や、行を計算に組み込む場合の条件も指定します。通常以下のようなコードを使用します。</p> <p>S: 在庫品目</p>

	J: 作業原価
	N: 非在庫品目
	F: 運賃
	T: テキスト情報
	M: その他の料金および貸方
	W: 作業オーダー
<b>輸送モード</b>	顧客に商品を配送するために使用されている運送業者の特徴を示す UDC (00/TM) を入力します。たとえば、鉄道輸送や陸路輸送などです。
<b>正味重量</b>	梱包重量を引いた、販売商品の重量を確認できます。
<b>次回オーダー日付</b>	定期オーダーが次に処理される日付を入力します。
<b>次の状況</b>	この UDC (40/AT) により、行タイプのオーダーフローの次のステップを確認できます。
<b>任意</b>	<p>キットの構成が標準であるのか任意であるのかを指定するコードを入力します。各コードの説明は以下のとおりです。</p> <p>S: 標準。この品目は、部品表に関連するあらゆるトランザクションに必ず取り込まれます。この値はデフォルト値です。</p> <p>O: 任意。オーダー入力で、この品目を個々の販売に取り込むのかどうかを指定できます。</p> <p>F: 機能。この品目には、オーダー入力で指定しなければならない機能があります。</p>
<b>納期回答の複数ソース許可</b>	このコードにより、異なる事業所からの異なる明細行を納期回答のソースとできるかどうかを確認できます。ブランクまたは N 値が指定されていれば、全ての行項目で同じ事業所がソースとなっています。
<b>納期回答のバックオーダー許可</b>	納期回答時に、このコードにより、バックオーダーが可能かどうかを確認できます。このフラグが納期回答のバックオーダーを許可するように設定され、[部分出荷可] が Y に設定されている場合、まず指定納期時点で可能な数量が出荷され、残りの数量については引当可能になった時点で出荷されます。[部分出荷可] の値が N の場合は、引当可能になる日付に全数量が出荷されます。指定納期日に引当可能な数量を出荷するには、このフィールドをオフにします。
<b>納期回答のビジネス目的</b>	この値により、納期回答前に納期回答に送付されるデフォルトのビジネス目的を確認できます。ビジネス目的は、受注オーダーの条件を満たすビジネス ルールをグループ化したものです。受注オーダー明細行では、納期回答後に納期回答で選択されるビジネス目的が指定されます。
<b>納期回答の部分オーダー出荷許可</b>	この値により、別の日付に行項目を配送できるかどうかを確認できます。一番遅い行項目の引当可能日を配送日付にするよう指定するには、このオプションをオフにします。
<b>納期回答の部分出荷許可</b>	このコードにより、納期回答で受注オーダー行項目を分割して、要求された在庫の一部をある日付に配送し、残りを別の日付に配送できるかどうかを確認できます。納期回答で受注オーダー行項目を分割できないよう指定するには、このフィールドをオフにします。このオプションは、[バックオーダー可] オプションと連動します。

納期回答の代替品目許可	このフィールドにより、この製品が引当可能でない場合に代替製品を使用できるかどうかを確認できます。納期回答で代替製品を使用できないよう指定するには、このフィールドをオフにします。
オーダー会社	<p>オーダー番号とオーダー タイプと共に、オーダー伝票（購買オーダー、契約、受注オーダーなど）を一意に識別する数字を入力します。</p> <p>会社/会計年度別自動採番機能を使用すると、自動採番プログラム (X0010) はオーダー会社を使用して、この会社に対して正しい次の番号を取得します。複数のオーダー伝票でオーダー番号とオーダー タイプが同じ場合、オーダー会社で目的の伝票を見つけることができます。</p> <p>正規の自動採番機能を使用した場合は、次の番号の割当てにオーダー会社は使用されません。このため、伝票の検索にオーダー会社を使用することもほとんどありません。</p>
オーダー日付	このフィールドにより、オーダーがシステムに入力された日付を確認できます。この日付によって、在庫価格設定に使用される有効レベルが決まります。
オーダー生成頻度	このフィールドにより、定期オーダーが自動生成される頻度を確認できます。
オーダー テンプレート	頻繁に注文される品目のリストを示す値を入力します。通常、燃料、潤滑材、パッケージ商品などの製品タイプに基づいて、品目がグループ化されます。
オーダー サフィックス	<p>この接尾辞により、当初オーダーを対象としたシステム内の複数のトランザクションを識別できます。</p> <p>受注オーダーでは、このコードは常に 000 になります。</p>
パスワード	<p>テーブルの更新前に入力する必要のある文字列を入力します。</p> <p>配賦では、コミッションの設定や保留オーダーのリリースがパスワードで保護されています。パスワードへのアクセス権を持つユーザーだけがオーダーをリリースできます。パスワードは、フォームには表示されません。パスワードをブランクにすることはできません。</p>
支払手段	顧客が支払をどのように行うかを指定する UDC (00/PY) を入力します。たとえば、小切手決済の場合は C、電子資金決済の場合は T を入力します。
支払条件	<p>請求書が割引期日内に支払われた場合に適用される割引率など、支払条件を指定するコードを入力します。ブランクのコードは、最も使用頻度の高い支払条件を示します。各支払条件タイプは [支払条件の改訂] フォームで定義します。支払条件としては、15 日以内支払、受取時払い、各月 10 日支払、30 日以内支払などがあります。</p> <p>このコードは、顧客請求書に印刷されます。</p>
価格有効日付	このフィールドにより、基本価格およびあらゆる上級価格調整を計算するために使用される日付を確認できます。F4009 に指定された販売価格基準日コードに基づき、オーダー日付、要求日付、約束出荷日付、当初出荷日付、実際の出荷日付、システム日付、または請求書日付を使用して、値が入力されます。
約束納入日付	顧客に対して品目の配送が予定されている日付。
数量	オーダー行について出荷可能数量または出荷済数量を表示します。

引当可能数量	先行オーダーにコミットされた数量を引いた、手持数量を表示します。
理由コード	トランザクションまたは変更の目的を示す UDC (42/RC) を入力します。たとえば、返品理由を示すことができます。
参照	相互参照番号または 2 次参照番号として使用する英数値を入力します。通常は、顧客番号、仕入先番号、または作業番号を入力します。
要求時刻	配送が要求される時刻を入力します。24 時間制のフォーマット (HHMMSS) を使用します。たとえば、午前 6:00 は 060000、午後 7:00 は 190000 と入力します。
改訂 No.	このフィールドにより、このオーダーが修正された回数を確認できます。個々の変更オーダー番号を探し、修正されたフィールドを確認できます。このフィールドが使用されるのは、受注オーダー入力プログラム (P4210 および P42101) の処理オプションで監査ログ機能が有効で、受注オーダーの顧客に対して顧客請求指示で監査ログのバイパスが有効になっていない場合だけです。
返品承認タイプ	2 次オーダーまたは関連オーダーの伝票タイプを示す UDC (00/DT) を入力します。たとえば、購買オーダーの伝票タイプを OP とし、伝票タイプ WO の関連作業オーダーを満たすために作成することができます。
経路コード	<p>顧客に割り当てられている配送経路を示す UDC (42/RT) を入力します。このフィールドは、運賃集計機能がオーダーにかかる輸送費の計算時に使用する係数の 1 つです。</p> <p>ピッキングの場合は、経路コード/中継点コードおよび区域コードを使用して特定の経路を使う配送車両に積載する品目を分類します。</p> <p>これらの各フィールドのデフォルトは、[顧客請求指示] フォームで設定します。</p>
ピッキング予定	倉庫から品目を出荷できる日付を入力します。受注オーダー入力時に、オーダー準備日数および配送日付の優先情報の設定から、この日付が逆算されます。需要/供給プログラムはこの日付を使用して、約束可能数量情報を計算します。
出荷元	このオーダーの出荷元の仕入先の住所番号を入力します。この仕入先に対して住所録に入力したレコードに基づいて、番地、市町村、都道府県、郵便番号、国など、仕入先の住所が設定されます。
出荷先	このオーダーの出荷先の所在地の住所番号を入力します。番地、市町村、都道府県、郵便番号、国など、顧客の住所に対するデフォルト値は住所録から設定されます。
出荷日付	特定のオーダー行の出荷が確認された日付を表示します。
販売先 No.	従業員、応募者、加入者、顧客、仕入先、テナント、ロケーションなど、住所録システムの項目を識別する番号を入力します。販売先顧客の住所により、商品の販売先となる顧客事業体が識別されます。
中継点コード	<p>特定の配送経路上の中継点を示す UDC (42/SP) を入力します。このフィールドは、運賃集計機能がオーダーにかかる輸送費の計算時に使用する係数の 1 つです。</p> <p>ピッキングの場合は、中継点コードと経路/区域コードを使用して特定の経路を使う配送車両に積載する品目を分類します。</p>

	これらの各フィールドのデフォルトは、[顧客請求指示] フォームで設定します。
<b>オーダーの集計</b>	クリックすると、[オーダー集計] タブが表示され、オーダー全体が再計算されます。
<b>オーダー停止日付</b>	定期オーダーの処理が停止される日付を入力します。
<b>税域/コード</b>	共通の税率と納税先が割り当てられる税域または地域を示すコードを入力します。入力したコードは、税域テーブル (F4008) と照合されます。請求書または伝票の作成時は、この税率/税域と税目コード/税規則を併用して、税額および総勘定元帳の配賦金額が計算されます。
<b>免税証明 No.</b>	免税対象の個人または法人に対して免税状況を識別するために課税当局が発行した番号を入力します。
<b>取引値引</b>	<p>各品目の価格から値引されるパーセントを入力します。値引には、このパーセントだけが適用されます。価格を入力すると、値引率が一時的に変更されます。</p> <p>値引率は整数で入力してください。たとえば、5% を指定するには、このフィールドに「5」と入力します。</p>
<b>計量単位</b>	在庫品目の数量を定義するための測定単位を指定する UDC (00/UM) を入力します。たとえば、ケース単位の場合は「CS」、箱単位の場合は「BX」と入力します。
<b>単価</b>	品目 1 単位に対して請求される表示価格または基本価格を確認または入力します。受注オーダーを入力する際は、全ての価格を品目基本価格テーブル (F4106) に設定してください。
<b>配送区域番号</b>	<p>顧客に割り当てられている配送区域を示す UDC (40/ZN) を入力します。このフィールドは、運賃集計機能がオーダーにかかる輸送費の計算時に使用する係数の 1 つです。</p> <p>ピッキングの場合は、区域コードと経路/中継点コードを使用して特定の経路を使う配送車両に積載する品目を分類します。</p> <p>これらの各フィールドのデフォルトは、[顧客請求指示] フォームで設定します。</p>





# 第 1 章

## JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 – はじめに

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の内容について説明します。

- 受注管理の概要
- 受注管理のビジネス プロセス
- 受注管理の統合
- (Rapid Start) Sales Order Management business processes
- 受注管理の導入

---

### 受注管理の概要

受注管理業務には、受注と出荷以外にもさまざまな作業が含まれます。顧客の満足を勝ち得、さらなるビジネスの展開を可能にするには、ビジネスに対してもシステムに対しても柔軟性が求められます。今日の受注オーダー システムには、以下のような機能が不可欠です。

- 単純なオーダーにも複雑なオーダーにも対応できなければなりません。
- 在庫システムと密な連携を図り、オーダー時に在庫を割り当てることができなければなりません。
- キットおよびコンフィギュレーション品目に対して受注オーダーを作成できなければなりません。
- 販促用の価格設定を設定および使用できなければなりません。

JD Edwards EnterpriseOne 受注処理システムを使用すると、以下のようなシステム機能を使用して顧客サービスの質を向上させることができます。

- オーダー テンプレート

通常一緒に販売される品目のリストが含まれるオーダー テンプレートを作成できます。オーダー入力時にテンプレートを使用すると、データ入力にかかる時間や入力ミスを大幅に減らすことができます。

- 定期オーダーおよび一括オーダー

品目を定期的にオーダーする顧客に対して定期オーダーを作成できます。たとえば、顧客は 1 つの品目を大量にオーダーすれば、割引価格が適用されます。ただし、合計数量を何回かに分けて配送するよう顧客が希望したとします。このような場合に一括オーダーを使用します。

- 見積オーダー

見積オーダーを作成することで、顧客または見込顧客に対して彼らが関心のある商品について見積を提出することができます。その後顧客がこの品目の購買を決定したときに、見積を受注オーダーに変換できます。

- 各国で定められている条件の準拠

ブラジル、チリ、ペルーなど、多くの国々で、受注オーダーの処理および課税方法について、その国独自の法的規制が定められています。受注管理システムを使用すると、これらの国々で特有の要件に受注オーダーを準拠させるために必要な情報を処理することができます。

さらに、受注管理製品スイートでは、以下のオンライン表示により、付加的な顧客サービス サポートも提供されます。

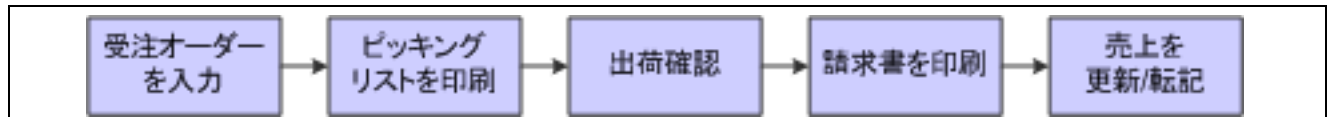
- 関連オーダー、在庫、輸送、財務情報
- 販売促進や値引、割当てなどを適用する場合の製品ラインごとの正味収益性

顧客や市場に特定の契約や特別の販売促進、価格調整、有効日付などを考慮した効率的な価格設定が必要になります。受注管理製品スイートでは、基本価格設定構造を柔軟に設定できます。その後で価格調整を定義し、必要に応じて価格の改訂と更新を行うことができます。

---

## 受注管理のビジネス プロセス

次のプロセス フローは、受注管理のビジネス プロセスを表しています。

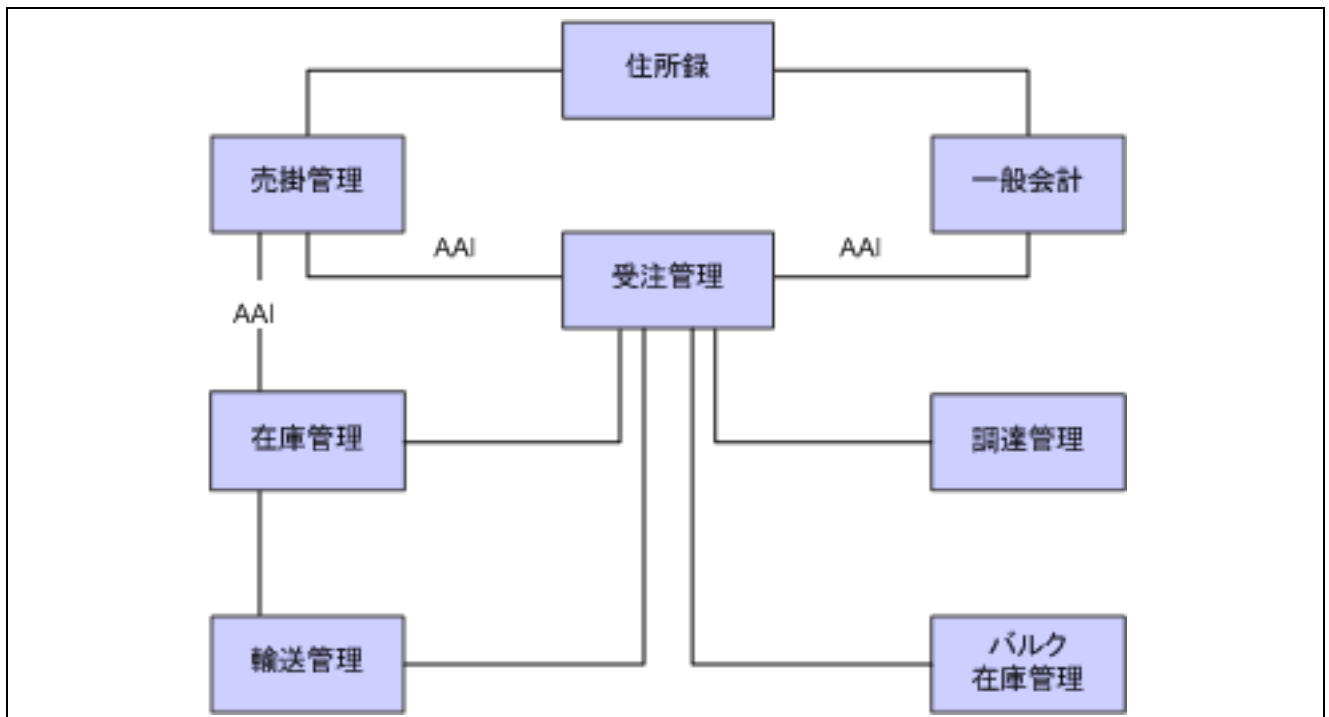


個別のビジネス プロセスについては、この PeopleBook の各ビジネス プロセスの章で説明します。

---

## 受注管理の統合

受注管理は、以下の JD Edwards EnterpriseOne システムと統合されています。



受注管理と統合されているシステム

JD Edwards EnterpriseOne 受注処理システムは、顧客の需要を満たすために、他の会計システム、流通システム、ロジスティックシステム、製造システムと連携しています。顧客の需要を満たすためには、需要と供給をより正確に把握する必要があります。これは、各システムを効果的に連携させ、流通およびロジスティクス情報を積極的に活用することにより実現できます。統合における留意事項については、この PeopleBook の導入に関する章で説明します。

## 住所録

住所録システムは、請求先、出荷先、倉庫の住所についての最新情報を管理します。

## 一般会計

インテグレーションの中心は、受注オーダーの会計処理を行う一般会計システムです。全ての流通システムは、AAI（自動仕訳）により一般会計システムとインターフェイスをとります。

## 売掛管理

売掛管理システムとの統合により、受注処理時に顧客の売掛情報にアクセスできます。たとえば、[与信チェック] プログラム (P42050) を使用して、顧客の売掛金合計および受注残と与信限度額とを比較します。売上情報を毎日更新し、最新の売掛金レコードを管理します。

## 在庫管理

在庫管理システムには、受注管理、調達管理、製造管理システムで使用する品目情報が保存されます。売上原価や購買原価、保管場所別の引当可能数量などの情報を保持したり、販売に使用できない保管場所にある保留品もトラッキングします。在庫評価や棚卸差異、移動による変更があると、総勘定元帳が更新されます。

## 調達管理

直送オーダーと転送オーダーの処理をサポートします。このシステムを使用して、バックオーダー品目にも受領書をリリースすることができます。

## 輸送管理

受注管理システムは輸送管理システムと連携して、運送業者や出荷、上級受注オーダー バルク在庫などの機能を提供します。

受注管理システムで輸送管理システムとのインターフェイスを設定することにより、受注オーダーで次の処理ができるようになります。

- トリップの作成
- バルクおよびパッケージ製品の積荷および配送
- 運賃の計算

積荷および配送の確認の際に、製品の原価情報が取り込まれ、在庫管理システムで引当可能数量が差し引かれます。取り込まれる情報は、受注管理システムで積荷および配送確認済みとして報告された受注オーダーを基準としています。

さらに、次の手順で総勘定元帳が更新されます。

シナリオ	行われるタスク
請求書日付が先日付の場合の積荷確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 積送中仕訳を作成する</li> <li>• サイクル請求により、繰延売上原価、収益、売掛勘定項目が作成される</li> </ul>
請求書日付が先日付でない場合の積荷確認	積送中仕訳を作成する
請求書日付が先日付の場合の積荷および配送確認	サイクル請求により、在庫、繰延売上原価、収益、売掛勘定項目が作成される

## バルク在庫

受注管理とバルク在庫システムを統合できます。バルク製品のオーダー識別用に、異なる伝票タイプの設定が可能です。定義したオーダー タイプと行タイプの組合せに基づいて、オーダーの出荷が自動的に作成されます。その後で出荷の改訂や追加、出荷品を入れた積荷の作成が可能です。

---

## (Rapid Start) Sales Order Management Business Processes

Rapid Start for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and the United States includes all the functionality available in the PeopleSoft EnterpriseOne systems to perform business processes. For the Sales Order Management system, Rapid Start also includes preconfigured data that is specifically set up for these business processes:

- (Rapid Start) Process sales orders.
- (Rapid Start AUS and NZL) Process sales orders.
- (Rapid Start CAN and USA) Process sales orders.
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Process sales orders.

**(Rapid Start) Process Sales Order**

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to all Rapid Start countries:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Sell a direct ship item.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter and print sales quote for selling a direct ship item.</li> <li>2. Release sales quote for selling a direct ship item.</li> <li>3. Enter and print blanket order for selling a direct ship item.</li> <li>4. Enter direct sales order for selling a direct ship item.</li> <li>5. Release order hold for selling a direct ship item.</li> <li>6. Print sales order acknowledgement for a direct ship item.</li> <li>7. Print purchase order for selling a direct ship item.</li> <li>8. Receive purchase order for selling a direct ship item.</li> <li>9. Post purchase order receipts for selling a direct ship item.</li> <li>10. Match purchase order receipts for selling a direct ship item.</li> <li>11. Post procurement transactions for selling a direct ship item.</li> <li>12. Print invoice for selling a direct ship item.</li> <li>13. Run sales update for selling a direct ship item.</li> <li>14. Post sales transactions for selling a direct ship item.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「<a href="#">Entering and Printing a Sales Quote for Selling a Direct Ship Item</a>」、319ページ</p> <p>参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「<a href="#">(Rapid Start) Releasing Sales Quote for Selling a Direct Ship Item</a>」、372ページ</p> <p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「<a href="#">Entering and Printing Blanket Order for Selling a Direct Ship Item</a>」、303ページ</p> <p>参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「<a href="#">(Rapid Start) Entering Direct Sales Order for Selling a Direct Ship Item</a>」、210ページ</p> <p>参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「<a href="#">(Rapid Start) Releasing Order Hold for Selling a Direct Ship Item</a>」、350ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">(Rapid Start) Printing Sales Order Acknowledgement for Selling a Direct Ship Item</a>」、594ページ</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「<a href="#">購買オーダーの利用</a>」、「<a href="#">(Rapid Start) Printing Purchase Order for Selling a Direct Ship Item</a>」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「<a href="#">入荷処理の利用</a>」、「<a href="#">(Rapid Start) Receiving Purchase Order for Selling a Direct Ship Item</a>」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「<a href="#">入荷処理の利用</a>」、「<a href="#">(Rapid Start) Posting Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item</a>」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「<a href="#">伝票の作成</a>」、「<a href="#">(Rapid Start) Matching Purchase Order Receipts for Selling a Direct Ship Item</a>」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「<a href="#">入荷処理の利用</a>」、「<a href="#">(Rapid Start) Posting Procurement Transactions for Selling a Direct Ship Item</a>」</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">Printing an Invoice for Selling a Direct Ship Item</a>」、595ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Running Sales Update for Selling a Direct Ship Item</a>」、665ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Posting Sales Transactions for Selling a Direct Ship Item</a>」、680ページ</p>

**(AUS and NZL) Process Sales Orders**

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Australia and New Zealand:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Process customer credit without return.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter credit order from history for customer credit without return.</li> <li>2. Print and reprint order acknowledgement for customer credit without return.</li> <li>3. Print and reprint credit memo for customer credit with and without return.</li> <li>4. Update customer sales for customer credit with and without return.</li> <li>5. Post journal entries for customer credit without return.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「<a href="#">Entering a Credit Order from History for Customer Credit Without Return</a>」、272ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">Printing and Reprinting Credit Memo for Customer Credit With and Without Return</a>」、546ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Updating Customer Sales for Customer Credit With and Without Return</a>」、642ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Posting Journal Entries for Customer Credit Without Return</a>」、678ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Australia and New Zealand:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Process customer credit with return.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter credit order from history for customer credit with return.</li> <li>2. Print and reprint credit order acknowledgement for customer credit with return.</li> <li>3. Confirm shipment for customer credit with return.</li> <li>4. Print and reprint credit memo for customer credit with and without return.</li> <li>5. Update customer sales for customer credit with and without return.</li> <li>6. Post journal entries for customer credit with return.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「<a href="#">Entering a Credit Order from History for Customer Credit with Return</a>」、272ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">Printing and Reprinting Credit Order Acknowledgement for Customer Credit With and Without Return</a>」、539ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「<a href="#">(Rapid Start) Confirming Shipment for Customer Credit With Return</a>」、476ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">Printing and Reprinting Credit Memo for Customer Credit With and Without Return</a>」、546ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">(Rapid Start AUS and NZL) Updating Customer Sales</a>」、642ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Posting Journal Entries for Customer Credit with Return</a>」、677ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Australia and New Zealand:



Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Sell from inventory.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter and print sales quote for selling from inventory.</li> <li>2. Print and reprint sales order acknowledgement.</li> <li>3. Print and reprint pick slips.</li> <li>4. Confirm shipment for selling from inventory.</li> <li>5. Print invoice automatically from ship confirm.</li> <li>6. Print and reprint invoices in batch.</li> <li>7. Update customer sales for selling from inventory.</li> <li>8. Post invoices for selling from inventory.</li> </ol>	<p>参照: <a href="#">第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Entering and Printing a Sales Quote for Selling from Inventory」</a>、334ページ</p> <p>参照: <a href="#">第 14 章、「請求書作成」、「Printing and Reprinting Sales Order Acknowledgements」</a>、559ページ</p> <p>参照: <a href="#">第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Pick Slips」</a>、442ページ</p> <p>参照: <a href="#">第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Selling from Inventory」</a>、484ページ</p> <p>参照: <a href="#">第 14 章、「請求書作成」、「Printing Invoice Automatically from Ship Confirm」</a>、566ページ</p> <p>参照: <a href="#">第 14 章、「請求書作成」、「Printing Invoices in Batch」</a>、553ページ</p> <p>参照: <a href="#">第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Updating Customer Sales for Selling from Inventory」</a>、645ページ</p> <p>参照: <a href="#">第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Posting an Invoice for Selling from Inventory」</a>、679ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Australia and New Zealand:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Process an intercompany sales order.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter order detail.</li> <li>2. Print and reprint sales order acknowledgement.</li> <li>3. Print and reprint pick slips.</li> <li>4. Confirm shipment for intercompany sales order and print invoice automatically from ship</li> <li>5. Perform customer service inquiry.</li> <li>6. Print and reprint invoices in batch.</li> <li>7. Update customer sales for intercompany sales orders.</li> <li>8. Post invoices for intercompany sales orders.</li> </ol>	<p>参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「(Rapid Start AUS and NZL) Entering Order Detail」、185 ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Printing and Reprinting Sales Order Acknowledgements」、559 ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Pick Slips」、442 ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Intercompany Sales Order」、494 ページ</p> <p>参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「(Rapid Start AUS and NZL) Performing Customer Service Inquiry」、193 ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Printing Invoices in Batch」、553 ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Updating Customer Sales for Intercompany Sales Order」、652 ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Posting Invoices for Intercompany Sales Order」、674 ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Australia and New Zealand:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Process transfer order without receipt routing.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter order detail.</li> <li>2. Print and reprint pick slips.</li> <li>3. Confirm shipment for transfer order without receipt routing.</li> <li>4. Print invoice automatically from ship confirm.</li> <li>5. Print and reprint invoices in batch.</li> <li>6. Update customer sales for transfer order without receipt routing.</li> <li>7. Post invoices for transfer order without receipt routing.</li> </ol>	<p>参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「(Rapid Start AUS and NZL) Entering Order Detail」、185ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Pick Slips」、442ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Transfer Order Without Receipt Routing」、493ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「(Rapid Start AUS and NZL) Printing Invoices Automatically from Ship Confirm」、566ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Printing Invoices in Batch」、553ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Updating Customer Sales for Transfer Order Without Receipt Routing」、649ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Posting Invoices for Transfer Order Without Receipt Routing」、673ページ</p>

### (CAN and USA) Process Sales Order

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada and the United States:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Process transfer order with receipt routing.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter transfer order with receipt routing.</li> <li>2. Confirm shipment for transfer order with receipt routing.</li> <li>3. Move and disposition transfer order with receipt routing.</li> <li>4. Match purchase order receipts transfer order with receipt routing.</li> <li>5. Print invoice for transfer order with receipt routing.</li> <li>6. Run sales update for transfer order with receipt routing.</li> <li>7. Post procurement transactions for transfer order with receipt routing.</li> <li>8. Post sales transactions for transfer order with receipt routing.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、<a href="#">「(Rapid Start CAN and USA) Entering Transfer Orders with Receipt Routing」</a>、287ページ</p> <p>参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、<a href="#">「(Rapid Start CAN and USA) Confirming Shipment for Transfer Order with Receipt Routing」</a>、489ページ</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「入荷工程」、「(Rapid Start CAN and USA) Moving and Dispositioning Transfer Order with Receipt Routing」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「伝票の作成」、「(Rapid Start CAN and USA) Matching Purchase Order Receipts for Transfer Order with Receipt Routing」</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、<a href="#">「(Rapid Start CAN and USA) Printing Invoices for Transfer Order with Receipt Routing」</a>、569ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、<a href="#">「Running Sales Update for Transfer Order with Receipt Routing」</a>、658ページ</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「入荷処理の利用」、「(Rapid Start CAN and USA) Posting Procurement Transactions for Transfer Order with Receipt Routing」</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、<a href="#">「Posting Sales Transactions for Transfer Orders with Receipt Routing」</a>、674ページ</p>

### (CAN, FRA, GBR, and USA) Process Sales Orders

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Process customer credit without return.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter credit order from history for customer credit without return.</li> <li>2. Print credit memo for customer credit without return.</li> <li>3. Run sales update for customer credit without return.</li> <li>4. Post journal entries for customer credit without return.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、<a href="#">「Entering a Credit Order from History for Customer Credit Without Return」</a>、272ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">Printing Credit Memo for Customer Credit Without Return</a>」、574ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Running Sales Update for Customer Credit Without Return</a>」、659ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Posting Journal Entries for Customer Credit Without Return</a>」、678ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Process customer credit with return.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter credit order from history for customer credit with return.</li> <li>2. Print return authorization for customer credit with return.</li> <li>3. Confirm shipment for customer credit with return.</li> <li>4. Transfer inventory for customer credit with return.</li> <li>5. Issue inventory for customer credit with return.</li> <li>6. Transfer inventory for customer credit with return.</li> <li>7. Print credit memo for customer credit with return.</li> <li>8. Run sales update for customer credit with return.</li> <li>9. Post journal entries for customer credit with return.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「<a href="#">Entering a Credit Order from History for Customer Credit with Return</a>」、272ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Return Authorizations for Customer Credit With Return</a>」、578ページ</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「在庫トランザクションの使い方」、「<a href="#">(Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Transferring Inventory for Customer Credit With Return</a>」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「在庫トランザクションの使い方」、「<a href="#">(Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Issuing Inventory for Customer Credit With Return</a>」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「在庫トランザクションの使い方」、「<a href="#">(Rapid Start AUS, CAN, FRA, GBR, NZL, and USA) Transferring Inventory for Customer Credit With Return</a>」</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「<a href="#">Printing Credit Memo for Customer Credit With Return</a>」、574ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Running Sales Update for Customer Credit With Return</a>」、663ページ</p> <p>参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「<a href="#">Posting Journal Entries for Customer Credit with Return</a>」、677ページ</p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Sell a make-to-order item.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter sales quote for selling a make-to-order item.</li> <li>2. Release sales quote for selling a make-to-order item.</li> <li>3. Enter blanket order for selling a make-to-order item.</li> <li>4. Enter, change, and cancel direct sales order for selling a make-to-order item.</li> <li>5. Release order hold for selling a make-to-order item.</li> <li>6. Print sales order acknowledgement for selling a make-to-order item.</li> <li>7. Review work order created from sales order for selling a make-to-order item.</li> <li>8. Attach parts list and routing by batch for selling a make-to-order item.</li> <li>9. Review work orders for print for selling a make-to-order item.</li> <li>10. Print work orders for selling a make-to-order item.</li> <li>11. Issue components and scrap a component manually for selling a make-to-order item.</li> </ol>	<p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item」、317ページ</p> <p>参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item」、373ページ</p> <p>参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Blanket Orders for Selling a Make-To-Order Item」、302ページ</p> <p>参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling a Make-To-Order Item」、227ページ</p> <p>参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Order Hold for Selling a Make-To-Order Item」、353ページ</p> <p>参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Printing Sales Order Acknowledgements for Selling a Make-To-Order Item」、586ページ</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「作業オーダー スケジュールおよびレート スケジュールの使い方」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Reviewing Work Order Created from Sales Order for Selling a Make-To-Order Item」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「作業オーダーとレートスケジュールの使い方」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Attaching Parts List and Routing for Selling a Make-To-Order Item」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「作業オーダーとレートスケジュールの使い方」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Work Orders for Selling a Make-To-Order Item」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「出庫、資材移動、カンパンの使い方」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Issuing Components and Recording Component Scrap Manually for Selling a Make-To-Order Item」</p>

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Sell a make-to-order item.	<p>12. Record actual manufacturing hours and quantities for selling a make-to-order item.</p> <p>13. Complete work orders for selling a make-to-order item.</p> <p>14. Print standard pick slip for selling a make-to-order item.</p> <p>15. Confirm shipment online for selling a make-to-order item.</p> <p>16. Print invoice automatically from ship confirm for selling a make-to-order item.</p> <p>17. Run sales update for selling a make-to-order item.</p> <p>18. Post sales transactions for selling a make-to-order item.</p>	<p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「作業時間と作業量の処理」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Recording Actual Manufacturing Hours and Quantities for Selling a Make-To-Order Item」</p> <p>参照: JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「完了の処理」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Completing Work Orders for Selling a Make-To-Order Item」</p> <p>参照: <a href="#">第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Standard Pick Slip for Selling a Make-To-Order Item」、437ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment Online for Selling a Make-To-Order Item」、481ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 14 章、「請求書作成」、「Printing Invoices Automatically from Ship Confirm for Selling a Make-To-Order Item」、588ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Running Sales Update for Selling a Make-To-Order Item」、664ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 16 章、「日次締め処理の実行」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Sales Transactions for Selling a Make-To-Order Item」、675ページ</a></p>

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Sales Order Management and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to Canada, France, Great Britain, and the United States:



Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Process sales orders.	Sell from inventory.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter and print sales quote for selling from inventory.</li> <li>2. Release sales quote for selling from inventory.</li> <li>3. Enter blanket orders for selling from inventory.</li> <li>4. Enter, change, and cancel direct sales order for selling from inventory.</li> <li>5. Release order hold for selling from inventory.</li> <li>6. Print sales order acknowledgement for selling from inventory.</li> <li>7. Release backorders online for selling from inventory.</li> <li>8. Print standard pick slip for selling from inventory.</li> <li>9. Confirm Shipment for selling from inventory.</li> <li>10. Print invoice automatically from ship confirm for selling from inventory.</li> <li>11. Print invoices if not printed from ship confirm.</li> <li>12. Run sales update for selling from inventory.</li> <li>13. Post invoices for selling from inventory.</li> </ol>	<p>参照: <a href="#">第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Entering and Printing a Sales Quote for Selling from Inventory」、334ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Sales Quote for Selling from Inventory」、374ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 9 章、「追加オーダーの入力」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Blanket Order for Selling from Inventory」、315ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 7 章、「受注オーダーの入力」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling from Inventory」、236ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Order Hold for Selling from Inventory」、354ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 14 章、「請求書作成」、「Printing Sales Order Acknowledgements for Selling from Inventory」、587ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR and USA) Releasing Backorders Online for Selling from Inventory」、365ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Standard Pick Slip for Selling from Inventory」、440ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 12 章、「受注オーダーの処理」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment Online for Selling from Inventory」、482ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 14 章、「請求書作成」、「Printing Invoices Automatically from Ship Confirm for Selling from Inventory」、592ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 14 章、「請求書作成」、「(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices for Selling from Inventory」、593ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Running Sales Update for Selling from Inventory」、665ページ</a></p> <p>参照: <a href="#">第 16 章、「日次締め処理の実行」、「(Rapid Start) Posting Invoices for Selling from Inventory」、679ページ</a></p>

## 受注管理の導入

このセクションでは、受注管理を導入するために必要なステップの概要を説明します。

導入プランの作成段階では、導入のガイドやトラブルシューティング情報など、提供される全ての情報を活用するようにしてください。これらのリソースの一覧は、『この PeopleBook について』のまえがきに、各リソースの最新バージョンの入手方法と共に掲載されています。

### グローバル導入ステップ

次のリストは、JD Edwards EnterpriseOne 製品のグローバル導入の推奨手順です。

手順	参照
1. グローバル ユーザー定義コードを設定します。	PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:Foundation
2. 会社、会計期間パターン、およびビジネスユニットを設定します。	
3. 自動採番を設定します。	PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:Foundation
4. 勘定科目と勘定科目表を設定します。	
5. 一般会計固定情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」、「一般会計固定情報の設定」
6. 通貨コードと為替レートなど、多通貨処理の設定をします。	
7. 元帳タイプ規則を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」、「一般会計システムの元帳タイプ規則の設定」
8. 事業所固定情報、デフォルト事業所およびプリンタ、製造および流通 AAI、伝票タイプなどの在庫情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「在庫管理システムの設定」
9. 製造現場カレンダーを設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「製造現場管理システムの設定」
10. 住所録で顧客の住所情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードの入力」
11. 事業所を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードの入力」
12. 会社別顧客マスターで顧客を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「顧客マスター情報の設定」

### 受注管理の導入ステップ

次のリストは、受注管理の推奨導入手順です。

手順	参照
1. 以下の作業を実行して、受注管理システムを設定します。 受注管理システム用のユーザー定義コード (UDC) を設定します。 固定情報を設定します。 オーダー行タイプを設定します。 オーダー処理順序定義を設定します。 AAI を設定します。	<a href="#">第 2 章、「受注管理システムの設定」、「UDC の設定」、22 ページ</a>
2. 以下の作業を実行して、オーダー処理情報を設定します。 オーダーテンプレートを設定します。 オーダー保留情報を設定します。 コミッション情報を設定します。 事業所間の原価割増しを設定します。 レコード予約を設定します。 (省略可) 任意勘定科目設定コードを定義します。 (省略可) セルフサービス情報を設定します。	<a href="#">第 3 章、「オーダー処理情報の設定」、47 ページ</a>
3. 以下の作業を実行して、顧客関連情報を設定します。 関連住所を設定します。 顧客請求指示を設定します。 日付基準顧客セットを設定します。	<a href="#">第 4 章、「顧客関連情報の設定」、73 ページ</a>
4. UCC 128 に準拠した情報を設定します。	<a href="#">第 5 章、「UCC 128 準拠の設定」、91 ページ</a>
5. 基本価格、基本価格設定構造、複合価格グループ、標準価格調整を設定します。	<a href="#">第 6 章、「基本価格設定および標準価格設定の設定」、105 ページ</a>
6. ブラジル、チリ、ペルーで受注オーダー情報を処理する場合は、それぞれの国で受注オーダーが正しく処理されるよう、それぞれの国固有の情報を設定します。 会計帳簿について国別の UDC および自動採番を設定します。 会計帳簿について開始期日と終了期日を設定します。 トランザクションの種類コードについて相互参照情報を設定します。 売上返品についてバージョンを設定します。	
7. 返品承認デフォルトおよび返品承認を設定します。	<a href="#">第 17 章、「返品承認の設定」、685 ページ</a>



## 第 2 章

# 受注管理システムの設定

この章では、受注管理のシステム構成の概要および以下の方法について説明します。

- UDC の設定
- 固定情報の設定
- 自動仕訳 (AAI) の設定
- オーダー行タイプの設定
- オーダー処理順序定義の設定

## 受注管理のシステム構成について

受注管理を使用する前に、処理に必要な情報を定義する必要があります。この情報を使用して、会社のビジネス ニーズに合ったシステム構成を行います。

次の表に情報の設定方法を説明します。

設定情報	説明
UDC	ユーザー定義コード (UDC) を設定して、オーダー処理をカスタマイズすることができます。
固定情報	<p>固定情報を設定して、次のようなデフォルト情報を提供することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• システム固定情報により、実行する機能を指定する</li><li>• バッチ制御固定情報により、アプリケーションで管理者承認およびバッチ制御が必要かどうかを指定する</li><li>• 事業所固定情報により、事業所内の日次トランザクションを制御する</li><li>• 保管場所フォーマットにより、事業所内の品目保管場所の識別方法を指定する</li><li>• 品目引当可能数量により、各事業所にある品目数量の計算方法を定義する</li></ul>
オーダー行タイプ	オーダー明細行の処理方法を指定するコードを定義できます。

設定情報	説明
オーダー処理順序定義	オーダー処理ステップの順序を設定できます。
AAI(自動仕訳)	AAIを設定して、JD Edwards EnterpriseOne 一般会計と連動する際に必要な会計情報と総勘定元帳との関係情報を JD Edwards EnterpriseOne 受注管理に提供します。

## UDC の設定

このセクションでは、受注管理に設定する各 UDC の概要について説明します。

UDC により、システムの動作をカスタマイズできます。次のコード タイプを UDC テーブルに追加します。

### 自動 TP ロールバック レベル - (00/AT)

この UDC の [特殊取扱] フィールドに値 1 を入力すると、トランザクション ワークテーブル (F41021WF) に一時的にデータが取り込まれます。このデータで保管場所品目情報テーブル (F41021) が更新され、正常にコミットメントが行われた後、トランザクション ワークテーブルからデータが削除されます。

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「トランザクション処理について」、428ページ

### 前払の状況コード (00/SP)

状況コードを使用して、前払状況を指定します。あらかじめ次の状況が定義され、ハードコード化されています。

- ブランク: 事前承認
- 01: 承認のために送信
- 02: 承認済み
- 03: 決済準備完了
- 04: 決済のために送信
- 05: 決済済み
- 06: 権限拒否/エラー
- 07: 決済拒否/エラー

### 支払手段 (00/PY)

前払処理用のトランザクションを識別するには、特殊取扱コードが割り当てられた支払手段を使用する必要があります。ここでは、まずハードコード化されている支払条件を示し、次にソフトコード化されている支払条件を示します。ハードコード化されているコードは変更しないことをお勧めします。

ハードコード化されているコード:

- X: 電子データ交換 (EDI) 手形 (AR および AP) を使用する
- Y: EDI 振込 (AR および AP) を使用する
- Z: EDI 小切手 (AR および AP) を使用する

- ? : クレジット カード払いを使用する

ソフトコード化されているコード:

- C: 小切手 - 8 3/4 (AR および AP)
- D: 請求書別手形 (AR および AP)
- N: 小切手の印刷 - ブラジル
- T: 電子資金決済 (EFT) (AR および AP)
- W: 小切手 - 8 1/2 (AR および AP)

### 00/PY の前払特殊取扱コード

前払処理は、支払手段タイプの [特殊取扱コード] カラムの値によって制御されます。つまり、支払タイプの取扱コードを設定する場合は、承認と決済サイクルを通じてトランザクションが処理されます。JD Edwards EnterpriseOne では、次の特殊取扱コードで事前定義された支払タイプがあります。

- 11: 現金払い
- 12: 小切手払い
- 13: クレジット カード払い

### 一括/見積オーダー タイプ (40/BT)

この UDC テーブルを使用して、一括オーダーおよび見積オーダーを設定するために使用されるオーダータイプを指定します。

### 手持数量リリース (40/IU)

この UDC テーブルを使用して、出荷確認 (P4205) 時にオーダー タイプの手持在庫がリリースされるかどうかを指定します。このテーブルにコードが設定されていない場合は、売上更新 (R42800) 時に手持在庫がリリースされます。

### オーダー テンプレート (40/OT)

オーダー テンプレートを作成する前に、この UDC テーブルにテンプレート名を追加しておく必要があります。このテーブルにテンプレートを追加しなかった場合、[顧客テンプレートの改訂] フォーム (P4015) を使用してテンプレートを設定することができません。

### 相互参照タイプ コード (41/DT)

この UDC テーブルを使用して、代替品目、補足品目、置換品目などのさまざまな相互参照タイプを指定します。また、顧客または仕入先の部品番号を参照するためにも使用されます。これらのコードを有効に利用するには、品目相互参照プログラム (P4104) を使用して品目の相互参照コードを入力する必要があります。

### 保留コード (42/HC)

JD Edwards EnterpriseOne では、デフォルト コード AH (承認保留) が UDC (42/HC) に設定され、承認処理に使用されます。特殊取扱コード 1 を指定して別の承認保留コードを追加できます。

---

## 固定情報の設定

このセクションでは、受注管理の固定情報の概要および以下の方法について説明します。

- 事業所固定情報の設定
- 品目引当可能数量の設定
- システム固定情報の設定
- バッチ制御固定情報の設定
- 保管場所フォーマットの設定
- 事業所内の保管場所の設定

### 受注管理の固定情報について

固定情報は、情報の処理方法を定義するために設定する情報です。固定情報は、ほとんどの EnterpriseOne システムでデフォルト情報として使用されます。システム全体で使用するデフォルト情報を定義した後、個別に適切な値を入力したり、事前定義した値を変更したりできます。

事業所固定情報により、流通/製造管理システムの各事業所で発生する日次トランザクションの処理をカスタマイズできます。

---

**注:** 倉庫管理システムを使用する場合、事業所固定情報プログラム (P41001) の [事業所保管場所の定義] フォームで倉庫情報を定義する必要があります。倉庫管理システムを使用しない場合でも、保管場所の長さ情報は定義してください。

---

### 品目引当可能数量

事業所ごとに品目引当可能数量の計算方法を定義する必要があります。品目引当可能数量は、システムによるバックオーダー、取消、顧客への配送時刻の計算方法に影響します。

---

**注:** JD Edwards EnterpriseOne コンフィギュレーション管理システムを使用している場合、コンフィギュレータ固定情報 (P3209) の [引当可能数量チェック] フィールドを設定して、受注オーダー入力中に引当可能数量をチェックする必要があります。品目とストリングが完全に一致するものが検索されると、ウィンドウに特定の構成のある保管場所が全て表示されます。

---

### システム固定情報

システム固定情報を定義して、実行する機能を決定します。たとえば、事業所が複数あり、それぞれの事業所で異なる計量単位を使用するとします。この場合、システム固定情報を設定して、計量単位を事業所別に自動換算できます。

システム固定情報は全ての事業所に適用されます。各事業所ごとに設定を変更することはできません。

### バッチ制御固定情報

権限のないユーザーが総勘定元帳を変更できないようにするには、バッチ制御固定情報を定義します。また、バッチ ジョブの実行前にバッチ制御情報の入力を要求するように指定できます。バッチ制御情報を入力して、ジョブの予測サイズと実行結果を比較できます。

使用する流通および製造管理の各システムについて、管理者承認とバッチ制御をそれぞれ定義します。



## 保管場所制御

各事業所に特定の保管場所情報を指定することができます。各事業所では、特定の品目保管場所に関する固有の情報を設定することが可能です。

保管場所制御は、事業所固定情報で有効にする JD Edwards EnterpriseOne 機能です。保管場所制御は、倉庫管理システムを使用する場合は必須ですが、その他の流通システムを使用する場合は任意です。

## 保管場所フォーマット

保管場所フォーマットを定義することで、品目保管場所の設定方法を指定できます。保管場所フォーマットの要素として、実際の保管場所の詳細な情報を定義できます。要素とは、通路、棚番、棚、事業所で使用するその他の保管場所などです。

保管場所フォーマットには、通路や棚、棚番などの要素を最高 10 個まで定義することができます。要素ごとに、以下の項目を定義できます。

- 長さ

全ての要素の長さの合計は、区切り文字を含めて 20 文字以下に制限されています。区切り文字はテーブルには保存されませんが、保管場所コードをフォームまたはレポートに表示する際に使用されます。区切り文字を使用しない場合は、区切り文字のフィールドはブランクにします。保管場所は、連続の文字列として表示されます。

- 位置揃え

- 区切り文字

JD Edwards EnterpriseOne 倉庫管理を使用している場合は、容量、寸法、重量のデフォルト計量単位も指定してください。

## 事業所の保管場所

保管場所フォーマットを定義したら、倉庫内の全ての保管場所を定義します。倉庫内に保管場所の階層を定義して、各区域に関する情報を入力しておくと、品目を簡単に検索できるようになります。

基本保管場所を定義して、倉庫内の品目に関する基本情報を保存することもできます。基本保管場所は、実際に存在する物理的な保管場所ではありません。たとえば、基本保管場所を“保管場所 A”として定義し、倉庫内の全品目を A で始まる保管場所に割り当てることができます。

また、在庫品目の基本保管場所としてブランクの保管場所を定義することもできます。基本保管場所の表示方法は、事業所に対して定義する保管場所フォーマット仕様に基づきます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 事業所の住所録レコードを作成します。
- ALL (全て) という名称の事業所を設定します。
- 事業所をビジネスユニットとして設定します。

**関連項目:**

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「仕入先の管理」、「仕入先パフォーマンス情報の管理」

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「品目および数量情報の検討」、「パフォーマンス情報の検討」

JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook、「住所録レコードの入力」

**固定情報の設定に使用するフォーム**

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[事業所固定情報の処理]	W41001B	[受注管理システム セットアップ](G4241)、[事業所固定情報]	事業所固定情報レコードを検討して選択します。
[事業所固定情報]	W41001H	[事業所固定情報の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	事業所固定情報レコードを追加して改訂します。
[品目引当可能数量の定義]	W41001G	事業所固定情報レコードを選択した後、[事業所固定情報の処理] フォームで[ロー]メニューの[引当可能数量]を選択します。	品目引当可能数量の定義を追加して改訂します。
[システム固定情報]	W41001F	[事業所固定情報の処理] フォームで、[フォーム]メニューの[システム固定情報]を選択します。	システム固定情報を追加して改訂します。
[アプリケーション固定情報]	W41001E	[事業所固定情報の処理] フォームで、[フォーム]メニューの[アプリケーション固定情報]を選択します。	バッチ制御固定情報を追加して改訂します。
[事業所保管場所の定義]	W41001A	事業所固定情報レコードを選択した後、[事業所固定情報の処理] フォームで[ロー]メニューの[保管場所定義]を選択します。	保管場所定義を追加して改訂します。
[保管場所情報の入力]	W4100B	事業所固定情報レコードを選択した後、[事業所固定情報の処理] フォームで[ロー]メニューの[保管場所]を選択します。	事業所の保管場所情報を追加して改訂します。

**事業所固定情報の設定**

[事業所固定情報] フォームにアクセスします。

事業所固定情報 - 事業所固定情報

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

事業所コード 30

住所No. 6031 Eastern Distribution Center

略式品目番号の識別記号 /

第2品目番号の識別記号

第3品目番号の識別記号 \*

顧客/仕入先の識別記号 #

セグメント品目の識別記号 @

セグメント区切り文字

引当方法 1

指定引当(日数) 999

年間日数 260

顧客相互参照コード C

仕入先相互参照コード VN

購買原価方式 02

原価計算方法(売上/在庫) 02

現行期間 6

バックオーダー許可 ☒

一般会計インターフェイス ☒

総勘定元帳への数量書込み ☐

保管場所制御 ☐

倉庫管理制御 ☐

品質制御 ☐

製品原価明細の使用 ☐

他社デモ ☐

在庫ロットの作成 ☒

保管場所セグメント制御 ☐

購買オーダー発注費用 75.00

在庫維持費 (%) 0.100

仕訳摘要の指定 1

承認経路コード DEMO

[事業所固定情報] フォーム

**[略式品目番号の識別記号]** 略式品目番号を識別する 8 文字の記号を入力します (基本番号として使用しない場合)。

基本番号として使用する場合は、このフィールドをブランクにします。その場合、このフィールドを情報の入力と確認のため頻繁に使用することになります。

基本番号として使用しない場合は、品目を識別する特殊記号を使用します。/, \*, & などの他の入力目的に影響しない記号を使用します。ピリオドやカンマは使用しないでください。この品目番号を他のフォームで入力する場合は、この記号を最初の文字として入力する必要があります。

**注:** 品目番号の記号 (SYM1、SYM2、SYM3、または SYM6) 用のフィールドは、1 つだけブランクにして、基本番号として品目を識別できるようにします。他のフィールドには全て、固有の記号を含める必要があります。

**[顧客/仕入先の識別記号]** 顧客または仕入先の番号を識別する文字を入力します。この文字から始まる番号を入力すると、顧客または仕入先の番号として認識されます。入力した番号は、相互参照テーブルに基づいて品目番号と照合されます。相互参照機能を実行する場合にはこのフィールドに値を入力してください。

**[引当方法]** 在庫からのロット品目の引当に使用される方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

1: 通常の引当方法。最初に基本保管場所、次いで 2 次保管場所、という順序で在庫が引き当てられる。

2: ロット番号による引当方法。最小のロット番号から始めて、引当可能なロットに対してオーダーを引き当てていくことで、ロット番号順に在庫が引き当てられる。

3: ロット満了日付による引当方法。失効日が最も早いロットがある保管場所から在庫が引き当てられる。引当の対象となるのは、失効日が受注オーダー日付または部品リスト要求日付以降の在庫がある保管場所のみ。

**[年間日数]**

1 年のうちで会社が営業している日数を入力します。このフィールドへの入力必須です。252 から 365 までの数値を指定してください。JD Edwards EnterpriseOne 調達管理システムでは、この数値を使用して経済的発注数量 (EOQ) を計算します。

**[購買原価方式]**

購買オーダーの品目原価の決定に使用する原価計算方法を指定する UDC (40/CM) を入力します。01 から 19 までの原価計算方法は予約済です。

**[原価計算方法 (売上/在庫)]**

品目の売上原価を計算する際の原価計算方法を示す UDC (40/CM) を入力します。01 から 19 までの原価計算方法は予約済です。

**[一般会計インターフェイス]**

この事業所で処理される在庫トランザクションで仕訳を作成する場合に選択します。

**[総勘定元帳への数量書込み]**

以下のプログラムからの仕訳を記録した後に、総勘定元帳に数量を計上するかどうかを指定します。

P31111 (作業オーダーによる在庫出庫)

P31112 (作業オーダー完了)

P31802 (作業オーダーの仕訳入力)

P4112 (在庫出庫)

P4113 (在庫移動)

P4114 (在庫調整)

P4116 (品目再分類)

P41413 (循環棚卸の更新)

P41610 (タグの更新)

R42800 (売上更新)

P4312 (入荷)

P4314 (伝票突合せ)

P415021 (操作調整の更新)

P415101 (一般倉庫内移動)

P41514 (バルク製造の損益)

R49700 (サイクル請求)

P49510 (バルク製品の積荷確認 - XT49799)

P49515 (バルク製品の積荷確認バッチ - XT49799)

P49530 (パッケージ製品の積荷確認 - XT49799)

P49572 (ラック データのアップロード - XT49799)

P49710 (バルク製品の配送確認 - XT49799)

P49711 (バルク製品の配送確認 (巡回配達) - XT49799)

P49715 (バルク製品処分 - XT49799)

P49720 (パッケージ製品の配送確認 - XT49799)

P49731 (一括確認バッチ - XT49799)

#### [保管場所制御]

保管場所マスター テーブル (F4100) の保管場所だけを使用する場合に選択します。F4100 テーブルの保管場所のみを使用する場合は、保管場所制御を使用します。[倉庫管理制御] オプションをオンにする場合は、[保管場所制御] オプションもオンにする必要があります。オプションをオフにすると、F4100 テーブル内の保管場所だけに限定されません。[事業所固定情報 (ページ 2)] フォームで定義された保管場所フォーマットに該当する全ての保管場所が使用されます。

#### [倉庫管理制御]

事業所に倉庫トランザクションが作成されるかどうかを指定します。

#### [品質制御]

事業所に品質管理システム (システム 37) を有効にするかどうかを指定します。

#### [製品原価明細の使用]

流通プログラムで合計原価を使用するのか、または明細製造原価を使用するのかを指定します。

#### [他社デポ]

事業所が他社所有であるかどうかを指定します。バルク/パッケージ製品の積荷確認プログラムでは、このコードを使用して、製品が積載されたデポが他社デポであるかどうかを識別します。他社デポの場合は、積荷確認時に有効な借入契約を入力する必要があります。

#### [在庫ロットの作成]

在庫トランザクション プログラムで新しいロット番号またはシリアル番号を作成できるかどうかを指定します。このオプションをブランクにすると、在庫トランザクション プログラムで新しいロット番号を作成することはできません。このオプションをオンにすると、在庫トランザクション プログラムで新しいロット番号を作成することができます。

#### [現行期間]

現行会計期間を識別するために、1 から 14 を入力します。この番号は、PBCO (過去期間) や PACO (未来期間) などのエラー メッセージの作成に使用されます。

#### [購買オーダー発注費用]

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理システムで経済的発注数量 (EOQ) の計算に使用する金額を入力します。この費用は、1 件の購買オーダーを発注するときの資材費、労務費、および間接費の見積になります。デフォルト値は 00 です。

次の例は、購買オーダー発注費用を使用して経済的発注数量を計算する方法を示しています。

S: 購買オーダー発注費用 = 15.0

I: 在庫維持費 = 0.09 (9%)

Y: 年間売上数量 = 3,000

C: 品目の単位原価 = 10.0

経済的発注数量 =  $((2S/I) \times (Y/C))$  の平方根

$[(2)(15) \div 0.09] \times 3,000 \div 10.0$  の平方根 = 316.23

#### [在庫維持費 (%)]

調達管理システムで経済的発注数量の計算に使用する在庫投資のパーセント値を入力します。デフォルト値は 00 です。パーセント値は小数で入力してください。

次の例は、在庫維持費 (%) を使用して経済的発注数量を計算する方法を示しています。

S: 購買オーダー発注費用 = 15.0

I: 在庫維持費 = 0.09 (9%)

Y: 年間売上数量 = 3,000

C: 品目の単位原価 = 10.0

経済的発注数量 =  $((2S/I) \times (Y/C))$  の平方根 =  $(2(15) \div 0.09) \times (3000 \div 10)$  の平方根 = 316.23

---

注: 経済的発注数量計算式の詳細については、[経済的発注数量] フィールドのフィールド ヘルプにアクセスしてください。

---

### [仕訳摘要の指定]

総勘定元帳で仕訳の 2 行目に表示されるデフォルト記述を選択する際に在庫管理システムで使用するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

1: 品目マスター記述 (デフォルト)

2: 基本品目番号

## 品目引当可能数量の設定

[品目引当可能数量の定義] フォームにアクセスします。

品目引当可能数量の計算から除外する品目を指定するには、[減算] 見出しの次のオプションをクリックします。品目引当可能数量の計算に算入する品目を指定するには、[加算] 見出しの次のオプションをクリックします。

[受注/作業オーダーのソフトコミット数量]	受注オーダーまたは作業オーダーに対してソフトコミットされた数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
[受注オーダーのハードコミット数量]	受注オーダーの特定の保管場所およびロットに対してハードコミットされた数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
[受注オーダーの先日付引当数量]	要求出荷日付が指定引当日数を超えている受注オーダーの数量を含める場合に選択します。
[作業オーダーのハードコミット数量]	作業オーダーの特定の保管場所およびロットに対してハードコミットされた数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
[その他数量 1 - 受注オーダー]	その他の減算として指定された数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
[その他数量 2 - 受注オーダー]	その他の減算としてこの数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
[保留数量]	保留数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
[安全在庫]	安全在庫として確保されている数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
[購買オーダー入荷数量]	購買オーダーの数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。

- [その他購買数量 1]**      その他の購買オーダーの数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
- [作業オーダー入荷数量]**      作業オーダーの数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
- [積送中数量]**      積送中数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
- [検収中数量]**      検収中数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。
- [作業 1 数量]**      入荷工程処理の 1 つの作業の数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。このフィールドに該当する入荷工程の作業を定義します。
- [作業 2 数量]**      入荷工程処理の 1 つの作業の数量を品目引当可能数量の計算に含める場合に選択します。このフィールドに該当する入荷工程の作業を定義します。

## システム固定情報の設定

[システム固定情報] フォームにアクセスします。

**事業所固定情報 - システム固定情報**

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

☐ 事業所別に計量単位を換算する

☒ 平均原価のリアルタイム更新

☐ エネルギー/化学システムの使用

☐ インターネットPPATメッセージ使用

☐ 科学計算法

☐ 顧客セットの使用

☐ 出荷日付規則(昇順)

重複ロットの許可: 2

販売価格の計算に使用する計量単位: 1

購買価格の計算に使用する計量単位: 2

販売価格基準日:

購買レポートのカテゴリ・コード: 3

優先スケジュール: DMDSCH

優先調整の計算に使用する計量単位:

[システム固定情報] フォーム

- [事業所別に計量単位を換算する]**      特定の事業所に品目を追加する場合に、品目固有の換算テーブルを表示する場合に選択します。このオプションをオフにすると、品目マスター テーブルの全事業所に対して、品目固有の換算テーブルが表示されます。

[平均原価のリアルタイム更新]	<p>品目の平均原価に影響するトランザクションが発生した後に新しい平均原価を計算する場合に選択します。</p> <p>平均原価に影響する全てのプロセスで平均原価ワークテーブル (F41051) にトランザクションを作成するようにする場合はオフにします。平均原価の更新プログラム (R41811) を実行すると、新しい平均原価が計算されます。</p>
[エネルギー/化学システムの使用]	バルク在庫管理を使用する場合に選択します。
[インターネット PPAT メッセージ使用]	流通プログラムで生成された電子メール メッセージを送信する場合に選択します。
[科学計算法]	<p>科学計算法を実行する場合に選択します。</p> <p>現在、この機能は品質管理システムの試験結果にのみ使用できます。</p>
[顧客セットの使用]	顧客セット機能を使用する場合に選択します。
[出荷日付規則 (昇順)]	顧客別および品目別の出荷日付規則 (昇順) が受注オーダー入力時、ピッキングリスト/引当処理時、および出荷確認時に適用する場合に選択します。出荷日付規則 (昇順) を適用すると、顧客への出荷ロットは失効日、販売期限、または有効期限の昇順で並べ替えられます。
[重複ロットの許可]	<p>同一ロットを複数の品目に割り当てるかどうかを決定する値を入力します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>1: 重複ロットを許可しない。ロットは 1 品目と 1 事業所に限定されます。</p> <p>2: 重複ロットを許可する。複数の品目と事業所を持つロットを作成できます。</p> <p>3: 重複ロットを許可しない。ロットは 1 品目に限定されますが、複数の事業所の数量を含めることができます。</p>
[販売価格の計算に使用する計量単位]	<p>受注オーダー処理、サービス/保証管理、およびシップ アンド デビット処理で基本価格と価格調整の取得に使用する計量単位を指定するコードを入力します。基本価格と価格調整は、さまざまな計量単位で定義できます。基本価格は品目基本価格テーブル (F4106) で定義し、価格調整は価格調整明細テーブル (F4072) で定義します。</p> <p>指定した計量単位で基本価格や価格調整が見つからない場合は、その品目の基本計量単位が使用されます。</p>
[購買価格の計算に使用する計量単位]	<p>購買オーダー処理で購買基本価格に使用する計量単位を示すコードを入力します。</p> <p>トランザクションや価格設定の処理で指定した計量単位のレコードが存在しない場合は、その品目の基本計量単位を使って処理が繰り返されます。</p>
[販売価格基準日]	受注見出しテーブル (F4201) と受注明細テーブル (F4211) で価格有効日付を更新する方法を指定するコードを入力します。受注管理システムでは、価格有効日付を使用して F4106 テーブルから基本価格を取得し、F4072 テーブルから価格調整を取得します。
[購買リポートのカテゴリコード]	組込比較の基準に使用されるカテゴリ コードを表す数値を入力します。
[優先スケジュール]	優先情報の決定時に使用される詳細優先スケジュールを表す UDC (40/AP) を入力します。詳細優先スケジュールによって、詳細優先情報機能で使用される優先情報が決まります。優先スケジュールは UDC で直接管理する



ことはできませんが、価格調整スケジュール プログラム (P4070) を使用して管理することができます。

**[優先調整の計算に使用する計量単位]**

受注オーダー処理中に詳細優先情報の調整を取得するために使用される計量単位を指定するコードを入力します。F4072 テーブルの詳細優先調整は、さまざまな計量単位で定義できます。

トランザクションや価格設定の処理で指定した計量単位のレコードが存在しない場合は、その品目の基本計量単位を使って処理が繰り返されます。

## バッチ制御固定情報の設定

[アプリケーション固定情報] フォームにアクセスします。

事業所固定情報 - アプリケーション固定情報

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

レコード 1-4	システム コード	記述	管理者 承認	バッチ 制御
<input checked="" type="radio"/>	31	製造現場管理	N	
<input type="radio"/>	41	在庫管理	N	N
<input type="radio"/>	42	受注管理	Y	
<input type="radio"/>	43	調達管理	N	N

[アプリケーション固定情報] フォーム

**[システム コード]**

システムを識別する UDC (98/SY) を入力します。有効値は以下のとおりです。

- 01: 住所録
- 03B: 売掛管理
- 04: 買掛管理
- 09: 一般会計
- 11: 多通貨処理

**[管理者承認]**

バッチを総勘定元帳に転記する前に承認を必須とするかどうかを示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- Y: 表示されたシステム内で作成するバッチごとに保留の状況を割り当てる。
- N: 各バッチに承認済の状況を割り当てる。

**[バッチ制御]**

バッチ制御情報の入力を必須にするかどうかを示すコードを入力します。

バッチごとにバッチ制御フォームが表示されます。このフォームでは、バッチ処理するトランザクションの伝票数と合計金額についての情報を入力します。この合計に基づいて、実際に入力したトランザクションとの差異が編集され、その結果が表示されます。このフィールドは、JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理システムと調達管理システムのみにも適用されます。在庫管理シ

システムで Y を指定すると、在庫の出庫、調整、または移動の前にバッチ制御フォームが表示されます。

調達管理システムで Y を指定すると、入荷を入力する前にバッチ制御フォームが表示されます。有効値は以下のとおりです。

Y: バッチ制御情報の入力が必要。

N: バッチ制御情報の入力は不要。

## 保管場所フォーマットの設定

[事業所保管場所の定義] フォームにアクセスします。

[事業所保管場所の定義] フォーム

### 保管場所フォーマット仕様

[保管場所フォーマット仕様] タブを選択します。

#### [区切文字]

フォームまたはレポートに表示する際に保管場所の各要素を分ける区切り文字を入力します。たとえば、保管場所コード内の通路、棚番、棚などの要素をスラッシュ (/) で区切ることができます。

保管場所コードの長さは、最大 20 文字 (区切り文字を含む) です。

区切り文字はテーブルには保存されませんが、フォームまたはレポートで保管場所を編集するのに使用されます。区切り文字を使用しない場合は、このフィールドを空白にします。

ただし、保管場所コード内の各要素の長さに合わせて文字とスペースを入力する必要があります。保管場所は、1 つの連続する文字列として表示されます。

タンク/所有者と通路/棚番の組合せは、フォームまたはレポートに表示される際に、このフィールドに入力した文字で区切られます。

通常、この区切文字にはピリオド (.) が使用されます。

- [通路]** タンク（パッケージ製品の場合は通路）を表す数値を入力します。値は 1 ～ 8 です。
- [棚番]** バルク混合在庫の所有者（パッケージ製品の場合は棚番）を表す数値を入力します。値は 1 ～ 8 です。
- [コード 3] ～ [コード 10]** 保管場所フォーマット仕様でコード 3 からコード 10 を表す数値を入力します。

## 倉庫制御

[倉庫制御] タブを選択します。

倉庫管理を使用しない場合は、[倉庫管理] タブのフィールドに値を入力しないでください。

- [組込バージョン要求]** この事業所に使用する組込規則を識別するコード (UDC 40/RV) を入力します。製造管理および倉庫管理では、次のように組込規則を使用します。
- 製造管理では、資材所要量計画 (MRP)、基準生産日程計画 (MPS)、または流通所要量計画 (DRP) を実行するために複数のバージョンのリソース規則を使用できます。
  - 倉庫管理では、貯蔵およびピッキングを実行するために複数のバージョンの組込規則を使用できます。指定した事業所の組込規則に一致するオーダー行だけが処理されます。
- [寸法計量単位]** 倉庫の寸法を表示する計量単位を識別する UDC (00/UM) を入力します。計量基準としてインチ、センチメートル、メートルなどを設定できる機能があります。
- [入荷保管場所]** 在庫を入庫する倉庫内の区域を入力します。保管場所フォーマットは事業所別にユーザーが定義します。
- [出荷保管場所]** 在庫のピッキング時や出荷のための在庫の移動時にデフォルト値として使用する保管場所を入力します。保管場所フォーマットは事業所固定情報でユーザーが定義します。

## 事業所内保管場所の設定

[保管場所情報の入力] フォームにアクセスします。

事業所の保管場所フォーマットを定義したら、事業所内保管場所を設定することができます。

- [保管場所]** 在庫を入庫する倉庫内の区域を入力します。保管場所フォーマットは事業所別にユーザーが定義します。
- 保管場所フォーマットはそれぞれの要素の他、任意で区切り文字から構成されます。
- それぞれの要素は事業所内の特定の保管場所を表します。タンクに混合在庫が含まれる場合は、[事業所固定情報 - ページ 2] フォームで定義されている区切り文字を入れ、所有者を特定します。
- このフィールドの全ての要素の長さの合計は、区切り文字を含めて 20 文字以下に制限されています。1 つのタンクの保管場所には、[事業所保管場所の定義] で通路情報を指定したフィールドに示された文字数まで使用できます。

	<p>所有者 ID には、[事業所保管場所の定義] で棚番情報を指定したフィールドに示された文字数まで使用できます。</p> <p>このフィールドを空白にし、区切り文字を使用しなかった場合、保管場所はアスタリスクとして表示されます。区切り文字を使用した場合は、各要素の所定のスペース数をあけた後、区切り文字を付けて、保管場所が表示されます。</p>
[ピッキング区域]	出荷のために品目がピッキングされる区域を識別する UDC (46/ZN) を入力します。
[貯蔵区域]	商品が貯蔵または保管される倉庫内の区域を識別する UDC (46/ZN) を入力します。
[補充区域]	ピッキング保管場所を補充 (再充填) するために品目が取得される倉庫内の区域である補充区域を識別する UDC (46/ZN) を入力します。保管場所マスターを使用して、保管場所に区域を割り当てます。
[詳細レベル]	<p>保管場所の集計または分類用のコードを入力します。指定したコードにより、レビュー用に保管場所の階層が作成されます。たとえば、通路をレベル 2 に割り当て、通路内の棚番をレベル 3 に割り当てます。</p> <p>[詳細レベル] フィールドには、保管場所の情報が表示される際の開始詳細レベルを指定します。</p>
[通路]	倉庫内の保管場所を特定するコードを入力します。このコードを棚番やロット ID と共に使用して、倉庫や在庫置き場内の特定の有形保管区域を指定します。
[棚番]	倉庫や店内の特定の保管場所を入力します。保管場所の通路と棚番により、幅、奥行、高さが明示可能な保管領域が特定されます。
[保管場所 03]	<p>次のいずれかの目的で使用されるコードを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 保管場所 ID の一部として、事業所内の特定の保管場所を識別する。</li><li>• 保管場所情報の一般レポートコードとして使用する。</li></ul>

---

## AAI の設定

このセクションでは、AAI の概要と受注管理用の AAI の設定方法について説明します。

### 受注管理の AAI について

AAI により、日次業務、勘定科目表、財務レポートをリンクします。AAI は、システムで生成された仕訳に該当する金額をどのように配賦するのか決定するために使用されます。たとえば、受注管理では、在庫品目を顧客に販売するなどのトランザクションに関連する仕訳をどのように記録するかを AAI で指定します。

流通システムでは、使用する予定の会社、トランザクション、伝票タイプ、元帳クラスの組み合わせごとに AAI を定義しておく必要があります。それぞれの AAI は、ビジネスユニット、主科目、補助科目 (任意) から成る特定の勘定科目と結合しています。

顧客請求書で税を徴収する場合、その税額を適切な勘定科目に割り当てます。消費税や使用税など特定タイプの税に対して AAI を設定する際、請求書税額の仕訳で使う勘定科目を指定します。

AAI は流通/製造 AAI テーブル (F4095) に保管されます。

## AAI の検索順序

AAI テーブルを設定しておくことで、受注オーダー トランザクションに勘定科目コードが割り当られ、そのトランザクションに関連する額が総勘定元帳に計上されます。ほとんどの場合、組織内の会社ごとに固有の勘定科目コードが設定されます。ただし、それぞれの会社で同じ勘定科目コードを共有する場合もあります。会社ごとに固有の勘定科目を設定しない場合は、デフォルト会社（会社 00000）に勘定科目情報を設定することができます。勘定科目コードは次の順序で検索されます。

1. まず、オーダー会社、オーダー タイプ、元帳転記カテゴリ コードについて一致するものがないか検索されます。
2. 一致するものが見つからなかった場合、オーダー会社、オーダー タイプ、それに元帳転記カテゴリ コードを \*\*\*\*（ワイルドカード）として一致するものがないか検索されます。
3. それでも一致するものが見つからなかった場合、会社 00000、オーダー タイプ、元帳転記カテゴリ コードについて一致するものがないか検索されます。
4. それでも一致するものが見つからなかった場合は、会社 00000、オーダー タイプ、それに元帳転記カテゴリ コードを \*\*\*\*（ワイルドカード）として一致するものがないか検索されます。
5. それでも一致するものが見つからなかった場合、AAI が設定されていないことを示すエラーがユーザーに返されます。

上記フィールド（[オーダー会社]、[オーダー タイプ]、[元帳転記カテゴリ コード]）の他に製造原価明細も使用している場合は、勘定科目の検索に [原価タイプ] も含まれます。これは、売上 AAI 4220 および 4240 に適用されます。

さらに、[任意売上勘定科目設定]（メニュー G4241）で、F4211 テーブルの他のドライバフィールドに基づいて、[ビジネスユニット]、[補助科目]、[補助元帳] の各フィールドを自由に定義することができます。

## 受注管理の AAI

次の表は、受注管理に設定する AAI をまとめたものです。

AAI	説明
売上原価 (4220)	売上原価勘定に経費金額または原価額を指定します。
繰延売上原価 (4221)	この AAI は、サイクル請求/定期請求を使用している場合に使用します。
売上原価 - 貸出品 (4222)	この AAI は、トランザクションのバルク品目に対してローン契約が有効で、サイクル請求を使用していない場合に使用します。
繰延売上原価 - 貸出品 (4223)	この AAI は、トランザクションのバルク品目に対してローン契約が有効で、サイクル請求/定期請求を使用している場合に使用します。
収益 (4230)	売上収益科目に在庫の実際の販売価格を指定します。
繰延収益 (4231)	この AAI は、サイクル請求/定期請求を使用している場合に使用します。
未請求売掛金貸方 (4232)	この AAI は、サイクル請求/定期請求を使用している場合に使用します。

AAI	説明
配賦済み収益 (4233)	“品目別の運賃割当”が輸送システムから設定(輸送運賃の更新時に決定)され、出荷の合計運賃の一部または全てが既存の受注オーダー行品目に配賦される場合に、配賦済み収益の仕訳をさらに入力するために使用されます。
在庫 (4240)	在庫勘定科目の貸方に原価額を転記します。
輸送中在庫 (4241)	この AAI は、4240 AAI の代わりに、積荷確認済みの行に使用されます。
貸出品 (4242)	この AAI は、貸出品に借入契約が設定されている(B/P 固定情報-[他社デポ]および[一般会計インターフェイス]チェックボックスをオン)バルク品目トランザクションに使用されます。
売掛金 (4245)	売掛金勘定の借方に売上金額を転記します。売掛金更新オプションが無効になっているときのみ、売掛金相殺仕訳が総勘定元帳に書き込まれます。
未払税 (4250)	売上更新の際に作成された未払税勘定に仕訳を入力します。
価格調整 (4270)	売上更新の際に作成された個々の価格調整に対して仕訳を入力します。
支払リベート (4280)	見越勘定の相殺仕訳を入力します。
シップアンドデビット (4234)	シップアンドデビット契約の影響を受ける粗利益率を調整します。

流通 AAI プログラム (P40950) の [勘定科目の改訂] フォームでは、事前に定義された各 AAI 項目と、伝票タイプ、元帳クラス、およびトランザクションにより影響を受ける勘定科目についての情報が表示されます。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「在庫管理システムの設定」、「流通システムの AAI 設定」

## 受注管理の AAI の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[AAI の処理]	W40950B	[受注管理システム セットアップ](G4241)、[AAI(自動仕訳)]	AAI テーブルを確認および選択します。
[勘定科目の改訂]	W40950D	AAI テーブルを選択した後、[AAI の処理] フォームで [ロー] メニューの [詳細] を選択します。	選択した AAI テーブルについて売掛情報を追加および改訂します。

## 受注管理の AAI の設定

[勘定科目の改訂] フォームにアクセスします。

**AAI(自動仕訳) - 勘定科目の改訂**

OK(O) 検索(I) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

AAI テーブル番号  Cost of Goods Sold

レコード 1 - 10		グリッドのカスタマイズ							
		会社	伝票タイプ	記述	元帳クラス	記述	事業所	主科目	補助科目
<input checked="" type="radio"/>		00000	CO	返品オーダー	IN30	製造完成品	30	6020	
<input type="radio"/>		00000	SD	直送	IN30	製造完成品		6020	
<input type="radio"/>		00000	SD	直送	IN99	在庫	10	6020	
<input type="radio"/>		00000	SI	事業所内売上	****		30	6020	
<input type="radio"/>		00000	SK	会社間受注オーダー	IN30	製造完成品		6020	
<input type="radio"/>		00000	SO	受注オーダー	IN30	製造完成品		6020	
<input type="radio"/>		00000	SO	受注オーダー	IN99	在庫	10	6020	
<input type="radio"/>		00000	SR	受注オーダー - 緊急	IN30	製造完成品		6020	
<input type="radio"/>		00000	SR	受注オーダー - 緊急	IN99	在庫	10	6020	
<input type="radio"/>		00000	ST	移転販売	IN30	製造完成品		6020	

[勘定科目の改訂] フォーム

## オーダー行タイプの設定

このセクションでは、オーダー行タイプの概要と設定方法について説明します。

## オーダー行タイプについて

受注または購買オーダーの明細情報を入力するときに、各品目およびサービスの数量、価格、原価を入力します。返品品目や非在庫品目、テキスト情報なども、同じ受注オーダーまたは購買オーダーに入力することができます。

各入力行は 1 行となります。行は、オーダーする品目またはサービスのオーダーに関連する情報になります。各行の処理は、行タイプに基づいて行われます。

行タイプとは、特定のオーダータイプに対して入力する各明細行の処理に使用されるコードのことです。たとえば、在庫品目に対して行タイプ S を指定することができます。システムにより、在庫の品目数量を増加させるか減少させるかが確定されます。運賃に対しては行タイプ F を指定できます。行タイプの定義に従い、その品目は非在庫品目であると確定されます。

行タイプが総勘定元帳および在庫管理システム内でどのように使用されるかを指定できます。たとえば、在庫品目の購買または販売の際に、在庫品目に行タイプを割り当てることが可能です。行タイプに指定した情報に基づいてトランザクションが記録されます。この場合、品目の原価または価格が総勘定元帳に反映されます。このトランザクション行は、在庫管理システムの品目引当可能数量にも影響します。

定義した行タイプは、流通システム全体に適用されます。たとえば、受注管理と調達管理の両システムで行タイプは同じように処理されます。

### テキスト行タイプを使用したメッセージの追加

オーダー入力中、テキスト行タイプを使用してオーダー明細行にメッセージを入力できます。たとえば、自転車などの在庫品目にオーダー明細行を入力してから、要組立てなどのテキスト用にオーダー明細行を入力することが可能です。このオーダー明細行はメッセージとして機能するようになります。行タイプ定義で指定されているため、テキスト機能で示される行タイプのオーダー明細行の情報はメモ専用です。品目フィールドの情報（入力したメッセージ）は事業所品目テーブル（F4102）に対して検証されず、このトランザクションは買掛管理や売掛管理などの他の JD Edwards EnterpriseOne システムとインターフェイスをとることもありません。

### 非在庫品目用行タイプの割当て

非在庫品目に対して行タイプを設定することで、数量の引当を行わずに、品目マスターの情報を検索することができます。[非在庫品目用品目マスターの編集] オプションで、品目マスター テーブル（F4101）と照合することで受注オーダー行の品目が検証されるかどうか制御されます。このオプションは、非在庫インターフェイスに限り使用します。

オーダーの入力時には、F4102 テーブルの品目番号と、品目原価テーブル（F4105）および品目基本価格テーブル（F4106）の原価と価格情報が検証されます。ただし、在庫引当と引当可能数量チェックは実行されません。

## オーダー行タイプの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[行タイプの処理]	W40205A	[受注管理システム セットアップ] (G4241)、[オーダー行タイプ]	オーダー行タイプレコードを確認および選択します。
[行タイプ固定情報の改訂]	W40205B	[行タイプの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	オーダー行タイプレコードを追加および改訂します。



## オーダー行タイプの設定

[行タイプ固定情報の改訂] フォームにアクセスします。

### [在庫インターフェイス]

指定した行タイプのオーダー行について在庫管理システムとどのようにインターフェイスするかを指定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

Y: この行タイプを含むアクティビティのドルまたは単価が在庫に反映されます。また、入力した品目が有効な品目になるよう編集も行われます。これがデフォルトの設定です。

A: 入力した数値が勘定科目コードとして認識されます。このコードは購買に限り使用されます。

B: 購買オーダー入力でフォーマット 4 を使用した場合に編集が行われます。

在庫テーブルの価格データは検索されますが、購買オーダーの数量は更新されません。このコードは、[一般会計インターフェイス] フィールドを [Y] (はい) に設定した場合に限り有効です。このインターフェイス コードを使用すると、予算チェックが十分な機能を果たします。

D: この行の品目は、引当可能数量や現在数量に影響を与えない在庫品目です。

N: この品目は在庫品目ではありません。

品目が F4101 に存在するかどうか確認するには、[非在庫品用品目マスターの編集] フラグと一緒に在庫インターフェイス N を使用します。

### [元帳クラス]

トランザクションの転記先の勘定の元帳クラスを識別する UDC (41/9) を入力します。クラス コードを指定しない場合には、このフィールドにアスタリスクを 4 つ (\*\*\*\*) 入力してください。

AAI を使用して、在庫管理、調達管理、および受注管理の 3 システムに自動相殺勘定のクラスを事前設定できます。次のように元帳クラス コードを割り当てることができます。

- IN20 直送オーダー
- IN60 転送オーダー
- IN80 在庫販売

1 件のトランザクションに基づいて仕訳レコードが作成されます。たとえば、在庫 1 品目を販売すると、次のような仕訳レコードが作成されます。

- 販売在庫 (借方) xxxxx.xx
- 売掛在庫販売 (貸方) xxxxx.xx
- 転記カテゴリ:IN80
- 在庫品目 (借方) xxxxx.xx
- 在庫売上原価 (貸方) xxxxx.xx

クラス コードと伝票タイプに基づいて該当する AAI が検索されます。

### [税額 1 に含める]

このオーダー行の金額が課税対象であるかどうか、課税対象の場合どの税が適用されるかを示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

	Y: この行は課税対象です。
	N: この行は課税対象ではありません。
	3~8: この行はグループ番号 (3~8) で示される税率で課税されます。グループ番号は付加価値税に使用されます。
[売上仕訳カラム]	<p>この行の 4 つのカラムのどれに売上高が適用されるかを示す値を入力します。</p> <p>有効値は以下のとおりです。</p> <p>1: カラム 1 に売上高 (存在する場合) が適用されます。</p> <p>2: カラム 2 に売上高 (存在する場合) が適用されます。</p> <p>3: カラム 3 に売上高 (存在する場合) が適用されます。</p> <p>4: カラム 4 に売上高 (存在する場合) が適用されます。</p>
[一般会計インターフェイス]	このオーダー行タイプを含むアクティビティの金額または単価を総勘定元帳に反映させる場合に、このオプションをオンにします。
[売掛管理インターフェイス]	このオーダー行タイプを含むアクティビティの金額または単価を売掛管理に反映させる場合に、このオプションをオンにします。
[買掛管理インターフェイス]	このオーダー行タイプを含むアクティビティの金額または単価を買掛管理に反映させる場合に、このオプションをオンにします。
[売上/倉庫管理インターフェイス]	このオーダーに関連する 4 連伝票の 2 番目の伝票にこのオーダー行を表示する場合に、このオプションをオンにします。たとえば、商品に求められる処分を指示する入荷情報を購買オーダーに取り込まなければならぬことがあります。このような情報はオーダーを正しく扱う上で不可欠ですが、仕入先に配送される購買オーダーには表示されません。
[テキスト行]	このオーダー行タイプの情報がテキスト情報だけであることを示す場合に、このオプションをオンにします。
[符号の反転]	行内の数量の符号を反転させる場合に、このオプションをオンにします。このコードを使用すると、クレジット メモを簡単に入力できます。
[運賃の適用]	<p>処理中に運賃の計算を実行する場合に、このオプションをオンにします。</p> <p>このオプションをオンにしなかった場合、処理中に運賃の計算は実行されません。</p>
[留保金の適用]	買掛留保の計算に品目の値を含める場合に、このオプションをオンにします。JD Edwards EnterpriseOne 調達管理と買掛管理間のインターフェイスがアクティブである場合に限り、このフィールドを使用します。
[作業オーダーの生成]	このオーダー明細行に内部作業オーダーを自動生成する場合に、このオプションをオンにします。
[現金割引の適用]	現金割引または支払条件に基づく割引の計算にトランザクションの合計金額を含める場合に、このオプションをオンにします。
[売上総利益に売上/売上原価を含める]	売上総利益の計算に売上および売上原価を含める場合に、このオプションをオンにします。
[伝票突合せ差異勘定]	伝票突合せ時に生成された差異を勘定に記帳するよう指定する場合に、このオプションをオンにします。オーダー明細行の経費勘定に差異を記帳する場合は、このオプションをオフにします。

注: このフィールドは調達管理で在庫インターフェイスが A または B の場合に使用します。

[非在庫品用品目マスターの編集]	品目マスター テーブルと照合して受注オーダー行項目を検証する場合に、このオプションをオンにします。非在庫インターフェイスと組み合わせてのみ使用します。
[受注オーダー価格の保護]	このオーダーに関連する 4 連伝票の 1 番目の伝票にこのオーダー行を表示するよう指定する場合に、このオプションをオンにします。
[購買オーダーの生成]	購買オーダーを生成する場合に、このオプションをオンにします。在庫インターフェイスが D および N の場合に使用します。
[資材出庫の呼出し]	<p>入庫機能を実行するときに資材出庫機能を有効にする場合、このオプションをオンにします。</p> <p>このオプションは、調達管理について、エンジニアリング プロジェクト管理を使用している場合に限り使用します。</p>
[入荷確認必須]	<p>購買オーダー行に入荷を要求する場合に、このオプションをオンにします。このオプションをオンにした場合、伝票突合せプロセスの前に購買オーダー行が入荷していなければなりません。このオプションをオフにした場合は、入荷を必要とせずに、購買オーダー行の突合せを行うことができます。</p>

## オーダー処理順序定義の設定

このセクションでは、オーダー処理順序定義の概要と設定方法について説明します。

### オーダー処理順序定義について

オーダー処理でオーダー行の処理を進めるには、オーダー処理順序定義を作成する必要があります。オーダー処理順序定義はオーダー情報の処理ステップの順序を確立する際に使用されます。

オーダー タイプと行タイプの組合せに対して設定したオーダー処理順序定義を基にオーダー行が処理されます。たとえば、受注オーダーで在庫行タイプのオーダー処理順序定義を次のように設定できます。

- オーダー入力
- ピッキング リストの印刷
- 出荷確認

購買オーダーの在庫行タイプに対しては、オーダー処理順序定義を次のように設定できます。

- オーダー入力
- オーダー承認
- 印刷

オーダー処理の各ステップに対して状況コードを割り当ててください。状況コードは、オーダー行の現行状況を識別するために使用する番号です。オーダー処理が次にどのステップに進むかを決定する「次の状況」コードも識別する必要があります。状況コードは、昇順に配列し、ステップの順序が確定されるようにしてください。

オーダー処理順序定義で、ステップの進行を変更したり代替ステップを含めることができます。たとえば、受注オーダーで非在庫品目に対するオーダー処理順序定義を設定して、ピッキングリストの印刷を省略し、オーダー行を出荷確認に進めることができます。

受注オーダー処理および購買オーダー処理のどの段階で、総勘定元帳にレコードを書き込むかを指定できます。

オーダー処理では次のような目的でオーダー処理順序定義を使用できます。

- オーダー状況を検索する
- バッチ処理するオーダーを選択する
- オーダーの現行状況に基づいてレポートを作成する

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 状況コードが UDC テーブル 40/AT に設定されていることを確認してください。
- UDC テーブル 00/DT でオーダータイプが設定されていることを確認してください。
- オーダー行タイプが設定されていることを確認してください。

参照: 第 2 章、「受注管理システムの設定」、「オーダー行タイプの設定」、39 ページ

## オーダー処理順序定義の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー処理順序定義の処理]	W40204B	[受注管理システム セットアップ] (G4241)、[オーダー処理順序定義]	オーダー処理順序定義レコードを確認および選択します。
[オーダー処理順序定義の改訂]	W40204A	[オーダー処理順序定義の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	オーダー処理順序定義レコードを追加および改訂します。

## オーダー処理順序定義の設定

[オーダー処理順序定義の改訂] フォームにアクセスします。

オーダー処理順序定義 - オーダー処理順序定義の改訂

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ツール(T)

オーダータイプ: C4 返品オーダー - 輸送 使用する自動採番: 5  
 行タイプ: C Credit

レコード 1 - 9 グリッドのカスタマイズ

	前の状況	前の状況記述	次の状況	他 1	他 2	他 3	他 4	他 5	履歴 (Y/N)
<input checked="" type="radio"/>	520	Enter Sales Order	527	560	575	580	620		N
<input type="radio"/>	527	Approve Shipment/Load	560						N
<input type="radio"/>	560	Shipment Confirmation	575	573	580	620			N
<input type="radio"/>	573	Delivery Confirm	575	580	620				N
<input type="radio"/>	575	Billable Freight	580						N
<input type="radio"/>	580	Print Invoices	620						N
<input type="radio"/>	620	Sales Journal/Update	999						N
<input type="radio"/>	999	Complete - Ready to Purge							N
<input type="radio"/>									

[オーダー処理順序定義の改訂] フォーム

## [オーダー タイプ]

伝票のタイプを識別する UDC (00/DT) を入力します。このコードはトランザクションのソースも指定します。伝票、請求書、入荷確認書、およびタイムシートの伝票タイプコードは予約されていて、転記プログラムの実行時に自動相殺仕訳が作成されます。(初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。)

次の伝票タイプが定義され、変更することはできません。

P: 買掛伝票

R: 売掛伝票

T: 給与計算伝票

I: 在庫伝票

O: 購買オーダー処理伝票

J: 一般会計/共有利息請求伝票

S: 受注オーダー処理伝票

## [使用する自動採番]

このオーダー タイプでオーダー番号を作成するときに使用する自動採番を指定するコードを入力します。使用できる自動採番は 10 個あります。

このフィールドには、次のように指定します。

- 入札要求と購買オーダーとは異なるオーダー番号の購買要求
- 標準の受注オーダーとは異なる番号範囲の一括受注オーダー

## [その他 1]

(省略可) オーダー処理の次のステップとして実行できる状況を示す番号を入力します。これは次のステップとして優先されたり期待されたりするものではないものの、一時変更が許容されるフィールドです。期待される次の状況か使用可能状況いずれかとして定義されていないオーダー行ステッ

プまたは状況を開始することはできません。これ以外の使用可能状況コードでは、処理ステップが省略されます。このようなコードは、処理オプションで一時変更用「次の状況」コードと呼ばれます。

**[履歴 (Y/N)]**

販売履歴明細テーブル (F42199) にレコードを書き込む値を入力します。有効値は以下のとおりです。

Y: 選択されたフィールドのレコードを履歴テーブルに書き込みます。

N: 履歴テーブルにレコードを書き込みません。

## 第 3 章

# オーダー処理情報の設定

この章では、オーダー処理情報の概要と、以下の方法について説明します。

- コミッション情報の設定
- 事業所間の原価割増しの設定
- 任意勘定科目設定コードの定義
- レコード予約の設定
- オーダー テンプレートの設定
- オーダー保留情報の設定
- 受注管理システムのセルフサービス情報の設定

---

## オーダー処理情報について

オーダー情報を処理するには、オーダーの処理に使用する方法およびデータをあらかじめ定義しておく必要があります。データ処理を開始する前に設定するオーダー情報としては、次のようなものがあります。

- コミッション情報

コミッション固定情報を使用することで、異なるオーダー タイプについてコミッション金額を計算するために使用するレート、基準、条件を指定できます。それぞれのニーズに合わせてコミッション情報を設定できます。

さらに、顧客への販売に寄与した販売担当グループにコミッション金額を配賦するように販売グループを設定することができます。販売グループの各メンバーごとにコミッション情報を定義できます。

- 事業所間の原価割増し

事業所間の原価割増しは、事業所間受注オーダーと関連する追加原価の設定に使用します。たとえば、販売場所とそのオーダー入力および出荷場所が異なり、オーダー入力および出荷が中央供給倉庫などで行われる場合、この中央供給倉庫から顧客に直接オーダーを出荷することができます。

- 任意勘定科目設定コード

任意勘定科目設定コードにより、それぞれのニーズに合わせ、勘定科目コードの各セグメントをカスタマイズできます。たとえば、販売担当者、事業所、販売区域、その他の住所録カテゴリ コードなどの情報を含むフォーマットを使用することができます。あるいは、受注明細や総勘定科目で品目や顧客をトラッキングする方法を基にした任意勘定科目設定コードの構造を設定することも可能です。

- レコード予約

レコード予約機能により、受注オーダー明細テーブルに含まれる受注オーダーの明細行を同時に 1 人のユーザーだけしか更新できないようにすることができます。1 人のユーザーが明細行の更新を終えた時点で、別のユーザーがこの明細行にアクセスし情報の更新を続けることができるようになります。レコード予約により、データの整合性が保証されます。

- オーダー テンプレート

オーダー入力処理のスピード化を図るために、オーダー テンプレートを作成して割り当てます。テンプレートには、頻繁に発注される品目の情報が含まれます。全顧客に使用される標準テンプレートを作成することも、顧客固有のテンプレートを作成することもできます。また、販売履歴に基づくオーダー テンプレートを作成したり、既存のテンプレートを販売動向に基づいて更新することも可能です。

- オーダー保留情報

オーダーを保留にする条件を定義し、それを保留コードに添付することができます。たとえば、最小オーダー値や最大オーダー値を定義することができます。オーダー総額がこの範囲にない場合は、そのオーダーに保留コードが割り当てられ、オーダーは保留となり、その後の処理が中止されます。粗利益および与信保留を定義することもできます。この情報に基づいて、オーダーまたはオーダー行が粗利益の基準を満たさない場合または顧客の与信限度額を超えた場合にオーダーが保留になります。

- セルフサービス情報

顧客や仕入先自身が情報を確認および更新できるように、情報を設定しておきます。顧客や仕入先のプロファイルを設定し、顧客や仕入先に対してその顧客や仕入先が使用できるプログラムだけしかアクセスできないように制限することができます。

また、製品階層を設定しておけば、グループおよび階層別に製品を表示できます。製品グループおよび階層に品目を割り当てることにより、顧客は在庫リスト全体を参照しなくても済みます。

---

## レコード予約について

毎日大量の受注オーダーがあり、さまざまなプログラムを使用して受注オーダーを効率的に処理している場合は、受注オーダーが入力された後にユーザーのアクセスを制限してデータの整合性を保持しようとする場合があります。同時に複数のユーザーがデータを更新すると、データが不正確になる場合があります。

JD Edwards EnterpriseOne ではレコード予約機能が提供され、この機能を有効にした場合、F4211 テーブルに含まれる個々のレコードを同時に 1 人のユーザーだけしか更新できないようにすることができます。1 人のユーザーがレコードの更新を終えた時点で、別のユーザーが然るべきプログラムにアクセスし情報の更新を続けることができるようになります。

レコード予約の UDC テーブル (00/RR) にアクセスし、[特殊取扱] フィールドに「1」を入力すると、特定のプログラムに対してレコード予約を有効にできます。

次の受注管理プログラムでレコード予約を有効にできます。

- 受注オーダー入力 (P4210 および P42101)
- 出荷確認 (P4205)
- バックオーダー リリース (P42117)
- バックオーダー リリース/レポート (R42118)
- ピッキング リストの印刷 (R42520)
- 在庫引当 (R42997)
- 一括ピッキング リスト (R42521)



- 保管場所別ピッキング リスト (R42522)

---

## コミッション情報の設定

このセクションでは、コミッション固定情報、コミッション情報、コミッション割当の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- コミッション固定情報の設定
- 販売グループの設定

### コミッション固定情報について

コミッション固定情報は、従業員固有のコミッション情報の他に、コミッション金額の計算に使用される情報を定義するために使用します。個々の販売担当者、販売グループ、またはグループ内の複数の販売担当者のコミッション金額を計算する前に、追加の情報を組み込むことができます。コミッション率の計算前に、オーダー タイプや固定費、有効日付などの追加のコミッション情報がオーダー情報と比較されます。また、オーダー タイプ別に異なるコミッション率を指定することもできます。たとえば、販売担当者が受注オーダーに対して 5%、直送オーダーに対して 2%、一括オーダーに対して 7% のコミッションを受け取るように設定することが可能です。

有効期間中に適用される変数の使用により、一定期間にのみ適用されるコミッション率を指定することもできます。たとえば、販売見習いが、トレーニング期間中に受注オーダー金額合計に対して 7% のコミッションを受け取るように指定できます。この期間中のオーダー総額が最小粗利益額に満たないと、コミッションは計算されません。オーダーがコミッションの対象となる場合には、コミッション率の計算前に固定費を差し引いてください。トレーニング終了後、販売担当者は、全オーダーから固定費を差し引いた粗利益に対して 5% のコミッションを受け取ります。将来のコミッション率の変更に備えて、複数のコミッション率を入力することも可能です。

コミッション率を入力する代わりに、コミッション金額を請求金額、原価、総額に入力できます。

追加情報を、販売グループまたはグループ内の販売担当者に割り当てることができます。グループに対する追加のコミッション情報を指定するには、グループ コードに対して追加情報を割り当ててください。たとえば、コミッションの計算前に、そのグループが割り当てられた最小粗利益をあげる必要があると指定できます。グループ内の販売担当者用の追加コミッション情報を計算するには、追加情報を各販売担当者番号に割り当てることが可能です。

コミッション固定情報を設定したら、削除できません。ただし、失効日は変更できます。

受注オーダー固定情報 (P42460) を使用して、販売先/出荷先デフォルトを設定する必要があります。これによって、顧客番号がオーダー入力フォームの [販売先]、[出荷先]、またはその両方のフィールドにあるかどうかに基づいて、その販売担当者がコミッションを受け取るかどうかが決まります。

### コミッション情報について

受注管理システムでコミッション情報を定義するには、1 つまたは複数の販売担当者または販売グループ、コミッション率、顧客、オーダー タイプを関連付ける必要があります。

コミッション情報は、会社の販売環境に合わせて設定することができます。各顧客に 1 つまたは複数の販売担当者または販売グループを割り当てることができます。顧客番号がオーダー入力フォームの [販売先]、[出荷先]、またはその両方のフィールドにあるかどうかに基づいて、販売担当者はコミッションを受け取ることができます。オーダーを入力し顧客売上の更新を行うと、その販売担当者の住所番号または販売グループに属する各販売担当者の住所番号に計算されたコミッション金額が適用されます。売上更新の後には、コミッション情報を検討して販売担当者が正確な金額を受け取ったかどうかを確認することができます。

---

**注:** 顧客が受け取るコミッションを [販売先] と [出荷先] の両フィールドに基づいて決めるよう受注オーダー固定情報を設定し、[販売先] フィールドと [出荷先] フィールドに同じ顧客番号を入力した場合、販売担当者は 2 倍のコミッションを受け取ります。

---

顧客への販売に寄与した 2 人以上の販売担当者にコミッションを配賦するように販売グループを設定することができます。たとえば、販売グループが販売責任者、担当者、販売アシスタントから構成されている場合は、3 人に販売担当者を表すグループコードを割り当てます。販売グループは、顧客のオーダーを担当する販売担当者を識別し、複数のコミッション率を管理するのに役立ちます。

コミッション率は、会社のコミッション支払方針に基づいて設定することができます。コミッションの配賦は、単一の固定コミッション率または複数の変動コミッション率を入力して行います。固定コミッション率を設定すると、コミッションを生成するオーダー タイプ全てに同じ率が適用されます。

各販売担当者に対して変動コミッション率を設定することもできます。コミッションの計算の前に、有効日付やオーダー タイプ、固定費や最小金額などの変数が組み込まれます。たとえば、一括オーダーのコミッション率と他の受注オーダーのコミッション率が違う場合があります。あるいは、コミッションの計算の前に固定費をオーダーから差し引く場合があります。

1 つまたは複数の販売グループを顧客に割り当てると、固定コミッション率のコミッションを配賦することができます。グループ内の各販売担当者に同じコミッション率を配賦するように固定率を設定することが可能です。

グループに対して単一の固定コミッション率を設定したり、販売グループ内の販売担当者に対して複数の変動コミッション率を設定することもできます。グループ内でコミッション率が異なる場合は、各販売担当者に対して個別のコミッション率を設定することが可能です。たとえば、管理者のコミッション率を販売アシスタントの率よりも高くすることができます。

## コミッション割当について

コミッション情報は、会社の販売環境に合わせて設定することができます。各顧客に 1 つまたは複数の販売担当者または販売グループを割り当てることができます。顧客番号がオーダー入力フォームの [販売先]、[出荷先]、またはその両方のフィールドにあるかどうかに基づいて、販売担当者はコミッションを受け取ることができます。オーダーを入力し顧客売上の更新を行うと、各販売担当者の住所番号または販売グループに属する各販売担当者の住所番号に計算されたコミッション額が適用されます。

受注オーダーを入力する際、優先情報を使用しているかどうかを基にコミッション情報が処理されます。優先情報を使用していないと、受注明細コミッション テーブル (F42160) のコミッション情報が取り込まれます。このテーブルでは、受注オーダー見出しコミッション情報 (F42150) および顧客マスター コミッション情報 (F42140) の各テーブルの情報が使用されます。また、受注オーダー見出しにコミッション情報を入力することもできます。

基本優先情報を使用した場合は、F42160 テーブルのコミッション情報が取り込まれます。このテーブルでは、優先プロファイル - 販売コミッション テーブル (F40344) の情報が表示されます。F40344 テーブルにコミッション情報がないと、F42150 テーブルのデフォルトのコミッション情報が取り込まれます。上級優先情報を使用してコミッション情報を取り込むこともできます。

コミッション率は、会社のコミッション支払方針に基づいて設定することができます。コミッションの配賦は、単一の固定コミッション率または複数の変動コミッション率を入力して行います。

固定コミッション率を設定すると、オーダー全てに同じ率が適用されます。販売担当者のグループを顧客に割り当てると、固定コミッション率のコミッションを配賦することができます。ただし、グループに対する顧客請求指示で固定コミッション率を割り当てると、コミッション金額がグループ番号に配賦されます。事業所などに対してコミッションを配賦する場合に、このオプションが使用できます。固定コミッション率がグループ内の販売担当者間で自動的に分割されることはありません。

顧客マスター レコードで固定コミッション率を割り当てると、オーダー合計に基づいてコミッション金額が計算されます。

変動コミッション率を計算したり追加のコミッション情報を設定する場合には、顧客マスター レコードで販売担当者にコミッション率を割り当てることはできません。グループ内の販売担当者に対して同じコミッション率を配賦する場合には、各販売担当者に対するコミッション率を指定してください。

### 関連項目:

第 4 章、「顧客関連情報の設定」、「顧客請求指示の設定」、78ページ

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- UDC テーブル (42/RS) に販売担当者グループ用のコードが設定されていることを確認します。
- 顧客マスターで、各顧客に対するコミッション率コードがブランクになっていることを確認します。
- UDC 42B/CD を設定して、[販売先]、[出荷先]、またはその両方のフィールドの顧客番号に基づいて、オーダー入力時にコミッションを配賦するよう指定します。
- 受注オーダー固定情報で販売先/出荷先デフォルトを設定します。  
受注オーダー固定情報にアクセスするには、略式コマンドで「P42460」と入力します。
- 販売担当者全員の住所番号が存在するかどうかを確認します。
- 売上更新プログラム (R42800) の処理オプションが、コミッション情報を更新するように設定されていることを確認します。

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新」、626ページ

## コミッション情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[コミッション固定情報の処理]	W42110E	[コミッション/ロイヤリティ管理] (G4223)、[コミッション/ロイヤリティ固定情報]	コミッション固定情報レコードを確認および選択します。
[コミッション固定情報の改訂]	W42110D	[コミッション固定情報の処理] で [追加] をクリックします。	コミッション固定情報レコードを追加および改訂します。
[関連販売担当者の処理]	W42100F	[コミッション/ロイヤリティ管理] (G4223)、[コミッション/ロイヤリティ関連販売担当者]	関連販売担当者レコードを確認および選択します。
[関連販売担当者の改訂]	W42100E	[関連販売担当者の処理] で [追加] をクリックします。	関連販売担当者レコードを追加および改訂します。

## コミッション固定情報の設定

[コミッション固定情報の改訂] フォームにアクセスします。

コミッション/ロイヤリティ固定情報 - コミッション固定情報の改訂

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

コミッション No. 6001

レコード 1-3 グリッドのカスタマイズ

	コミッション * 計算タイプ	有効開始日付	有効終了日付	オーダー * タイプ	係数	固定費用	粗利益の条件額	コミッション率
<input checked="" type="radio"/>	I	1998/10/16	2020/12/31	S4				
<input type="radio"/>	I	1997/10/23	2010/12/31	SO			25.0000	
<input type="radio"/>								

[コミッション固定情報の改訂] フォーム

**[コミッション No.]** コミッション固定情報を設定する担当者の住所番号を入力します。

**[コミッション計算タイプ]** 請求金額または粗利益額を使用してコミッションを計算するかどうかを指定するコードを入力します。どの品目を使用するかどうかに関係なく、コミッション計算の開始点として金額を考慮し、係数、固定費、最小粗利益率などを適用してください。

**[係数]** 製造原価の乗数として使用する係数を入力します。

**[固定費用]** オーダーごとの処理間接費の金額を入力します。

**[最小粗利益額 (\$)]** オーダーに基づく最小粗利益額を入力します。粗利益額が最低限この金額に満たない場合、そのオーダーはコミッションの適用対象外となります。

**[コミッション (%)]** 販売担当者へ支払われるオーダー売上金額の率を入力します。

**[定額コミッション]**

コミッション金額を指定する値を入力します。コミッション率に代わり、定額コミッションを入力します。請求書、粗利益額、原価と突き合わせてコミッション金額を計算するには、1 個あたりの金額を入力する必要があります。

**[1 個あたりの金額]**

品目 1 個あたりの金額を入力します。

**[カテゴリ コード]**

住所録で住所に割り当てることができる 30 のレポート コードの 1 つを入力します。これらのコードは、各種レポートや宛名ラベルの作成用などに住所録レコードをグループ化するために使用します。カテゴリ コードは、ユーザー定義コード (システム 01、タイプ 01 ~ 30) です。以下は、使用するユーザー定義コードの例です。

- カテゴリ コード 01
- 保管場所または事業所
- カテゴリ コード 02
- 販売担当者
- カテゴリ コード 03
- 製品
- カテゴリ コード 04
- 信用調査係

**[地域]**

住所録で住所に割り当てることができる 30 のレポート コードの 1 つを入力します。これらのコードは、各種レポートや宛名ラベルの作成用などに住所を識別するために使用します。カテゴリ コードは、ユーザー定義コード (システム 01、タイプ 01 ~ 30) です。以下は、使用するユーザー定義コードの例です。

- カテゴリ コード 01 - 保管場所または事業所
- カテゴリ コード 02 - 販売担当者
- カテゴリ コード 03 - 新規テナント
- カテゴリ コード 04 - 信用調査係

**[貨物取扱コード]**

仕入先の出荷貨物が納入される方法を指定する UDC (42/FR) を入力します。たとえば、仕入先がドックまで出荷貨物を納入してくることもあれば、仕入先のドックで出荷貨物を受け取ることもできます。また、このコードを使用して、だれが運賃を支払うのかを指定することもできます。たとえば、仕入先の倉庫から商品が搬出された時点で商品の法的な所有権が顧客に移り、出荷先までの輸送料金は顧客が支払うというようなコードを設定することができます。

## 販売グループの設定

[関連販売担当者の改訂] フォームにアクセスします。

「関連販売担当者の改訂」フォーム

複数の販売担当者を対象としたコミッションを作成するために、1つのオーダー行に個人または部署/部門(ロイヤリティの場合)を関連付けることができます。このような場合、関連販売担当者ファイルで、特定の販売担当者ではなく、複数の販売担当者を表す売上/コミッション/コミッション受取人 No. を設定します。顧客の請求指示レコードまたは受注オーダー入力時にこのコードが挿入され、オーダー処理サイクルの然るべき時点で複数のコミッションレコードが作成されます(関連販売担当者ごとにレコードが1つずつ)。1人の販売担当者に対して複数の率を適用できます。

指定されたグループで、売上の率が 100 % になる必要はありません。

Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

## 事業所間の原価割増しについて

事業所間の原価割増しは、事業所間受注オーダーと関連する追加原価の設定に使用します。事業所間受注オーダーの入力は、オーダーを入力した事業所とは異なる事業所から受注オーダーを充当する際に行います。たとえば、販売場所とそのオーダー入力および出荷場所が異なり、オーダー入力および出荷が中央供給倉庫などで行われる場合、この中央供給倉庫から顧客に直接オーダーを出荷することができます。

追加費用を事業所間売上に適用できます。事業所間移動による原価割増しプログラム (P3403) で設定する追加の原価は、基本価格に加えてその事業所が請求する、追加の割増額になります。

事業所間移動による原価割増しプログラムを使用して、事業所間受注オーダーの割増金額を設定できます。販売事業所と供給事業所の関係も定義できます。たとえば、中央供給倉庫の視点から事業所間の原価割増しテーブルを設定する場合、発注元の全ての保管場所に請求する金額を定義します。

品目または品目グループに特定の割増金額を設定することもできます。たとえば、割増金額のある品目を含むオーダーを充当する際にはその品目の割増額が必ずオーダー合計に追加されます。または特定のグループからの品目を含むオーダーを充当する際には、グループの割増金額が必ず追加されます。品目と、その品目を含むグループの両方に対して割増を設定することはできません。




## 事業所間の原価割増しの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[事業所間移動による割増しの処理]	W3403C	[受注管理システム セットアップ] (G4241)、[事業所間の原価割増し]	事業所間移動による割増しレコードを確認および選択します。
[事業所間移動による割増しの改訂]	W3403A	改訂する事業所を選択して、[事業所間移動による割増しの改訂] で [OK] をクリックします。	事業所間移動による割増しレコードを追加および改訂します。




## 事業所間の原価割増しの設定


[事業所間移動による割増しの改訂] フォームにアクセスします。

**事業所間の原価割増し - 事業所間移動による割増しの改訂**

移動元事業所
Eastern Distribution Center

**レコード 1 - 4**
**グリッドのカスタマイズ**




		移動元事業所	移動先事業所	カテゴリコード	品目 No.	有効開始日付	有効終了日付	割増し %
<input checked="" type="radio"/>		30	10			1997/03/26	2010/12/31	10.00
<input type="radio"/>		30	20			1997/03/26	2010/12/31	10.00
<input type="radio"/>		30	40			1997/03/26	2010/12/31	10.00
<input type="radio"/>								

[事業所間移動による割増しの改訂] フォーム

[移動元事業所]	<p>原価のトラッキング対象となる個々の事業単位を表す英数字のコードを入力します。たとえば、倉庫保管場所、ジョブ、プロジェクト、ワーク センター、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。</p> <p>ビジネスユニットを伝票、会社、または個人に割り当て、さまざまなレポートを作成することができます。たとえば、ビジネスユニット別の未決済買掛金/売掛金レポートを作成して、管轄部門ごとの支払/入金予定を把握することができます。</p> <p>ビジネスユニットにセキュリティを設定すると、権限のないユーザーにはビジネスユニットに関する情報が表示されません。</p>
[移動先事業所]	<p>利益センター、部署、倉庫保管場所、ジョブ、プロジェクト、ワーク センターなど、管理レポートの作成に必要な会計単位を入力します。</p>
[有効開始日付]	<p>事業所間移動による割増しが有効になる時点を示す日付を入力します。デフォルトは現在のシステム日付です。将来予定されている変更に合わせて将来の有効日付を入力することができます。</p>
[有効終了日付]	<p>事業所間移動による割増しが無効になる時点を示す日付を入力します。デフォルトの日付は、データ辞書で [変換世紀年] フィールドに定義されているデフォルト年度の 12 月 31 日です。将来予定されている変更に合わせて将来の有効日付を入力することができます。</p>
[割増し %]	<p>ある事業所から別の事業所に品目が転送される際に原価に割増しされるパーセントを入力します。</p>

---

## 任意勘定科目設定コードの定義

このセクションでは、任意勘定科目設定コードの概要、事前設定、および任意勘定科目設定コードの定義方法について説明します。

### 任意勘定科目設定コードについて

任意売上勘定科目の設定を使って、勘定科目表の勘定科目コード用に任意形式を作成します。任意勘定科目設定コードでは、JD Edwards EnterpriseOne フォーマットを使用し、これは次の 3 つのセグメントから構成されます。

- ビジネスユニット
- 主科目
- 補助科目

勘定科目コードは、ビジネスユニット.主科目.補助科目として表示されます。任意形式なので勘定科目コードの各セグメントをカスタマイズできます。

たとえば、販売担当者、事業所、販売区域、その他の住所録カテゴリ コードなど、より詳しい情報を含むフォーマットを使用することができます。あるいは、受注明細や総勘定科目で品目や顧客をトラッキングする方法を基にした任意勘定科目設定コードの構造を設定することも可能です。

標準的な勘定科目構造は、次のセグメントでフォーマットされます。

- ビジネスユニット
- 主科目



- 補助科目
- 補助元帳

任意形式勘定科目も同様のセグメントを使用しています。セグメント全体の長さは 34 文字以下である必要があります。任意形式勘定科目の各セグメントには文字数の制限があります。

- ビジネスユニット: 12 文字
- 主科目: 6 文字
- 補助科目: 8 文字
- 補助元帳: 8 文字

任意勘定科目設定コードを作成するには、これらのセグメントを 1 つ以上定義します。各フィールドは、UDC テーブル 40/DI でハードコード化されています。[任意売上勘定科目の設定] で、有効なフィールドを表示することができます。そのためには、1 つ以上の情報を各セグメントに関連させます。各情報は 1 つのフィールドに関連付けられ、テーブルに保管されます。テーブルは各アプリケーションで異なります。

セグメントと各情報を関連付けるには、テーブルの各フィールドに対応するデータ項目名またはエイリアスを把握している必要があります。

---

**注:** これらのテーブルに含まれていないフィールドを使用するには、カスタム プログラミングを行う必要があります。

主科目セグメントを定義することはできません。AAI（自動仕訳）で主科目を定義しなければなりません。

補助元帳勘定科目はオンラインでは表示されませんが、取引明細テーブル (F0911) に保管されています。

売上更新プログラムの処理オプションで、任意売上勘定科目の設定を有効にします。

---

任意勘定科目設定コードを作成する前に、次の事項を考慮してください。

- 一貫した勘定科目構造の使用

組織内の全ての会社と全てのビジネスユニットに同じ勘定科目構造を使用してください。これは、複数会社の連結処理と自動会社間決済に必要なことです。

JD Edwards EnterpriseOne 財務管理システムの任意勘定科目設定を使用する場合、流通用の任意勘定科目の設定で定義するビジネスユニットおよび補助科目の文字数は、会計用の任意勘定科目の設定で定義するビジネスユニットおよび補助科目の文字数と同じにしてください。

- 勘定科目ごとに 1 つの補助元帳の定義

補助元帳タイプは各勘定科目ごとに 1 つしか定義できません。任意勘定科目を設定して補助元帳をどのように使用するか指定する前に勘定科目構造の検討を行うことが大切です。

### 例:任意勘定科目コード

ある製薬会社は、製品を全国各地の病院や薬局に販売しています。この会社はまた、処方せん薬品以外の製品も小売店に販売しています。

この会社では、販売動向を国内の各地域、病院と小売薬局、薬局（処方）と小売（処方薬以外）別にトラッキングしています。この 3 種のカテゴリを様々に組み合わせた勘定科目を利用して、売上、売上原価、在庫費用などを整理し、販売情報のトラッキングを行うことができます。

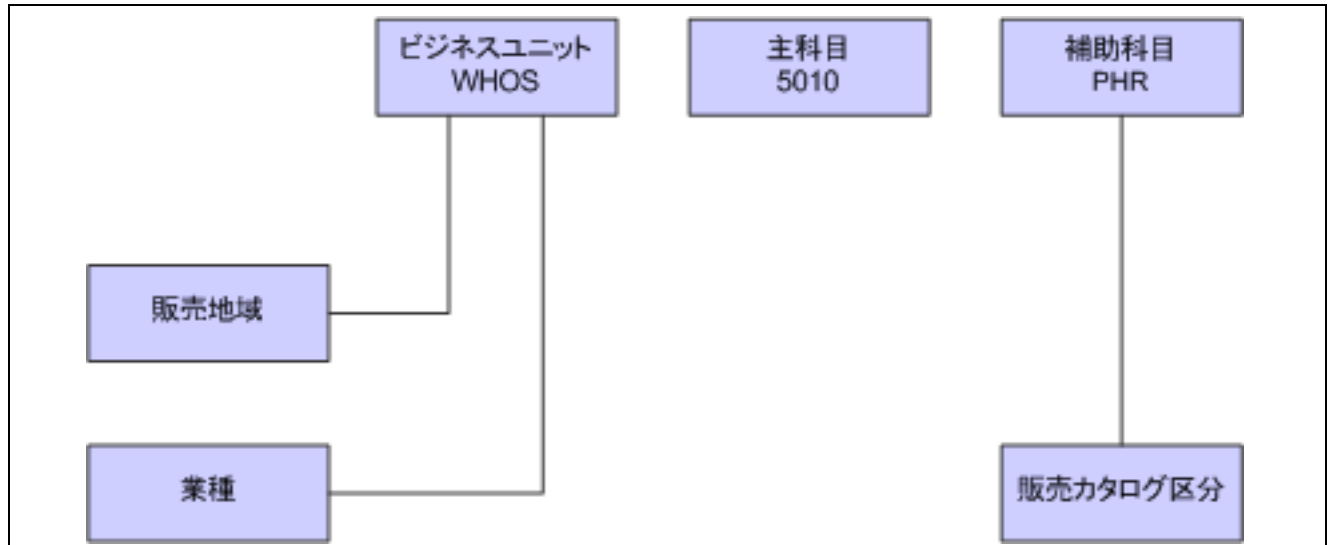
任意勘定科目設定コードは次のように定義できます。

- ビジネスユニットを 2 つのセグメントに分ける
  - 販売地域などの住所録カテゴリ コード（たとえば、W は西部）

- 業種などの住所録カテゴリコード（たとえば、HOS は病院、RET は小売）
- 5010 などの AAI の総勘定元帳主科目
- 補助科目を 1 つのセグメントで示す（任意）

販売カタログ区分などの品目マスター レポート コード（たとえば、PHR は薬局、OTC は小売）

次の図は、病院がその調剤薬局のために処方薬を購入したときの収益が WHOS.5010.PHR 勘定科目に転記されるのを示しています。



任意勘定科目設定コード

### 基本受注管理 AAI（自動仕訳）

任意勘定科目設定コードは、次の基本受注管理 AAI テーブルに対してのみ定義できます。

- 4220（売上原価）
- 4230（売上）
- 4240（在庫）
- 4250（消費税課税額）

これらの AAI に対する勘定科目の検索は、任意売上勘定科目の設定テーブル（F4096）に対して、次の順序で行われます。

1. 特定の AAI および特定の会社に対して定義された任意勘定科目設定コードがチェックされます。
2. 特定の AAI および特定の会社に勘定科目が定義されていない場合には、特定の AAI と会社 00000 に対して定義された勘定科目がチェックされます。

### 上級価格設定 AAI

任意勘定科目設定コードは、次の上級価格設定 AAI テーブルに対してのみ定義することができます。

- 4270（調整）
- 4280（見越し）

これらの AAI に対する勘定科目の検索は、F4096 に対して次の順序で行われます。

1. 特定の AAI、特定の会社、および価格調整コードに対して定義された任意勘定科目設定コードがチェックされる

2. 特定の AAI、特定の会社、および価格調整コードに対する勘定科目が定義されていない場合は、特定の AAI および特定の会社に対して定義された任意勘定科目設定コードがチェックされる
3. 特定の AAI および特定の会社に対する勘定科目が定義されていない場合は、特定の AAI、会社 00000、および価格調整コードに対して定義された任意勘定科目設定コードがチェックされる
4. 特定の AAI、会社 00000、および価格調整コードに対する勘定科目が定義されていない場合は、特定の AAI および会社 00000 に対して定義された任意勘定科目設定コードがチェックされる

### AAI の勘定科目情報の検索

システムにより情報が総勘定元帳へ記録される必要のあるトランザクションを処理する場合、任意勘定科目設定コードの各セグメントは次のように検索されます。次の表は、検索階層をまとめたものです。

勘定科目コード セグメント	検索階層
ビジネスユニット	<p>ビジネスユニットを検索するために、次の処理が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AAI でビジネスユニットが検索される</li> <li>• AAI でビジネスユニットが定義されていない場合は、ユーザーが定義する任意形式ビジネスユニットが使用される</li> <li>• 任意形式ビジネスユニットが存在しない場合は、売上更新プログラムの処理オプションで指定したビジネスユニットが使用される</li> </ul>
補助勘定科目	<p>補助科目を検索するために、次の処理が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AAI で定義された補助勘定科目が検索される</li> <li>• AAI に補助勘定科目が定義されていない場合は、ユーザーが定義する任意形式補助勘定科目が使用される</li> </ul>
補助元帳	<p>補助元帳を検索するために、次の処理が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 受注オーダー明細で指定した補助元帳勘定科目が検索される</li> <li>• 受注オーダー明細で補助元帳勘定科目が指定されていない場合は、ユーザーが定義する任意形式補助元帳勘定科目が使用される</li> <li>• 任意形式補助元帳勘定科目が存在しない場合は、売上更新プログラムの処理オプションで指定する補助元帳が使用される</li> </ul>

売上更新プログラムの該当処理オプションを設定してある場合には、任意勘定科目情報が検索されます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 勘定科目コードの各セグメントに関連付ける情報を確定します。
- 主科目情報のみを使用して AAI を定義します。

## 任意勘定科目コードの定義に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[任意売上勘定科目の処理]	W40296A	[受注管理システム セットアップ](G4241)、[任意売上勘定科目の設定]	任意勘定科目コードのレコードを確認および選択します。
[任意売上勘定科目の改訂]	W40296C	[任意売上勘定科目の処理]で[追加]をクリックします。	任意勘定科目コードのレコードを追加および改訂します。

## 任意勘定科目コードの設定

[任意売上勘定科目の改訂] フォームにアクセスします。

任意売上勘定科目の設定 - 任意売上勘定科目の改訂

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ロー(R) ツール(T)

AAIテーブル番号 4220 会社 00001

AAI-会計 主科目-開始/終了

伝票タイプ SO 調整名

補助元帳タイプ

レコード 1-5

順序	ビジネス ユニット	補助 科目	補助 元帳	品目	コスト オブジェクト	コスト タイプ	テーブルID *	長さ	記述
2				X			F4211	8	Item
3					1	C	F4211	8	Addr
4					2	P	F4211	3	Mast
5					3	L	F0101	10	Indus
6									

[任意売上勘定科目の改訂] フォーム

**[品目]** 任意規則を品目補助元帳に関連付けるには、[品目] カラムに「X」を入力します。

## オーダー テンプレートの設定

このセクションでは、オーダー テンプレートの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 標準テンプレートの作成
- システム生成テンプレートの作成
- 顧客テンプレートの改訂プログラム (P4015) の処理オプションの設定
- 顧客履歴テンプレートの再作成プログラム (P42815) の処理オプションの設定

## オーダー テンプレートについて

オーダー入力処理のスピード化を図るために、オーダー テンプレートを作成して割り当てます。テンプレートには、頻繁に発注される品目の情報が含まれます。

標準テンプレートは全ての顧客に適用されます。たとえば、事務用品テンプレートを作成して、頻繁に発注される事務用品をリストすることができます。また、品目分類に関係なく、頻繁に発注される全品目をリストした標準テンプレートを識別することもできます。

オーダー入力処理が正確かつ効率的に行われるように、既存のオーダー テンプレートを定期的に更新するようにしてください。たとえば、既存のテンプレートの数量や順序の変更が生じる場合があります。

顧客に一定のオーダー履歴がある場合は、オーダー テンプレートを自動作成することができます。顧客履歴テンプレートの再作成プログラムは、JD Edwards EnterpriseOne の標準バッチ プログラムです。顧客のオーダーを入力し、売上更新プログラムを実行すると、受注履歴テーブル (F42119) にその顧客のオーダー履歴レコードが作成されます。適切なデータ選択基準を識別し、顧客履歴テンプレートの再作成プログラムを実行して次の事項を行います。

- 販売実績に基づく標準テンプレートの作成
- 現行の販売パターンに基づくテンプレートの更新

### 標準テンプレート

頻繁に発注される品目用のテンプレートを作成して、オーダー入力をスピードアップできます。全ての顧客に適用される標準テンプレートを作成し、オーダー入力のたびにそれが表示されるように割り当てることができます。標準テンプレートは必要な数だけ作成できます。受注オーダー入力の処理オプションでテンプレート名を入力した場合、オーダー入力のたびに、処理オプションで指定したテンプレートが表示されます。

ある標準テンプレートを顧客マスターを通じて顧客に割り当てます。割り当てられたテンプレートは、その顧客用にオーダーを入力する際に常に表示されます。顧客特定のテンプレートには、顧客の住所番号と、その顧客が最も頻繁に発注する品目およびその数量のみが含まれています。顧客に対して複数のテンプレートを作成するか、同じテンプレートを複数の顧客に対して作成することができます。

受注オーダー入力中に、顧客のニーズにあったテンプレートにアクセスし、選択することが可能です。

### テンプレートの管理

正確で効率的にオーダーを入力するために、現行テンプレートを管理する必要があります。既存のテンプレートの品目、数量、順序の変更はいつでも行うことができます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 全てのテンプレートについて UDC (40/OT) 名を作成します。
- 顧客に対して F42119 テーブルにオーダーが存在することを確認します。

## オーダー テンプレートの作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オーダー テンプレートの処理]	W4015A	[上級および技術的操作] (G4231)、[顧客テンプレートの改訂]	オーダー テンプレートを確認および選択します。
[オーダー テンプレートの改訂]	W4015B	[オーダー テンプレートの処理] で [追加] をクリックします。	オーダー テンプレートを追加および改訂します。
[販売実績の処理]	W40215E	[オーダー テンプレートの改訂] で [フォーム] メニューから [実績] を選択します。	<p>目的の受注オーダーを選択して、テンプレートで使用する受注オーダーの明細をコピーします。</p> <p><b>注:</b> オーダー形式処理オプションを 1 (販売先) または 2 (出荷先) に設定しないと、[購買実績の処理] フォームが表示されます。</p>

## 標準テンプレートの作成

[オーダー テンプレートの改訂] フォームにアクセスします。

[通常オーダー数量]                      通常発注される数量を入力します。

[順序 No.]                                  テンプレートに個々の行が表示される順序を入力します。

## システム生成テンプレートの作成

[上級および技術的操作] メニュー (G4231) から [顧客テンプレートの改訂] を選択します。

顧客履歴テンプレートの再作成プログラムを使用して、テンプレート作成処理を自動化することができます。顧客履歴テンプレートの再作成は、顧客のオーダー履歴を基にテンプレートを作成するバッチ プログラムです。

## 顧客履歴テンプレートの再作成プログラム (P42815) の処理オプションの設定

次の処理オプションを使用して、データの処理方法を定義します。

### プロセス 1

次の処理オプションで、顧客テンプレートの再作成プログラムの実行時に使用するオーダー テンプレート、順序、行数、有効日付を指定します。

1. 作成するオーダー テンプレートを入力してください。      頻繁に発注する品目のリストを識別する UDC (40/OT) を指定します。通常、品目グループは燃料、潤滑材、パッケージ商品などの製品タイプに基づきます。
2. テンプレート順序の選択を入力してください。      バージョン順序の場合は「1」を入力し、頻繁に発注される順序の場合は「2」を入力します。

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 3. 最大行数を入力してください。 | 取り込む最大行数を指定します。このオプションを空白にすると、全ての行が取り込まれます。                                     |
| 4. 最小行数を入力してください。 | 取り込む最小行数を指定します。このオプションを空白にすると、全ての行が取り込まれます。                                     |
| 5. 有効開始日付。        | (省略可) テンプレートがアクティブまたは有効になる日付を指定します。このオプションを空白にすると、システム日付が使用されます。                |
| 6. 有効終了日付。        | (省略可) テンプレートがアクティブまたは有効である最後の日付を指定します。このオプションを空白にした場合、システムで自動的に値が設定されることはありません。 |

## プロセス 2

次の処理オプションで、販売先と出荷先のどちらの住所番号をオーダー テンプレートで使用するのかを指定します。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1. 販売先および出荷先に対するオーダー テンプレート住所の選択 | 販売先の場合は「1」、出荷先の場合は「2」を入力します。                  |
| 2. 通常オーダー数量の平均数量                 | [通常オーダー数量] フィールドの [平均数量] の値を使用するには、「1」を入力します。 |

## 顧客テンプレートの改訂プログラム (P4015) の処理オプションの設定

次の処理オプションを使用して、デフォルト値を表示し、バージョンを指定します。

### 表示

次の処理オプションで、デフォルトのオーダー テンプレートおよびカスタマー セルフサービス モードを指定します。

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. オーダー テンプレートの使用フォーマット | 販売先、出荷先、仕入先、ユーザーのどの住所録フィールドを見出しに表示するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>1: 販売先<br>2: 出荷先<br>3: 仕入先<br>4: ユーザー                                  |
| 2. カスタマー セルフサービス モード    | 標準処理とカスタマー セルフサービスモードのどちらを使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 標準処理<br>1: Java/HTML のカスタマー セルフサービス モード<br>2: Windows のカスタマー セルフサービス モード |

### バージョン

次の処理オプションで、オーダー テンプレートの改訂プログラムからプログラムを呼び出した時に使用するバージョンを制御します。

1. **カスタマー サービス照会 (P4210)** カスタマー サービス照会 (P4210) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。
2. **購買オーダー (P4310)** 購買オーダー (P4310) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

---

## オーダー保留情報の設定

このセクションでは、オーダー保留情報、オーダーへの保留コードの割当、および顧客請求指示への保留コードの割当の概要と、オーダー保留コードの設定方法について説明します。

### オーダー保留情報について

オーダーの処理を中断するために、オーダーを保留にすることができます。次のような理由からオーダーを保留にします。

- 最小オーダー金額に満たない
- 顧客の与信限度額を超過する
- 粗利益に満たない、またはそれを超過する
- 非アクティブな顧客を対象としている

オーダーを保留にする条件を定義し、それを保留コードに添付することができます。たとえば、最小オーダー値や最大オーダー値を定義することができます。オーダー総額がこの範囲にない場合は、そのオーダーに保留コードが割り当てられ、オーダーは保留となり、その後の処理が中止されます。

粗利益および与信保留を定義することもできます。この情報に基づいて、オーダーまたはオーダー行が粗利益の基準を満たさない場合にオーダーが保留になります。オーダーが顧客の与信限度額を超過する場合もオーダーが保留になります。

参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「保留オーダーのリリース」、345ページ

### オーダー保留コード

オーダーの保留に使用されるオーダー保留情報を設定します。受注オーダー入力プログラムで該当する処理オプションを設定すると、この情報が適用されます。

さらに、製品割当優先情報と合わせて保留コードを使用できます。こうすることで、顧客または顧客グループが購入できる品目または品目グループの金額を制限できます。

優先マスター プログラム (P40070) の製品割当優先情報を設定して、優先情報処理オプション プログラム (R40400) で優先情報を有効にする必要があります。オーダー保留固定情報プログラム (P42090) で、保留コード (UDC 42/HC) を設定し保留情報を定義します。受注オーダー入力の処理オプションで、製品割当保留コードを入力して、行レベルでオーダー保留処理を有効にした後、優先プロファイル処理を有効にする必要があります。

参照: 第 18 章、「優先情報の設定」、「製品割当て優先情報」、718ページ

### 最小および最大オーダー金額のオーダー保留コード

オーダーの処理を進める前に、顧客に適用される最小および最大オーダー金額を設定することができます。たとえば、顧客が最小金額を発注した場合は、その顧客に取引割引を適用することができます。



顧客マスター レコードの請求指示で最大/最小オーダー金額の範囲を定義するか、または最大/最小金額を定義することができます。次に、オーダーや行の金額が顧客マスター レコードで定義した値と比較されるように保留コードを設定します。

金額範囲についてオーダーのチェックを設定するには、受注オーダー入力プログラムの [オーダー保留] タブにあるオーダー最小値チェックおよびオーダー最大値チェックの処理オプションに保留コードを入力します。この金額がオーダー合計と比較されます。オーダー金額が定義されている範囲に入らない場合は、エラー メッセージが表示され、オーダーの処理は行われません。

### 与信チェックのオーダー保留コード

与信保留コードを設定して、顧客マスター レコードで設定した与信限度額とオーダーおよび売掛金残高を自動的に比較させることができます。たとえば、顧客の与信限度額を \$1,000 に設定するとします。顧客の売掛金残高が \$100 の場合、オーダー額は \$900 以下である必要があります。それを超過する場合は、オーダーは保留になります。

売掛金残高のパーセントを基準として保留コードを指定することもできます。残高情報を検証するには、経過計算期間を 0 日から 30 日、または 31 日から 60 日に設定してください。31 日から 60 日の期間を指定する場合は、最初の期間の残高情報は比較されません。

たとえば、顧客の売掛金残高合計が \$6,000 あり、\$5,000 が 0 から 30 日期間で、\$1,000 が 31 日から 60 日期間とします。未収残高のパーセントに基づく保留を売掛金残高合計の 20% と設定します。31 日から 60 日の経過計算期間を許容パーセントと比較するように指定します。この情報に従うと、31 日から 60 日期間に許容される最大未収残高は \$1,200 になります。経過計算期間 31 日から 60 日の未収残高が \$1,000 なので、この顧客は与信チェックの基準を満たします。

与信チェックのオーダー コードを設定するには、受注オーダー入力プログラムの [オーダー保留] タブにある顧客与信チェック処理オプションに保留コードを入力します。

### 非アクティブな顧客のオーダー保留コード

非アクティブな顧客（たとえば、それ以降の販売を停止する顧客、破産申請した顧客、またはたまにしか販売を行わない顧客）に保留コードを設定することができます。非アクティブな保留コードを設定することで、非アクティブな顧客に対してはオーダーの処理を自動的に停止させることができます。また、たまにしか発注しない顧客からオーダーがあったときにエラー メッセージを表示するようにする場合にも非アクティブな保留コードを設定できます。

---

**注:** このタイプのオーダー保留はオーダー全体に適用されます。オーダー明細行が保留になるのではなく、オーダー全体が保留になります。

---

非アクティブな顧客に保留コード (42/HG) を設定したら、住所録の改訂プログラムの [住所録] タブのユーザー定義の非アクティブな顧客タイプに [検索タイプ] フィールドを設定する必要があります。さらに、非アクティブな顧客の保留処理オプションを設定し、受注オーダー入力の [オーダー保留] タブにある非アクティブな顧客の検索タイプ処理オプションで検索タイプを入力します。

事業所固定情報で [顧客セットの使用] オプションを選択し、オーダーに非アクティブな顧客を入力した場合、警告は表示されますが、オーダーは保留になりません。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook、「住所録レコードの入力」

たまにしか発注しない顧客に対して保留コード 42/HG および 00/CM 設定したら、JD Edwards EnterpriseOne 受注オーダー入力の [オーダー保留] タブにある非アクティブな顧客処理オプションでその値を入力する必要があります。たまにしか発注しない顧客に対してオーダーを入力し、このオーダーが保留になった場合、適切な承認があればこのオーダーを処理することができます。

## 粗利益チェックのオーダー保留コード

保留コードを設定して、受注オーダーまたは受注明細行が全て指定した粗利益を満たすようにすることができます。

粗利益の計算には次の計算式が使用されます。

$(\text{価格} - \text{原価}) \div \text{価格} = \text{粗利益}$

たとえば、ある品目を \$0.42 で購入し \$1.00 で販売すると、その計算は次のようになります。

$(1 - 0.42) \div 1 = 0.58$  (58 パーセント)

明細行またはオーダー全体の販売粗利益率を検証する保留コードを設定することができます。販売粗利益を受注オーダーの明細行と比較する保留コードを設定すると、各明細行が指定した最小粗利益と最大粗利益の範囲になっていることが検証されます。たとえば、販売粗利益が 25% から 27% と設定されているとします。ある品目の粗利益が 28% の場合、このオーダーは保留になります。

オーダー合計の販売粗利益を検証する保留コード情報を設定することもできます。オーダー合計が、指定した最小粗利益と最大粗利益の間に入ることが検証されます。たとえば、販売粗利益が 25% から 27% と設定されているとします。ある品目の粗利益が 28% でも、オーダー合計の粗利益が 25% となる場合は、このオーダーは保留になりません。

粗利益チェックのオーダーコードを設定するには、受注オーダー入力プログラム (P4210 または P42101) の [オーダー保留] タブにあるオーダーの利益チェックまたはオーダー行の利益チェック処理オプションに保留コードを入力します。

## 部分オーダー保留のオーダー保留コード

保留コードを設定して、オーダー明細行に十分な引当可能数量がない場合、数量が補充されるまでオーダー全体を保留にすることができます。このオーダー保留はバックオーダーと部分出荷が許容される場合に使用してください。受注オーダー入力プログラムで引当可能数量チェック処理オプションを有効にする必要があります。

オーダー明細行に十分な引当可能数量がない場合、顧客請求プログラム (P03013) のバックオーダー情報に基づいて引当可能数量をバックオーダーするかまたは取り消すことができます。

顧客がバックオーダーを許可しない場合、オーダー明細行は取り消されます。部分オーダー保留を使用することにより、引当可能数量を確保できるまでオーダー明細行が保留になります。顧客がバックオーダーを許可していないがオーダーまたは行の部分出荷を許可している場合、部分オーダー保留を設定してオーダー明細行が取り消されないようにすることができます。

部分オーダー保留は、オーダー明細行を充当するだけの引当可能数量はないけれども顧客が部分オーダーを許可している場合に使用する保留です。バックオーダーはオーダー明細行に対して数量が十分な場合のみにリリースできますが、部分オーダー保留はバックオーダーではないのでいつでもリリースすることが可能です。

部分オーダー保留のオーダーコードを設定するには、受注オーダー入力プログラムの [オーダー保留] タブにある部分オーダー保留処理オプションに保留コードを入力します。

## 前払のオーダー保留コード

オーダーの保留に使用されるオーダー保留情報を設定します。受注オーダー入力プログラムで該当する処理オプションを設定すると、この情報が適用されます。前払トランザクション用に次の保留コードを定義することをお勧めします。

- 決済保留、保留コード CS によって識別
- 承認保留、保留コード CA によって識別

参照: 第 13 章、「前払処理」、511ページ

#### 関連項目:

第 4 章、「顧客関連情報の設定」、「顧客請求指示の設定」、78ページ

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135ページ

## オーダーへの保留コードの割当について

保留コードを有効にするには、受注オーダー入力の処理オプションで保留コードを指定してください。システムはオーダーごとに売掛情報、オーダーおよび行粗利益率、部分オーダーなどの情報を比較します。特定顧客の与信チェックを免除するには、顧客請求指示プログラムの [与信チェックの免除] オプションを有効にする必要があります。システムによりオーダーが保留になった場合、保留オーダーのリリース プログラム (P43070) で全てのオーダーをリリースする必要があります。

また、オーダー見出し情報に保留コードを手作業で入力することができます。保留コード フィールドに値が入力されていると、そのオーダーの処理が停止します。

JDESOENTRY ワークフロー プロセスを有効にすると、システムがオーダー保留チェックまでを自動処理します。[OK] をクリックしてオーダーを受け入れると、保留コードの処理オプションをチェック後にオーダーとその保留情報が比較されます。

オーダーが保留になると、保留コードの中で担当者 No. として定義された住所番号にアクション メッセージが送られます。このメッセージはオーダーが保留中であることを意味します。オーダー リリースの担当者はワークフロー プロセス中に送られたメッセージを検討して、ワーク センターによりリリースするオーダーにアクセスできます。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー見出し情報について」、128ページ

## 顧客請求指示への保留コードの割当について

顧客請求指示で保留コードを指定できます。顧客のオーダーを検討する担当者がオーダーをリリースするまで、オーダーの処理は行われません。

バッチ オーダーの保留プログラム (R42642) を使用して、顧客請求指示で入力された保留コードで顧客の既存のオーダーを更新することができます。たとえば、顧客と管理上の問題で合意する前にオーダーを入力した場合、そのオーダーを保留にしてオーダーを処理サイクルから外すことが可能です。

顧客請求指示で保留コードを設定した後、バッチ オーダーの保留プログラムを実行して、顧客の受注残となっているオーダーを更新することができます。このバッチ プログラムは、個別の顧客に対して、または、保留コードのフィールドがブランク以外の全ての顧客に対して実行できます。

## オーダー保留コードの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保留オーダー固定情報の処理]	W42090A	[受注管理システム セットアップ](G4241)、[オーダー保留情報]	保留オーダーコードを確認および選択します。
[オーダー保留情報]	W42090B	[保留オーダー固定情報の処理] で [追加] をクリックします。	保留オーダーコードを追加および改訂します。
[顧客請求指示 - 顧客マスターの処理]	W03013A	[受注管理システム セットアップ](G4241)、[顧客請求指示]	顧客を選択および確認します。
[顧客請求指示 - 顧客マスターの改訂]	W03013B	[顧客請求指示 - 顧客マスターの改訂] フォームの [与信] タブで、[一時与信メッセージ] フィールドに値を入力して、[OK] をクリックします。	顧客情報を追加および改訂します。

## オーダー保留コードの設定

[オーダー保留情報] フォームにアクセスします。

オーダー保留情報 - オーダー保留情報

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

保留コード \*

B1

予算保留

事業所 \*

10

Western Distribution Center

担当者No. \*

6001

Allen, Ray

制限タイプ

%

パーセント

コード・タイプ

L

行基準

経過開始

ブランクは経過期間

経過%

上限

下限

パスワード

B1

[オーダー保留情報] フォーム

**[担当者 No.]** 保留にされたオーダーを確認およびリリースする担当者の住所番号を指定します。

**[制限タイプ]** 制限タイプが金額とパーセントのどちらに基づくかを指定します。通常、制限タイプはオーダーまたは行の粗利益限度だけに適用されます。有効値は以下のとおりです。

A: 限度は金額に基づきます。

	%: 限度はオーダーに対するパーセントに基づきます。
<b>[コード・タイプ]</b>	<p>オーダー内の個々の行またはオーダー全体を保留にするコードを指定します。与信保留では、オーダー全体に保留コードが適用されます。粗利益保留では、特定の行またはオーダー全体に保留コードを適用できます。</p> <p>L: オーダー内の個々の行に保留を適用します。</p> <p>O: オーダー全体に保留を適用します。</p>
<b>[経過開始]</b>	顧客の売掛金の経過に基づく与信チェックを指定した場合に使用される経過計算期間を示す番号を指定します。これは、売掛支払セットアップに基づきます。
<b>[経過 %]</b>	<p>全売掛金のうち [経過開始] フィールドで指定されたカラムで許容されるパーセントを指定します。経過与信チェックを使用した場合、[経過 %] フィールドは入力必須フィールドです。</p> <p>たとえば、売掛金残高の合計が 10,000 で、そのうちの 2,500 が 31～60 日カラムであるとし、[経過開始] 値が 3 (31～60 日)、[許容 %] 値が 10 (10 パーセント) とします。この場合、カラム 3～6 で許容される売掛金残高は 1,000 (10,000 × 10 パーセント) となり、この顧客はこの与信チェックの基準を満たします。</p>
<b>[上限]</b>	許容されるマージン % または金額の上限を示す値を指定します。このコードは、オーダーまたは個々のオーダー行に最大の粗利益率または粗利益額を設定するために使用します。
<b>[下限]</b>	許容されるマージン % または金額の下限を示す値を指定します。オーダーまたは個々のオーダー行に最小の粗利益率または粗利益額を設定できます。

## 受注管理システムのセルフサービス情報の設定

このセクションでは、セルフサービスの設定、セキュリティ問題、処理オプションの設定、セルフサービスの製品階層の概要と、以下の方法について説明します。

- 製品階層の設定
- 品目階層プログラム (P4101H) の処理オプションの設定

### 顧客および仕入先に対するセルフサービス設定について

顧客および仕入先がセルフサービスを使用して情報にアクセスできるようにするには、あらかじめ次の方法を提供しておく必要があります。

- 品目情報へのアクセス
- 売掛情報の確認
- 既存のオーダーおよび出荷の確認
- 製品および保証情報へのアクセス
- 既存のコール情報の確認
- サービス オーダーの確認

顧客および仕入先のユーザー プロファイルを設定する際に、ユーザー ID を使用してアクセスをセルフサービス メニューのみに限定できます。セルフサービス機能を使用しても、顧客および仕入先は住所録や顧客マスター、仕入先マスター情報への追加および修正はできません。

## セキュリティ問題について

顧客と仕入先の住所録および住所録マスター レコードを設定したら、ユーザー プロファイルを設定してアクセスを限定する必要があります。顧客や仕入先がセルフサービス アプリケーションにログオンするには、プロファイルの設定が必要です。

ユーザー プロファイルでは、顧客または仕入先に対して次の情報を入力します。

- ユーザー ID
- パスワード
- 言語やローカライゼーション情報などの優先情報

また、仕入先や顧客がアクセス可能なメニューを指定する必要があります。仕入先や顧客は、ユーザー プロファイルに指定されたメニューのプログラムにしかアクセスできません。ユーザーのタイプに応じて、次のメニューのいずれかを指定してください。

- [カスタマー セルフサービス日次処理] (G1715) – サービス管理システムのセルフサービス プログラムにアクセスする場合
- [カスタマー セルフサービス] (G42314) – 受注管理システムのセルフサービス プログラムにアクセスする場合
- [仕入先セルフサービス] (G43S11) – 調達管理システムのセルフサービス プログラムにアクセスする場合

顧客や仕入先がセルフサービス プログラムを使用してデータを入力すると、製品の選択やその他の情報はメモリー キャッシュ ファイルに保存されます。顧客や仕入先はプログラム間を移動でき、キャッシュ ファイルには最新のオーダーや見積りの情報が保存されます。

### 関連項目:

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.94 System Administration PeopleBook

## カスタマー セルフサービスの処理オプションについて

顧客がセルフサービスを使用してオーダーや勘定科目情報を入力および確認できるようにするには、次のプログラムのカスタマー セルフサービス処理オプションを有効にする必要があります。

- 受注オーダー入力 (P4210 および P42101)
- 売掛金元帳照会 (P03B2002)
- 在庫状況 (P41202)

輸送管理システムを使用する場合には、次のプログラムのカスタマー セルフサービス処理オプションを有効にします。

- 出荷トラッキング (P4947)
- 出荷処理 (P4915)
- 積荷の処理 (P4960)

顧客が利用できるフィールドのみが表示されます。機密フィールドは表示されません。

## セルフサービス オーダー入力の製品階層設定について

顧客がセルフサービスを使用してシステムにアクセスする際に、グループと階層別に製品を表示できるように設定できます。製品グループおよび階層に品目を割り当てることにより、顧客は在庫リスト全体を参照しなくても済みます。

F4101 テーブルまたは F4102 テーブルからカテゴリ コードを選択して、製品グループを定義します。同じカテゴリ コードを割り当てた品目は、ひとつのグループに属することになります。たとえば、自転車製造業者はマウンテン バイク、ロード バイクなどのサブグループのあるバイクというグループを作成できます。階層は、指定した順序番号と親ディレクトリに基づいて割り当てられます。たとえば、バイク グループは、マウンテン バイク グループより上の順序番号になります。こうしてできるツリー構造には、必要なだけの階層が設定可能です。

顧客マスター プログラムで顧客に品目制約を定義すると、品目は割り当てた製品グループおよび割り当てた階層の一部として残りますが、顧客は制約品目を照会できません。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 住所録で顧客を設定してあることを確認します。
- 顧客の顧客マスター レコードを設定しているか確認します。
- 各顧客に事業所およびデフォルトの保管場所を割り当てます。

製品、価格、および引当可能数量について顧客から問合せがあった場合、その顧客のユーザー ID に割り当てた事業所に基づいて情報が読み込まれます。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「在庫管理システムの設定」、「デフォルト事業所の設定」

- 輸送管理システムを使用している場合には、セルフサービスの配送経路オプションを設定します。

## 製品階層の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[製品階層の保守管理]	W4101HD	[受注管理システム セットアップ](G4241)、[品目階層の管理]	製品階層グループを確認および選択します。
[製品階層の改訂]	W4101HE	[製品階層の保守管理]で[追加]をクリックします。	製品階層を追加および改訂します。
[ディレクトリ検索]	W4101HF	[製品階層の改訂]の[フォーム]メニューから[親ディレクトリ]を選択します。	親階層を検索および選択します。

## 製品階層の設定

[製品階層の改訂] フォームにアクセスします。

### [構造タイプ]

製品階層を作成する際に使用する構造タイプを指定します。構造タイプは、住所録システムで独自の階層を持つ組織構造のタイプを識別する UDC (01/TS) です。

### [順序番号]

グループ内での順序を示す順序番号を指定します。

<b>[カテゴリコード]</b>	値を取得し、グループを作成するのに使用する F4101 または F4102 テーブルのフィールドを指定します。これは製品階層の最下位レベルで、実際の品目が含まれます。たとえば、このフィールドに「SRP4」と入力すれば、品目マスターの 4 番目の販売カテゴリコードフィールドを指定できます。
<b>[ユーザー定義コード]</b>	カテゴリコードフィールドで参照される UDC テーブルの値を指定します。たとえば、カテゴリコード SRP4 を入力した場合、UDC 41/S4 から値が取得されます。
<b>[親ディレクトリ]</b>	[フォーム] メニューを使用して [ディレクトリ検索] フォームにアクセスする値を選択します。

## 品目階層プログラム (P4101H) の処理オプションの設定

次の処理オプションを使用して、デフォルト値を設定し、データの処理方法を定義します。

### デフォルト

次のオプションで、このプログラムから呼び出される受注オーダー入力の構造タイプおよびバージョンに使用されるデフォルト値を指定します。

<b>[構造タイプ]</b>	住所録システムに独自の階層を持つ組織構造のタイプ (電子メールなど) を指定するコード (UDC 01/TS) を入力します。買掛管理システムに親/子組込規則を作成する場合は、この構造タイプをブランクにしてください。
<b>[受注オーダー入力のバージョン] (P4210)</b>	使用される受注オーダー入力プログラムのバージョンを入力します。

### 処理

次の処理オプションで、品目制約チェックや引当可能数量チェックを行うかどうか、およびカテゴリコードの参照時に使用されるテーブルを制御します。

<b>1. 品目制約 (1/0)</b>	品目制約チェックを行って、顧客に品目を販売できるかどうかを確認するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 ブランク: 品目制約チェックは行いません。 1: 品目制約をチェックします。
<b>2. 引当可能数量チェック (1/0)</b>	発注された各品目について引当可能数量チェックを行うかどうかを指定します。 ブランク: 引当可能数量チェックは行いません。 1: 引当可能数量チェックを行います。
<b>3. 品目ファイル</b>	カテゴリコードの参照時に品目マスターと事業所品目テーブルのどちらを使用するかを指定します。 ブランク: F4101 テーブルを使用します。 1: F4102 テーブルを使用します。



## 第 4 章

# 顧客関連情報の設定

この章では、顧客関連情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 関連住所の設定
- 顧客請求指示の設定
- 顧客限度額の換算
- 日付基準顧客セットの設定

---

## 顧客関連情報について

顧客ごとにニーズが異なるため、それぞれのニーズや詳細情報に応じて、正しくトランザクションが処理されるように情報を定義しておくことができます。受注管理システムでは、次のタイプの顧客関連情報が使用されます。

- 関連住所情報

多くの組織が複数の住所を持っています。受注オーダーを入力する際、製品の送付先住所の他、請求書の送付先住所を指定します。関連住所を使用して、顧客の住所情報全てをトラッキングします。

- 顧客請求指示

受注オーダーを処理する前に、デフォルトの顧客請求情報を設定しておきます。顧客請求情報には、請求先および出荷先住所、運賃および配送情報、品目制約、コミッション情報、与信情報などが含まれます。

たとえば、複数の事業所に出荷された品目の請求書をまとめて親会社に送るよう顧客が希望する場合、この情報を顧客請求指示で指定できます。このデフォルト情報は、顧客に対してオーダーを入力するたびにに取り込まれます。

- 顧客限度額

ユーロ住所録換算プログラム (R8903012E) を使用して、顧客限度額を別の通貨に換算し、この値を丸め、然るべき規定額を求めることができます。このプログラムは、会社別顧客マスター テーブル (F03012) で、顧客の通貨コードおよび住所録金額を別の通貨に換算します。受注管理システムでは、住所録金額は顧客の最大/最小オーダー値であり与信限度額です。

- 日付基準顧客セット

顧客セットは、受注オーダー処理に関連する役割を割り当てた対象の集まりです。受注オーダー入力の際にオーダーを作成した発注元 (販売先) とオーダーを出荷する相手 (出荷先) を指定すると、この販売先/出荷先を含む顧客セットが検索されます。オーダー日付が顧客セットの有効日付と有効期限内であれば、その顧客セットの他の機関や会社 (たとえば、支払人、配送先、請求先、転送先など) が自動的に入力されます。

---

## 関連住所の設定

このセクションでは、関連住所の概要とその方法について説明します。

- 関連住所の設定
- 請求先住所の定義
- デフォルト住所タイプの定義

### 関連住所について

受注オーダーを作成するときに、請求書を送る住所（販売先住所）と納品する住所（出荷先住所）を指定する必要があります。出荷先と販売先には異なる住所を使用できます。

各顧客にデフォルトの住所を定義すると、受注オーダーに複数の住所を入力する場合に処理を簡略化できます。出荷先住所には関連する販売先住所を 1 つ定義できます。また販売先住所にも関連する出荷先住所を 1 つ定義できます。受注オーダーにこの住所のどちらかを入力すると、もう一方の住所は自動入力されます。

顧客に他の関連住所や親住所などを定義することも可能です。たとえば、全ての請求書の送付先となる親住所を 1 つと、納品先となる補助住所を複数顧客が持っている場合などです。なお、親住所レベルでは、任意で与信限度額チェックを行うこともできます。

住所録マスター テーブル (F0101) を使用すると、取引先の全ての企業/個人情報を管理できます。顧客ごとに、住所録の改訂プログラム (P01012) を使用して、各関連住所を定義します。

- 出荷先
- 販売先
- 親住所

---

**注:** 販売先と請求先は受注管理システムでは区別なく使用され、どちらも請求書の送付先となる顧客住所を指します。

---

関連住所を [住所録の改訂] フォームに入力するためには、事前に住所録への登録が必要です。関連住所が存在しない場合は、これらのフィールドには顧客に割り当てられた番号と同じ住所番号が使用されます。

### 請求先住所の定義

関連住所を住所録に入力した後、全ての請求書を送る住所を定義する必要があります。また、親住所を住所録に入力していなかった場合は、ここで親住所を入力する必要があります。

### デフォルト住所タイプの定義

デフォルト住所情報を定義することによって、受注オーダーに複数の住所を入力する場合の処理を簡略化することができます。次のいずれかの住所タイプを顧客のデフォルト値として使用するよう定義できます。

- 請求先住所のみ（請求住所タイプ B）
- 出荷先住所のみ（請求住所タイプ S）
- 請求先住所および出荷先住所（請求住所タイプ X）

請求先住所は販売先住所と同義です。

顧客請求指示で関連住所を定義することもできます。これは、住所録の関連住所と同じです。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- F0101 テーブルに顧客住所と全ての関連住所が入力されていることを確認します。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードの入力」

- F03012 テーブルに顧客が設定されていることを確認します。

## 関連住所の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[住所の処理]	W01012B	[顧客の改訂] (G4221)、[顧客住所録の改訂]	住所録レコードを確認および選択します。
[住所録の改訂]	W01012A	[住所の処理] で住所録レコードを選択します。	住所録情報、具体的には関連住所を追加および改訂します。
[顧客マスターの処理]	W03013A	[顧客の改訂] (G4221)、[顧客マスター情報]	顧客マスターレコードを確認および選択します。
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[顧客マスターの処理] で顧客マスターレコードを選択します。	顧客マスター情報、具体的には親住所 No. を追加および改訂して、[請求書送付先] フィールドに値を入力します。
[請求情報]	W03013E	[顧客マスターの改訂] の [フォーム] メニューで [請求情報] を選択します。	顧客の請求情報を追加および改訂します。

## 関連住所の設定

[住所録の改訂] フォームにアクセスし、[関連住所] タブを選択します。

**顧客住所録の改訂 - 住所録の改訂**

住所の処理 住所録の改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

住所No. 4100

タブを選択: 5-関連住所

親住所No.		
第1住所No.	4100	Office Supplies Inc.
第2住所No.	4100	Office Supplies Inc.
第3住所No.	4100	Office Supplies Inc.
第4住所No.	4100	Office Supplies Inc.
第5住所No.	4100	Office Supplies Inc.
ファクター代替受取人	4100	Office Supplies Inc.

[住所録の改訂] フォーム

**[親住所 No.]**

親会社の住所番号を入力します。この番号は、特定の住所を親会社または所在地と関連付けるために使用されます。このフィールドに入力した値は、住所録組織構造マスター テーブル (F0150) で構造タイプがブランクのレコードを更新します。認証の必要があるため、F0101 テーブルにある住所番号を指定する必要があります。親番号のある住所録レコードの例を次に挙げます。

- 親会社のある子会社
- 本社のある支店
- 請負業者が働く作業現場

**第 1 住所 No.**

住所録の代替住所番号を入力します。このフィールドには、基本住所に関連する業務の住所を補助住所として入力できます。たとえば、以下のようになります。

- 販売担当者
- 法律事務所
- 会計士

- 証券会社
- 担保会社

入力フォームでこのフィールドをブランクにすると、[住所番号] フィールドの基本住所が使用されます。

**[ファクター/代替受取人]** 買掛管理で特定の支払先住所を識別する住所番号を入力します。

認証の必要があるため、F0101 テーブルにある番号を指定する必要があります。入力フォームでこのフィールドをブランクにすると、[住所番号] フィールドの基本住所が使用されます。

## 請求先住所の定義

[顧客マスターの改訂] フォームにアクセスします。

**[請求書送付先]**

請求書に印刷する請求先の名称と住所を示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

C: 顧客名 (AN8)

N: 印刷しない

JD Edwards EnterpriseOne 不動産管理システムでは、この値は無視されます。請求レコードまたは賃貸契約レコードから [請求書の印刷] フィールドの値が使用されます。

P: 親番号 (PA8)

R: 支払人 (PYR)

1: 第 1 住所 No. (AN81)

2: 第 2 住所 No. (AN82)

3: 第 3 住所 No. (AN83)

4: 第 4 住所 No. (AN84)

5: ファクター/代替支払先 (AN85)

6: 第 5 住所 No. (AN86)

**注:** 代替受取人フィールド (AYPR) で顧客レコードに設定する支払人を除き、これらのコードは全て住所録レコードで設定する関連住所情報に対応しています。

日付基準顧客セットがアクティブで、受注オーダーの販売先住所と出荷先住所の組合せを使用して設定されている場合、顧客セットの設定による [請求先] フィールドの値が顧客請求指示による [請求書送付先] フィールドの値と差し替えられます。

[顧客セットの使用] のシステム固定情報がオンの場合、請求書の印刷プログラム (R42565) は指定された受注オーダーの受注オーダー見出しテーブル (F4201) から [請求先]、[転送先住所 No.]、[支払元住所 No.] の各フィールドを読み込みます。これらのフィールドにデータが存在しない場合、顧客セットが存在しないものとみなし、請求書の印刷プログラムは請求指示の指定に従い [請求書送付先] フィールドを読み込みます。[請求先] 顧客の値が、顧客請求指示の [請求書送付先] フィールドの値と差し替えられます。

---

注: タイプ コード B (請求) で設定した人名録レコードがある場合、請求先の名称は、人名録レコードから取り込まれます。

---

## デフォルト住所タイプの定義

[請求情報] フォームにアクセスします。

<b>[請求住所タイプ]</b>	<p>指定した住所を販売先、出荷先、またはその両方の住所として使用するためのコードを入力します。各コードの説明は以下のとおりです。</p> <p>X: 請求書住所と出荷先住所を指定します</p> <p>S: 出荷先住所のみを指定します</p> <p>B: 請求書住所のみを指定します</p>
<b>[関連住所番号]</b>	<p>関連住所番号を入力します。これは、出荷先は国内各所と複数あるものの、請求書は全て 1 つの住所に送付しなければならない場合に使用します。このような場合、出荷先ごとに住所が存在します。それぞれの住所は S (出荷先のみ) でコード化されます。各住所の請求指示レコードでは、同じ関連住所番号が指定されます。値 1~5 で、関連住所 5 つを指定できます。</p>
<b>[与信チェック レベル]</b>	<p>与信チェックをどのように行うかを制御するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>P: 顧客の親番号に従って与信チェックを実行します。未決済の売掛金と受注オーダーを比較して、親子の合計と親番号の与信限度額を照合します。このオプションは、複数の事業所を持つ顧客が全ての与信チェックを 1 つの勘定科目に反映させる場合に使用します。親子の与信チェックを行う場合、会社 00000 を含め、各親子および全ての業種について、F03012 テーブルの未決済オーダー金額を集計する必要があります。</p> <p>C または S: 顧客番号に対してのみ与信チェックを実行します。ユーザーが顧客レベルで与信限度額を設定した場合、さまざまな業種で受注オーダーが作成されていても、顧客に業種が 1 つしかなければ、与信チェックでは 1 つのユニットとみなされます。</p> <p>L: 業種別に与信チェックを実行します。ユーザーは顧客と会社の各組合せごとに与信限度額を設定し、販売先とオーダー会社両方について与信チェック処理が行われます。</p>

---

注: 親番号、または顧客番号のレベルで与信チェックが実行可能な場合でも、顧客売上更新プログラム (R42800) の実行時に売掛金は全て販売先顧客番号 (受注明細テーブル (F4211) の SDAN8) に転記されます。

---

## 顧客請求指示の設定

このセクションでは、顧客請求指示の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 顧客請求情報の設定
- 運賃および配送情報の入力
- 品目制約の入力
- コミッション情報の入力

- ・ 与信情報の入力

## 顧客請求指示について

受注オーダーを処理する前に、デフォルトの顧客請求情報を設定しておきます。

顧客請求情報には、請求先および出荷先住所、運賃および配送情報、品目制約、コミッション情報などが含まれます。

たとえば、複数の事業所に出荷された品目の請求書をまとめて親会社に送るよう顧客が希望する場合、この情報を顧客請求指示で指定できます。このデフォルト情報は、顧客に対してオーダーを入力するたびにに取り込まれます。

### 与信情報

受注管理システムが使用する与信情報は、ABC ランク付けフィールドです。[顧客マスターの改訂] フォームの [与信] タブにあるそれ以外の全てのフィールドについては、『JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 PeopleBook』に記載されています。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「与信/回収管理の設定」

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- ・ 顧客に対する住所録レコードが存在することを確認します。
- ・ 各顧客に対してデフォルトおよび関連住所が指定済みであることを確認します。  
請求書を送る先の住所と品目を出荷する先の住所を指定する必要があります。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「顧客マスター情報の設定」

## 顧客請求指示の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[顧客マスターの処理]	W03013A	[顧客の改訂] (G4221)、[顧客請求指示]	顧客マスターレコードを確認および選択します。
[請求情報]	W03013E	[顧客マスターの改訂] の [フォーム] メニューで [請求情報] を選択します。	顧客の請求情報を追加および改訂し、運賃および配送情報を設定します。
[品目制約の改訂]	W40131B	[顧客マスターの改訂] の [フォーム] メニューで [品目制約] を選択します。	品目制約を追加および改訂します。  [請求情報] フォームの [品目制約] フィールドの値に応じて、[品目制約の改訂] フォームにリストされている品目だけを除外するかまたはその品目だけを取り込みます。
[顧客マスター コミッションの検索]	W42140A	[請求情報] の [フォーム] で [コミッションコード] を選択します。	販売担当者または販売グループのコミッション情報を追加または改訂します。

## 顧客請求情報の設定

[請求情報] フォームにアクセスします。

顧客請求指示 - 請求情報

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

住所No. 4284 Central Distributor  
会社 00000

請求 1 請求 2

請求住所タイプ	<input checked="" type="checkbox"/>	請求先/出荷先住所	<input type="checkbox"/> 顧客購買オーダー必須
関連住所No.	1		<input type="checkbox"/> 与信チェックの免除
価格調整スケジュール			<input type="checkbox"/> 配送票
顧客価格グループ	RETAIL	小売顧客	<input type="checkbox"/> 集計請求書
最小オーダー値			<input checked="" type="checkbox"/> バックオーダー可
最大オーダー値			<input checked="" type="checkbox"/> 代替品可
印刷メッセージ			<input checked="" type="checkbox"/> 部分出荷可
オーダー・テンプレート		ブランク - デフォルト	<input checked="" type="checkbox"/> 部分オーダー出荷可
与信チェック・レベル	C	顧客(販売先)	<input checked="" type="checkbox"/> 価格ピッキング・リスト
品目制約		制約なし	<input checked="" type="checkbox"/> 運賃の適用
取引(値引)			<input checked="" type="checkbox"/> 分析証明書の印刷
配送指示			<input type="checkbox"/> 監査ログのバイパス
購買セグメント・コード	BIKES	自転車購買セグメント	<input type="checkbox"/> 非アクティブ顧客

[請求情報] フォーム



**[請求 1]**

[請求 1] タブを選択します。

**[取引値引]**

各品目の価格から値引されるパーセントを入力します。値引には、このパーセントだけが適用されます。価格を入力すると、値引率が一時的に変更されます。

値引率は、整数 (5% であれば 5) で指定します。

**[最大オーダー値]**

それを超えた場合にオーダーが保留となる限界値を入力します。最大オーダー値よりも合計が大きいオーダーを入力した場合、エラー メッセージが表示されます。

このフィールドは整数として指定し、小数点以下は伴いません。

**[最小オーダー値]**

それを下回った場合にオーダーが保留となる限界値を入力します。最小オーダー値よりも合計が小さいオーダーを入力した場合、エラー メッセージが表示されます。

このフィールドは整数として指定し、小数点以下は伴いません。

**[品目制約]**

この顧客に対する品目の販売に制約が設定されているかどうかを示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 制約はありません。

I: [品目制約] フォームで設定されている品目だけしか顧客に販売できないよう指定します。

E: [品目制約] フォームで設定されている品目を顧客に販売できないよう指定します。

**[顧客購買オーダー必須]**

受注入力時に [顧客の購買オーダー番号] フィールドに値を入力するよう顧客が要求している場合に選択します。

**[与信チェックの免除]**

受注処理サイクルで顧客が与信チェックを免除されるよう指定する場合に選択します。

**[集計請求書]**

顧客の請求書を集計する場合に選択します。

**[バックオーダー可]**

この品目のバックオーダーを許可する場合に選択します。バックオーダーは、品目マスター (P4101) または事業所品目 (P41026) プログラムを使用して品目別に許可したり、顧客請求指示プログラム (P03013) を使用して顧客別に、または事業所固定情報プログラム (P41001) を使用して事業所別に許可できます。

**[代替品可]**

顧客が代替品目を受け取るよう指定する場合に選択します。

**[価格ピッキング リスト]**

顧客のピッキング リスト、購買オーダー、または受注オーダーに価格情報を示す場合に選択します。

**[請求 2]**

[請求 2] タブを選択します。

**[請求書等のコピー枚数]**

顧客が必要とする請求書コピーの枚数を入力します。このフィールドに指定した枚数の請求書が印刷されます。必ず、少なくとも 1 枚は請求書が印刷されます。

- [保留オーダー コード]**      オーダーの保留理由を識別する UDC (42/HG) を入力します。
- [優先コード]**      この顧客のオーダーを優先的に処理するためのコードを入力します。この値を使用してピッキング リストの印刷が設定されるため、優先的に印刷することができます。このコードは、顧客請求指示から割り当てられます。
- また、バックオーダーの印刷レポートおよび自動バッチ リリース プログラムをこのコードで順序付けし、優先順位の高いオーダーから順にリリースするように指定することもできます。

## 運賃および配送情報の入力

[請求情報] フォームにアクセスします。

### [請求 1]

[請求 1] タブを選択します。

- [配送票]**      この顧客に対する配送票を請求書に印刷するよう指定する場合に選択します。
- [部分出荷可]**      顧客が部分出荷を許可することを示す場合に選択します。
- [部分オーダー出荷可]**      顧客が複数の部分出荷を許可することを示す場合に選択します。

---

**注:** この機能は、引当可能数量チェックをオンにして受注オーダー入力でオーダーを追加する場合にのみ有効になります。これは、受注オーダー入力時以外には、全ての行を 1 つのオーダーにまとめることができないためです。ピッキング リスト、または出荷確認で実行した引当可能数量チェックでは、全ての行がオーダーに組み込まれているかどうかは保証されません。

---

- [運賃の適用]**      処理中に運賃計算を実行するよう指定する場合に選択します。

**[配送指示]**      配送指示を入力します。

### [請求 2]

[請求 2] タブを選択します。

- [貨物取扱コード]**      仕入先の出荷貨物が配送される方法を指定する UDC (42/FR) を入力します。たとえば、仕入先がドックまで出荷貨物を納入してくることもあれば、仕入先のドックで出荷貨物を受け取ることもできます。また、このコードを使用して、だれが運賃を支払うのかを指定することもできます。たとえば、仕入先の倉庫から商品が搬出された時点で商品の法的な所有権が顧客に移り、出荷先までの輸送料金は顧客が支払うというようなコードを設定することができます。

- [経路コード]**      顧客に割り当てられている配送経路を示す UDC (42/RT) を入力します。このフィールドは、運賃集計機能がオーダーにかかる輸送費の計算時に使用する係数の 1 つです。
- ピッキングの場合は、経路コード/中継点コードおよび区域コードを入力して特定の経路を使う配送車両に積載する品目を分類します。
- これらの各フィールドのデフォルト コードは、[顧客請求指示] フォームで設定します。

- [中継点コード]** 特定の配送経路上の中継点を示す UDC (42/SP) を入力します。このフィールドは、運賃集計機能がオーダーにかかる輸送費の計算時に使用する係数の 1 つです。
- ピッキングの場合は、経路コード/中継点コードおよび区域コードを入力して特定の経路を使う配送車両に積載する品目を分類します。
- これらの各フィールドのデフォルト コードは、[顧客請求指示] フォームで設定します。
- [配送区域番号]** 顧客に割り当てられている配送区域を示す UDC (40/ZN) を入力します。このフィールドは、運賃集計機能がオーダーにかかる輸送費の計算時に使用する係数の 1 つです。
- ピッキングの場合は、経路コード/中継点コードおよび区域コードを入力して特定の経路を使う配送車両に積載する品目を分類します。
- これらの各フィールドのデフォルト コードは、[顧客請求指示] フォームで設定します。
- [運送業者 No.]** 品目の優先運送業者の住所番号を入力します。配送経路や特殊取扱などの条件を考慮して、顧客が優先的に運送業者を指定します。
- [容量表示単位]** この事業所の容量を表示する計量単位を識別する UDC (00/UM) を入力します。事業所固定情報 - ページ 2 (P410012) から、このフィールドに値が入力されます。このデフォルト値は変更できます。
- [重量表示単位]** オーダー集計フォームを使用するときに、この顧客に対して、個々のオーダー行およびオーダー全体の重量を表示する計量単位を識別する UDC (00/UM) を入力します。

## 品目制約の入力

[品目制約の改訂] フォームにアクセスします。

- [品目番号]** 品目に割り当てられた番号を入力します。略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。続いて、この品目を顧客に販売できるかどうかを定義します。

## コミッション情報の入力

[顧客マスター コミッションの検索] フォームにアクセスします。

- [販売担当/グループ]** この顧客に対する販売を担当するか、またはこの顧客に対する販売コミッションを受け取ることができる 2 人の販売担当者の 1 人目を入力します。
- このコードは、住所録または [関連販売担当者] フォームを使用して作成します。
- [コミッション率]** 特定の販売担当者または販売グループが行った販売のコミッションを計算する場合に使用されるコミッション レート (%) を入力します。
- [定額コミッション]** コミッション金額を指定する値を入力します。請求書、粗利益額、原価と突き合わせてコミッション金額を計算するには、1 個あたりの金額を入力します。
- [1 個あたりの金額]** 品目 1 個あたりの金額を入力します。

- [コミッション計算タイプ] 請求金額または粗利益額を使用してコミッションを計算するかどうかを指定するコードを入力します。どの品目を使用するかどうかに関係なく、コミッション計算の開始点として金額を考慮し、係数、固定費、最小粗利益率などを適用してください。

## 与信情報の入力

[顧客マスターの改訂] フォームにアクセスします。

### 与信

[与信] タブを選択します。

- [与信限度額] 顧客に対する掛売販売の限度額を入力します。この金額を超えるとワークフロー メッセージが送信されます。この値は、与信管理プログラム全体で使用されます。与信限度額は子（顧客）レベルで管理され、親レベルでは管理されません。与信限度額を超過した場合、その顧客に対してワークフロー メッセージが個別に送信されます。与信限度額を設定または変更すると、与信管理者宛に承認保留中の限度額変更があることを知らせるワークフロー メッセージが送信されます。与信限度額の変更は、与信管理者により承認されるまで顧客レコードには反映されません。

- [ABC コード - 売上] 顧客または在庫品目の販売活動のレベルを表す等級を入力します。この等級は 80 対 20 の法則（重要な成果の 80 % は企業努力の 20% に起因する）に基づいています。A（最高）から F（最低）までの等級があります。

- [ABC コード - 粗利益] 平均原価率によって品目のランクを表すコードを入力します。このコードは、手動または自動のいずれかで割り当てることができます。有効値は以下のとおりです。

A: 品目を第 1 の金額ランク（A 級）に割り当てます。

B: 品目を第 2 の金額ランク（B 級）に割り当てます。

C: 品目を第 3 の金額ランク（C 級）に割り当てます。

D: 品目を ABC 分析の対象から除外します。

このフィールドを空白にすると、ABC 分析プログラム（R4164）の実行時には、以下のような品目の価値に基づいてコードが割り当てられます。

- 品目の平均原価率の合計をビジネスユニットの平均値で除算した値
- 原価率は品目の計算値の合計と一致

- [ABC コード - 平均日数] 顧客が請求額の支払に要した平均日数に基づく等級を入力します。このコードは 80 対 20 の法則に基づいています。A（最高）から F（最低）までの等級があります。

---

## 顧客限度額の換算

このセクションでは、顧客限度額の換算の概要と、以下の方法について説明します。

- 住所録換算 - F03012 プログラム（R8903012E）の実行
- 住所録換算の処理オプションの設定

## 顧客限度額の通貨換算について

複数の顧客について限度額を別の通貨に変換するには、住所録換算 - F03012 プログラムを実行します。このプログラムは、F03012 テーブルの顧客の通貨コードと住所録金額を換算します。受注管理システムでは、住所録金額は顧客の最大/最小オーダー値であり与信限度額です。

**注:** このプログラムは、欧州連合に各国が加盟したときに、それぞれの国の通貨をユーロに換算できるようにするために作られたものです。

顧客の最大/最小オーダー値と与信限度を入力する際は、通常、丸めが実行された整数で入力し、顧客マスター テーブルには表示小数点以下桁数なしで保管されます。これらの金額を別の通貨に換算する際は、処理オプションで丸め係数を指定できます。たとえば、最小値と最大値を 50 単位で丸めるには、丸め係数を 50 にします。

### 例:換算した限度額の四捨五入

限度額とは、顧客または仕入先マスター レコードに割り当てた与信限度額および最大/最小オーダー金額のことです。限度額は通常四捨五入された整数として保存されます。

次の例では、処理オプションで丸め係数を入力した場合に、住所録換算 - F03012 プログラムと住所録換算 - F0401 (R890401E) プログラムが、換算済みの限度額をどのように丸めるかを説明します。例ではカナダドル (CAD) から U.S. ドル (USD) への換算を想定します。

この例では、為替レートは 1 CAD = 0.63492 USD で、丸め係数は 50 です。換算プログラムは、換算された限度額を切り上げまたは切り捨てします。

次の表は、換算された限度額がどのように丸められるかをまとめたものです。

換算後の限度額	説明
切上げ	<p>換算プログラムでは、8,000 CAD は 5,079.36 USD に換算されます。次の計算に基づいて、5,079.36 USD は 5,100 に切り上げられます。</p> <p>換算金額 ÷ 丸め係数 = Q 余り R。R が丸め係数の 1/2 以上の場合、丸め係数から R が減算され、その金額が換算金額に加算されます。</p> <p>この例では、5,079 USD ÷ 50 = 101 余り 29 で、50 の 1/2 よりも大きいため、50 から 29 が減算され (50 - 29 = 21)、21 を 5,079 に加算することで、丸め後の値は 5,100 になります。</p>
切捨て	<p>換算プログラムでは、12,000 CAD は 7,619.05 USD に換算されます。次の計算に基づいて、7,619.05 は 7,600 に切り捨てられます。</p> <p>換算金額 ÷ 丸め係数 = Q 余り R。R が丸め係数の半分より小さい場合、換算金額から R が減算されます。</p> <p>この例では、7,619 USD ÷ 50 = 152 余り 19 で、19 は 50 の半分より小さくなります。7,619 から 19 を引き、丸め後の値は 7,600 になります。</p>

## 住所録換算 - F03012 プログラム (R8903012E) の実行

略式コマンドに「BV」と入力して、[バッチ バージョンの処理] - [使用可能なバージョン] フォームにアクセスします。[バッチ アプリケーション] フィールドに「R8903012E」と入力します。

## 処理オプション: 住所録換算 - F03012 (R8903012E) の設定

システムの更新を制御したり、通貨コードおよび金額を更新するかどうかを決定したり、換算後の金額をどのように丸めるかを指定するには、次の処理オプションを使用します。

### 更新

次の処理オプションでは、顧客マスターの残高および為替レート日付として使用される日付を更新するかどうかを定義します。

- |                        |  |
|------------------------|--|
| <b>1. 顧客マスターの残高の更新</b> | 顧客マスターの残高を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: 顧客マスターの残高を更新しません。<br>1: 顧客マスターの残高を更新します。 |
| <b>2. 為替レート日付</b>      | 為替レート日付として使用する日付を指定します。この処理オプションをブランクにすると、現在の日付がデフォルト日付として使用されます。                        |

### 通貨

次の処理オプションで、F03012 テーブルの住所録通貨コードおよび通貨コード顧客マスターを更新するかどうかを指定します。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <b>3. 住所録通貨コードの更新</b>    | F03012 テーブルの住所録通貨コードおよび金額を更新する通貨を入力します。この処理オプションをブランクにすると、住所録通貨コードおよび金額は更新されません。 |
| <b>4. 通貨コード顧客マスターの更新</b> | F03012 テーブルの通貨コードを更新する通貨を入力します。この処理オプションをブランクにすると、通貨コードは更新されません。                 |

### 四捨五入

次の処理オプションで、最小および最大丸め値を指定します。

- |                     |   |
|---------------------|---|
| <b>[金額 - 与信限度額]</b> | 与信限度額に使用する丸め係数を入力します。たとえば、値 100 を入力した場合、換算額は 100 の単位に丸められ、50 を入力した場合は 50 の単位に丸められます。この処理オプションをブランクにすると、値は丸められません。   |
| <b>[最小オーダー値]</b>    | 最小オーダー値に使用する丸め係数を入力します。たとえば、値 100 を入力した場合、換算額は 100 の単位に丸められ、50 を入力した場合は 50 の単位に丸められます。この処理オプションをブランクにすると、値は丸められません。 |
| <b>[最大オーダー値]</b>    | 最大オーダー値に使用する丸め係数を入力します。たとえば、値 100 を入力した場合、換算額は 100 の単位に丸められ、50 を入力した場合は 50 の単位に丸められます。この処理オプションをブランクにすると、値は丸められません。 |

## 日付基準顧客セットの設定

このセクションでは、日付基準顧客セットの概要とその設定方法について説明します。

### 日付基準顧客セットについて

顧客セットは、受注オーダー処理に関連する役割を割り当てた対象の集まりです。通常、顧客セットの対象は次の通りです。

- 発注者
- 出荷先
- 納付先
- 請求先
- 支払元
- 請求書のコピー送付先（通常は、支払元）

日付基準顧客セットを設定すると、同じ機関、会社などが頻繁に関係する受注オーダーを入力する際に便利です。

各顧客セットには、有効日付と有効期限を割り当てることができます。有効日付と有効期限がオーバーラップしていなければ、有効日付を割り当てることで、同じ機関や会社などの様々な組合せを含む顧客セットを設定できます。受注オーダー入力の際にオーダーを作成した発注元（販売先）とオーダーを出荷する相手（出荷先）を指定すると、この販売先/出荷先を含む顧客セットが検索されます。オーダー日付が顧客セットの有効日付と有効期限内であれば、その顧客セットの他の機関や会社が自動的に入力されます。

日付基準顧客セットを設定したら、事業所固定情報プログラムの該当するシステム固定情報を設定して顧客セット機能を有効にする必要があります。

### 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 顧客セットを構成する各事業体の住所録レコードが存在していることを確認してください。
- 顧客セットの各事業体の顧客請求指示が設定されていることを確認してください。

### 日付基準顧客セットの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[顧客セットの処理]	W42430A	[受注管理システム セットアップ] (G4241)、[顧客セット]	顧客セットレコードを確認および選択します。
[顧客セットの改訂]	W42430B	[顧客セットの処理] フォームで [追加] をクリックします。	顧客セットを追加および改訂します。

### 日付基準顧客セットの設定

[顧客セットの改訂] フォームにアクセスします。

**[配送先]**

住所録レコードを識別する名前または番号を入力します。この住所録レコードは、オーダーの納入先を表します。この番号を使用して、住所録レコードに関する情報の検索や入力ができます。住所番号以外の値（詳細住所、税 ID など）を入力する場合は、住所録固定情報で定義した特殊文字を先頭に付ける必要があります。レコードを検索すると、このフィールドに住所番号が表示されます。

たとえば、住所番号 4100 (Total Solutions) の詳細住所番号が TOTAL で、住所録固定情報で設定した詳細住所番号を区別する記号が \* (アスタリスク) の場合、このフィールドに「\*TOTAL」と入力して検索すると、住所番号 4100 が表示されます。

**[請求先]**

住所録レコードを識別する名前または番号を入力します。この住所録レコードは、請求書の送付先を表します。この番号を使用して、住所録レコードに関する情報の検索や入力ができます。住所番号以外の値（詳細住所、税 ID など）を入力する場合は、住所録固定情報で定義した特殊文字を先頭に付ける必要があります。レコードを検索すると、このフィールドに住所番号が表示されます。

たとえば、住所番号 4100 (Total Solutions) の詳細住所番号が TOTAL で、住所録固定情報で設定した詳細住所番号を区別する記号が \* (アスタリスク) の場合、このフィールドに「\*TOTAL」と入力して検索すると、住所番号 4100 が表示されます。

**[支払元住所 No.]**

住所録レコードを識別する名前または番号を入力します。この住所録レコードは、請求書の支払元を表します。この番号を使用して、住所録レコードに関する情報の検索や入力ができます。住所番号以外の値（詳細住所、税 ID など）を入力する場合は、住所録固定情報で定義した特殊文字を先頭に付ける必要があります。レコードを検索すると、このフィールドに住所番号が表示されます。

たとえば、住所番号 4100 (Total Solutions) の詳細住所番号が TOTAL で、住所録固定情報で設定した詳細住所番号を区別する記号が \* (アスタリスク) の場合、このフィールドに「\*TOTAL」と入力して検索すると、住所番号 4100 が表示されます。

**[転送先住所 No.]**

住所録レコードを識別する名前または番号を入力します。この住所録レコードは、オーダーの転送先を表します。この番号を使用して、住所録レコードに関する情報の検索や入力ができます。住所番号以外の値（詳細住所、税 ID など）を入力する場合は、住所録固定情報で定義した特殊文字を先頭に付ける必要があります。レコードを検索すると、このフィールドに住所番号が表示されます。

たとえば、住所番号 4100 (Total Solutions) の詳細住所番号が TOTAL で、住所録固定情報で設定した詳細住所番号を区別する記号が \* (アスタリスク) の場合、このフィールドに「\*TOTAL」と入力して検索すると、住所番号 4100 が表示されます。

**[税務用住所]**

税金の計算に使用する住所番号を指定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 出荷先住所番号を税務用住所として使用します。
- 2: 配送先住所番号を税務用住所として使用します。

**[輸送/Intrastat 時使用する住所]**

輸送および Intrastat に使用する住所番号を指定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 出荷先住所番号を輸送および Intrastat に使用します。



2: 配送先住所番号を輸送および Intrastat に使用します。



## 第 5 章

# UCC 128 準拠の設定

この章では、UCC 128 準拠、UCC ID コード、バーコード ラベルの概要と、以下の方法について説明します。

- 階層構成の設定
- 出荷情報の設定
- UCC 128 における品目情報の設定

---

## UCC 128 準拠について

サイクル回数の削減や在庫制限、増収を目指して、大規模な小売業では購買オーダーや請求書を主に電信で取引します。

米国の UCC (Uniform Code Council) やカナダの ECCC (Electronic Commerce Council of Canada)、EAN (International Article Numbering Association) では、標準の ID コードと情報伝送の手順が確立されています。これは UCC 128 準拠として知られていて、仕入先と顧客（小売業者）間の出荷情報を統一された製品 ID で行うよう促進する規格です。

仕入先と小売業者は、次の UCC 128 規格に準拠しています。

- ID コード  
各コードについて定義された構造。
- バーコード ラベル  
単一の製品ユニットや消費用梱包、出荷の回収またはパッケージに対する情報をエンコード（暗号化）する固定または可変コード。
- 出荷ラベル  
UCC 共通ラベルの特定基準に準拠した出荷ラベル。この標準により、特定のラベル セグメントと、各セグメントに組み込まれる情報が設定されます。
- 電子データ交換 (EDI)  
構造化された機械読取情報の電子交換。

UCC 128 に準拠することになり、取引規模の大きな小売業者には次の利点があります。

- 販売の向上  
倉庫での保管時間を短縮して、製品を迅速に納品できます。たとえば、製品を早く顧客に納品することにより、仲買における増収が期待できます。
- 安全在庫の削減  
納品前に出荷情報を入手することで、不足分にすばやく対処して安全在庫を削減できます。

- 予測精度の向上

出荷のリードタイムをさらに正確に計算できます。これは安全在庫の削減にもつながります。

- コストの低減

スキャナで出荷ラベルを読み取ることにより、手入力よりも早くバーコード データを収集できます。この方法は労務費の負担が少ない上に、エラーやデータ欠損の削減にもつながります。

- 倉庫管理の向上

精度の高い出荷統計情報の収集、倉庫保管期間の縮小、より効率的な倉庫スペースの活用と労務スケジュールを実現できます。

仕入先には次の利点があります。

- キャッシュ フローの向上

小売業者との支払回数を低減することで、借入必要額を減らし、キャッシュ フローを向上させることができます。

- 販売の向上

小売業者は、UCC128 を準拠できない仕入先にはペナルティを課します。通常、ペナルティーは取引ごとに課されます。その仕入先が指定された時間内に UCC 128 に準拠しない場合には、この小売業者との取引を失うことになります。

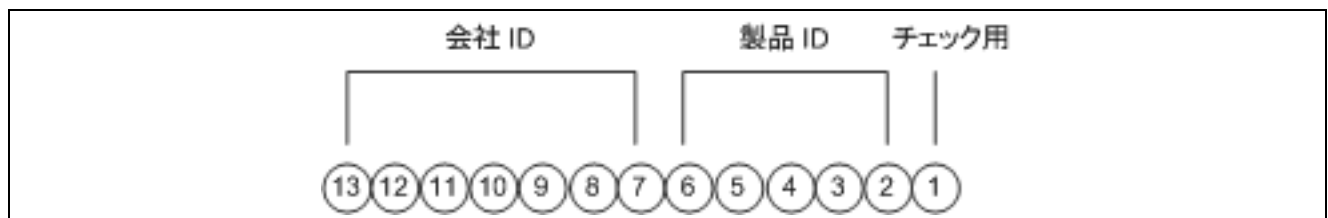
## UCC ID コードについて

それぞれの会社で製品の ID コードを割り当てることができます。UCC (Uniform Code Council) や ECCC、EAN (カナダと米国以外) では、加入している法人に会社 ID を割り当てています。会社 ID の最初の桁は地域コードになります。北米の地域コードは 0 です。このため、最初の桁をゼロ (0) とした場合、会社 ID は 7 桁になります。それぞれの UCC コードには会社番号が含まれるため、番号は全て固有のものになります。

### 統一商品コード (UPC コード)

各会社は、個々の製品について消費単位と最小販売可能単位の両方に統一商品コード (北米では UPC、それ以外では EAN-13) を割り当てることができます。たとえば、炭酸飲料は個別に販売できるため、1 缶に UPC ID を付けることがあります。UPC コードは特定の製品の 1 単位を識別する固定コードです。

次の図は、UPC コードの構造の例です。



UPC/EAN-13 コード構造

UPC コードの構成は次のとおりです。

- Uniform Code Council または EAN で割り当てられる 7 桁の会社 (製造業者) ID。

北米の会社の会社 ID は、最初にくる 7 桁目が常にゼロ (0) でコードに固定されているので、残る 6 桁のみで表示します。

- 各会社が割り当てる 5 桁の製品 ID。
- チェック用の 1 文字。

一般的に、社内使用に会社独自の製品 ID コードが使用され、その社内の製品 ID コードが UPC に相互参照されます。

## 出荷コンテナ コード

出荷コンテナ コード（北米では SCC-14、それ以外では EAN-14）を個々の製品の内装に割り当てます。たとえば、炭酸飲料は多様な構成で販売されます。その 1 つとして、6 缶入りパック 4 個で 1 ケースを構成することができます。この場合、このケースには内装 ID (SCC-14) が貼付されることになります。

UPC と同様に出荷コンテナ コード (SCC) は、特定製品の特定消費単位を識別する固定コードです。例にある炭酸飲料ケースに貼付される SCC は、炭酸飲料 6 缶または合計 24 缶の 4 つの消費単位を示します。

SCC-14 コードの構成は次のとおりです。

- 梱包を識別する 1 桁の梱包インジケータ。  
この ID は会社で割り当てられ、製品ごとに異なる場合があります。この ID は次の値で固定されています。
  - ゼロ (0) は、SCC の製品 ID がそのパッケージ内の UPC コードの製品 ID と異なることを示します。
  - コード 1～8 は、会社定義による梱包を示します。たとえば、1 は 6 パック入りの 1 ケースを意味し、2 は 12 パック入りの 1 ケースを示すことができます。
  - コード 9 は、パッケージ内の消費単位の UPC コードが同じ製品でも、そのパッケージの製品量がパッケージごとに異なることを示します。
- Uniform Code Council または EAN で割り当てられる 7 桁の会社（製造業者）ID。
- 各会社が割り当てる 5 桁の製品 ID。
- チェック用の 1 文字。

このシステムでは、SCC コードは品目コードとして扱い、特定の計量単位を使用します。どの品目にも UPC コードは 1 つですが、SCC コードは複数持つことができます。

## シリアル出荷コンテナ コード

シリアル出荷コンテナ コード (SSCC-18) は、車両の積荷や出荷全体など、カートンや出荷コンテナに割り当てる固有のシリアル番号です。

シリアル出荷コンテナ コード (SSCC) は可変コードで、SCC と UPC の階層構造として使用できます。各コードはデータベース レコードのキーとなります。たとえば、10 ケースの炭酸飲料と 10 ケースのジュースを持つパレットに SSCC を貼付することができます。

次の図は、SSCC-18 コードの構造の例です。



SSCC-18 コード構造

SSCC-18 コードの構成は次のとおりです。

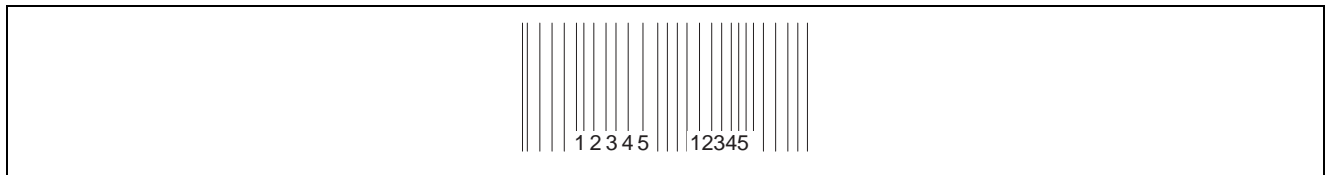
- 1 桁の梱包タイプ。この ID は次の値で固定されています。
  - ゼロ (0) は出荷コンテナがケースまたはカートンであることを示します。
  - コード 2 は出荷コンテナがパレット (ケースよりも大きい) であることを示します。
  - コード 3 は出荷コンテナが定義されていないことを示します。
  - コード 4 は出荷コンテナが社内用であることを示します。
  - コード 5~9 は将来の使用に予約されています。
- Uniform Code Council または EAN で割り当てられる 7 桁の会社 (製造業者) ID。
- 各会社が割り当てる出荷方法を識別する 9 桁のシリアル番号。
- チェック用の 1 文字。

## バーコード ラベルについて

バーコードは、出荷する物理的な製品や内装、パッケージの集合に関する情報をエンコード (暗号化) した機械読取用の記号です。

### UPC/EAN-13 用のバーコード ラベル

次の図は、UPC ラベルの構造の例です。



UPC コード例

UPC 記号のフォーマットは、ビジネス ニーズに対応してさまざまなものがあります。

- UPC-A: 12 または 13 桁を全て表示するフォーマット。
- UPC-E: 12 または 13 桁の数字からゼロの部分を省いた 8 桁のフォーマット。

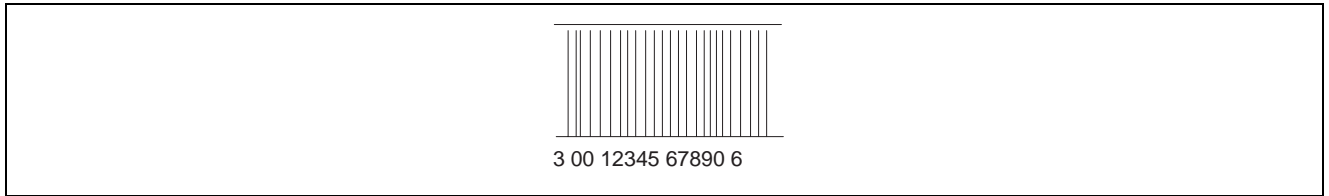
このフォーマットでは 8 桁しか表示されませんが、バーコード読取装置でスキャンして暗号がデコード (解読) されると、全桁のデータがコンピュータに転送されます。

### SCC-14/EAN-14 用のバーコード ラベル

ラベルや組み込む情報を印刷する場所によって、出荷コンテナ コードにはさまざまなフォーマットを使用することができます。たとえば、段ボール箱へのバーコード印刷には、Interleaved 2-of-5 (ITF) フォーマットを使用できます。アプリケーション識別子 (AI) プレフィックスをエンコード (暗号化) する場合に UPC/EAN-128 を利用することがあります。エンコードされた番号で示される商品をスキャナで識別することができるため、出荷ラベルに貼付された複数のバーコードをスキャンする際に、AI プレフィックスが重要になります。

Interleaved 2-of-5 (ITF) フォーマットでは 14 桁の数字がエンコードされ、UPC/EAN-128 よりも印刷に信頼性があるため、段ボール箱によく使用されます。

次の図は、SCC14/EAN-14 ラベルの構造の例です。



SCC-14/EAN-14 用のバーコード ラベル

UPC/EAN 128 フォーマットでは 14 桁の SCC と AI のプレフィックスがエンコードされます。

次の図は、UPC/EAN 128 ラベルの構造の例です。



UPC/EAN128 用のバーコード ラベル

### シリアル出荷コンテナ コード (SSCC-18) 用のバーコード ラベル

シリアル出荷コンテナ コードは UPC/EAN-128 規格でエンコードされます。この規格では、SSCC-18 コードの 18 桁と AI プレフィックスの両方をエンコードします。AI は暗号化 (エンコード) された情報タイプを識別します。00 の AI はバーコードを SSCC-18 として識別します。

SSCC は、出荷品やパレット、コンテナに貼付されるラベルです。出荷品が梱包されるときや、顧客に向けて荷積みされるときに、このラベルを使用することができます。

次の図は、SSCC-18 ラベルの構造の例です。



SSCC-18 用のバーコード ラベル

## 階層構成の設定

このセクションでは、階層構成の概要と設定方法について説明します。

### 階層構成について

オーダー情報を伝送する際に、出荷情報や出荷に含まれるオーダー、オーダー品目を伝達するフォーマットを確立できます。階層構成を定義することにより、顧客のニーズに対応した情報を伝送します。

ビジネス ニーズに基づいた構造が設定できます。次の表は、階層構造の例です。

構造	説明
ピッキング/梱包	製品を自重レベルと梱包レベルで組み合わせることができるため、最も柔軟に構成できます。
標準カートン梱包	この構成内では、従属の自重レベルと梱包レベルに UPC は 1 つのみです。

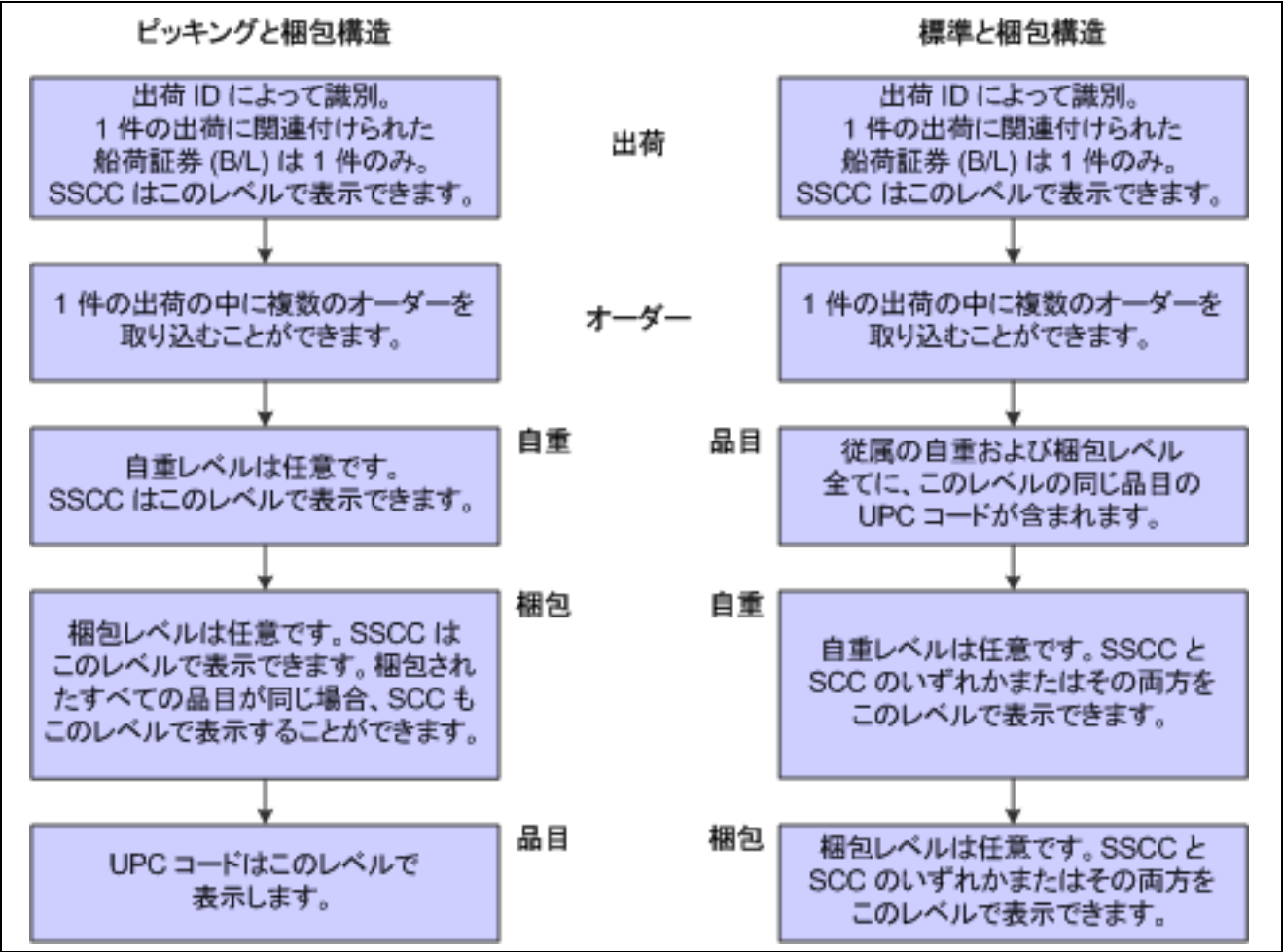
顧客の優先情報を基にこの構成内で階層を定義できます。次の表は、構成レベルの例です。

構成レベル	説明
出荷 (S)	伝送される各トランザクション セットに対する出荷レベルは 1 つです。これには船荷証券番号や出荷先、販売元などの情報が含まれます。
オーダー (O)	オーダーレベルには仕入先の受注オーダーや顧客の購買オーダーに関する情報が含まれます。
自重 (T)	自重レベルは任意で、パレットやさらにサイズの大きい製品の集合体に関する情報が含まれます。
梱包 (P)	梱包レベルは任意で、内装に関する情報が含まれます。
品目 (I)	品目レベルには UPC 番号や数量など出荷製品の情報が含まれます。

顧客からの要望にはさまざまなものがあり、オーダーに出荷/オーダー/品目の情報を必要とする場合や、出荷/オーダー/自重/梱包/品目の情報を必要とする場合があります。階層構造を定義することで、事前出荷通知 (ASN) に対するニーズに合った情報を顧客に伝送します。

次の図は階層構成を示したものです。





## 階層構成の設定に使用するフォーム




フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[階層構成定義の改訂]	W47HLD	[出荷通知] (G47215)、[階層構造定義] [階層構成定義の処理] で [追加] をクリックします。	階層構成を定義することにより、顧客のニーズに対応した情報を伝送します。

## 階層構成の設定

[階層構成定義の改訂] フォームにアクセスします。

階層構造定義 - 階層構成定義の改訂

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

住所No.

4247

Coastal Services

階層構成 \*

SOTPI




階層構造コード

1

☐ 拡張ASN

レコード 1 - 5

グリッドのカスタマイズ

		レベル	階層構成	フィールド名	昇順降順	合計レベル
<input checked="" type="radio"/>		1.000	S	SDCDCD	A	1
<input type="radio"/>		2.000	O	SDDOCO	A	2
<input type="radio"/>		3.000	T	XDPLT	A	3
<input type="radio"/>		4.000	P	XDPAK	A	4
<input type="radio"/>		5.000	I	SDITM	A	5

[階層構成定義の改訂] フォーム

**[住所 No.]** 従業員、応募者、加入者、顧客、仕入先、テナント、ロケーションなど、住所録システムの項目を識別する番号を入力します。

**[階層構成]** 出荷通知/積荷目録にあるレベルを指定する EDI 856 トランザクション セット階層構成コードを入力します。このフィールドは 2 文字の階層レベルコードの組合せ（データ要素 735 に対する X12 仕様の値 - 階層レベルコード）から構成されます。このフィールドには、最大 9 つの HLC コードの組合せを使用できます。

**[階層構造コード]** HL セグメントを使用してトランザクション セットの構造を定義する EDI トランザクション セットの階層アプリケーション構造を示すコードを入力します。

**[レベル]** オンラインで表示およびレポートするためにテーブルを論理グループにまとめる番号を入力します。

**[フィールド名]** データ辞書項目名を入力します。たとえば、会社の場合は F#MMCO または F#CO、ビジネスユニットの場合は F#MMCU または F#MCU、ビジネスユニットのカテゴリコード 01～30 の場合は F#RP01-30 のようになります。

#、@、\$ を除き、データ項目名の一部に特殊文字を使用することはできません。

ソフトウェアを更新しても上書きされない保護データ名を作成するには、\$xxx および @xxx を使用します（ここで、xxx はユーザー定義です）。

**注:** レポートライターの場合:[処理オプションの設定] フォームでは、[フィールド名] はデータ入力時にフィールド サイズや他のフィールド属性を編集するために使用します。

**[昇順/降順]** 昇順または降順のソート順序を指定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

A: 昇順

D: 降順

---

注: OPNQRYP コマンド内で UNIQUEKEY パラメータを指定するために使用。これらのコードで指定されるキー シーケンス フィールドの数は、UNIQUEKEY パラメータに割り当てられる数になります。このパラメータにより、指定したキーに対してレコードの重複を避けることができます。

---

U: 昇順

V: 降順

### [合計レベル]

レベル区切りを入力します。(勘定科目マスターまたはビジネスユニット マスターの詳細レベル概念 (それぞれ LDA および LDM を参照) と混同しないでください)。このフィールドに取り込む合計レベルを指定できます。最大 9 つの合計レベルを使用できます。ソート順序パラメータに合った合計レベルがオーダーで指定されていない場合、予想外の結果を招きます。

たとえば、以下のようになります。

レベル 01 – 部署ごとの合計 – ソート順序 03 レベル 02 – 事業所ごとの合計 – ソート順序 02 レベル 03 – 部門ごとの合計 – ソート順序 01 レベル 10 – 総合計。同じ合計レベルを複数のデータ フィールドで指定する場合、全ての 2 次フィールドの合計レベルの先頭位置に 1 と入力します。

たとえば、以下のようになります。

レベル 01 – ビジネスユニット (ここから記述が取り込まれます)

レベル 11 – 主科目 (記述は無視されます)

レベル 11 – 補助科目 (記述は無視されます)

---

## 出荷情報の設定

このセクションでは、出荷ラベルの概要と出荷情報の設定方法について説明します。

### 出荷ラベルについて

出荷ラベルはサイズや形、内容物によって異なる場合がありますが、特定の標準である UCC の統一ラベルに準拠します。この規格はラベルの区分を識別して、各区分の情報タイプを定義します。

次の図は出荷ラベルの例です。

区域 A	出荷元: 仕入先 1155 Battery Street San Francisco, CA 94111	出荷先: 顧客 DC 1478 5241 San Antonio Drive NE Albuquerque, NM 87109	区域 B
区域 C	出荷先郵便番号 (420) 871009 	運送業者 最適運賃 PRO: 28957698660 B/L: 853930	区域 D
区域 E	PO: 345-896779-0 部署: 092		
区域 F			
区域 G	顧客参照番号: 	顧客店舗 1528 1815 N. Main Roswell NM 88201	
区域 I	SCCC- 		区域 H

出荷ラベルの例

次の例では、前述のバーコードとそれに含まれる情報を示しています。

区域	内容	特性
区分 A - 出荷元	出荷元の名称と住所	満載のトレーラー出荷には条件付き、その他の出荷には必須
区分 B - 出荷先	出荷先の名称と住所	満載のトレーラー出荷には条件付き、その他の出荷には必須
区分 C - 運送業者経路のバーコード	出荷先の郵便番号または PRO 番号バーコード	条件付き
区分 D - 運送業者	運送業者名、SCAC 船荷証券番号、PRO 番号の運送業者割当によるパッケージ製品 ID、運送業者割当による荷主 ID	条件付き
区分 E - 取引先 ID データ	取引先 ID 用の同意に基づくデータ。バーコードコードとテキストデータの両方をこの区分に表示できます。たとえば、購買オーダー番号、シリアル番号、製品番号を入力できます。	任意

区域	内容	特性
区分 F-取引先 ID データ	取引先 ID 用の同意に基づくデータ。このデータは区分 E の補足になります。	任意
区分 G-最終出荷先コード	従業員が解読できる大きい所在地番号またはバーコード。たとえば、マーク先 No. に使用できます。	条件付き
区分 H-最終出荷先コード	最終出荷先 ID、マーク先の名称と住所	条件付き
区分 I-SSCC-18 バーコード	シリアル出荷コンテナコード	必須

## 出荷情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[受注管理システム セットアップ](G4241)、[顧客請求指示]  顧客を選択した後、[顧客マスターの処理]で[選択]をクリックします。	UCC 128 に準拠するための顧客の仕様を設定します。この仕様には、輸送設備や配送経路、参照番号など、伝送情報や補足的な UCC 128 処理情報に対する顧客特定のフォーマットが含まれます。

## 出荷情報の設定

[顧客マスターの改訂] フォームにアクセスし、[顧客出荷通知] タブを選択します。

[出荷ラベル印刷プログラム]	顧客宛の出荷ラベルを印刷するときに使用するプログラムの名前を入力します。
[ピッキング/梱包構成]	顧客が要求するデフォルトのピッキング/梱包構成を入力します。
[標準カートン梱包構成]	顧客が要求するデフォルトの標準カートン梱包構成を入力します。
[なし、ピッキング/梱包、標準カートン]	顧客が要求するデフォルト構成を入力します。有効値は以下のとおりです。 ブランク:この顧客については処理は行いません。 1: ピッキング/梱包構成がデフォルト値です。 2: 標準カートン構成がデフォルト値です。
[梱包コード]	この顧客について梱包コードが必要であることを示す場合に選択します。
[配送方法]	この顧客について配送方法が必要であることを示す場合に選択します。
[設備必須]	この顧客について設備コードが必要であることを示す場合に選択します。
[識別コード 1]	この顧客について ID コード 1 が必要であることを示す場合に選択します。
[重量]	この顧客について重量コードが必要であることを示す場合に選択します。
[参照番号 1]	この顧客について参照番号 1 が必要であることを示す場合に選択します。

## UCC 128 における品目情報の設定

このセクションでは、UCC 128 における品目情報の概要、事前設定、および UCC 128 における品目情報の設定方法について説明します。

### UCC 128 における品目情報について

在庫にある品目の情報をシステムに入力してください。品目マスター情報の入力時には、次の情報を入力します。

- 品目 ID
- 品目記述

UCC 128 処理用に、品目 ID を製品単位や内装に割り当てる UPC または SCC にすることができます。

#### パッケージ インジケータ

SCC の設定時に、次の梱包インジケータを使用して梱包タイプを識別します。

- ゼロ (0) は、SCC の製品 ID がそのパッケージの UPC の製品 ID と異なることを示します。  
この製品 ID はキット品目に使用します。
- コード 1～8 は、会社定義による梱包を示します。  
たとえば、1 は 6 パック入りの 1 ケースを意味し、2 は 12 パック入りの 1 ケースを示すことができます。
- コード 9 は、パッケージ内の消費単位の UPC の ID が同じ製品でも、そのパッケージの製品量がパッケージごとに異なることを示します。  
可変計量単位はサポートされていません。

#### 複合 SCC

複合 SCC を設定して、非在庫構成成品を使ってキットを表すことができます。キットとは、記述名（親品目）に関連付けられた在庫品目（構成成品）の集合です。複合 SCC は親品目を表します。[品目相互参照の改訂] フォームで、構成成品の UPC をキット品目の複合 SCC に割り当てることができます。相互参照情報は、在庫数量をトラッキングしない非在庫品目に対してのみ入力します。たとえば、包帯などの品目は使用数量や UPC を記録しないので非在庫品目です。在庫数量をトラッキングする販売品目は救急用品で、この中には包帯も含まれます。顧客の要件に応じて、救急用品に対しては複合 SCC を入力し、包帯などの救急用品の構成成品に対しては品目相互参照情報を入力できます。

構成成品が在庫品目の場合、相互参照情報を入力する必要はありません。キットの受注オーダーを入力すると、品目マスター テーブルから構成成品の UPC などのキット情報が読み込まれます。

非在庫品目のキット ID を設定するには、製品 ID の SCC を 0 (ゼロ) に設定して、UPC の製品 ID と SCC が同じでないことを示すことができます。UPC を複合 SCC に割り当てするには、[品目相互参照] フィールドにその情報を入力してください。

[品目相互参照] で、品目相互参照タイプに UP と入力して、UPC であることを示す必要があります。相互参照の品目番号は UPC になり、相互参照記述は計量単位になります。

### 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- UDC (41/UC) に Uniform Code Council で割り当てられた仕入先番号を設定します。

- UDC (49/SD) に出荷伝票タイプが設定されていることを確認します。

## UCC 128 における品目情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保管/出荷]	W4101D	[在庫マスター/トランザクション] (G4111)、[品目マスター]  品目を選択した後、[品目マスターの処理] の [ロー] メニューで [保管/出荷] を選択します。	品目 ID として製品単位および内装に UPC コードまたは SCC コードを割り当てます。
[品目別品目相互参照の改訂]	W4104C	[保管/出荷] の [フォーム] メニューで [品目相互参照] を選択します。	非在庫構成品の UPC を複合 SCC に割り当てます。

## UCC 128 における品目情報の設定

[保管/出荷] フォームにアクセスし、[UCC 128] タブを選択します。

**[UPC/UOM] (統一商品コード/計量単位)**      UPC レベルで計量単位を入力します。

**[UPC/UCC コード] (統一商品コード/統一商事法典)**      UPC 番号の UCC 構造に準拠しなければならない統一商品コード番号を入力します。

**[SCC (PI = 1)] (出荷コンテナコード/梱包インジケータ = 1)**      梱包インジケータが 1 の SCC 梱包に関連付けられている計量単位を入力します。

**[デフォルトの複合 UPC 計量単位] (デフォルトの複合統一商品コード計量単位)**      複合サービス クラス コード梱包に含まれる各統一商品コード数量に使用する計量単位コードを入力します。

**[SCC (PI = 0)] (出荷コンテナコード/梱包インジケータ = ゼロ (0))**      梱包インジケータがゼロ (0) の SCC 梱包に関連付けられている計量単位を入力します。

**注:** このシステムでは、SCC は特定の計量単位の品目コードとして扱います。どの品目にも UPC は 1 つですが、SCC は複数持つことができます。

製品 ID が 1 から 8 の UPC と SCC を入力できます。

キットに製品情報を設定するには、[デフォルトの複合 UPC 計量単位] フィールドと [SCC (PI = 0)] フィールドだけに値を入力します。





## 第 6 章

# 基本価格設定および標準価格設定の設定

この章では、価格設定の概要と、以下の方法について説明します。

- 基本価格設定構造の設定
- 基本価格の設定
- 複合価格グループの設定
- 標準価格調整の設定

---

## 価格設定について

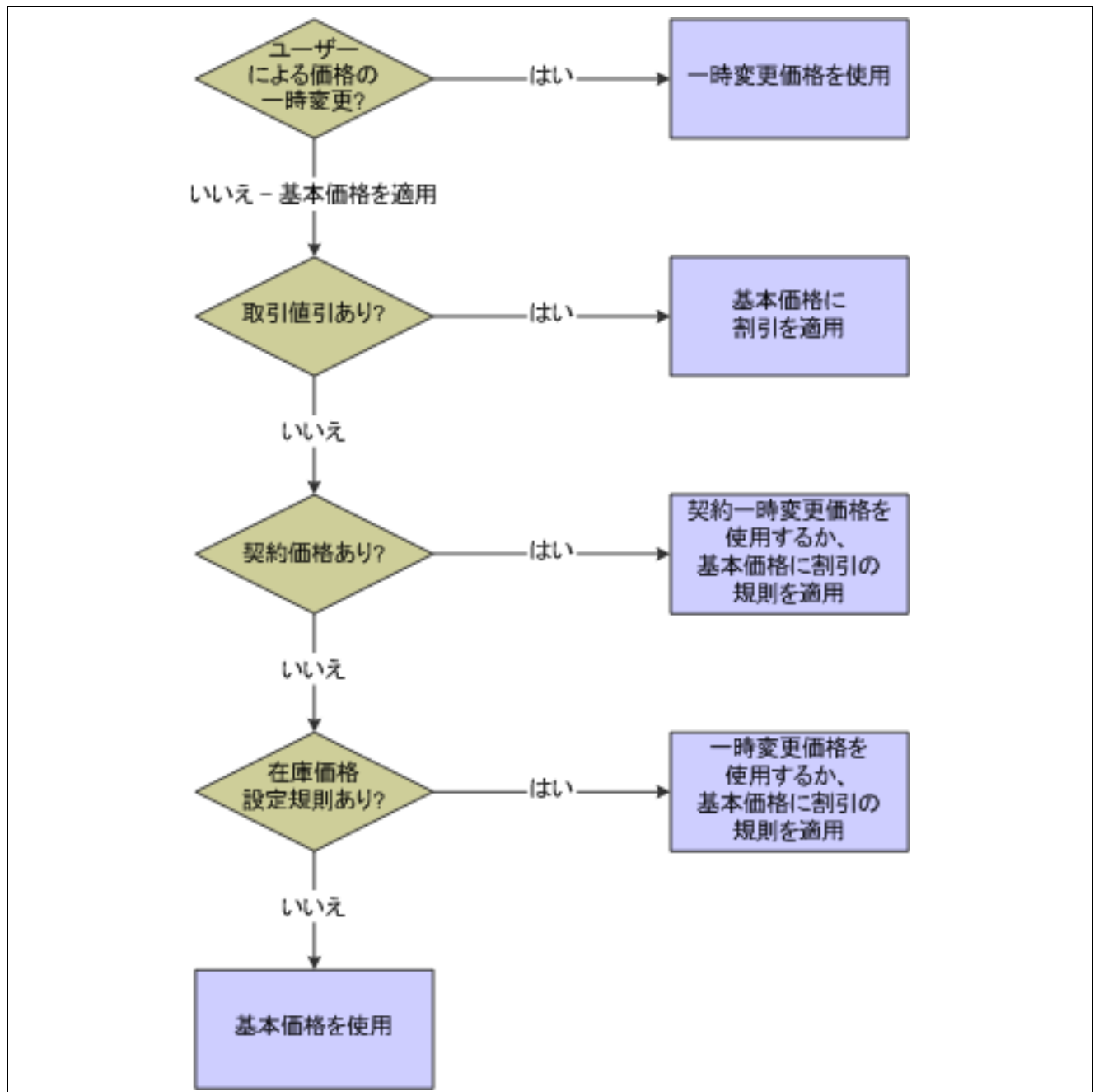
販売する各品目について、価格を定義する必要があります。受注管理システムの価格設定を使用して、受注オーダー品目の入力時に取り込まれる基本価格を定義します。

基本価格を定義する前に価格設定構造を設定することができます。この価格構造を使用して基本価格が取り込まれます。基本価格構造は、品目と顧客のさまざまな組み合わせに対して設定する価格設定体系に柔軟に対応できるように設定してください。顧客グループと品目グループを設定して、品目、品目グループ、顧客、または顧客グループの任意の組み合わせに対して価格を割り当てることができます。価格の検索方法を決定する階層を定義してください。

基本価格の定義後、次のようなタイプの価格計算を追加設定することができます。

- 品目グループに対する価格調整
- ある品目の特殊な価格設定を単一の顧客または顧客グループに適用する契約価格設定
- 特定の顧客向けの全品目に適用する値引率を設定する取引値引価格設定

次の処理フローは、価格の計算方法を示しています。



価格の計算

価格設定は、親、出荷先、または販売先住所に基づいて行われます。基本価格の定義に有効日付を使用して、将来使用される価格には販売促進やその他の特別措置のために一定期間だけ使用される価格を定義することができます。品目が返品された場合に使用する返品価格を設定することもできます。

価格設定構造をさらに柔軟に使用するには、複合顧客グループと品目グループを定義します。顧客グループや品目グループには、特定の住所録カテゴリコードや品目カテゴリコードに基づくサブグループを作成できます。

基本価格の定義後は、価格の変更や将来有効となる価格の作成など、必要に応じて更新を行うことができます。基本価格改訂プログラム (P4106) を使用して、基本価格を個別に更新できます。または、基本価格の一括更新プログラム (R41830) を使用して、複数の価格を 1 度に更新することも可能です。

顧客に対する価格を更新するには、受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラム (R42950) を使用します。この処理を使用して、受注オーダーの単位原価および合計原価を最新の原価で更新することもできます。多通貨処理機能が有効である場合は、[外貨単位] および [合計原価] フィールドも更新されます。

---

## 基本価格構造の設定

このセクションでは、基本価格構造の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 顧客価格設定グループの顧客への割り当て
- 品目価格設定グループの品目への割り当て
- 価格設定階層の設定

### 基本価格構造について

販売する各品目に対して販売に使用する基本価格を設定できます。受注オーダーに品目を入力するとこの価格が取り込まれます。

基本価格は、品目、品目の組み合わせ、品目グループ、顧客、顧客グループに対して定義することができます。基本価格の定義と管理の処理を簡単にするために、同様の特性を持つ顧客や品目に対して価格グループを設定できます。

価格の取り込み時には、基本価格レコードの検索順序を確定するために基本価格優先情報 (51) の階層が使用されます。品目および顧客グループを作成する場合、基本価格優先階層の検索順序を定義して、品目と顧客の組み合わせに加えて、品目と顧客グループの組み合わせを検索することができます。

---

**注:** 51 は実際の階層の値です。基本価格設定にはこの階層を使用する必要があります。

---

### 顧客価格グループ

顧客価格グループは、特定の顧客グループに価格設定体系を適用するために設定します。価格グループは、価格設定体系を確立するための 1 つの手段です。顧客価格グループを設定することにより、複数顧客の価格を個別に入力/更新する代わりに同時に処理することができます。

たとえば、優先顧客に対して「優先」という名称の顧客価格グループを作成すると、他の顧客が 450 ドルで購入する自転車をその顧客は 420 ドルで購入できます。

簡易価格グループとは顧客請求指示で同じグループ名に割り当てられている顧客のグループのことです。基本価格設定では、各顧客に対して使用できる顧客価格グループは 1 つだけです。

価格設定にさらに柔軟性を持たせるために、複合顧客価格グループを設定することができます。複合価格グループとは、同じグループ名に割り当てられいても異なるサブグループに属している可能性のある顧客のグループのことです。顧客の所在地、業種、販売量などのカテゴリコードに割り当てた値を使って複合価格グループにサブグループを定義することができます。

複合価格グループを使用すると、所在地などのカテゴリコードに基づいて、同じグループに属する顧客に異なる価格を割り当てることができます。

上級価格設定では、顧客は顧客請求指示での顧客グループに所属せずに、顧客グループに属することができます。顧客は、そのカテゴリコードによって、複数のグループに所属することができます。

## 品目価格グループ

品目価格グループは顧客価格グループに類似しています。品目価格グループを設定することで、多数の品目に対して個別にではなくグループ別に基本価格情報を定義することができます。

品目価格グループを設定すると、複数の品目価格の入力および更新を個別にではなく 1 度に処理できるようになります。たとえば“BIKES (自転車)”という名称で、色の異なる同じような自転車をグループにして 1 つの価格を定義できます。

簡易価格グループとは、品目マスター (P4101) または事業所品目 (P41026) で同じグループ名に割り当てられている品目のグループのことです。基本価格設定では、各品目は 1 つの品目価格グループにのみ属することができます。

価格設定により柔軟性を持たせるために、複合品目価格グループを設定することができます。複合価格グループとは、同じグループ名に割り当てられいても、異なるサブグループに属している可能性のある品目のグループのことです。商品クラスまたは品目プール コードなどのカテゴリ コードに割り当てた値を使って、複合価格グループにサブグループを定義することができます。

複合価格グループを使用すると、商品クラスなどのカテゴリ コードに基づいて、同じグループに属する品目に異なる価格を割り当てることができます。

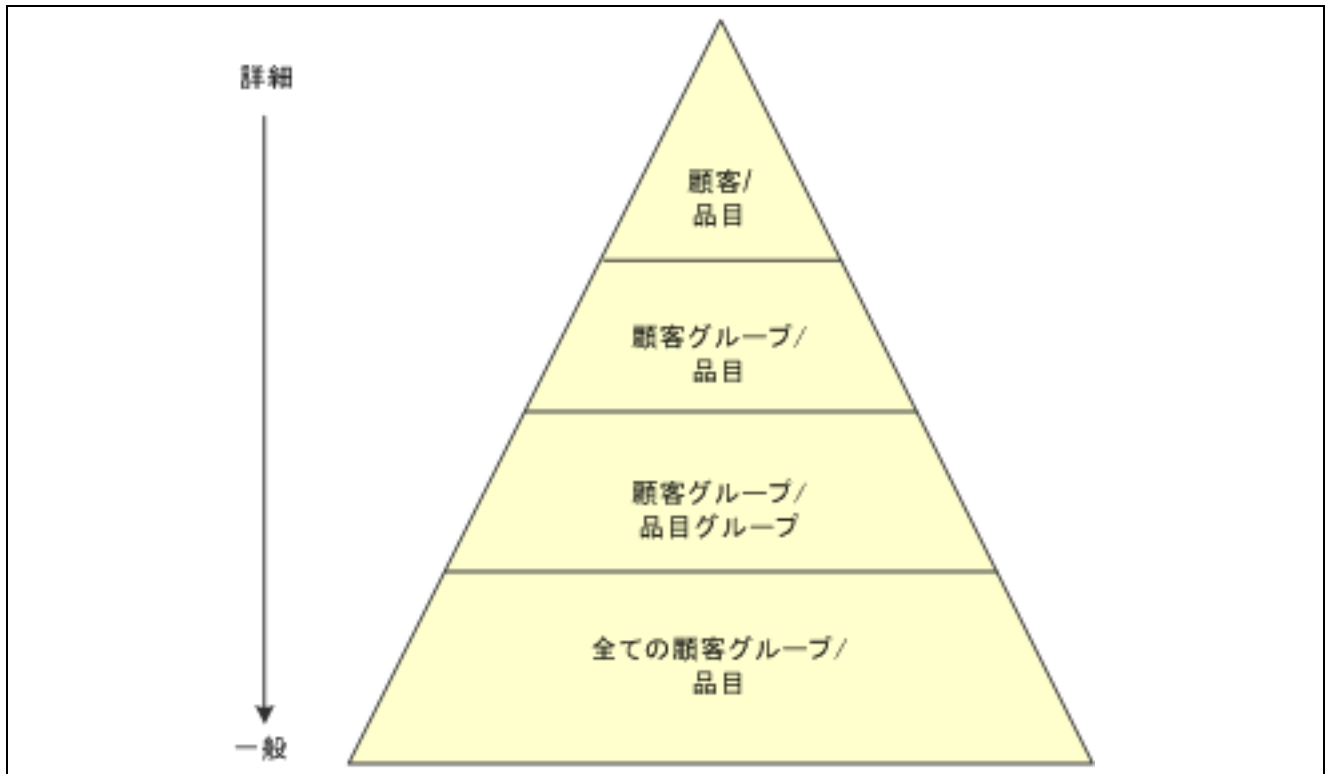
上級価格設定では、品目は事業所品目にある明細グループに添付されずに、このグループに属することができます。カテゴリ コードに従って、1 つの品目が複数のグループに属することが可能です。

## 価格設定階層

価格の取り込み時には、基本価格レコードの検索順序を確定するために基本価格優先情報 (51) に設定した階層が使用されます。基本価格階層は、「顧客と品目」、「顧客と品目価格グループ」の組み合わせから成るマトリックスです。ローとカラムが交差する点を使用して基本価格の検索順序を確定します。

価格設定階層は最も詳細な定義から一般的な定義へと設定することをお勧めします。

下図の例では、最も詳細な品目/顧客の価格階層を示しています。



優先階層の例

**重要:** 優先階層には最高 14 個までの番号を入力できます。ただし、階層に入力する番号は必要最小限に制限することをお勧めします。番号を入力すると、その数だけ品目基本価格テーブル (F4106) の検索が行われます。そのため、階層に番号を追加することによりシステムの処理時間が長くなります。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 顧客価格グループが UDC (40/PC) に設定されていることを確認してください。
- 品目価格グループが UDC (40/PI) に設定されていることを確認してください。

## 基本価格構造グループの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[請求情報]	W03013E	[受注管理システム・セットアップ]メニュー (G4241)、[顧客請求指示]  [顧客マスターの改訂]の[フォーム]メニューの[請求情報]を選択します。	顧客価格設定グループを顧客へ割り当てます。
[品目/事業所情報]	W41026A	[在庫マスター/トランザクション]メニュー (G4111)、[事業所品目][事業所品目の処理]の[ロー]メニューの[事業所品目情報]を選択します。	品目価格設定グループを品目へ割り当てます。
[優先階層の処理]	W40073B	[価格管理] (G4222)、[優先階層]	基本価格階層を選択します。
[優先階層の改訂]	W40073D	[優先階層の処理]で[優先タイプ]に 51 (基本価格) を選択します。	価格設定階層を定義します。

## 顧客価格設定グループへの顧客の割当て

[請求情報] フォームにアクセスします。

顧客請求指示 - 請求情報

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

住所No. 4284 Central Distributor

会社 00000

請求 1 請求 2

請求住所タイプ ☒ 請求先/出荷先住所

関連住所No. 1

価格調整スケジュール

顧客価格グループ RETAIL 小売顧客

最小オーダー値

最大オーダー値

印刷メッセージ

オーダー・テンプレート

与信チェック・レベル C 顧客(販売先) 制約なし

品目制約

取引(値引)

配送指示

購買セグメント・コード BIKES 自転車購買セグメント

☐ 顧客購買オーダー必須

☐ 与信チェックの免除

☐ 配送票

☐ 集計請求書

☒ バックオーダー可

☒ 代替品可

☒ 部分出荷可

☒ 部分オーダー出荷可

☒ 価格ピッキング・リスト

☒ 運賃の適用

☒ 分析証明書の印刷

☐ 監査ログのバイパス

☐ 非アクティブ顧客

[請求情報] フォーム

[顧客価格グループ]

顧客を追加する顧客グループの名前を入力します。

## 品目価格設定グループへの品目の割当て

[事業所品目情報] フォームの [追加情報] タブにアクセスします。

[品目価格グループ]                      品目を追加する品目価格グループの名前を入力します。

## 価格階層の設定

[優先階層の改訂] フォームにアクセスします。

優先タイプ		基本価格	品目 No.	品目グループ
出荷先	顧客 No.		<input type="text"/>	<input type="text"/>
	顧客グループ		<input type="text"/>	<input type="text"/>
販売先	顧客 No.		1	<input type="text"/>
	顧客グループ		2	3
親	顧客 No.		<input type="text"/>	<input type="text"/>
	顧客グループ		<input type="text"/>	<input type="text"/>
すべての顧客			4	<input type="text"/>

[優先階層の改訂] フォーム

ローとカラムの交差部分に連続番号を入力して、基本価格設定階層 (51) を定義します。

優先階層には最高 14 個までの番号を入力できます。ただし、階層に入力する番号は必要最小限に制限することをお勧めします。番号を入力すると、その数だけ F4106 の検索が行われます。そのため、階層に番号を追加するとシステムの処理時間が長くなります。

たとえば、顧客の販売先住所に基づいて品目番号の価格設定情報を最初に検索する場合は、[販売先 No.] の [顧客番号] フィールドの横にある [品目 No.] カラムに "1" と入力します。このレベルに価格が設定されていない場合、値 "2" に関連付けられたパラメータを使用した別の検索が実行されます。

## 基本価格の設定

このセクションでは、基本価格の概要、事前設定、および基本価格の設定を行う方法について説明します。

### 基本価格について

受注オーダーで品目を入力すると、入力した品目の基本価格情報がシステムに取り込まれます。基本価格は、品目や品目グループ、顧客、顧客グループの任意の組み合わせに対して定義できます。

F4101 テーブルに品目を入力する際には、販売価格レベルを入力する必要があります。この販売価格レベルにより、品目の基本価格の定義方法が決定されます。価格を定義するレベルについて次の表に示します。

レベル	説明
品目	1つの品目に対して全般的に適用される価格を1つ定義します。事業所、ロット、および保管場所情報を含めることはできません。
品目/事業所	品目/事業所の各組み合わせに対して異なる価格を定義します。保管場所およびロット情報を含めることはできません。
品目/事業所/保管場所	保管場所およびロット別に価格設定を定義する場合、事業所情報を定義することも可能です。

品目または顧客に対して特別の価格設定や割引を定義すると、基本価格に基づいて割引計算が行われます。

品目の基本価格を定義するときに有効日付を割り当てることができます。ユーザーが有効日付を割り当てない場合は、システムが割り当てを行います。システム固定情報で販売価格基準日も指定して、有効日付と比較される受注オーダーの日付を指定します。販売価格基準日には、約束日付、オーダー日付、またはシステム固定情報で定義した日付が使用できます。この販売価格基準日が有効日付範囲内にある価格がシステムにより取り込まれます。

有効日付を使用して、旧価格がまだ有効な間に新しい価格を入力することも可能です。たとえば、基本価格の日付と限定期間中のみ提供する割引価格の日付を重複させることができます。重複する日付範囲を設定すると、有効期限が先に来る日付の価格が取り込まれます。

各価格に対して、マイナスの数量用に使われる返品価格を定義することもできます。

受注管理システムの価格設定を使用して、国内通貨および必要な数の外貨による品目の価格を追加することができます。たとえば、1つの品目に対して米ドルとユーロで基本価格を設定することが可能です。通貨コードと計量単位はいずれも、F4106 テーブルのキーとなります。多通貨を使用している場合は、次の順序で価格検索が行われます。

- 顧客通貨およびユーザー指定計量単位
- 顧客通貨および品目の基本計量単位
- 国内通貨およびユーザー指定計量単位
- 国内通貨および品目の基本計量単位

一致する項目がない場合、システムは価格設定階層構造の次のレベルに進み、同じ順序で検索を行います。

ある品目グループに属する品目に対して基本価格情報をコピーすることができます。価格設定情報は複写されますが、品目グループ情報は複写されません。

## 事前設定

価格設定階層が定義されていることを確認します。



**関連項目:**

第 15 章、「[価格の更新](#)」、「[異なる通貨を使用した基本価格の新規作成](#)」、622ページ

**基本価格の設定に使用するフォーム**

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[優先基本価格の処理]	W4106J	[価格管理]メニュー (G4222)、[基本価格の改訂]	基本価格の設定に使用するフォームにアクセスします。
[優先階層の選択]	W40073F	[優先基本価格の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	基本価格の設定時に使用する階層を選択します。
[基本価格の改訂]	W4106K	<p>[優先階層の選択] フォームで階層を選択して、[選択]をクリックします。</p> <p>または、[優先基本価格の処理] フォームで品目を検索して選択し、[選択]をクリックします。</p> <p>[ロー]メニューの [ローのコピー] を選択し、基本価格をコピーします。</p> <p>[ロー]メニューの [価格調整] を選択し、フォームの [価格調整] セクションに入力された値に基づいて基本価格を調整します。</p>	基本価格を設定します。価格は金額またはパーセントで調整できます。価格は、[基本価格の改訂] グリッドの各価格を変更することでも変更できます。[基本価格の改訂] フォームのフィールドは、優先階層選択に基づいています。たとえば、顧客グループおよび品目グループに対する価格を定義する場合、グループ情報用のプロンプトが表示されます。

**基本価格の設定**

[基本価格の改訂] フォームにアクセスします。

**基本価格の改訂 - 基本価格の改訂**

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ロー(R) ツール(T)

品目 No. 220 Touring Bike, Red

顧客価格グループ 0

**価格調整**

☒ 単価 ☒ パーセント  
☐ 返品価格 ☐ 金額

レコード 1 - 3 グリッドのカスタマイズ

	事業所コード	保管場所	ロットNo.	単位	顧客価格グループ	通貨コード	単価	有効開始日付
<input type="checkbox"/>	10	.		EA	0	USD	650.0000	2003/02/05
<input type="checkbox"/>	10	.		PT	0	USD	61,250,000.0000	2006/01/19
<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

[基本価格の改訂] フォーム

**[顧客価格グループ]**

顧客グループを識別する UDC (40/PG) を入力します。比較可能な価格設定など、類似した特性によって顧客をグループ化できます。

**[品目価格グループ]**

品目の在庫価格グループを識別する UDC (40/PI) を入力します。

在庫価格グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーや購買オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。この割引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。品目に価格グループを割り当てると、その品目は在庫価格グループに対して定義されたものと同じ価格設定構造を持ちます。

受注オーダーや購買オーダーの値引と割増は、対話形式で計算されるため、品目だけでなく、仕入先や顧客にも在庫価格グループを割り当てる必要があります。

**[価格調整]**

価格を調整する金額を入力します。また次のオプションから、変更する価格と使用方法を選択する必要があります。

[単価]

[返品価格]

[パーセント]

[金額]

**[単価]**

単価カラムを変更する場合に選択します。単価が変更されないようにするには、[単価] チェック ボックスをオフにします。

**[返品価格]**

返品価格カラムを変更する場合に選択します。返品価格が変更されないようにするには、[返品価格] チェック ボックスをオフにします。

**[パーセント]**

係数値はオーダー価格に適用する場合の乗数 (%) であることを表す場合に選択します。たとえば、価格を 5% 調整する場合は、[価格調整] フィールドに 5 と入力し、このオプションを選択します。

**[金額]** 調整に使用する値がパーセントではなく金額であることを表す場合に選択します。たとえば、価格を 5 ドル調整する場合は、[価格調整] フィールドに 5 と入力し、このオプションを選択します。

---

## 複合価格グループの設定

このセクションでは、複合価格グループの概要と、以下の方法について説明します。

- 複合価格グループの設定
- 顧客の価格グループへの割当て
- 複合品目グループの設定
- 品目の品目グループへの割当て
- 価格グループ関係の生成

### 複合価格グループについて

価格設定構造をさらに柔軟に使用するには、複合顧客グループと複合品目グループを定義します。各顧客グループまたは品目グループに、特定の品目タイプ、顧客の所在地、業種、販売量など添付されたカテゴリコードに基づいたサブグループを作成できます。

#### 顧客グループ

複合顧客価格グループを使用すると、さらに柔軟な価格設定構造を設定できます。複合顧客グループの設定にはカテゴリコードを最高 10 まで使用できます。

ここで入力するカテゴリコードの順序によって、関連フォームにおけるカテゴリコード フィールドの表示方法が決まります。ここで選択したカテゴリコードの順序は、システムによる価格の検索方法には影響しません。

顧客に既に割り当てられた価格グループのカテゴリコードは変更可能ですが、顧客価格グループの定義を変更する場合、F4093 テーブルの価格グループ関係を更新するには、顧客価格グループの生成プログラム (R40932) を実行する必要があります。

#### 品目グループ

複合顧客品目グループを使用すると、さらに柔軟な価格設定構造を設定できます。複合品目グループの設定にはカテゴリコードを最高 10 まで使用できます。

たとえば、PENS というグループにマーカーとボールペンの 2 種類がある場合、それぞれのペンタイプに別々の価格を指定できます。ペンに対するオーダーを入力すると、その品目に対して割り当てられたカテゴリコードを使用して、ペンがマーカーなのかボールペンなのかがチェックされ、該当する価格が取り込まれます。

ここで入力するカテゴリコード順序によって、関連フォームにおけるカテゴリコード フィールドの表示方法が決まります。ここで選択したカテゴリコードの順序は、システムによる価格の検索方法には影響しません。

品目に既に割り当てられている価格グループのカテゴリコードを変更する場合、F4093 テーブルの価格グループ関係を更新するために、品目価格グループの生成プログラム (R40931) を実行する必要があります。

---

**注:** 各グループ定義に対して最大で 10 のカテゴリ コードを定義できます。

---

複合価格グループを作成してグループ名を顧客に添付すると、価格グループ関係を生成できるようになります。

### 価格グループ関係の生成

価格グループを設定し、顧客および品目にグループ名を割り当てると、顧客および品目価格グループの関係も生成できるようになります。価格グループの関係を生成して、価格設定で使用可能な顧客と品目グループの組み合わせを定義します。

価格グループの関係を生成するには、次の 2 つのバッチ プログラムを使用します。

- 顧客価格グループの生成 (R40932)
- 品目価格グループの生成 (R40931)

これらのプログラムにより、F4093 テーブルに、使用可能な顧客、品目、カテゴリ コードの組み合わせを含むレコードが作成されます。

価格グループの組み合わせの生成後、エラーを表示するレポートが作成されます。レポートがブランクの場合は、生成処理中にエラーが発生しなかったことを示します。

## 事前設定

顧客価格グループが UDC (40/PC) に設定されていることを確認してください。

## 複合価格グループの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[価格グループ定義の処理]	W4092E	[価格管理]メニュー (G4222)、[顧客価格グループの定義]または[品目価格グループの定義]	複合顧客グループを設定するフォームにアクセスします。
[顧客価格グループの定義]	W4092G	[価格グループ定義の処理]フォームで、[追加]をクリックします。	複合顧客グループを設定します。
[顧客マスターの処理]	W03013A	[受注管理システム・セットアップ]メニュー (G4241)、[顧客請求指示]	顧客を選択します。
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[顧客マスターの処理]で、顧客を選択して[選択]をクリックします。	顧客請求情報にアクセスします。
[請求情報]	W03013E	[顧客マスターの改訂]の[フォーム]メニューの[請求情報]を選択します。	顧客を価格グループへ割り当てます。
[品目価格グループの定義]	W4092C	[価格グループ定義の処理]フォームで、[追加]をクリックします。 最高 10 までのカテゴリコードを昇順で選択します。	複合品目グループを設定します。
[事業所品目の処理]	W41026E	[在庫マスター/トランザクション]メニュー (G4111)、[事業所品目マスター]	品目を品目グループに割り当てるフォームにアクセスします。
[品目/事業所情報]	W41026A	事業所を選択し、[事業所品目の処理]の[ロー]メニューの[品目/事業所情報]を選択します。	品目を品目グループへ割り当てます。

## 複合価格グループの設定

[顧客価格グループの定義] フォームにアクセスします。

**顧客価格グループの定義 - 顧客価格グループの定義** i ?

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

価格グループ

カテゴリ・コード01	<input type="checkbox"/>	販売地域	<input type="text" value="2"/>	カテゴリ・コード21	<input type="checkbox"/>
担当者	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード12	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード22	<input type="checkbox"/>
販売地域	<input type="checkbox"/>	業種	<input type="text" value="1"/>	カテゴリ・コード23	<input type="checkbox"/>
地域	<input type="text" value="4"/>	売上高	<input type="text" value="3"/>	カテゴリ・コード24	<input type="checkbox"/>
カテゴリ・コード05	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード15	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード25	<input type="checkbox"/>
カテゴリ・コード06	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード16	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード26	<input type="checkbox"/>
1099レポート処理	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード17	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード27	<input type="checkbox"/>
カテゴリ・コード08	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード18	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード28	<input type="checkbox"/>
カテゴリ・コード09	<input type="text" value="5"/>	カテゴリ・コード19	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード29	<input type="checkbox"/>
カテゴリ・コード10	<input type="text" value="6"/>	カテゴリ・コード20	<input type="checkbox"/>	カテゴリ・コード30	<input type="checkbox"/>

[顧客価格グループの定義] フォーム

**[価格グループ]** 顧客グループを識別するコード (40/PC) を入力します。比較可能な価格設定など、類似した特性によって顧客をグループ化できます。

## 顧客の価格グループへの割当て

[請求情報] フォームにアクセスします。

**[顧客価格グループ]** 顧客グループを識別するコード (40/PC) を入力します。比較可能な価格設定など、類似した特性によって顧客をグループ化できます。

## 複合品目グループの設定

[品目価格グループの定義] フォームにアクセスします。

## 品目グループへの品目の割当て

[追加情報] タブを選択します。

**[品目価格グループ]** 品目の在庫価格グループを識別する UDC (40/PI) を入力します。在庫価格グループには、独自の価格設定構造があり、この構造により、受注オーダーや購買オーダーの品目に組み込まれた値引や割増が適用されます。この割引や割増は、オーダーされた品目の数量、金額、または重量に基づいています。品目に価格グループを割り当てると、その品目は在庫価格グループに対して定義されたものと同じ価格設定構造を持ちます。受注オーダーや購買オーダーの値引と割増は、対話形式で計算されるため、品目だけでなく、仕入先や顧客にも在庫価格グループを割り当てる必要があります。

## 価格グループ関係の生成

[価格管理] メニュー (G4222) の価格グループ生成プログラムにアクセスします。

1. 顧客価格グループ関係を生成するには、[顧客価格グループの生成] (R40932) を選択します。
2. 品目価格グループ関係を生成するには、[品目価格グループの生成] (R40931) を選択します。

---

## 標準価格調整の設定

このセクションでは、標準価格調整の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 標準価格調整の設定
- 在庫価格設定規則の設定
- 顧客および顧客グループへの価格設定規則の割当て
- 取引値引の設定

### 標準価格調整について

基本価格の定義後、次のような追加の価格調整タイプを設定することができます。

- 品目グループに対する価格調整
- ある品目の特殊な価格設定を単一の顧客や顧客グループに適用する契約価格設定

オーダーの価格設定は次の順序で行われます。

1. 受注オーダーに入力した品目価格により、システムが取り込んだ基本価格が一時変更されます。  
受注オーダー入力プログラム (P4210 または P42101) の処理オプションを設定して、価格関連フィールドや受注明細価格を保護することができます。
2. 顧客請求指示で定義した取引値引によって、その他の価格設定または価格再設定は全て無効になります。
3. 特定の顧客に対する契約価格が、顧客グループに対する契約価格よりも優先されます。  
また、その他の在庫価格設定規則も、この契約価格によって無効となります。特定の顧客に対する契約価格がない場合は、顧客グループに対する契約価格が検索されます。
4. 特定の顧客に対して在庫価格設定規則が定義されている場合は、顧客グループのための在庫価格設定規則が取り込まれる前に、特定の顧客に対する在庫価格設定規則が取り込まれます。
5. 取引値引、契約価格、在庫価格設定規則を定義しない場合は、自動的に基本価格が取り込まれます。

### 在庫価格設定規則

価格設定規則を定義して、品目または品目グループに対する価格設定計画を設定します。在庫価格設定規則とは、顧客または顧客グループに対する価格および数量を定義する価格設定規則のことです。各品目または品目グループに対して価格設定のレベルを定義します。価格分岐は数量別に定義することができます。価格調整が割増しか割引かを指定することが可能です。契約価格を設定し、特定の顧客に対して価格を保証することができます。特定期間にわたり基本価格を一時変更する価格を入力することもできます。

在庫価格設定規則に顧客または顧客グループを割り当てるまでは、価格の調整は行われません。

在庫価格設定規則を定義する場合は、品目価格グループ用に事前に設定したユーザー定義コードを入力します。品目価格グループ用に新しいユーザー定義コードを作成するには、[価格管理] メニュー (G4222) の [在庫価格設定グループの設定] を選択します。

## 取引値引

取引値引は、顧客に値引を行う最も簡単な方法です。その顧客に販売される全ての品目に対して値引が適用されます。取引値引は、他の価格設定を全て無効にします。顧客に対する取引値引が存在する場合は、その他の割引は適用されません。取引値引価格の設定は、顧客請求指示で行います。オーダー合計に適用される固定パーセントを入力してください。

---

注: 受注オーダーで入力されたコンフィギュレーション品目に対して取引値引を使用することはできません。

---

## 契約価格設定

契約価格を設定すると、特定の顧客に対して価格を保証することができます。契約品目に対するオーダーの入力時に、契約価格で販売される残量がチェックされます。

オーダー数量が使用可能な残数量より多い場合には、オーダー行が次の 2 行分けて書き込まれます。

- 契約価格の数量用に 1 行
- 通常価格の数量用に 1 行

契約価格は、在庫価格設定規則を定義して、その規則を顧客に割り当てることで設定します。

---

注: 契約価格設定規則を定義するためには、UDC テーブル (40/PI) で品目の略式 ID 番号をコードとして使用する必要があります。

---

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 品目価格グループが設定されていることを確認します。
- 顧客価格グループが設定されていることを確認します。
- 品目価格グループの価格設定規則が UDC (40/PI) に設定されていることを確認します。

## 関連項目:

第 6 章、「基本価格設定および標準価格設定の設定」、「基本価格構造について」、107 ページ



## 標準価格調整の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[価格設定規則の処理]	W4271D	[価格管理]メニュー (G4222) の [在庫価格設定規則の設定] または [顧客価格設定規則の設定]	標準価格調整の設定に使用するフォームにアクセスします。
[顧客価格設定規則]	W4271B	[顧客価格設定規則の設定]メニュー オプションからアクセスした場合は、[価格設定規則の処理]フォームで [フォーム]メニューの [顧客規則]を選択します。	顧客価格設定規則を設定します。
[在庫価格設定規則]	W4271A	[在庫価格設定規則の設定]メニュー オプションからアクセスした場合は、[価格設定規則の処理]フォームで [フォーム]メニューの [顧客規則]を選択します。	在庫価格設定規則を設定します。
[顧客マスターの処理]	W03013A	[受注管理システム・セットアップ]メニュー (G4241) の [顧客請求指示]	顧客を選択します。
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[顧客マスターの処理]で顧客を選択し、[選択]をクリックします。	取引値引の設定に使用するフォームにアクセスします。
[請求情報]	W03013E	[顧客マスターの改訂]で [フォーム]メニューの [請求情報]を選択します。	取引値引を設定します。

## 標準価格調整の設定

[顧客価格設定規則] フォームにアクセスします。

**顧客価格設定規則の設定 - 顧客価格設定規則**

選択(S) 検索(I) 閉じる(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

在庫価格設定規則コード: BICYCLE 自転車

価格設定方式コード: プランク-価格カテゴリタイプ\* 42/CT

契約価格設定コード: プランク-価格設定タイプ\* 42/PT

顧客価格グループ: プランク 40/PC

または顧客 No. ☐ 適用レベルのみ

レコード 1-3 グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

	価格設定規則コード	レベル	上限数量	基準	係数	係数タイプ	変更価格	有効開始日付	有効終了日付	基本計量単位	契約数量
<input checked="" type="radio"/>	BICYCLE	1	99	P	1.0000	%		1997/04/17	2010/12/31	1	0
<input type="radio"/>	BICYCLE	2	499	P	0.9000	%		1997/04/17	2010/12/31	1	0
<input type="radio"/>	BICYCLE	3	99,999,999	P	0.8500	%		1997/04/17	2010/12/31	1	0

[顧客価格設定規則] フォーム

## [レベル]

価格設定グループ内で規則を表示する順序を決定する英数字コードを入力します。レベルは価格設定グループの設定時に定義します。

## [上限数量]

価格設定テーブルで通常使用される容量または数量分岐を入力します。レベル 1 の規則における数量が 5 の場合、このレベルの価格設定ロジックは、受注数が 5 以下の品目のみに適用されます。次のレベルの数量が 10 である場合、価格設定ロジックは受注数が 6 から 10 の品目に対して適用されます。99,999,999 と入力されると数量の制限はありません。

## [基準]

オーダーの正味価格の基準となる原価計算方式を入力します。

価格設定と再価格設定の場合、次の値を取ります。

1: 最終仕入原価

5: 先日付原価

P: 単価

2: 平均原価

6: ロット原価

3: メモ原価 1

7: 標準原価

4: 現行原価

ここに入力した計算方式を使用して、オーダーの正味価格が決まります。

または、1 から 8 の値を指定して、受注明細の単価を全ての価格再設定計算の基準の値として使用します。

## [係数]

この在庫価格設定規則に添付される品目の価格を計算するときに使用する割引率を入力します。割引率は乗数、追加金額、または控除可能金額として表すことができます。たとえば、10% の割引は 0.90 と表されます。同じ

	係数を割増原価に使用することもできます。たとえば、10% の割増は 1.10 と表されます。
<b>[係数タイプ]</b>	オーダー価格に適用される係数を、乗数 (%) で示すのか、追加/差引きの金額 (\$) で示すのか、値を選択します。
<b>[変更価格]</b>	価格を入力します。ここに入力した価格は、他の全ての規則または価格を一時変更します。
<b>[基本計量単位]</b>	数量限度が特殊な単位に基づいていることを示すコードを入力します。デフォルト値は 1 です (基本計量単位)。有効値は以下のとおりです。 1: 基本計量単位 2: 2 次計量単位 3: 購買計量単位 4: 価格設定計量単位 5: 出荷計量単位 #: 重量 \$: 通貨の (量ではなく) 制限
<b>[契約数量]</b>	この数量は、在庫価格設定規則において顧客がこの契約価格で購入する品目の数として決定されます。
<b>[使用/完了数量]</b>	売上更新処理を通過した件数です。作業オーダー処理では、このフィールドは作業オーダーで完了または使用した総量の累計を識別します。
<b>[契約参照]</b>	この契約の基本となる文書の番号または識別子を入力します。 このフィールドは、特定の顧客との間に契約価格を作成している場合にのみ使用してください。

## 在庫価格設定規則の設定

[価格設定規則の処理] フォームにアクセスします。

1. [追加] をクリックします。
2. [在庫価格設定規則] フォームの必須フィールドに加えて、業務上必要となる次の任意フィールドに値を入力します。
  - [価格設定規則コード]
  - [価格設定方式コード]
  - [レベル]
  - [基準]
3. 品目情報を検討するには、[ロー] メニューの [明細] を選択します。  
品目情報の検討を終了して [在庫価格設定規則] フォームに戻るには、[閉じる] をクリックします。
4. 情報を保存してプログラムを終了するには、[OK] をクリックします。

## 顧客および顧客グループへの価格設定規則の割当て

[価格設定規則の処理] フォームにアクセスします。

1. [追加] をクリックします。
2. [在庫価格設定規則] で、顧客または顧客グループに適用する価格設定規則を指定するために、次のフィールドに値を入力します。
  - [価格設定規則コード]
  - [価格設定方式コード]
3. [フォーム] メニューの [顧客規則] を選択します。
4. [顧客価格設定規則] の次のいずれかのフィールドで、顧客または顧客グループを指定します。
  - [顧客価格グループ]
  - [顧客グループ/No.]
5. 価格設定レベルを選択し、[ロー] メニューの [適用レベル] を選択します。

## 取引値引の設定

[請求情報] フォームにアクセスします。

### [取引値引]

システムが各品目に適用する値引率のパーセンテージを入力します。このフィールドに値を入力すると、これ以外の値引は適用されなくなります。価格を入力すると、値引率が一時的に変更されます。値引率は、整数 (5% であれば 5) で指定します。

## 第 7 章

# 受注オーダーの入力

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、受注オーダー入力の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 受注オーダー見出しおよび明細情報の入力
- 受注オーダー情報の更新とコピー
- テンプレートを使用した受注オーダーの入力
- 代替品目、関連品目または販促品の入力
- 扱い高基準のアップセルの通知の有効化
- 受注オーダー入力の納期回答
- 監査ログ生成と承認プロセス
- キット品目およびコンフィギュレーション品目のオーダー入力
- (Rapid Start AUS and NZL) Enter order detail
- (Rapid Start AUS and NZL) Perform customer service inquiry
- (Rapid Start CAN and USA) Enter sales orders for equipment
- (Rapid Start) Enter direct sales order for selling a direct ship item
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Enter, change, and cancel direct sales order for selling a make-to-order item
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Enter, change, and cancel direct sales order for selling from inventory
- 定期受注オーダーの処理
- マトリックス品目のオーダー入力
- (BRA) Enter additional sales order information for Brazil
- (ARG) Enter sales orders for Argentina
- (RUS) Enter sales orders for Russia

---

## 受注オーダー入力について

顧客が組織から品目を購入する場合には、購入される品目、数量、価格、およびこの受注に関連した顧客固有の追加情報を記録する必要があります。受注オーダー入力プログラム (P4210) を使用すると、各受注に関連する全ての情報をトラッキングするための受注オーダーを作成できます。

受注オーダー入力フォームには必須フィールドと任意フィールドがあります。どのフィールドに入力するのは、受注内容の複雑さに応じて決まります。必須フィールドのみに値を入力すると、デフォルトの顧客、品目、および優先情報が一連のテーブルから取り込まれます。受注オーダーで品目を入力すると、基本価格も取り込まれます。受注オーダーのデフォルトの情報は必要であれば一時的に変更できます。デフォルトの情報を一時的に変更した場合、一時的に変更されるのは受注オーダーのみです。マスターテーブルは変更されません。

受注オーダーのデフォルトの情報は、以下のテーブルから取得されます。

- 住所録マスター (F0101)
- 会社別顧客マスター (F03012)
- 品目マスター (F4101)
- 保管場所品目 (F41021)
- 優先マスター (F40070)

入力された品目の基本価格情報も取り込まれます。

受注オーダーの作成後は、販売提案を生成できます。提案を生成するには、事前定義済みのテンプレートと提案に含めるテンプレート部品を選択します。テンプレートを作成するときには、JD Edwards EnterpriseOne のテーブルからシステムが自動的に取り込むデータを定義します。これにより、顧客向けにカスタマイズされた伝票をすばやく作成できます。テンプレートとテンプレート部品の順序を変更して、会社のニーズを満たす提案を作成することもできます。

多くの組織において、契約交渉の期間中、提案は大きな役割を担います。提案はオーダー入力の迅速化にも使用できます。

多通貨換算オプションを使用している場合は、国内通貨で受注オーダーを入力するのと同じように外貨建てオーダーを入力できます。

オーダーの入力中、オーダーを処理するか保留するかを選択できます。オーダーの処理の保留を有効にした場合、システムによってオーダーを保留にするかどうかが決まり、必要であれば、オーダーの処理を始める前にユーザーにオーダー保留の警告が発行されます。

受注オーダーには次の 2 つのタイプの情報が含まれます。

- 見出し情報

この情報はオーダー全体に関係します。情報は、受注見出しテーブル (F4201) に保管されます。また、オーダーを完了させるために住所録マスター テーブル (F0101) の情報と F03012 テーブルの請求指示情報も取り込まれます。

- 明細情報

この情報は主に受注オーダーに含まれる個々の行および品目に関連します。データは、受注明細テーブル (F4211) に保管されます。F4201、F4101、F41021、および F03012 の各テーブルからも情報が取り込まれます。

見出し情報および明細情報は別々に入力できます。受注オーダーの入力には、処理するオーダーの規模を入力する見出し情報の量に応じて、次の 2 とおりの方法があります。

- 最初に見出し情報、次に明細情報を入力する
  - 明細情報を入力してから、見出し情報のサブセットを入力する
- 残りの見出し情報は、システムによってデフォルト値に基づいて入力されます。

セールス フォース オートメーション システムを使用して受注オーダーを作成する場合、受注管理システムを使用して受注オーダーを作成する場合と同様に、これらの受注オーダーは JD Edwards EnterpriseOne 受注管理システムで管理および処理されます。

---

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- エネルギーおよび化学産業向けシステム (ECS) を処理するには、事業所固定情報プログラム (P41001) の [システム固定情報] で [エネルギー/化学システムの使用] を選択します。
- F0101 テーブルの各顧客について、住所情報を入力します。
- F03012 テーブルの各顧客について、請求指示を入力します。

参照: 第 4 章、「顧客関連情報の設定」、「顧客請求指示の設定」、78ページ

- F4101 および F41011 テーブルに品目情報を入力します。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「品目在庫情報の入力」、「品目マスター情報の入力」

- F41001 テーブルの各事業所について事業所情報を入力します。

参照: 第 2 章、「受注管理システムの設定」、「固定情報の設定」、24ページ

- 在庫品目について、事業所品目テーブル (F4102)、F41021 テーブル、F4101 テーブルに品目および事業所情報を入力します。
- 顧客および品目の組み合わせに対する優先情報を入力します。

参照: 第 18 章、「優先情報の設定」、「カスタム優先タイプについて」、707ページ

- デフォルト事業所/プリンタ テーブル (F40095) のデフォルトの設置場所とプリンタの端末またはユーザー プロファイルを設定します。
- 異なる通貨を使用してオーダーを処理している場合、多通貨処理を設定します。

---

## 受注オーダー見出しおよび明細情報の入力

このセクションでは、受注オーダー見出し情報、受注オーダー明細情報、ワークフロー処理、サブシステム処理についての概要と、以下の方法について説明します。

- 受注オーダーの入力 (P4210) の処理オプションの設定
- 受注オーダー見出し情報の入力
- 受注オーダー品目情報の入力
- デフォルト行情報の入力
- クロス ドッキング情報の入力

## 受注オーダー見出し情報について

受注オーダーを作成するときには、見出し情報と明細情報を入力する必要があります。見出し情報はオーダー全体に関連しており、次のものが含まれています。

- 請求先住所
- 通貨コードおよび為替レート
- 支払条件および支払手段
- オーダー保留コード
- オーダー日付

受注オーダー見出しには、請求指示や配送日付など、システムが受注オーダーを処理する方法についての情報も含まれます。

税コード、税域、出荷先住所、および運賃情報などの既存の見出し情報のほとんどは、F0101 テーブルのデフォルト値と F03012 テーブルに保存されている顧客マスター請求指示から構成されます。オーダー見出し入力の際、これらの項目を確認し、特定のオーダーに適用する値を変更できます。ただし、将来のオーダーに取り込まれる情報を変更するには、マスター テーブルに含まれる情報を更新する必要があります。変更のできない唯一の見出し情報はオーダー キーです。オーダー キーにはオーダー番号、オーダータイプ、およびオーダー会社が含まれます。この情報によって、オーダー レコードは一意に識別されます。

入力した見出し情報に加えて、メッセージを作成して受注オーダーに添付し、印刷時に受注見出しと共に表示するようにできます。

受注オーダーの見出し情報、または明細情報を入力する前に、受注オーダー入力プログラム (P4210) の処理オプションを設定しておく必要があります。

### 関連住所

顧客請求指示と他の顧客マスター情報を設定するときには、請求書の送付先住所を販売先住所として、出荷の配送先住所を出荷先住所としてそれぞれ定義します。出荷条件などのオーダー情報が、請求書コピーや支払条件などの請求情報と異なる場合、関連住所を定義します。出荷先住所を入力すると、販売先住所が自動入力されます。

オーダーの入力中には、税目コードや税域などの売掛金情報が F03012 テーブルから取り込まれます。直送オーダー、転送オーダー、または販売先と出荷先が異なる受注オーダーの場合には、販売先住所から税目コードが、出荷先住所からは税率/税域がそれぞれシステムの設定に応じて取り込まれます。請求先住所タイプ (販売先または出荷先あるいはその両方)、与信情報および請求書のコピーなど、その他の売掛管理情報は、顧客請求指示が設定されている方法に基づいて取り込まれます。

### 与信情報の検討

オーダーを入力するときに、販売先の売掛金残高および年齢リスト残高を検証できます。この情報を使用して、現在のオーダーの顧客に対応することができます。

与信チェック プログラム (P42050) を使用して、顧客の売掛金および与信状況の情報を検討できます。顧客の売掛金と発注残の合計を、顧客マスター レコード テーブルで割り当てた現在の与信限度額と比較して、与信限度を超過していないかどうか判断できます。

与信チェック プログラムを使用すると、次のような情報にアクセスできます。

- 売掛金情報 (現時点で支払期日を迎えた残高など)
- 支払実績 (顧客の格付け、請求書、支払情報など)
- 受注残 (オーダー日付や金額を確認できます)



## コミッション情報の入力

顧客マスター コミッション情報 (F42140) テーブルおよびコミッション固定情報 (F42004) テーブルからデフォルトの見出しコミッション情報が取り込まれます。オーダーの入力中は、見出しコミッション情報にアクセスして修正を加えることができます。

**注:** オーダー見出し入力の [受注見出しの処理] フォームを使用してオーダー情報の入力が終わると、オーダー見出しを許可する前に、見出し情報を確認するようにプロンプトが表示されます。これは通知用のメッセージです。オーダー見出し情報を受け入れると、[受注オーダー明細の改訂] フォームが表示されます。

## 受注オーダー明細情報について

受注オーダーに見出し情報を入力した後、品目 ID や数量、価格、原価など、オーダー品目の明細情報を追加します。バックオーダーや出荷済みの数量など、顧客の請求書に印刷する情報を指定できます。個別の明細行にメッセージを追加することも可能です。

明細情報の大半は他のテーブルから取り込まれるため、最小限の情報を入力するだけです。入力したデータに基づいて、残りのフィールドにはデフォルトの情報が自動的に入力されます。必要に応じてこれらの値を検討し変更できます。

見出しまたは明細情報フォームで、顧客のオーダー情報を入力できます。明細情報よりも見出し情報にまずアクセスすると、オーダーを入力する前のデフォルト値を検討することができます。オーダーを検索し検討するには、明細情報に直接アクセスする場合もあります。

処理オプションの設定に応じて、明細情報より先に見出し情報を入力できます。

受注オーダー明細情報を入力するときには、次のテーブルからデフォルト情報が取り込まれます。

- 受注オーダー見出しファイル (F4201)
- 品目マスター (F4101)
- 会社別顧客マスター (F03012)
- 事業所品目 (F4102)
- 保管場所品目テーブル (F42021)
- 品目原価の改訂テーブル (F4105)
- 品目基本価格テーブル (F4106)

受注オーダー明細の情報は、品目と顧客の組み合わせに対して固有のものです。明細フォームへの変更は、変更したオーダー明細行にだけ反映されます。

ほとんどの情報は受注オーダー見出しと、各種のテーブルから取り込まれるため、入力する必要があるのは在庫品目の品目番号のみです。

## 品目および数量情報の入力

品目番号が不明の場合は、[品目No.] のフィールドのビジュアル アシストをクリックして、[品目検索] にアクセスし検索します。仕入先や顧客の部品番号など、製品 ID か置換番号、代替番号、相互参照番号のいずれかを使うと、品目情報を取り込むことができます。相互参照情報は、品目相互参照プログラム (P4104) で設定します。

## 基本価格の取込み

F4101 テーブルに品目を入力するときに、品目の標準価格を管理するレベルを指定します。このレベルは、事業所/保管場所と事業所内ロットとの間で価格が異なるかどうかを管理します。多通貨の場合には、事業所/保管場所と事業所内ロットに基づく品目価格が管理されるように価格設定レベルを設定する必要があります。

受注オーダーで入力した単価によって、[基本価格の改訂] フォームで設定した価格は一時変更されません。受注オーダーの入力中に単価を入力しない場合、価格設定階層に基づいて価格が取り込まれます。

優先情報の基本価格（優先タイプ 51）に対して設定した階層により、品目基本価格テーブルでの検索順序が決定されます。基本価格階層は、「顧客と品目」、「顧客と品目価格グループ」の組み合わせから成るマトリックスです。ローとカラムの交差部分を使って階層順序を決定します。

価格情報はこの方法に従って、顧客請求指示プログラムに対する入力と F4106 テーブルに基づいて取り込まれます。

- 顧客マスターで値引（オーダー総額に対する固定パーセント）を入力した場合、販売元の事業所に基づいてその品目の値引率が計算されます。その他の値引や価格協定は適用されません。

値引を入力しなかった場合、基本価格優先階層に基づいて、契約価格が検索されます。

- 契約価格（特定の品目について顧客との間で合意された価格）を入力した場合、この品目と顧客の組み合わせに対して定義した価格が使われます。

オーダー日付は、契約価格の有効日付の範囲内である必要があります。システムは基本価格優先階層に基づいて契約価格を取り込み、失効日の最も近い価格を使用します。契約価格を設定していない場合、在庫価格設定規則が検索の対象となります。

- 在庫価格設定規則（購入数量を基準にして顧客との間で合意した値引価格）を設定すると、対象の品目または品目グループや、顧客あるいは顧客グループの組み合わせに対して定義した価格が適用されます。

オーダー日付と数量は、在庫価格設定規則の有効日付およびレベルの範囲内でなければなりません。

- システムは基本価格優先階層に基づいて、品目または品目グループと、顧客あるいは顧客グループの組み合わせを検索し、該当する通貨コードで終了日が最も早い価格を使用します。

品目マスター テーブルで定義した価格設定レベルを基に、品目の価格が検索されます。

- 価格調整がオーダーに適用されない場合、事業所内品目または事業所内保管場所に対して定義した価格が取り込まれます。
- 価格設定レベルに基づき、事業所内の品目または保管場所に対して価格が見つからない場合、有効な基本価格が見つからないというエラー メッセージが表示されます。

オーダーの入力時に、品目の価格を選択する前に、品目の価格と在庫状況をチェックできます。

## 税情報の変更

オーダー入力中に、F03012 テーブルから税目コードと税率/税域が取り込まれます。直送オーダーや転送オーダー、または販売先住所と出荷先住所が異なる受注オーダーの場合には、税目コードは販売先住所から、税率/税域は出荷先住所からそれぞれ取り込まれます。この税率は一時変更できます。

税目コードと税率/税域が見出し情報から取り込まれる場合、品目の明細行の事業所情報について [事業所品目情報] フォームで [販売時課税対象] オプションが "N" に設定されていると、この明細行の税額は計算されません。

## シリアル番号条件の処理

受注オーダー入力でシリアル番号が必要な場合は、事業所品目プログラム (P41026) で品目に対して定義したシリアル番号条件に基づいて、次の規則が適用になります。

- トランザクション計量単位はシリアル番号付きの品目の基本計量単位と一致させる
- 保管場所とシリアル番号の組み合わせを入力する場合には数量を 1 にする
- 有効で使用可能な保管場所とシリアル番号の組み合わせを入力する

入力した保管場所/シリアル番号と品目の組み合わせが使用できない場合や手持数量がゼロの場合には、エラーが表示されます。品目と保管場所、シリアル番号の組み合わせに対する数量が次の状況である場合には、シリアル番号は使用できません。

- 検収中
- 作業中 1
- 作業中 2
- 積送中

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「シリアル番号情報の処理」、452 ページ

## コミッション情報の入力

見出しフォームのコミッション情報が明細フォームに使用されます。販売担当者/販売グループとコミッション情報をオーダーの単一行に適用するには、[ロー] メニューの [明細コミッション] を選択してコミッション情報を改訂できます。

JDESOENTRY ワークフロー処理をオンにしている、現行のオーダーが保留になっている場合には、販売担当者にその保留に関するアクション メッセージが送られます。このメッセージは、システムが保留コード処理を完了した後に送信されます。オーダーが保留にならない場合には、コミッション管理プログラム (P42120) で定義した販売担当者にアクション メッセージが送られ、販売先番号と共にそのオーダーは処理中であることが連絡されます。ワークフロー処理中の送信メッセージはワーク センター プログラム (P012501) で見ることができます。

## デフォルト行情報の入力

デフォルト行情報は、ピッキングや出荷、要求日時、見出し情報の事業所以外の事業所を指定する際に便利です。明細情報より先に見出し情報を入力しない場合や、明細行の多くに代替事業所が入力されているときに非常に役に立ちます。この機能は受注オーダーの入力時にのみ使用できます。

デフォルト行情報を入力した後、品目情報を入力するステップを実行してください。

---

**注:** 各明細行の入力時にデータを一時変更することは可能ですが、受注明細行のデフォルト値を再照会して変更しても、各オーダー明細行は自動更新されません。

---

## 受注オーダーへの契約の割当て

契約書は、契約の全ての既定と条件を含んだ法的文書です。契約システムを使用すると、トランザクションをトラッキングし、契約の履行を確認するために各種の契約を設定することができます。受注オーダーの入力時に、次のような契約を関連付けることができます。

- 製品を貸し出してパートナーに出荷
- 製品を貸し出してパートナーの顧客に出荷
- 製品を借り入れてパートナーの他社デポから顧客へ出荷

契約は次の基準を使用して選択されます。

- 契約はアクティブである必要があります。
- 受注オーダー明細行と契約の品目は同じでなければなりません。

---

**注:** 契約は在庫品目に対してのみ使用できます。

---

- 契約の [荷受先] は、“P” である必要があります。
  - 受注オーダーの販売先または出荷先は、契約の仕向地と同じである必要があります。
  - 受注オーダー明細行の事業所は、契約の出荷元である必要があります。
  - 受注オーダーのオーダー日付は、契約の有効日範囲内です。
  - 受注オーダーの数量は残数を超えることはなく、契約が選択される前に満たされます。
- これは数量制御を使用中の契約に適用されます。

### 原価ゼロと価格ゼロ

明細行の価格または原価をゼロに変更できます。

### オーダー住所の一時変更

顧客番号の販売先または出荷先に関連する住所を一時変更できます。

## 受注オーダー入力時におけるワークフロー処理について

システムはオーダー保留をチェックしてオーダーを処理します。[OK] をクリックしてオーダーを受け入れると、保留コードの処理オプションを確認後にオーダーとオーダー保留情報が比較されます。

JDESOENTRY ワークフロー処理をオンにしている場合にオーダーが保留になると、現行のオーダーが保留になっていることを伝えるアクション メッセージが販売担当者に送られます。オーダーが保留にならない場合には、コミッション管理プログラムで定義した販売担当者にアクション メッセージが送られ、販売先番号と共にそのオーダーは処理中であることが連絡されます。ワークフロー処理中の送信メッセージはワーク センター プログラムで見ることができます。

---

**注:** JDESOENTRY 処理はシステムのパフォーマンスに影響を与えることがあります。直前のオーダー処理が済んでワークフロー処理が完了するまで、次のオーダーは入力できません。

---

## サブシステム処理の有効化について

オーダー入力を終了したときにピッキング リストや請求書が必要な場合、サブシステムを設定して起動できます。インスタント印刷機能は次のような場合に役に立つことがあります。

- 同日配送のオーダーを大量に処理するため、オーダーの入力後すぐにピッキング リストを作成する必要がある
- 店頭販売の件数が多く、顧客が商品と請求書を同時に持ち帰りたい

サブシステム処理を終了するには、サブシステムが稼動している適切なサーバーを見つけて選択する必要があります。[ロー] メニューの [サブシステム・ジョブ] を選択し、適切なジョブを選択してから、[ロー] メニューの [サブシステム・ジョブの終了] を選択します。

---

**重要:** 日締め処理を実行する前に、サブシステムを停止してください。サブシステムのジョブはいつでも停止できます。

---

サブシステム処理を有効にするには、新しいバージョンの受注オーダー入力プログラムを特にサブシステム処理用に作成し、作成したプログラムの受注オーダー入力プログラムの [処理] タブにある [サブシステム処理] 処理オプションに次のプログラムの中から値を 1 つ入力します。

- ピッキング リストの印刷 (R42520)
- 請求書印刷 (R42565)
- 在庫の引当 (R42997)
- バッチの編集と作成 (R4210Z)

実行するプログラムに対応するサブシステムのバージョンを [バージョン] タブの対応する処理オプションで識別する必要があります。

たとえば、ピッキング リスト印刷のサブシステムをオーダー入力の直後に有効にするには、処理オプションにピッキング リスト印刷の値を設定してから、ピッキング リストの印刷プログラムのバージョンを識別します。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 受注オーダー入力プログラムの処理オプションで、見出し情報を明細情報よりも先に表示するように設定していることを確認してください。
- JDESOENTRY ワークフロー処理が有効に設定されていることを確認してください。

### 関連項目:

付録 A, 「JD Edwards EnterpriseOne 受注管理の標準ワークフロー」, 741 ページ

## 受注オーダー情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注見出しの処理]	W4210H	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注見出し]	受注オーダーの見出しレコードを確認して選択します。またはフォームにアクセスして新しい受注オーダーを追加します。
[受注オーダー見出し]	W4210G	新しい受注オーダーを追加するには、[受注見出しの処理] フォームで [追加] をクリックします。既存の受注オーダーを改訂するには、[受注見出しの処理] フォームでレコードを選択し、[選択] をクリックします。	受注オーダー見出し情報の追加と改訂を行います。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注オーダー見出し] フォームで[OK]をクリック します。	フォームの明細部分で、 品目情報の追加と改訂 を行います。  受注オーダー見出しを入 力しない場合の品目情報 に加えて、行のデフォルト 情報を入力します。  2 次計量単位と該当品目 の数量情報を確認します。  デフォルトの価格およ び原価を一時変更する か、これらの値をゼロに 変更します。
[オーダー承認]	W42232A	[受注オーダー明細の改 訂] フォームで[OK]をク リックします。	オーダーを実行、または改 訂するために適切なボタン をクリックします。
[受注残および完了オー ダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明 細]	受注オーダー明細レコード の確認と選択を行います。
[受注残および完了オー ダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明 細]  [バックオーダー合計数量] チェックボックスをオンに します。	バックオーダー合計数量 情報を確認します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[オーダー住所情報]	W4006B	<p>[受注オーダー処理] (G4211)、[受注見出し]</p> <p>[受注見出しの処理] でオーダーを見つけて、[選択] をクリックします。[受注オーダー見出し] で、[フォーム] メニューの [オーダー住所] を選択します。</p> <p>[受注見出しの処理] で、[ロー] メニューの [オーダー住所] を選択します。</p> <p>[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明細]</p> <p>[受注残および完了オーダー照会] でオーダーを見つけて、[選択] をクリックします。[受注オーダー明細の改訂] で、[フォーム] メニューの [オーダー住所] を選択します。</p> <p>[受注残および完了オーダー照会] でオーダーを見つけて、その行のチェックボックスをオンにします。[オーダー] を選択し、[ロー] メニューの [オーダー住所] を選択します。</p>	オーダーまたは行項目で顧客番号の販売先または出荷先を一時変更します。
[受注オーダー入力 - 追加情報]	W4210B	<p>[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明細]</p> <p>[受注残および完了オーダー照会] フォームで、オーダーを見つけて選択します。[受注オーダー明細の改訂] フォームで、明細行を選択し、[ロー] メニューの [受注オーダー入力 - 追加情報] を選択します。</p>	クロスドッキングの受注オーダーであることを示します。

## 受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## デフォルト

この処理オプションは、トランザクションに値が入力されていない場合に、受注オーダー入力プログラムで使用される伝票タイプなどのデフォルト値を指定します。

必須であるオーダー タイプを除いたこれらのデフォルト値は、オーダー入力時にのみ適用されます。書き込み済みのレコードを照会する場合、まずフォーム見出しのオーダー情報に基づいてオーダーが取り込まれ、次に照会の処理オプションで指定したパラメータが使用されます。

見出しと明細フォームに表示される情報は一時変更できます。情報が非表示の場合、オーダーは処理オプションやマスター テーブルで設定したデフォルトの情報に基づいて処理されます。

1. **オーダー タイプ (必須)** 伝票タイプを入力します。伝票、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードは予約されており、転記プログラムの実行時に自動的に仕訳が作成されます。

ユーザー定義コード (UDC) 00/DT で設定されている値を入力してください。

このバージョンの受注オーダー入力プログラムを他のプログラムで使用する場合、受注オーダーのデフォルト値は、オーダーが当初作成されたときのデフォルト値に一時変更されます。たとえば、一括オーダーのリリース プログラム (P42216) で、このバージョンの受注オーダー入力プログラムを使用すると、受注オーダーの行タイプのデフォルトは、一括オーダーのオーダー行タイプに一時変更されます。

2. **行タイプ**

トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などのトランザクションのインターフェイスとなるシステムを制御します。値は [行タイプ固定情報の改訂] フォームで定義され、次のものが含まれます。

S: 在庫品目

J: 作業原価

N: 非在庫品目

D: 直送品目

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および返品

W: 作業オーダー

[行タイプ固定情報の改訂] フォームで、情報をロット マスター テーブル (F4108) から取り込むが、数量の引当は行わない非在庫品目用の行タイプを設定できます。[非在庫品用品目マスターの編集] オプションは、在庫インターフェイスが、“D” や “N” などの非在庫品目用に設定されている場合に使用されます。

直送品目タイプを入力すると、購買オーダー入力プログラム (P4310) のバージョンの 1 つを使用して、この受注オーダーに関連する購買オーダーが作成されます。バージョンの指定は、受注オーダー入力プログラムの処理オプションの [バージョン] タブにある [購買オーダー入力] 処理オプションで指定します。



作業オーダーの行タイプを入力すると、受注オーダー入力プログラムの処理オプションの [バージョン] タブにある [作業オーダー入力] 処理オプションで指定したバージョンの作業オーダー入力プログラム (P48013) を使用して作業オーダーが作成されます。

このバージョンの受注オーダー入力プログラムを他のプログラムで使用する場合、受注オーダーのデフォルト値は、オーダーが当初作成されたときのデフォルト値に一時変更されます。たとえば、一括オーダーのリリースプログラムで、このバージョンの受注オーダー入力プログラムを使用すると、受注オーダーの行タイプのデフォルトは、一括オーダーのオーダー行タイプに一時変更されます。

### 3. 開始状況

オーダー処理の現行の状況を示す UDC (40/AT) を入力します。

使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義で設定されたコードを指定する必要があります。

開始状況と「次の状況」の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブル (F40203) の「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。

### 4. 一時変更用「次の状況」

オーダー処理の次のステップを示す UDC (40/AT) を入力します。使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義で設定されたコードを指定する必要があります。

この一時変更用状況は、この処理で実行できるもう 1 つのステップになります。開始状況と一時変更用「次の状況」の組み合わせは、F40203 テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。

### 5. オーダー行番号の増分

オーダー行番号を自動的に増加するときに使用する増分を入力します。キット入力などの他の処理では小数の増分を作成するので、整数を指定する必要があります。

### 6. 理由コード

UDC (42/RC) で設定されている値を入力してください。レポートの目的で使用するメモ用のフィールドです。

---

注: 理由コード 6 は予約されています。

---

### 7. 一時変更用トランザクション計量単位

オーダー品目の計量単位を入力します。値は UDC (00/UM) で定義されています。

この処理オプションに値を入力しないと、品目マスター テーブル (F4101) で定義されている基本計量単位が取り込まれます。

### 8. デフォルトのトランザクション計量単位

システムで使用する計量単位を指定します。一時変更用トランザクション計量単位がブランクの場合、トランザクション計量単位が取り込まれます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 基本計量単位を使用します。

1: 価格設定計量単位を使用します。

### 9. 住所録の改訂

受注オーダーの入力時に、新しい顧客を住所録システムに追加するようにプロンプトを表示するかどうかを指定します。システムが認識できない顧客の住所番号を [販売先] フィールドまたは [出荷先] フィールドに入力すると、オーダーを入力できなくなります。有効値は以下のとおりです。

## 10. 見出しから明細への更新

ブランク: オーダーを入力する前に、[住所録の改訂] に手作業でアクセスして、顧客情報を追加する必要があります。

1: [住所録の改訂] が自動的に表示されます。

[フォーム] メニューの [住所録の改訂] にアクセスする場合、または顧客を自動的に追加するオプションを選択する場合のいずれも、住所録の改訂には ZJDEC003 のバージョンが使用されます。

見出し情報を変更する場合に、明細情報フォームの対応する情報を更新するかどうかを指定します。次に、明細テーブルに対する見出しカラムの定義 (P40HDR) アプリケーションを使って、明細フォームを更新するのに使うフィールドを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [見出しから明細] フォームのメニューで [自動入力] オプションが選択されていない限り、[受注オーダー明細の改訂] の情報は更新されません。

1: 見出し情報の変更が反映されるように明細行が自動的に更新されます。

## 11. 見出し事業所

原価のトラッキングに選択されるデフォルトの事業所の値を指定します。ユーザー ID または端末、または住所録の改訂 (P0101) の出荷先住所のビジネスユニットに基づいて事業所のデフォルトの見出しを設定できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: ユーザー ID または端末 ID に基づくデフォルトのロケーションを使用し、オーダー見出しフォームに事業所を表示します。

ユーザー ID または端末 ID に基づいたデフォルトの事業所は、デフォルト事業所およびプリンタ (P400951) で設定します。

1: 商品を出荷する顧客について [住所録の改訂] フォームで指定したビジネスユニットを使用します。

## 12. デフォルト事業所

オーダー見出しに表示されるデフォルトの事業所を指定します。

## 13. オーダー・テンプレート

全ての顧客に適用される標準テンプレートを入力します。よく使用されるオーダー品目をリストした標準テンプレートを作成できます。このテンプレートはオーダーごとに表示されますが、オーダーの入力時には、この一部または全ての品目を適用する必要はありません。

## 14. カスタマ・セルフサービスの構造体タイプ

使用する組織構造タイプの UDC (01/TS) を入力します。アプリケーションでは、別の住所番号と関連するアドレスのリストから住所番号を選択できます。この住所番号は、住所録レコードに関連するアドレスとして指定するか、組織構造タイプを介して関連付けることで指定します。組織構造タイプは、同じ組織に属しているある住所番号と別の住所番号との関係をシステムが認識するために使用されます。

これをブランクのままにしておくと、住所番号レコードで指定した住所番号に関係したリストの値から選択できます。

## 15. ユーザー ID デフォルト (CSS のみ)

受注オーダー見出しの [出荷先] フィールドまたは [販売先] フィールドにユーザー ID を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 販売先見出しにユーザー ID を表示します。

1: 出荷先見出しにユーザー ID を表示します。

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 16. 販売先見出しと出荷先見出しの一時変更 (CSS のみ) | <p>[出荷先] フィールドと [販売先] フィールドの一時変更を有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 一時変更を有効にしません。</p> <p>1: カスタマ セルフサービス モードの見出しレベルでの [販売先] フィールドと [出荷先] フィールドの一時変更を有効にします。</p> |
| 17. 運送業者番号の一時変更 (CSS のみ)        | <p>カスタマ セルフサービス モードで見出し情報にある運送業者の一時変更を行うかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 運送業者を一時変更しません。</p> <p>1: 運送業者番号を一時変更します。</p>  |
| 18. 販売先の連絡先レコード・タイプ             | <p>P42101 によるオーダー入力の最中に、見出しに販売先の連絡先がデフォルトで表示されるかどうかを指定します。値は UDC (01/WO) に保存されています。</p>   |
| 19. 出荷先の連絡先レコード・タイプ             | <p>P42101 によるオーダー入力の最中に、見出しに出荷先の連絡先がデフォルトで表示されるかどうかを指定します。値は UDC (01/WO) に保存されています。</p>   |

---

注: “CSS のみ” と指定されている処理オプションは、カスタマ セルフサービス以外のオーダー入力には適用されません。

---

## 複写

この処理オプションは、受注オーダーを複写する場合に受注オーダー入力プログラムで使用される伝票タイプなどの値を指定します。[受注残および完了オーダー照会] フォームのツール バーの [コピー] をクリックすると、処理オプションの設定に基づいてデータが複写されます。

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. オーダー タイプ | <p>複写される伝票のオーダー タイプを指定する UDC (00/DT) を入力します。</p> <p>[表示/照会フォーム] フォームのツール バーの [コピー] をクリックすると、このオーダー タイプで重複オーダーが作成されます。伝票、請求書、入荷確認書、およびタイム シートの伝票タイプ コードは予約されており、転記プログラムの実行時に自動的に仕訳が作成されます。</p> <p>UDC (00/DT) で設定されている値を入力してください。</p> <p>この処理オプションをブランクにすると、受注オーダー入力プログラムの [デフォルト] タブにある [オーダー・タイプ] 処理オプションのこのバージョンの値が使用されます。</p> |
| 2. 開始状況     | <p>複写された行の現行の状況を示す UDC (40/AT) を入力します。[表示/照会フォーム] フォームのツール バーの [コピー] をクリックすると、この状況で重複オーダーが作成されます。使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義で設定された UDC (40/AT) を指定する必要があります。開始状況と「次の状況」の組み合わせは、F40203 テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。</p>   |
| 3. 次の状況     | <p>重複オーダーのオーダー処理の次のステップを示す UDC (40/AT) を入力します。使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義で設定された UDC (40/AT) を指定します。この一時変更用状況は、この処理で実行できるもう 1 つのステップになります。開始状況と一時変更用「次の状況」の組み合わせは、F40203 テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。</p>   |



**4. オーダーの最小数量  
チェック**

顧客請求指示で顧客に対して設定したオーダー最小数量と、オーダーの合計数とを自動的に比較する際に使用されるコードを識別する UDC (42/HC) を入力します。

オーダーを保留にする条件をオーダー保留情報で定義し、その条件を保留コードに添付することができます。

オーダー保留処理を有効にするには、この処理オプションで保留コードを指定する必要があります。

UDC (42/HC) で設定されている値を入力してください。

**5. オーダーの最大数量  
チェック**

顧客請求指示で顧客に対して設定したオーダー最大数量と、オーダーの合計数とを自動的に比較する際に使用されるコードを識別する UDC (42/HC) を入力します。

オーダーを保留にする条件を定義し、その条件を保留コードに添付することができます。保留コードを有効にするには、この処理オプションで保留コードを指定する必要があります。

UDC (42/HC) で設定されている値を入力してください。

**6. 部分オーダー保留**

オーダー明細行を充当する引当可能数量がない場合に、オーダー全体を保留するために使用するコードを識別する UDC (42/HC) を入力します。部分オーダー保留は、いつでもリリースできます。リリース後は、顧客請求指示、品目マスター情報、事業所品目情報、および事業所固定情報の各プログラムのバックオーダー情報に基づいて、バックオーダー、取消し、または出荷可能数量の出荷が実行できます。

UDC (42/HC) で設定されている値を入力してください。

**7. 製品割当保留**

顧客または顧客グループが購入できる品目または品目グループの金額を制限する際に使用される保留コードを指定するコード (UDC 42/HC) を入力します。

優先マスター (P40070) で「製品割当」優先情報を設定し、優先情報選択 (R40400) を使用してこの優先情報を有効にします。さらにオーダー保留情報で保留コード情報を設定してから、受注オーダー入力プログラムの [バージョン] の [優先プロファイル] オプションを設定します。

UDC (42/HC) で設定されている値を入力してください。

**8. 前払処理についての承認  
保留**

前払処理の承認コードの保留コードのデフォルト値を入力します。

**9. 前払処理についての決済  
保留**

前払決済処理のデフォルトの保留コードを入力します。

**10. オーダー処理の保留**

オーダーが受注オーダー処理のさまざまな段階を通過しないようにするための保留コードを入力します。

この保留コードは、与信チェックや最小/最大のマージン チェックなど、特定の処理には関連がありません。受注オーダーに追加の承認ステップを作成するために使用されます。

UDC (42/HC) で設定されている値を入力してください。

**11. 承認保留**

オーダーへの改訂が承認を必要とする場合に、受注オーダーを保留するために使用されるコードを入力します。入力するコードは "AH"、または "AH" と類似した特性の値になることがあります。指定する保留コードに関係なく、コードはオーダー保留固定情報プログラムで設定される必要があ

ります。オーダー保留固定情報の設定は、L (行) のコード タイプと A (金額) の制限タイプを使用する必要があります。

## 12. 排他調整保留

互いに排除しあう価格調整が受注明細行に適用され、矛盾が解決できない場合に、受注オーダーを保留するかどうかを指定する UDC (42/HC) を入力します。互いに矛盾する調整が存在する場合、警告が表示されます。価格履歴のロー エグジットを使用して矛盾する調整を取消し、または変更することで、矛盾を解決できます。オーダーの承認時に矛盾が存在する場合、この処理オプションが設定されていると、オーダーは保留されます。

入力するコードは "AH"、または "AH" と類似した特性の値になることがあります。指定する保留コードに関係なく、コードはオーダー保留固定情報プログラムで設定される必要があります。オーダー保留固定情報の設定は、L (行) のコード タイプと A (金額) の制限タイプを使用する必要があります。

オーダーを保留にする条件をオーダー保留情報で定義し、その条件を保留コードに添付することができます。

オーダー保留処理を有効にするには、この処理オプションで保留コードを指定する必要があります。

UDC (42/HC) で既に設定されている値を入力してください。

## 13. 非アクティブな顧客の保留

顧客が非アクティブな顧客の検索タイプで指定された検索タイプである場合、受注オーダーを保留するためのオーダー レベルの保留コードを入力します。

---

注: この処理オプションは、次の 14. の処理オプションが設定されている場合にのみ動作します。非アクティブの過去客を保留状態に置くには、両方の処理オプションが設定されている必要があります。指定する保留コードは、コードはオーダー保留固定情報プログラムで設定される必要があります。

---

オーダー保留処理を有効にするには、この処理オプションで保留コードを指定する必要があります。

UDC (42/HC) で既に設定されている値を入力してください。

## 14. 非アクティブな顧客の検索タイプ

非アクティブな顧客を指定するために、F0101 テーブルで使用される検索タイプを指定します。

---

注: 受注オーダーの入力時に、顧客の検索タイプがこの処理オプションで指定された検索タイプである場合、前の 13. の処理オプションも設定されていると、受注オーダーは保留されます。

---

## 表示

この処理オプションでは、原価や価格フィールド、終了行とキットなど、受注オーダー情報の一部を表示するかどうかとその情報が変更可能かどうかを制御します。

---

注: このタブにある処理オプションは、受注オーダー入力プログラムだけに適用されます。カスタマ サービス担当者受注オーダー入力プログラム (P42101) を使用する場合は、受注オーダー入力プログラムの [表示オプション] タブは、サービス担当者受注オーダー入力プログラムの [表示] タブのオプションに一時変更されます。

---

### 1. 原価フィールドの表示/非表示

[原価] フィールドを保護または非表示にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: フォームに [原価] フィールドが表示され、情報を一時変更することができます。

1: [原価] フィールドは保護され、変更できなくなります。[原価] フィールドを変更から保護すると、原価はフォームに表示されますが、変更はできなくなります。

2: [原価] フィールドは非表示になります。[原価] フィールドを非表示にすると、[原価] フィールドはフォームに表示されなくなります。ただし、品目原価元帳 (F4105) から受注オーダー明細テーブルへの原価情報の書き込みは続行されます。

デフォルトの原価情報は、F4205 テーブルから取り込まれます。

## 2. 価格フィールドの表示/非表示

[価格] フィールドを保護または非表示にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [価格] フィールドは表示され、入力も可能です。このオーダーに限って情報を一時変更することができます。

1: 価格は変更されないように保護されます。単価および合計価格はフォームに表示されますが、情報の一時変更はできません。

2: 価格情報は表示されません。[価格] フィールドを非表示にしても、価格情報は受注オーダー明細テーブルに書き込まれます。

## 3. 価格設定関連フィールドの使用禁止

価格の計算に影響を与える価格設定関連フィールドを使用禁止にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 価格設定関連フィールドは表示され、入力も可能です。

1: 価格設定関連のフィールドは表示されますが、情報の一時変更はできません。

## 4. 状況コードの使用禁止または非表示

状況コードを保護または非表示にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: このオーダーに限って情報を一時変更することができます。状況コードを入力する場合、伝票タイプと行タイプの組み合わせに対して、オーダー処理順序定義でその他の使用可能な状況コードとして設定する必要があります。さらに、開始状況と「次の状況」の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。

1: 状況コードは保護され、変更できなくなります。状況コードを変更されないように保護すると、現行状況と「次の状況」がフォーム上に表示されますが、情報の一時変更はできなくなります。

2: 状況コードを非表示にします。状況コードを非表示にすると、「前の状況」と「次の状況」は表示されません。オーダーは、オーダー処理順序定義で設定されている現行状況と「次の状況」に基づいて処理されます。

## 5. 終了明細行の非表示

アクティブ、完了、または取消し済みの明細行の表示を行うかどうかを指定します。照会中に、アクティブなオーダーの明細行のみを検討する場合があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 明細フォームに全てのオーダー明細行が表示されます。

1: 状況コードが 999 の行は表示されません。ただし、この行のレコードは、F4211 テーブル、または受注実績テーブル (F42119) に残ります。

- 6. クレジット カード情報の非表示** 顧客のクレジット カード情報にアクセスできるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: オーダー入力時にクレジット カード情報にアクセスできます。  
1: オーダー入力時にクレジット カード情報にアクセスできません。
- 7. 運賃/運送業者情報の非表示** 運賃および運送業者の情報フィールドを表示するかどうかを指定します。適切な配送経路、中継点、区域に基づいて運賃の計算が正確に行われるように、また顧客への配送を常に優先運送業者が担当するように、運賃および運送業者の情報フィールドを標準化することができます。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 運賃および運送業者の情報フィールドはオーダー明細フォームに表示され、一時変更できます。  
1: 運賃および運送業者の情報フィールドはオーダー明細フォームに表示されません。オーダーは、顧客請求指示または品目マスター情報に設定されているデフォルト情報に基づいて処理されます。
- 8. コミッション情報の非表示** コミッション情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: コミッション情報が表示され、現行のオーダーだけに影響を与えるようにデフォルトの情報を一時変更できます。  
1: コミッション情報は表示されません。オーダーはコミッション テーブル (F42005) に設定されているデフォルト情報に基づいて処理され、アクセスや変更はできません。
- 9. キット構成品の非表示** キットのフィーチャーとオプションを選択後、またはオーダーの再照会時に、キット構成品が [受注オーダー明細の改訂] フォームに表示されるかどうかを指定します。  
ブランク: オーダーの再照会時に、選択したフィーチャーとオプションの他に、親品目が表示されます。  
1: オーダーの入力時または再照会時に、フィーチャーおよびオプション選択後の親行のみが表示されます。ただし、親行、および全ての構成品行は受注オーダー明細テーブルに書き込まれます。

## 引当

この処理オプションは、引当可能数量チェックおよび汎用バケットへの引当を有効にするのに使用します。引当計算は各事業所の引当可能数量の計算に基づくため、システムによるバックオーダーや取消し、顧客への納期の計算に影響します。

品目引当可能数量の計算方法は、品目の引当可能数量から減算または加算する要素を定義して決定します。引当可能数量から減算する要素には、受注オーダー数量や作業オーダー数量などがあります。引当可能数量に加算する要素には、積送中の購買オーダー数量があります。これらの要素は [品目引当可能数量の定義] フォームで定義します。このフォームには [事業所固定情報の処理] からアクセスできます。

- 1. 引当可能数量チェックの使用** 要求された品目に対して、引当可能数量を検証するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 引当可能数量のチェックを実行しません。このオプションは、一括オーダーまたは見積オーダーの入力で使用される場合があります。



1: 引当可能数量のチェックが実行されます。数量が引当できない場合は、この品目の数量が引当可能数量を超過するという警告が表示されます。品目マスター、事業所品目、事業所固定情報、および顧客請求指示に設定されているバックオーダー情報に基づいて、引当できない数量については自動的にバックオーダーまたは取り消されます。

2: 引当可能数量のチェックが実行されます。数量が引当できない場合は、この品目の数量が引当可能数量を超過するという警告が表示されます。ただし、数量のバックオーダーまたは取消しは実行されません。数量は出荷可能のまま残ります。

バックオーダーは品目別、または顧客別に設定できます。また特定の事業所でバックオーダーを許可するかどうかも指定できます。品目のバックオーダーを行うには、品目マスター、事業所品目、事業所固定情報、および顧客請求指示で [バックオーダー許可] オプションを設定する必要があります。バックオーダーを使用することにより、数量が引当可能になるまでオーダー明細行が保留になります。バックオーダーを使用しない場合は、オーダー明細行が取り消されます。

オーダー明細行が処理された後で、オーダー明細行のフィールドでバックオーダー、取消し、および出荷が実行された情報について検討できます。

## 2. 数量 1 または数量 2 への引当

数量を引当てる先の汎用バケットを指定します。通常は品目引当可能数量に影響を与えないオーダーに対して使用されます。汎用バケットを使用して需要や将来の受注を予測することもできます。たとえば、受注オーダー入力のあるバージョンに見積オーダーを設定し、バケット "数量 1" に数量を引当てることができます。また、受注オーダー入力の別のバージョンには一括オーダーを設定して、バケット "数量 2" に数量を引当てることができます。引当可能数量の情報は、[在庫状況集計] フォームで検討できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 事業所固定情報の [品目引当可能数量の定義] フォームで受注オーダーに定義する要素に基づいて数量が引当てられます。

1: バケット "数量 1" に対して数量が引当てられます。

2: バケット "数量 2" に対して数量が引当てられます。

引当可能数量から減算する要素 (受注オーダーまたは作業オーダーなど)、引当可能数量に加算する要素 (積送中の購買オーダーなど)、または事業所固定情報の引当可能数量に影響しない要素 (一括オーダーおよび見積オーダーなど) を定義することにより、品目の引当可能数量の計算方法が決定されます。

引当可能な在庫数量から数量を加算も減算もしない場合は、受注オーダー入力の [引当] タブにある [引当可能数量チェックの使用] 処理オプションをブランクにすると、引当可能数量のチェックは実行されなくなります。

## 3. 需要/供給の照会フォームの表示

品目の数量が引当可能でない場合に、[需要/供給の照会] フォームを自動的に表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [需要/供給照会] フォームを表示しません。数量が引当可能でない場合、オーダー明細行はバックオーダーされるか、または取り消されます。ただし、[受注オーダー明細の改訂] フォームからこの情報に手作業でアクセスして、需要品目数、供給可能数量、および約束可能数量の情報をモニタすることができます。

1: 数量を引当できない場合に [需要/供給照会] フォームを表示します。[バージョン] タブの対応する処理オプションに設定したバージョンの [需要/供給照会] フォームが使用されます。

#### 4. 検証する許可済みロット状況グループの入力

検証する許可済みロット状況グループを入力します。受注オーダーの処理中、ブランクでないロット状況コードが、ユーザー定義の状況コード値に対して検証されます。ブランクでない状況コードが許容ロット状況テーブル (F41081) に存在する場合、ユーザー定義のロット許容コードはブランクとして扱われ、保留品目はピッキング リストの印刷、出荷確認、倉庫保管場所の選択へと処理が続行されます。

### 通貨

この処理オプションでは、許容パーセント、仮定金額の通貨コード、および仮定金額の為替レートを処理する際に使用する基準日についての情報を指定できます。

#### 1. 許容限度

多通貨オーダーに対する許容限度を指定します。金額の変動が為替レートテーブル (F0015) と比較した場合の許容パーセントを超えないことが保証されます。スポットレートを有効にするオプションを F00151 テーブルに設定している場合、オーダーの入力中に為替レートの一時変更を手作業で入力できます。入力した通貨レートがこの許容限度の範囲外になると、警告が表示されます。

#### 2. 通貨コード

トランザクションを表示するときの通貨コードを入力します。

これにより、取引の当初入力時の通貨以外の国内通貨または外貨で金額を表示することができます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入力された時点の通貨で仮定金額が表示されます。仮定通貨建ての金額は一時メモリに保存され、テーブルには書き込まれません。

1: 仮定通貨レートを表示します。

#### 3. 基準日

[仮定通貨コード] 処理オプションの基準日を指定します。この基準日を使用して F0015 テーブルから為替レートが取り込まれます。[通貨コード] 処理オプションで通貨コードを指定し、この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。国内通貨/外貨と仮定通貨との有効な為替レート (基準日時点) が F0015 テーブルに保存されている必要があります。

### 処理

この処理オプションでは、受注オーダー入力プログラムで次の処理を実行するかどうかを制御します。

- 処理のある過程を終了したオーダーへの変更を許可する
- サブシステム処理を有効にする
- [受注オーダー見出し] フォームを [受注オーダー明細の改訂] フォームより先に表示する
- オーダーが作成される前に、オーダーの内容を検討するようプロンプトを出す
- 自動価格再設定により、オーダー合計を再計算する
- 販売先または出荷先住所に基づいてオーダー テンプレート処理をアクティブにする
- 既存の契約や一括または見積オーダーに対してオーダーを処理する
- 指定した割増しを単位原価や単価に適用するかどうかを指示する

#### 1. 変更に対する状況コードの限度

オーダー明細行への変更を許容できなくなる場合の状況を入力します。状況コードの限界が定義されているバージョンの受注オーダー入力に

オーダーを入力すると、この状況を超える明細については、明細の照会と変更ができなくなります。

状況コードの限度が設定されていないバージョンの受注オーダー入力にオーダーを入力し、この処理オプションを使用しない別のバージョンで再照会を行うと、状況にかかわらずオーダーを変更できます。

使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義で設定された UDC (00/AT) を指定する必要があります。

## 2. サブシステム処理

サブシステムを使用するかどうかを指定します。サブシステム処理を使用すると、標準のシステム処理をバイパスすることができます。サブシステム処理は、たとえばオーダー入力の直後にピッキング リストや請求書の印刷を行う場合に使用できます。有効値は以下のとおりです。

1: サブシステムはピッキング リストの印刷処理を実行します。P4210 の処理オプションの [バージョン] タブの [サブシステムでのピッキング・リスト印刷 (R42520)] 処理オプションに、対応するバージョンを指定しておく必要があります。

2: サブシステムは請求書の印刷処理を実行します。P4210 の処理オプションの [バージョン] タブの [請求書印刷 (R42565)] 処理オプションに、対応するバージョンを指定しておく必要があります。

3: サブシステムは引当処理を実行しますが、オーダーが完了するまでは在庫は引当てられません。オーダーの承認後、別のオーダーの入力時にサブシステムのバッチ プログラムによってオーダーは処理されます。

4: オンライン引当処理を実行します。オーダー明細行は非同期では処理されません。オーダーの入力後、別のオーダーの入力が可能になる前に完了したオーダーの引当が処理されるため、オーダーの各明細行の引当可能数量が処理される際にオンライン引当 (R42997) の検討が可能になります。

5: サブシステムはオフライン処理モードでオーダーの入力と処理を実行します。P4210 処理オプションの [バージョン] タブの [受注オーダー・バッチ・トランザクション・エディタ] 処理オプションで適切なバージョンの受注オーダー バッチ・トランザクション エディタ (R4210Z) を指定する必要もあります。

## 3. 見出しと明細の表示

オーダーの追加時に、[受注オーダー見出し] フォームと [受注オーダー明細の改訂] フォームのどちらを先に表示するかを指定します。明細情報の前に見出し情報を入力して、オーダーに反映するデフォルト情報を編集することができます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [受注オーダー明細の改訂] フォームを先に表示します。明細情報フォームに入力した販売先と出荷先の住所に設定した事業所と顧客の情報に基づいて、オーダー見出しレコードが作成されます。必要であれば、[受注オーダー見出し] にアクセスしてデフォルト情報を一時変更できます。

1: [受注オーダー見出し] フォームを先に表示します。販売先および出荷先住所に入力される請求指示、納期、支払条件などのデフォルト情報を検討、または一時変更できます。

## 4. 自動オーダー価格再設定

オーダー合計の再計算に自動オーダー価格再設定を使用するかどうかを指定します。品目と数量が評価され、オーダー全体に基づいて調整が行われます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 自動オーダー価格再設定を使用しません。

1: オーダー合計の再計算に自動オーダー価格再設定を使用します。受注オーダー入力の [バージョン] タブのバスケット/オーダー価格再設定処理オプションで指定したバージョンのオーダーの詳細/価格再設定 (R42750) が使用されます。上級価格設定を使用する場合は、オーダーの詳細/価格再設定のバージョンを入力する必要があります。

## 5. 承認前のプロンプト表示

受注オーダー明細テーブルにレコードを作成する前に、オーダーを検討するためのプロンプトを表示するかどうかを指定します。検討を行うと、オーダーの入力や変更を正確に実行できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: オーダーを検討するプロンプトは表示されません。[OK] をクリックすると受注オーダー明細テーブルにレコードが作成されます。

1: 受注オーダー明細テーブルにレコードが作成される前に、オーダーを検討するためにオーダー、オーダー合計、税額、適用する値引きが表示されます。変更を行うために、[受注オーダー明細の改訂] に戻ることもできます。[フォーム] メニューのオプションを選択してオーダーを承認するまでは、受注オーダー明細テーブルにレコードは作成されません。

---

**注:** この承認前のプロンプト表示は、受注オーダー入力アプリケーション (P4210) のみに適用されます。顧客サービス受注オーダー入力アプリケーション (P42101) にはオンラインのオーダー集計が含まれており、承認前のプロンプト表示 (P42232) アプリケーションは使用されません。

---

## 6. オーダー・テンプレート処理

オーダーの入力中に使用するテンプレートを指定します。テンプレートには、頻繁に発注される品目の情報が含まれます。オーダー入力処理のスピード化を図るために、オーダー テンプレートを作成して割り当てます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: オーダー テンプレート処理を使用しません。

1: 顧客請求指示の販売先住所に割り当てたオーダー テンプレートを表示します。

2: 顧客請求指示の出荷先住所に割り当てたオーダー テンプレートを表示します。

顧客テンプレートは、顧客テンプレートの再作成 (R42815) のオーダー実績に基づいて設定するか、顧客テンプレートの改訂 (P4015) で顧客用のテンプレートを作成します。顧客請求指示の販売先住所と出荷先住所にオーダー テンプレートを割り当てます。

## 7. 一括/見積オーダーの処理

一括オーダー、または見積オーダーに対して受注オーダーを処理するかどうかを指定します。見積オーダーは、顧客から価格の問い合わせを受けているが、まだ受注オーダーが未確定の場合に使用します。一括オーダーは、顧客が一定量の品目を一定期間にわたって買い付けることに合意した場合に使用します。一括オーダーまたは見積オーダー処理を使用すると、該当する一括オーダーまたは見積オーダーが検索され、見つかったオーダーから、数量を分割する場合には複数の受注オーダーを、全数量をリリースする場合には単一の受注オーダーを作成できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 一括オーダーまたは見積オーダー処理を使用しません。

1: 出荷先住所に基づいて一括/見積オーダーが処理されます。

2: 販売先住所に基づいて一括/見積オーダーが処理されます。

3: 販売先住所と顧客購買オーダーに基づいて一括/見積オーダーが処理されます。

4: 出荷先住所と顧客購買オーダーに基づいて一括/見積オーダーが処理されます。

5: 配送先住所に基づいて一括/見積オーダーが処理されます。

6: 配送先住所と顧客購買オーダーに基づいて一括/見積オーダーが処理されます。

販売先住所または出荷先住所に対して複数の一括または見積オーダーを作成することができます。明細行を入力すると、ロー見出しとカラムに一括または見積オーダーが存在することを示すチェック マークが表示されます。

[一括オーダーのリリース] フォームで一括または見積オーダーを表示して、関連受注オーダーを作成できる適切なオーダーを選択します。

## 8. 契約処理

受注オーダーに対する契約を契約管理システムで処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 契約処理を使用しません。

1: 使用可能な全ての契約が検索され、受注オーダーが契約に自動的に割り当てられます。

2: 使用可能な全ての契約が検索され、複数の契約が存在することを示すチェック マークがロー見出しとカラムに表示されます。基準に合致する契約が契約選択ウィンドウに表示されます。

3: 使用可能な全ての契約が検索され、受注オーダーが終了日付の最も早い契約に自動的に割り当てられます。

受注オーダーを入力すると、次の基準に合う契約が選択されます。

- 受注オーダーと契約の品目は同じである必要があります。
- 契約の荷受先の値は P (パートナー) である必要があります。これはこの製品と契約について製品の荷受先がパートナーであることを示します。
- 受注オーダーの販売先または出荷先の値は、契約の出荷先と同じである必要があります。
- 受注オーダーの事業所明細またはその事業主は、契約の出荷元である必要があります。
- 受注オーダーの日付は、契約の有効日範囲内です。
- 数量制御が有効な契約では、受注オーダーの数量は契約が選択される前に充足される残数を超えることはありません。

## 9. カスタマ・セルフサービス機能

標準のオーダー入力モードまたはセルフサービス モードのどちらでオーダーを作成するのかを指定します。セルフサービス モードを選択すると、受注オーダー入力を使用してオーダーを作成する前に、複数のアプリケーションから品目を選択できます。この機能は、カスタマ セルフサービス環境でオーダーを入力する場合に使用される場合があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: カスタマ セルフサービスを使用しません。

1: カスタマ セルフサービスを使用します。

**10. 原価または基本価格の割増し**

原価または価格に割増を適用するかどうかを指定します。事業所間での原価割増しは、事業所間受注オーダーまたは受注転送オーダーと関連する追加原価の設定に使用します。転送価格は、供給事業所が品目を入荷事業所に販売するときの金額です。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 追加の原価を適用せずに、F4105 テーブルに定義されている原価を取り込みます。

1: コンフィギュレータ事業所割増しプログラム (P3403) から割増しを取り込み、割増し分も含めて転送価格を再計算します。この割増しは在庫原価に適用されます。

2: F4106 テーブルに定義され供給事業所によって設定される基本価格を適用します。

**11. シップ・アンド・デビット処理**

シップ アンド デビット契約の識別と調整にサブシステム処理またはバッチ処理 (R45100) のどちらを使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: サブシステム処理もバッチ処理も使用しません。

1: サブシステム処理を使用します。

2: バッチ処理を使用します。

**12. デフォルトの無償品の警告表示**

デフォルトで無償の商品で、既に提供済みの商品をユーザーが選択した場合に警告を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 警告を表示しません。

1: 警告を表示します。

**13. 販売高トランザクションの累計値の調整**

返品オーダーの入力時に、販売高トランザクション集計テーブル (F4078) および販売高トランザクション明細テーブル (F4079) の累計値を再調整するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 調整しません。

1: 累計値を再調整します。

**14. 顧客セグメント品目のプロンプト表示**

[顧客セグメント品目] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [顧客セグメント品目] フォームを表示しません。

1: [顧客セグメント品目] フォームを表示します。

**15. 昇順日付規則チェックの警告/エラー表示**

受注オーダーの入力時に、出荷日付の昇順規則チェックに失敗した場合に警告またはエラーのどちらを表示するのかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 警告を表示します。

1: エラーを表示します。

顧客または品目に昇順規則が定義されている場合、受注オーダーの入力中にロットと保管場所が指定されると、昇順日付規則チェックが実行されます。

**16. 複数の一括オーダーのデフォルト選択**

複数の一括オーダーが存在する場合、選択された一括オーダーのリリースを手作業で行うか、自動で行うかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 複数の一括オーダーが存在する場合、一括オーダーをリリースしません。一括オーダーは手作業で選択してリリースする必要があります。

1: 最も早い取消日付で一括オーダーを選択してリリースします。複数の一括オーダーの取消日付が同じになる場合は、リリースは最も早い要求日付に基づいて処理されます。

### 17. 単一の一括オーダーのデフォルト選択

一致する一括オーダーが 1 つだけ存在する場合、選択された一括オーダーのリリースを手作業で行うか、自動で行うかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 一致する一括オーダーが 1 つだけ存在する場合、一括オーダーをリリースします。

1: 一致する一括オーダーが 1 つだけ存在する場合、一括オーダーをリリースしません。一括オーダーは手作業で選択してリリースする必要があります。

## 相互参照

この処理オプションでは、代替、置換、補足、関連品目の相互参照タイプを指定します。相互参照情報は品目相互参照プログラムで作成します。相互参照により、自社品目が他の自社品目番号や、外部からの内部品目番号と関連付けられます。この処理オプションを使用して、代替品目の相互参照情報を検索する際に使用するコードを指定します。代替品目は、当初の品目の手持在庫が不足している場合に代わりに販売する商品です。

### 1. 代替品目

代替品目の相互参照情報を検索する UDC (41/DT) を入力します。代替品目は、当初の品目の手持在庫が不足している際に代わりに販売する商品です。品目相互参照の改訂プログラムでのコードは一般的に "S" です。代替品目は顧客請求指示で顧客が代替品目を承認している場合のみ使用できます。

代替品目がある場合、ロー見出しとカラムにチェックマークが表示されます。オプションとして、[代替/補足品目] フォームにアクセスして、当初の品目の代替品目を販売することもできます。代替品目の数量を入力すると、代替品目の情報による 2 行目のオーダー明細行が作成されます。

UDC テーブル (41/DT) で設定されている値を入力してください。

### 2. 補足品目

補足品目の相互参照情報を検索する UDC (41/DT) を入力します。補足品目は、販売の一環として推奨する他の品目です。補足品目は無償品ではなく、当初の品目に追加して販売されるものです。品目相互参照の改訂プログラムでのコードは一般的に "C" です。

補足品目がある場合、ロー見出しとカラムにチェックマークが表示されます。オプションとして、[代替/補足品目] フォームにアクセスして、当初の品目と共に補足品目を販売することもできます。補足品目の数量を入力すると、補足品目の情報による 2 行目のオーダー明細行が作成されます。

### 3. 置換品目

置換品目の相互参照情報を検索する UDC (41/DT) を入力します。置換品目は、自社または仕入先が品目の販売を中止する場合に当初の品目の代わりに販売される商品です。品目相互参照の改訂プログラムでのコードは一般的に "R" です。置換の相互参照を作成できるのは、品目マスターまたは品目事業所の在庫タイプが "O" (旧品目) または "U" (消耗品) の品目のみです。

**4. 代替品目の価格設定**

代替商品を販売するときに取り込む価格を指定します。代替品目は、当初の品目の引当可能数量が不足している際に代わりに販売する商品です。品目を代替した場合、顧客に対するその品目の価格を当初のオーダーから変更するか、または代替品目用に設定した価格を使用することができます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: F4106 テーブルに定義されている当初の品目の価格を使用します。

1: 品目基本価格テーブル (F4106) に定義されている代替品目の価格を取り込みます。

**5. 販促品**

販促品の相互参照情報を検索する UDC (41/DT) を入力します。販促品は、当初の品目の代わりに提供される商品です。品目相互参照の改訂プログラムでのコードは一般的に "P" です。

**バージョン**

この処理オプションでは、[受注オーダー見出し] または [受注オーダー明細] フォームの [ロー] または [フォーム] メニューで関連するオプションを選択するときに使用するバージョンを指定します。

バージョンごとにプログラムの情報の表示および処理方法が異なります。組織の必要に応じて、処理オプションでバージョンを設定する必要があります。

**1. サブシステムでのピッキング・リスト印刷 (R42520)**

オーダーの入力後サブシステムによってピッキング リストの処理に使用されるピッキング リストの印刷プログラム (R42520) のバージョンを入力します。サブシステムの処理で設定されているバージョンを指定してください。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**2. 需要/供給照会 (P4021)**

引当数量と引当可能数量を検証に使用される需要/供給照会 (P4021) のバージョンを入力します。

数量が引当可能でないときに自動的に [需要/供給照会] フォームが表示される場合、または手作業で [受注オーダー明細の改訂] フォームから [需要/供給照会] フォームにアクセスする場合、このバージョンが呼び出されます。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

数量が引当可能でない場合に、[需要/供給照会] フォームを自動的に表示するには、受注オーダー入力の [引当] タブの [需要/供給の照会フォームの表示] 処理オプションで該当するオプションを選択します。

**3. 受注残および完了オーダー照会からのピッキング・リストのオンデマンド印刷 (R42520)**

[受注残および完了オーダー照会] フォームからアクセスするピッキング リストのオン デマンド印刷プログラム (R42520) のバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0003 が使用されます。

**4. 上級オーダー/バスケット価格再設定 (R42750)**

オーダー合計の計算に使用される上級オーダー/バスケット価格再設定 (R42750) のバージョンを入力します。

上級価格設定を使用する場合は、上級オーダー/バスケット価格再設定 (R42750) のバージョンを入力する必要があります。この処理オプションをブランクにしたまま、受注オーダー入力の [処理] タブで [自動オーダー価格再設定] 処理オプションをオーダーの自動価格制設定に設定していると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。



**5. オンライン請求書照会 (P42230)**

請求情報の表示に使用されるオンライン請求書照会プログラム (P42230) のバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

受注オーダー番号によって照会を行う場合、売上更新が実行されていない未処理の行が表示されます。請求書番号によって照会を行うと、請求書の印刷 (R42565) または売上更新 (R42800) のどちらかのプログラムによって請求書番号が割り当て済みの行のみが表示されます。

**6. 優先プロファイル (R40400)**

[優先情報選択] フォームで有効になっている優先情報に基づいてオーダーの処理で使用する優先プロファイルプログラム (R40400) のバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**7. 価格/引当可能数量チェック (P41261)**

価格調整情報の取り込みに使用する価格/引当可能数量チェックのバージョンを入力します。価格調整の設定で価格管理システムを使用しない場合は、価格/引当可能数量の標準チェック (P41261) のバージョンを入力する必要があります。価格管理システムを使用して上級価格調整を設定する場合は、上級価格/引当可能数量チェック (P4074) のバージョンを入力する必要があります。

この処理オプションを空白にした場合は、プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

**8. 購買オーダー入力 (P4310)**

関連する直送オーダーおよび転送オーダーの作成に使用する購買オーダー入力 (P4310) のバージョンを入力します。購買オーダー入力の処理オプションで設定されるデフォルトの情報は全てが使用されるわけではありません。たとえば、関連購買オーダーが作成されるときに、オーダーが事業所間オーダーで行の在庫タイプが非在庫の場合、デフォルトの購買オーダー行タイプは受注オーダー行タイプによって一時変更されます。

この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**9. 販売履歴照会 (P42025)**

前回のオーダーから返品オーダーを作成するために使用される販売履歴照会 (P42025) のバージョンを入力します。

オーダー情報は F42199 テーブルから取り込まれます。

この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**10. 部品表照会 (P30200)**

キットに関連する全てのフィーチャーとオプションの情報を取り込むために使用される部品表照会 (P30200) のバージョンを入力します。流通システムでは、品目グループを検索して組み立てるために部品表が使用されます。

この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**11. 作業オーダー入力 (P48013)**

作業オーダーの作成に使用する作業オーダー入力 (P4801) のバージョンを入力します。行タイプを W にして受注オーダーを入力すると、製造システムに自動的に作業オーダーが生成されます。

この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**12. 請求書印刷 (R42565)**

サブシステムを介して請求書を印刷する際の請求書印刷プログラム (R42565) のサブシステムバージョンを入力します。この処理オプションを使用する

- には、[処理] タブの [サブシステム処理] で請求書印刷で請求書印刷プログラム (R42565) のバージョンを指定する必要があります。
- 13. オンライン/サブシステム引当 (R42997)** オンラインまたはサブシステム引当で使用する引当プログラムのバージョンを入力します。[処理] タブの [サブシステム処理] で、オンライン引当またはサブシステム引当の該当する処理オプションを設定し、対応する引当プログラムのバージョンを指定します。
- この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 14. コンフィギュレーション品目 (P32942)** コンフィギュレーション品目のオーダーを入力するときに使用されるコンフィギュレーション品目 (P32942) のバージョンを入力します。
- この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 15. 受注オーダー・バッチ・トランザクション・エディタ (R4210Z)** オフライン環境で受注オーダーの入力時に使用される受注オーダー バッチトランザクション エディタ (R4210Z) のバージョンを入力します。
- この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 16. 与信チェック (P42050)** 与信チェック プログラムのバージョンを入力します。この処理オプションを空白にした場合は、デフォルトのバージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 17. 出荷処理 (P4915)** 出荷処理プログラム (P4915) のバージョンを入力します。このオプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。
- 18. 顧客マスター (P03013)** [フォーム] メニューの [売掛金] を選択したときに使用される顧客マスター情報のバージョンを入力します。このオプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。
- 19. シップ・アンド・デビット (R45100)** シップ アンド デビット契約の識別と調整に使用されるサブシステム処理またはバッチ処理 (R45100) のバージョンを指定します。
- 20. 数量レベル調整の適用 (R45900)** システムで使用する販売高レベル調整の再適用プログラム (R45900) のバージョンを入力します。
- 21. 自動文書生成 (P90CA24)** 文書の自動生成中に使用される生成伝票の改訂プログラム (P90CA24) のバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 22. 顧客セグメント品目 (P42440)** 受注オーダー入力プログラムに顧客セグメント品目を表示するために使用される顧客セグメント品目 (P42440) のバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- このフォームが表示されるのは、[処理] タブの [顧客セグメント品目のプロンプト表示] 処理オプションが設定されている場合のみです。
- 23. 製品バリエーション (P41902)** 受注オーダー アプリケーションから使用可能なマトリックス オーダー入力プログラム (P41902) のバージョンを入力します。空白のままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 24. オーダー処理 (R31410)** システムで使用するオーダー処理 (R31410) のバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、バージョン XJDE0007 が使用されます。

## 25. 製品カタログ (P90CA106)

システムで使用する製品カタログ (P90CA106) のバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 優先情報

この処理オプションでは、受注オーダー入力プログラムのこのバージョンで、優先プロファイル処理を有効にするかどうかを指定します。優先情報は、顧客や品目、顧客（販売先や出荷先または親住所）と顧客グループ、品目、品目グループの組み合わせについて定義する情報のことです。優先情報により、オーダー入力時に通常使用される顧客および品目の設定情報が一時変更されます。

優先情報を処理するためには、受注オーダー入力プログラムの処理オプションを 2 つ設定する必要があります。1 つは [優先情報] タブの [優先プロファイル処理] オプションを有効にします。もう 1 つは [バージョン] タブで、実行する優先情報が選択されるように設定した優先情報処理オプション アプリケーション (R40400) のバージョンを指定します。

### 1. 優先プロファイル処理

優先プロファイル処理を使用するかどうかを指定します。優先プロファイル処理を使用する場合は、オーダー入力プログラムの全てのバージョンで優先プロファイル処理を使用する必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 優先プロファイル処理を使用しません。

1: 優先プロファイル処理を使用します。[優先プロファイル処理] オプションの設定後、受注オーダー入力の [バージョン] タブの優先情報の処理オプションに優先情報選択 (R40400) のバージョンを指定します。指定したバージョンの優先情報選択の処理オプションで、実行する優先情報を選択します。

優先情報選択には、在庫引当と印刷メッセージの優先情報は含まれません。

### 2. 在庫引当優先情報

他の優先情報処理とは別に、在庫引当優先情報を使用するかどうかを指定します。顧客/顧客グループ、品目/品目グループに基づき、各オーダー行に対する充当が 1 つ以上の事業所から行われるよう指定するために在庫引当を使用します。製品が出荷される事業所の指定、事業所で数量が充当される前に事業所に存在する必要があるオーダーのパーセントの決定、または受注オーダー明細行の運送モードと運送業者情報の指定が可能です。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 在庫引当優先情報を使用しません。

1: 現行のオーダーに対してのみ在庫引当優先情報処理を使用します。在庫引当優先情報の処理は、見出し事業所の引当ウィンドウ内にあるオーダーに対してのみ実行されます。見出し事業所のウィンドウ外にあるオーダーは、見出し事業所の先日付引当です。

2: 全てのオーダー（現行および先日付）に対して在庫引当優先情報処理を使用します。在庫引当優先情報の処理は、見出し事業所の引当ウィンドウに関係なく、全てのオーダーに対して実行されます。

### 3. 上級優先スケジュール の一時変更

上級優先の一時変更スケジュールを入力します。この処理オプションは、詳細優先情報機能を使用しており、流通システムの固定情報で定義されているデフォルトの優先情報スケジュールの代わりに、システムで 사용되는優先情報スケジュールの一時変更を指定する場合にのみ使用します。詳細優先情報を使用している場合は、このスケジュールによって優先情報処理が制御されます。

---

注: 優先情報スケジュールは、[詳細優先情報] メニュー (G40311) の詳細優先情報スケジュールの改訂プログラム (P4070) でのみ変更可能です。

---

## 転送

この処理オプションでは、受注オーダー入力プログラムのこのバージョンで、転送オーダー処理を有効にするかどうかを指定します。転送オーダーは、社内の事業所間の在庫移動と、適正在庫数量を維持するために使用します。転送オーダーを作成すると、以下の処理が実行されます。

- 仕入先となる出荷保管場所に対して購買オーダーを作成します。
- 顧客となる入荷保管場所に対して受注オーダーを作成します。

### 1. 転送オーダー入力の使用

転送オーダー入力を有効にするかどうかを指定します。転送オーダーを入力する場合は、転送元事業所と転送先事業所の他に、関連する購買オーダーも入力する必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 転送オーダー情報を処理しません。

1: 転送元および転送先事業所をはじめ、購買オーダー番号、陸揚費用規則、および受注オーダーと購買オーダーの為替レートなどの購買オーダー情報を入力する [転送オーダー入力] フォームを表示します。受注オーダー入力の [バージョン] の [購買オーダー入力] 処理オプションで指定したバージョンに基づいて、購買オーダーが自動的に作成されます。

### 2. 課税対象の受注オーダーと購買オーダー

受注オーダーおよび購買オーダーを課税対象にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 顧客マスター情報から税目コードと税率/税域を取り込みます。直送オーダーや転送オーダー、代替販売先住所と代替出荷先住所のある受注オーダーの場合、税目コードは販売先住所から、税率/税域はシステムの設定に基づいて出荷先または配送先住所からそれぞれ取り込まれますが、この税率は一時変更が可能です。

1: 事業所品目情報で設定した販売時課税対象または購買時課税対象フラグを参照しません。

### 3. 必須の陸揚費用

関連購買オーダーに陸揚費用が必要かどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 陸揚費用を必須としません。

1: オーダー入力の前に陸揚費用の入力が必要です。陸揚費用を入力しないと、エラーが表示されます。

## オーダー照会

この処理オプションでは、[受注残および完了オーダー照会] フォームでのオーダーの検索方法を指定します。

---

注: このタブにある処理オプションは、受注オーダー入力プログラム (P4210) のみに適用されます。受注オーダー入力プログラム (P42101) を使用する場合は、受注オーダー入力プログラム (P42101) の [オーダー照会] タブにある処理オプションを設定する必要があります。

---

### 1. 開始状況

オーダー処理の現行の状況を示す UDC (40/AT) を入力します。

使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義で設定されたコードを指定する必要があります。

開始状況と終了状況の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。

オーダーの照会中、開始状況と終了状況の範囲外にあるオーダーは表示されません。

## 2. 終了状況

オーダー処理の次のステップを示す UDC (40/AT) を入力します。使用中のオーダータイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義で設定されたコードを指定する必要があります。

開始状況と終了状況の組み合わせは、F40203 テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。

オーダーの照会中、開始状況と終了状況の範囲外にあるオーダーは表示されません。

## 3. 前の状況または次の状況の検索

画面に表示する情報を選択するために使用される状況コードを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 範囲内にある「前の状況」の全てのオーダーを表示します。

1: 範囲内にある「次の状況」の全てのオーダーを表示します。

## 4. 日付範囲

オーダー検索時の日付の値を指定します。有効値は以下のとおりです。

1: オーダー入力日付に基づいてオーダーが検索されます。

2: オーダー入力時に設定される出荷約束日付に基づいてオーダーが検索されます。

3: オーダー入力時に設定される当初約束日付に基づいてオーダーが検索されます。

4: オーダーの出荷が確認された日付に基づいてオーダーが検索されます。出荷確認 (P4205) プログラムを使用して処理されたオーダーのみが検索されます。

5: 顧客への請求書が印刷された日付に基づいてオーダーが検索されます。請求書印刷または売上更新プログラム (R42800) で処理され、請求書番号が割り当てられたオーダーのみが検索されます。

6: オーダー入力時にメモ用の取消しフィールドに入力した日付に基づいてオーダーが検索されます。

7: 元帳日付に基づいてオーダーが検索されます。売上更新プログラムを使用して処理されたオーダーのみが検索されます。

8: オーダー入力時に約束納入日付として入力した日付に基づいてオーダーが検索されます。

## 5. テキスト行の表示

テキスト行を表示するかどうかを指定します。

テキスト行は、行タイプが T であるオーダー明細行で、オーダー行タイプの改訂にメモ用の情報を含むコードがあることで特徴付けられます。

オーダーを照会するとき、テキスト行の情報の表示が必要な場合も、必要でない場合もあります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テキスト行を表示しません。オーダー入力時にテキスト行を作成すると、そのテキスト行は受注オーダー明細テーブルに記録されます。

1: テキスト行を表示します。

**6. バックオーダー行/キャンセル行の表示**

オーダーの照会時に、バックオーダー行または取消行を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: バックオーダー行を表示します。
  - 2: 取消行を表示します。
  - 3: バックオーダー行と取消行の両方を表示します。
- ブランクまたは 4: バックオーダー行も取消行も表示しません。

**7. 顧客相互参照タイプ**

顧客品目番号を使用して相互参照情報を検索する UDC (41/DT) を入力します。相互参照により、自社の品目番号と顧客の品目番号が関連付けられます。品目マスターに品目を設定して、品目相互参照の改訂プログラムで相互参照情報を作成できます。

UDC (41/DT) で設定されている値を入力してください。

**倉庫**

この処理オプションは、倉庫管理システムで使用されます。倉庫管理システムを使用すると、ピッキングの要求処理モードと、保管場所選択ドライバプログラム (R46171) のバージョンを指定できます。

**1. 要求処理モード**

倉庫管理システムでピッキング要求を作成するかどうかを指定します。倉庫管理を使用すると、ピッキング要求を作成し、サブシステムを使用してこの要求を処理することができます。ピッキング要求は、特定の保管場所から在庫のピッキングの提示を行う処理に使用されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: ピッキング要求を生成しません。

- 1: 要求の生成のみを行います。
- 2: 要求を生成し、サブシステムを使用してピッキング要求を作成します。

**2. サブシステムでのピッキング要求印刷**

サブシステムを使用して倉庫管理のピッキング要求を生成するかどうかを指定します。サブシステムの処理に設定されたピッキング要求印刷 (P46171) のバージョンを指定します。

**3. 次の状況の一時変更**

オーダー処理の代替ステップを識別する UDC (40/AT) を入力します。使用中のオーダータイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義で設定されたコードを指定する必要があります。開始状況と一時変更状況の組み合わせは、F40203 テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。

**オフライン処理**

この処理オプションでは、オーダー入力のモードを指定します。次の 4 つのモードから 1 つを選択してオーダーを処理できます。

- 受注オーダー入力モード

在庫引当と優先情報処理が実行され、オーダー情報がマスター テーブルに対して検証されます。

- 部分編集オフライン処理モード

優先情報処理または在庫引当は実行されず、必要な受注オーダー処理のみが実行されます。

- 完全編集オフライン処理モード

優先情報処理または在庫引当は実行されませんが、オーダー処理は実行されます。

- 価格のみオフライン処理モード

価格設定に必要な情報だけが処理されます。

---

**注:** このタブにある処理オプションは、受注オーダー入力プログラム (P4210) のみに適用されます。

UDC 42/PO に特殊取扱コード 1 が設定されている場合、編集モードに関係なく優先情報処理が実行されます。

---

#### 1. モード

オーダーをオフライン処理環境で入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: 受注オーダー入力モードを使用します。

1: 部分編集オフライン処理モードを使用します。

2: 完全編集オフライン処理モードを使用します。

3: 価格のみオフライン処理モードを使用します。

### ワークフロー

この処理オプションでは、ワークフローの処理方法を指定します。

#### 1. 電子メールの作業オーダー計画担当者

作業オーダーの担当者に電子メールを送信するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: 電子メールを送信しません。

1: 電子メールを送信します。

#### 2. 受注オーダー入力のワークフロー

受注オーダー入力のワークフロー処理 (JDESOENTRY) をこのバージョンの受注オーダー入力プログラムで使用するかどうかを指定します。特定バージョンの JDESOENTRY は、プロセス マスター プログラム (P98800) によって有効にする必要があります。有効値は以下のとおりです。

空白: ワークフローを有効にしません。

1: ワークフローを有効にします。

### 複数

この処理オプションでは、複数スケジュールの処理方法を指定します。

---

**注:** このタブにある処理オプションは、受注オーダー入力プログラム (P4210) のみに適用されます。

---

#### 1. 複数のスケジュール

複数のスケジュールを有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: 複数のスケジュールをバイパスします。

1: 複数のスケジュールを有効にします。

#### 2. スケジュール行 (将来使用)

行タイプの検索コードを入力します。

## 事業所間

この処理オプションでは、事業所間オーダーのオーダー タイプを指定します。事業所間オーダーは、販売元でない別の事業所から顧客のオーダーの充当に使用できます。このオーダーは販売元と出荷事業所（中央供給倉庫など）が異なる場合に役立ちます。会社間オーダーとは、供給事業所と販売事業所間のトランザクションをトラッキングするオーダーのことです。

### 1. 会社間請求書

会社間請求書を作成するかどうかを指定します。会社間オーダーとは、供給事業所と販売事業所間のトランザクションをトラッキングするオーダーのことです。事業所間オーダーが顧客に対する受注オーダーであるのに対して、会社間オーダーは顧客の受注オーダーを充当するために供給事業所に行う購買オーダーです。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 会社間請求書を作成しません。

1: 会社間請求書を作成します。

### 2. 事業所間オーダー・タイプ

事業所間オーダーのオーダー タイプを入力します。

事業所間オーダーを使用すると、販売事業所以外の事業所からの販売オーダーを充当できます。このオーダーは販売元と出荷事業所（中央供給倉庫など）が異なる場合に役立ちます。

伝票のタイプを識別するコード (UDC 00/DT) を入力する必要があります。句読点や空白で区切らずに、複数のコードを入力します。全ての事業所間オーダーを正確に更新するには、売上更新 (R42800) の [事業所間] タブの事業所間オーダーのオーダー タイプ処理オプションに全ての事業所間オーダーのオーダー タイプを入力する必要があります。

## インタオペラビリティ

この処理オプションでは、トランザクションを変更する前にトランザクション情報をキャプチャするかどうか、およびエクスポート処理を実行するかどうかを制御します。

### 1. トランザクション タイプ

UDC (00/TT) に定義されている有効なトランザクション タイプを入力します。

### 2. 変更前/変更後トランザクションの処理

インタオペラビリティ消費をレコード変更の前後に書き込むのか、変更後トランザクションのみを書き込むのかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 変更後トランザクション レコードのインタオペラビリティ消費データのみを書き込みます。

1: 変更前/変更後レコードのインタオペラビリティ消費データを書き込みます。

## 前払

この処理オプションでは、オーダーの支払情報を記録できるかどうかを制御します。

オーダーの前払は、オーダー入力の時点で売り手が顧客から支払を受け取る際に発生します。顧客は、現金、小切手、クレジットカードなど、さまざまな前払タイプを使用することができます。前払を使用すると、オーダー明細行に対しトランザクション情報が記録され、請求書に支払が示されます。

支払方法にクレジットカードを使用する場合は、オーダー入力時に、クレジット情報を確認できます。ミドルウェア ソリューションを介して、承認情報が検索され、前払トランザクションが更新されます。承認が得られない場合は、オーダーは承認保留となり、オーダー処理の継続は許可されません。



決済が実施されると、ミドルウェア ソリューションにより、顧客の口座から販売元の口座に金額がリリースされます。決済トランザクションでエラーが生じた場合は、オーダーは決済保留となり、オーダー処理の継続は許可されません。

これらの保留を解除するには、該当する前払処理バージョンのバッチ モードで、承認または決済プロセスを正常に実行する必要があります。

### 1. 前払処理

前払処理ファイルの更新と、ユーザーの前払ウィンドウへのアクセスを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 前払処理ファイルは更新されず、ロー エグジットからの前払ウィンドウへのアクセスも許可されません。

1: 前払処理ファイルの更新と、前払ウィンドウへのアクセスが可能です。

### 2. 承認処理

処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 承認処理を実行しません。

1: 承認処理を対話形式で実行します。

2: バージョンに基づいてバッチ モードまたはサブシステムモードで承認処理を実行します。

### 3. 決済処理

決済処理の方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 決済処理を実行しません。

1: 決済処理を対話形式で実行します。

2: バージョンに基づいてバッチ モードまたはサブシステムモードで決済処理を実行します。

### 4. 前払取引承認のバージョン

前払取引承認のバージョンを入力します。

### 5. 前払取引決済のバージョン

前払取引決済のバージョンを入力します。

### 6. 承認済み行

クレジット カード処理時に承認済みになったオーダー行の一時変更用「次の状況」コードを入力します。

### 7. 決済済み行

クレジット カード処理時に決済済みになったオーダー行の一時変更用「次の状況」コードを入力します。

## 監査ログ

この処理オプションでは、受注オーダーに対して行われた変更の監査ログを作成するかどうか、および変更の処理方法を決定します。

### 1. 受注オーダー変更の監査ログの使用

受注オーダーの変更に対する監査ログ処理を有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 監査ログ処理を有効にしません。

1: 監査ログ処理を有効にします。

注: 顧客請求指示に定義されている「監査ログのバイパス」フィールドを使用して、この処理オプションを一時変更することができます。たとえば、この処理オプションを 1 に設定しているのに、受注オーダーで指定されている顧客には「監査ログのバイパス」が設定されている場合、このオーダーまたはこの顧客が指定されている全てのオーダーに対して、監査ログ処理は実行されません。

## 2. 受注オーダー変更に理由コードが必須

受注オーダーの変更に対して、改訂理由コードが必要であるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 改訂理由コードは必要ありません。

1: 改訂理由コードが必要です。

## 3. 受注オーダー変更に承認処理が必須

受注オーダーの変更に対して、承認処理が必要であるかどうかを指定します。承認処理を有効にするには、「監査ログ」タブの「受注オーダー変更の監査ログの使用」処理オプションを「1」に設定する必要があります。しかし、「受注オーダー変更に承認処理が必須」処理オプションを設定しなくても、監査ログを有効にできます。承認処理が必要な場合、オーダーへの変更は記録されません。その代わりに、当初の値が保持され、オーダーは保留状態になります。新しい値は、承認または却下の判断が行われるまで、監視ログ テーブル内で保留となります。新しい値がオーダーに記録されるのは、オーダーが承認された場合に限られます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 承認処理は必要ありません。

1: 承認処理が必要です。

## 扱い高アップセル

この処理オプションでは、指定した許容パーセントに基づいて警告を表示するかどうかを決定します。

### 1. 許容内のボリューム・アップセルに対する警告

提示されるアップセルの許容パーセントを入力します。このパーセントは、次のレベル区切りに一致するために、顧客がオーダーする必要のある数量の増加に基づいています。

## 売上総利益率

この処理オプションでは、次の設定を行います。

- 売上総利益の価格設定を実行するかどうか
- 価格設定情報の一時変更にどの調整理由コードを使用するか
- 売上総利益の解決と検証を行うかどうか

### 1. 売上総利益の価格設定の有効化

売上総利益率カラムを有効にするかどうかを指定します。このカラムを有効にすると、売上総利益率の入力が可能になります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 売上総利益率の入力を有効にしません。

1: 売上総利益率の入力を有効にします。

### 2. 一時変更の調整理由コード

調整が変更された理由を識別する UDC (40/AR) を入力します。指定された売上総利益率を達成するために必要な金額に合わせた価格調整の計算と更新が行われる場合、売上総利益の価格調整のこの値が更新されま

す。この計算は受注オーダー入力で売上利益率が手作業で変更された場合に発生します。

UDC (40/AR) で設定されている値を入力してください。

### 3. ターゲット総利益率の解決と検証

売上総利益率がターゲット総利益率優先情報処理オプションで指定した範囲外にある場合に、警告を表示するかどうかを指定します。また、売上総利益率が定義された利益率の範囲内になく、行レベル利益率保留コード処理オプションが設定されている場合、この処理オプションで指定されている行レベル利益率保留コードを使用してオーダーは保留されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 警告を表示しません。

1: 警告を表示します。

## 販促 ID

この処理オプションは、販促 ID 番号を割り当てるかどうかを決定します。

### 1. デフォルトのプロモーション ID

販促 ID 番号が手作業で割り当てられていない受注オーダー行品目に対して販促 ID 番号を自動的に割り当てるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 販促 ID を割り当てません。

1: 販促 ID を割り当てます。

---

注: このオプションを "1" に設定すると、販促取引明細テーブル (F40P011) から販促 ID が割り当てられます。複数の販促 ID が見つかった場合は、F4009 テーブルの販促 ID 解決固定情報の値に基づいて販促 ID が割り当てられます。ID の自動割り当て処理には時間がかかる場合があります。

---

## 納期回答

この処理オプションでは、納期回答処理を実行を有効にするかどうかと、処理モードの決定を制御します。

### 1. 納期回答

オーダーの配送日付を約束するために使用される納期回答のモードを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 納期回答を使用しません。

1: 納期回答に自動回答モードを使用します。

## マトリックス

この処理オプションでは、マトリックス オーダー入力の処理中にマトリックス ウィンドウを表示するかどうかを制御します。

### 1. 在庫 - 親

マトリックス親品目での作業中に、[マトリックス・オーダー] フォームを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [マトリックス・オーダー] フォームを表示します。

1: [マトリックス・オーダー] フォームを表示しません。

## 受注オーダー見出し情報の入力

[受注オーダー見出し] フォームにアクセスします。

受注見出し - 受注オーダー見出し

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

オーダーNo.  80

受注オーダー見出し 追加見出し情報 納期回答一時変更

通貨 <input type="text"/>	為替レート <input type="text"/>	事業所 <input type="text"/>	基本通貨 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 外貨
-------------------------	----------------------------	--------------------------	---------------------------	-----------------------------

<p>メッセージ</p> <p>住所No.</p> <p>販売先No. <input type="text"/></p> <p>出荷先 <input type="text"/></p>	<p>日付</p> <p>オーダー日付 <input type="text"/></p> <p>取消日付 <input type="text"/></p> <p>要求日付 <input type="text"/></p> <p>要求時刻 <input type="text"/></p>
--	---

<p>顧客購買オーダー <input type="text"/></p> <p>印刷メッセージ <input type="text"/></p> <p>保留コード <input type="text"/> ブランク - 保留コード 42/HC</p> <p>税域コード <input type="text"/> <input type="text"/></p> <p>免税証明No. <input type="text"/></p>	<p><input type="checkbox"/> 価格ピッキング・リスト</p> <p>請求書コピー枚数 <input type="text"/></p> <p>発注担当者 <input type="text"/></p> <p>受注担当者 <input type="text"/></p>
--	--

[受注オーダー見出し] フォームの [受注オーダー見出し] タブ

**[事業所](必須)**

受注オーダーを充当する事業所コードを入力します。このフィールドに入力した値は、事業所固定情報に設定されている必要があります。

**[通貨]**

取引の通貨を識別するコードを入力します。このフィールドに入力を行わない場合は、販売先住所に関連付けられた通貨がフィールドに自動設定されます。この値が見つからない場合は、事業所の通貨コードが使用されます。この通貨コードも見つからない場合は、会社 00000 の関連付けられた通貨コードが使用されます。

**[為替レート]**

外貨の金額に乘算して国内通貨の金額を計算するための数値（為替レート）を入力します。このフィールドには最大で小数点以下 7 桁まで入力できます。これ以上の桁数を入力すると、最も近い小数点以下 7 桁の数値に調整されます。関連付けられた通貨コードに対する為替レートを設定している場合、このフィールドは自動的に設定されます。

**[基本通貨]**

国内通貨に関連付けられた通貨コードを入植します。たとえば、組織がフランスにあり、業務取引にユーロを使用している場合は、ユーロの通貨コードをこのフィールドに入力します。

**[外貨]**

このチェック ボックスをオンにすると、取引金額を外貨で表示します。このチェック ボックスをオフにすると、取引金額は国内通貨で表示されます。

**[メッセージ]**

このオーダーに関してシステムから表示されているメッセージを見るには、フォームのこのセクションを確認します。

**[販売先 No.](必須)**

このオーダーの請求書が送付されるクライアント住所に対応する住所録番号を入力します。オーダーの支払責任者は、販売先の顧客です。

[出荷先]	このオーダーに関連した品目が送付されるクライアント住所に対応する住所録番号を入力します。出荷先の顧客がオーダーを受け取ります。
[オーダー日付]	オーダーが入力された日付を指定します。ブランクにすると、システム日付が使用されます。この日付によって、在庫価格設定に使用される有効レベルが決まります。
[取消日付]	商品が顧客に発送されない場合、または仕入先から商品が入荷しない場合に、オーダーを取消す日付を入力します。これはメモ用のフィールドであり、設定したことにより何らかの処理が自動的に発生することはありません。受注オーダー行が受注オーダー入力の取消済みにある場合、このフィールドは行が取消されたときの日付で更新されます。
[要求日付]	顧客がオーダーの入荷を望む日付を入力します。
[要求時刻]	要求日付に顧客がオーダーの入荷を望む時刻を入力します。
[顧客購買オーダー]	通常、顧客がオーダーを行うことで提供される購買オーダー番号を入力します。これは、相互参照番号または 2 次参照番号として使用される英数字の値です。
[印刷メッセージ]	顧客の受注オーダーに印刷されるメッセージを指定するコード (UDC 40/PM) を入力します。メッセージで使用されるテキストとしては、生産設計仕様、休暇中の作業時間数、特殊配送指示などがあります。
[保留コード]	オーダー保留の理由を示すコード (UDC 42/HC) を入力します。
[税域/コード]	<p>1 つ目のフィールドには、共通の税率と納税先を持つ税域または地域を示す税域コードを入力します。入力したコードは、税率/税域テーブル (F4008) に対して検証されます。この税率/税域は税目コードと税規則と共に、請求書または伝票を作成する際に税額と元帳配賦額を計算するために使用されます。</p> <p>2 つ目のフィールドには、税額や総勘定元帳の配賦金額の計算にシステムが使用するアルゴリズムを制御するハードコードされた税コード (UDC 00/EX) を入力します。この税目コードと税率/税域、税規則を組み合わせで税計算の方法が決まります。支払項目ごとに異なる税目コードを指定することができます。</p>
[免税証明 No.]	顧客によって提供される、免税対象の個人または法人に対して課税当局から発行され、免税状況を識別する番号を入力します。
[価格ピッキング・リスト]	このチェック ボックスをオンにすると、顧客のピッキング・リスト、購買/受注オーダーに価格情報が印刷されます。このチェック ボックスをオフにすると、価格情報は印刷されません。
[発注担当者]	オーダーを行った顧客会社の担当者名を入力します。このフィールドは任意フィールドです。
[受注担当者]	この受注オーダーの入力を行った担当者を調べるには、このフィールドを確認します。

## 受注オーダー品目情報の入力

受注オーダーの見出し情報の入力が終わったら、明細情報 (品目) を入力します。明細情報の大半は他のテーブルから取り込まれるため、最小限の情報を入力するだけです。必要に応じてこれらの値を検討し変更できます。

[受注オーダー明細の改訂] フォームにアクセスします。

[受注オーダー明細の改訂] フォーム

#### [オーダー数量]

顧客が発注した品目の数を入力します。

#### [単価]

CS (ケース)、BX (箱) のように、表示される在庫品目のトランザクション数量単位を示す UDC (00/UM) です。このフィールドをブランクにすると、品目マスター テーブルに入力された値が自動的に入力されます。

#### [品目 No.]

顧客が発注した品目を英数字の識別番号を入力します。品目マスター テーブルに保存されている情報に基づいて、入力した品目の各品目行のフィールドの多くは自動的に入力されます。入力する値には、略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。

#### [行タイプ]

トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などの取引のインターフェイスとなるシステムを制御します。また、行をレポートに印刷する場合や、行を計算に組み込む場合の条件も指定します。行タイプ コードの例を以下に示します。

S: 在庫品目

J: 作業原価

N: 非在庫品目

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および貸方

W: 作業オーダー

#### [要求日付]

顧客が品目の入荷を要望した日付を入力します。

#### [単価]

この品目 1 単位に対して請求される表示価格または基本価格を確認します。受注オーダーを入力する際は、全ての価格を品目基本価格テーブル (F4106) に設定してください。この値は一時変更が可能です。

[合計価格]	システムによって計算された合計価格を確認します。この価格は、数量に単価を掛けて計算されます。合計金額には、バックオーダー品目は含まれません。
[前の状況]	処理サイクル中でこのオーダー行が正常に完了した最後のステップを判断するために、このフィールドを確認します。値は UDC (40/AT) に保存されています。
[次の状況]	行タイプのオーダー フローの次のステップを判断するために、このフィールドを確認します。値は UDC (40/AT) に保存されています。
[事業所]	受注オーダーを充当するために品目を取り込まれる事業所コードを入力します。事業所コードは、原価のトラッキング対象となる個々の事業単位を表す英数字のコードです。たとえば、倉庫保管場所、ジョブ、プロジェクト、ワーク センター、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。ビジネスユニットを伝票、会社、または個人に割り当て、さまざまなレポートを作成することができます。たとえば、ビジネスユニット別の未決済買掛金/売掛金レポートを作成して、管轄部門ごとの支払/入金予定を把握することができます。ビジネスユニットにセキュリティを設定すると、権限のないユーザーにはビジネスユニットに関する情報が表示されません。
[保管場所]	移動される商品のある保管場所を入力します。品目の基本保管場所は、品目保管場所と事業所情報の設定が正しく行われていれば、“.” で表されます。
[ロットNo.]	指定された品目の保管場所を決定するために使用される、ロットまたはシリアル番号を特定する番号を入力します。
[行No.]	購買オーダーやその他の伝票など行番号で、重複を識別するためにシステムによって割り当てられた番号を確認します。通常、この番号はシステムによって割り当てられますが、場合によってはユーザーが一時変更することもできます。
[基本単位](価格設定計量単位)	品目の価格設定に通常使用する計量単位を示す UDC (00/UM) を入力します。
[出荷数量]	受注オーダー入力で出荷に引当てられた数量を入力します。入力時の計量単位か、品目に定義された基本計量単位を使用します。
[バックオーダー数量]	受注オーダー管理または作業オーダーの処理でバックオーダーされた数量を確認します。入力時の計量単位か、品目に定義された基本計量単位を使用します。
[取消数量]	受注オーダーまたは作業オーダーの処理で取消された数量を確認します。入力時の計量単位か、品目に定義された基本計量単位を使用します。
[単価]	1 単位あたりの金額、つまりコストの合計を単位数量で割った金額を確認します。
[合計原価]	システムによって計算された合計原価額を確認します。受注オーダーおよび購買オーダーの場合、この額は単価に数量を掛けて計算されます。合計原価には、バックオーダーされた品目は含まれません。
[粗利益率]	オーダー明細行の粗利益率を判断するためにこの値を確認します。粗利益率は次のように計算されます。 $((\text{価格} - \text{原価}) \div \text{価格}) \times 100$
[輸送モード]	商品を顧客に輸送する際に使用される運送業者の種類を説明する UDC (00/TM) を入力します。たとえば、鉄道や陸路などがあります。

**[運送業者No.]** 品目の優先運送業者の住所番号を入力します。配送経路や特殊取扱などの条件を考慮して、顧客または自社が優先的に選ぶ運送業者を指定します。

以下のフィールドにアクセスするには、カラムを全て表示します。

**[2 次計量単位数量]** 2 次計量単位数量は、オーダー済み数量と、2 重単位が設定されている品目用に入力された単位に基づいて計算されます。

トランザクションは、2 次計量単位数量と単位、またはトランザクション数量と単位のいずれかを使用して入力されます。

**[2次計量単位]** トランザクションの 2 次計量単位を入力します。このオプションは、基本計量単位への換算式が定義されていない場合に、2 次計量単位で在庫残高とトランザクションの記録を管理するかどうかを指定するために使用します。通常は、品目のオーダーまたは販売をパッケージ数量単位で行い、価格を重量または容量単位で行う場合に、このチェック ボックスをオンにします。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「品目在庫情報の入力」、「品目の 2 重計量単位の指定」

## デフォルト行情報の入力

[受注オーダー明細の改訂] フォームにアクセスします。

### 行デフォルト

[行デフォルト] タブをクリックします。

このフィールドに入力した値は、受注オーダーの各行に自動的に入力されます。各行の値は、必要に応じて一時変更できます。

**[事業所詳細]** オーダーの全ての行で使用する事業所コードを入力します。

**[要求日付]** 品目の到着予定日付、または作業の完了予定日付を入力します。

**[価格有効日付]** この行に対する基本価格と全ての上級価格調整を決定するために使用される日付を入力します。

**[ピッキング予定日付]** 受注オーダーの約束出荷日付を入力します。需要/供給プログラムは、この日付を使用して約束可能数量情報を計算します。この値は受注オーダーの入力中に自動的に計算されます。この日付は、品目が倉庫から出荷可能な日付を表しています。

**[約束納入日付]** オーダーが顧客に納入されると約束した日付を入力します。

**[取消日付]** 商品が顧客に発送されない場合、または仕入先から商品が入荷しない場合に、オーダーを取消す日付を入力します。これはメモ用のフィールドであり、設定したことにより何らかの処理が自動的に発生することはありません。受注オーダー行が受注オーダー入力の取消済みにある場合、このフィールドは行が取消されたときの日付で更新されます。



## クロス ドッキング情報の入力

[受注オーダー入力 - 追加情報] フォームにアクセスします。

### クロス ドッキング オーダー

クロス ドッキングを使用すると、受信在庫を直接受注オーダーに割り当てることができます。受信在庫は日付と優先度を基に割り当てられます。

#### [フラグ]

品目行またはオーダー行をクロス ドッキング処理と関連付けるかどうかを指定します。このコードは品目またはオーダー行がクロス ドッキングに適しているかどうか、あるいは品目またはオーダー行がクロス ドッキングされていたか、またはクロス ドッキングする必要があるかどうかを示します。品目または事業所品目に割り当てられている場合、このコードは品目または事業所品目がクロス ドッキングに適していることを示します。オーダー行に割り当てられている場合、このコードはオーダー行をクロス ドッキングする必要があることを示します。有効値は以下のとおりです。

ブランクまたは 0: クロス ドッキングはオフです。

1: クロス ドッキングはオンです。

#### (優先)

供給数量を受注オーダーに割り当てる場合、クロス ドッキング システムが従う優先度を指定します。この優先度は、クロス ドッキングされた受注オーダーがある日付において実行される順序を指定します。より小さい値が設定された受注オーダー行の優先度は、大きな値が設定された行よりも高くなります。この値については数値の編集しか行うことができません。優先度が指定されなかったり、複数のオーダー行に同じ優先度が割り当てられている場合は、オーダーはオーダー番号とオーダー タイプの順に実行されます。

#### [No.]

供給オーダーを識別するオーダー番号を入力します。

#### (タイプ)

供給オーダーのタイプを入力します。供給オーダーには、購買オーダー、製造オーダー、転送オーダーなどが含まれていることがあります。

#### (会社)

クロス ドッキング オーダーに関連する会社を入力します。

#### (行No.)

クロス ドッキング オーダーに関連する行番号を入力します。

---

## 受注オーダー情報の更新とコピー

このセクションでは、受注オーダー明細の見出し情報の更新と受注オーダー情報のコピーで使用する方法的概要と、以下の方法について説明します。

- 見出し情報の更新
- 受注オーダーのコピー

## 明細フォームに対して見出し情報を更新する処理について

受注オーダーについての最初の入力の終了後に、見出し情報を更新する必要がある場合があります。税コードや税域、出荷先住所、運賃情報のような見出し情報の多くは、顧客マスター レコードや住所録 マスター レコードのデフォルト値で構成されています。これらの情報はオーダーの入力時または改訂時に変更できます。オーダーを見つけて見出し情報を変更した場合、見出し情報を受注オーダー明細に対して更新することで、変更を明細情報に確実に反映させることができます。

---

**注:** 受注オーダー入力の [処理] タブにある [変更に対する状況コードの限度] 処理オプションを設定していると、見出しの変更が反映されるのは定義された状況にない明細行に限られます。

---

見出しの変更を自動的に明細行に反映するには、受注オーダー入力の [デフォルト] タブにある [詳細への見出しの更新] 処理オプションを自動更新に設定する必要があります。この処理オプションが手作業での更新に設定されている場合は、[受注オーダー見出し] フォームにある自動入力フォーム エグジットを使用して、明細行に対する更新処理を手作業で開始する必要があります。処理オプションが手作業による更新に設定されており、自動入力フォーム エグジットを選択しない場合は、見出しフィールドへの変更によりオーダー行が更新されることはありません。

受注オーダーで選択された見出しフィールドを確認して改訂し、見出しを変更したときに明細を更新するには、[受注オーダー見出し] フォームで定義のフォーム エグジットを使用します。選択された見出しフィールドは、更新モードが自動と手作業のどちらに設定されていても、更新されます。選択された見出しフィールドの一覧は UDC テーブルに保存されるため、このフォーム エグジットを使用する必要があるのは、更新用に選択した見出しフィールドの変更を行う場合に限られます。

---

**注:** 見出しフィールド [販売先] および [顧客購買オーダー] への変更は、処理オプションの設定に関係なく、常に明細行に反映されます。

---

## 受注オーダーのコピーについて

ある顧客が同じ、または同じような品目と数量を繰り返しオーダーするということはよくあることです。顧客が同じようなオーダーを行うたびに明細の全てを再入力することを避けるために、見出しと明細情報の両方をコピーして、新しい受注オーダーに追加することで、受注オーダーの入力を効率化を図ることができます。また、同じオーダーを他の出荷先住所に、あるいは請求書を他の販売先住所に送る場合に、明細情報のみをコピーして出荷先や販売先情報を変更できます。

処理オプションの設定によっては、元の受注オーダーとコピーした受注オーダーで次の情報が異なることがあります。

- 伝票タイプ
- 開始状況コード

コピーした受注オーダーのオーダー番号は、当初オーダーの番号とは異なります。

品目情報は、どの受注オーダー入力プログラムからでも受注オーダーへコピーできます。たとえば、受注オーダー入力の一括オーダー バージョンに [複写] 処理オプションを設定して、一括オーダーからオーダーおよび行のデータをコピーする際に、新しい受注オーダーが作成されるようにできます。

## 事前設定

受注オーダー入力の [複写] 処理オプションを、新しい伝票タイプおよび状況について設定したことを確認してください。

## 受注オーダーの更新とコピーに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注見出しの処理]	W4210H	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注見出し]	オーダー見出しレコードを 確認、コピー、管理するた めに選択します。

### 見出し情報の更新

[受注見出しの処理] フォームにアクセスします。

1. オーダーを選択して、[選択] をクリックします。
2. [受注オーダー見出し] フォームで、[見出しから明細へ] をクリックし、[定義] をクリックして更新するために選択する見出しフィールドを確認または改訂します。
3. [明細テーブルに対する見出しカラムの定義] フォームで、明細フォームへの更新を行うフィールドを選択して [OK] をクリックします。
4. [受注オーダー入力] 処理オプションが見出しから明細への自動更新に設定されている場合は、[受注オーダー見出し] フォームで、[OK] をクリックします。この処理オプションが手作業による更新に設定されている場合は、[自動入力] をクリックして見出しへの変更を明細行に手作業で更新します。

### 受注オーダーのコピー

[受注見出しの処理] フォームにアクセスします。

1. コピーする受注オーダーを選択して [コピー] をクリックします。
2. [受注オーダー明細の改訂] で、入力が自動的に行われるフィールドを検討して必要に応じて変更します。
3. オーダーについての追加の情報があれば入力し、[OK] をクリックします。  
[OK] がクリックされるまでは、新しいオーダーは保存されません。

## テンプレートを使用した受注オーダーの入力

このセクションでは、テンプレートを使用したオーダー処理の概要と、テンプレートを使用した場合の受注オーダーの入力方法について説明します。

### テンプレートを使用したオーダー処理について

テンプレートを使用すると、顧客から頻繁にオーダーのある品目を表示することでオーダーの処理スピードを上げることができます。テンプレートとは、顧客にオーダーされる可能性が高い商品のシステムによる予測のことです。テンプレートにより、同じデータの繰り返しやエラーを防ぐことができます。

任意の顧客に使用できるデフォルトのテンプレートや特定の顧客用のテンプレートを設定するか、システムに設定されている利用可能なテンプレートから選択することができます。受注オーダー入力用の処理オプションを設定すると、デフォルトで使用するテンプレートを指定したり、顧客の請求指示の販売先または出荷先住所に基づいてテンプレートを取り込むかどうかを指定できます。受注オーダー明細の入力プログラムを使用して受注オーダーを入力する際に、[オーダー テンプレート] フォームが表示されます。顧客がテンプレートを設定している場合、オーダーの入力時にそのテンプレートが取り込まれて表示されます。顧客がテンプレートを設定していない場合は、デフォルトのテンプレートが表示されます。

テンプレートを使用すると、次のような方法でオーダー情報を入力することができます。

- テンプレートの全ての品目と数量をコピーする
- 1 行ずつ品目と数量情報を変更する
- 受注オーダーに追加しない品目の場合は、数量情報をブランクにする

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 受注オーダー入力プログラムの処理オプションで、オーダー テンプレート処理が有効になっていることを確認してください。
- 標準テンプレートおよび顧客テンプレートが設定されていることを確認してください。

## テンプレートを使用した受注オーダー入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明細]	受注オーダー明細レコードの確認と選択を行います。
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会] の [追加] をクリックします。	受注オーダーを入力します。
[オーダー・テンプレート]	W40215A	受注オーダーを入力し、[受注オーダー明細の改訂] の [OK] をクリックします。	テンプレートにある品目の数量を入力するか、別のテンプレートを選択します。
[オーダー・テンプレートの処理]	W4015A	[オーダー・テンプレート] で [フォーム] メニューの [使用可能テンプレート] を選択します。	オーダーテンプレートを選択します。

## テンプレートを使用した受注オーダーの入力

[オーダー・テンプレート] フォームにアクセスします。

受注明細 - オーダー・テンプレート

OK(O) 検索(I) キャンセル(L) 通常数量の事前ロード(P) フォーム(E) ツール(T)

販売先

オーダー・テンプレート

レコード 1 - 10

グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

オーダー 数量	計量 単位	品目 No.	通常オーダー 数量	通常 計量単位	品名	品名 2
		210	10	EA	Mountain Bike, Red	
		220	5	EA	Touring Bike, Red	
		221	5	EA	Touring Bike, Blue	
		222	5	EA	Touring Bike, Green	
		2011			Chain, Std	
		210	10		Mountain Bike, Red	
		220	5		Touring Bike, Red	

[オーダー・テンプレート] フォーム

## 代替品目、関連品目または販促品の入力

このセクションでは、代替品目、関連品目、および販促品の概要と、これらの品目の入力方法について説明します。

### 代替品目、関連品目または販促品について

オーダー数量の一部しか引当てられない場合、必要な数量を満たすために代替品目を使用することができます。たとえば、顧客から自転車用チェーンのオーダーが入り、そのオーダーがバックオーダーになったとします。この場合、代替品目として別メーカーの同クラス製品を指定してオーダーを充当することができます。

受注オーダーで代替品目を使用すると、バックオーダーとなっている当初の品目の数量は全て取り消されます。代替品目を追加すると、当初のオーダー行には“代替品目による取消し”が、新しいオーダー行には“代替品目として販売”という状況がそれぞれ表示されます。オーダー行には当初品目と代替品目が区別して示されます。品目別相互参照の設定で、品目とその置換品目が設定されている場合は、代替品目を使用して受注オーダーの旧品目を置き換えます。

互いに関連のある品目を販売している場合は、関連品目をオーダーに追加する前にプロンプトが表示されるように設定できます。たとえば、タイヤ用ポンプとタイヤ修理キットを関連させることが可能です。受注オーダーにタイヤ用ポンプの品目番号を入力する際、ロー見出しとカラムにチェックマークが表示され、関連品目があることを知らせます。タイヤ修理キットなど関連品目の追加選択をした場合、そのオーダー明細行が受注オーダーに追加されます。

販促品については、自動的に当初の品目と差し替えられ、当初の品目のオーダー行は取消されます。

受注オーダー入力プログラムの処理オプションで、システムによる代替品目、関連品目、置換品目および販促品のチェックが行われるよう設定してください。

代替/補足品目プログラム (P42260) の [フォーム] メニューの [品目相互参照] を選択すると、受注オーダー入力中に代替または補足品目を設定できます。最適または最低価格を提示するかどうかを指定できます。この価格は、適用可能なプロモーションまたは割引後の最も低い価格となります。また、当初の品目の価格または代替品目の価格のままで提供することもできます。

明細行を入力すると、追加情報を処理中であることが表示されます。代替品目および補足品目の場合、ロー見出しとカラムにチェックマークが表示され、また警告が表示されます。販促品の場合、差し替えは自動的に行われます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 受注オーダー入力プログラムの相互参照処理オプションで、代替品目、関連品目、置換品目および販促品の相互参照情報を表示するように設定されていることを確認してください。
- 受注オーダー入力の処理オプションで、引当可能数量チェックが有効になっていることを確認してください。
- 顧客請求指示で、顧客が代替品目を承諾していることを確認してください。

## 代替品目、関連品目または販促品の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注見出しの処理]	W4210H	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注見出し]	受注オーダー見出しレコードの確認と選択を行います。
[受注オーダー見出し]	W4210G	[受注見出しの処理] で、[追加] をクリックします。	受注オーダー見出し情報の追加と改訂を行います。
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注オーダー見出し] で [OK] をクリックします。	フォームの明細部分で、品目情報の追加と改訂を行います。
[代替/補足品目]	W42260A	[受注オーダー明細の改訂] フォームで品目を選択し、[ロー] メニューから [代替/補足品目] を選択します。	代替品目、補足品目、または販促品として使用する品目を選択します。

## 代替品目、関連品目または販促品の入力

[代替/補足品目] フォームにアクセスします。

代替品目、関連品目、または販促品を検索するには、品目を選択してから、受注オーダーにこの品目を追加するために [OK] をクリックします。

### [相互参照タイプ]

この顧客に設定した相互参照タイプを識別するコード (UDC 41/DT) を入力します。次のような相互参照タイプがあります。

- A: 関連製品
- S: 代替品目
- R: 置換品目
- SP: 販促品目

**[バックオーダー数量の使用]**

代替品目のバックオーダー数量を指定するには、このオプションを選択します。たとえば、顧客が 50 台の赤色の自転車をオーダーしたのに、引当可能な台数が 25 台しかない場合、25 台の赤色の自転車がバックオーダーされます。顧客が 50 台の赤色の自転車の代わりに 50 台の青色の自転車をオーダーすることを選択した場合は、このオプションは使用しないでください。代わりに、[当初数量を使用する] オプションを選択します。ただし、顧客が 25 台の赤色の自転車と 25 台の青色の自転車のオーダーを選択した場合は、このオプションを使用します。バックオーダー数量である 25 は、青色の自転車のオーダー行に対して使用されます。

**[当初数量を使用する]**

代替品目で当初数量を使用する必要がある場合は、このオプションを選択します。たとえば、顧客が 50 台の赤色の自転車をオーダーしたのに、引当可能な台数が 25 台しかない場合、25 台の赤色の自転車がバックオーダーされます。顧客が 50 台の赤色の自転車の代わりに 50 台の青色の自転車をオーダーすることを選択した場合は、このオプションを使用してください。当初数量である 50 が青色の自転車のオーダー行で使用されます。

ただし、顧客が 25 台の赤色の自転車と 25 台の青色の自転車のオーダーを選択した場合は、[バックオーダー数量の使用] オプションを使用します。

---

## 扱い高基準のアップセルの通知の有効化

このセクションでは、扱い高基準のアップセルの概要と扱い高基準のアップセル価格の作成方法について説明します。

### 扱い高基準のアップセルについて

顧客に低い価格での大口購買を勧める場合に、いつオーダー行へアップセルを通知するかを決める調整と許容パーセントを指定できます。

アップセル通知を有効にするには、受注オーダー入力プログラムの [ボリューム・アップセル] タブの [許容内のボリューム・アップセルに対する警告] 処理オプションに許容パーセントを入力します。この許容パーセントで、いつ通知を出すかを指定します。指定したアップセルのパーセント分だけ受注オーダー行でオーダーした数量を増やしてアップセルの機会をチェックします。次に増やした数量で新しい数量分岐に到達するかどうかを判断します。

たとえば、アップセル調整が許容パーセント 15%、数量 10 で指定された数量分岐を持つとします。ここで数量 9 と入力すると、9 の 15% 増しは 10.35 になり次レベルの分岐になるため、アップセル警告が表示されます。この場合、許容パーセントが 10% ならば、9 の 10% 増しは 9.9 なのでアップセル警告は表示されません。このケースでは次の計算式を使用します。

(オーダーした数量 × 許容パーセント) + オーダーした数量

$$(9 \times 15\%) + 9 = 10.35$$

扱い高基準のアップセル情報の処理では、価格調整定義テーブル (F4071) が使用されます。

## 扱い高基準のアップセル価格の作成

通知が発行された場合、[調整タイプの数量分岐] フォームでこの情報を表示して受注オーダーと価格履歴のアップセル価格を設定できます。新しいレベルでの分岐を選択する際は、そのオーダー行の数量が受注オーダー入力の新レベルの数量分岐に必要な数量に変更されます。さらに数量不足のため当初のオーダーでは適用しなかった新しい行レベルの価格調整が検索されます。受注オーダーにアップセルの機会を持つ調整がある場合は、選択していれば調整のレベル分岐と共に調整の一覧が表示されます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- アップセル通知を有効にするには、受注オーダー入力プログラムの [ボリューム・アップセル] タブの [許容内のボリューム・アップセルに対する警告] 処理オプションで許容限度パーセントを指定します。
- 受注オーダー入力時にアップセルの機会の検索に調整を含めるかどうかを価格調整の定義プログラム (P4071) で指定します。

## 扱い高基準のアップセル価格の作成に使用されるフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注見出しの処理]	W4210H	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注見出し]	受注オーダー見出しレコードの確認と選択を行います。
[受注オーダー見出し]	W4210G	[受注見出しの処理] で、[追加] をクリックします。	受注オーダー見出し情報の追加と改訂を行います。
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注オーダー見出し] で [OK] をクリックします。	フォームの明細部分で、品目情報の追加と改訂を行います。
[調整タイプの数量分岐]	W40722E	[受注オーダー明細の改訂] で、[ロー] メニューの [扱い高基準のアップセル] を選択します。	入力された数量の価格を調整する理由を入力し、レベル分岐を選択します。
[扱い高基準アップセル調整の処理]	W40722B	ローを選択してから、[扱い高基準のアップセル] を選択します。	扱い高基準のアップセル価格を作成します。

## 扱い高基準のアップセル価格の作成

[扱い高基準アップセル調整の処理] フォームにアクセスします。

入力された数量の価格を調整する理由を入力し、レベル分岐を選択します。

## 受注オーダー入力の納期回答

このセクションでは、納期回答の概要と、約束納入日付の選択方法について説明します。



## 納期回答について

納期回答は、受注オーダー入力 (P4210) プログラムの [見込みオーダー] タブにある処理オプションを設定することにより有効化されます。

納期回答機能は、受注オーダーの入力時に需要/供給履歴をトラッキングし、配送日付の約束可能数量 (ATP) または生産販売可能数量 (CTP) のどちらかによる計算を行います。納期回答日付の決定に際して ATP または CTP 計算が実行され、承認前表示フォームの [ピッキング予定日付] フィールドに計算結果が表示されます。配送リードタイムも計算され、[ピッキング予定日付]、[約束出荷日付] および [約束納期日付] フィールドにその結果が追加されます。約束納入日付とは、顧客が納品を受ける日です。

納期回答は受注オーダーの各明細行の品目ごとに計算されます。オーダーに変更があるたびに、即座にテーブルが更新され、その後続くオーダーに実際の需要と供給が反映されます。

ATP/CTP の日程が必要な受注オーダーを入力する際には、オーダー見出しおよびオーダー明細情報を入力する手順は同じであることに注意してください。納期回答は受注管理システムの機能であり、次の処理やオプションと共に使用できます。

- 部分オーダー
- バックオーダー
- 部分出荷
- 代替品目
- マルチソーシング

### 納期回答を使用した提案納期の作成

納期回答は、顧客の希望した納入日付に沿うよう、いくつかの提案納期を生成します。見出しと明細情報を入力したら、納期回答を起動します。次に、自動モードを選択します。要求の作成、更新および送信には、XAPI (外部アプリケーション プログラム インターフェイス) 機能が使用されます。

この情報の送信中は、受注残の訂正はできません。

自動モードを選択して納期回答日付を設定する場合は、複数の提案が生成され一番早い日付が自動的に選択され、その日付が提案されます。

### 納期回答提案のカスタマイズ

提案納期が作成される際に、納期回答で考慮されるオプションをカスタマイズできます。入力された顧客情報と受注オーダー情報によって、提案は非常に厳格なもの柔軟なものにもなります。

納期回答は、可能であればいつでも既存のシステムの設定からのデフォルト情報を使用します。

次の表では、納期回答が納期の提示に使用するコード、フィールドおよび値を示しています。

コード、フィールド、または値	説明
ビジネスゴール	納期回答に使用される組込規則のセットは? 納期回答は、顧客請求指示のデフォルト情報を使用してビジネスゴールと顧客を関連付けます。
部分オーダー出荷可	別の日に同じ行品目を出荷できるか? 納期回答は、顧客マスターの顧客請求指示からのデフォルト情報を使用します。

コード、フィールド、または値	説明
バックオーダー許可	<p>要求日付より後に行品目を出荷できるか？</p> <p>納期回答は、顧客請求指示と事業所固定情報からの値を使用します。バックオーダー許可は、バックオーダーが承認されるために両フォームで使用可能である必要があります。</p>
部分出荷可	<p>行品目の出荷は分割できるか？</p> <p>納期回答は、顧客マスターの顧客請求指示からのデフォルト情報を使用します。</p>
代替品可	<p>顧客は代替品を承認するか？</p> <p>納期回答は、顧客マスターの顧客請求指示からのデフォルト情報を使用します。</p>
マルチソーシング可	<p>複数の事業所から出荷できるか？</p> <p>納期回答で顧客が1か所の事業所からの出荷を優先情報で設定しているかどうかを確認されます。設定していなければ、複数ソースは承認されます。</p>
出荷グループ	<p>同じ日の同じ出荷にする必要のある出荷グループの一部だけを出荷すべきか？</p> <p>顧客が出荷グループを要求している場合は、納期回答シナリオマネージャの優先情報で指定できます。</p>
計量単位の計画	<p>オーダーの一部として出荷できる最小の計量単位は？</p> <p>受注オーダーで入力された計量単位が使用されます。受注オーダーで指定された計量単位より細かい単位では提案納期は生成されません。</p>

ATP または CTP 納期を計算するために納期回答を使用する場合は、[フォーム] メニューの [納期回答] を選択し、[自動回答] を選択します。

顧客の納期の要求に見合う提案納期が生成されます。

### 関連項目:

Integrating PeopleSoft EnterpriseOne 8.11 with Supply Chain Planning PeopleBook

## 約束納入日付の選択に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注見出しの処理]	W4210H	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注見出し]	受注オーダー見出しレコードの確認と選択を行います。
[受注オーダー見出し]	W4210G	[受注見出しの処理] で、[追加] をクリックします。	受注オーダー見出し情報の追加と改訂を行います。
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注オーダー見出し] で [OK] をクリックします。	フォームの明細部分で、品目情報の追加と改訂を行います。
[オーダー承認]	W42232A	[フォーム] メニューの [納期回答] を選択してから、[受注オーダー明細の改訂] の [自動回答] を選択します。	オーダーを実行、または改訂するために適切なボタンをクリックします。

## 約束納入日付の選択

[オーダー承認] フォームにアクセスします。

約束納入日付を検討し、必要であれば改訂します。オーダーを行うには、[OK] をクリックします。

## 監査ログ生成と承認プロセス

このセクションでは、監査ログと承認プロセスの概要と、監査ログの検討方法について説明します。

### 監査ログについて

受注管理システムには、オーダーに対して行われた手作業による変更を検討し、トラッキングする方法があります。該当する処理オプションが有効になっていると、受注オーダー情報に対して行われた手作業による全ての変更について改訂が作成されるので、オーダー改訂履歴プログラム (P42420) にアクセスした際に変更情報を検討できます。オーダー入力時に改訂番号を確認できます。オーダーに変更が入るたびに新しい改訂番号が作成されます。オーダー改訂履歴プログラムには、次のプログラムを実行中にアクセスできます。

- 受注オーダー入力
- 出荷確認 (P4205)
- 保留オーダー リリース (P43070)
- バックオーダー リリース (P42117)
- 受注スピード状況更新 (P42040)

オーダー改訂履歴プログラムには、次のタイプのオーダー情報があります。

- 改訂番号
- 承認プロセスが必要かどうか、必要な場合はそのオーダー状況
- 改訂理由

- 改訂が行われた日時
- 改訂者
- オーダー品目と関連品目情報

変更の監査ログも作成されます。監査ログ トランザクション テーブル (F42420) に全ての変更情報が保存されます。処理オプションが適切に設定されていれば、監査ログには変更を行った人のユーザー ID や変更理由を説明する理由コードなどの情報が含まれます。

顧客の大半に対する変更をトラッキングする場合でも、顧客請求情報の [監査ログのバイパス] オプションを設定することで、特定の顧客についての監査ログの生成をバイパスすることもできます。

## 承認プロセスについて

承認プロセスは、あるタイプの情報に対する手作業変更が承認を必要とするかどうかを制御できるようにするワークフロー プロセス (JDESCHNG) です。JD Edwards EnterpriseOne にはビジネス ニーズに応じてカスタマイズできるデフォルトのワークフロー プロセスが用意されています。

承認プロセスは、受注オーダー入力プログラムの [受注オーダー変更承認処理が必須] 処理オプションを使用して有効化します。ただし、承認プロセスを使用するには、監査ログも有効にする必要があります。

既存の受注オーダー明細行の情報を変更しようとする、オーダーの処理前に変更承認が必要という警告が受注オーダー入力プログラムから表示されます。ワークフロー プロセス (JDESCHNG) を使用して、次のステップが実行されます。

1. オーダーを保留にします。
2. ワーク センターを通じて承認要求をオーダー保留情報プログラム (P42090) で定義されている責任者に送信します。
3. 保留オーダー テーブル (F4209) にオーダー レコードを書き込みます。
4. 変更が承認されたか拒否されたかに基づいて承認を処理します。
5. 監査ログ トランザクション テーブルに承認プロセス情報を記録します。

変更が承認または拒否されたら、引き続きワークフロー プロセスで保留オーダーが削除され、システムのワーク センターのメッセージで変更者に対して変更の承認または拒否が通知されます。

次のタイプの情報に対しては、手作業による変更の承認を要求できます。

- トランザクション数量
- 価格
- 要求日付
- 約束納入日付
- 支払条件

UDC (42/HC) に設定する承認プロセスのデフォルト コードとして、AH (承認保留) が用意されています。特殊取扱コード 1 を指定すると、別の承認保留コードを追加できます。デフォルト・コード AH を使用する場合は、オーダー保留情報プログラムで次の設定を確認します。

- 承認責任者
- コード タイプが L (行基準) になっているか
- 限度タイプが A (額) になっているか

ワークフロー プロセスをカスタマイズする場合は、Solution Modeler ツールを使用する必要があります。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 受注オーダー入力プログラムの [監査ログ] タブの該当する処理オプションを設定します。
- UDC 42/HC で承認プロセスを設定します。
- 承認コードに AH を使用する場合は、オーダー保留コードを確認します。

### 関連項目:

第 3 章、「オーダー処理情報の設定」、「オーダー保留情報の設定」、64 ページ

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:ワークフロー ツール

## 監査ログの検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明細]	受注オーダー明細レコードの確認と選択を行います。
[オーダー改訂履歴]	W42420B	オーダーを選択して、[フォーム]メニューの[品目]を選択します。次に[受注残および完了オーダー照会]の[改訂履歴]を選択します。	監査ログでオーダーに加えられた変更を検討します。

## キット品目およびコンフィギュレーション品目のオーダー入力

このセクションでは、キット品目およびコンフィギュレーション品目とキット オーダー入力の概要と、キットオーダーの入力方法について説明します。

### キット品目およびコンフィギュレーション品目について

キット品目およびコンフィギュレーション品目に対する受注オーダーを入力することができます。キット品目とは、親品目という記述名に関連する在庫品目（構成品と呼ばれる）の集合のことです。たとえば、モニターやハード ディスク、キーボード、マウスなどのコンピュータ構成品をそれぞれ個別に在庫している場合があります。これらの品目を販売するときに、1 つのコンピュータシステムとしてセット販売することもあります。

製造環境では、製造業者は比較的少ない構成品からさまざまな最終製品を組み立てます。コンフィギュレーション品目は、顧客が要求するさまざまな機能で構成されています。たとえば自動車を製造販売する場合、同じタイプの自動車に異なる機能や、エンジンのサイズおよびトランスミッションのタイプなどのオプションを付けて販売することもあります。コンフィギュレーション品目を設定するときに、ペイントの色やパワー タイプなど品目の特徴となるセグメント（フィーチャーまたはオプション）を定義します。コンフィギュレーション品目に半組立品を組み入れることもできます。たとえばコンフィギュレーション品目の自動車に、構成済み半組立品であるトランスミッションを含めることが可能です。

## コンフィギュレーション品目オーダー

販売と連携した製造および生産工程の管理により、顧客の需要を常に満たすことができます。たとえば自動車を製造販売する場合、同じタイプの自動車にさまざまなフィーチャー品やオプション品を付けて販売することがあります。

販売コンフィギュレータ システムは受注管理システムと連携させて使用し、次のような品目の販売を実施できます。

- 複雑な品目
- フィーチャー品やオプション品によって作業工程が変更になる品目
- 他のフィーチャーと一緒に使用できないフィーチャーを含む品目
- 組立品を定義するために、複数の作業オーダーが必要な品目

コンフィギュレーション品目の受注オーダーを入力すると、その品目のセグメント値を入力するようプロンプトが出ます。セグメントとは、色やサイズ、素材、パワー タイプなど、コンフィギュレーション品目のフィーチャーのことです。選択した規則や UDC テーブルなどのユーザー定義情報に対して、セグメント値が確認されます。構成の確認が終わるとオーダーが処理されます。

受注オーダーを入力してコンフィギュレーション品目用の作業オーダーを生成した後、受注管理システムの次のプログラムを使用して、受注オーダーの処理サイクルを完了させてください。

- ピッキング リストの印刷 (R42050)
- 出荷確認 (P4205)
- 請求書印刷 (R42565)
- 売上更新 (R42800)

## キット構成品

キット品目を通常構成する在庫品目を次の表に示します。

在庫品目	説明
親品目	組立品です。一般的に、親品目は在庫品目にはなりません。親品目は、品目マスターに設定し、在庫タイプ "K" (キット) を割り当てる必要があります。品目マスターにより、価格計算方法が決定します。
構成品	キットに含まれる実際の在庫品目です。構成品は、通常の在庫品目として、品目マスターに設定します。
フィーチャー品目とオプション品目	キットの追加品目です。フィーチャー品目の在庫タイプは "F" (フィーチャー) です。フィーチャー品目は在庫品目にならないので、システムによりレベル 2 の親品目と見なされます。部品表には実際の在庫品目を設定します。

たとえば、親品目はステレオで構成品およびオプションは次のとおりだとします。

- ステレオ (第 1 レベルの親品目)
  - 接続ケーブル (構成品)
  - チューナー (構成品)

- スピーカー（構成品）
- カセット デッキ（オプション品目）
- CD プレーヤー（第 2 レベル親品目）
  - 5 連装 CD プレーヤー（オプション品目）
  - シングル CD プレーヤー（オプション品目）

#### 例: フィーチャー

CD プレーヤーがキットのフィーチャーであるとしします。フィーチャーについては、次のオプション品目から 1 つを選択できます。

- 5 連装 CD プレーヤー
- シングル CD プレーヤー

## キット オーダー入力について

受注オーダー入力でキットの品目番号を入力すると、キット選択のウィンドウが自動的に表示されます。キットの構成品としてあらかじめ選択されている品目と数量を確認することができます。オプション品目を選択して、受注オーダーに含めることも可能です。処理できるのは、構成品が全て揃っているキットのみです。構成品の一部がバックオーダーとなっている場合は、キット全体もバックオーダーとなります。

転送または直送オーダーにはキット情報は入力できません。キット用オーダーを入力するには、通常の受注オーダー入力プログラムを使用してキットを処理します。

キット オーダーの親品目の数量と価格情報は変更できます。価格は再計算されます。価格の変更は、現行オーダーのみが対象です。価格を変更してそのまま維持する場合は、基本価格レコードで変更します。

親品目を取り消すと、キット品目に関連する全ての構成品行が取り消されます。

### キットの制約

次の優先情報はキット品目とは一緒に使用できません。

- 印刷メッセージ
- 製品割当て
- 在庫引当

親品目に対する自動運賃計算の設定はできません。運賃を自動計算するには、各構成品の自動運賃計算を設定する必要があります。

キットの親品目またはキットの関連構成品に対する品目相互参照チェックは実行できません。

### キット作業オーダー

受注オーダーの入力時にキットに対する作業オーダーを作成すると、作業オーダーの処理終了後に親品目が作成され、その品目を在庫としてストックすることができます。作業オーダーの処理が完了すると、構成品が手持数量から差し引かれ、親品目が在庫の手持数量に追加されます。親品目を在庫にできるのはこのときだけです。

作業オーダーの処理プログラム (R31410) の処理オプションで、全て構成品の行タイプを T に指定する必要があります。この行タイプはテキストとして設定し、売上更新の際に売上原価や構成品について棚卸資産の仕訳が書き込まれないよう設定してください。これにより、出荷確認や売上更新の際に構成品が再度差し引かれなくなります。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 受注オーダー入力プログラムで、キット構成品行を非表示にする処理オプションがオンまたはオフに設定されていることを確認してください。
- キット品目が設定されていることを確認します。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「キットの使い方」、「キット情報の入力」

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 製造現場管理 8.11 SP1 PeopleBook、「作業オーダーおよびレート スケジュール情報の管理」

## キット オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明細]	受注オーダー明細レコードの確認と選択を行います。
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会] フォームでレコードを選択し、[OK]をクリックします。	フォームの明細部分で、品目情報の追加と改訂を行います。  受注オーダー見出しを入力しない場合の品目情報に加えて、行のデフォルト情報を入力します。
[キット選択]	W41351A	[受注オーダー明細の改訂] でキット品目である品目のオーダーを入力します。	オーダーするキット品目を選択します。

## キット オーダーの入力

[キット選択] フォームにアクセスします。



受注明細 - キット 選択

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

事業所30

品目 No.2400Bike Accessory Kit

数量1EA

レコード 1 - 3

グリッドのカスタマイズ

グリッド・フォーマット名1

	SEL	オプション	+/-	記述	単位 数量	引当可能 数量	計量 単位	行 タイプ	要求 日付	前の状況	次の状況
<input type="radio"/>		F	+	Helmet Fea		0	EA	S	2006/01/01	520	530
<input type="radio"/>	*	S		Water Bottle	1	485	EA	S	2006/01/01	520	530
<input type="radio"/>		O		Gloves - Clc	1	613	EA	S	2006/01/01	520	530

[キット選択] フォーム

## (Rapid Start AUS and NZL) Entering Order Detail

This section discusses:

- How to enter order detail.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Order Entry – ST Order Type (P4210).

### Entering Order Detail

This table lists the tasks for entering order detail:

Task	Navigation	Program and Version
Enter order detail.	Sales Order Management, Create Sales Order	P4210/RIS3007

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Entry – ST Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3007.

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	ST
2. Line Type	S
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	blank
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

**Duplication**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	ST
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

## Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	blank
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

**Commitment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	1
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	540
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	blank
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	blank
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank

Processing Option Description	Value or Status
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

## Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	blank
2. Complementary Items	blank
3. Replacement Items	blank
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	RIS0003
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0001
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	RIS0002
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	RIS0001
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS3008
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	RIS0006
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	1
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	520

Processing Option Description	Value or Status
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store & Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

### Multiples

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0



**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

**Promotion ID**

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

**Order Promising**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**関連項目:**

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

---

## (Rapid Start AUS and NZL) Performing Customer Service Inquiry

This section discusses:

- How to perform customer service inquiry.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).

**Performing Customer Service Inquiry**

This table lists the tasks for performing customer service inquiry:

Task	Navigation	Program and Version
Perform customer service inquiry.	Sales Order Management, Create Sales Order	P4210/RIS0001

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Entry – SO Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	SO
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

**Duplication**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SO
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

**Order Holds**

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	C1
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

### Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	1
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank

Processing Option Description	Value or Status
7. Blanket/Quote Order Processing	1
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

### Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank

Processing Option Description	Value or Status
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

**Transfers**

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

**Order Inquiry**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	500
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

**Warehouse**

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

**Store && Fwd**

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

**Multiples**

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank



Processing Option Description	Value or Status
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

### Volume UpSell

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

### Profit Margin

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

### Promotion ID

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

### Order Promising

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

### Matrix

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

### 関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

## (Rapid Start CAN and USA) Entering Sales Order for Equipment

You can create a sales order for an inventory item that you want to convert to an equipment master record. This section discusses:

- How to enter sales orders for equipment.
- Preconfigured processing options for Canada and United States Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).

## Entering Sales Order for Equipment

This table lists the tasks for entering sales order for equipment:

Task	Navigation	Program and Version
Create sales order with inventory item you wish to turn into an equipment master record.	Sales Order Processing, Create Routine Sales Order	P4210/RIS0001

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada and United States Sales Order Entry – SO Order Type (P4210)

The following processing options are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	SO
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank

Processing Option Description	Value or Status
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SO
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

### Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	C1
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank

Processing Option Description	Value or Status
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

## Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	1
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	1
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

**Preference**

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

**Transfers**

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

**Order Inquiry**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	500
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

**Warehouse**

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

**Store & Fwd**

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

**Workflow**

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

**Multiples**

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank



Processing Option Description	Value or Status
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

**Promotion ID**

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

**Order Promising**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**関連項目:**

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135ページ

---

## (Rapid Start) Entering Direct Sales Order for Selling a Direct Ship Item

This section discusses:

- How to enter direct sales order for selling a direct ship item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).
- Preconfigured processing options for Rapid Start Sales Order Entry – SD Order Type (P4210).

### Entering Direct Sales Order for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for entering direct sales order for selling a direct ship item.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter direct sales order for selling a direct ship item.	Sales Order processing Create Routing Sales Order Create Direct Ship Sales Order	P4210.RIS0001 P4210/RIS0005	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO or SD</li> <li>Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul> Last Status = 520	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SO Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	SO
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1

Processing Option Description	Value or Status
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SO
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

### Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	C1
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank

Processing Option Description	Value or Status
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

### Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	1
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	1
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	500
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1



Processing Option Description	Value or Status
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store && Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

### Multiples

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

### Interbranch

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank

Processing Option Description	Value or Status
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

### Promotion ID

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

### Order Promising

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

### Matrix

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

### 関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SD Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0005.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	SD
2. Line Type	D
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1

Processing Option Description	Value or Status
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SD
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

### Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	C1
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank

Processing Option Description	Value or Status
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

### Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	blank
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	1
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0007
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	520
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1



Processing Option Description	Value or Status
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store && Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

### Multiples

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

### Interbranch

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank

Processing Option Description	Value or Status
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

### Promotion ID

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

### Order Promising

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

### Matrix

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

### 関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling a Make-To-Order Item

This section discusses:

- How to enter, change, and cancel direct sales order for selling a make-to-order item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Sales Order Entry – SO Order Type (P4210).

### Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter, change, and cancel direct sales order for selling a make-to-order item.	Sales Order Processing, Create Routine Sales Order	P4210/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W = Make-to-Order item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, 99</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SO Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	SO
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1

Processing Option Description	Value or Status
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SO
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

### Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	C1
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

## Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	1
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	1
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank

Processing Option Description	Value or Status
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

### Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank



Processing Option Description	Value or Status
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	500
2. To Status	999

Processing Option Description	Value or Status
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store & Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

### Multiples

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

**Promotion ID**

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

**Order Promising**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**関連項目:**

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling from Inventory

This section discusses how to enter, change, and cancel direct sales order for selling from inventory.

### Entering, Changing, and Canceling Direct Sales Order for Selling from Inventory

This table lists the tasks for entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Enter, change, and cancel direct sales order for selling from inventory.	Sales Order Processing, Create Routing Sales Order	P4210/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SO Order Type (P4210)」、228 ページ

## 定期受注オーダーの処理

このセクションでは、定期受注オーダーの概要と、以下の方法について説明します。

- 定期オーダー (P4004Z) の処理オプションの設定
- 定期受注オーダーの入力
- 定期オーダーの処理
- 定期オーダーの編集/作成 (R40211Z) の処理オプションの設定

## 定期受注オーダーについて

[定期オーダー入力] フォームを使用して定期オーダーを作成すると、オーダー入力を効率化できます。定期オーダーを作成すると、同じ内容のオーダーを手作業で再入力する必要がなくなります。週、月、または年ごとにオーダーを自動的に再入力することが可能です。

オーダー処理の頻度は次のように指定することができます。

- ・ 日 (D) を指定する場合は、オーダーを処理する曜日を指定できます。
- ・ 週 (W) または月 (M) を指定すると、入力した「次のオーダー日付」を基準として将来の処理日付が計算されます。

入力した定期オーダーは、定期オーダーの編集/作成プログラム (R40211Z) を使って処理する必要があります。システムでは入力した情報を編集し、指定された日付にオーダーを作成します。データの整合性を保つために、定期受注オーダーは編集処理の終了後にのみ作成されます。

エラーのあるオーダーは、処理されずに受信バッチ テーブルに残ります。情報を修正してから、[定期オーダーの編集/作成] バッチ・プログラムを再度実行してください。

## 定期受注オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オフライン処理オーダーの処理]	W4004ZC	[追加オーダー処理] (G4212)、[定期オーダー入力]	オフライン受注オーダーの確認と選択を行います。
[オフライン処理オーダーの改訂]	W4004ZA	[オフライン処理オーダーの処理] で、[追加] をクリックします。	オフライン受注オーダーを追加し、定期オーダーアプリケーションにアクセスします。
[定期オーダー情報]	W4004ZE	[オフライン処理オーダーの改訂] の [フォーム] メニューの [定期オーダー] を選択します。	受注オーダーに関する定期情報の追加と改訂を行います。

## 定期オーダー (P4004Z) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### デフォルト

#### 1. オーダー タイプ

受注オーダー処理伝票には、“S” を入力します。これは伝票のタイプを識別する UDC (00/DT) です。このコードはトランザクションの起点も指定します。伝票、請求書、入荷確認書、およびタイム カードの伝票タイプは予約

されており、転記プログラムの実行時に自動的に仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。

## 2. 行タイプ

トランザクションの行の処理方法を指定するコードを入力します。行タイプは、一般会計、作業原価、買掛管理、売掛管理、在庫管理などのトランザクションのインターフェイスとなるシステムを制御します。値は [行タイプ固定情報の改訂] フォーム (P40205) で定義され、次のものが含まれます。

S: 在庫品目

J: 作業原価

N: 非在庫品目

D: 直送品目

F: 運賃

T: テキスト情報

M: その他の料金および返品

W: 作業オーダー

## 3. 開始状況

処理サイクルでオーダー行の処理が正常に行われた最後のステップを指定するコード (UDC 40/AT) を入力します。

## 4. 次の状況の一時変更

行タイプのオーダー フローの次のステップを示すコード (UDC 40/AT) を入力します。

## 5. オーダー行番号の増分

受注オーダー明細行の行番号を増分値を指定する値を入力します。

## バージョン

### 1. 受注オーダー入力マスタービジネス関数

アプリケーションおよびレポートのビジネス ロジックの実行方法を制御するために、受注オーダー入力 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。

### 2. バッチ・トランザクション・エディタ (R40211Z)

特定のメニュー選択 (たとえばレポート) のバージョンを識別する順序を入力します。

### 3. オーダー・テンプレート (P4015W)

[定期オーダーの追加] フォームからオーダー テンプレート プログラムが呼び出されたときに使用される、オーダー テンプレート プログラム (P4015W) のバージョンを入力します。ブランクにした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 処理

### 1. バッチ オーダーのバッチ トランザクション エディタ への自動送信

"1" を入力するとサブシステム モードで自動的に R40211Z が送信され、"2" を入力すると、オンライン モードで R40211Z が呼び出されます。

### 2. 完全編集または部分編集モードでの処理

"1" を入力すると、R40211Z が完全編集モードで処理され、ブランクのままにすると部分編集モードになります。

## カスタマ セルフサービス

### 1. カスタマ・セルフサービス機能 (CSS のみ)

"1" を入力すると、カスタマ セルフサービス機能が有効になります。ブランクのままにするとカスタマ セルフサービス機能はバイパスされます。

## 2. カスタマ・セルフサービスの住所構造タイプ (CSS のみ)

これをblankのままにしておくと、ユーザーは住所番号レコードで指定した住所番号に関係したリストの値から選択できます。組織構造タイプの UDC (01/TS) を入力すると、この構造タイプを介してユーザーの住所番号に関係した住所をリストから選択できるようになります。アプリケーションでは、ユーザー自身の住所番号と関連するアドレスのリストから住所番号を選択できます。このような住所番号は、ユーザーの住所録レコードの関連住所として定義されるか、組織構造タイプを介してユーザーと関連付けられています。組織構造タイプは、ユーザーの住所番号と、ユーザーの組織に属している別の住所番号との関係をシステムが認識するために使用されます。

## 3. ユーザーのデフォルト住所 (CSS のみ)

blankのままにしておくと、販売先見出しのユーザー ID が自動入力され、“1” を入力すると、出荷先見出しのユーザー ID が自動入力されます。

## 4. 販売先住所と出荷先住所の一時変更 (CSS のみ)

blankのままにしておくと、一時変更は許可されません。“1” を入力すると、カスタマ セルフサービス モードの見出しレベルでの [販売先] フィールドと [出荷先] フィールドの一時変更を有効にします。

## 5. 顧客品目相互参照タイプ (CSS のみ)

UDC (41/DT) で設定されている値を入力してください。この処理オプションを使用して、顧客品目番号で相互参照情報を検索する際に使用するコードを指定します。相互参照により、自社の品目番号と顧客の品目番号が関連付けられます。品目マスター (F4101) に品目を設定すると、品目相互参照の改訂プログラム (P4104) で相互参照情報を作成できます。

# 定期受注オーダーの入力

[定期オーダー情報] フォームにアクセスします。

[定期オーダー情報] フォーム

[オーダー停止日付] このオーダーに対して、定期オーダーを以降作成しない日付を入力します。

# 定期オーダーの処理

[追加オーダー処理] (G4212) の [編集済み定期オーダー作成] を選択します。

# [編集済み定期オーダー作成] (R40211Z) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。



プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## 処理

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <b>1. 引当可能数量チェックと<br/>キット残高調整の実行</b> | 引当可能数量チェックとキット残高調整を実行するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク: 引当可能数量チェックまたはキット残高調整を実行しません。<br><br>1: 引当可能数量チェックおよびキット残高調整が実行されます。    |
| <b>2. 価格の一時変更</b>                    | 価格の一時変更を許可するか、F4106 テーブルにある単価を使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク: F4106 テーブルの単価を使用します。<br><br>1: 価格の一時変更を許可します。                  |
| <b>3. 処理するオーダー</b>                   | 定期オーダー、または接続解除モードで一時保留されている受注オーダーの処理を行うかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク: 定期オーダーを処理します。<br><br>1: 一時保留されている受注オーダーを接続解除モードで処理します。 |

## バージョン

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| <b>1. 受注オーダー入力の<br/>バージョン</b> | アプリケーションおよびレポートのビジネス ロジックの実行方法を制御するために、受注オーダー入力 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。 |
| <b>2. 見積オーダーのバージョン</b>        | 見積オーダーのバージョンを入力します。ブランクにすると ZJDE0003 が使用されます。                              |

## コンフィギュレータ

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| <b>コンフィギュレーション品<br/>目の在庫分割</b> | オーダー作成処理時のコンフィギュレーション品目の分割オプションを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク: 分割を使用不可にします。<br><br>1: 2 分割を可能にします。<br><br>2: 多重分割を可能にします。 |
|--------------------------------|---|

---

## マトリックス品目の受注オーダー入力

このセクションでは、マトリックス品目の受注オーダー入力の概要、事前設定、およびマトリックス品目の受注オーダーの入力方法について説明します。

## マトリックス品目の受注オーダー入力について

消費者パッケージ商品（CPG）業界では、基本的な特性は同じでもさまざまなバリエーションがある製品を取扱います。たとえば、シャツとジャケットについての在庫があるとします。しかし、このシャツに関して、スタイルやサイズ、袖の長さ、色などの多くの属性についての顧客の必要があります。各シャツは、ボタンダウンやプルオーバーなどの 2 つの異なるスタイルに分けることができます。さらに、各シャツのサイズは S サイズから XL サイズに分類でき、また色でも 5 種類に分類できます。ただし、保管条件、出荷、価格など、シャツの基本的な特性は同一のままです。

## 事前設定

以下の作業を実行する前に、マトリックス品目が在庫に設定されていることを確認してください。

## マトリックス品目の受注オーダー入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[マトリックス・オーダー入力]	W41902A	<p>[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明細]</p> <p>[受注残および完了オーダー照会] で、[追加] をクリックします。[受注オーダー明細の改訂] で、マトリックス品目の行を追加し、[OK] をクリックします。[マトリックス・オーダー入力] フォームで、オーダーされる各ローを選択し、製品のバリエーションごとの数量を指定します。</p>	多数のバリエーションのある製品のオーダーの入力に 1 つのフォームを使用します。
[マトリックス・オーダー入力]	W41902A	<p>[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダー明細]</p> <p>[受注残および完了オーダー照会] フォームで、オーダーを見つけて選択します。[受注オーダー明細の改訂] フォームで、明細行を選択し、[ロー] メニューの [マトリックス・オーダー] を選択します。</p>	既存のオーダーを変更するか、オーダーに品目を追加します。

## マトリックス品目の受注オーダー入力

[マトリックス・オーダー入力] フォームにアクセスします。

受注明細 - マトリックス・オーダー入力

OK(O)

検索(I)

キャンセル(L)

ツール(T)

テンプレート

SHIRT

Bicycle Shirt

Style

TEE

Gender

\*

Sleeve

\*

Size

\*

Color

\*

事業所

30

制御数量

100

計量単位

EA

レコード 1 - 15

グリッドのカスタマイズ

	Gender	Sleeve	Color	Small	Medium	Large
<input type="radio"/>	Male	Long Sleeve	Black	10		
<input type="radio"/>	手持数量Male	手持数量Long Sleeve	手持数量Black			
<input type="radio"/>	引当可能 -Male	引当可能 -Long Sleeve	引当可能 -Black	10-		
<input type="radio"/>	Male	Long Sleeve	Blue			
<input type="radio"/>	手持数量Male	手持数量Long Sleeve	手持数量Blue			
<input type="radio"/>	引当可能 -Male	引当可能 -Long Sleeve	引当可能 -Blue			
<input type="radio"/>	Male	Long Sleeve	Green			
<input type="radio"/>	手持数量Male	手持数量Long Sleeve	手持数量Green			

[マトリックス・オーダー入力] フォーム

**[合計]**                      マトリックス品目で引当可能な品目を表示します。

## (BRA) Entering Additional Sales Order Information for Brazil

This section provides an overview of additional sales order information, lists prerequisites, and discusses how to:

- Set processing options for Sales Order Brazilian Additional Information – Brazil (P4210BR) program.
- Enter additional information for Brazilian sales orders.

## Understanding Additional Sales Order Information

When you enter new sales orders and the country that is specified in the user display preferences is Brazil, the system automatically runs the S.O. Brazilian Information program and displays these additional information forms to complete:

- S.O. Brazilian Additional Information Header.
- S.O. Brazilian Information Detail.

The system automatically uses the version of P4210BR that matches the version of the Sales Entry program. If a matching version of P4210BR is not set up, the system uses version ZJDE0001.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Verify that you have selected Brazil (BR) in the user display preferences.

- Verify that the processing options in the Sales Order Entry program are set up to display header information before the detail information.
- To determine the transaction nature default, indicate whether the item was manufactured or purchased.

For Brazil, this information can be stored in an item master category code. Use UDC 76/CN to determine which category code you can use by entering SRP6, SRP7, SRP8, SRP9, or SRP0 for the code NATUR. For example, one data dictionary option for NATUR is SRP6. Data dictionary item SRP6 has values in UDC 41/06, so it is ready for you to use when you enter sales orders.

- Verify that you have set up the processing options for the Sales Order Brazilian Additional Information program (P4210BR).

## Forms Used to Enter Additional Information for Brazilian Sales Orders

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Sales Order Headers	W4210H	Sales Order Processing – Brazil (G76B4211), Enter Sales Orders Header	Review and select sales order header records.
Sales Order Header	W4210G	Click Add on Work With Sales Order Headers.	Add and revise sales order header information.
Sales Order Detail Revisions	W4210A	Click OK on Sales Order Header.	Add and revise item information in the detail portion of the form.  Enter line default information in addition to item information when you do not enter sales order headers.
Order Acceptance	W42232A	Click OK on Sales Order Detail Revisions.	Click the appropriate button to place the order or to revise the order.
S.O. Brazilian Information Header	W4210BRL	Click Place Order on Order Acceptance.	Add and revise the transaction nature code and transaction nature suffix.
S.O. Brazilian Information Detail	W4210BRQ	Click OK on S.O. Brazilian Additional Information Header.	Add and revise additional detail information for the Brazilian sales order.

## Setting Processing Options for Sales Order Brazilian Additional Information – Brazil (P4210BR)

Access the processing options using interactive versions.

### Defaults

This processing option controls the system displays the matrix window during the matrix order entry process.

- 1. Transaction Nature Code** Enter the three-character code for the transaction nature. You set up transaction nature codes in the Transaction Nature program (P7615B). Enter the Transaction Nature code using this convention: **YYY**, where **X** defines

the origin of the transaction (inbound or outbound) and YY defines the transaction as a whole, such as a sales transaction. Values for X are:

- 1: Inbound, inside the state.
- 2: Inbound, other states.
- 3: Inbound, import.
- 5: Outbound, inside state.
- 6: Outbound, other states.
- 7: Outbound, export.

Examples of transaction nature codes include: 511 (In-state sale) and 611 (Out-of-state sale). If you leave this processing option blank, the system uses 511 for the transaction nature.

**2. Transaction Nature Suffix** Enter the default transaction nature suffix. Complete this two-character field in conjunction with the transaction nature code to identify the complementary implications of a type of transaction. For example, the suffix might indicate that a certain type of transaction represents an inventory change or that a transaction is assessed a certain type of tax. Transaction Nature suffixes are set up using the Transaction Nature – Brazil (P7615B) program. If you do not complete this field, the system uses a value of 00. Values include:

- 01: Bonus
- 02: Demo
- 03: Sample
- 04: Return merchandise
- 05: Back order
- 06: Donation

These examples are Transaction Nature codes with suffixes: 511 01 is In state sale, bonus and 511 05 is In state sale, back order.

## Edits

This processing option controls the system displays the matrix window during the matrix order entry process.

**1. Branch A/B Number Validation** (branch address book number validation)

Specify whether the system uses the Address Book number or the Inventory Constants file to validate the Branch Address Book number. Values are:

Blank: Use the Inventory Constants file (F41001) for validation.

1: Use the Address Book number to validate the Branch Address Book number.

## Entering Additional Information for Brazilian Sales Orders

Access the S.O. Brazilian Additional Information Header form.

Add and revise the transaction nature code and transaction nature suffix. When you are finished, click OK to access the S.O. Brazilian Information Detail form. Complete any necessary information, and then click OK.

---

## (ARG) Entering Sales Orders for Argentina

This section provides an overview of entering sales orders for Argentina, lists prerequisites, and discusses how to:

- Set processing options for PO Sales Order Entry (P76A4210).
- Enter sales orders for Argentina.

### Understanding Sales Order Entry for Argentina

In some situations, you might need to enter a credit order or another sales order that corresponds to a previous sales order which has already been associated with an invoice. For example, you might need to create an invoice for something that was missing from the original sales order, or you might need to create an invoice for a larger amount. In this situation, you can enter a new sales order and associate it with an existing invoice by using either the internal number or the legal number of the invoice, which enables the system to consider the tax calculations from the previous invoice.

---

**注:** Any changes made to the order affect the whole order. All documents that are associated with the order are affected by the change. You are responsible for any changes made.

---

### Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Set up the user preferences with a Localization Country code of AR (Argentina).
- Review the steps for entering a standard sales order.

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー見出し情報の入力」、163ページ

- Complete the processing option on the PO Sales Order Entry program (P76A4210).
- Set up identically named versions of the Enter Orders Header program and the PO Sales Order Entry program.

## Forms Used to Enter Sales Orders for Argentina

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Sales Order Headers	W4210H	Sales Order Processing – Brazil (G4211), Enter Orders Header	Review and select sales order header records.
Sales Order Header	W4210G	Click Add on Work With Sales Order Headers.	Add and revise sales order header information.
Sales Order Detail Revisions	W4210A	Click OK on Sales Order Header.	Add and revise item information in the detail portion of the form.  Enter line default information in addition to item information when you do not enter sales order headers.
Order Acceptance	W42232A	Click OK on Sales Order Detail Revisions.	Click the appropriate button to place the order or to revise the order.
NC/ND Related to Invoice	W76A0180A	Click Place Order on Order Acceptance.	Assign the sales order to the original invoice by using either the internal number or the legal number of the invoice.

## Setting Processing Options for PO Sales Order Entry (P76A4210)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### NC/ND Related

This processing option controls the system displays the matrix window during the matrix order entry process.

**Invoice related to NC/ND** Enter 1 to enter an invoice related to NC/ND; otherwise, leave blank.  
(invoice related to note credit/note debit)

## Entering Sales Orders for Argentina

Access the NC/ND Related to Invoice form.

**PeopleSoft Internal Number** Select to specify the type of processing for an event.

**Legal Number**

Enter the legal number of the document.

---

## (RUS) Entering Sales Orders for Russia

This section provides an overview of sales order entry for Russia and discusses how to set processing options for Sales Order – PO (P7424210).

### Understanding Sales Order Entry

You use the standard Sales Order Entry (P4210) program to generate sales orders. Before you generate sales orders, you set the processing options for the Sales Order – PO (P7424210) program. This program exists solely to contain processing options. The system uses the processing options you set for the Sales Order – PO program as additional parameters for the Sales Order Entry program.

### Setting Processing Options for Sales Order – PO (P7424210)

The system uses the values from the Sales Order – PO program when you run the Sales Order Entry program (P4210).

#### Related Invoices

Although processing options are set up during PeopleSoft EnterpriseOne implementation, you can change processing options each time you run a program.

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Related Invoices</b>                  | Specify whether the system enables the entry of related invoices for a debit or credit note. Values are:<br><br>Blank: Disallow the entry of related invoices.<br><br>1: Enable the entry of related invoices for a debit or credit note.   |
| <b>2. Multiple Related Invoices</b>         | Specify whether the system enables the entry of multiple related invoices for a credit or debit note. Complete this processing option if you entered 1 in the Related Invoices processing option. Values are:<br><br>Blank: Enable the entry of only one related invoice.<br><br>1: Enable the entry of multiple related invoices for a credit or debit note.                                 |
| <b>3. Require Entry of Related Invoices</b> | Specify whether the system displays an error or warning message when no related invoice is entered. Values are:<br><br>Blank: Display a warning message when no related invoice is entered. The warning message enables the user to continue without entering a related invoice.<br><br>1: Display an error message and do not allow the user to continue until a related invoice is entered. |
| <b>4. Allow Different Address Number</b>    | Specify whether the system allows the entry of a related invoice that has a different address book number from the credit or debit note. Values are:<br><br>Blank: Display an error message if the user enters a related invoice with a different address book number.  |



1: Allow the entry of a related invoice that has a different address book number from the credit or debit note.



## 第 8 章

# カスタマ サービス担当者用の受注オーダーの入力

この章では、カスタマ サービス担当者用の受注オーダー入力の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- カスタマ サービス担当者用に受注オーダー見出しと明細情報を入力する
- カスタマ サービス担当者用に受注オーダーをコピーする
- カスタマ サービス担当者用にテンプレートで受注オーダーを入力する
- カスタマ サービス担当者用に代替品目、関連品目、販促品を入力する
- カスタマ サービス担当者に扱い高基準のアップセルに関する通知を有効にする
- カスタマ サービス担当者用の受注オーダー入力でサブシステム処理を有効にする
- カスタマ サービス担当者の受注オーダー入力で納期を回答する
- カスタマ サービス担当者に監査ログと承認状況を生成する
- カスタマ サービス担当者用にキットおよびコンフィギュレーション品目のオーダーを入力する

---

## カスタマ サービス担当者用の受注オーダー入力について

カスタマ サービス担当者 (CSR) には、大量の受注オーダーを短時間で効率的に入力する必要があることがあります。代わりに、JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 (G4211) メニューの標準的なオーダー入力選択機能を使用してもかまいませんが、複数のタイプのオーダーを作成および更新するメニュー項目を使用できます。これらのメニューを選択することにより、受注オーダー入力プログラム (P42101) を実行できるため、柔軟、かつ簡単な方法でオーダーの入力および更新が可能です。

オーダー入力と変更を迅速に処理できるように、フィールドとボタンが用意されています。リンクをクリックして表示されるドロップダウン メニューからオプションを選択すると、次に示す受注オーダー関連のその他のタイプの情報を簡単に見つけることができます。

- オーダー保留
- 無償品
- 品目引当可能数量
- オーダー集計

2 つの受注オーダー入力プログラム (P4210 と P42101) を連携させて、受注オーダー情報を処理します。両プログラムとも、システムの同じテーブルを更新します。受注オーダーの作成や変更は P4210 入力プログラムを使用しない場合でも、処理オプションで処理情報を指定するこのプログラムのバージョンを作成する必要があります。その際、P4210 のこのバージョンを、P42101 プログラムの処理オプションに入力します。P42101 を使用して受注オーダーの作成や変更を行う場合、受注オーダーの処理では、P42101 の処理オプションの情報に加えて P4210 の指定したバージョンの情報が使用されます。

この章で説明する次のタスクは、P42101 プログラムを使用しても完了できます。

- 見積オーダーの入力とリリース
- オーダー行の取り消し
- オーダー行の在庫確認
- オーダー行の保留
- オーダー集計明細の検討
- 直送オーダーの作成
- 価格階層の使用
- コミッション情報の処理
- 顧客購買セグメントの処理
- オーダーの粗利益の計算
- オーダーへのメディア オブジェクトの追加
- 価格管理、輸送管理、および倉庫システムのインターフェイス
- 顧客セット情報の処理
- オーダーへの契約の割り当て
- 明細行の価格または原価のゼロへの変更
- 販売先または出荷先顧客番号に関連付けられた住所の一時変更
- 混合品目のオーダーの入力

日次セールス フォース オートメーション処理 (G90CA01) メニューから受注オーダーを作成する場合、JD Edwards EnterpriseOne 受注管理 (G4211) メニューのメニュー項目を使用してオーダーの作成または更新を行い、これら受注オーダーの保守と処理を実行できます。

---

## 事前設定

このセクションで示すタスクを完了する前に、受注オーダー入力 (P4210) の処理オプションが設定されていることを確認してから受注オーダーを入力します。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135ページ

### 関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、125ページ

第 9 章、「追加オーダーの入力」、267ページ

第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、343ページ

第 11 章、「受注オーダー情報の使い方」、397ページ

## カスタマ サービス担当者用に受注オーダー見出しと明細情報を入力する

このセクションでは、受注オーダー見出し情報の概要、受注オーダー明細情報、ワークフロー プロセス、および以下の方法について説明します。

- 受注オーダー入力 (P42101) の処理オプションの設定
- 受注オーダー見出し情報の入力
- 受注オーダー品目情報の入力
- デフォルト行情報の入力

### 受注オーダー見出し情報について

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] フォームからのオーダー見出し情報の入力方法は、[受注オーダー見出し] フォームと同じです。受注オーダー見出しに入力できる情報のタイプは、次のとおりです。

- 基本オーダー情報
- 税と通貨情報
- 支払と運賃情報
- 取引先と顧客情報
- 納期回答の変更

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー見出しおよび明細情報の入力」、127 ページ

### 見出し全体の編集

オーダー入力中にはいつでも、オーダー見出しの情報を変更できます。オーダーを検索して見出し情報を変更する場合は、見出し情報を受注オーダー明細に対して更新すれば、見出し情報の変更を明細情報に必ず反映させることができます。[見出し全体の編集] ボタンを使用して見出しのオーダー情報を変更できます。

### 受注オーダー明細情報について

受注オーダーに見出し情報を入力した後は、品目 ID や数量、価格、原価など、オーダー品目の明細情報を追加できます。[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の「新規オーダーの入力」フォームからのオーダー明細情報の入力方法は、[受注オーダー明細の改訂] フォームと同じです。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー明細情報について」、129 ページ

### 受注オーダー入力時のワークフロー プロセスについて

システムはオーダー保留をチェックしてそのオーダーを処理します。[OK] をクリックしてオーダーを受け入れると、保留コードの処理オプションを確認後にオーダーとその保留情報が比較されます。

JDESOENTRY ワークフロー プロセスを有効にしている場合にオーダーが保留になると、現行のオーダーが保留になっていることを伝えるアクション メッセージが販売担当者に送付されます。オーダーが保留にならない場合には、コミッション実績で定義されている販売担当者にアクション メッセージが送付され、販売先番号と共にそのオーダーが処理中であることが連絡されます。ワークフロー プロセス時の送信メッセージは、ワーク センターで表示できます。

注: JDESOENTRY プロセスはシステムのパフォーマンスに影響を与えることがあります。直前のオーダー処理が済んでワークフロー プロセスが完了するまで、次のオーダーは入力できません。

## 受注オーダー情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂]	W42101E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭]	受注オーダー見出し情報の追加
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] の [保存して続行] をクリックする	受注オーダー見出しと明細情報の追加と改訂
[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭]	オーダー見出しとオーダー明細レコードの改訂
[受注オーダーの作成 - 詳細を先頭] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭]、[新規オーダーの入力]	受注オーダー見出しと明細情報の追加
[受注オーダーの更新 - 詳細を先頭] の [受注オーダーの編集]	W42101D	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの更新 - 詳細を先頭]	オーダー明細レコードの改訂
[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理] の [コピー/変換] をクリックする	既存のオーダーのコピー

## 受注オーダー入力 (P42101) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、変更しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、プロンプト オプション、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

注: 受注オーダー入力プログラム (P42101) の使用時、受注オーダー入力プログラム (P4210) の [表示]、[オーダー照会]、[転送]、[複数通貨] タブの全ての処理オプションが無視されます。また、受注オーダー入力プログラム (P4210) の [デフォルト] タブの 14. カスタマ セルフサービス構造体タイプ、15. ユーザー ID デフォルト (CSS のみ)、16. 販売先見出しと出荷先見出しの一時変更 (CSS のみ)、17. 運送業者番号の一時変更 (CSS のみ)、および [処理] タブの 3. 見出し/明細の表示、5. 承認前のプロンプト表示、9. カスタマ セルフサービス機能の処理オプションが無視されます。

## 表示

この処理オプションでは、[受注残および完了オーダー照会] フォームでのオーダーの検索方法を指定します。

注: このタブの処理オプションは、受注オーダー入力プログラム (P42101) のみに適用されます。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <b>1. 原価フィールドの表示/非表示</b> | <p>原価フィールドを表示するか、保護するか、非表示にするか指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 原価フィールドがフォームに表示され、情報は一時変更できます。</p> <p>1: 原価フィールドは変更から保護されます。原価フィールドを変更から保護すると、原価はフォーム上に表示されますが、変更できません。</p> <p>2: 原価フィールドは非表示です。原価フィールドを非表示にすると、フォームに表示されなくなります。ただし、品目原価元帳 (F4105) から受注明細テーブル (F4211) に原価情報が書き込まれます。</p> <p>デフォルト原価情報は、F4105 テーブルから取得します。</p>   |
| <b>2. 価格フィールドの表示/非表示</b> | <p>価格フィールドを表示するか、保護するか、非表示にするか指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 価格フィールドがフォームに表示され、情報は一時変更できます。このオーダーについてのみ情報を一時変更できます。</p> <p>1: 価格フィールドは変更から保護されます。単価および合計価格はフォームに表示されますが、これらの情報は一時変更できません。</p> <p>2: 価格フィールドは非表示です。価格フィールドを非表示にしても、価格情報はテーブルに書き込まれます。</p>   |
| <b>3. 価格設定関連フィールドの使用</b> | <p>計算価格に影響する価格設定関連フィールドを無効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 価格設定関連フィールドは表示されたままで入力できます。</p> <p>1: 価格設定関連フィールドは表示されますが、情報は一時変更できません。</p>   |
| <b>4. 状況コードの使用不可/非表示</b> | <p>状況コードを保護するか、非表示にするか指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 状況コードをこのオーダーについてのみ一時変更できます。状況コードを入力する場合、それらのコードは、伝票タイプと行タイプの組み合わせに有効な別の状況コードとしてオーダー処理順序定義 (F40203) で設定されている必要があります。開始状況と次の状況の組み合わせは、F40203 テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。</p> <p>1: 状況コードは変更から保護されます。状況コードを変更から保護する場合、現行状況と次の状況はフォームに表示されますが、情報は一時変更できません。</p> <p>2: 状況コードを非表示にします。状況コードを非表示にする場合、前と次の状況コードは表示されません。オーダーは、オーダー処理順序定義に設定されている現行状況と次の状況に基づいて処理されます。</p> |

- 5. 終了明細行の非表示** アクティブな明細行、終了している明細行、取り消した明細行を表示するかどうかを指定します。照会時は、アクティブなオーダー明細行のみを選択して検討できます。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 明細フォームに表示される全てのオーダー明細行を表示します。
- 1: 999 の状況の行は明細フォームに表示されません。ただし、その行のレコードは F4211 テーブル、または受注オーダー明細 - 履歴 (F42119) テーブルに残っています。
- 6. クレジット カード情報の非表示** ユーザーが顧客のクレジット カード情報にアクセスできるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: オーダー入力時にクレジット カード情報にアクセスできます。
- 1: オーダー入力時にクレジット カード情報にアクセスできません。
- 7. 運賃/運送業者情報の非表示** 運賃と運送業者情報フィールドを表示するかどうか指定します。適切な経路、中継点、区域で運賃計算を正確に実行できるように、また必ず優先運送業者が顧客に品目の配達するように、運賃と運送業者情報フィールドを標準化できます。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: オーダー明細フォームに表示される運賃/運送業者情報フィールドは一時変更できます。
- 1: 運賃/運送業者情報フィールドはオーダー明細フォームに表示されません。オーダーは、顧客請求指示または品目マスター情報に設定されているデフォルト情報に基づいて処理されます。
- 8. コミッション情報の非表示** コミッション情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: コミッション情報を表示し、デフォルト情報を一時変更します。現行オーダーのみに影響します。
- 1: コミッション情報を表示しません。オーダーは、コミッション テーブル (F42005) に設定されているデフォルト情報に基づいて処理されます。
- 9. キット構成品の非表示** キットで機能やオプションを選択した後、またはオーダーの再照会時に、キット構成品を [受注オーダー明細の改訂] フォームに表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: オーダーの再照会時に、親品目と選択している機能およびオプションを表示します。
- 1: オーダー入力時に機能やオプションを選択した後、またはオーダーの再照会時に親行のみを表示します。ただし、親行と全ての構成品行は F4211 テーブルに書き込まれます。

## オーダー照会

この処理オプションでは、[受注残および完了オーダー照会] フォームでのオーダーの検索方法を指定します。

---

注: このタブの処理オプションは、受注オーダー入力プログラム (P42101) のみに適用されます。

---

- 1. 開始状況** オーダー処理の現行の時点を指定します。
- 指定するユーザー定義 UDC (40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。



開始状況と次の状況の組み合わせは、F40203 テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。

オーダー照会時、開始状況と次の状況の間にないオーダーは表示されません。

## 2. 終了状況

オーダー処理の次のステップを指定します。指定する UDC (40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。

開始状況と次の状況の組み合わせは、F40203 テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。

オーダー照会時、開始状況と次の状況の間にないオーダーは表示されません。

## 3. 前の状況または次の状況の検索

この画面に表示する情報の選択に使用する状況コードを指定します。

ブランク: この範囲に当てはまる前の状況を持つ全てのオーダーを表示します。

1: この範囲に当てはまる次の状況を持つ全てのオーダーを表示します。

## 4. 日付範囲

オーダー検索の条件とする日付値を指定します。有効値は以下のとおりです。

1: オーダー入力日付に基づいてオーダーを検索します。

2: オーダー入力時に自動入力された約束出荷日付に基づいてオーダーを検索します。

3: オーダー入力時に自動入力された当初約束納入日付に基づいてオーダーを検索します。

4: 出荷が確認された日付に基づいてオーダーを検索します。出荷確認 (P4205) プログラムで処理されたオーダーのみが検索されます。

5: 顧客への請求書が印刷された日付に基づいてオーダーを検索します。請求書印刷 (R42565) プログラムで処理されたオーダーのみが検索されます。

6: オーダー入力時に、メモのみの取り消しフィールドに入力する日付に基づいてオーダーを検索します。

7: 元帳日付に基づいてオーダーを検索します。売上更新 (R42800) プログラムで処理されたオーダーのみが検索されます。

8: オーダー入力時に約束納入日付として入力された日付に基づいてオーダーを検索します。

## 5. テキスト行の表示

テキスト行を表示するかどうかを指定します。

テキスト行は、行タイプ T のオーダー明細行で、メモ情報のみが含まれるオーダー行タイプの改訂のコードを特徴としています。

オーダーの照会時、場合によってはテキスト行情報を表示する必要はありません。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テキスト行を表示しません。オーダー入力時にテキスト行を作成した場合、テキスト行は F4211 テーブルにあります。

1: テキスト行を表示します。

- 6. バックオーダー行/キャンセル行の表示**      オーダーの照会時、バックオーダー行またはキャンセル行を表示するかどうかを指定します。
- 1: バックオーダー行を表示します。
  - 2: キャンセル行を表示します。
  - 3: バックオーダー行とキャンセル行の両方を表示します。
  - 4: バックオーダー行またはキャンセル行を印刷しません。
- 7. 顧客相互参照タイプ**      顧客品目番号で相互参照情報を検索する際に使用する UDC (41/DT) を入力します。相互参照は、自社の品目番号と顧客の品目番号を関連付けます。品目マスター情報に品目を設定し、品目相互参照の改訂プログラム (P4101) で相互参照情報を作成します。
- UDC (41/DT) に設定されている値を入力してください。

## バージョン

この処理オプションでは、[受注残および完了オーダー照会] フォームでのオーダーの検索方法を指定します。

- 1. 受注オーダー モデルのバージョン**      受注オーダー モデルのバージョン (受注オーダー入力 (P4210) のバージョンの 1 つ) を入力し、P42101 の業務プロセスのロジックの実行を制御します。

## タスク フロー

この処理オプションでは、[受注残および完了オーダー照会] フォームでのオーダーの検索方法を指定します。

- 見出し/明細の表示**      見出しまたは明細フォームを最初に表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 明細を最初に表示します。
- 1: 見出しを最初に表示します。

## 受注オーダー見出し情報の入力

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] フォームにアクセスします。

**オーダー見出しの改訂** i ?

オーダーNo.

オーダー情報	税/通貨	支払/運賃	パートナー/顧客セット	納期回答一時変更
<b>販売先</b> <input type="text" value="4242"/> <i>Capital System</i> <b>出荷先</b> <input type="text" value="4242"/> <i>Capital System</i> <b>顧客購買オー...</b> <input type="text"/> <b>事業所</b> <input type="text" value="10"/> <b>保留コード</b> <input type="text"/> <i>ブランク - 保留コード 42/HC</i> <b>与信メッセージ</b> <input type="text"/> <b>一時与信メッセージ</b> <input type="text"/> <b>オポチュニティID</b> <input type="text" value="0"/> <b>受注担当者No.</b> <input type="text" value="OWTT_J"/> <b>印刷メッセージ</b> <input type="text"/>				<b>日時</b> <b>オーダー日付</b> <input type="text" value="2006/01/23"/> <b>取消日付</b> <input type="text"/> <b>要求日付</b> <input type="text" value="2006/01/23"/> <b>要求時刻</b> <input type="text" value="0"/>
				<b>連絡先</b> <b>販売先の連絡先ID</b> <input type="text" value="0"/> <b>販売先宛先</b> <input type="text"/> <b>出荷先の連絡先ID</b> <input type="text" value="0"/> <b>出荷先宛先</b> <input type="text"/>

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] フォーム

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー見出し情報の入力」、163ページ

## デフォルト行情報の入力

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力] フォームにアクセスします。

受注オーダー明細
行引当可能数量
無償品
行デフォルト

追加ロー・アクション

-- 1つ選択 --

レコード 1 - 1

グリッドのカスタマイズ

グリッド・フォーマット名1

	オーダー 数量	計量 単位	2次計量単位 数量	2次 計量単位	品目 No.	行 タイプ	単価	合計価格	事業所
<input type="checkbox"/>						S			

引当可能数量チェック(B)
行の取消し(L)
価格チェック(P)
価格履歴(V)
キットコンフィギュレータ
相互参照(N)

オーダーの集計
送信して新規入力
送信して閉じる
キャンセル(L)

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダー明細情報の入力] フォーム

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー見出しおよび明細情報の入力」、127 ページ

## 受注オーダー品目情報の入力

[受注オーダーの作成 - 詳細を先頭] の [新規オーダーの入力] フォーム

受注オーダーの作成 - 詳細を先頭 - 新規オーダーの入力

オーダーの集計(N)

送信して新規入力(N)

送信して閉じる(B)

キャンセル(L)

受注オーダー見出し

オーダー集計

オーダーNo.

80

販売先

出荷先

事業所

顧客購買オーダー

通貨

為替レート

前のオーダー番号

保留コード

オーダー日付

2006/01/23

与信メッセージ

一時与信メッセージ

基本通貨

☒ 外貨

見出し全体の編集(O)

オーダー住所

与信チェック

添付

ジャンプ

-- 1つ選択 --

受注オーダー明細

行引当可能数量

無償品

行デフォルト

追加ロー・アクション

-- 1つ選択 --

レコード 1 - 1

グリッドのカスタマイズ

Form1

	オーダー数量	計量単位	品目No.	行タイプ	単価	合計価格	事業所	保管場所	ロットNo.	行No.	マトリックス制御行No.
<input type="checkbox"/>				S							

引当可能数量チェック(B)

行の取消し(L)

価格チェック(B)

価格履歴(O)

キット/コンフィギュレータ

相互参照(N)

[受注オーダーの作成 - 詳細を先頭] の [新規オーダーの入力] フォーム

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー品目情報の入力」、165 ページ

# カスタマ サービス担当者用の受注オーダーのコピー

このセクションでは、受注オーダーのコピーの概要とその方法について説明します。

## 受注オーダーのコピーについて

見出しおよび明細情報の両方をコピーし、新しい受注オーダーにそれらの情報を追加すると、受注オーダーの入力を簡略化できます。[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理] フォームからの受注オーダーのコピーは、[受注オーダー見出し] フォームと同じです。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー情報の更新とコピー」、169 ページ

## 受注オーダーのコピー

[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理] フォームにアクセスします。

システムの設定によっては、受注オーダーをコピーしようとする場合と警告が表示される場合があります。コピーして作成された新しい受注オーダーは、他の受注オーダーと同じように改訂および管理できます。

## テンプレートによるカスタマ サービス担当者用の受注オーダーの入力

このセクションでは、テンプレートを使用したオーダー処理の概要とテンプレートによる受注オーダーの入力方法について説明します。

### オーダー処理でのテンプレートの使用について

テンプレートを使用して顧客から最も頻繁にオーダーのある品目を表示し、オーダー処理をスピード化できます。[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力] フォームからのテンプレートによる受注オーダーの入力は、[受注オーダー明細の改訂] フォームと同じです。

参照: [第 7 章、「受注オーダーの入力」、「テンプレートを使用した受注オーダーの入力」、171 ページ](#)

### テンプレートによる受注オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂]	W42101E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭]	受注オーダー見出しレコードの追加
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] で [保存して続行] をクリックする	受注オーダー見出し情報の追加または改訂
[オーダー テンプレート]	W40215A	[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] で [保存して続行] をクリックする	テンプレートで品目の数量を入力する、または別のテンプレートを選択する
[オーダー テンプレートの処理]	W4015A	[オーダー テンプレート] で [テンプレート] を選択する	オーダー テンプレートの選択

### テンプレートによる受注オーダーの入力

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] フォームにアクセスします。

## カスタマ サービス担当者への代替品目、関連品目、販促品の入力

このセクションでは、代替品目、関連品目、販促品の概要とそれら品目の入力方法について説明します。

### 代替品目、関連品目、および販促品について

オーダー数量の一部しか引き当てられない場合、必要な数量を満たすために代替品目を使用することができます。[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力] フォームからの代替品目の入力は、[受注オーダー明細の改訂] フォームと同じです。

参照: [第 7 章、「受注オーダーの入力」、「代替品目、関連品目または販促品の入力」、173 ページ](#)

## 代替品目、関連品目、または販促品の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂]	W42101E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭]	受注オーダー見出しレコードの追加
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力] で [保存して続行] をクリックする	受注オーダー見出し情報の追加または改訂
[代替/補足品目]	W42260A	ローを選択してから [相互参照] をクリックする	代用する品目、または補足品、販促品として使用する品目の選択

## 代替品目、関連品目、または販促品の入力

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力] フォームにアクセスします。

参照: [第 7 章、「受注オーダーの入力」、「代替品目、関連品目または販促品の入力に使用するフォーム」、174 ページ](#)

## カスタマ サービス担当者への扱い高基準のアップセルに関する通知の有効化

このセクションでは、扱い高基準のアップセルの概要と扱い高基準のアップセル価格の作成方法について説明します。

### 扱い高基準アップセルについて

顧客に低い価格での大口購買を勧める場合に、いつオーダー行へアップセルを通知するかを決める調整と許容パーセントを指定できます。[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力] フォームからの扱い高基準のアップセルの通知の有効化は、[受注オーダー明細の改訂] フォームと同じです。

参照: [第 7 章、「受注オーダーの入力」、「扱い高基準のアップセルの通知の有効化」、175 ページ](#)

## 扱い高基準のアップセル価格の作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂]	W42101E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭]	受注オーダー見出しレコードの追加
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力]	W42101E	[保存して続行] をクリックする	受注オーダー見出し情報の追加または改訂
[扱い高基準のアップセルの処理]	W40722B	ローを選択してから [扱い高基準のアップセル] を選択する	理由の入力と入力数量の価格を調整するレベル分岐の選択

### 扱い高アップセル価格の作成

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] フォームにアクセスします。

## カスタマ サービス担当者に対する受注入力オーダーのサブシステム処理の有効化

このセクションでは、カスタマ サービス担当者に対する受注オーダー入力のサブシステム処理の有効化の概要について説明します。

### カスタマ サービス担当者に対する受注オーダー入力のサブシステム処理の有効化について

オーダー入力を終了したときにピッキング リストや請求書が必要な場合、サブシステムを設定して起動できます。受注オーダー入力 (P42101) にサブシステム処理を有効化する方法は、受注オーダー入力 (P4210) の場合と同じです。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「サブシステム処理の有効化について」、132ページ

## カスタマ サービス担当者の受注オーダー入力での納期回答

このセクションでは、納期回答の概要と約束納入日付を選択する方法について説明します。

### 納期回答について

納期回答を有効にするには、受注オーダー入力プログラムの [見込みオーダー] タブの処理オプションを設定します。

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] フォームからの納期回答機能の使用方法は、[受注オーダー明細の改訂] フォームと同じです。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力の納期回答」、176ページ



## 約束納入日付の選択に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂]	W42101E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭]	受注オーダー見出し情報の追加
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂]	W42101E	オーダー見出しの改訂の [納期回答一時変更] タブをクリック	納期回答情報の追加と改訂

## 約束納入日付の選択

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂] フォームにアクセスします。

## カスタマ サービス担当者の監査ログと承認状況の生成

このセクションでは、監査ログの概要とそれを検討する方法について説明します。

### 監査ログについて

受注管理システムには、オーダーに対して行われた手作業による変更を検討およびトラッキングする方法があります。該当する処理オプションを有効にすると、受注オーダー情報に対して行われた全ての手作業による変更について改訂が作成され、オーダー改訂履歴プログラム (P42420) にアクセスした際に変更情報を検討できます。オーダー入力時に改訂番号を検討できます。

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理] フォームから監査ログ機能を使用する方法は、[受注オーダー明細の改訂] フォームと同じです。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「監査ログ生成と承認プロセス」、179 ページ

### 監査ログの検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭]	受注オーダー情報の検討または改訂
[オーダー改訂履歴]	W42420B	オーダーを選択してから、品目を選択し、[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭 - 既存オーダーの管理] の [ロー] メニューの [改訂履歴] を選択する	オーダーに行われた変更の検討

### 監査ログの検討

[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理] フォームにアクセスします。

## カスタマ サービス担当者用のキットおよびコンフィギュレーション品目のオーダーの入力

このセクションでは、キットおよびコンフィギュレーション品目の概要とキット オーダーを入力する方法について説明します。

### キットおよびコンフィギュレーション品目について

キットおよびコンフィギュレーション品目の受注オーダーを入力することができます。キットとは、記述名（親品目）に関連する在庫品目（構成品）の集合のことです。コンフィギュレーション品目は、顧客が要求するさまざまな機能で構成されています。

[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力] フォームからのキットおよびコンフィギュレーション品目の選択方法は、[受注オーダー明細の改訂] フォームと同じです。

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「キット品目およびコンフィギュレーション品目のオーダー入力」、181 ページ

### キット オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [オーダー見出しの改訂]	W42101E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭]	受注オーダー見出しレコードの追加
[受注オーダーの作成 - 見出しを先頭] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[保存して続行] をクリックする	受注オーダー情報の追加や改訂
[キット選択]	W41351A	ローを選択してから [キット / コンフィギュレータ] を選択する	キット、またはコンフィギュレーション品目の入力

### キット オーダーの入力

[受注見出し] の [キット選択] フォームにアクセスします。

## 第 9 章

# 追加オーダーの入力

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、追加オーダー入力の概要と、以下の方法について説明します。

- 返品オーダーの入力
  - (Rapid Start) Enter credit orders from history
  - (PER) Process credit notes and debit notes related to documents
  - (CHL) Process credit notes and debit notes related to documents
- 転送オーダーの入力
  - (Rapid Start CAN and USA) Enter transfer orders with receipt routing
- 直送オーダーの入力
- 一括オーダーの入力
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Enter blanket order for selling a make-to-order item
  - (Rapid Start ) Enter and print blanket orders
- 見積オーダーの入力
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Enter sales quotes for selling a make-to-order item
  - (Rapid Start) Enter and print sales quotes
- 顧客セグメント ベース販売の入力
- 事業所間オーダーと会社間オーダーの入力

---

## 追加オーダー入力について

受注管理システムには、特定のオーダー状況に対応できるように、さまざまなオーダー タイプが用意されています。追加オーダーの入力方法は通常基本受注オーダーと同じですが、各オーダーのタイプにより、異なった処理が行われます。

転送オーダーを使用して社内の事業所間の在庫移動を行い、適正な手持在庫数量を維持できます。調達管理および外注管理、または受注オーダー入力のどちらのシステムで転送オーダーを作成しても、商品を出荷できます。転送オーダーでは、割増し、運賃、輸送時間を考慮できます。

返品オーダーは、顧客が商品を返品し、それを在庫に戻す際に使用します。顧客から返品された不良品を在庫に戻せない場合にも、返品オーダーを使用できます。どちらの場合も、返品オーダー行を作成して返品商品に対する調整を行ってください。

直送オーダーは、他の仕入先から購入した品目の販売を記録するために使用します。仕入先は品目を顧客に直接送ります。仕入先は顧客に品目を直接送るため、在庫のオーダー数量は処理されません。

ある品目を指定した期間中に何度かに分けてリリースする契約を顧客と結んでいる場合、一括オーダーを使用します。たとえば、100 品目を 4 か月にわたって月に 25 品目ずつ配送されるようにオーダーできます。指定された時期になると、実際の受注オーダーに入力した数量は一括オーダーから差し引かれます。

見積オーダーは、価格見積の記録に使用します。以下の処理を実行できます。

- 受注オーダーの処理に使用すると同じ検討、管理、照会のフォームから見積オーダーにアクセスする
- 見積オーダー全部または一部を受注オーダーに変換する
- 見積オーダーを使用して価格保証を効率的に管理する
- 見積オーダーを使用して、顧客がオーダーを承認するまで在庫の引当を行わないようにする

会社間オーダーを使用すると、販売事業所以外の事業所から受注オーダーを充当できます。ある部門で発行されている受注オーダーが、実際は中央供給倉庫など別の部門で充当されて出荷される場合に便利です。

---

## 返品オーダーの入力

このセクションでは、返品オーダーの概要と以下の方法について説明します。

- 販売履歴照会 (P42025) の処理オプションの設定
- 履歴からの返品オーダーの入力

### 返品オーダーについて

顧客から商品が返品されそれを在庫に戻す場合、または不良品が返品され在庫に戻すことができない場合に、返品オーダーを使用します。どちらの場合も返品オーダー行を作成し、返品商品に対する調整を行ってください。

返品オーダーを手作業で入力し、返品品目を記録してその顧客の売掛金に現行の単価を貸方入力できます。デフォルトの価格設定情報は必要であれば一時変更が可能です。返品オーダーの入力は、受注オーダーの入力と同じ方法で行います。

システムによって返品オーダーが作成される場合、販売明細実績テーブル (F42199) を基に返品情報が作成されます。返品オーダー金額は現行価格ではなく、顧客が実際に支払った単価になります。

返品オーダーの場合、顧客に返金する価格と返品を受け取って在庫とするプロセスを定義できます。

返品オーダーには、総勘定元帳の特定の勘定科目で返品をトラッキングして個別の返品履歴を記録できる伝票タイプを設定できます。AAI (自動仕訳) を設定して、仕訳が返品オーダー伝票タイプを基準とした特別の勘定科目に転送されるよう設定できます。売上更新プログラム (R42800) を実行すると、返品物の仕訳が作成されます。

返品オーダー行タイプを設定するには、行タイプ定義の符号の反転オプションを有効にする必要があります。受注オーダーを入力すると、引当可能な在庫からその数量が差し引かれます。返品オーダーの場合は、在庫から数量は差し引かれません。

返品オーダーを識別する伝票タイプを設定し、返品オーダー伝票タイプと行タイプの組み合わせに対して状況コードを設定できます。状況コードはオーダーを処理するステップを定義します。

価格調整を使用する場合、マイナス数量分岐の設定により返品オーダー品目を処理する必要があります。

### 返送オーダー用バージョンの作成

返送オーダーを入力する前に、返送オーダーを処理できるように、受注オーダー入力プログラム (P4210) のバージョンを作成する必要があります。返送オーダー バージョンでは、[デフォルト] タブの [行タイプ] 処理オプションを返送オーダーに設定する行タイプに設定します。通常、行タイプ [C] に設定します。また、[デフォルト] タブの [オーダー タイプ] 処理オプションを返送オーダーに使用するオーダー タイプに設定します。通常、[CO] に設定します。次に、このバージョンを返送オーダーの作成で使用するメニューオプションに関連付けます。このタスクについてわからない点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

### システムが生成した返品オーダーの入力

履歴から返品オーダーを作成する場合には、当初のオーダー情報を取り込んで、実際に支払われた金額に基づいて顧客の貸方勘定に記録します。この価格は現行価格と異なる場合があります。オーダー情報は、F42199 テーブルから取得します。

**注:** 履歴から返品オーダーを作成する場合は、当初販売した数量、ピッキングした数量、および出荷した数量と異なる数量を出荷できます。当初販売数量と返品合計数量が一致するかはチェックされません。

## 事前設定

返品オーダー用の行タイプを設定したことを確認します。

参照: 第 2 章、「受注管理システムの設定」、「オーダー行タイプの設定」、39ページ

関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、125ページ

## 履歴からの返品オーダー生成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[追加オーダー処理] (G4212)、[履歴の返品オーダー]	オーダーの検討と選択
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会] の [追加] をクリック	クレジットメモフォームメニューへのアクセス
[販売履歴照会の処理]	W42025A	[受注オーダー明細の改訂] で、[フォーム] メニューから [クレジットメモ] を選択します。	クレジットメモの追加

## 販売履歴照会 (P42025) の処理オプションの設定

デフォルト値の設定、クレジット メモ値の指定、およびバージョンの指定を行います。

### デフォルト

デフォルト伝票タイプを定義し、終了および開始状況コードを指定します。

<b>オーダー タイプ</b>	伝票のタイプを識別するユーザー定義コード (UDC 00/DT) を入力します。このコードはトランザクションの起点も指定します。伝票、請求書、領収書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムを実行したときに自動的に相殺仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。
<b>開始状況コード</b>	オーダーの選択で使用する開始状況コードを指定する UDC (40/AT) を入力します。このコードは、終了状況コード処理オプションと組み合わせて検索基準範囲を定義します。[検索] をクリックすると、F42199 テーブルにこの範囲に当てはまる前の状況値を持つ全てのオーダーが表示されます。
<b>終了状況コード</b>	オーダーの選択で使用する終了状況コードを指定する UDC (40/AT) を入力します。このコードは、開始状況コード処理オプションと組み合わせて検索基準範囲を定義します。[検索] をクリックすると、F42199 テーブルにこの範囲に当てはまる前の状況値を持つ全てのオーダーが表示されます。

## クレジット メモ

この処理オプションは、このアプリケーションが受注オーダー入力 (P4210) から呼び出され、処理する全てのオーダー行が [オーダーの選択] のロー エグジットから選択されている場合のみ使用されます。

- 1. 返品オーダーの取得** 返品オーダーを取得する際に使用する状況コードを入力します。入力された値は、オーダーの検索時にデフォルト検索基準として使用され、この値に一致する状況コードを持つオーダーのみが表示されます。
- 2. 基準状況** 画面に表示する情報を選択する際に使用する状況コードを入力します。この処理オプションは、返品オーダーの取得処理オプションと共に使用されます。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 次の状況が返品オーダーの取得の値と一致する全てのオーダーが表示されます。  
 1: 前の状況が返品オーダーの取得の値と一致する全てのオーダーが表示されます。  
 たとえば、返品オーダーの取得オプションに「100」を入力し、このオプションに「1」を入力すると、次の状況の値が 100 の全てのオーダーが表示されます。

## バージョン

このアプリケーションが受注オーダー入力 (P4210) から呼び出されていない場合のみ使用されます。

<b>返品オーダー入力バージョン</b>	返品オーダー入力プログラムのバージョンを入力します。
<b>受注オーダー入力バージョン</b>	返品オーダーを作成する受注オーダー入力プログラムのバージョンを入力します。

## 履歴からの返品オーダーの入力

[販売履歴照会の処理] フォームにアクセスします。

履歴の返品オーダー - 販売履歴照会の処理

選択(S) 検索(I) 閉じる(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

オーダーNo. \*  SO \*

顧客購買 \*

品目No. \*

事業所 \*

追加の選択あり

レコード 1 - 10

グリッドのカスタマイズ

グリッド・フォーマット名1

	オーダー No.	オーダー タイプ	オーダー 会社	行 No.	販売先	名前	オーダー 数量	出荷数量
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	1.000	4242	Capital System	134	134
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	1.000	4242	Capital System	134	134
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	1.000	4242	Capital System	134	134
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	2.000	4242	Capital System	50	50
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	2.000	4242	Capital System	50	50
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	2.000	4242	Capital System	50	50
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	2.000	4242	Capital System	50	50
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	3.000	4242	Capital System	80	80
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	3.000	4242	Capital System	80	80
<input type="checkbox"/>	2401	SO	00200	3.000	4242	Capital System	80	80

[販売履歴照会の処理] フォーム

1. 見出しに処理するオーダーを選択する際の選択基準を入力し、[検索] をクリックします。
2. オーダー内の 1 つの行についてクレジット メモを作成するには、処理するオーダーを選択し、[ロー]メニューから [クレジット メモ]、[行の選択] の順に選択します。

受注オーダー明細の改訂で、返品オーダーに含める行を検索して選択し、[閉じる] をクリックします。販売履歴照会の処理で [OK] をクリックすると、返品オーダーが作成されます。
3. 1 つのオーダー内の全ての行について返品オーダーを作成するには、[ロー] メニューから [クレジット メモ]、[オーダーの選択] の順に選択します。

販売履歴照会の処理オプションに基づいて、オーダーの該当する全ての行が返品オーダーに追加されます。[受注オーダー明細の改訂] フォームの [OK] をクリックし、返品オーダーを作成します。

## (Rapid Start) Entering Credit Orders from History

This section discusses:

- How to enter credit orders from history for customer credit without return.
- How to enter credit orders from history for customer credit without return.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Sales Order Entry – CO Order Type (P4210).

## Entering a Credit Order from History for Customer Credit with Return

This table lists the tasks for entering credit order from history for customer credit with return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Enter credit order from history for customer credit with return.	Credit Order Processing  Create Credit Memo for Item Return	P4210/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO = Sales Order, II = Inventory Issue and IT = Inventory Transfer</li> <li>Line Type: C = Credit Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type CO and line type C.</li> <li>Hold Code: XX = Administrative Hold</li> <li>AAIs: AAIs are provided for inventory issues and transfers using document types II and IT.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Status = 520	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – CO Order Type (P4210)」、273ページ

## Entering a Credit Order from History for Customer Credit Without Return

This table lists the tasks for entering credit order from history for customer credit without return:



Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter credit order from history for customer credit without return.	Credit Order Processing	P4210/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO = Credit Order</li> <li>Line Type: CN = Miscellaneous Credit</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type CO and line type CN.</li> <li>Hold Code: XX = Administrative Hold</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> <p>Beginning Status = 520</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Set up required AAIs.</li> <li>Activate the Edit Item Master for Non-Stock Items option in the Line Type Constants.</li> <li>Set up any required dummy item numbers.</li> <li>Verify that the G/L class code on the Item Master is correct.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – CO Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	CO
2. Line Type	C
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1.000
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1
9. Address Book Revisions	blank

Processing Option Description	Value or Status
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	CO
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

### Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	blank
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank

Processing Option Description	Value or Status
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

### Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	blank
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	blank
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

**Cross Ref**

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	520
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1

Processing Option Description	Value or Status
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store && Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

### Multiples

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

### Interbranch

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank



Processing Option Description	Value or Status
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

### Promotion ID

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

### Order Promising

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

### Matrix

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

### 関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

## (CHL) Processing Credit Notes and Debit Notes Related to Documents

This section provides an overview of credit notes and debit notes related to documents, lists prerequisites, and discusses how to:

- Set processing options for Enter Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.
- Process credit notes and debit notes related to documents.

### Understanding Credit and Debit Notes for Chile

You can locate legal document numbers and relate them to a sales order. For example, you can relate a credit note to one or more invoices or you can relate a debit note to one or more credit notes.

You must enter 1 in the processing options of PO —Sales Order Entry (P4210) —CHI —42 (P76H4210) to relate sales orders to credit notes or to one or more invoices when you enter a sales order.

**注:** Any changes that you make by using this program affect the entire order. When you relate one or more invoices to a credit order and legal numbers of related invoices, this information prints in the credit note. By law, invoices related to credit notes must belong to the same customer.

The system stores records for credit note or debit note related to invoices or credit notes in the F76H215 table.

If the tax rate changes when the program generates a credit or debit note related to an invoice; the credit note that the program creates must be the same tax rate in the related document. You must create and relate a credit note with a tax area with the same tax rate as the related invoice.

According to Chilean legislation (Decree-law 825), VAT generated by returned credit notes of invoices greater than three months must be posted to an expense account. Under these circumstances, VAT cannot be posted as a minor tax debit.

You can use PO – Sales Order Entry to verify a valid relationship between the return credit note and the invoice with an invoice issue date greater than three months of the return date (sales order issue date). The system modifies the tax explanation code to an S for all the sales order lines.

When the system posts a credit note with an S in the legal explanation code in the sales order lines, the system uses ICA 4250 (Tax Liability) to account the amount of the credit note, instead of using the ICA RTxxxx.

The system stores records for return credit notes in the Legal Company Constants SOP —CHI —42 —76H (F76H008) table.

Set up Sales 4250 (Tax Liability) for the company, return credit note type and tax area G/L Class, with the expenses account to allocate VAT of the credit memo.

If the program relates a credit memo to one or more invoices, the system verifies whether there is any voucher with an invoice date versus a credit memo date greater than the number of days and months of the company setup. If the date of any invoice exceeds the number of days and months, the system changes the tax explanation code in all lines of the credit memo to the code that is set up in the legal company constants.

## Prerequisites

Verify that the processing option for PO – Sales Order Entry (P4210) —CHI —42 is active.

Verify that Sales Order Entry and PO – Sales Order Entry (P4210) —CHI —42 have the same version name.

Activate the functionality in the returns credit notes processing option PO – Sales Order Entry (P4210) —CHI —42.

Set up the number of days or months to be considered when applying the legal explanation code to the credit in Legal Company Constants – CHI —00 (P76H002). The legal explanation code must also be set up with an S when entering the credit note.

## Forms Used to Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Enter Order Headers	W4210H	Sales Order Processing (G4210), Enter Order Headers	Review and select sales orders.
NC/ND Related to Sales Orders	W76H4210A	Select an order and click Document Inquiry from the form menu on NC/ND Related to Sales Orders.	Select an order to attach a credit note.
Select Related Order Document	W76H4210B	Select an order and click Close on Select Related Order Document.	Relate an order to a credit note. The system places a check mark on the row with order to indicate there is a related credit note.

## Setting Processing Options for Enter Credit Notes and Debit Notes Related to Documents (P76H4210)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### General

Although processing options are set up during PeopleSoft EnterpriseOne implementation, you can change processing options each time you run a program.

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Related Sales Order</b>                       | Enter 1 in order to enter SO related invoices.  |
| <b>2. VAT Reimbursement for Return Credit Notes</b> | Enter 1 to activate VAT Reimbursement for Return Credit Notes (Chilean functionality). Leave blank and VAT Reimbursement for Return Credit Notes is not active. |

## Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents

Select Sales Order Management (G76H42), PO – Sales Order Entry.

Before you process this program, complete the steps to relate a credit note to an order.

## (PER) Processing Credit Notes and Debit Notes Related to Documents

This section provides an overview of credit and debit notes for Peru, lists prerequisites, and discusses how to:

- Set processing options for Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents.
- Process credit notes and debit notes related to documents.

### Understanding Credit and Debit Notes for Peru

You can inquire on legal document numbers and relate them to a sales order. For example, you can relate a credit note to one or more invoices, or you can relate a debit note to one or more credit notes.

You must enter 1 in the processing options of PO – Sales Order Entry (P4210) – CHI – 42 (P76H4210) to relate sales orders to a credit note or to one or more invoices.

**注:** Any changes that you make by using this program affect the entire order. When you relate one or more invoices to a credit order and legal numbers of related invoices, this information prints in the credit note. By law, invoices related to credit notes must belong to the same customer.

The system stores records for credit notes or debit notes related to invoices or credit notes in the NC/ND – Invoice Related – CHI – 42 – 76H table (F76H215).

If the tax rate changes when the program generates a credit or debit note related to an invoice; the credit note that the program creates must be the same tax rate in the related document. You must create and relate a credit note with a tax area with the same tax rate as the related invoice.

### Prerequisites

Verify that the processing option for PO – Sales Order Entry (P4210) – CHI – 42 (P76H4210) is active.

Verify that Sales Order Entry and PO – Sales Order Entry (P4210) – CHI – 42 have the same version name.

### Forms Used to Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Enter Order Headers	W4210H	Sales Order Processing (G4210), Enter Order Headers	Review and select sales orders.
NC/ND Related to Sales Orders	W76H4210A	Select an order and select Document Inquiry from the form menu on NC/ND Related to Sales Orders.	Select an order to attach a credit note.
Select Related Order Document	W76H4210B	Select an order and click Close on Select Related Order Document.	Relate an order to a credit note. The system places a check mark on the row with order to indicate there is a related credit note.

## Setting Processing Options for Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents (P76H4210)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### General

Although processing options are set up during system implementation, you can change processing options each time you run a program.

1. **Related Sales Order** Enter 1 to enter SO related invoices.

## Process Credit Notes and Debit Notes Related to Documents

Select Sales Order Management (G76H42), PO – Sales Order Entry.

Before you process this program, complete the steps to relate a credit note to an order.

---

## 転送オーダーの入力

このセクションでは、転送オーダーの概要、事前設定、および転送オーダーの入力方法について説明します。

### 転送オーダーについて

転送オーダーを入力して社内の事業所間の在庫移動を行い、適正な手持ち在庫数量を維持できます。転送オーダーを作成すると、以下の処理が実行されます。

- 仕入先（出荷先事業所）の購買オーダーを作成する
- 顧客への供給事業所（入荷先事業所）の受注オーダーを作成する
- 転送オーダー上の在庫金額を、正式な購買および販売として処理する
- 転送を完了するのに必要なピッキング リストや請求書などの伝票を作成する

転送トランザクションは、在庫管理で在庫移動プログラム (P4113) を使用して、または調達管理あるいは受注管理で受注オーダー入力プログラムを使用して記録できます。

在庫管理で在庫移動を作成すると、ある保管場所から別の保管場所に在庫が移動し、トランザクションが直ちに記録されます。受注オーダーや購買オーダーは作成されないため、在庫をトラッキングするための紙上の証跡は残りません。管理者承認が必要となることもあります。

調達管理または受注管理で転送オーダーを作成すると、商品を出入荷できます。この方法では、割増し、運賃、輸送時間を考慮できます。受注オーダーおよび関連の購買オーダーが生成されることにより、紙上の証跡が作成されます。各オーダーは、伝票タイプと行タイプの組み合わせで設定したオーダー処理順序定義に基づいて処理されます。

転送オーダーを作成すると、転送オーダー処理プログラムによって次のテーブルにレコードが作成されます。

- 受注オーダー見出しファイル テーブル (F4201)
- 受注明細テーブル (F4211)
- 購買見出しテーブル (F4301)
- 購買明細テーブル (F4311)

**注:** 転送オーダーにはキット情報を入力できません。キット用のオーダーを入力するには、通常の受注オーダーまたは購買オーダー入力プログラムを使用してください。

受注転送オーダーには、他へ引当 1 または他へ引当 2 を割り当てられません。これらの引当オプションは、引き合いと一括オーダーのみに利用します。

## 事前設定

転送オーダーに使用する受注オーダー入力プログラム (P4210) のバージョンを作成し、処理オプションを設定します。このバージョンを転送オーダーの作成に使用するメニュー オプションに関連付けます。このタスクについてわからない点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「購買オーダーの入力」、「オーダー明細情報の入力」

## 転送オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[転送オーダー]	オーダーの検討と選択
[転送オーダー] の [受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会] の [追加] をクリック	転送オーダーの追加と改訂

## 転送オーダーの入力

[受注オーダー明細の改訂] フォームにアクセスします。

転送オーダー - 受注オーダー明細の改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

転送オーダー

行デフォルト

移動元事業所

移動先事業所

陸揚費用規則

受注オーダーNo.

購買オーダーNo

ST

オーダー日付

受注為替レート

購買為替レート

レコード 1 - 1

グリッドのカスタマイズ

グリッド・フォーマット名2

	オーダー 数量	単位	2次計量単位数量	2次計量単位	品目 No.	行 タイプ	単価(外貨)	合計価格(外貨)
<input type="checkbox"/>						S		

[転送] の [受注オーダー明細の改訂] フォーム

転送オーダーを入力する場合、見出しと明細の表示処理オプションの設定に関わらず明細情報を入力する前に見出し情報を入力できない点に注意してください。

# (Rapid Start CAN and USA) Entering Transfer Orders with Receipt Routing

This section discusses:

- How to enter a transfer order with receipt routing.
- Preconfigured processing options for Canada and United States Sales Order Entry – ST Order Type (P4210).

## Entering a Transfer Order with Receipt Routing

this table lists the tasks for entering transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter transfer order with receipt routing.	Transfer Order Processing  Create Transfer Order	P4210/RIS0007	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: ST and OT</li> <li>Line Type: S = Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type ST, OT and line type S.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verify branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that is receiving the goods.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> <li>verify the PINS process is setup in the routing. This is a two step process which takes the item to In-Transit and then Stock. Address book number 99999900 is setup and is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada and United States Sales Order Entry – ST Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0007.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	ST
2. Line Type	S
3. Beginning Status	520
4. Override Next Status	560
5. Line Number Increment	1



Processing Option Description	Value or Status
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	blank
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	ST
2. Beginning Status	520
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

### Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	blank
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	2
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

## Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	1
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	545
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	blank
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	blank
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank

Processing Option Description	Value or Status
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

### Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	blank
2. Complementary Items	blank
3. Replacement Items	blank
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	RIS0003
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0001
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	RIS0002
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	RIS0001
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0018
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	RIS0006
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank

Processing Option Description	Value or Status
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	1
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	520
2. To Status	999

Processing Option Description	Value or Status
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store & Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

### Multiples

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

**Promotion ID**

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

**Order Promising**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**関連項目:**

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

---

## 直送オーダーの入力

このセクションでは、直送オーダーの概要、関連する受注オーダーと購買オーダーの整合性の維持、事前設定、および直送オーダーの入力方法について説明します。

### 直送オーダーについて

仕入先から品目を購入し、それを仕入先から直接顧客に配送するのが直送オーダーです。直送オーダーの数量および品目情報は、在庫には影響を与えません。

直送オーダーを入力すると、顧客に対する受注オーダーと、仕入先に対する購買オーダーが同時に作成されます。購買オーダーでは、品目を直接顧客に配送するように指示されています。受注オーダー入力プログラムの引当処理オプションを有効にして、その他数量 1 およびその他数量 2 に対して引当処理を実行した場合、直送オーダーに対して設定した非在庫行タイプを使用していても購買オーダーは作成されません。直送見積に対して受注オーダーをリリースすると、購買オーダーが作成されます。



---

**注:** キットに対しては直送オーダーを入力できません。キット用のオーダーを入力するには、通常の受注オーダーまたは購買オーダー入力プログラムを使用してください。

---

直送オーダーの行タイプを設定する際、直送オーダーに対する在庫インターフェイスを D と定義し、[非在庫品目用品目マスターの編集] を選択する必要があります。直送オーダーの入力時には、事業所品目テーブル (F4102) の品目番号、品目原価 テーブル (F4105) および品目基本価格テーブル (F4106) の両テーブルの原価と価格情報が検証されます。ただし、在庫引当の作成や引当可能数量チェックは行われません。

次のテーブルにレコードが作成されます。

- 受注オーダー見出しファイル テーブル (F4201)
- 受注明細テーブル (F4211)
- 購買見出しテーブル (F4301)
- 購買明細テーブル (F4311)

受注または購買オーダーの情報を変更すると、該当するオーダーが次の情報に基づいて更新されます。

- 約束日付
- オーダー数量
- 基本計量単位 (購買計量単位が変更される)
- 重量および容量 (数量を変更した場合)
- 単価

直送オーダーは、通常の受注オーダーと同じ方法で入力します。[直送] の [受注残および完了オーダー照会] フォーム、[直送オーダーの作成] の [新規オーダーの入力] フォーム、[直送オーダーの更新] の [新規オーダーの入力] フォームを使用できます。

## 関連する受注オーダーと購買オーダーの整合性の維持

[直送] の [受注残および完了オーダー照会] フォームから直送行タイプ (D) を使用して受注オーダーを入力すると、対応する購買オーダーが作成されます。オーダーが保留になると、受注オーダーと購買オーダーの両方が受注オーダーと購買オーダーの処理から除外されます。受注オーダーまたは明細行を取り消すと、対応する購買オーダーまたは購買明細行が取り消されます。

受注オーダー情報の変更は、購買オーダー処理に影響する場合があります。同様に、購買オーダーの変更は受注オーダー情報に影響することがあります。次のフィールドの情報を変更すると、自動的に対応するオーダーが更新されます。

フィールド	変更の説明
状況	<p>購買オーダーまたは受注オーダーのいずれかを締めるか取り消す場合、対応するオーダーの状況が更新されます。</p> <p>仕入先が顧客に出荷した商品が正式に入荷されると、受注オーダーの状況が更新されます。</p> <p>明細行の1つが部分的に受け取られると、品目のうち、その入荷済み分の受注オーダー状況のみが更新されます。残数の状況は変わりません。</p>
原価	<p>購買オーダーの当初原価が維持されます。入荷時の原価が異なる場合、購買オーダーの原価は更新されません。ただし、入荷時の原価の変更は、標準原価計算を使用していない場合、受注オーダー明細行で更新されます。</p>
ロット/シリアル番号	<p>仕入先が入荷を入力してロットまたはシリアル番号を指定した場合、そのロット/シリアル番号情報が受注オーダー明細行に表示されます。複数品目の場合、各ロット/シリアル番号に対して受注オーダーと購買オーダーが分割されます。ロット/シリアル番号を戻す(逆仕訳する)と、それを伝える警告メッセージが受注オーダーに表示されます。</p>
日付	<p>仕入先が顧客に商品を出荷すると、仕入先は入荷日付を入力して顧客が商品を受け取ったことを示します。受注オーダー明細行の実際出荷日付が更新されます。</p>

## 入荷

仕入先は顧客に商品を出荷すると、入荷確認で受領日を入力して顧客が商品を受け取ったことを記録します。入荷処理時の原価の変更は、標準原価計算を使用していない限り対応する受注オーダー明細行にも反映されます。

部分入荷の場合、受注オーダー明細行が分割されて、残りの入荷待ち数量を反映します。ロットまたはシリアル番号付きの情報を受け取ると、受注オーダー明細行が分割されて、購買オーダーに対応するロットまたはシリアル番号が表示されます。

オーダー明細行を逆仕訳する場合、受注明細行の状況が更新されます。

## 伝票突合せ

仕入先が請求書に対する支払伝票を入力すると、受注明細行が終了または除去されていない限り受注明細行の原価が新しい原価に更新されます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 直送オーダーに使用する受注オーダー入力プログラムのバージョンに処理オプションを設定していることを確認します。

このバージョンを、直送オーダーの作成に使用するメニュー オプションに関連付けます。このタスクについてわからない点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- ・直送オーダーの行タイプを設定したことを確認します。

参照: [第 2 章、「受注管理システムの設定」、「オーダー行タイプの設定」、39 ページ](#)

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 調達管理 8.11 SP1 PeopleBook、「[購買オーダーの入力](#)」、「[オーダー明細情報の入力](#)」

## 直送オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[直送オーダー]	オーダーの検討と選択
[直送オーダー] の [受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会] の [追加] をクリック	直送オーダーの追加と改訂
[直送オーダーの作成] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダー処理] (G4211)、[直送オーダーの作成]	カスタマ サービス担当者用の直送オーダーの追加
[直送オーダーの更新] の [既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[直送オーダーの更新]	カスタマ サービス担当者用の直送オーダーの追加および改訂

## 直送オーダーの入力

[受注オーダー明細の改訂] フォーム、[直送オーダーの作成] の [新規オーダーの入力] フォーム、[直送オーダーの更新] の [既存オーダーの管理] フォームにアクセスします。

直送オーダーの入力手順は、通常の受注オーダーと同じです。[受注オーダー処理] メニュー [G4211] の [直送オーダー]、[直送オーダーの作成]、[直送オーダーの更新] を選択できます。

直送オーダーの更新 - 既存オーダーの管理

選択(S) 検索(I) 追加(A) コピー(Y) 閉じる(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

クエリーの選択  クエリーの保存 クエリーの編集

受注残および完了オーダー照会  前のオーダー

オーダーNo. \*  SD  \*

品目No. \*

顧客購買オーダー \*

事業所 \*

販売先 \*

出荷先 \*

☐ バックオーダー合計数量

☐ 顧客品目

レコード 1-2 グリッドのカスタマイズ グリッド・フォーマット名1

	オーダー No.	オーダー タイプ	オーダー 会社	行 No.	保留 コード	販売先	販売先名	第2品目 No.	記述1
<input type="checkbox"/>	1040	SD	00001	1.000		4242	Capital System	210	Mountain Bike, R
<input type="checkbox"/>	1100	SD	00001	1.000		4242	Capital System	210	Mountain Bike, R

「既存オーダーの管理」フォーム

## 一括オーダーの入力

このセクションでは、一括オーダーの概要、事前設定、および一括オーダーの入力方法について説明します。

### 一括オーダーについて

顧客が一定量の品目を一定期間にわたって買い付けることに合意した場合に、一括オーダーを使用します。合意期間の最終日を要求日付として、1行で一括オーダーを入力できます。決まった時期が来るたびに、一括オーダーの一部の数量に対して受注オーダーを作成します。

受注オーダーを直接入力して一括オーダーからその数量を差し引くか、または一括オーダーをリリースするかの選択が可能です。一括オーダーの当初オーダー数量、関連リリース済みオーダーおよび残量が参照できます。

受注オーダー入力プログラムで引当制御処理オプションを設定できるため、一括オーダーの作成時に在庫が引当てられることはありません。この処理オプションを設定すると、在庫引当優先情報フィールドは無視されます。

一括オーダーは受注オーダーと同じ方法で入力できますが、入力する数量は一括オーダー期間でリリースする全体の数量になります。同様に、要求日付は一括オーダーの有効期間の最終日になります。[一括オーダー]の[受注残および完了オーダー照会]フォーム、[一括オーダーの作成]の[新規オーダーの入力]フォーム、[一括オーダーの更新]の[既存オーダーの管理]フォームを使用できます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 一括オーダーが引当可能な在庫にどのように影響するかを指定する処理オプションを設定していることを確認します。

この処理オプションは受注オーダー入力の処理オプション (P4210) の [引当て] タブにあります。

- UDC テーブル 40/BT に一括オーダーのコードを設定します。
- 処理基準に対して一括オーダーを作成したことを確認します。
- 一括オーダー処理と見積オーダー処理を有効にしていることを確認します。

受注オーダー入力 (P4210) プログラムの [処理] タブで次の処理オプションに適正な値を指定します。

- 一括/見積オーダー処理
- 複数の一括オーダーのデフォルト選択
- 単一の一括オーダーのデフォルト選択

### 関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー明細情報について」、129 ページ

第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、343 ページ

## 一括オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[一括オーダー]	オーダーの検討と選択
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会] の [追加] をクリック	一括オーダーの追加と改訂
[一括オーダーの作成] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダー処理] (G4211)、[一括オーダーの作成]	カスタマ サービス担当者用の一括オーダーの追加
[一括オーダーの更新] の [既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[一括オーダーの更新]	カスタマ サービス担当者用の一括オーダーの追加および改訂

## 一括オーダーの入力

[受注オーダー明細の改訂] フォーム、[一括オーダーの作成] の [新規オーダーの入力] フォーム、[一括オーダーの更新] の [既存オーダーの管理] フォームにアクセスします。

一括オーダーの入力手順は、通常の受注オーダーと同じです。[受注オーダー処理] メニュー [G4211] で [一括オーダー]、[一括オーダーの作成]、[一括オーダーの更新] を選択します。

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Blanket Orders for Selling a Make-To-Order Item

This section discusses how to enter blanket order for selling a make-to-order item.

### Entering Blanket Order for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for entering blanket order for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter blanket order for selling a make-to-order item.	Sales Blanket Orders  Create Blanket Order	P4210/RIS0004	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W = Make-to-Order item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, 99</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SB Order Type (P4210)」、304ページ

## (Rapid Start) Entering and Printing Blanket Orders

This section discusses:

- How to enter and print blanket order for selling a direct ship item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Sales Order Entry – SB Order Type (P4210).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print Blanket Order (R42565).
- How to enter blanket orders for selling from inventory.

### Entering and Printing Blanket Order for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for entering and printing blanket order for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter blanket order for selling a direct ship item.	Sales Blanket Orders  Create Blanket Order	P4210/RIS0004	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>• Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>• Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul> <p>Last Status = 500 and Next Status = 515</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>
(AUS and NZL) Print blanket order.	Sales Blanket Orders  Create Blanket Order	R42565/RIS3013	Same.	Same.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SB Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0004.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	SB
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	500
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SB



Processing Option Description	Value or Status
2. Beginning Status	500
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2

## Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	blank
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	blank
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

### Commitment

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	blank
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	1
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	blank
8. Agreement Processing	blank

Processing Option Description	Value or Status
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

### Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank

Processing Option Description	Value or Status
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

### Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	500
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store & Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

**Multiples**

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank

Processing Option Description	Value or Status
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

### Volume UpSell

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

### Profit Margin

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

### Promotion ID

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

### Order Promising

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

### Matrix

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

### 関連項目:

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Blanket Order (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3013.

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	515
2. Status Code – To	515
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	1
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	SBLNKT



Processing Option Description	Value or Status
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	blank

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Blanket Order for Selling from Inventory

This table lists the tasks for entering blanket order for selling from inventory.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter blanket order for selling from inventory.	Sales Blanket Orders  Create Blanket Order	P4210/RIS0004	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Sales Order Entry – SB Order Type (P4210)」, 304ページ

## 見積オーダーの入力

このセクションでは、見積オーダーの概要、および見積オーダーの入力方法について説明します。

### 見積オーダーについて

見積オーダーは、顧客から正式な価格見積を要求されているが、受注オーダーにコミットできる準備が整っていない場合に使用します。見積オーダーは、伝票タイプの保守管理プログラム (P40040) から数量をリリースするように、またはリリースしないように指定できます。見積オーダーを入力して、次の処理を実行します。

- 大量の品目に関する価格および引当可能数量を提示する
- 将来の参照用に数量および価格見積を記録する
- 顧客がオーダーを承認するまでオーダーを保留にする
- 品目の価格および引当可能数量についての情報を収集する
- 一定期間にわたって見積価格を保証する

顧客がオーダーを承認した時点で、見積オーダーを受注オーダーに変換します。また、見積オーダーに基づいて販売提案を作成できます。

見積オーダーは、受注オーダーと同じように、[見積] の [受注残および完了オーダー照会] フォームを使用して入力します。また、[見積の作成] の [新規オーダーの入力] フォーム、[見積の更新] の [既存オーダーの管理] フォームも使用できます。顧客がオーダーを承認するまでは、見積オーダーは受注オーダーに変換しません。

請求書印刷プログラム (R42565) のバージョンを設定すると、見積オーダーの請求書を印刷できます。また、処理オプションを設定して、請求書が見積であること伝えるメッセージを請求書に印刷できます。

見積オーダーを入力すると、見積オーダーからデータを取り込んだ提案文書を自動的に作成できます。提案文書は、各顧客に合わせた情報が含まれるようにカスタマイズできます。

### 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 見積オーダーが引当可能な在庫にどのように影響するかを指定する処理オプションを設定していることを確認します。

この処理オプションは受注オーダー入力の処理オプション (P4210) の [引当て] タブにあります。

- UDC 40/BT に見積オーダーのオーダー タイプを設定していることを確認します。

## 見積オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[見積]	オーダーの検討と選択
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会] の [追加] をクリック	見積オーダーの追加と改訂
[見積の作成] の [新規オーダーの入力]	W42101D	[受注オーダー処理] (G4211)、[見積の作成]	カスタマ サービス担当者用の見積オーダーの追加
[見積の更新] の [既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[見積の更新]	カスタマ サービス担当者用の見積オーダーの追加および改訂
[提案生成ウィザード (1/3)]	W90CA24B	[受注残および完了オーダー照会] で、レコードを選択し、[ロー] メニューの [オーダー]、[提案の生成] を選択	見積への提案書の生成

## 見積オーダーの入力

[受注オーダー明細の改訂] フォーム、[見積の作成] の [新規オーダーの入力] フォーム、または [見積の更新] の [既存オーダーの管理] フォームにアクセスします。

見積オーダーは、通常の受注オーダーと同じ方法で入力します。[受注オーダー処理] メニュー [G4211] の [見積オーダー]、[見積オーダーの作成]、[見積の更新] を選択できます。

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Entering Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item

This section discusses how to enter sales quote for selling a make-to-order item.

### Entering Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for entering sales quote for selling a make-to-order item:.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter sales quote for selling a make-to-order item.	Sales Quotes Create Quote Order	P4210/RIS0003	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W = Make-to-Order item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, 99</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul> <p>Last Status = 500 and Next Status = 515</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210)」、319ページ

## (Rapid Start) Entering and Printing Sales Quotes

This section discusses:

- How to enter and print a sales quotes for selling a direct ship item.

- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Quote Order (R42565).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print Quote Order (R42565).
- How to enter and print a sales quote for selling from inventory.

## Entering and Printing a Sales Quote for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for entering and printing sales quote for selling a direct ship item..

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter and print sales quote for selling a direct ship item.	Sales Quotes Create Quote Order Print Quote Order	P4210/RIS0003 R42565/RIS0003 (AUS and NZL) R42565/RIS3003	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>• Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>• Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0003..

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type (Required)	SQ

Processing Option Description	Value or Status
2. Line Type	blank
3. Beginning Status	500
4. Override Next Status	blank
5. Line Number Increment	1
6. Reason Code	blank
7. Override Transaction Unit of Measure	blank
8. Default Transaction Unit of Measure	1
9. Address Book Revisions	blank
10. Update Header to Detail	1
11. Header Branch/Plant	blank
12. Default Branch/Plant	blank
13. Order Template	blank
14. Customer Self Service Structure Type	blank
15. User ID default (CSS only)	blank
16. Override Sold To and Ship To Header (CSS only)	blank
17. Override Carrier Number (CSS only)	blank
18. Sold To Contact Record Type	blank
19. Ship To Contact Record Type	blank

### Duplication

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SQ
2. Beginning Status	500
3. Next Status	blank
4. Copy Associated Text	2



## Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Credit Check	blank
2. Order Margin Check	blank
3. Order Line Margin Check	blank
4. Order Minimum Value Check	blank
5. Order Maximum Value Check	blank
6. Partial Order Hold	blank
7. Product Allocation Hold	blank
8. Authorization Hold for Prepayment Processing	blank
9. Settlement Hold for Prepayment Processing	blank
10. Order Process Hold	blank
11. Approval Hold	blank
12. Exclusive Adjustment Hold	blank
13. Inactive Customer Hold	blank
14. Inactive Customer Search Type	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Display or Hide Cost Fields	blank
2. Display or Hide Price Fields	blank
3. Disable Pricing Related Fields	blank
4. Disable or Hide Status Codes	1
5. Hide Closed Detail Lines	blank
6. Hide Credit Card Information	1
7. Hide Freight and Carrier Information	blank
8. Hide Commission Information	1
9. Hide Kit Components	blank

**Commitment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Availability Checking	blank
2. Commit to Quantity 1 or Quantity 2	2
3. Display Supply and Demand Inquiry Form	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tolerance Limit	0
As-If Currency Display	blank
2. Currency Code	blank
3. "As Of" Date	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code Limit for Changes	999
2. Subsystem Processing 1	blank
3. Display Header or Detail	blank
4. Auto Order Repricing	blank
5. Display Before Accept Prompt	1
6. Order Template Processing	blank
7. Blanket/Quote Order Processing	blank
8. Agreement Processing	blank
9. Customer Self-Service Functionality	blank
10. Cost or Base Price Markup	blank
11. Ship and Debit Processing	blank
12. Issue Warning for Default Free Good	blank
13. Adjust Accumulated Values in the Volume Transaction	blank

Processing Option Description	Value or Status
14. Prompt for Customer Segment Items	blank
15. Display Warning/Error for Ascending Date Rule Check	blank
16. Default Selection for Multiple Blanket Orders	blank
17. Default Selection for Single Blanket Orders	blank

### Cross Ref

Processing Option Description	Value or Status
1. Substitute Items	S
2. Complementary Items	A
3. Replacement Items	R
4. Pricing for Substitute Items	blank
5. Promotional Items	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Pick Slip Print Subsystem (R42520)	blank
2. Supply and Demand Inquiry (P4021)	RIS0004
3. Pick Slip Print On Demand (R42520) from Customer Service Inquiry	blank
4. Adv Order/Basket Reprice (R42750)	blank
5. Online Invoice Inquiry (P42230)	RIS0001
6. Preference Profile (R40400)	blank
7. Check Price and Availability (P41261)	blank
8. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
9. Sales Ledger Inquiry (P42025)	RIS0001
10. Bill of Material Inquiry (P30200)	RIS0001
11. Work Order Entry (P48013)	RIS0002
12. Print Invoice (R42565)	blank
13. Online/Subsystem Commitment (R42997)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
14. Configured Items (P3210)	blank
15. Sales Order Batch Transaction Editor (R4210Z)	blank
16. Credit Check (P42050)	RIS0001
17. Work with Shipments (P4915)	blank
18. Customer Master (P03013)	RIS0001
19. Ship and Debit (R45100)	blank
20. Apply Volume Level Adjustment (R45900)	blank
21. Automatic Document Generation (P00391)	blank
22. Customer Segment Items (P42440)	blank
23. Product Variants (P41902)	blank
24. Order Processing (R31410)	blank
25. Product Catalog (P90CA106)	blank

## Preference

Processing Option Description	Value or Status
1. Preference Profile Processing	blank
2. Inventory Commitment Preference	blank
3. Override Schedule For Advanced Preferences	blank

## Transfers

Processing Option Description	Value or Status
1. Activate Transfer Order Entry	blank
2. Sales and Purchase Order Taxable	blank
3. Mandatory Landed Cost	blank

## Order Inquiry

Processing Option Description	Value or Status
1. From Status	500

Processing Option Description	Value or Status
2. To Status	999
3. Search on Last or Next Status	blank
4. Date Range	blank
5. Display Text Lines	1
6. Display Backordered/Canceled lines	3
7. Customer Cross Reference Type	C

### Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### Store && Fwd

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank

### Workflow

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Work Order Planner	blank
2. Sales Order Entry Workflow	blank

### Multiples

Processing Option Description	Value or Status
1. Multiple Schedule	blank
2. Schedule Line (Future)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Intercompany Invoice	blank
2. Interbranch Order Types	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Transaction Type	blank
2. Before/After Image Processing	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction version	blank
5. Settle Prepayment Transaction version	blank
Enter a Next Status Override Code for:	blank
6. Authorized lines	blank
7. Settled lines	blank

**Audit Log**

Processing Option Description	Value or Status
1. Use Audit Log for Sales Order Changes	blank
2. Reason Code required for Sales Order Changes	blank
3. Approval process required for Sales Order changes	blank

**Volume UpSell**

Processing Option Description	Value or Status
1. Alert for Volume Based Up-Sell within Tolerance	0

**Profit Margin**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Gross Profit Margin Pricing	blank
2. Adjustment Reason Code for Overrides	blank
3. Resolve and Test Target Gross Profit Percentage	blank

**Promotion ID**

Processing Option Description	Value or Status
1. Default Promotion ID	blank

**Order Promising**

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Promising	blank

**Matrix**

Processing Option Description	Value or Status
1. Inventory Parent	blank

**関連項目:**

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Quote Order (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0003..

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	515
2. Status Code – To	515
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	1
6. Prevent A/R Number Assignment	1

Processing Option Description	Value or Status
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	3
15. Global Print Message	SQUOTE
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank



Processing Option Description	Value or Status
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank

Processing Option Description	Value or Status
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Quote Order (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3003..

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	515
2. Status Code – To	515
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	1
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	blank
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	SQUOTE

Processing Option Description	Value or Status
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	blank

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

## Entering and Printing a Sales Quote for Selling from Inventory

This table lists the tasks for entering and printing sales quote for selling from inventory:.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Enter and print sales quote for selling from inventory.	Sales Quotes, Create Quote Order  Sales Quotes, Print Quote Order	P4210/RIS0003  R42565/RIS0003	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210)」、319ページ

参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Quote Order (R42565)」, 327 ページ

---

## 顧客セグメント ベース販売の入力

このセクションでは、顧客セグメント ベース販売の概要と、以下の方法について説明します。

- 購買セグメント コードを顧客に割り当てる
- 顧客セグメント品目に処理オプションを設定する
- 顧客セグメント品目を受注オーダーに追加する
- 購買セグメント コードの更新に処理オプションを設定する
- 顧客セグメント品目の作成に処理オプションを設定する

## 顧客セグメント ベース販売について

顧客セグメント ベース販売は、顧客の購買習慣に基づく購買セグメントに顧客をグループ分けできる技術です。購買セグメントは、同様の製品グループを示すユーザー定義コード (42B/BS) であり、顧客に対し購買セグメント コードを割り当てます。同じような製品を購入する顧客を購買セグメントにグループ分けすることで、受注の際に顧客に対してその顧客と同じセグメントの他の顧客が購入した品目をオファーして売上を伸ばせる可能性があります。

購買セグメントの最新情報を検討できるようにするには、購買セグメントコードの更新プログラム (R42442) を実行して、既存の受注オーダーの購買セグメント コードを更新します。

購買セグメント内の顧客の最新の購入を検討できるようにするには、顧客セグメント品目の作成プログラム (R42441) を実行します。このプログラムにより顧客セグメント品目テーブル (F42440) で、品目番号や数量などの購買セグメントの販売データが確実に更新されます。

## 購買セグメントコードの顧客への割り当て方法

購買セグメント コードを顧客に割り当てる、または既に割り当てたコードを変更するには、顧客マスタープログラム (P03013) を使用します。このプログラムでは、顧客に対する請求書情報、与信情報、請求情報、税情報などを定義できます。

購買セグメントを顧客に割り当てると、会社別顧客マスター テーブル (F03012) に情報が保存されます。購買セグメント コードを割り当てた顧客のオーダーを入力する際には、次のテーブルに情報が保存されます。

- 会社別顧客マスター テーブル (F03012)
- 受注オーダー見出しファイル テーブル (F4201)
- 受注実績テーブル (F42019)
- 販売明細履歴テーブル (F42199)
- 受注明細テーブル (F4211)
- 受注履歴テーブル (F42119)

受注オーダー入力プログラム (P4210) の次のフォームに購買セグメント コードが表示されます。

- [受注オーダー入力] の [追加情報 1] タブ (追加情報 1 タブ)

- ・[受注オーダー見出し] の [追加見出し情報]

## 顧客セグメント品目の受注オーダーへの追加方法

顧客セグメント品目プログラム (P42440) では、同じ購買セグメントの顧客が購入した品目一覧を検討できます。顧客に受注オーダーを入力しながら、数量も指定できます。

顧客セグメント品目プログラムにアクセスする方法は、2 とおり用意されています。

- ・受注オーダー入力プログラム (P4210) で適切な処理オプションを設定していれば、受注オーダーの追加を終了した時点で、[顧客セグメント品目] フォームが表示されます。
- ・受注オーダー入力プログラム (P4210) で適切な処理オプションを設定していれば、受注オーダー追加中に顧客セグメント品目のオプションを選択できます。

## 購買セグメント コードの更新方法

購買セグメントの最新情報を検討できるようにするには、購買セグメントコードの更新プログラム (R42442) を実行して、既存の受注オーダーの購買セグメントコードを更新します。通常は、購買セグメントコードを顧客に割り当てるときか、顧客の購買構造を再編成した後にこのプログラムを実行します。

購買セグメントコードの更新プログラムは、テストモードと最終モードのどちらでも実行できます。テストモードでは受注オーダー別の更新された購買セグメント情報を含むレポートが印刷されますがテーブルは更新されません。最終モードでは、レポートが印刷され次のテーブルが更新されます。

- ・受注オーダー見出しファイル テーブル (F4201)  
このテーブルに含まれる各レコードで一致する販売先顧客の購買セグメントコードが更新されます。
- ・受注明細テーブル (F4211)  
このテーブルに含まれる各レコードで一致する出荷先顧客の購買セグメントコードが更新されます。
- ・受注履歴テーブル (F42119)  
このテーブルに含まれる各レコードで一致する出荷先顧客の購買セグメントコードが更新されます。

## 顧客セグメント品目の作成

購買セグメント内の顧客の最新の購入を検討できるようにするには、顧客セグメント品目の作成プログラム (R42441) を実行します。このプログラムを実行すると、次のタイプの情報をコンパイルして各購買セグメントコードの品目一覧が作成されます。

- ・品目番号
- ・数量
- ・基本価格
- ・粗利益率
- ・出荷計量単位
- ・購買セグメントコード

最大表示品目数は 99 で、顧客セグメント品目テーブル (F42440) に情報は保存されます。

## 事前設定

受注オーダー入力プログラム (P4210) の [バージョン] タブにある顧客セグメント ベース販売の適切なオプションを有効にします。同プログラムの [処理] タブにも顧客セグメント ベース販売の任意の処理オプションがあります。



購買セグメント コード (42B/BS) を定義します。

## 顧客セグメント ベース販売の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[請求情報]	W03013E	<p>[受注管理システム セットアップ] (G4241)、[顧客請求指示]</p> <p>顧客マスターの処理で、購買セグメントコードを割り当てる顧客を検索し、[選択] をクリックします。顧客マスターの改訂で、[フォーム] メニューから [請求情報] を選択します。</p>	購買セグメントコードを顧客に割り当てる
[顧客セグメント品目]	W42440A	<p>[受注オーダー処理] (G4211) の [受注明細]。</p> <p>[受注残および完了オーダーの照会] で、オーダー番号を検索し、[ロー] メニューの [オーダー]、[受注オーダー明細の改訂] の順に選択します。</p> <p>[受注オーダー明細の改訂] で、[フォーム] メニューから [顧客セグメント品目] を選択します。</p>	セグメント品目を選択して受注オーダーに追加する

## 購買セグメント コードの顧客への割り当て

[請求情報] フォームにアクセスします。

**購買セグメントコード**      顧客をそれぞれの購買習慣に基づいてグループ分けできるように UDC (42B/BS) を指定します。

## 顧客セグメント品目の処理オプションの設定

これらの処理オプションにアクセスするには、対話型バージョン プログラム (P983051) を使用してください。[対話型バージョン] フィールドに「P42440」と入力し、[検索] をクリックします。プログラムのバージョンを選択し、[ロー] メニューから [処理オプション] を選択します。

### デフォルト

1. ソート フィールド      顧客セグメント ベース販売リストのソートに使用するコードを指定します。有効値は以下のとおりです。
  - ブランクまたは 1: 価格別ソート
  - 2: 数量別ソート
  - 3: 利益率別ソート

- 2. 最大セグメント品目**      顧客購買セグメント コードに保存できる異なる品目の最大数を指定します。デフォルト値は 99 です。

## 顧客セグメント品目の受注オーダーへの追加

[顧客セグメント品目] フォームにアクセスします。

- オーダー数量**      受注オーダーに関連付ける各品目の数量を指定します。
- 手動入力**      顧客セグメント品目テーブルに品目を追加するかどうか指定します。

## 顧客セグメント コードの更新プログラムの実行

上級および技術的操作 (G4231) から [購買セグメント コードの更新] を選択します。

## 購買セグメント コードの更新 (R42442) の処理オプションの設定

処理モードとレポートを印刷するかどうかを指定します。

### デフォルト

- 1. 処理するモード (テストまたは最終)**      レポートをテストまたは最終モードのどちらで実行するかを指定します。
- 2. 最終モードでのレポートの印刷**      購買セグメント コードの更新レポート (R42442) を印刷するかどうか指定します。このレポートは、F4201、F4211、F42119 テーブルに含まれる選択している全てのレコードを一覧表示します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: レポートを印刷します。
- 1: レポートを印刷しません。

## 顧客セグメント品目の作成プログラムの実行

上級および技術的操作 (G4231) から [購買セグメント品目の作成] を選択します。

## 顧客セグメント品目の作成 (P42441) の処理オプションの設定

この処理オプションを使用して、デフォルト値を設定します。

### デフォルト

- 開始日付枠**      計算の対象とする現在の日付までの日数を指定します。計算は、受注オーダー行の実際の出荷日付に基づきます。現在の日付以降の全ての日数は自動的に計算に含まれます。
- 最小平均数量**      顧客セグメント ベース販売リストに入れるために、品目に必要な最小平均数量を示す値を指定します。最小平均数量は、受注オーダー明細行の品目ごとの数量合計を使用して計算されます。この数量を F4211 テーブルにあるその品目の発生回数で割ります。
- 加重平均リスト価格**      顧客セグメント ベース販売リストに入れる品目の加重平均リスト価格を示す値を指定します。加重平均リスト価格は、受注オーダー明細行の品目ごとの数量にリスト価格を掛けたものを使用して計算されます。この価格を対応する受注オーダー明細行の求める品目の数量の合計で割ります。

価格比較で使用する通貨コードを入力します	顧客セグメント品目テーブル (F42440) を作成する際に使用されるコードを指定します。テーブルの作成時、このコードと最小平均基本価格が使用されます。最小基本価格値がある場合は、このフィールドに入力する必要があります。
最低パーセント マージン	顧客セグメント ベース販売リストに入れる品目の最低パーセント マージンを示す値を指定します。最低パーセント マージンは、全ての受注明細行の品目ごとに加重平均リスト価格と加重平均ベース原価の差異を求めて計算されます。この計算結果を、対応する受注明細行の求める品目の加重平均リスト価格で割ります。
最大セグメント品目	顧客購買セグメント コードに保存できる異なる品目の最大数を指定します。1 ~ 99 の数字を入力します。このフィールドを空白のままにすると、デフォルト値 99 が使用されます。
ソート フィールド	顧客セグメント ベース販売リストのソートに使用するコードを指定します。有効値は以下のとおりです。 ブランクまたは 1: 価格 2: 数量 3: 利益率

---

## 事業所間オーダーの入力

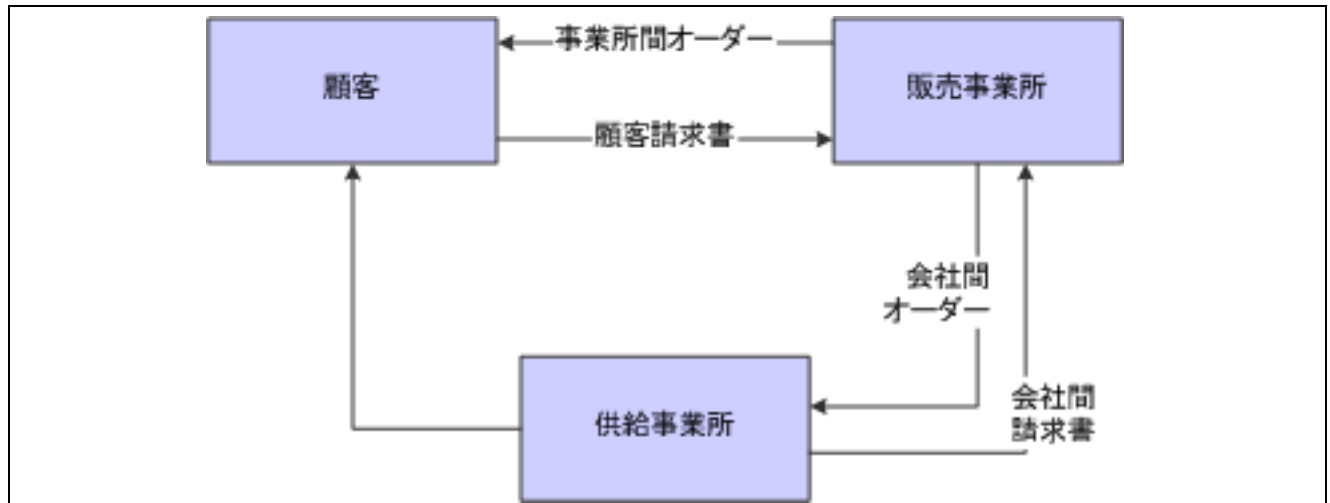
このセクションでは、事業所間オーダー、事業所間オーダーのデフォルト情報、事業所間オーダー入力の概要、および事業所間オーダーの入力方法について説明します。

### 事業所間オーダーについて

事業所間オーダーを使用すると、販売事業所以外の事業所から顧客のオーダーを充当できます。事業所間オーダーは販売元と出荷事業所（中央供給倉庫など）が異なる場合に役立ちます。

会社間オーダーとは、供給事業所と販売事業所間のトランザクションをトラッキングするオーダーのことです。事業所間オーダーが顧客に対する受注オーダーであるのに対して、会社間オーダーは供給事業所に対する購買オーダーです。会社間オーダーが直送オーダーと異なるのは、仕入先が供給倉庫であり、販売先住所が販売事業所、出荷先住所が顧客番号となる点です。また、出荷を確認するまでは会社間オーダーは作成されません。

次の図は、事業所間オーダーと会社間オーダーの違いを示しています。



事業所間オーダーと会社間オーダー

事業所間オーダー用に設定した伝票タイプと行タイプの組み合わせに基づいて事業所間オーダーが処理されます。出荷確認中に作成された会社間オーダーは、「前の状況」に「914」（出荷確認時に追加）が入力されます。オーダー処理順序定義を編集して、事業所間オーダーおよび会社間オーダーの処理を続行できます。

[非在庫品目用品目マスターの編集]を選択して、事業所間オーダーの行タイプを非在庫品目として設定できます。これらの行タイプ機能により、F4102 テーブルの品目番号、F4105 と F4106 テーブルの原価と価格情報を検証し、会社間オーダーに固有の行タイプに関するトランザクションを元帳クラス勘定に書き込むことができます。直送オーダーと同様に、販売事業所では引当処理と引当可能数量チェックのどちらも実行されません。

## 事業所間オーダーのデフォルト情報について

事業所間オーダーおよび会社間オーダーの場合、受注オーダー入力プログラムの処理オプションで指定する価格設定方式コードに基づいて価格情報が取得されます。基本価格または原価加算割増を選択すると、次のように価格が取り込まれます。

- 事業所間オーダーの場合、基本価格優先階層に基づいた供給事業所の F4106 テーブルから価格情報が取り込まれます。

基本価格優先階層を定義して、出荷先または販売先の住所番号に基づいた価格の検索が可能です。

- 詳細事業所（仕入先）に基づいて、F4105 テーブルから原価情報が取り込まれます。
- 出荷確認時に会社間オーダーを作成すると、事業所間オーダーの単位原価が会社間オーダーの単価となります。

顧客に対する通貨情報は一時変更できます。異なる通貨で海外からのオーダーを処理する場合に役に立ちます。多通貨の場合、次の処理が実行されます。

- 会社間請求書の場合、会社別顧客マスター テーブル (F03012) で顧客としての販売事業所、およびに供給事業所に設定されている通貨コードの為替レート情報が販売事業所受注オーダーに取り込まれます。
- 事業所間（顧客）請求書の場合、販売先顧客向け顧客マスターで販売事業所に設定されている通貨コードから為替レート情報が顧客に取り込まれます。

価格や原価を含むオーダー情報はオーダー入力中に一時変更できます。また、環境設定によりその他のデフォルト情報を一時変更することもできます。

## 事業所間オーダー入力について

事業所間オーダーを入力するには、受注オーダー入力の処理オプションで適切な価格設定方式コードと事業所間オーダー タイプが設定されていることを確認し、顧客請求書の他に会社間請求書を作成するかどうか指定していることを確認します。

処理オプションの組み合わせによって、次のオプションを指定できます。

- 割増し価格を使用するが、会社間請求書は生成しない
- 割増し価格を使用し、会社間請求書を生成する
- 事業所間価格を使用するが、会社間請求書を生成しない
- 事業所間価格を使用し、会社間請求書を生成する

供給事業所の出荷先または販売先情報に基づいて、F4106 テーブルで事業所間オーダーの基本価格を設定できます。原価割増しは、事業所間での事業所間関係マスター (F3403) の販売事業所および供給事業所間で設定する特定の価格を指します。この割増しは在庫費用に適用されます。

---

**注:** 会社間請求書を生成する場合は、受注オーダー入力、請求書印刷、売上更新 (R42800) で同じ会社間伝票タイプを指定する必要があります。

---

### 出荷確認中の会社間オーダーの作成

会社間オーダーとは、供給事業所と販売事業所間のトランザクションをトラッキングするオーダーのことです。事業所間オーダーが顧客に対する受注オーダーであるのに対して、会社間オーダーは供給事業所に対する購買オーダーです。会社間オーダーが直送オーダーと異なるのは、仕入先が供給倉庫であり、販売先住所が販売事業所、出荷先住所が顧客番号となる点です。また、出荷を確認するまでは会社間オーダーは作成されません。

事業所間受注オーダーを確認する際、出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) の処理オプションが検証され、会社間オーダーおよびそのバージョンを作成するかどうか判断されます。事業所間オーダーの原価フィールドの金額は、会社間オーダーの価格として使用されます。会社間受注オーダーの作成 (R4210IC) のバージョンから会社間オーダーが作成されます。

会社間オーダーの作成後は、受注オーダー入力力で事業所間または会社間オーダーを変更すると、「整合性を維持するために対応するオーダーを変更してください」という内容の警告メッセージが表示されます。

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「出荷の確認」、455ページ

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- F3403 テーブルに割増原価が設定されていることを確認する (必要な場合)

参照: 第 3 章、「オーダー処理情報の設定」、「事業所間の原価割増しの設定」、54ページ

- 適切な価格設定方式コードおよび会社間オーダー タイプを使用するように受注オーダー入力の処理オプションを設定していること、および会社間請求書を作成するかどうかを指定していることを確認する
- 出荷確認時に手持在庫をリリースする場合は、UDC 40/IU で事業所間受注オーダーにオーダー タイプを設定していることを確認する
- 会社間オーダーに対応する購買オーダーに、オーダー タイプ、行タイプ、オーダー処理順序定義を作成していることを確認する

会社間購買オーダーは、伝票突合せ (P4314) で適切な仕訳を作成するために行タイプを使用して作成する必要があります。

## 事業所間オーダーの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注明細]	オーダーの検討と選択
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	[受注残および完了オーダー照会]の[追加]をクリック	事業所間オーダーの追加と改訂

## 事業所間オーダーの入力

[受注オーダー明細の改訂] フォームにアクセスします。

事業所間オーダーは、事前設定を完了してから基本的な受注オーダーと同じ方法で入力します。

参照: [第 7 章、「受注オーダーの入力」、125ページ](#)

## 第 10 章

# オーダーの保留、リリース、および検討

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)  
この章では、オーダーの保留とリリース、事前設定、および以下の方法について説明します。

- オーダー保留
- 保留オーダーのリリース
  - (Rapid Start) Release order hold for selling a direct ship item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Release order hold for selling a make-to-order item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Release order hold for selling from inventory
- 保留バックオーダーのリリース
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Release backorders online for selling from inventory
- 一括オーダーのリリース
- 見積オーダーのリリース
  - (Rapid Start) Release sales quote for selling a direct ship item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Release sales quote for selling a make-to-order item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Release sales quote for selling from inventory
- 品目情報の検討
- 顧客情報と売上情報の検討
- コミッション情報の検討

---

## オーダーの保留とリリースについて

一部の環境では、顧客のオーダーを保留にする必要があります。たとえば、顧客の与信の問題により、顧客のオーダーを保留することがあります。与信の問題が解決したら、オーダーのリリースを使用して、オーダーを処理サイクルに戻したり、受注オーダー処理を開始することができます。また、一括オーダーや見積オーダーを保留している場合には、それらのオーダーをリリースして、受注オーダーを作成することができます。

オーダーを保留すると、そのオーダーは処理サイクルから除外されます。オーダーをリリースすると、そのオーダーは処理サイクルに戻されます。

---

## 事前設定

ユーザーのパスワードを含む、オーダーの保留情報の設定

参照: 第 3 章、「オーダー処理情報の設定」、「オーダー保留情報の設定」、64ページ

---

## オーダーの保留

このセクションでは、オーダーの保留の概要、および与信保留のバッチ処理プログラム (R42542) の処理オプションの設定方法について説明します。

### オーダーの保留について

オーダーの入力中には、オーダーの保留情報を含むさまざまな方法で、システムによりオーダーを評価することができます。オーダーの保留処理を有効にすると、オーダー情報が評価され、オーダーを保留にするかどうか決定されます。オーダーを保留にする必要があるとシステムにより判断された場合は、オーダーを処理する前にオーダーの保留警告が送信されます。

オーダーの入力時には、システムにより与信チェックを実行し、オーダーを与信保留にすることができます。ときには、既存の受注オーダーに対して顧客の与信限度を確認し、オーダーを与信保留にする必要がある場合があります。与信限度を超える既存のオーダーを保留するには、与信保留のバッチ処理プログラム (R42542) を使用できます。システムにより、異なる状況にある複数行の受注オーダーを確認するには、最も高い次の状況処理オプションを設定する必要があります。受注オーダーの全ての明細行がこの処理オプションに入力した値以下の場合は、受注オーダーの全てが与信保留になります。

たとえば、受注オーダーの 1 行目の [次の状況] が 590、2 行目の [次の状況] が 540 だとします。そして、最も高い次の状況処理オプションに 560 を入力したとします。この場合は、1 行目の状況が処理オプションの値よりも大きいので、オーダーは保留にはなりません。

### 与信保留のバッチ処理プログラム (R42542) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

バッチ バージョンを使用して、処理オプションにアクセスします。

### デフォルト

#### 1. 開始状況コード

与信保留のバッチ処理を行うオーダーを選択するために、状況コード範囲の開始を指定するコード (UDC 40/AT) を入力します。オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定した状況を使用する必要があります。開始状況コードと終了状況コードの組み合わせは、処理するオーダー



タイプと行のタイプについて、オーダー処理順序定義テーブル内にある最後の状況と次の状況の有効な組み合わせである必要があります。

## 2. 終了状況コード

与信保留のバッチ処理を行うオーダーを選択するために、状況コード範囲を指定するコード (UDC 40/AT) を入力します。オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定した状況を使用する必要があります。開始状況コードと終了状況コードの組み合わせは、処理するオーダータイプと行のタイプについて、オーダー処理順序定義テーブル内にある最後の状況と次の状況の有効な組み合わせである必要があります。

## 3. 基準日状況

このオプションを使用して、処理するオーダーの指定に [必要な前回状況] と [次の状況] のフィールドを使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

1: [必要な前回状況] の値が、処理オプションの開始状況コードと終了状況コードの範囲内にあるオーダーを選択します。

2: [次の状況] の値を使用して、オーダーを選択します。

## 4. 一時変更用「次の状況」

オーダー処理の次のステップを示す UDC (40/AT) を入力します。指定する UDC (40/AT) は、使用するオーダータイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義に設定済みである必要があります。この一時変更用状況は、与信保留のバッチ処理で実行できるもう 1 つの任意のステップになります。開始状況と一時変更用次の状況の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブル内にある最後の状況と次の状況の有効な組み合わせである必要があります。

## 5. 「次の状況」の更新

オーダー処理順序定義テーブルの次の状況を更新しないかどうかを指定します。指定する UDC (40/AT) は、使用するオーダータイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義に設定済みである必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク:既存のオーダー処理順序定義の次の状況を更新します。

1: 次の状況を更新しません。

## 6. 最も高い次の状況

受注オーダーに与信保留を適用するために、受注オーダー明細行に指定できる最も高い次の状況を示すコード (UDC 40/AT) を入力します。この値よりも大きい次の状況では、与信保留の評価は行われません。

## 7. 保留オーダーコード

顧客マスター情報に設定した顧客の与信限度と、オーダーおよび売掛金残高をシステムが自動比較するために使用するコード (UDC 42/HC) を入力します。オーダー保留情報 (P42090) にオーダーを保留にする条件を定義し、その条件を保留コードに添付します。オーダー保留処理を有効にするには、この処理オプションに保留コードを指定する必要があります。

---

# 保留オーダーのリリース

このセクションでは、オーダーのリリースの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 保留リリース (P43070) の処理オプションの設定
- 保留オーダーのリリース
- 与信保留のバッチ リリース

- ・ 与信保留のバッチ リリース (R42550) の処理オプションの設定

## オーダーのリリースについて

何らかの理由でオーダーを保留にする場合があります。たとえば、粗利益条件を満たさないオーダーや顧客の与信限度額を超過するオーダーなどを保留にすることがあります。保留にしたオーダーの処理を再開するには、その保留オーダーをリリースする必要があります。これは、バックオーダーのオンラインリリース (P42117) またはバックオーダー リリース (R42118) のバッチ プログラムで実行できます。

オーダーまたはオーダー行を満たすのに十分な引当可能数量が在庫にない場合、システムによりオーダーを処理サイクルから除外できます。このタイプの保留はバックオーダーと呼ばれます。オーダーまたはオーダー行をバックオーダーにする場合、在庫が引当可能となった時点でバックオーダーをリリースして処理サイクルに戻す必要があります。

JDESOENTRY ワークフロー処理をアクティブにすると、保留をチェックした上でオーダーが処理されます。[OK] をクリックしてオーダーを受け入れると、保留コードの処理オプションの確認後にオーダーとその保留情報が比較されます。

オーダーが保留になると、保留コードに担当者として定義した住所番号あてに電子メールでメッセージが送信されます。このメッセージはオーダーが保留中であることを示します。オーダーをリリースする担当者は、ワークフロー処理時にワーク センターでメッセージの内容を検討して、リリースするオーダーにアクセスできます。オーダーがリリースされると、コミッション フィールドと販売先番号に定義されている販売担当者に、オーダーが処理中であることを示す電子メールが送信されます。

オーダーを処理サイクルに戻すには、そのオーダーをリリースします。たとえば、顧客の与信限度額を超過するオーダーを入力するとオーダーが保留になります。顧客が支払を行うと与信状況が変更になり、オーダーの充当処理が可能になります。ただし、顧客のオーダーをリリースしない限り、オーダーの処理は行われません。オーダーをリリースするには、適切なセキュリティ権限が必要です。

オーダーは以下のさまざまな理由から保留にできます。

- ・ 与信保留などの顧客保留
- ・ 粗利益条件を満たさない明細行などの品目保留
- ・ 最小金額に満たないオーダーや最大金額を超過するオーダーなどに対するオーダー保留

顧客に対する品目やオーダーのリリースは必要に応じて何回でも行うことができます。保留受注オーダーの印刷レポート (R42640) を印刷して、保留状態の受注オーダーを全て検討することができます。

オーダーのリリース処理を短縮するために、親会社の住所番号に基づいてオーダーを選択し、リリースすることができます。

さらに、与信保留のバッチ リリース (R42550) を使用して、与信保留中の受注オーダーをリリースできます。受注オーダーは、ピッキング日付と顧客の与信限度額に基づいてリリースされます。顧客が未処理の請求書に充当する支払を行い、かつ既存の受注オーダーに適用する与信残高を有する場合には、ピッキング日付別に受注オーダーの明細行が検討されます。受注オーダーは、オーダー明細行の最短のピッキング日付を使用して、保留からリリースされます。

参照: [第 3 章、「オーダー処理情報の設定」、「事業所間の原価割増しの設定」、54ページ](#)

## 事前設定

追加のオーダー タイプ用に状況コードとオーダー処理順序定義を設定していることを確認します。

返品オーダーおよび直送オーダーに関連する行タイプを設定していることを確認します。

参照: [第 2 章、「受注管理システムの設定」、「オーダー行タイプの設定」、39ページ](#)

## 保留オーダーのリリースに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[保留オーダーの処理]	W43070A	[追加オーダー処理] (G4212)、[保留リリース]	保留中のオーダーを検討して選択します。
[パスワードの確認]	W43070B	オーダーを選択し、[保留オーダーの処理]の [ロー]メニューから[リリース]を選択	保留オーダーをリリースするパスワードを入力します。

## 保留リリース (P43070) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## デフォルト

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne の導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに処理オプションを変更することができます。

- |                    |                              |
|--------------------|------------------------------|
| 1. <b>オーダー タイプ</b> | リリースするオーダー タイプの UDC 値を入力します。 |
| 2. <b>リリース コード</b> | リリース コードの UDC 値を入力します。       |

表示

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1: 受注オーダーまたは購買オーダーの表示 | <p>受注オーダーと購買オーダーのいずれを表示するかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク:購買オーダーを表示します。</p> <p>1: 受注オーダーを表示します。</p> |
| 2: 以前リリースしたオーダーの表示    | <p>以前リリースしたオーダーを表示するには、「Y」と入力します。</p>  |

## バージョン

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 1. 受注オーダー入力<br>(P4210) | 受注オーダー入力プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。 |
| 2. 購買オーダー入力<br>(P4310) | 購買オーダー入力プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。 |

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <b>3. ピッキング リストの印刷 (R42520)</b> | ピッキング リストの印刷プログラムのバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。                                 |
| <b>4. シップ アンド デビット (R45100)</b> | シップ アンド デビット プログラムのバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。                                |
| <b>5. 製造作業オーダー (P48013)</b>     | 製造作業オーダープログラムのバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。受注オーダーのリリースでのみこの処理オプションフィールドが使用されます。 |

## 処理

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. ピッキング リストの自動印刷</b>                  | ピッキング リストを自動印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白:ピッキング リストを印刷しません。<br>1: ピッキング リストを自動印刷します。                         |
| <b>2. 作業オーダーのリリース状況コード</b>                | 作業オーダーの状況の UDC 値を入力します。   |
| <b>3. シップ アンド デビット 処理</b>                 | シップ アンド デビットの処理モードを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白:R45100 を使用しません。<br>1: サブシステム モードを使用します。<br>2: バッチ モードを使用します。         |
| <b>4. 親会社または出荷先の与信保留リリース処理 (受注オーダーのみ)</b> | 与信保留中の受注オーダーのリリースを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白:親会社または出荷先の与信保留のリリースを許可しません。<br>1: 親会社または出荷先の与信保留のリリースを許可します。 |

---

**注:** この処理オプションは、受注オーダーの与信保留オーダーでのみ使用できます。

---

## 倉庫

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>1. 要求処理モード</b>     | ピッキング要求の処理モードを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白:ピッキング要求を指定しません。<br>1: 要求のみを作成します。<br>2: 要求を作成し、サブシステムを使用して処理します。 |
| <b>2. ピッキング要求の処理</b>  | サブシステムを使用してピッキング要求を処理する場合は、使用する P46171 プログラムのバージョンを入力します。  |
| <b>3. 一時変更用「次の状況」</b> | 要求を作成する受注オーダー行を一時変更する次の状況を入力します。   |

## 前払

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 承認保留をリリースし、保留コードの UDC 値を入力します。  
前払状況を進めます。
2. 決済保留をリリースし、保留コードの UDC 値を入力します。  
前払状況を進めます。

## 保留オーダーのリリース

[保留オーダーの処理] フォームにアクセスします。

[担当者 No.] 保留中のオーダーを検討し、リリースする担当者の住所番号を入力します。

[仕入先/顧客] 2 番目の説明または備考 (最大 30 文字) を入力します。

[親住所 No.] 親会社の住所番号を入力します。この番号は、特定の住所を親会社または所在地と関連付けるために使用されます。このフィールドに入力した値で、住所録組織構造マスター テーブル (F0150) 内にある構造タイプがブランクのレコードが更新されます。検証目的で住所録マスター テーブル (F0101) に設定されている住所番号のみを使用することができます。親会社 No. を持つ住所録レコードの例として、子会社、支社、または契約会社の作業場所などがあります。

[出荷先] このオーダーの出荷先の住所番号を入力します。住所録には、顧客住所のデフォルト値 (国、郵便番号、県、市町村、番地など) があります。

## 与信保留のバッチ リリース

与信保留のバッチ リリース (R42550) を使用して、与信保留中のオーダーをリリースできます。与信保留のバッチ リリース プログラムでは、顧客の与信限度額と未決済請求額に基づいて、保留オーダー テーブル (F4209) にある保留中の受注オーダーをリリースし、受注オーダー見出しファイル テーブル (F4201) のオーダーについてオーダー保留コードを削除します。

[略式コマンド] に「BV」と入力します。[バッチ バージョンの処理 - 使用可能なバージョン] の [バッチ プログラムID] フィールドに、「R42550」と入力します。

## 与信保留のバッチ リリース (R42550) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## デフォルト

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne の導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに処理オプションを変更することができます。

<b>[開始状況コード]</b>	オーダーの選択に使用する状況コード範囲の開始を指定します。オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定した状況を使用する必要があります。開始状況コードと終了状況コードの組み合わせは、処理するオーダー タイプと行のタイプについて、オーダー処理順序定義テーブル内にある最後の状況と次の状況の有効な組み合わせである必要があります。
<b>[終了状況コード]</b>	オーダーの選択に使用する状況コード範囲を指定します。オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定した状況を使用する必要があります。開始状況コードと終了状況コードの組み合わせは、処理するオーダー タイプと行のタイプについて、オーダー処理順序定義テーブル内にある最後の状況と次の状況の有効な組み合わせである必要があります。
<b>[基準日状況]</b>	受注オーダー明細テーブルの選択基準として、必要な前回状況と次の状況のいずれを使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。 1: 必要な前回状況に基づいて選択します。 2: 次の状況に基づいて選択します。
<b>[リリース コード]</b>	保留オーダーのリリースを行う担当者 (担当部署) の ID を表す UDC (40/RC) を入力します。保留オーダーのリリース時に、F4209 テーブルがこの値に更新されます。
<b>[与信保留コード]</b>	オーダー保留の理由 (与信、予算、または粗利率の基準を超過など) を示す UDC (42/HC) を入力します。
<b>[テスト モードと最終モード (将来使用)]</b>	プログラムをテスト モードと最終モードのいずれで実行するかを指定します。有効値は以下のとおりです。 ブランク: テスト モードで実行します。 1: 最終モードで実行します。

## 印刷

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne の導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに処理オプションを変更することができます。

<b>金額の印刷</b>	レポートに金額を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 ブランク: レポートに金額を印刷します。 1: レポートに金額を印刷しません。
--------------	--

---

## (Rapid Start) Releasing Order Hold for Selling a Direct Ship Item

This section discusses:

- How to release order hold for selling a direct ship item.

- Preconfigured processing options for Rapid Start Held Order Release – Sales (P43070).

## Releasing Order Hold for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for releasing order hold for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Release order hold for selling a direct ship item.	Sales Order Processing, Release Order Holds	P43070/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>• Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>• Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Held Order Release – Sales (P43070)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type	SO
2. Release Code	CD

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter a '1' to display SO's, else display PO's	1
2. Enter 'Y' to display previously released orders	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
Enter the version for each program. If left blank, ZJDE0001 will be used.	blank
1. Sales Order Entry (P4210)	RIS0001
2. Purchase Order Entry (P4310)	RIS0001
3. Print Pick Slip (R42520)	blank
4. Ship and Debit (R45100)	blank
5. Manufacturing Work Order (P48013) (Applicable to Release of Sales Orders only)	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
Enter '1' for	blank
1. Automatic printing of Pick Slip.	blank
2. Enter the release status code of the work order	blank
3. Ship and Debit Processing	blank
4. Parent or Ship To Credit Hold Release Processing (Sales Only)	blank

**Warehouse**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the request processing mode	blank
,	blank
2. If processing pick requests using the subsystem, enter the version.	blank
3. Override next status for sales order lines for which requests have been generated.	blank



**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Release Authorization Hold and Advance Prepayment Status.	blank
2. Release Settlement Hold and Advance Prepayment Status.	blank

**関連項目:**

第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「保留リリース (P43070) の処理オプションの設定」、347 ページ

---

## **(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Order Hold for Selling a Make-To-Order Item**

This section discusses how to release order hold for selling a make-to-order item.

### **Releasing Order Hold for Selling a Make-To-Order Item**

This table lists the tasks for releasing order hold for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Release order hold for selling a make-to-order item.	Sales Order Processing, Release Order Holds	P43070/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W = Make-to-Order item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, 99</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Held Order Release - Sales (P43070)」、351 ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Order Hold for Selling from Inventory

This section discusses how to release order hold for selling from inventory.

## Releasing Order Hold for Selling from Inventory

This table lists the tasks for releasing order hold for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Release order hold for selling from inventory.	Sales Order Processing, Release Order Holds	P43070/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Held Order Release – Sales (P43070)」、351ページ

---

## バックオーダーのリリース

このセクションでは、バックオーダーのリリースの概要と以下の方法について説明します。

- バックオーダー リリース (オンライン) (P42117) の処理オプションの設定
- バックオーダーのオンライン リリース
- バックオーダーのバッチ リリース
- バックオーダー リリース/レポート (R42118) の処理オプションの設定

### バックオーダー リリースについて

オーダーまたはオーダー行を満たすのに十分な引当可能数量が在庫にない場合、システムによりオーダーを処理サイクルから除外できます。このタイプの保留はバックオーダーと呼ばれます。在庫が引当可能となった時点で、バックオーダーをリリースします。バックオーダーのリリースではバックオーダー数量より大きな値を入力できます。

以下のテーブルの値が更新されます。

- F4201 - オーダー合計
- F4211 - オーダー数量
- F03012 - 顧客の受注残額
- F41021 - 品目残高

受注オーダーに対する支払手段タイプが現金の場合には、顧客マスター テーブルは更新されません。

バックオーダーのリリースを行う前に、特定の顧客や品目、オーダーに対してバックオーダー情報を検索できます。

---

**注:** 一方のバックオーダーのリリース フォームのグリッド順序を設定して、完全に充当できるバックオーダーのみを表示するように処理オプションを設定した場合、もう一方のフォームのグリッド順序も同様に設定する必要があります。

---

### バックオーダーのバッチ リリース

バックオーダー リリース/レポート プログラム (R42118) を使って、複数のバックオーダーを一度にリリースできます。在庫が引当可能になると、その在庫が全て引き当てられるまで、システムによりバックオーダーがリリースされます。

バックオーダーが充当される順序は、システムにより自動的に決定されます。デフォルトでは日付が最も早いオーダーが最初になります。[顧客請求指示] に設定した優先コードに基づいてオーダーを充当するには、バックオーダー リリース/レポート プログラムの別のバージョンを作成して、日付順序の値を編集します。このバージョンでは優先コード順にオーダーの充当が行われ、次に、要求日付順にオーダーが充当されます。

需要スケジュール管理システムを使用する場合は、レポートの日付/時間列に約束納入時刻情報が記載されます。

## バックオーダーのオンライン リリースに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バックオーダーの処理]	W42117M	[追加オーダー処理] (G4212)、[バックオーダー リリース(オンライン)]	保留中のバックオーダーを 検討して選択します。
[バックオーダー・リリース]	W42117I	リリースするバックオー ダーを見つけ、[バックオー ダーの処理]の[フォーム] メニューから[表示ローの リリース]を選択	表示しているオーダーを 全てリリースします。単 一のバックオーダーをリ リースします。

## バックオーダー リリース (オンライン) (P42117) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### デフォルト

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

#### 1. リリース済みオーダー の「次の状況」

リリース済みオーダーの次の状況として使用する行状況を指定します。オーダー タイプと行タイプの組み合わせに基づいて、オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定した状況を使用する必要があります。

注: 状況を入力しなかったり、無効な状況を入力した場合、オーダーの状況は更新されません。

### 表示

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

#### 1. 完全充当のみ

全行を表示するか、完全充当可能な行のみを表示するかを指定します。このオプションは、品目番号で検索する場合にのみ実行されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:全ての行を表示します。

1: 完全充当可能な行のみを表示します。

#### 2. キット構成品

キット構成品を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:バックオーダー リリースにキット構成品を表示しません。

1: バックオーダー リリースにキット構成品を表示します。

---

**注:** キット構成部品が表示された場合、キット調整はオフになり、キット全体から個別に構成部品をリリースできます。

---

### 3. 保留オーダー

[バックオーダー リリース] フォームに保留オーダーを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 保留オーダーを表示しません。

1: 保留オーダーを表示します。

## 編集

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### 1. 検証する許可済みロット状況グループの入力

検証する許可済みロット状況グループを入力します。受注オーダーの処理中に、ブランク以外のロット状況コードがユーザー定義の状況コードの値と照合されます。ブランク以外のロット状況コードが許可済みロット状況テーブル (F41081) にある場合、ユーザー定義のロット状況コードはブランクと見なされ、保留中の品目は受注オーダーの処理中もそのままになります。

## 処理

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### 1. 使用可能数量に含めるバックオーダー数量

バックオーダー数量を引当可能数量に追加するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: バックオーダー数量を引当可能数量に追加しません。

1: バックオーダー数量を引当可能数量に追加します。

### 2. 引当

リリース済みオーダーを在庫の保管場所にハード コミットする引当プログラムを呼び出すかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 引当プログラムを呼び出さず、リリース済みのオーダーのソフト コミットのみを行います。

1: リリース済みオーダーを在庫の保管場所にハード コミットする引当プログラムを呼び出します。

---

**注:** 引当可能数量を超える数量をリリースすると、オーダーが再びバックオーダーされることがあります。

---

### 3. 出荷数量がバックオーダー数量を上回る場合のリリース

当初数量を上回る数量のリリースを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 当初数量を上回る数量のリリースを許可しません。

1: 当初のバックオーダー数量を上回る数量のリリースを許可します。

### 4. ゼロ手持数量

手持数量がゼロの場合にオーダーのリリースを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 手持数量がゼロの場合にリリースを許可します。

1: 手持数量がゼロのときにオーダーのリリースを許可しません。

---

**注:** この処理オプションにより在庫レベルが負の数量になることがあり、平均原価の計算に影響します。

---

## 5: 原価の更新

リリース済みオーダーを現行原価で更新するかどうかを指定します。この処理オプションにより、オーダーを受けた時点とバックオーダーの数量をリリースした時点の間で原価が変化している品目について、原価を更新することができます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 原価を更新しません。

1: リリース済みオーダーを現行原価で更新します。

---

**注:** 販売価格は変更しません。

---

## 6. シップ アンド デビット 処理

バックオーダー リリース プログラムを実行するときに、シップ アンド デビット契約の指定と調整に、サブシステム、バッチ、または通常の処理のいずれを使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 通常処理を使用します。

1: サブシステムを使用します。

2: バッチ処理 (R45100) を使用します。

## オーダー保留

以下の処理オプションで、与信チェックと部分オーダー保留コードを指定します。

### 1. 与信チェック保留コード

UDC (42/HC) に設定されている値を入力します。この処理オプションを使用して、顧客マスター情報に設定した顧客の与信限度と、オーダーおよび売掛金残高をシステムが自動比較するために使用する与信保留コードを指定します。オーダー保留情報 (P42090) にオーダーを保留にする条件を定義し、その条件を保留コードに添付します。オーダー保留処理を有効にするには、この処理オプションに保留コードを指定する必要があります。

### 2. 部分オーダー保留コード

UDC (42/HC) に設定されている値を入力します。この処理オプションを使用して、オーダー明細行に充当する数量がない場合にオーダー全体を保留するためのコードを指定します。バックオーダー リリースで、オーダーが完全充当される場合に保留をリリースするには、部分オーダー保留コードを入力する必要があります。これにより、[顧客請求指示]、[品目マスター情報]、[事業所品目情報]、および [事業所固定情報] のフォームの情報に基づいて、保留のリリースと削除ができます。正しい部分保留コードを入力しない場合、バックオーダー リリースによる保留オーダーのリリースは行われません。

## 印刷

以下の処理オプションで、ピッキング リストや請求書を自動印刷するかどうかを指定します。

### 1. 自動印刷

請求書を自動印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 請求書とピッキング リストを印刷しません。

1: ピッキング リストを自動印刷します。

2: 請求書を自動印刷します。

---

**注:** ピッキング リストの印刷 (R42520) や請求書印刷 (R42565) のバージョンを指定するには、[バージョン] タブの処理オプションを使用します。

---

## バージョン

以下の処理オプションで、使用するプログラムのバージョンを指定します。

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 1. 受注オーダー入力 (P4210)       | [ロー] メニューから [受注明細] を選択したときに、オーダーの検討に使用する受注オーダー入力プログラムのバージョンを指定します。                       |
| 2. 受注残および完了オーダー照会 (P4210) | [フォーム] メニューから [受注残および完了オーダー照会] を選択したときに、オーダーの検討に使用する受注残および完了オーダー照会 (P4210) のバージョンを指定します。 |
| 3. 在庫状況 (P41202)          | [フォーム] メニューから [在庫状況] を選択したときに、品目情報の検討に使用する在庫状況 (P41202) のバージョンを指定します。                    |
| 4. サブシステムの請求書印刷 (R42565)  | サブシステム処理に設定する請求書印刷 (R42565) のバージョンを指定します。サブシステムで請求書を作成する場合に、この処理オプションを使用します。             |

---

**注:** この処理オプションを使用するには、バックオーダー リリース プログラムで請求書を自動印刷するために、[印刷] タブの自動印刷処理オプションに「2」と入力する必要があります。

---

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 5. サブシステムのピッキング リスト印刷 (R42520) | サブシステム処理に設定するピッキング リストの印刷 (R42520) のバージョンを指定します。サブシステムで請求書を作成する場合に、この処理オプションを使用します。 |
|--------------------------------|---|

---

**注:** この処理オプションを使用するには、バックオーダー リリース プログラムでピッキング リストを自動印刷するために、[印刷] タブの 自動印刷処理オプションに「1」と入力する必要があります。

---

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 6. シップ アンド デビット (R45100) | バックオーダー リリース プログラムを実行するときに、シップ アンド デビット契約の指定と調整を行うサブシステムまたはバッチ処理 (R45100) のバージョンを指定します。 |
|--------------------------|---|

## 倉庫

以下の処理オプションで、倉庫管理による要求のピッキング方法を指定します。

- |                      |   |
|----------------------|---|
| 1. 要求処理モード           | <p>倉庫管理でピッキング要求を作成し、サブシステムで要求を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク:ピッキング要求を作成しません。</p> <p>1: 倉庫管理でピッキング要求が作成されます。</p> <p>2: ピッキング要求を作成し、倉庫管理のサブシステムで要求を処理します。</p> <p>ピッキング要求は、オーダーについて特定の保管場所の在庫をピッキングする提案を処理するために使用されます。</p> |
| 2. サブシステムでのピッキング要求印刷 | サブシステム処理に設定するピッキング要求の印刷 (P46171) のバージョンを指定します。この処理オプションは、サブシステムで倉庫管理のピッキング要求を作成する場合に使用します。  |



- 3. 一時変更用「次の状況」** オーダー処理の別の状況を指定する UDC (40/AT) を入力します。オーダー タイプと行タイプのそれぞれの組み合わせに対して、オーダー処理順序定義に次の状況を設定する必要があります。開始状況と一時変更用次の状況の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブル内にある最後の状況と次の状況の有効な組み合わせである必要があります。

## バックオーダーのオンライン リリース

[バックオーダーの処理] フォームにアクセスします。

需要スケジューリングを使用する場合は、バックオーダーをリリースするときに、オーダーの要求納期時刻、およびピッキング予定時刻の情報が表示されます。この情報により、日付と時刻に基づいて製品をリリースできます。

## バックオーダーのバッチ リリース

[追加オーダー処理] (G4212)、[バックオーダー リリース (バッチ)]

## バックオーダー リリース/レポート (R42118) の処理オプション

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### デフォルト

以下の処理オプションでは、バックオーダー リリース/レポート プログラム (P42118) でトランザクションに対して他の値が入力されていない場合に使用される伝票タイプなどのデフォルト値を指定します。

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| <b>1. リリース済みオーダーの「次の状況」</b> | リリース済みオーダーの次の状況として使用する行状況を指定します。オーダー タイプと行タイプの組み合わせに基づいて、オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定した状況を使用する必要があります。 |
|-----------------------------|--|

注: 状況を入力しなかったり、無効な状況を入力した場合、オーダーの状況は更新されません。

### 編集

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| <b>1. 検証する許可済みロット状況グループの入力</b> | 検証する許可済みロット状況グループを入力します。受注オーダーの処理中に、ブランク以外のロット状況コードがユーザー定義の状況コードの値と照合されます。ブランク以外のロット状況コードが F41081 テーブルにある場合、ユーザー定義のロット状況コードはブランクと見なされ、保留中の品目は受注オーダーの処理中もそのままになります。 |
|--------------------------------|--|

## 処理

この処理オプションでは、受注オーダー入力プログラム (P4210) で以下の処理を実行するかどうかを制御します。

- バックオーダー数量を引当可能数量に含める。
- 引当処理を有効にする。
- 出荷数量がバックオーダー数量を超過する場合に、オーダーのリリースを許可する。
- 手持数量がゼロの場合に、オーダーのリリースを許可する。
- 最新の原価でのオーダーの更新を許可する。
- シップ・アンド デビット契約の指定と調整を許可する。

### 1. 処理モード

バックオーダー リリース/レポートをテスト モードと最終モードのいずれで実行するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モードで実行します。受注オーダー行の変更は行われず、バックオーダーは充当されません。テスト モードでは、在庫を充当できる受注オーダー行が表示されるのみです。

1: プログラムを最終モードで実行し、バックオーダー行の更新と充当が行われます。

### 2. 使用可能数量に含める バックオーダー数量

バックオーダー数量を引当可能数量に追加するかどうかを指定します。このオプションにより、さらに多くの数量でオーダーを充当できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: バックオーダー数量を引当可能数量に追加しません。

1: バックオーダー数量を引当可能数量に追加します。

### 3. 引当

リリース済みオーダーを在庫の保管場所にハード コミットする引当プログラムを呼び出すかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 引当プログラムを呼び出さず、リリース済みのオーダーのソフト コミットのみを行います。

1: リリース済みオーダーを在庫の保管場所にハード コミットする引当プログラムを呼び出します。

---

**注:** 引当可能数量を超える数量をリリースすると、オーダーが再びバックオーダーされることがあります。

---

### 4. 出荷数量がバックオーダー数量を上回る場合の リリース

手持数量がゼロのときにオーダーのリリースを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 手持数量がゼロのときにオーダーのリリースを許可しません。

1: 手持数量がゼロのときにオーダーのリリースを許可します。

---

**注:** このオプションにより在庫レベルが負の数量になることがあり、平均原価の計算に影響します。

---

### 5. 原価の更新

リリース済みオーダーを現行原価で更新するかどうかを指定します。このオプションにより、オーダーを受けた時点とバックオーダーの数量をリリースした時点の間で原価が変化している品目について、原価を更新することができます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:原価を更新しません。

1: リリース済みオーダーを現行原価で更新します。

---

**注:** 販売価格は変更しません。

---

## 6. シップ アンド デビット 処理

バックオーダー リリース プログラムの実行時に、シップ アンド デビット契約の指定と調整に使用する処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:サブシステム処理とバッチ処理を使用しません。

1: サブシステムを使用します。

2: バッチ処理 (R45100) を使用します。

## オーダー保留

以下の処理オプションにより、オーダー保留処理を有効にします。オーダー保留処理を有効にするには、以下の処理オプションのいずれかで保留コードを指定する必要があります。保留パラメータはオーダー保留固定情報 (P42090) に設定します。保留コードが複数設定されていると、1 件のオーダーが複数の保留コードにより保留になることがあります。この場合は、オーダーの処理前に全ての保留状態からリリースする必要があります。

### 1. 与信チェック保留コード

顧客マスター情報に設定した顧客の与信限度と、オーダーおよび売掛金残高をシステムが自動比較するために使用する与信保留コードを指定します。

オーダー保留情報 (P42090) にオーダーを保留にする条件を定義し、その条件を保留コードに添付します。

オーダー保留処理を有効にするには、この処理オプションに保留コードを指定する必要があります。

UDC (42/HC) に設定されている値を入力する必要があります。

### 2. 部分オーダー保留コード

オーダー明細行に充当する数量がない場合にオーダー全体を保留するためのコードを指定します。バックオーダー リリースで、オーダーが完全充当される場合に保留をリリースするには、部分オーダー保留コードを入力する必要があります。これにより、[顧客請求指示]、[品目マスター情報]、[事業所品目情報]、および [事業所固定情報] のフォームの情報に基づいて、保留のリリースと削除ができます。正しい部分保留コードを入力しない場合、バックオーダー リリースによる保留オーダーのリリースは行われません。

UDC (42/HC) に設定されている値を入力します。

## 印刷

以下の処理オプションにより、完全に充当可能なオーダーや保留オーダー、キット構成品のオーダー情報を印刷するかどうかを指定します。

### 1. 合計充当オーダー

全行を表示するか、完全充当可能な行のみを表示するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:全行を印刷します。

1: 完全充当可能な行のみを印刷します。

- |                      |   |
|----------------------|---|
| <b>2. 保留オーダーの印刷</b>  | 保留オーダーを印刷し、保留オーダーのリリースを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: 保留オーダーを印刷しません。<br>1: 保留オーダーを印刷し、保留オーダーのリリースを許可します。 |
| <b>3. キット構成成品の印刷</b> | バックオーダー リリースのキット構成成品を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: キット構成成品を印刷しません。<br>1: バックオーダー リリースにキット構成成品を印刷します。    |

---

**注:** キット構成成品が表示された場合、キット調整はオフになり、キット全体から個別に構成成品をリリースできます。

---

## バージョン

以下の処理オプションにより、バックオーダー リリース処理中に使用するバージョンを指定します。ブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <b>1. サブシステムの請求書印刷 (R42565)</b>      | サブシステムで請求書を作成する場合、サブシステム処理に設定する請求書印刷 (R42565) のバージョンを指定します。                       |
| <b>2. サブシステムのピッキングリスト印刷 (R42520)</b> | サブシステムでピッキング リストを作成する場合、サブシステム処理に設定するピッキング リストの印刷 (R42520) のバージョンを指定します。          |
| <b>3. シップ アンド デビット (R45100)</b>      | バックオーダー リリース プログラムを実行するときに、シップ アンド デビット契約の指定と調整を行うサブシステム処理 (R45100) のバージョンを指定します。 |

## 倉庫

以下の処理オプションは倉庫管理システムと共に使用されます。倉庫管理システムを使用すると、ピッキング要求処理モード、ピッキング要求の印刷 (R46171) のバージョン、および一時変更用次の状況の値を指定できます。

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| <b>1. 要求処理モード</b>           | ピッキング要求を作成し、サブシステムで要求を処理するかどうかを指定します。ピッキング要求は、オーダーについて特定の保管場所の在庫をピッキングする提案を処理するために使用されます。この処理オプションをブランクにすると、ピッキング要求は作成されません。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: ピッキング要求を作成しません。<br>1: ピッキング要求の作成のみを行います。<br>2: ピッキング要求を作成し、サブシステムで要求を処理するかどうかを指定します。 |
| <b>2. サブシステムでのピッキング要求印刷</b> | サブシステムで倉庫管理のピッキング要求を作成する場合、サブシステム処理に設定するピッキング要求の印刷 (P4617) のバージョンを指定します。  |
| <b>3. 一時変更用「次の状況」</b>       | オーダー タイプと行タイプの組み合わせに基づいて、オーダー処理順序定義に設定した UDC (40/AT) を指定して、オーダー処理の別のステップを入力します。開始状況と一時変更用次の状況の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブル内にある最後の状況と次の状況の有効な組み合わせである必要があります。   |

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR and USA) Releasing Backorders Online for Selling from Inventory

This section discusses:

- How to release backorders online for selling from inventory.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Release Backorders (P42117).

### Releasing Backorders Online for Selling from Inventory

This table lists the tasks for releasing backorders online for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Release backorders online for selling from inventory.	Sales Order Processing, Release Backorders On-Line	P42117/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>• Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>• Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>• To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>• Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Release Backorders (P42117)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status for Released Orders	540

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Total Fill Only	blank
2. Kit Components	1
3. Held Orders	blank
4. Next Status to Select	540

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Backorder Quantity as Available Quantity	1
2. Commitments	blank
3. Release when Quantity to Ship Exceeds Backordered Quantity	1
4. Zero On-Hand Quantity	1
5. Cost Update	blank
6. Ship and Debit Processing	blank

## Order Holds

Processing Option Description	Value or Status
1. Credit Check Hold Code	C1
2. Partial Order Hold Code	blank

## Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Automatic Print	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Order Entry (P4210)	RIS0001
2. Customer Service Inquiry (P4210)	RIS0001
3. Item Availability (P41202)	RIS0001
4. Subsystem Print Invoice (R42565)	blank
5. Subsystem Print Picking Slip (R42520)	blank
6. Ship and Debit (R45100)	blank

## Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Request Processing Mode	blank
2. Subsystem Print Pick Request	blank
3. Override Next Status	blank

### 関連項目:

第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「バックオーダー リリース (オンライン) (P42117) の処理オプションの設定」、357 ページ

## 一括オーダー リリース

このセクションでは、一括オーダー リリースの概要、および以下の方法について説明します。

- 一括オーダー リリース (P43070) の処理オプションの設定

- 一括オーダー リリース

## 一括オーダー リリースについて

一括のオーダーまたは見積から、顧客に対する受注オーダーを作成できます。一括オーダー リリース プログラム (P420111) を使用して、一括オーダーから手作業で品目の数量を差し引きます。指定した数量の受注オーダーが作成されます。一括オーダーの残りの数量は、将来のオーダー用に維持されます。いつ受注オーダー数量が一括オーダー数量を超えるかも表示されます。

オーダー行は、販売先、事業所、および通貨コードの情報に基づいて集計されます。ユーザーが入力したオーダー番号は、システムが作成する受注オーダーと同様に集約できます。たとえば、複数のレコードを選択してリリースし、最初のレコードのみに新しいオーダー番号を入力するとオーダーが集約されます。

一括オーダーのリリースでは、受注オーダー番号を指定して、リリース日付および数量を確認できます。番号を指定すると、重複するオーダー番号および行タイプの組み合わせがないかどうか照合されます。重複があった場合には、オーダーの処理が停止され、伝票番号が既に存在することを示すエラーメッセージが表示されます。受注オーダーの処理の前に、オーダーに一意の番号を割り当てる必要があります。オーダー番号を入力しないと、受注オーダー番号が自動採番されます。

単一または複数の一括オーダーを自動または手動でリリースできます。指定条件に一致する一括オーダーが複数ある場合に、デフォルトで一括オーダーを選択するかどうかを指定することができます。

電子購買オーダー (EDI 850 オーダー) で受け取ったオーダーなど、ある顧客について複数の一括オーダーがある場合は、システムによりリリースされる一括受注オーダーが自動特定されるように設定できます。処理条件に一致する一括オーダーが複数存在しないように、以下の値に基づいて一括オーダーを処理できます。

- 販売先と品目
- 出荷先と品目
- 販売先、品目、および顧客発注番号
- 出荷先、品目、および顧客発注番号
- 配送先と品目
- 配送先、品目、および顧客発注番号

リリース数量および日付の確認や受注オーダー番号の指定をせずに、複数の一括オーダーを一度にリリースし、各一括オーダーの品目の総数量をリリースできます。これを行うには、[ロー] メニューから [総数量リリース] を選択します。総数量に対する受注オーダーが作成され、自動採番プログラム (P0002) により受注オーダー番号が割り当てられます。

受注一括オーダーのリリース プログラムのカスタマー セルフサービス バージョンを使用している場合は、適切な処理オプションを設定しておくことにより、複数の一括オーダー、および一括オーダーの複数行から数量を部分リリースすることができます。受注オーダーが作成されるときに、作成された各受注オーダーの番号を確認できます。リリース済みの行を全て取り消すのではなく、単一行を取り消すことができます。

一括オーダーから受注オーダーを作成するには、当初一括オーダーの計量単位を使用する必要があります。受注オーダーの計量単位が一括オーダーの単位と異なる場合には、一括オーダーのリリースは開始されません。

参照: 第 9 章、「追加オーダーの入力」、「一括オーダーの入力」、300 ページ



## 一括オーダーのリリースに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[一括オーダーリリースの処理]	W420111B	[追加オーダー処理] (G4212)、[一括オーダーリリース]	<p>一括オーダーを検討して選択します。</p> <p>全オーダーをリリースするには、行を選択して、次に[ロー]メニューの[総数量リリース]を選択します。</p> <p>見積から受注オーダーを作成するには、レコードを選択し、次に[フォーム]メニューの[受注オーダーの生成]を選択します。</p>
[一括オーダーの改訂]	W420111A	[一括オーダーリリースの処理]で一括オーダーを選択して、[選択]をクリック	選択した一括オーダーをリリースします。

## 受注一括オーダー リリース (P420111) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### デフォルト

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- オーダー タイプ** 選択するオーダーのコード (UDC 00/DT) を入力します。
- 出荷伝票タイプ** 出荷伝票タイプのコード (UDC 00/DT) を入力します。
- 行番号増分** オーダー行を分割する場合に、新しいオーダー行番号の指定に使用する増分を指定します。たとえば、オーダー行 1 を分割する必要があり、このオプションに「1」と入力すると、行番号 2 を持つ新しい行が作成されます。

### バージョン

各アプリケーションのバージョンを入力します。ブランクの場合、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

- 受注オーダー入力** 一括オーダーのリリースに使用する受注オーダー入力 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。
- 受注残および完了オーダー照会** 一括オーダーのリリースに使用する受注残および完了オーダー照会 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。

## カスタマー セルフサービス

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>1. カスタマー セルフサービス機能</b> | <p>カスタマー セルフサービス機能をアクティブにするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: カスタマー セルフサービス機能を使用しません。</p> <p>1: カスタマー セルフサービス機能をアクティブにします。</p> |
| <b>2. 組織構造タイプ</b>         | <p>特定の構造タイプの住所を表示するには、構造タイプを入力します。関連する住所を全て表示するには、ブランクのままにします。</p>  |
| <b>3. 顧客相互参照</b>          | <p>顧客相互参照のコード (UDC 41/DT) を入力します。</p>   |
| <b>4. 変更の表示/非表示</b>       | <p>[変更] ボタンを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: [変更] ボタンを表示しません。</p> <p>1: [変更] ボタンを表示します。</p>                              |

## 一括オーダーのリリース

[一括オーダーの改訂] フォームにアクセスします。

一括オーダーをリリースするときに、以下のエラーが発生することがあります。

- 複数の一括オーダーが存在する。
- 要求したオーダー行の数量が、一括オーダーに残っている数量を超えている。

- |                     |   |
|---------------------|---|
| <b>[リリース数量]</b>     | <p>未処理のオーダー数量からリリースする数量を指定します。この数量が、当初一括オーダーの未処理のオーダー数量から差し引かれます。</p> |
| <b>[要求日付]</b>       | <p>受注オーダーの作成時にリリース行に適用される要求日付を指定します。</p>                              |
| <b>[新規オーダー No.]</b> | <p>必要に応じて、使用するオーダー番号を指定します。このオーダー番号が、作成される受注オーダーの番号になります。</p>         |

---

## 見積オーダーのリリース

このセクションでは、見積オーダーのリリースの概要、およびオーダーの見積のリリース方法について説明します。

### 見積オーダー リリースについて

見積オーダー リリースは、一括オーダー リリースと同様に行います。一括オーダー リリース プログラム (P420111) を使用して、見積オーダーの品目をリリースし、受注オーダーを作成します。見積オーダーの数量または品目の一部をリリースすると、当初の見積オーダーの残りの数量はシステムにより維持されます。見積オーダーを次回表示するときに、調整済み数量が表示されます。

同じ顧客および品目に対して複数のオーダーがある場合、全てのオーダーが「一括オーダー リリースの処理」フォームに表示されます。「数量」フィールドの値はブランクになっています。該当するオーダーの数量を入力する必要があります。

見積オーダーのリリースでは、受注オーダー番号を指定して、リリース日付および数量を確認できます。番号を指定すると、重複するオーダー番号および伝票タイプの組み合わせがないかどうか照合されます。重複があった場合には、オーダーの処理が停止され、伝票番号が既に存在することを示すエラーメッセージが表示されます。受注オーダーを処理する前に、オーダーに一意の番号を割り当てる必要があります。一意のオーダー番号を入力しないと、受注オーダー番号が自動採番されます。

オーダー行は、販売先、事業所、および通貨コードの情報に基づいて集約されます。ユーザーが入力したオーダー番号は、システムが作成する受注オーダーと同様に集約できます。たとえば、複数のレコードを選択してリリースし、最初のレコードのみに新しいオーダー番号を入力するとオーダーが集約されます。

見積オーダーを作成して顧客が購買を承諾すると、その見積オーダーを使って受注オーダーを作成できます。この方法は、見積オーダーの数量と品目の全て、またはその大半を受注オーダーに反映させる場合に使用します。

「一括オーダー リリースの処理」フォームの「ロー」メニューから「総数量リリース」を選択して、一度に複数の見積オーダーをリリースできます。

各見積オーダーから総数量がリリースされ、可能な場合には複数の選択項目が 1 つのオーダーに集約されます。見積オーダーから受注オーダーを作成するときは、見積オーダーと同じ計量単位を使用する必要があります。受注オーダーと見積オーダーの計量単位が異なる場合には、見積オーダー リリースは実行されません。受注オーダーを作成するには、「フォーム」メニューから「受注オーダーの生成」を選択します。

## 見積オーダーのリリースに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
「一括オーダー リリースの処理」	W420111B	「追加オーダー処理」(G4212)、「見積オーダー リリース」	見積オーダーを検討して選択します。  全オーダーをリリースするには、「ロー」メニューの「総数量リリース」を選択します。  受注オーダーを作成するには、「フォーム」メニューから「受注オーダーの生成」を選択します。
「一括オーダーの改訂」	W420111A	「一括オーダーリリースの処理」の「ロー」メニューから「一括オーダー」を選択	選択した見積オーダーをリリースします。

## 見積オーダーのリリース

「一括オーダーの改訂」フォームにアクセスします。

## (Rapid Start) Releasing Sales Quote for Selling a Direct Ship Item

This section discusses:

- How to release sales quote for selling a direct ship item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Order Release – Quote Order (P420111).

### Releasing Sales Quote for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for releasing sales quote for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Release sales quote for selling a direct ship item.	Sales Quotes, Release Quote Order Quantity	P420111/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: D = Direct Ship Item</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>• Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>• Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul> Next Status = 515	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Release – Quote Order (P420111)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

#### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Order Type to select (Required)	SQ
2. Outgoing Document Type (Required)	SO
3. Line Number Increment (Optional)	0

**Version**

Processing Option Description	Value or Status
Enter the version for each application. If left Blank, ZJDE0001 will be used.	blank
1. Sales Order Entry	RIS0001
2. Customer Service Inquiry	RIS0001

**Customer Self Service**

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Self-Service Functionality	blank
2. Organization Structure Type	blank
3. Customer Cross Reference Type	blank
4. Display/Hide Change button	blank

**関連項目:**

第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「受注一括オーダーリリース (P420111) の処理オプションの設定」、369 ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item

This section discusses how to release sales quote for selling a make-to-order item.

### Releasing Sales Quote for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for releasing sales quote for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Release sales quote for selling a make-to-order item.	Sales Quotes, Release Quote Order Quantity	P420111/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W = Make-to-Order item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, 99</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul> <p>Next Status = 515</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Release – Quote Order (P420111)」、372 ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Releasing Sales Quote for Selling from Inventory

This section discusses:

- How to release sales quote for selling from inventory.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Order Release – Quote Order (P420111).

## Releasing Sales Quote for Selling from Inventory

This table lists the tasks for releasing sales quote for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Release sales quote for selling from inventory.	Sales Quotes, Release Quote Order Quantity	P420111/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Order Release – Quote Order (P420111)」、372 ページ

---

## 品目情報の検討

このセクションでは、受注オーダーの複写の概要と、以下の方法について説明します。

- 価格/引当可能数量チェック (P4074) の処理オプションの設定
- 価格および引当可能数量の情報の検討
- 在庫状況 (P41202) の処理オプションの設定
- 数量情報の検索
- 引当可能数量の計算の検討
- 需要/供給照会 (P4021) の処理オプションの設定
- 需要/供給情報の検討

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「品目および数量情報の検討」、「数量情報の検索」

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「品目および数量情報の検討」、「品目情報の検索」

## 受注オーダーの複写について

見出しおよび明細情報の両方をコピーし、新しい受注オーダーにそれらの情報を追加すると、受注オーダーの入力を簡略化できます。また、同じオーダーを他の出荷先住所に送ったり、請求書を他の販売先住所に送る場合に、明細情報のみをコピーして出荷先や販売先情報を変更できます。

処理オプションの設定によっては、元の受注オーダーと複写した受注オーダーで以下の情報が異なることがあります。

- 伝票タイプ
- 開始状況コード

複写した受注オーダーのオーダー番号は、当初オーダーの番号とは常に異なります。

どの受注オーダー入力プログラム (P4210) から受注オーダーに品目情報をコピーできます。たとえば、受注オーダー入力プログラムの一括オーダーのバージョンに複写の処理オプションを設定して、一括オーダーからオーダーおよび行のデータをコピーするときに、新しい受注オーダーを作成できます。

## 事前設定

受注オーダーを複写する前に、受注オーダー入力プログラム (P4210) の複写の処理オプションを、新しい伝票タイプまたは状況について設定したことを確認します。



## 品目情報の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー照会] (G42112)、[カスタマーサービス]	既存の受注オーダーから見出しおよび明細情報の両方を、新しい受注オーダーにコピーします。
[既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭]	[コピー/変換]をクリックして、既存の受注オーダーから見出しおよび明細情報の両方を新しい受注オーダーにコピーします。
[価格/引当可能数量チェック]	W4074C	[受注オーダー照会] (G42112)、[上級価格/引当可能数量チェック]	価格と引当可能数量を照会します。
[価格/引当可能数量の処理]	W41261A	[受注オーダー照会] (G42112)、[価格/引当可能数量の標準チェック]	在庫価格設定規則など、標準価格調整情報を検討します。
[在庫状況の処理]	W41202A	[受注オーダー照会] (G42112)、[在庫状況集計]	数量情報を検討して、現在や将来の必要在庫を決定します。
[引当可能数量詳細]	W41202C	[在庫状況の処理] フォームで、[ロー]メニューの [引当可能数量詳細] を選択	各事業所に対する在庫状況の計算方法を検討します。
[需要/供給の処理]	W4021B	[受注オーダー照会] (G42112)、[需要/供給]	需要/供給情報を検討します。

## 価格/引当可能数量の照会 (P4074) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### 優先プロファイル

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

#### バージョン

受注オーダー入力 (P4210) のバージョンを入力します。これにより優先プロファイルが制御されます。ブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 標準価格および引当可能数量の情報の検討

[価格/引当可能数量の処理] フォームにアクセスします。

事業所に対して選択したオプションに基づいて、品目引当可能数量および数量情報が計算されます。

数量 - 原価分岐情報を得るには、[価格/引当可能数量の処理] フォームの受注オーダー明細行をチェックします。

[契約価格]	契約価格を検索するには、このオプションをクリックします。
[レベル]	価格グループ内の規則を表示する順序を指定する英数コードを入力します。価格グループの設定時に、レベルを定義します。
[上限数量]	価格設定テーブルで共通に使用する体積分岐または数量分岐を入力します。規則の第 1 レベルの数量が 5 の場合、このレベルの価格設定論理は 5 個以下の品目にのみ適用されます。次のレベルの数量が 10 の場合、この価格設定論理は、6 ~ 10 個の品目の売上に適用されます。99,999,999 の値は、全数量を示します。
[一時変更単価]	価格を入力します。ここに入力した価格で、その他の規則や価格が全て一時変更されます。
[係数]	この在庫価格設定規則に添付される品目の価格を計算するときに使用する割引率を入力します。割引率は乗数、追加金額、または控除可能金額として表すことができます。たとえば、10 % の割引は、“0.90” と表されます。同じ係数を、原価割り増しに使用できます。たとえば、10 % の割り増しは、“1.10” と表されます。
[タイプ]	係数値をオーダー価格に適用する場合に、係数値が乗数 (%) と追加/控除可能金額のいずれであるかを示すコードを入力します。
[契約フラグ]	<p>品目と 1 社以上の顧客との特殊価格設定の関係を示すコードを入力します。契約の在庫価格設定規則コードは品目番号です。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 契約がありません。</p> <p>C: 契約価格設定コード</p> <p>契約の価格設定タイプを指定する場合は、この契約価格で販売する数量、および契約番号 (ある場合) を入力する必要があります。</p> <p>また、規則を有効にするために、契約価格設定規則を顧客または顧客グループに結び付ける必要があります。</p>

## 在庫状況 (P41202) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## バージョン

以下の処理オプションで、在庫状況プログラム (P41202) からアクセスするさまざまなプログラムのバージョンを指定できます。バージョンにより、情報の処理方法や表示方法が制御されます。このため、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <b>1. 品目マスター</b>         | 品目マスター プログラム (P4101) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。          |
| <b>2. 品目注記</b>           | 品目注記プログラム (P40163) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。            |
| <b>3. 品目検索</b>           | 品目検索プログラム (P41200) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。            |
| <b>4. 購買オーダー照会</b>       | 購買オーダー照会プログラム (P430301) へのアクセスに使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。       |
| <b>5. 受注残および完了オーダー照会</b> | 受注残および完了オーダー照会プログラム (P42045) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| <b>6. 手配済み作業オーダー</b>     | 手配済み作業オーダー プログラム (R31400) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。     |
| <b>7. 需要/供給</b>          | 需要/供給照会プログラム (P4021) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。          |
| <b>8. 部品表</b>            | 部品表照会プログラム (P30200) へのアクセスに使用するバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。           |
| <b>9. ロット別在庫状況</b>       | ロット別在庫状況プログラム (P41280) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。        |
| <b>10. 品目元帳</b>          | 品目元帳照会 (CARDEX) プログラム (P4111) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| <b>11. 事業所品目情報</b>       | 事業所固定情報プログラム (P41001) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。         |
| <b>12. 保管場所マスター</b>      | 保管場所マスター プログラム (P4101) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。        |
| <b>13. 保管場所品目情報</b>      | 品目保管場所タイプ プログラム (P41023) へのアクセスに使用するバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。      |

## 表示

特定の情報を表示するかどうか、および特定情報の計算方法を指定できます。

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| <b>1. 等級情報</b>          | 等級情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:等級情報を表示しません。<br>1: 等級情報を表示します。   |
| <b>2. 濃度情報</b>          | 濃度情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:濃度情報を表示しません。<br>1: 濃度情報を表示します。   |
| <b>3. 品質管理</b>          | 品質管理システムの情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:品質管理情報を表示しません。<br>1: 品質管理情報を表示します。  |
| <b>4. 数量 (基本計量単位)</b>   | 数量情報を基本計量単位で表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:数量を基本計量単位で表示しません。<br>1: 数量を基本計量単位で表示します。  |
| <b>5. 切捨て/切上げ</b>       | 詳細グリッドの情報の丸め方法を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:詳細グリッドの情報を丸めます。標準の四捨五入が使用されます。たとえば、小数の表示を指定していない場合は、“2.3” は “2” に切り捨てられ、“2.6” は “3” に切り上げられます。<br>1: グリッドの情報を切り捨てます。小数点以下は常に切り捨てられます。たとえば、小数の表示を指定していない場合、“2.3” と “2.6” は両方とも “2” に切り捨てられます。<br>2: グリッドの情報を切り上げます。常に次の整数に切り上げられます。たとえば、小数の表示を指定していない場合、“2.3” と “2.6” は両方とも “3” に切り上げられます。 |
| <b>6. カスタマー セルフサービス</b> | 標準モードとカスタマー セルフサービス機能のいずれを使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:カスタマー セルフサービス機能ではなく、標準モードを使用します。<br>1: カスタマー セルフサービス機能をアクティブにします。  |

## ロット オプション

以下の処理オプションを使用して、上級ロット処理のフィールドを表示するかどうかと、ロットが満了するまでの日数を計算するためのデフォルト日付を指定できます。

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>1. 期限までの余日パーセントの表示</b> | [期日までの余日パーセント] フィールドを表示する値を入力します。このフィールドをブランクにすると、[期日までの余日パーセント] フィールドは表示されません。 |
| <b>2. 残日数の表示</b>          | [残実数] フィールドを表示するコードを入力します。このフィールドをブランクにすると、[残実数] フィールドは表示されません。                 |

3. 計算日付                      ロット満了までの残日数の計算に使用する日付を入力します。空白にすると、今日の日付が使用されます。

## 数量情報の検索

[在庫状況の処理] フォームにアクセスします。

[在庫照会] と [追加選択 1] タブのフィールドに入力して、[検索] をクリックします。

[上級価格設定] を使用して品目と顧客の組み合わせに対して価格を設定した場合、価格/引当可能数量チェックプログラム (P4074) を使用して、特定の顧客または顧客グループおよび品目グループの組み合わせに対して販売する在庫品目の価格および引当可能数量情報を検索できます。このプログラムでは、保管場所品目テーブルおよび顧客別価格テーブル (F4208) からの情報が表示されます。

**[等級範囲]**                      品目の許容等級範囲の下限を示すユーザー定義コード (UDC) (40/LG) を入力します。

許容下限等級に満たない品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。許容等級の下限に満たない品目は、販売できません。

**[濃度範囲]**                      品目の有効成分の許容濃度またはパーセントの下限を示す数値を入力します。

許容下限濃度に満たない品目を購買または出庫しようとする、警告メッセージが表示されます。許容濃度の下限に満たない品目は、販売できません。

**[集計のみ]**                      このチェック ボックスをオンにすると、品目別、会社別、通貨コード別、費用規則別に集計した情報が表示されます。

このチェック ボックスをオフにすると、個別の入荷レコードが表示されます。

**[ゼロ数量の省略]**                このチェック ボックスをオンにすると、手持ち数量ゼロの情報は表示されません。

手持ち数量がゼロの情報を表示するには、このチェック ボックスをオフにします。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「品目および数量情報の検討」、「数量情報の検索」

## 引当可能数量の計算の検討

[引当可能数量詳細] フォームにアクセスします。

事業所の品目引当可能数量に基づいて数量情報が取り込まれます。

在庫集計照会 - 引当可能数量詳細

在庫状況の処理

引当可能数量詳細

キャンセル(L)

フォーム(F)

前へ

次へ

ツール(T)

品目 No.

220

Touring Bike, Red

事業所

30

保管場所

ロット/リアル

基本

計量単位

EA

減算数量

☒ ソフト・コミット - 受注作業オー...

359

☒ 受注オーダー・ハード・コミット

323

☐ 先日付引当て

☒ 作業オーダー・ハード・コミット

☐ 受注オーダー(その他 1)

☐ 受注オーダー(その他 2)

☒ 保留

☐ 安全在庫

ハードコミット - プロジェクト

加算数量

手持数量

1430

☐ 購買オーダー

5

☐ 購買オーダー(その他1)

☐ 作業オーダー入庫

☐ 積送中

☐ 検収中

☐ 作業中 1

☐ 作業中 2

合計数量

入荷予定

5

引当可能数量

748

[引当可能数量詳細] フォーム

## 需要/供給照会 (P4021) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### 処理

以下の処理オプションを使用して、需要/供給照会プログラムの照会で使用する数量や伝票タイプ、予測/計画データなどを制御します。

**1. 使用可能数量からの安全在庫の減算**

安全在庫行を表示し、引当可能数量から安全在庫を差し引くかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:安全在庫を差し引きません。

1: 安全在庫を差し引きます。

**2. 入荷工程中数量を手持ち数量に含める**

入荷工程中数量を手持ち数量に含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:手持ち数量に含めません。

1: 手持ち数量に含めます。

**[積送中数量]**

積送中数量を手持ち数量に含めるかどうかを指定します。製造環境では、即座に使用できるかどうかを判断するために、在庫の保管場所を設定する必要があります場合があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク:該当する日付について、積送中数量を表示します。

1: 積送中数量を手持ち在庫に含めます。

**[検収中数量]**

検収中数量を手持ち数量に含めるかどうかを指定します。製造環境では、即座に使用できるかどうかを判断するために、在庫の保管場所を設定する必要があります場合があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク:該当する日付について、検収中数量を表示します。

1: 検収中数量を手持ち在庫に含めます。

**[ユーザー定義数量 1]**

ユーザー定義数量 1 を手持ち数量に含めるかどうかを指定します。この数量は、[入荷工程の定義] フォームの [作業 1 の更新] フィールドに定義します。製造環境では、即座に使用できるかどうかを判断するために、在庫の保管場所を設定する必要があります場合があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク:該当する日付について、ユーザー定義数量 1 を表示します。

1: ユーザー定義数量 1 を手持ち在庫に含めます。

**[ユーザー定義数量 2]**

ユーザー定義数量 2 を手持ち数量に含めるかどうかを指定します。この数量は、[入荷工程の定義] フォームの [作業 2 の更新] フィールドに定義します。製造環境では、即座に使用できるかどうかを判断するために、在庫の保管場所を設定する必要があります場合があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク:該当する日付について、ユーザー定義数量 2 を表示します。

1: ユーザー定義数量 2 を手持ち在庫に含めます。

**3. 需要/供給組込規則**

使用する需要/供給組み込み規則のバージョンを入力します。これらの規則は、オーダー タイプ、行タイプ、および行状況を定義します。組み込み規則のバージョンは、処理に使用するバージョンを示す UDC (40/RV) です。デフォルトとして使う組み込み規則を入力するか、[ユーザー定義コードの選択] フォームから選択します。

**4. 満了ロット数量の減算**

引当可能数量から期限切れロット数量を差し引くかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:引当可能数量から差し引きません。

1: 引当可能数量から差し引きます。

この処理オプションは、約束可能数量では使用できません。この処理オプションで 1 を選択する場合は、[プロセス 1] タブの約束可能数量行のフラグ処理オプションをブランクまたは 2 に設定する必要があります。

5. 受注設計 (ETO) の使用      ETO 機能を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:ETO 機能を使用しません。  
1: ETO 機能を使用します。
  
6. 期日を経過した供給の使用可能数量への組み込み      引当可能数量の計算時に、納期を経過した数量を含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:納期を経過した数量を含めません。  
1: 納期を経過した数量を含めます。
  
7. レート スケジュールのタイプ      表示するレート スケジュールのタイプを示すコード (UDC 31/ST) を入力します。レート スケジュールのタイプは、スケジュール タイプを示すコードです。デフォルトとして使うタイプを入力するか、[ユーザー定義コードの選択] フォームから選択します。このフィールドをブランクにすると、レート スケジュールは表示されません。
  
8. MPS/MRP/DRP 計画オーダー      MPS/MRP/DRP の作成から計画オーダーを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:計画オーダーを表示しません。  
1: 計画オーダーを表示します。
  
9. 予測タイプ (最大 5 種類まで)      最大 5 種類の予測タイプを照会に含めるかどうかを指定します。このフィールドをブランクにすると、予測レコードを含めません。複数の予測は、以下のように入力します。01、02、および BF を入力するには、「0102BF」と入力します。
  
10. 予測に含める本日からの日数      予測レコードに含めるシステム日付からの日数 (+ または -) を入力します。ブランクの場合、システム日付が使用されます。
  
11. バルク品目の除外      バルク在庫タイプのレコードを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:バルク在庫タイプのレコードを表示します。  
1: バルク在庫タイプのレコードを表示しません。
  
12. 期日を経過したレート スケジュールの供給への組み込み      納期を経過したレート スケジュールの未処理数量を供給に含めるかどうかを指定します。1 を入力すると、納期を経過したレート オーダーが表示されます。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:納期を経過したレート スケジュールの未処理数量を供給に含めません。  
1: 納期を経過したレート スケジュールの未処理数量を供給に含めます。
  
13. 予測開始日付      開始日付を指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:システム日付を使用します。  
1: 現行予測期間の開始日付を使用します。

---

注: 1 を入力する場合は、受注設計の使用の処理オプションをブランクにする必要があります。

---



**14. ロット保留コード (5 つまで)**

手持ち在庫の計算に含めるロットを指定します。ロット保留コード (41/L) は 5 つまで入力できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 手持ち在庫の計算に保留ロットを含めません。

\*: 手持ち在庫の計算に全ての保留ロットを含めます。

**表示**

以下の処理オプションを使用して、[需要/供給の処理] フォームでの情報の表示を制御します。たとえば、標準濃度に変換した後に数量を表示するかどうかを処理オプションにより制御します。

**1. 数量の標準濃度への換算**

数量を標準濃度に換算するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 数量を換算しません。

1: 数量を換算します。

**2. ATP (約束可能数量) 行の表示**

約束可能数量行、累計約束可能数量行のいずれかを表示するか、またはいずれも表示しないかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: いずれの行も表示しません。

1: 約束可能数量行を表示します。

2: 累計約束可能数量行を表示します。

この処理オプションで約束可能数量行を表示するように指定 (1) した場合、[表示 3] タブの満了ロット数量の減算の処理オプションは使用できません。

**3. 入荷工程ステップへの集計**

入荷工程ステップの全数量を 1 行に集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計しません。

1: 入荷工程ステップを集計します。

**4. 品目残高数量レコードの集計**

品目保管場所レコードの全数量を 1 行に集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計しません。

1: 品目保管場所レコードの全数量を 1 行に集計します。

**5. ウィンドウ形式でのデータ表示**

別のプログラムから呼び出した場合に、需要/供給の照会プログラム (P4021) をウィンドウ形式で表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: プログラムをフル フォーム形式で表示します。

1: プログラムをウィンドウ形式で表示します。

**5. ペギングと部品リスト需要の集計**

ペギングと部品リスト需要を集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計しません。

1: ペギングと部品リスト需要を集計します。

**バージョン**

以下の処理オプションで、システムがアクセスする各プログラムのバージョンを指定します。このオプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

### 1. 購買オーダー入力 (P4310)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する購買オーダー入力プログラム (P4311) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、購買オーダー入力プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは購買オーダー入力プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

### 2. 購買オーダー照会 (P4310)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する購買オーダー照会プログラム (P430301) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、購買オーダー照会プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは購買オーダー照会プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

### 3. 受注オーダー入力 (P4210)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する受注オーダー入力プログラム (P430301) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、受注オーダー入力プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは受注オーダー入力プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

### 4. 受注オーダー照会 (P4210)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する受注オーダー照会プログラム (P42045) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、受注オーダー照会プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは受注オーダー照会プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

### 5. スケジュール ワークベンチ (P31225)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用するスケジュール ワークベンチ プログラム (P31225) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、スケジュール ワークベンチ プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンはスケジュール ワークベンチ プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

### 6. MPS/MRP/DRP ペギング照会 (P3412)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する MPS/MRP/DRP ペギング照会プログラム (P3412) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、ペギング照会プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンはペギング照会プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

### 7. MPS/MRP/DRP タイムフェイズ (P3413)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する MPS タイム フェイズ プログラム (P3413) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、MPS タイム フェイズ プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは MPS タイム フェイズ プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

#### 8. MPS/MRP/DRP メッセージ詳細 (P3411)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する MPS/MRP メッセージ詳細の改訂プログラム (P3411) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、MPS/MRP メッセージ詳細の改訂プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは MPS/MRP メッセージ詳細の改訂プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

#### 9. 部品表照会 (P30200)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する部品表照会プログラム (P30200) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、部品表照会プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは部品表照会プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

#### 10. 事業所品目 (P41026)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットからのアクセスに使用する事業所品目プログラム (P41026) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、事業所品目プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。バージョンにより、事業所品目プログラムでのデータの表示形式を制御します。

#### 11. オーダーの入力/変更 (P48013)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する製造作業オーダー処理プログラム (P48013) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、製造作業オーダー処理プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは製造作業オーダー処理プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

#### 12. レート スケジュールの入力/変更 (P3109)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用するレート スケジュールの入力/変更プログラム (P3109) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、レート スケジュールの入力/変更プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンはレート スケジュールの入力/変更プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

#### 13. 在庫状況 (P41202)

[需要/供給の処理] フォームのロー エグジットとフォーム エグジットから呼び出したときに使用する在庫状況プログラム (P41202) のバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、在庫状況プログラムのバージョン ZJDE0001 が使用されます。

バージョンは在庫状況プログラムによる情報の表示方法を制御するので、会社独自のニーズに応じて処理オプションを設定する必要があります。

## 需要/供給情報の検討

[需要/供給の処理] フォームにアクセスします。

ハイライトされた約束可能数量行は、引当を行っていない使用可能在庫数量です。約束可能数量の在庫は、指定期間中の販売や流通用に引当可能です。

---

## 顧客情報と売上情報の検討

このセクションでは、顧客勘定情報、受注オーダー情報、販売明細実績の情報の概要、および以下の方法について説明します。

- 顧客勘定情報の検討
- 受注オーダーの検討
- 販売履歴照会 (P42025) の処理オプションの設定
- 配送票の照会 (P42290) の処理オプションの設定
- (ARG) Review sales order information for Argentina

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「売掛金元帳情報の処理」

## 顧客勘定情報について

与信チェック プログラム (P42050) を使用して、顧客の勘定および与信状況の情報を検討できます。顧客の売掛金と発注残の合計を顧客マスター テーブル (F0301) で割り当てた現在の与信限度額と比較して、与信限度を超過していないかどうかを判断できます。

以下のタイプの情報にアクセスすることができます。

- 売掛金 (現在未払の残高など)
- 支払実績 (顧客の格付け、請求書、支払情報など)
- 受注残 (オーダー日付や金額など)

さらに、以下のレベルで与信をチェックできます。

- 顧客 (C)
- 親 (P)
- 業種 (L)

業種が多岐にわたる企業と取引がある場合、製品や部門、所在地別に顧客を分類できます。業種レベル (LOB) で与信チェックを実行すると、同じ顧客について業種別にデフォルトの処理方法を定義できます。

## 受注オーダー情報について

受注オーダー入力プログラム (P4210) を使用して、受注オーダー明細ファイル (F4211) または受注明細履歴ファイル (F42119) のテーブルの受注オーダー、顧客、および品目の情報を検討します。受注オーダー入力プログラムでは、以下の情報を検討できます。

- 受注残情報
- 受注実績情報
- 受注オーダー、顧客、および品目のレベルの情報

**注:** 請求書番号や品目番号などのフィールドでアスタリスク(\*)をワイルドカードとして使用すると、そのフィールドの全ての値を検索できます。品目番号の最初のいくつかの文字または数字を入力し、次にアスタリスク(\*)を付けると、入力した値で始まる品目が全て検索されます。たとえば、「10\*」と入力すると 10 で始まる全ての番号が表示されます。

## 仮定通貨での受注オーダー

伝票を基本通貨と外貨のいずれで入力しても、それらの金額を特定の通貨で照会できます。仮定通貨処理を使用すると、実際に入力した通貨以外の通貨で受注オーダーを検討できます。たとえば、カナダの会社がユーロで受注オーダーを入力し、金額を日本円 (JPY) で検討してから国内通貨 (CAD) および外貨建て金額 (EUR) と比較できます。

仮定通貨処理の利点の 1 つは、ディスクスペースに影響しないことです。仮定通貨で計算された金額はテーブルには書き込まれず、一時メモリに保存されます。このため、ディスクスペースには影響しませんが、処理時間には影響します。

仮定通貨で受注オーダーの金額を検討するには、受注残および完了オーダー照会プログラム (P4210) の処理オプションにデフォルトの通貨コードと為替レート日付を入力する必要があります。これにより、[受注残および完了オーダー照会] フォームに [仮定通貨] フィールドが表示されます。

為替レートは為替レート テーブル (F0015) から読み込まれ、受注オーダーの基本通貨 (国内通貨) を基準にして仮定通貨金額が計算されます。為替レートの変動のため、表示された仮定通貨建て金額が実際の請求書や入金と一致しない可能性もあります。

## 販売明細実績情報について

受注オーダー プロセスで処理されたオーダーの販売明細実績情報を検討することができます。販売明細実績情報を使用して、受注オーダーを追跡し、オーダーがいつ入力されたか、またはいつ印刷されたかを調べます。この情報は内部監査にも使用できます。

オーダー処理順序定義に基づいて、販売明細実績テーブル (F42199) に情報が書き込まれます。状況コードを使って、どの時点でオーダー情報がテーブルに書き込まれるかを指定できます。たとえば、受注オーダーの入力時、請求処理時、売上更新時などにデータを書き込むようにもできます。

履歴から返品オーダーを作成するときには、販売明細実績テーブルから当初のオーダー情報を取り込みます。返品オーダー用に設定した受注オーダー入力プログラム (P4210) のバージョンで、販売明細実績の照会のバージョンを指定する必要があります。

## 事前設定

[与信チェック] フォームを使用するには、[拡張売掛管理固定情報] の [OneWorld 売掛管理システム - 会社別処理] を有効にする必要があります。

[販売履歴照会の処理] フォームにアクセスする前に、販売明細実績テーブル (F42199) にレコードを記録するための状況コードが正しく設定されていることを確認します。

[配送票の処理] フォームにアクセスする前に、顧客請求指示に配送票を印刷するように設定されていること、および配送票の印刷プログラム (R42535) を実行していることを確認します。

## 顧客情報と受注情報の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[与信チェック]	W42050B	[受注オーダー照会] (G42112)、[与信チェック]  顧客を選択し、[顧客マスタ ターの処理] フォームの [選 択] をクリック	顧客の勘定と与信状況に 関する情報を検討します。
[売掛金元帳照会の処理]	W03B2002A	[顧客および請求書の入 力] (G03B11)、[売掛金元 帳照会]	請求書および入金を検討 したり、顧客の取引履歴を 監査します。
[請求書入力]	W03B11A	[売掛金元帳照会の処理] から明細行を選択して、[選 択] をクリック	特定の請求書の情報を 検討します。
[受注残および完了オー ダー照会]	W4210E	[受注オーダー照会] (G42112)、[カスタマー サービス]	受注オーダー明細テーブ ル (F4211) または販売明細 実績テーブル (F42119) の 受注オーダー、顧客、お よび品目の情報を検討 します。  アルゼンチンの受注オー ダーについては、[顧客 発注番号] フィールド (VR01) の法定番号が表 示されます。
[既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの 更新 - 見出しを先頭]	受注オーダー明細テーブ ル (F4211) または販売明細 実績テーブル (F42119) の 受注オーダー、顧客、お よび品目の情報を検討 します。
[販売履歴照会の処理]	W42025A	[受注オーダー照会] (G42112)、[販売履歴照会]	受注オーダーを追跡して、 オーダーがいつ入力され たか、またはいつ印刷され たかを調べます。
[販売明細履歴]	W42025B	[売掛金元帳照会の処理] からレコードを選択し、[ ロー] メニューから [販売明 細履歴] を選択	個々の元帳品目の明細情 報を検討します。
Sales Orders Inquiry by Legal Number	W76A8240A	Select a record and then select Regional Info (information) from the Form menu on Customer Service Inquiry.  Or select a record and then select Regional Info (information) from the Form menu on Work With Sales Ledger Inquiry.	Review and select Argentinian sales orders based on the invoice or shipment note's legal number.

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[配送票の処理]	W42290A	[受注オーダー照会] (G42112)、[配送票の照会]	配送担当者は、配送票を使用して配送する品目とトラックに積載されている品目を比較できます。このフォームで、配送する費目の情報を検討します。

## 顧客の売掛情報の検討

[与信チェック] フォームにアクセスします。

### [未払金]

未決済の請求書や伝票の残高や金額を検討します。

住所録マスター テーブル (F0101) では、未決済請求額は、特定のオーダーが与信限度額を超過しているかどうかを調べるためのメモ用金額です。オーダー処理システムのドキュメンテーションを参照してください。

### [受注残額]

仕入先または顧客の発注残の合計金額を検討します。保管場所品目 (F41021) テーブルのリスト価格を、値引テーブルまたは一時変更価格によって調整した価格が使用されます。この金額を一時変更することはできません。

### [未決済合計]

指定した顧客について、未払の売掛金合計、および受注残額の合計を検討します。

### [与信限度額]

顧客に対する掛売り販売の限度額を入力します。この金額を超えるとワークフロー メッセージが送信されます。この値は、与信管理プログラム全体で使用されます。与信限度額は子 (顧客) レベルで管理され、親レベルでは管理されません。与信限度額を超過した顧客に対して、ワークフロー メッセージが送信されます。与信限度額の設定または変更を行うと、承認待ちの限度額変更があることを知らせるワークフロー メッセージが与信管理者に送信されます。与信管理者が承認するまで、与信限度額の変更は顧客マスター レコードに反映されません。

### [与信限度超過額]

このフィールドを検討して、顧客の未決済請求額の合計のうち、与信限度額を超えている金額を確認します。

## 受注オーダーの検討

[受注残および完了オーダー照会] フォームにアクセスします。

[フォーム] メニューおよび [ロー] メニューのいずれかから、受注オーダーに関連する以下のような補足の情報タイプを検索するオプションを選択します。

- オーダー保留
- オンライン請求書
- 顧客情報
- 品目引当可能数量
- 需要/供給情報
- 相互参照品目
- オーダー見出しの改訂情報

- オーダー明細の改訂情報
- 出荷情報
- 価格設定履歴
- リベート実績

**[バックオーダー合計数量]**      オーダー明細行の合計数量にバックオーダー数量を含めることを指定するには、このオプションを選択します。

**[顧客品目]**                      相互参照品目番号を表示するには、このオプションを使用します。それ以外の場合は、相互参照品目番号は不要です。

## 販売明細履歴の照会 (P42025) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### デフォルト

使用するデフォルトを指定するには、以下の処理オプションを使用します。

**オーダー タイプ**                      受注オーダー処理伝票の場合は、「S」と入力します。これは、伝票のタイプを示すコード(UDC 00/DT) です。このコードは取引の起点も指定します。伝票、請求書、入荷確認書、およびタイム カードの伝票タイプは予約されており、これら全ての伝票について、転記プログラムを実行したときに自動的に相手科目の仕訳が作成されます(初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません)。

**開始状況コード**                      行タイプのオーダー フローの次のステップを示すコード (UDC 40/AT) を入力します。

**終了状況コード**                      このオーダー タイプの処理サイクルの次のステップを示すコード (UDC 40/AT) を入力します。処理サイクルのステップは、[オーダー処理順序定義] フォームで設定します。

### クレジット メモ

以下のオプションは、アプリケーションが受注オーダー入力 (P4210) から呼び出され、かつ処理する全オーダー行の選択にオーダー選択ロー エグジットを使用する場合にのみ、使用できます。

**1. 返品オーダーを取り込むときに選択する状況コード**      処理サイクルで、このオーダー行が正常に完了した最後のステップを示すコード (UDC 40/AT) を入力します。  
を入力してください。



2. 状況コードが「前の状況」に基づく場合は 1 を入力し、「次の状況」に基づく場合はブランクにしてください。

この画面に表示する情報の選択に使用する状況コードを示すコードを入力します。設定したこのコードは、処理オプションから読み取られます。次の状況がこの範囲内にあるオーダーを全て表示するには、ブランクにします。前の状況がこの範囲内にあるオーダーを全て表示するには、「1」と入力します。

## バージョン

このアプリケーションが受注オーダー入力 (P4210) から呼び出されない場合にのみ、以下のオプションが使用できます。

### 返品オーダー入力バージョン

返品オーダー入力 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。このバージョンによって、アプリケーションに使用するデータ選択とデータ順序の設定の組み合わせが決まります。バージョンには、英数字の組み合わせを使用して名前を付けることができます。XJDE または ZJDE で始まるバージョンは、システムで設定済みです。

### 受注オーダー入力バージョン

受注オーダー入力 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。このバージョンによって、アプリケーションに使用するデータ選択とデータ順序の設定の組み合わせが決まります。バージョンには、英数字の組み合わせを使用して名前を付けることができます。XJDE または ZJDE で始まるバージョンは、システムで設定済みです。

## 配送票照会 (P42290) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## バージョン

使用するデフォルトを指定するには、以下の処理オプションを使用します。バージョンは、アプリケーションやレポートの実行方法の制御するユーザー定義の仕様です。バージョンを使用することで、ユーザー定義の処理オプション値やデータ選択、順序オプションなどをグループ化して保存できます。対話型バージョンは、(通常、メニュー項目の形で) アプリケーションと関連付けられています。バッチ バージョンは、バッチ ジョブまたはレポートと関連付けられています。バッチ処理を実行するには、バージョンを選択する必要があります。

### 1. 受注残および完了オーダー照会

配送票の照会で使用する受注オーダー入力 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。

### 2. 販売明細履歴照会

配送票の照会で使用する販売明細履歴照会 (P4210) プログラムのバージョンを入力します。

## (ARG) Reviewing Sales Order Information for Argentina

Access the Sales Orders Inquiry by Legal Number form.

---

**注:** The system displays this form only if you have set up the user preferences with a Localization Country code of AR (Argentina).

---

**Shipment Note Legal Number**

Enter a 15 position code that is reserved for the user.

**Invoice Legal Number**

Record reference numbers, such as the supplier's bid document number, quote document, sales order, work order, or job number.

---

## コミッション情報の検討

このセクションでは、コミッション情報の概要と以下の方法について説明します。

- 受注オーダーのコミッション情報の検討
- 見越しコミッションの検討

### コミッション情報について

コミッション情報は、会社の販売環境に合わせて設定することができます。各顧客に複数の販売担当者または販売グループを割り当てることができます。オーダーを入力して売上更新プログラム (R42800) を実行すると、計算されたコミッション額がその販売担当者の住所番号または販売グループに属する各販売担当者の住所番号に適用されます。

売上の更新後、コミッション情報を検討して販売担当者が正しい額を受け取ったかどうかを確認することができます。セキュリティの権限を持つユーザーは、必要に応じて既存の情報を修正することができます。

### 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- コミッション情報を検討する前に、売上更新プログラム (R42800) を実行します。
- 受注オーダー入力プログラム (P4210) の [表示] タブで、コミッション情報を非表示にする処理オプションが有効になっていないことを確認します。

## コミッション情報の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[コミッション実績の処理]	W42120D	[コミッション/ロイヤリティ管理] (G4223)、[コミッション/ロイヤリティ履歴]	選択したコミッションレコードの検討と選択を行います。
[コミッション明細の改訂]	W42120C	[コミッション実績の処理]のコミッションレコードを選択します。	コミッション情報の検討と改訂を行います。
[受注残および完了オーダー照会]	W4210E	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注明細]	検討を行う受注オーダーを検索し、選択します。
[既存オーダーの管理]	W42101C	[受注オーダー処理] (G4211)、[受注オーダーの更新 - 見出しを先頭]	検討を行う受注オーダーを検索し、選択します。
[受注オーダー明細の改訂]	W4210A	受注オーダーを選択して、[オーダー]を選択します。次に、[受注残および完了オーダー照会]の[ロー]メニューから[受注オーダー明細の改訂]を選択します。	受注オーダーの明細情報を検討します。
[受注見出しコミッションの検索]	W42150A	[受注明細の改訂]の[フォーム]メニューから[見出しコミッション]を選択します。	受注オーダーのコミッション情報を検討します。
[受注明細コミッションの検索]	W42150B	[受注オーダー明細の改訂]でレコードを選択し、次に[ロー]メニューの[明細コミッション]を選択します。	受注オーダーのコミッション情報を検討します。
[見越しコミッションの検索]	W42170A	受注オーダーを選択して、[オーダー]を選択します。次に、[受注残および完了オーダー照会]の[ロー]メニューから[オンライン請求書]を選択します。  [オンライン請求書の処理]の[フォーム]メニューから[見越しコミッション]を選択します。	受注オーダーの見越しコミッションを検討します。

## 受注オーダーのコミッション情報の検討

[受注見出しコミッションの検索] フォーム、または [受注明細コミッションの検索] フォームにアクセスします。

### [定額コミッション]

このフィールドの値を検討して、従業員がコミッション率ではなく、定額コミッションを受け取っているかどうかを調べます。請求書、粗利益額、または原価に対してコミッション金額を計算するには、1 個あたりの金額を入力する必要があります。

[1 個あたりの金額]	品目 1 個あたりの金額を検討します。
[コミッション計算タイプ]	このフィールドを検討して、コミッションの計算に請求書金額と粗利益額のいずれを使用したかを確認します。いずれの項目を使用する場合でも、コミッション計算の開始点として金額を検討し、積荷係数、固定原価、最小粗利などを適用する必要があります。

## 見越しコミッションの検討

[見越しコミッションの検索] フォームにアクセスします。

[販売担当者コード]	<p>コミッション計算の基準を入力します。各オーダー行について、少なくとも 2 人の販売担当者と、対応するコミッション レートが必要です。</p> <p>3 人以上の販売担当者にコミッションを作成するには、1 行のオーダー行に個人または法人（ロイヤリティの場合）を関連付けます。このためには、関連する販売担当者のファイルに、複数の販売担当者を表す売上/コミッション/販売担当者コードを設定します。このコードは、受注オーダーの入力時に顧客の請求指示レコードに挿入され、オーダー処理サイクルの適切な時点で複数のコミッション レコード（関係する販売担当者ごとに 1 つのレコード）が作成されます。</p>
[コミッション率]	販売担当者に支払うオーダー売上金額の割合を検討します。
[定額コミッション]	<p>コミッション金額を表すこの値を検討します。このフィールドに値がある場合は、従業員はコミッション率ではなく、定額コミッションを受け取っています。請求書、粗利益額、または原価に対してコミッション金額を計算するには、1 個あたりの金額を入力する必要があります。</p>
[1 個あたりの金額]	品目 1 個あたりの金額を検討します。
[コミッション計算タイプ]	このフィールドを検討して、コミッションの計算に請求書金額と粗利益額のいずれを使用したかを確認します。いずれの項目を使用する場合でも、コミッション計算の開始点として金額を検討し、積荷係数、固定原価、最小粗利などを適用する必要があります。
[行金額]	この行の品目について、合計リスト価格から該当する割引を差し引いた後の合計金額を検討します。
[コミッション金額]	<p>このフィールドの値を検討します。この金額は、見込みコミッションとして計算されます。</p> <p>オーダーまたは行のレベルでの売上金額に基づき、この金額は販売原価、間接係数、最小粗利額などの計算結果になることがあります。</p> <p>「コミッション固定情報」を参照してください。</p>
[オーダー合計]	販売減価額を検討します。オーダー売上金額からこの金額を差し引いて、このオーダーの総利益額が計算されます。
[コミッション合計額]	<p>システムにより計算された金額を検討します。これは見込みコミッションです。</p> <p>オーダーまたは行のレベルでの売上金額に基づき、この金額は販売原価、間接係数、最小粗利額などの計算結果になることがあります。</p> <p>「コミッション固定情報」を参照してください。</p>

## 第 11 章

# 受注オーダー情報の使い方

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、受注オーダー情報の概要と、以下の方法について説明します。

- (CHL, PER, POL and RUS) Inquire on sales orders
- 請求情報の使い方
- (CHL and PER) Work with billing information for Chile and Peru
- (POL and RUS) Work with sales order management processes for Poland and Russia

---

## 受注オーダー情報について

受注オーダー情報を検討および分析して、受注オーダーおよび請求書の状況をトラッキングし、正確な需要を予測します。たとえば、数量情報をモニタリングして受注オーダーのうちバックオーダーとなっている数量をチェックできます。また、保留中を含む全てのオーダーの現在の状況を検討できます。

受注オーダーの入力または検討時に、品目番号や引当可能数量、数量 - 価格分岐などの品目情報に簡単にアクセスできます。これらの情報は、顧客と直接交渉する際に役に立ちます。

また、在庫状況集計や品目の需要/供給など、正確な需要予測を立てるのに必要な補足の品目情報にもアクセスできます。たとえば、品目の需要や在庫の有無、納期の確約などの品目情報が検索可能です。

現在の(手配済み)オーダーと過去の(終了済み)オーダーを含む顧客の勘定情報にアクセスできます。与信チェックプログラム (P42050) を使用すれば、顧客の売掛金合計および受注残と与信限度額を比較できます。販売実績情報へのアクセスと検討も可能です。

関連オーダーの状況など、顧客送付用の請求書には印刷されない請求情報を検討できます。これは、オーダー入力時に顧客に情報を提供する必要がある場合に役に立ちます。

この情報には、次のどちらかの方法でアクセスできます。

- 受注オーダー照会 (G42112) メニューから [受注残および完了オーダー照会] を選択する。
- 受注管理 (G4211) メニューの [受注オーダーの更新 - 見出しを先頭] の [既存オーダーの管理] フォームから選択する。

---

**注:** どちらの方法で受注オーダーを照会するかは、オーダーが関連付けられている国によって決まる場合があります。チリ、ペルー、ロシアなどには、それぞれの国に固有のフィールド、フォーム、プログラムが用意されており、これらを使用して受注オーダー情報を検討できます。このような国に関連付けられているオーダーを照会するには、このセクションで示す、各国に関連付けられている文書を参照してください。

---

---

## (CHL, PER, POL and RUS) Inquiring on Sales Orders

This section provides an overview of sales order inquiries for Chile and Peru, and discusses how to:

- (CHL and PER) Set processing options for Order Inquiry by Legal Document (P76H2012).
- (POL and RUS) Search for sales orders by legal number.
- (POL and RUS) Set processing options for Sales Legal Document Inquiry by Legal Number (P7420002).

### Understanding Sales Order Inquiries for Chile and Peru

Sales Order Management inquiries must meet Chilean and Peruvian legal requirements. Using the localized inquiries enables you to display vouchers' legal numbers (invoice, ticket, export invoice, and so on) and the shipping guide, with the internal number generated by the sales order number and type.

#### Customer Service

You use the Customer Service program (P4210) to check the information for a customer's sales orders and items in the Sales Orders Detail (F4211) table or in the Historical Sales Orders Detail (F42119) table. Using the localization menu selections, you can display the legal document number and type (invoices, tickets, shipping guides, export invoices, and so on) with a sales order. You can also view the shipping guide with the internal number generated by the sales order number and type.

#### Sales Ledger History

You can review information in the sales ledger for any order that has been through the sales order process. You can also view the legal document number with a sales order.

#### Orders Inquiry by Internal Document

Using Orders Inquiry by Internal Document, you can access the legal document numbers and document types for a sales order. You can inquire by internal document type and document number or by sales order number and type.

---

**注:** When you review a sales order line, there is a row for each voucher line. For example, there are two rows for order line 1000: one line corresponding to the legal invoice number and the other to the legal shipping guide number.

---

#### Order Inquiry by Legal Document

You can inquire on a sales order using the legal number. You can also inquire by legal document type and number, order type and number, and invoice internal document type and number.

#### Sales Order – Batch Inquiry

You can use this inquiry to locate sales orders by batch.

#### Voided Documents Inquiry

You can use this inquiry to locate voided legal documents for the Accounts Receivable system and the Sales orders Management system.

## Prerequisites

Verify that all voucher types are set up in user-defined code (UDC) 76H/DG.

## Forms Used for Sales Order Inquiries

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Customer Service – Customer Service Inquiry	W4210E	Sales Orders Inquiry (G42112), Customer Service	Locate customer sales orders and items.
Sales Legal Document Inquiry by Internal Document	W76H2011A	Select an order and then select Order, Regional Information from the Row menu on Customer Service – Customer Service Inquiry.	Review regional information for an order.
Sales Ledger History Inquiry – Work With Sales Ledger Inquiry	W42025A	Sales Orders Inquiry (G42112), Sales Ledger History Inquiry	Review sales ledger information.
Sales Legal Document Inquiry by Internal Document	W76H2011A	Select an order and select Regional Information from the Row menu on Sales Ledger History Inquiry – Work With Sales Ledger Inquiry.	Review regional information for an order.
Sales Legal Document Inquiry by Internal Document (CHL and PER)	W76H2011A	Sales menu (G76H42), Sales Legal Document Inquiry by Internal Document	(CHL and PER) Review sales order legal document numbers and types associated.
Sales Legal Document Inquiry by Legal Number (CHL and PER)	W76H2012A	Sales menu (G76H42), Sales Legal Document Inquiry by Legal Number	(CHL and PER) Review sales orders by legal number.
Sales Order /Lot Inquire	W76H2013A	Sales menu (G76H42), Order Lot – Inquiry	Locate sales orders by batch.
Void Invoices – Work with Legal Next Numbers for Cancellation	W76H3B20A	Sales menu (G76H42), Void Invoices	Locate voided legal documents for the Accounts Receivable and Sales Order systems.
Void Invoices – Work with Invoices not Printed	W76H3B20C	Select an invoice and then select Invoices not Printed from the Row menu on Void Invoices – Work with Legal Next Numbers for Cancellation.	Review voided legal documents.

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
Sales Legal Document Inquiry by Internal Document (POL and RUS)	W7420001A	On the Customer Service Inquiry form, enter a sales order and order type and click Find to display legal documents related to the sales order. Select an existing sales order line that generated a legal document and then select Regional Info from the Form menu.	(POL and RUS) Search for sales order lines associated with a legal document number.
Sales Legal Document Inquiry by Legal Number (POL and RUS)	W7420002A	On Work With Sales Ledger Inquiry, select an existing sales order line that generated a legal document and then select Regional Info from the Form menu.	(POL and RUS) Search for invoices and shipment notes by sales order or by legal number for each legal document.

## (CHL and PER) Setting Processing Options for Order Inquiry by Legal Document (P76H2012)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options, such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### General

You must enter document types in the UDC 76H/DG to inquire by legal number by document type. Enter the value without spaces and commas in each processing option. For example, if you want the shipping guide number of an order to display in column 1 and the invoice or ticket number in column 2, you might enter 08 for column 1 and 0102 for column 2.

#### 2. Legal document types group of UDC 76H/DG for column 1

Specify a legal document type that the system uses to select records to display in column 1 in the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number form. The value that you enter must exist in the Legal Document Type Group (74/DG) UDC table.

#### 3. Legal document types group of UDC 76H/DG for column 2

Specify a legal document type that the system uses to select records to display in column 2 in the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number form. The value that you enter must exist in the Legal Document Type Group (74/DG) UDC table.

#### 4. Legal document types group of UDC 76H/DG for column 3

Specify a legal document type that the system uses to select records to display in column 3 in the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number form. The value that you enter must exist in the Legal Document Type Group (74/DG) UDC table.



## Versions

Enter the program version that you want to use for order inquiry.

<b>Enter the version for Header review of OV (P4210)</b>	Enter a version of the Sales Order Entry program that you want to use for header review. If you leave this option blank, the system uses version ZJDE0001.
<b>Enter the version for Detail review of OV (P4210)</b>	Enter a version of the Sales Order Entry program that you want to use for detail review. If you leave this option blank, the system uses version ZJDE0001.
<b>Enter the version for OV Date (P42045)</b>	Enter a version of the Customer Service Inquiry program or leave this field blank to use ZJDE0001.
<b>Enter the version for OV Address numbers (P42045)</b>	Enter a version of the Customer Service Inquiry program or leave blank to use ZJDE0001.
<b>Enter the version for OV Line Detail (P42045)</b>	Enter a version of the Customer Service Inquiry program or leave this field blank to use ZJDE0001.
<b>Enter the version for Customer Service (P4210)</b>	Enter a version of the Sales Order Entry program that you want to use for customer service. If you leave this option blank, the system uses version ZJDE0001.

## (POL and RUS) Searching for Sales Orders by Legal Number

Access the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number (RUS) form.

<b>Issue Place</b>	Enter the place of issue of the legal document for which you want to locate sales orders. The value that you enter must exist in the F7400004 table.
--------------------	--

## (POL and RUS) Setting Processing Options for Sales Legal Document Inquiry by Legal Number (P7420002)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options, such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### General

These processing options specify default values that the program uses when displaying information in the forms for the program.

<b>1. Legal Document Group Column 1</b>	Specify a legal document type that the system uses to select records to display in column 1 in the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number form. The value that you enter must exist in the Legal Document Type Group (74/DG) UDC table.
---	---

<b>2. Legal Document Group Column 2</b>	Specify a legal document type that the system uses to select records to display in column 2 in the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number form. The value that you enter must exist in the Legal Document Type Group (74/DG) UDC table.
<b>3. Legal Document Group Column 3</b>	Specify a legal document type that the system uses to select records to display in column 3 in the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number form. The value that you enter must exist in the Legal Document Type Group (74/DG) UDC table.

## Versions

These processing options specify the versions that the system uses when it displays forms after you use a Form or Row exit on the Sales Legal Document Inquiry by Legal Number form.

<b>Sales Order Header Revision</b>	Specify the version of the Sales Order Entry (P4210) program that the system uses when displaying the Sales Order Header (W4210G) form. If you do not complete this processing option, the system uses version ZJDE0001.
<b>Sales Order Detail Revision</b>	Specify the version of the Sales Order Entry (P4210) program that the system uses when displaying the Sales Order Detail Revisions (W4210A) form. If you do not complete this processing option, the system uses version ZJDE0001.
<b>Sales Order Dates</b>	Specify the version of the Customer Service Inquiry (P42045) program that the system uses when displaying the Dates (W42045G) form. If you do not complete this processing option, the system uses version ZJDE0001.
<b>Sales Order Address Number</b>	Specify the version of the Customer Service Inquiry (P42045) program that the system uses when displaying the Address Numbers (W42045F) form. If you do not complete this processing option, the system uses version ZJDE0001.
<b>Customer Service Inquiry</b>	Specify the version of the Customer Service Inquiry (P42045) program that the system uses when displaying the Customer Service Inquiry (W4210E) form. If you do not complete this processing option, the system uses version ZJDE0001.
<b>CS Inquire</b>	Specify the version of the Sales Order Entry (P4210) program that the system uses. If you do not complete this processing option, the system uses version ZJDE0001.

---

## 請求情報の使い方

このセクションでは、オンライン請求書と注文承認書の印刷の概要、および以下の方法について説明します。

- オンライン請求書照会 (P42230) の処理オプションの設定
- (ARG) Review tax calculations for Argentina
- 注文承認書の印刷
- 請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定

## オンライン請求書について

オンライン請求書照会プログラム (P42230) を使用して、未請求または一部請求済みのオーダーに関する請求書情報を検討できます。このプログラムでは、印刷した請求書と同じ情報が表示されます。

オンライン請求書照会は次の目的でも使用できます。

- 処理中および終了済みの請求書情報の検討
- バックオーダー行付きあるいは行なし請求書の表示
- 出荷条件や値引、支払条件、税金情報の検討
- 請求書の行のトランザクション日付の検討
- 受注オーダーの見越しコミッションの検討

オンライン請求書照会プログラムの処理オプションを設定して、バックオーダー品目を次のように表示できます。

- 数量および合計価格情報なし
- 数量情報のみ
- 数量および合計価格情報を表示

次のいずれかの基準に基づいて税集計情報を表示できます。

- 税グループ - 課税対象金額合計
- 税域 - 県などの税域
- 納税先 - 市などその地域における納税先

オーダーに税率の異なる品目がある場合も税額は計算されますが、税率の代わりに「N/A (不適用)」と印刷されます。

---

注: 請求書を印刷するまでは、事業所間と会社間オーダーは照会できません。

---

## 注文承認書の印刷について

オーダーが処理中であることを伝えるため、顧客に注文承認書を送付できます。次のような販売請求書と同じ情報を含めることができます。

- バックオーダーや取消しを含む品目の数量
- 合計価格、税金、値引
- 納期
- 支払条件
- 関連テキストと印刷メッセージ
- 分離調整と固定料金に関する価格調整参照

通常は、ピッキング リストに印刷可能な状態のオーダー行の注文承認書を印刷します。オーダー処理順序定義で、注文承認書の印刷に使用する状況コードを設定してください。これにより、ピッキング リストを印刷する状況が省略されなくなります。

注文承認書の印刷では、請求書印刷プログラム (R42565) のいずれかのバージョンが使用されます。各バージョンの適切な処理オプションを設定することにより、注文承認書または請求書を印刷する際に、システムが請求書番号を割り当てるかどうかを指定できます。テスト バージョンは、請求書再印刷など他の機能についても実行可能です。

**重要:** 請求書印刷をテスト モードで実行すると、状況コードやテーブルは更新されません。受注オーダーの注文承認書を正しく処理するにはバージョン XJDE0005 を実行するか、このバージョンのコピーを実行する必要があります。

## 請求情報の処理で使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[オンライン請求書の処理]	W42230A	[受注オーダー照会] (G42112)、[オンライン請求書]	未請求または一部請求済みのオーダーに関する請求書情報を検討します。
[日付]	W42045G	明細行を選択し、オンライン請求書の処理にある [ロー] メニューの [オーダー日付] を選択	明細行の日付を検討します。
[受注オーダー行明細]	W42045A	明細行を選択し、オンライン請求書の処理にある [ロー] メニューの [オーダー明細] を選択	選択しているオーダー行の明細情報を検討します。
[価格履歴]	W4074C	明細行を選択し、オンライン請求書の処理にある [ロー] メニューの [価格設定履歴] を選択	品目の価格履歴を検討します。
Legal Tax Amount Detail	W76A230B	Select Regional Info from the Form menu on Work With Online Invoice.  The system displays this form only if you have set up the user preferences with a Localization Country code of AR (Argentina).	Review the tax calculations that are based on the fiscal setup for Argentina.  Review detailed tax calculations by tax code and order line.

## オンライン請求書照会 (P42230) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、変更しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、プロンプト オプション、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## デフォルト

処理オプションはシステムの導入時に設定しますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### 1. オーダー タイプ

伝票のタイプを識別するコード (UDC 00/DT) を入力します。このコードはトランザクションの起点も指定します。伝票、請求書、領収書、およびタイムシートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムを実行したときに自動的に相殺仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。以下に示す伝票タイプは事前定義されているもので、変更できません。

- P: 買掛金伝票
- R: 売掛金伝票
- T: 給与計算伝票
- I: 在庫伝票
- O: 購買オーダー処理伝票
- J: 一般会計/共有利息請求伝票
- S: 受注オーダー処理伝票

### 2. 開始状況コード

行タイプのオーダー フローの次のステップを示すコード (UDC 40/AT) を入力します。

### 3. 終了状況コード

このオーダー タイプに関する処理サイクルの次の標準ステップを指定するコード (UDC 40/AT) を入力します。処理サイクルのステップは、[オーダー 処理順序定義] フォームで設定します。

### 4. 基準状況

前の状況に 1 を入力します。次の状況のこのフィールドは空白のままにします。

### 5. バックオーダー

バックオーダーを除外するには 1 を、バックオーダーを数量のみ含めるには 2 を、バックオーダーの数量と価格を含めるには 3 を入力します。

### 6. カスタマ セルフサービス機能

カスタマ セルフサービス機能を JAVA/HTML で使用できるようにアクティブ化するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 使用しない

1: Java/HTML でカスタマ セルフサービス機能を使用する

## 運賃

処理オプションはシステムの導入時に設定しますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### 1. 見積運賃の表示

見積運賃を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 見積運賃を表示しません。

1: 見積運賃を表示します。

## バージョン

処理オプションはシステムの導入時に設定しますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### 1. 請求書印刷のバージョンを入力してください。

請求書印刷のバージョンを入力します。バージョンによって、アプリケーションに使用するデータ選択とデータ順序の設定の組み合わせが決まります。

バージョンは、英数字の組み合わせを使用して名前を付けることができます。

## コミッション

処理オプションはシステムの導入時に設定しますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- 1. コミッションの処理**      コミッションを処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
    ブランク: コミッションを処理します。  
    1: コミッションを処理しません。

## (ARG) Reviewing Tax Calculations for Argentina

Access the Legal Tax Amount Detail form.

**重要:** For the tax calculations to appear, the Sales Order Taxes at Order Level option on the Tax Rules Revisions form must be turned on.

## 注文承認書の印刷

受注オーダーレポート (G42111)、[注文承認書の印刷] を選択します。

## 請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、変更しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、プロンプト オプション、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## デフォルト

使用するデフォルトを指定します。

- |                   |   |
|-------------------|---|
| <b>1. 開始状況コード</b> | <p>請求書を印刷するオーダーの選択で使用する開始状況コード範囲を入力します。</p> <p>使用する状況は、オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定されている必要があります。開始状況コードと終了状況コードの組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。</p> |
| <b>2. 終了状況コード</b> | <p>請求書を印刷するオーダーの選択で使用する状況コード範囲を入力します。</p> <p>使用する状況は、オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定されている必要があります。開始状況コードと終了状況コードの組み合わせは、処理するオーダー タイプおよび行タイプのオーダー処理順序定</p>                    |

義テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。

### 3. 基準状況

前の状況または次の状況に従って、受注明細テーブル (F4211) を選択するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 前の状況に従って選択します。
- 2: 次の状況に従って選択します。

### 4. 一時変更用「次の状況」コード

オーダー処理に次のステップを入力します。指定するコード (UDC 40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。

一時変更状況は請求処理で実行できる別のステップであり、省略可です。開始状況と一時変更用「次の状況」の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。

### 5. 「次の状況」の更新

オーダー処理順序定義テーブルを基に次の状況が更新されないようにするかどうかを指定します。指定するコード (UDC 40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 次の状況を更新します。

- 1: 次の状況を更新しません。

この処理オプションを空白のままにすると、既存のオーダー処理順序定義に従って次の状況が更新されます。

### 6. 売掛金番号の割当て

テスト モードで請求を実行する際に、売掛金番号をトランザクションに割り当てないようにするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 売掛金番号を割り当てます。

- 1: 売掛金番号を割り当てません。

このプログラムをテスト モードで実行する場合は、この処理オプションを 1 に設定します。

### 7. 売掛金番号の自動採番

売掛金の次の番号を割り当てる際に使用するインデックス番号を入力します。売掛金番号の自動採番に使用できる順序設定バケットは、10 種類あります。ブランクの場合、01 が使用されます。

### 8. 請求書伝票タイプ

請求書に割り当てられる伝票タイプを入力します。

UDC テーブル 00/DT に設定されている伝票タイプを使用してください。このオプションをブランクにすると、伝票タイプ RI が使用されます。

## 印刷

印刷するデータを指定します。

#### 1. 請求書日付

請求書に記載する日付を入力します。ブランクにすると、システム日付が印刷されます。

#### 2. バックオーダー/取消行の印刷

バックオーダー行と取消行のいずれか、または両方を請求書に印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: バックオーダー行を印刷します。

- 2: 取消行を印刷します。
- 3: バックオーダー行と取消行の両方を印刷します。
- 4: バックオーダー行または取消行を印刷しません。
- 3. バックオーダー行の合計価格**      バックオーダー品目の合計価格を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: バックオーダー品目の合計価格を印刷しません。
- 1: バックオーダー品目の合計価格を印刷します。
- 4. バックオーダー行の印刷回数**      バックオーダー行と取消行の印刷を 1 回とするか、複数回とするか指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: バックオーダー行を複数回印刷します。
- 1: バックオーダー行を 1 回のみ印刷します。
- 5. 合計原価の印刷**      合計原価と粗利益を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 合計原価と粗利益を印刷しません。
- 1: 合計原価と粗利益を印刷します。
- 1 に設定した場合、合計原価を表示するにはフォーマットを横にして印刷する必要があります。
- 6. 適用できる値引の印刷**      顧客に適用できる値引を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 適用できる値引を印刷しません。
- 1: 適用できる値引を印刷します。
- 7. キット構成品行の印刷**      キット構成品行を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: キット構成品行を印刷しません。
- 1: キット構成品行を印刷します。
- 販売コンフィギュレータを使用する場合は、1 に設定してください。
- 8. 先日付引当行の印刷**      先日付引当行を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 先日付引当行を印刷しません。
- 1: 先日付引当行を印刷します。
- 9. 品目番号の印刷**      自社品目番号に加えて顧客の品目番号も出力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランクまたは 1: 自社品目番号のみ印刷します。
- 2: 自社品目番号と顧客の品目番号を印刷します。
- 10. 顧客相互参照**      請求書に顧客品目番号を印刷するように選択している場合、顧客品目番号を特定する相互参照コードを入力します。入力する値は、UDC テーブル (41/DT) に定義されている必要があります。
- 11. 品目集計**      各行品目の品目番号、原価、価格が同じ場合、複数の行品目を同じ品目でまとめた集計を印刷するかどうかを指定します。たとえば同じ品目を複



数の場所に出荷する場合、複数の行品目をまとめた請求書を請求先に送付することがあります。有効値は以下のとおりです。

1: 品目の集計のみを印刷します。

2: 引当で分割された品目の集計を印刷します。

1 に設定した場合、集計は第 2 品目番号、単価、単位、行タイプ、価格設定単位、伝票番号、伝票タイプ、伝票会社のフィールドに基づいて行われます。

2 に設定した場合、集計はオーダー番号、オーダータイプ、オーダー会社、行番号、単価、単位、行タイプ、価格設定単位のフィールドに基づいて行われます。

キットを処理する場合は、1 に設定します。

## 12. シリアル番号の印刷

シリアル番号を請求書に印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: シリアル番号を印刷しません。

1: シリアル番号を印刷します。

## 13. 外貨での印刷

外貨で印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 外貨を印刷しません。

1: 外貨を印刷します。

## 14. 税集計の印刷

請求書に税集計情報を印刷するかどうかを指定します。税情報の集計は、このオプションの設定に従って行われます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 税集計情報を印刷しません。

1: 税集計情報をグループ別に印刷します。

2: 税集計情報を区域別に印刷します。

3: 税集計情報を納税別に印刷します。

## 15. 一括印刷メッセージ

UDC (40/PM) を入力し、各請求書に印刷する一括印刷メッセージを指定します。

## 16. 関連テキストの印刷

受注オーダーの関連テキストを請求書に印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 関連テキストを印刷しません。

1: 関連テキストを印刷します。

1 に設定すると、受注オーダー見出しと受注オーダー明細の両方の関連テキストを印刷します。

## 17. 手形の印刷

手形を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 手形を印刷しません。

1: 手形を印刷します。

## 18. 手形の振出し

手形の振出し元である市名を指定します。ここに市名を入力すると、手形に記載されます。

## 19. 印刷メッセージ優先情報

受注オーダーに記載される品目番号または顧客番号に関するユーザー定義の印刷メッセージ優先情報を印刷するかどうかを指定します。印刷メッ

セージ優先情報は、品目番号、顧客番号、品目グループ、顧客グループ、またはこれらの組み合わせについて設定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: ユーザー定義の印刷メッセージ優先情報を印刷しません。

1: ユーザー定義の印刷メッセージ優先情報を印刷します。

## 20. 仮定通貨コード

正味金額、売上税額、オーダー合計金額を請求書に印刷する際の仮定通貨を指定します。請求書印刷プログラムでは、金額の計算と印刷で仮定通貨処理を使用し、金額が国内通貨以外の通貨、つまり外貨で入力されたかのように処理します。

## 21. 仮定通貨での税集計の印刷

税集計金額を仮定通貨で印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 税集計情報を仮定通貨で印刷しません。

1: 税集計情報を仮定通貨で印刷します。プログラムは、仮定通貨処理オプションで指定した通貨コードと税集計の印刷処理オプションで指定したフォーマットを使用します。

## 22. 追加見出しテキストの印刷

レポートの見出しに追加見出しテキストを印刷するかどうかを指定します。追加見出しテキストでその文書がオリジナルのものか再印刷されたものかわかります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 追加見出しテキストを印刷しません。

1: 文書がオリジナルであることを示す追加見出しテキストを印刷します。

2: 文書が再印刷されたものであることを示す追加見出しテキストを印刷します。

## 23. 転送先住所のコピーの印刷

転送先住所に送付する請求書のコピーを印刷するかどうかを指定します。

## 原価/価格の更新

原価の処理方法および使用する原価プログラムのバージョンを指定します。

### 1. 原価の更新

請求書を印刷する前に原価を更新するかどうかを指定します。選択している全ての受注オーダーを現行の原価、為替レート、価格で更新します。売上原価を更新すれば、粗利益を常に正確に計算できます。購買原価や製造原価が頻繁に変更される場合や更新していない期間が長いオーダーの場合、この更新を実行します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 品目の原価を更新しません。

1: 受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラム (R42950) で原価を更新します。

### 2. 販売価格/売上原価の更新バージョン (R42950)

請求書の印刷前に原価の更新に使用する販売価格/売上原価の更新 (R42950) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

事業所間オーダーの場合、R42950 で処理オプションを設定して価格情報を更新し、トランザクションに関与する事業所に為替レートを指定する必要があります。

## 前払

前払を表示するかどうかを指定します。

### 1. 請求書に前払を表示します。

請求書に前払情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 前払情報を表示しません。

1: 前払情報を表示します。

## 処理

次のオーダー状況の処理方法を指定します。

### 1. 次のオーダー状況優先情報

請求書の印刷時に処理する全ての受注オーダー明細レコードの優先情報を前もって有効にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 次のオーダー状況優先情報を使用しません。

1: 次のオーダー状況優先情報を使用します。

### 2. 請求書選択の印刷

請求書を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 請求書を印刷します。

1: 請求書を印刷しません。

## EDI

編集情報の処理方法を指定します。

### 1. EDI 処理選択

EDI トランザクションに使用する処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 請求書印刷処理のみを使用します。

1: EDI 処理と請求書印刷処理を使用します。

2: EDI 処理のみを使用します。

### 2. EDI トランザクションタイプ

EDI トランザクション タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

1: 請求書。

2: 購買オーダー承認。

3: 見積要求。

### 3. EDI 伝票タイプ

EDI トランザクションの伝票タイプを指定します。

UDC テーブル 00/DT に設定されている伝票タイプを使用してください。

### 4. EDI トランザクションセット番号

EDI 処理でトランザクション セット番号を指定します。UDC テーブル 40/ST に設定されているトランザクション セット番号を使用してください。

### 5. EDI 変換フォーマット

EDI トランザクションの変換フォーマットを指定します。

### 6. 取引先 ID

EDI 取引先の ID 番号を指定します。

### 7. トランザクション セット目的

EDI トランザクションのトランザクション セット目的を指定します。UDC テーブル 47/PU に設定されているトランザクション セット目的を使用してください。

- 8. 拡張 EDI 請求書の処理** 請求書の印刷時に EDI 請求書拡張見出し (F470462) と EDI 請求書拡張明細 (F470472) テーブルを自動入力するように指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: テーブルを自動入力しません。
- 1: テーブルを自動入力します。
- 9. 参照修飾子 1** 対応する出荷参照番号の検索で使用する参照修飾子を適用するために、UDC (41/X6) を入力します。
- 10. 参照修飾子 2** 対応する出荷参照番号の検索で使用する参照修飾子を適用するために、UDC (41/X6) を入力します。
- 11. 参照修飾子 3** 対応する出荷参照番号の検索で使用する参照修飾子を適用するために、UDC (41/X6) を入力します。
- 12. 参照修飾子 4** 対応する出荷参照番号の検索で使用する参照修飾子を適用するために、UDC (41/X6) を入力します。
- 13. 参照修飾子 5** 対応する出荷参照番号の検索で使用する参照修飾子を適用するために、UDC (41/X6) を入力します。

## 需要スケジューリング

需要スケジューリングの処理方法を指定します。

- 1. 連絡先タイプ 1** 連絡先タイプの名前と ID 番号の取得で使用する連絡先タイプ修飾子を指定します。[EDI] タブの [拡張 EDI 請求書の処理] フィールドを有効にしている場合、EDI 請求書追加見出し (受注) テーブル (F470462) に連絡先タイプの名前と ID 番号が自動入力されます。
- 2. 連絡先タイプ 2** 連絡先タイプの名前と ID 番号の取得で使用する連絡先タイプ修飾子を指定します。[EDI] タブの [拡張 EDI 請求書の処理] フィールドを有効にしている場合、EDI 請求書追加見出し (受注) テーブル (F470462) に連絡先タイプの名前と ID 番号が自動入力されます。
- 3. 連絡先タイプ 3** 連絡先タイプの名前と ID 番号の取得で使用する連絡先タイプ修飾子を指定します。[EDI] タブの [拡張 EDI 請求書の処理] フィールドを有効にしている場合、EDI 請求書追加見出し (受注) テーブル (F470462) に連絡先タイプの名前と ID 番号が自動入力されます。
- 4. 連絡先タイプ 4** 連絡先タイプの名前と ID 番号の取得で使用する連絡先タイプ修飾子を指定します。[EDI] タブの [拡張 EDI 請求書の処理] フィールドを有効にしている場合、EDI 請求書追加見出し (受注) テーブル (F470462) に連絡先タイプの名前と ID 番号が自動入力されます。
- 5. 連絡先タイプ 5** 連絡先タイプの名前と ID 番号の取得で使用する連絡先タイプ修飾子を指定します。[EDI] タブの [拡張 EDI 請求書の処理] フィールドを有効にしている場合、EDI 請求書追加見出し (受注) テーブル (F470462) に連絡先タイプの名前と ID 番号が自動入力されます。

## 電子メール

電子メールの処理方法を指定します。

- 1. 電子メール承認選択** 請求書印刷プログラム (R42565) の実行時に、電子メール承認を送信するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

	<p>ブランク: 電子メール承認を送信しません。</p> <p>1: 電子メール承認を送信します。</p>
<b>2. 電子メール アドレス タイプ</b>	<p>人名録連絡先情報を基に電子メール アドレスを作成および定義する際に使用するコードを入力します。電子メール アドレスは、承認の送付に使用されます。この処理オプションをブランクにすると、デフォルトの値 E が使用されます。</p>
<b>3. 金額を電子メールに含める</b>	<p>電子メール承認に行金額と合計（合計オーダー金額、価格、合計金額、税額など）を記載するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 全ての行金額と合計を記載しません。</p> <p>1: 全ての行金額と合計を記載します。</p>
<b>4. 電子メール見出しのメッセージ</b>	<p>UDC (40/PM) を入力し、電子メール承認に含める一括印刷メッセージを指定します。この処理オプションをブランクにすると、一括印刷メッセージは含められません。</p>
<b>5. 電子メールの件名の行</b>	<p>UDC (40/PM) を入力し、送信する電子メール承認の件名の行に記載するテキストを定義します。この処理オプションをブランクにすると、件名の行は空白のままになります。</p>
<b>6. 電子メールの送り手の住所番号</b>	<p>電子メール承認の送り手の名前と電子メール アドレスを指定する住所番号を入力します。</p>

## (CHL and PER) Work with Billing Information for Chile and Peru

This section provides overviews of the billing process for Chile and Peru, and sales order inquiry by status by batch, lists prerequisites, and discusses how to:

- Set processing options for printing invoices and shipping guides (P76H2565).
- Set processing options for lot inquiry (P76H3B50).

### Understanding Billing Information for Chile and Peru

Printing legal documents such as invoices is localized in the Sales Order Management and Accounts Receivable systems in order to meet Chilean and Peruvian legal requirements. You also use the Sales Order Management system to print shipping guides.

The billing process in Sales Order Management consists of:

1. Running the Print Invoices program (R42565).

This program generates the corresponding invoices, taking into account printing one invoice per page and considers all necessary data according to Chilean and Peruvian legal requirements. At the end of the process, the system issues a .pdf document with the print batch number containing all the invoices generated by during this process.

2. Numbering legal vouchers.

With the batch number generated by the Print Invoices program, you can access the print program and number the legal vouchers in the batch to prior to printing. The system performs validation for numbering.

### 3. Printing vouchers.

After the voucher is numbered, you can print vouchers.

---

**注:** According to Peruvian legislation, identifiable goods sold or lent in use require that the serial or motor number be included in the invoice, ticket, or shipping guide. In order to comply with the legal requirement, these items must be set up and you must assign the batch or serial number in the order line.

In order to issue shipping guides, set the processing options for Print Invoice to the version that does not update the Accounts Receivable module. Entering an internal document type is not necessary.

---

For Chile, we recommend that you set up a specific version of Print Invoices to process invoice and sales tickets and external services (duty free).

For Peru, we recommend that you set up a specific version of Print Invoices to process invoice and sales tickets and another for export invoices.

Invoice Summarizations by Item and Invoice Consolidation by Customer are not included in the Chilean or Peruvian localizations. You must disable this in the processing option for Print Invoice (R42565). You cannot run Billing or Shipping Guides Generation in proof mode.

You can number and print one batch at a time. A batch cannot be numbered with a status of O (open) if there is a previous batch that is not at the status of C (closed). This enables the user to continue working while the system numbers vouchers.

You cannot delete batches generated in the Sales Order Management system because the system generates these batches in the Print Invoice program. You must delete the invoices by generating a credit note. You can delete batches that were generated from the Accounts Receivable system if the batch and the voucher have an open status. You must renumber vouchers the same day that you print them. You must renumber vouchers printed on prior dates.

## Billing Process Features

Billing process features include:

- The ability to generate shipping guides.
- The ability to generate a print batch containing shipping guides and invoices.

By running the Print Invoices program, the system generates a print batch containing shipping guides and invoices. You must use this program to comply with the Peruvian legal requirement that states that the shipping guide must have the same number as the invoice number, and the invoice must contain the shipping guide number.

- The ability for different users to run the Print Invoices program at the same time to generate invoices, credit and debit notes, export invoices, and so on.
- Automatic invoice voiding when renumbering.

For example, if there is an invoice printing problem, the system enables you to review the invoice, void it, renumber it, and reprint it. When renumbering invoices, the system automatically sends the voided document to a voided documents table.

- A flexible design that enables you to customize an invoice.

## Generating Shipping Guides and Invoices

The Print Invoices program calls the Printing Invoices and Shipping Guides (P76H2565) program containing the localization parameters for generating legal documents.

These Chilean and Peruvian legal documents are generated by running Printing Invoices and Shipping Guides:

- Invoices.
- Tickets.
- Shipping guides.
- Credit notes.
- Debit notes.
- Export invoices.
- Export credit and debit notes.
- Chile only: Tax-free goods and service invoices (duty free).
- Chile only: Tax free goods and service tickets (duty free).

The Printing Invoices and Shipping Guides program generates:

- A print batch.  
Each print batch consists of various documents (invoices, shipping guides, or shipping guides and invoices together), depending on the parameters that you set in the localized program processing options. Users locate the batch and number and print the documents in the batch.
- A .pdf file containing the number for the batch and the number of document processed.  
For example, the program generates batch 428, containing 1,000 invoices.
- Invoices, taking into account space limits by document.  
Depending on the setup, these invoices can contain discounts, attached data, shipping guide numbers, and all required legal information.
- Internal document type and number.  
Vouchers do not have a legal number assigned. To enter the legal number and print the voucher, you must use the Lot Review Inquiry.
- A .pdf document with a warning to address the work center to verify errors if the program does not run successfully.  
Users must correct sales orders, correct their statuses, and then run the program again. Sales orders with billing errors have a last status of 931 and next status of 831 or the statuses specified by the user in the processing options. This enables you to easily identify incorrect sales orders, correct them, and reprocess them.

## Localized Tables

Tables the system uses for localized data include:

- F76H3B10 Legal documents Header.
- F76H211 Shipping Guide/Invoices.
- F76H3B50 Print Batch Header.
- F76H3B51 Print Batch Detail.
- F76H3B31 Print Header Image.
- F76H3B32 Print Detail Image.

- F76H3B33 Tax Detail.
- F76H3B34 Sales Order Lines.
- F76H3B35 Sales Order Price Adjustments Detail.
- F76H3B36 Attached Data Detail.
- F76H3B38 Shipping Guide Detail.

## Understanding Sales Order Inquiry by Status by Batch

You can access the internal voucher type and number of the voucher using the voucher legal number.

You can also update the next status of orders in the batch after voucher printing (shipping guide or invoice). Renumbering vouchers does not update sales orders status.

Additionally, you can inquire on batches according to sales order status. You can choose to display or hide batches that belong to a sales order status range according to the processing options on the Sales Order Processing (SOP) tab. The batches that are not in the status range appear in light gray, and you can inquire on the detailed information, but you cannot number, renumber, or print the batch. This enables you to inquire on the batches that are in the status range that you entered in the processing options and other batches from the same batch version.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Verify that sales orders have a correct status code to print shipping guides and invoices.
- Set up legal document types.
- Set up print layout.
- Set the processing options for the Print Invoices and Printing Invoices and Shipping Guides program.

You must enter the same version in the processing option.

- Set up legal document types relationship.
- Verify localized tax area information.
- Set up activity rules for sales order types.
- Set up status codes.



## Forms Used to Work with Billing Information

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Lot Review	W76H3B50A	Sales menu (G76H42), Lot of Printing Review	Inquire on batch vouchers, or inquire on sales orders by status by batch.
Edit Lot	W76H3B50B	Select the batch, and select Sales Legal Document Inquiry from the Row menu on Edit Lot.	Display sales orders in which a legal document relates to a print batch.
Get Internal Number From Legal Number	W76H3B50I	Select the batch, and select Get Internal Number from the Form menu on Lot Review.	Attach a legal number to a document.

## Setting Processing Options for Printing Invoices and Shipping Guides (P76H2565)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options, such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you can set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### General

Although processing options are set up during system implementation, you can change processing options each time that you run a program.

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <b>1. Document to be generated</b> | Specify the document the system will generate. Values are:<br>1: Generate an invoice, ticket, C/N, or D/N.<br>2: Generate a shipping guide.<br>3: Generate simultaneous invoice and shipping guide. |
| <b>2. Issuing Series</b>           | Enter 001 for invoice, shipping guide, or simultaneous invoice and shipping guide.  |
| <b>3. Internal type document</b>   | Enter the internal document type (DCT) for the legal types relationship. For example, enter GD for the legal types relationship for the shipping guide or enter FD for invoice generation.          |
| <b>4. Shipping Guide</b>           | Enter the internal document type (DCT) for the legal types relationship. For example, enter GD for the legal types relationship for the shipping guide or enter FD for invoice generation.          |

## Shipping Guides

Although processing options are set up during system implementation, you can change processing options each time that you run a program.

- |  |   |
|--|---|
| <b>1. Weight Unit of Measure for Print</b>   | Enter the weight unit of measure for printing. For example, enter KG for shipping guides and simultaneous invoice and shipping guide. |
| <b>2. Volume Unit of Measure for print</b>   | Enter the volume unit of measure for printing. For example, enter M3 for shipping guides and simultaneous invoice and shipping guide. |
| <b>3. Item unit price or Shipping Guides</b> | Enter 1 to print the item unit price for shipping guides. This processing option does not apply for Peru.                             |

## Error Processing

Although processing options are set up during system implementation, you can change processing options each time that you run a program.

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <b>1. Last Status Invoices</b>     | Enter the last status code to be used in invoices when errors are found. If you leave this processing option blank, the default value is 931. |
| <b>Next Status Invoices</b>        | Enter the next status code to be used in invoices when errors are found. If you leave this processing option blank, the default value is 831. |
| <b>Last Status Shipping Guides</b> | Enter the last code status to be used in shipping guides when errors are found. If you leave this blank, the default value is 931.            |
| <b>Next Status Shipping Guides</b> | Enter the next code status to be used in shipping guides when errors are found. If you leave this blank, the default value is 832.            |

## Setting Processing Options for Lot Inquiry (P76H3B50)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options, such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### General

Although processing options are set up during system implementation, you can change processing options each time that you run a program.

- |   |  |
|---|--|
| <b>1. Enter the reason code for invoices that were not printed due to printing errors</b> | Enter a code to specify the reasons why a legal document was canceled. |
| <b>2. Transaction Originator AR/SOP</b>   | Enter the system that generates the invoice.                           |

## SOP

Although processing options are set up during system implementation, you can change processing options each time that you run a program.

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <b>1. From Status Code</b>           | Enter a UDC (40/AT) that specifies what step in the processing cycle was last completed successfully for this order line.  |
| <b>2. Thru (through) Status Code</b> | Enter a UDC (40/AT) that specifies what the next standard step is in the processing cycle for this order type. You set up the steps for the processing cycle on the Order Activity Rules form.             |
| <b>3. Based on Status</b>            | Enter 1 to use the status code from the From Status Code processing option as the last status, or enter 2 to use the status code from the Thru (through) Status Code processing option as the next status. |
| <b>4. Modify next status code to</b> | Enter a UDC (40/AT) that specifies what the next standard step is in the processing cycle for this order type. You set up the steps for the processing cycle on the Order Activity Rules form.             |
| <b>5. Avoid next status update</b>   | Specify whether the system updates the next status. Values are:<br>Blank: Update the next status.<br>1: Prevent the next status update.  |

## Accounts Receivable

We recommend that you use the Lot Review Inquiry (P76H3B50) version set up that does not update sales order status for batch print and voucher numbering inquiries. Otherwise, the system updates the status of sales orders each time that a voucher is renumbered.

- |   |  |
|---|--|
| <b>1. Submit Print Invoice after the legal number is been generated</b> | Enter 1 to enter voucher numbers and print vouchers for batches created in the Accounts Receivable system. Vouchers are printed from voucher printing screen when this process finishes.   |
| <b>2. Stop Print Invoice for error with Legal Number generation</b>     | Specify how the system handles the numbering process when a voucher error is detected.<br><br>During the numbering process, the system numbers vouchers in the batch unit when it detects a voucher with an error. The system sets the status of the voucher with the error to an error status. All subsequent vouchers are set to an open status. You must resolve the error for the voucher before you can number the open vouchers. Values are:<br><br>Blank: The system numbers all vouchers in the batch except for the voucher with problems. This problem voucher will contain an error status.<br><br>1: Stop the legal numbering process. |
| <b>3. Create lot with invoices of different Emission Serial.</b>        | Specify whether the system creates a lot with invoices of different issuing series. Enter 1 to create lot with invoices with different issuing series. The lot definition overwrites the Emission Serial of the legal number.  |

## (POL and RUS) Working with Sales Order Management Processes for Poland and Russia

This section provides overviews of sales order processes for Poland and Russia and the print process for legal documents, lists prerequisites, and discusses how to set processing options for the Invoice Print – PO Program (P7420565).

### Understanding Sales Order Processes for Poland and Russia

This section provides an overview of sales order processes.

#### (RUS) Signature Role (74R/RL)

You specify in a processing option for legal documents the text that appears by the signature line on the document. You select one of the values that you set up in this UDC for the processing option. For example, you might set up a signature role for the person approving the document, an attorney, the head accountant, and so on.

#### (POL and RUS) Sales Order Processes

You use standard PeopleSoft EnterpriseOne Sales Order Management to work with sales orders. You use country-specific programs to print legal documents. To work with sales orders for Poland and Russia, complete these tasks:

Process	Description
Set processing options for the Sales Order – PO program (P7424210).	You set these processing options to specify additional parameters for the Sales Order Entry program (P4210). You must set up matching versions for P7424210 and P4210.
Enter sales orders.	You use the Sales Order Entry program (P4210) to enter sales orders.
Set processing options for the Print Invoice/Invoice Correction – PO program (P7420565).	<p>You set these processing options to specify additional parameters for the Standard Invoice Print program (R42565). You must set up matching versions for P7420565 and R42565.</p> <p>(POL) The system uses the additional parameters to print invoices and correction invoices.</p> <p>(RUS) The system uses the additional parameters to print invoices, stock delivery notes, goods dispatch notes, and stock movement notes.</p>
Search for sales order lines associated with a legal document number.	You use the Sales Legal Doc. Inquiry by Int. Doc (Sales Legal Document Inquiry by Internal Document) program (P7420001) to locate information about sales orders using the document type.
Search for invoices and shipment notes by sales order.	You use the Sales Legal Doc. Inquiry by Legal Number program (P7420002) to locate information about sales orders by using the legal document number.

Process	Description
Enter invoices related to credit or debit notes.	You use the Invoice Related to CN/DN Sales Order – COMM – 42 program (P7420015) to enter one or more legal documents that are related to a sales order. The system automatically calls the Invoice Related to CN/DN Sales Order – COMM – 42 program when you add credit or debit notes from the P4210 program.
Update sales.	<p>When you run the Sales Update program for Polish transactions, the system populates certain fields in the F03B11 table with values from the F7430010 table. When it populates the F03B11 table, the system:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Right justifies the value in the Issue Place field in the F7430010 table.</li> <li>• Converts the legal number in the F7430010 table to a string and pads the values with zeros to the left of the value.</li> <li>• Concatenates the values in the Issue Place and Legal Number fields and writes the value to the Reference field (VR01) in the F03B11 table.</li> <li>• Copies the Invoice Date from the F7430010 table to the Invoice Date – Julian field in the F03B11 table.</li> </ul>

## (RUS) Understanding the Invoice Print – Russia (R74R3030) Program

You must generate a tax invoice when you sell inventory items or services to customers. The system produces the tax invoice when you run the Print Invoices (R42565) program, or when you enter an invoice into the Accounts Receivable system. The Print Invoices program completes the validations and tax calculations. The system calls the version of the Print Invoice – PO program (P7420565) program that matches the version of the Print Invoices program, and launches the Invoice Print – Russia – SOP/AR program (R74R3030). This program assigns the legal number and produces the report.

You can set up customer billing instructions to allow consolidated invoices. If you do so, the system assigns one invoice number for all selected sales orders for the same customer. The system also summarized all lines with the same item number in one line if you set up the system to do so.

You set processing options for the Invoice Print – Russia – SOP/AR program by creating a version of the Print Invoice – PO program (P7420565) for tax invoices.

## Understanding the Stock Delivery Note Report (R74R3032)

You produce the Stock Delivery Note report (R74R3032) to confirm shipment of goods to a customer. You can select multiple sales orders for which you print one stock delivery note. When you select multiple sales orders, the system assigns the same delivery number to each sales order if the customer bill instructions allow consolidated invoices. The system also summarized all lines with the same item number in one line if you set up this functionality.

To print the Stock Delivery Note report, you run the Print Invoices program (R42565). The Print Invoices program completes the validations and tax calculations. The system calls the version of the Print Invoice – PO program (P7420565) program that matches the version of the Print Invoices program, and launches the Stock Delivery Note program. The Stock Delivery Note program assigns the legal number and produces the report.

You set processing options for the Stock Delivery Note program by creating a version of the Print Invoice – PO program (P7420565) for stock delivery note documents.

## **(RUS) Understanding the Goods Dispatch Note Report (R74R3031)**

In some situations, you might ship goods without selling the goods. You produce the Goods Dispatch Note report (R74R3031) to confirm the shipment of materials to a contractor or to another business unit when the materials are shipped but not sold. You can select multiple sales orders for which you print one good dispatch note. When you select multiple sales orders, the system assigns the same delivery number to all sales order selected if the customer bill instructions allow consolidated invoices. The system also summarized all lines with the same item number in one line if you set up this functionality.

To print the Goods Dispatch Note report, you run the Print Invoices program (R42565). The Print Invoices program completes the validations and tax calculations. The system calls the version of the Print Invoice – PO program (P7420565) program that matches the version of the Print Invoices program and launches the Goods Dispatch Note program. The Goods Dispatch Note program assigns the legal number and produces the report.

You set processing options for the Goods Dispatch Note program by creating a version of the Print Invoice – PO program (P7420565) for goods dispatch note documents.

## **(RUS) Understanding the Stock Movement Note Report (R74R3033)**

The software provides a Stock Movement Note report (R74R3033) that a branch that is issuing a stock transfer generates. The software also provides a Stock Movement Note report (R74R6001) that the branch that is receiving a stock transfer generates.

For each transfer of merchandise and finished goods, both the sender and the receiver of the stock must produce a stock movement note to confirm the movement of the stock between warehouses or stock keepers. This means that when you transfer goods to another warehouse or other stock holding place, you must send a stock movement note with the goods to confirm that the stock left the location, and when you receive transferred goods, you complete a stock movement note to confirm that you received the goods.

The system provides two versions of the Stock Movement Note report: one each for outbound and for inbound transfers. The outbound version (R74R3033) is based on the F4211 table. When you print one stock movement note for multiple transfer orders, the system assigns the same delivery number to each transfer order if the customer billing instructions are set up to consolidate invoices. The system also consolidates all lines with the same item number into one line if you set up this functionality.

To print the Stock Movement Note report, you run the Print Invoices program (R42565). The Print Invoices program completes the validations and tax calculations. The system calls the version of the Print Invoice – PO program (P7420565) program that matches the version of the Print Invoices program, and launches the Stock Movement Note program, based on the version of the Print Invoices program that you specified. The Stock Movement Note program assigns the legal number and produces the report.

You set processing options for the Stock Delivery Note program by creating a version of the Print Invoice–PO program (P7420565) for stock delivery note documents.

## **(POL and RUS) Understanding the Print Process for Legal Documents**

When you print legal documents for Poland or Russia, the system uses the legal numbering setup to determine the print format, attachments, and legal number to print legal documents.

The system looks at the customer billing instructions to determine how many copies of the report to print and whether the customer enables consolidated invoices. The system also looks at the address book data for information to use for the footer section of the report.

You use the P7420565 program to set up versions for each of the legal documents that you print. You must also set up a matching version for each legal document type in the Print Invoices program (R42565). When you run the Print Invoices program, the system uses the document type that you specified in the processing options for the P7420565 program to determine which legal document to print.

(POL) For Poland, the system prints invoices and invoice corrections.

(RUS) For Russia, the system prints:

- Goods dispatch note.
- Stock movement note (outbound).
- Stock delivery note.
- Invoices.

Use the Reprint Invoices program (P7430031) to reprint selected documents.

参照: JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「請求書の処理」、「(POL and RUS) Working with Invoices for Poland and Russia」

---

**注:** The program for printing legal documents (P7420565) appears on the Sales Order menus for Poland and Russia under these names:

(RUS) Print Invoice – PO.

(RUS) Print Stock Delivery Note – PO.

(RUS) Print Goods Dispatch Note – PO.

(RUS) Print Stock Movement Note – PO.

---

### **(POL and RUS) Setup Notes**

When you run the P7420565 program in proof mode, you should set the processing options so that the system does not update accounts receivable tables and does not update the sales order status. In final mode, set the processing options so that the system updates accounts receivable tables and statuses.

When you set up legal documents:

- (RUS) Assign SN (shipment note) as the document type group for goods dispatch notes and stock delivery notes, specify that the system calculates and discriminates taxes, and specify that the system not break on payment terms.
- (RUS) Assign SN (shipment note) as the document type group for outbound stock movement notes, and specify that the system not calculate taxes and not break on payment terms.
- (POL and RUS) Assign IN (invoice) as the document type group for invoices, specify that the system calculates and discriminates taxes, and specify that the system breaks on payment terms.

When you run the P7420565 program from the menu, you can choose an existing version from the Batch Versions form. If you select an existing version, the system displays a message after you click Select on Batch Versions and closes the program. If you select version ZJDE0001, you copy the version, name it, and set processing options that are saved for the new version.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Verify that the localization country code in the User Display Preferences is set to the appropriate localization code.
- Verify that a version with the same name exists for program P7420565 and the Print Invoices (R42565) program for each legal document type.

## Setting Processing Options for Invoice Print – PO (P7420565)

Use these processing options to specify default values for Russia and Poland that the system uses when you run the Print Invoices (R42565) program to print legal documents. The programs are:

- (RUS) Print Invoice – PO.
- (RUS) Print Stock Delivery Note – PO.
- (RUS) Print Goods Dispatch Note – PO.
- (RUS) Print Stock Movement Note – PO.

### General

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Document Issue Place</b>                      | Specify the legal document issue place. The value that you enter must exist in the F7400004 table.  |
| <b>2. Internal Document Type for Invoices</b>       | Specify the document type that you use for the business purposes to identify invoices. The value that you enter must exist in the Document Type (00/DT) UDC table and should be the document type that you specified for invoices in the Legal Doc. Types Relationship program (R74R0003).  |
| <b>3. Internal Document Type for Shipment Notes</b> | <p>(RUS) Specify the document type that you use for the business purposes to identify shipment notes. The value that you enter must exist in the Document Type (00/DT) UDC table and should be the document type that you specified for shipment notes in the Legal Doc. Types Relationship program (R74R0003).</p> <p>This processing option is not used for Poland.</p> |
| <b>4. Mode</b>                                      | Enter 1 to print in final mode. Leave this processing option blank to print in proof mode.  |
| <b>5. Summarize Sales Order Lines by Item</b>       | Enter 1 to summarize sales order lines by item. Leave this processing option blank to have the system print all sales order lines.  |
| <b>6. Automatic Printing</b>                        | Leave this processing option blank to call the R74R3030 program for Russia, or the R74P3030 program for Poland and automatically print the legal document. Generally, you leave this option blank. Enter 1 to suppress printing.  |

### Shipment Notes

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <b>1. Weight Unit of Measure</b> | (RUS) Specify the unit of measure that the system uses to print the weight of the shipment. The value that you enter must exist in the Unit of Measure (00/UM) UDC table. If you do not complete this processing option, the system uses Item as the unit of measure. |
|----------------------------------|---|



This processing option is not used for Poland.

## 2. Volume Unit of Measure

(RUS) Specify the unit of measure that the system uses to print the volume of the shipment. The value that you enter must exist in the Unit of Measure (00/UM) UDC table. If you do not complete this processing option, the system uses Item as the unit of measure.

This processing option is not used for Poland.

## Error Processing

### 1. Last Status Code for Invoices

Specify the last status code that invoices should have attained. The value that you enter must exist in the Activity/Status Codes (40/AT) UDC table. If the invoice has not attained the status code that you specify, the system displays an error message.

If you leave this processing option blank, the system uses 931 as the last status code.

### 2. Next Status Code for Invoices

Specify the next status code to which invoices will be moved. The value that you enter must exist in the Activity/Status Codes (40/AT) UDC table. If the invoice does not move to the status code that you specify, the system displays an error message.

If you leave this processing option blank, the system uses 831 as the last status code.

### 3. Last Status Code for Shipment Notes

Specify the last status code that shipment notes should have attained. The value that you enter must exist in the Activity/Status Codes (40/AT) UDC table. If the shipment note does not attained the status code that you specify, the system displays an error message.

If you leave this processing option blank, the system uses 932 as the last status code.

### 4. Next Status Code for Shipment Notes

Specify the next status code to which shipment notes will be moved. The value that you enter must exist in the Activity/Status Codes (40/AT) UDC table. If the shipment note does not move to the status code that you specify, the system displays an error message.

If you leave this processing option blank, the system uses 832 as the last status code.



## 第 12 章

# 受注オーダーの処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、受注オーダー処理とトランザクション処理の概要と以下の方法について説明します。

- 状況コードの更新
- ピッキング伝票の印刷
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print standard pick slip for selling a make-to-order item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print standard pick slip for selling from inventory
  - (Rapid Start AUS and NZL) Print and reprint pick slips
  - (Rapid Start AUS and NZL) Print and reprint pick slips for transfer order without receipt routing
- シリアル番号情報の処理
- 出荷の確認
  - (Rapid Start USA) Confirm shipment for equipment sales order
  - (Rapid Start) Confirm shipment for customer credit with return
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirm shipment online for selling a make-to-order item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirm shipment online for selling from inventory
  - (Rapid Start AUS and NZL) Confirm shipment for selling from inventory
  - (Rapid Start CAN and USA) Confirm shipment for transfer order with receipt routing
  - (Rapid Start AUS and NZL) Confirm shipment for transfer order without receipt routing
  - (Rapid Start AUS and NZL) Confirm shipment for intercompany sales order
- 出荷伝票の印刷
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print bill of lading for selling a make-to-order item
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print bill of lading for selling from inventory
- UCC 128 に従った出荷処理

---

## 受注オーダー処理について

受注オーダーは入力してから処理する必要があります。受注オーダーの処理サイクルの順番は次のとおりです。

1. ピッキング リストの印刷
2. 出荷の確認

### 3. 請求書の作成

### 4. 総勘定元帳 (GL) 情報の更新

ピッキング伝票は、倉庫の従業員が在庫をピッキングして受注オーダーを充当するために使用する伝票のことです。倉庫の従業員がオーダーのピッキングを行った後、受注オーダーの請求情報と出荷情報が正しいことを確認できます。商品を出庫する前に、運賃や税額の追加料金などの変更を受注オーダーに入力できます。

オーダー処理順序定義を使用して、受注オーダー処理の各ステップに対する状況コードを設定します。これらのコードによって、受注オーダー処理でのオーダー状況がトラッキングされます。たとえば、出荷確認済みのオーダーに対する状況コードは 560 になります。

受注オーダーの処理に必要な状況コードは会社のニーズに応じていくつでも設定できます。たとえば、受注オーダー入力とピッキング リストの印刷の間に、与信承認のための状況コードを追加することが可能です。

手作業でオーダー行の状況コードを進めて、処理サイクルのステップを省略することもできます。これは、顧客が直接倉庫で品目を買い付ける場合などに役立ちます。オーダー入力後、オーダー行の状況コードを請求書処理の状況コードまで進めて、ピッキングと出荷確認を省略できます。

---

## トランザクション処理について

トランザクション処理では、特定のプログラムやテーブルのデータ整合性が保証されます。在庫をデータベースにコミットしているときに、データベース エラーやサーバー障害が発生した場合、トランザクションに関連している全てのテーブルの更新はデータベースからロールバックされてデータの整合性が維持されます。トランザクション処理によって、データはコミット コマンドが発行されるまで待ち行列に保存されます。コミット コマンドが発行されると、データは対応するテーブルに移動します。

トランザクション処理の対象となるプロセスごとに境界が作成されます。1 つのトランザクション境界には、トランザクションを構成する全てのデータ要素が含まれます。障害が発生すると、障害発生前の状態にシステムをリセットすることを知らせるワークフロー メッセージが生成されます。

保管場所品目 (F41021) テーブルは、事業所、保管場所、およびロット/シリアル番号別に品目の手持数量と引当済み数量を反映しています。F41021 テーブルを正確に維持することが重要です。トランザクション処理では、有効な処理済みオーダーが作成される前に品目が受注オーダーに引当てられることはありません。品目またはオーダーが何らかの理由で保留されている場合、オーダーへの引当は行われません。

データはトランザクション ワークテーブル (F41021WF) に格納されます。このテーブルはデータを一時的に保存する点を除いて F41021 と同じです。F41021 テーブルの更新は、トランザクション境界の外で実行されるため、データ整合性が保証されます。F41021 でデータを更新し、コミットメントが成功してからワークテーブルのデータを削除します。

ユーザー定義コード (UDC) 00/AT (自動 TP ロールバック レベル) の特殊取扱フィールドに値 1 を入力し、自動入力するワークテーブルを指定できます。

トランザクション処理では、売上更新で次のプログラムを使用します。

- 受注オーダー入力 (P4210)
- 出荷確認 (P4205)
- バックオーダー リリース (R42117)

## 状況コードの更新

このセクションでは、状況コードの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 状況コードの更新 (P42040) の処理オプションの設定
- 状況コードの更新

### 状況コードについて

状況コード更新プログラムを使用して、選択したオーダー行の状況コードを手作業で進めることができます。これにより、会社やオーダーに固有のオーダー処理ステップを管理できます。たとえば、状況コード更新プログラムから、複数のオーダー行の与信承認を省略できます。

また、1 行の状況コードを手作業で「次の状況」コードに変更することもできます。ただし、オーダーまたはオーダー行が保留になっている場合は、最初にオーダーをリリースする必要があります。保留オーダーの状況を先に進めても、オーダーが自動的にリリースされることはありません。

省略できる状況コードは、オーダー処理順序定義で設定されているステップに限りです。

**注:** 状況コード更新プログラムでは、オーダー行の状況を 999 などの終了状況に進めることはできません。また、受注オーダー入力時に指定する限られた状況にも進められません。受注オーダーに終了状況を割り当てるには、受注オーダー処理の全てのステップを完了する必要があります。オーダーを取り消すには、オーダーを照会して各明細行を取り消してください。

### 事前設定

状況コードがオーダー処理順序定義 UDC (40/AT) に設定されていることを確認してください。

### 状況コードの更新に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[販売状況のスピード更新]	W42040A	[追加オーダー処理] (G4212)、[状況コードの更新]	処理または更新するオーダーの検討と選択  [更新先状況コード] フィールドに入力し、[選択] をクリックして状況コードを更新します。
[受注スピード状況更新の追加選択]	W42040B	[販売状況のスピード更新] の [フォーム] メニューにある [追加選択] を選択	更新するオーダーの状況の範囲を決める追加選択基準の入力

### 状況コード更新の処理オプションの設定

次のオプションを使用して、デフォルト値の設定、バージョンの指定、およびデータの処理方法の定義を行います。

#### デフォルト

デフォルトの開始状況コードおよび終了状況コード、オーダーの処理で使用する状況コード、デフォルトの次の状況コードを定義します。

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 1. 開始状況コード、2. 終了状況コード  | [販売状況のスピード更新] フォームに表示するオーダー状況コードの範囲を示します。指定するコード (UDC 40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。開始状況と次の状況の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。 |
| 3. 基準状況                | <p>フォームに表示するレコードのフィルタリングで使用する状況を指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 次の状況を使用します。</p> <p>1: 前の状況を使用します。</p>   |
| 4. 更新するデフォルトの「次の状況」コード | オーダー状況の更新で使用するデフォルトの次の状況を入力します。  |
| 5. オプション               | これらは将来使用の処理オプションです。このオプションは現在機能しません。このオプションはブランクにしてください。   |
| 6. オーダー タイプ            | 最初の入力時にフォームに自動入力されるデフォルトのオーダー タイプを指定します。   |

## バージョン

このプログラムから呼び出す受注オーダー入力プログラムのバージョンを指定します。

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1. 受注オーダー入力のバージョン | 受注オーダーの作成で使用する受注オーダー入力プログラム (P4210) のバージョンを入力します。 |
|-------------------|---|

## 倉庫

ピッキング要求を作成できるかどうか、ピッキング要求をサブシステムで生成するかどうか、および一時変更状況を指定します。

- |   |  |
|---|--|
| 1. 要求処理モード                                  | <p>倉庫管理でピッキング要求を作成するかどうかを指定します。倉庫管理を使用する場合、ピッキング要求を作成し、サブシステムから要求を処理できます。ピッキング要求は、オーダーに対して特定の保管場所から在庫をピッキングする際の提示を処理します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: ピッキング要求を生成しません。</p> <p>1: 要求のみを生成します。</p> <p>2: 要求を生成し、サブシステムからピッキング要求を作成します。</p> |
| 2. ピッキング要求をサブシステムで処理する場合は、そのバージョンを入力してください。 | サブシステムから倉庫管理ピッキング要求を生成する保管場所選択ドライバプログラム (P46171) のバージョンを入力します。保管場所選択ドライバプログラムは、倉庫管理システムの全ての移動要求 (ピッキング要求を含む) を処理します。   |

---

注: サブシステム処理に設定しているバージョンを指定する必要があります。

---

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 3. 要求が生成済みの受注オーダー行の「次の状況」を一時変更します。 | オーダー処理に代わりのステップを入力します。指定するコード (UDC 40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。開始状況と一時変更状況の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブルにある有効な前の状況と次の状況の組み合わせである必要があります。 |
|------------------------------------|---|

## 状況コードの更新

[受注スピード状況更新の追加選択] フォームにアクセスします。

状況コードの更新 - 受注スピード 状況更新の追加選択

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

開始

終了

状況範囲の基準

☒ 前の状況

☐ 次の状況

[受注スピード状況更新の追加選択] フォーム

開始	このオーダー行が正しく完了した処理サイクルの前のステップを指定します。
終了	オーダー行の更新に使用するオーダー フローの次の状況を指定します。
状況範囲の基準	更新の実行で使用する状況コードを指定します。

## ピッキング伝票の印刷

- このセクションでは、印刷できるピッキング伝票のタイプの概要と以下の方法について説明します。
- ピッキング リストの印刷
  - ピッキング リストの印刷 (R42520) の処理オプションの設定

### ピッキング伝票のタイプについて

倉庫の従業員はピッキング伝票を印刷できるため、顧客のオーダー、出荷、または積荷に倉庫から在庫を充当する際に使用できます。また、複数の受注オーダーに対する品目のピッキング リストも印刷できます。保管場所別ピッキング リストやピッキング リストを使用して、複数の受注オーダーに対する効率的なピッキング作業を行うことができます。

次の表は、倉庫の従業員が在庫の確保で印刷して使用できる伝票について示します。

伝票	説明
ピッキングリスト (R42520)	<p>ピッキングリストは数量や保管場所情報など、1 件の受注オーダーに対する品目情報を記載した伝票のことです。ピッキングリストを使用して以下のことを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 行品目およびオーダー全体の価格を検討する</li> <li>• 配送担当者を識別する</li> <li>• 納品時に顧客が受取確認したことを検証する</li> <li>• 顧客が品目を返品する場合の受領書として使用する</li> </ul> <p>ピッキングリストの印刷時に在庫をハードコミットする場合は、品目のピッキングを行う複数の保管場所をピッキングリストに記載できます。特定のロットと品目の保管場所が一覧されます。1 か所のロット保管場所に必要な数量の在庫をピッキングできない場合、行を分割してロットと保管場所ごとに別々の行を作成します。</p> <p>システムによりオーダー番号別にピッキングリスト番号が割り当てられ、そのオーダーの合計品目数が印刷されます。</p>
保管場所別ピッキングリスト (R42522)	<p>保管場所別ピッキングリストには、複数の受注オーダーに対して出荷される品目の情報が記載されます。このリストでは、品目は品目番号別にグループ化され、数量と保管場所順に並べられています。</p> <p>保管場所別ピッキングリストにより倉庫の従業員が複数の受注オーダーを効率的に充当できるため、必要な数量を検索する時間の削減につながります。</p> <p>システムにより保管場所別にピッキングリスト番号が割り当てられ、その保管場所の合計品目数が印刷されます。</p>
梱包済みピッキングリスト (R42521)	<p>梱包済みピッキングリストでは、特定の出荷や積荷に充当する在庫のピッキングを行うことができます。</p> <p>システムにより出荷番号または積荷番号別にピッキングリスト番号が割り当てられ、その出荷の合計品目数が印刷されます。</p>

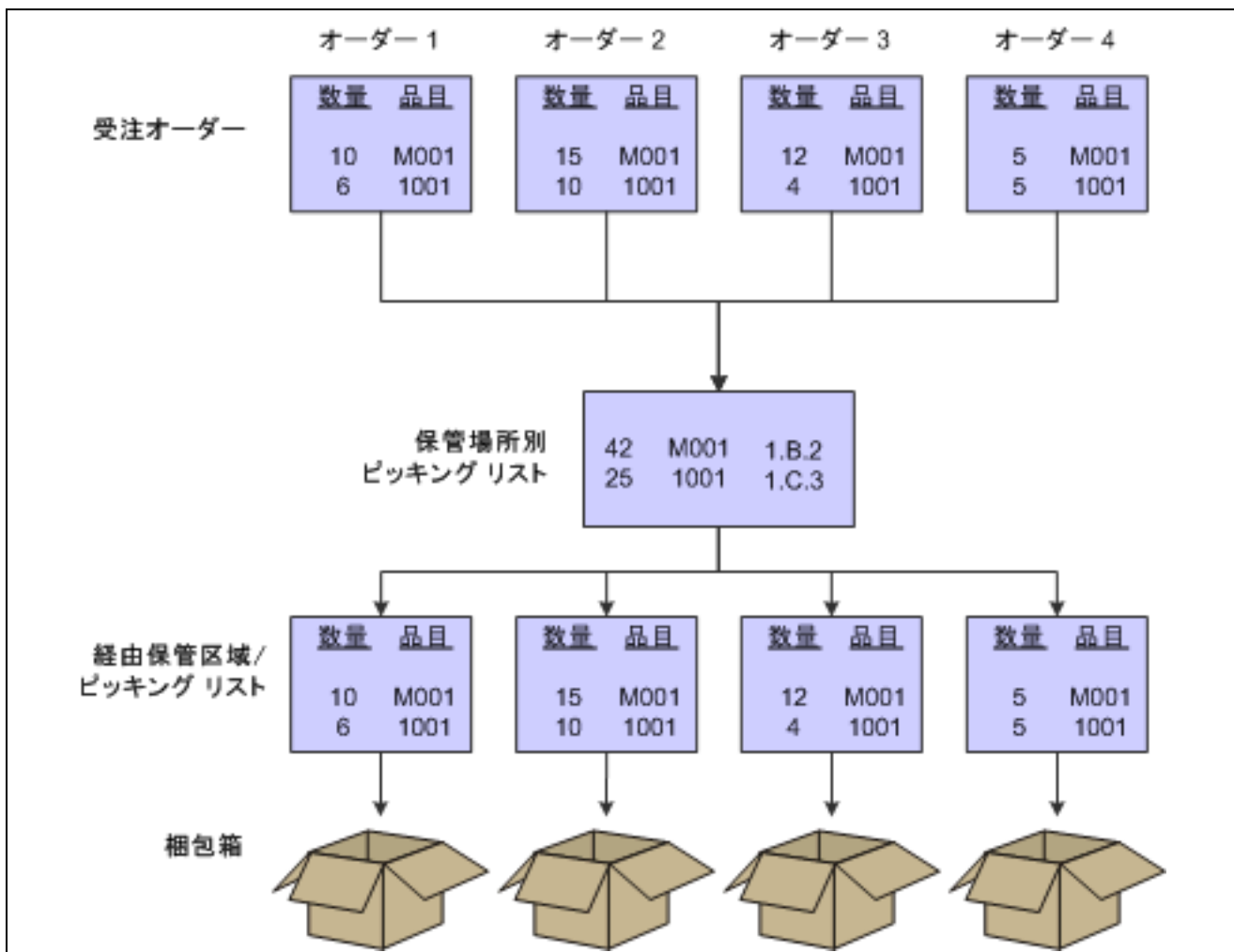
ピッキングリストの代わりに保管場所別ピッキングリストを先に印刷する場合、保管場所別ピッキングリストにある受注オーダーごとのピッキングリストを後で印刷することができます。倉庫の従業員はこのピッキングリストを使用して、出荷する受注オーダー用に梱包する品目と数量を確認することができます。1 つの区域の複数のオーダーを梱包できるため、倉庫の従業員が効率的に作業することができます。後で出荷確認に使用する番号が、各ピッキングリストに割り当てられます。

需要スケジューリング (40R) システムを使用する場合、レポートには日付/時間のカラムにピッキング予定時刻 (PDTT) 情報が表示されます。また、分離調整と固定料金に関する価格調整参照も表示されます。

顧客請求指示情報で顧客に優先順位コードを割り当て、その優先順位に従って顧客のオーダーを充当し、ピッキングリストが生成できます。これにより、特定の顧客に対する適正在庫の維持が可能になります。

次の図は、保管場所別ピッキングリストおよびピッキングリストを使用してオーダーを充当する方法について示します。





保管場所別ピッキングリストおよびピッキングリストの使用

印刷が中断されたり、追加のコピーが必要な場合には、ピッキングリストを再印刷できます。受注オーダー処理メニューから「ピッキングリストの印刷」を選択して印刷してください。オーダーの状況コードを進めることなく、ピッキングリストが再印刷されます。

印刷するピッキングリストの種類を指定するには、処理オプションを設定してください。

## ピッキングリストの印刷

[受注オーダー処理] (G4211) の [ピッキングリストの印刷] にアクセスします。

## ピッキングリスト印刷 (R42520) の処理オプションの設定

編集処理、印刷パラメータ、データの処理方法、および通貨を指定し、デフォルトのバージョンを定義します。

### 編集

この処理オプションでは、ピッキングリストの印刷プログラムを実行したときに状況コードをどのように処理するか指定します。

1. 開始「次の状況」(必須)      ピッキング リストを処理するオーダーの選択で使用する開始状況コード範囲を入力します。  
状況コードは、UDC テーブル 40/AT にあります。使用するオーダー タイプと行タイプの組み合わせごとに、状況コードをオーダー処理順序定義に設定する必要があります。
2. 終了「次の状況」(必須)      ピッキング リストを処理するオーダーの選択で使用する最も高い行状況を入力します。指定する UDC (40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。
3. 一時変更用「次の状況」      処理済みオーダー行の次の状況コードを入力します。このオプションを使用すると、オーダー処理順序定義が省略されます。  
指定するコード (UDC 40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。
4. 「次の状況」の更新      オーダー明細行の状況を更新するかどうか指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 行状況を更新します。  
1: 行状況を更新しません。
5. 検証      検証する許容ロット状況グループを入力します。ピッキング リストの印刷時、ユーザー定義の状況コード値に対して空白以外のロット状況コードが検証されます。空白以外のロット状況コードが F41081 テーブルにある場合、ユーザー定義のロット状況コードは空白と見なされ、保留中の品目はピッキング リスト印刷処理を通してそのままになります。

## 表示

この処理オプションでは、印刷メッセージまたは関連テキスト、キット構成成品、バックオーダー品目および顧客相互参照など、特定の情報を印刷するかどうかを制御します。

1. 一括印刷メッセージ      一括印刷メッセージを全てのピッキング リストに印刷するかどうかを指定するコード (UDC 40/PM) を入力します。
2. 関連テキストの印刷      受注オーダーに関連付けられているテキスト行を印刷するかどうかを指定します。受注オーダー見出し、受注オーダー明細、またはその両方に関連付けられているテキストを印刷するかどうかを指定できます。有効値は以下のとおりです。  
空白: 関連テキストを印刷しません。  
1: 見出しと明細行に関連付けられているテキストを印刷します。  
2: 見出しに関連付けられているテキストを印刷します。  
3: 明細行に関連付けられているテキストを印刷します。
3. キット構成成品の印刷      キット構成成品を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
1: キット構成成品を印刷します。  
2: キット構成成品を印刷しません。
4. 先日付引当行      先日付引当行を処理するかどうか、およびピッキング リストに情報を印刷するかどうかを指定します。ピッキング リスト処理で先日付引当行の処理

時、状況コードなどのオーダー明細行情報は更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 先日付引当を印刷または処理しません。

- 1: 先日付引当行を処理します。
- 2: 先日付引当行を処理および印刷します。
- 3: 先日付引当行を印刷します。

## 5. バックオーダー行

バックオーダー行を処理するかどうか、およびピッキング リストに情報を印刷するかどうかを指定します。ピッキング リスト処理でバックオーダー行の処理時、状況コードなどのオーダー明細行情報は更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: バックオーダー情報を印刷または処理しません。

- 1: バックオーダー行を処理します。
- 2: バックオーダー行を処理および印刷します。
- 3: バックオーダー行を印刷します。

## 6. 明細テキストの印刷

ピッキング リストに受注オーダー明細テキスト行を印刷するかどうかを指定します。テキスト行は行タイプ フィールドにテキスト行タイプを持ち、テキストのみを含むオーダー明細行です。有効値は以下のとおりです。

- 1: テキスト行を印刷します。
- 2: テキスト行を印刷しません。

## 7. 品目番号の印刷

ピッキング リストに印刷する品目番号を指定します。有効値は以下のとおりです。

- ブランクまたは 1: 自社品目番号のみを印刷します。
- 2: 自社品目番号と顧客の品目番号を印刷します。

## 8. 顧客相互参照

ピッキング リストに顧客品目番号を印刷する場合、顧客品目番号を特定する相互参照コードを指定します。入力する値は、UDC テーブル (41/DT) に定義されている必要があります。

## 9. 追加見出しテキストの印刷

レポートの見出しに追加見出しテキストを印刷するかどうかを指定します。追加見出しテキストでその文書がオリジナルのものが再印刷されたものかわかります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 追加見出しテキストを印刷しません。

- 1: 文書がオリジナルであることを示す追加見出しテキストを印刷します。
- 2: 文書が再印刷されたものであることを示す追加見出しテキストを印刷します。

## 10. 出荷番号の印刷

ピッキング リストの印刷レポート (R42520) に関連付けられている受注オーダーの出荷番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 出荷番号をレポートに印刷しません。

- 1: 出荷番号をレポートに印刷します。

## 処理

この処理オプションでは、ピッキング リストの印刷プログラムを実行したときに特定の処理を実行する方法を制御します。たとえば、在庫をコミットする方法を指定できます。また、ワークテーブルの作成、シップ アンド デビット契約の処理方法の指定も可能です。

- 1. 在庫のハード コミット**      オーダー明細行をハード コミットするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
  - 1: 在庫をハード コミットします。
  - 2: コミットメント処理を省略します。在庫のコミット時、一部の行はバックオーダーまたは取り消しされます。
- 2. 優先引当**      優先情報処理を使用してオーダー明細行に引当を実行するかどうかを指定します。顧客優先情報 (P40071) と品目優先情報 (P40072) の設定に従って在庫を引当てます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 優先情報処理を使用して在庫を引当てません。

  - 1: 優先情報処理を使用して在庫を引当てます。
- 3. ワークテーブルの作成**      ピッキング リストの印刷プログラムのこのバージョンでワークテーブルを作成するかどうかを指定します。ワークテーブルの作成時、ピッキング リスト処理を通して全てのオーダー明細行が処理されます。この処理オプションを使用するには、レポート設計ツールでレポートを作成し、ピッキング リスト見出しファイル テーブル (F42UI520) とピッキング リスト明細ファイル テーブル (F42UI521) を指定する必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: ワークテーブルを作成しません。

  - 1: ワークテーブルを作成します。
- 4. シップ アンド デビット 処理**      ピッキング リストの印刷プログラムの実行時に、シップ アンド デビット契約を特定および調整する割当/再計算/再割当調整プログラム (R45100) にサブシステム処理またはバッチ処理を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: サブシステム処理とバッチ処理を使用しません。

  - 1: サブシステム処理を使用します。
  - 2: バッチ処理を使用します。

## 通貨

この処理オプションでは、ピッキング リストを国内通貨と外貨のどちらで印刷するかを指定します。

- 1. 国内通貨/外貨**      ピッキング リストを国内通貨と外貨のどちらで印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 国内通貨を印刷します。

  - 1: 外貨を印刷します。
  - 2: 外貨と国内通貨を印刷します。

## バージョン

この処理オプションでは、シップ アンド デビット処理を実行するときに使用するバージョンを決定します。

バージョンごとにプログラムの情報の表示方法が異なります。このため、会社の要件に合わせてバージョンに処理オプションを設定する必要があります。

**1. シップ アンド デビット  
(R45100)**

ピッキング リストの印刷プログラムの実行時にシップ アンド デビット契約を特定および調整するために使用するサブシステム処理 (R45100) のバージョンを入力します。

---

## **(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Standard Pick Slip for Selling a Make-To-Order Item**

This section discusses:

- How to print standard pick slip for selling a make-to-order item.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Pick Slips – Batch (R42520).

### **Printing Standard Pick Slip for Selling a Make-To-Order Item**

This table lists the tasks for printing standard pick slip for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print standard pick slip for selling a make-to-order item.	Sales Order Processing, Print Pick Slip in Batch	R42520/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W = Make-to-Order item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, 99</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Pick Slips – Batch (R42520)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	540
2. Next Status Thru (Required)	560
3. Override Next Status	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Updating Next Status	blank
5. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Global Print Message	blank
2. Print Associated Text	1
3. Print Kit Components	1
4. Future Committed Lines	blank
5. Backordered Lines	2
6. Print Detail Text	1
7. Print Item Number	2
8. Customer Cross Reference	C
9. Print Additional Header Text	blank
10. Print Shipment Number	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Hard Commit Inventory	blank
2. Preference Commit	blank
3. Create Work File	blank
4. Ship and Debit Processing	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Domestic or Foreign Currency	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Ship and Debit (R45100)	blank

**関連項目:**

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「ピッキングリスト印刷 (R42520) の処理オプションの設定」、433 ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Standard Pick Slip for Selling from Inventory

This section discusses how to print standard pick slip for selling from inventory.

### Printing Standard Pick Slip for Selling from Inventory

This table lists the tasks for printing standard pick slip for selling from inventory:



Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print standard pick slip for selling from inventory.	Sales Order Processing, Print Pick Slip in Batch	R42520/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Pick Slips – Batch (R42520)」、438ページ

## (Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Pick Slips

This section discusses:

- How to print and reprint pick slips.
- Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Individual Pick Slips (R42520).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print Individual Pick Slips (R42520).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1510) (R42520).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1520) (R42520).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2510) (R42520).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2520) (R42520).

### Printing and Reprinting Pick Slips

This table lists the tasks for printing and reprinting pick slips:

Task	Navigation	Program and Version
Print pick slips.	Sales Order Processing, Print Pick Slip in Batch	R42520/RIS3005 R42520/RIS3006 R42520/RIS3007 R42520/RIS3008 R42520/RIS3009
Reprint pick slips.	Sales Order Processing, Re-print Pick Slip in Batch	R42520/RIS3004

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Individual Pick Slips (R42520)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3004.

#### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	560
2. Next Status Thru (Required)	560
3. Override Next Status	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Updating Next Status	1
5. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Global Print Message	blank
2. Print Associated Text	1
3. Print Kit Components	blank
4. Future Committed Lines	blank
5. Backordered Lines	blank
6. Print Detail Text	1
7. Print Item Number	2
8. Customer Cross Reference	C
9. Print Additional Header Text	2
10. Print Shipment Number	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Hard Commit Inventory	2
2. Preference Commit	blank
3. Create Work File	blank
4. Ship and Debit Processing	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Domestic or Foreign Currency	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Ship and Debit (R45100)	blank

## 関連項目:

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「ピッキングリスト印刷 (R42520) の処理オプションの設定」、433 ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Individual Pick Slips (R42520)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3005.

## Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	540
2. Next Status Thru (Required)	540
3. Override Next Status	blank
4. Updating Next Status	blank
5. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Global Print Message	blank
2. Print Associated Text	1
3. Print Kit Components	blank
4. Future Committed Lines	blank
5. Backordered Lines	2
6. Print Detail Text	1
7. Print Item Number	2
8. Customer Cross Reference	C
9. Print Additional Header Text	blank
10. Print Shipment Number	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Hard Commit Inventory	1
2. Preference Commit	blank
3. Create Work File	blank
4. Ship and Debit Processing	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Domestic or Foreign Currency	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Ship and Debit (R45100)	blank

**関連項目:**

[第 12 章、「受注オーダーの処理」、「ピッキングリスト印刷 \(R42520\) の処理オプションの設定」、433 ページ](#)

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1510) (R42520)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3006.

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	540
2. Next Status Thru (Required)	540
3. Override Next Status	blank
4. Updating Next Status	blank
5. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Global Print Message	blank
2. Print Associated Text	1
3. Print Kit Components	blank
4. Future Committed Lines	blank
5. Backordered Lines	2
6. Print Detail Text	1
7. Print Item Number	2
8. Customer Cross Reference	C
9. Print Additional Header Text	blank
10. Print Shipment Number	blank

## Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Hard Commit Inventory	1
2. Preference Commit	blank
3. Create Work File	blank
4. Ship and Debit Processing	blank

## Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Domestic or Foreign Currency	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Ship and Debit (R45100)	blank

## 関連項目:

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「ピッキングリスト印刷 (R42520) の処理オプションの設定」、433 ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1520) (R42520)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3007.

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	540
2. Next Status Thru (Required)	540
3. Override Next Status	blank
4. Updating Next Status	blank
5. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Global Print Message	blank
2. Print Associated Text	1
3. Print Kit Components	blank
4. Future Committed Lines	blank
5. Backordered Lines	2
6. Print Detail Text	1
7. Print Item Number	2
8. Customer Cross Reference	C
9. Print Additional Header Text	blank
10. Print Shipment Number	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Hard Commit Inventory	1
2. Preference Commit	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Create Work File	blank
4. Ship and Debit Processing	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Domestic or Foreign Currency	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Ship and Debit (R45100)	blank

### 関連項目:

[第 12 章、「受注オーダーの処理」、「ピッキングリスト印刷 \(R42520\) の処理オプションの設定」、433 ページ](#)

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2510) (R42520)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3008.

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	540
2. Next Status Thru (Required)	540
3. Override Next Status	blank
4. Updating Next Status	blank
5. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Global Print Message	blank
2. Print Associated Text	1
3. Print Kit Components	blank



Processing Option Description	Value or Status
4. Future Committed Lines	blank
5. Backordered Lines	2
6. Print Detail Text	1
7. Print Item Number	2
8. Customer Cross Reference	C
9. Print Additional Header Text	blank
10. Print Shipment Number	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Hard Commit Inventory	1
2. Preference Commit	blank
3. Create Work File	blank
4. Ship and Debit Processing	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Domestic or Foreign Currency	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Ship and Debit (R45100)	blank

### 関連項目:

[第 12 章、「受注オーダーの処理」、「ピッキングリスト印刷 \(R42520\) の処理オプションの設定」、433 ページ](#)

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2520) (R42520)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3009.

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	540
2. Next Status Thru (Required)	540
3. Override Next Status	blank
4. Updating Next Status	blank
5. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Global Print Message	blank
2. Print Associated Text	1
3. Print Kit Components	blank
4. Future Committed Lines	blank
5. Backordered Lines	2
6. Print Detail Text	1
7. Print Item Number	2
8. Customer Cross Reference	C
9. Print Additional Header Text	blank
10. Print Shipment Number	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Hard Commit Inventory	1
2. Preference Commit	blank
3. Create Work File	blank
4. Ship and Debit Processing	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Domestic or Foreign Currency	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Ship and Debit (R45100)	blank

**関連項目:**

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「ピッキングリスト印刷 (R42520) の処理オプションの設定」、433 ページ

## (Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Pick Slips for Transfer Order Without Receipt Routing

This section discusses how to print and reprint pick slips for transfer order without receipt routing.

### Printing and Reprinting Pick Slips for Transfer Order Without Receipt Routing

This table lists the tasks for printing and reprinting pick slips for transfer order without receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version
Print pick slips for transfer order without receipt routing	Sales Order Processing, Print Pick Slip in Batch	R42520/RIS3005 R42520/RIS3006 R42520/RIS3007 R42520/RIS3008 R42520/RIS3009
Reprint pick slips for transfer order without receipt routing	Sales Order Processing, Re-print Pick Slip in Batch	R42520/RIS3004

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Individual Pick Slips (R42520)」、442 ページ

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Individual Pick Slips (R42520)」、444 ページ

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1510) (R42520)」、445ページ

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 1520) (R42520)」、447ページ

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2510) (R42520)」、448ページ

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print All Pick Slips (B/P 2520) (R42520)」、449ページ

---

## シリアル番号情報の処理

このセクションでは、シリアル番号処理の概要、流通システムでのシリアル番号処理、事業所用のシリアル番号の設定、および以下の方法について説明します。

- シリアル番号照会 (P4220) の処理オプションの設定
- 事業所用のシリアル番号の入力

### シリアル番号の処理について

シリアル番号は、このシステムでの品目ごとの識別とトラッキングに使用します。たとえば、部品の倉庫への到着時、入庫時、販売時、出荷時など、特定の部品に関する情報をトラッキングできます。

シリアル番号の条件に従って、品目を入荷した時点で事業所にシリアル番号を追加することができます。品目を販売するときには、オーダー入力時にシリアル番号を入力し、出荷確認時にシリアル番号を検証してください。

または、製品の出荷時にもシリアル番号を追加できます。たとえば、出荷確認時にシリアル番号を入力して、品目の保証期間を指定することができます。事業所内でシリアル番号を割り当てるには、基本シリアル番号プログラム (P4220) にアクセスします。

シリアル番号処理機能を使うと、ロット処理の向上につながります。システムでは数量を 1 つのロットとしてシリアル番号を処理します。数量が 1 のロットは、トラッキングできる最小のユニットになります。流通システムでシリアル番号をトレース/トラッキングする際には、次のロット情報プログラムを利用できます。

- ロット マスター (P4108)
- 保管場所の改訂 (P41024)
- ロット別在庫状況 (P41280)
- 品目元帳照会 (CARDEX) (P4111)
- ロットのトラッキング/トレース照会 (P41203)

シリアル番号は次のテーブルで管理されます。

- 品目マスター (F4101)
- 事業所品目 (F4102)
- 保管場所品目 (F41021)
- ロット マスター (F4108)

- ・ 品目元帳 (F4111)

## 流通システムでのシリアル番号処理について

シリアル番号の付いた品目を販売する場合、品目情報を設定して入庫から顧客への納品まで品目の動きをトラッキングできます。

### 品目を最初に入力するときのシリアル番号条件

F4101 テーブルに品目情報を入力する際には、シリアル番号の割当条件、ロット処理タイプ、引当方法、貯蔵期間（日数）を指定する必要があります。このテーブルの情報は F4102 テーブルに転送されます。シリアル番号を必須にすると、ロット処理タイプによって割当てが任意と必須のどちらであるか、および必須の場合は、システムが割り当てるシリアル番号の形式が指定されます。品目の失効日付が算出できるように、貯蔵期間を指定してください。事業所ごとにシリアル番号条件は一時変更できます。[事業所品目の処理] フォームの情報に基づいて、シリアル番号処理が検証されます。

シリアル番号条件が任意であることを示すロット処理タイプを入力すると、出荷が確認されるまでシリアル番号入力のプロンプトは表示されません。この機能をシリアル番号用に使用して、顧客に提供する品目の保証期間を識別します。

シリアル番号の入力が必須の品目全てに対してロット処理タイプと貯蔵期間を入力してください。在庫を引き当てるときに、このロット処理タイプと貯蔵期間が使用されます。貯蔵期間を指定しない場合は、品目を入荷するたびに失効日付を入力する必要があります。

### 入荷確認時のシリアル番号のアクセス

倉庫に品目を入庫するときに、シリアル番号情報を記録することができます。購買オーダーの入荷を入力する際には、事業所品目 (P41026) に存在するロット処理タイプを基に入荷オプションを入力する必要があります。

自動採番形式か日付形式に基づいてシリアル番号が自動的に割り当てられることを示すロット処理タイプを入力する場合、複数保管場所への入荷にオプションを入力してください。この場合、入荷数量は数量を 1 として入力するようにプロンプトが表示されます。自動採番形式または日付形式に基づいて F41021 テーブルに新しい保管場所が作成され、事業所品目で入力した貯蔵期間に基づいて失効日付が取得されます。シリアル番号ごとに失効日付を入力することもできます。

手作業でシリアル番号を割り当てる必要があることを示すロット処理タイプを入力する場合、複数保管場所への入荷オプションを入力してください。シリアル番号と入荷数量 1 を入力するように指示するプロンプトが表示されます。必要に応じてこれらの情報を使用し、F41021 テーブルにロットを作成できます。失効日付は、事業所品目に入力した貯蔵期間に基づいて自動的に取り込まれますが、シリアル番号ごとに手動でも入力できます。

シリアル番号別に品目情報をトレース/トラッキングするためにシリアル番号情報を記録するには、入荷確認プログラム (P4312) の処理オプションを設定してください。

### オーダー入力時のシリアル番号入力

ロット処理タイプを持ち、シリアル番号が必須であることを示す品目のオーダーを入力する場合、オーダー入力時に有効な保管場所とシリアル（ロット）番号を入力してください。

受注オーダー入力時にシリアル番号を必要とする場合、以下の規則が適用されます。

- ・ トランザクション計量単位はシリアル番号付きの品目の基本計量単位と一致させる
- ・ 保管場所とシリアル番号の組み合わせを入力する場合には数量を 1 にする
- ・ 保管場所とシリアル番号の組み合わせは有効かつ使用可能なものを入力する

入力した保管場所/シリアル番号と品目の組み合わせが使用できない場合や手持在庫数量がゼロの場合にはエラーが表示されます。品目、保管場所、シリアル番号の組み合わせに対する数量が次の状況である場合、シリアル番号は使用できません。

- 検収中
- 作業中 1
- 作業中 2
- 積送中

品目の返品や修理用の返品の場合は、有効な保管場所とシリアル番号を入力する必要があります。その他に、シリアル番号情報を使用して既存のオーダーを照会することができます。

### 出荷確認時のシリアル番号入力

品目がシリアル番号付きの場合、出荷確認時にシリアル番号情報を入力する必要があります。出荷確認中にオーダー明細行を確認する際には、事業所品目 (P41026) にある品目のロット処理タイプに基づいてシリアル番号を入力してください。

## 事業所用のシリアル番号設定について

品目を入荷する前、または倉庫から出荷するときに、組織固有のシリアル番号条件に従って事業所用のシリアル番号を設定できます。手作業でシリアル番号を割り当てる必要があることを示すロット処理タイプを入力する場合、シリアル番号を事前定義して、いつ受注オーダーを入力するかやいつ出荷を確認するかを選択することができます。品目保証などの情報の ID としてシリアル番号処理を使用する場合に、シリアル番号の入力を任意とするロット処理タイプを指定していれば、顧客への出荷を確認する前にシリアル番号を入力できます。また、すでに品目にシリアル番号を割り当てた場合は、任意で第 2 シリアル番号を入力して品目保証を識別することも可能です。

シリアル番号を照会して、顧客に販売された各品目のシリアル番号や特定のオーダー タイプ内でのシリアル番号、または販売予定あるいは出荷予定の品目に割り当てられている全てのシリアル番号を参照することができます。

**注:** [シリアル番号の処理] フォームでオーダーを検討する場合、数量が 1 の品目に割り当てられていないシリアル番号が表示されます。数量が 1 の品目については、ロットや保管場所が F41021 に作成されません。

## シリアル番号の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[シリアル番号の処理]	W4220B	[受注オーダー照会] (G42112)、[シリアル番号照会]	シリアル番号のあるオーダーの検討と選択
[シリアル番号の改訂]	W4220C	[シリアル番号の処理] の [追加] をクリックします。	指定した事業所用のオーダーのシリアル番号の追加と改訂

## シリアル番号照会 (P4220) の処理オプションの設定

この処理オプションを使用してデフォルト値を設定し、バージョンを指定します。

## デフォルト

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### オーダー タイプ

[シリアル番号照会] フォームにアクセスしたときに表示されるデフォルト伝票を指定します。伝票のタイプを識別するコード (UDC 00/DT) を入力します。

## バージョン

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### 受注残および完了オーダー照会 (P4210)

受注残および完了オーダー照会に使用する受注オーダー入力プログラムのバージョンを入力します。このオプションをブランクにすると、バージョン XJDE0001 が使用されます。

## 事業所用のシリアル番号の入力

[シリアル番号の改訂] フォームにアクセスします。

---

## 出荷の確認

このセクションでは、出荷確認時の追加オーダー処理の概要、出荷確認、自重と梱包情報、出荷確認バッチ アプリケーション、および以下の方法について説明します。

- 出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定
- 出荷の確認
- 自重と梱包情報の入力
- 出荷確認バッチ アプリケーションの実行
- 出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) の処理オプションの設定

## 出荷確認時の追加オーダー処理について

出荷確認処理中に、オーダーの他の処理も実行できます。たとえば、手持在庫の更新処理、積荷および配送確認による正確な在庫状況の把握などがあります。また、出荷確認時にシリアル番号情報の入力や出荷品目のテスト結果の確認を行うことによって、オーダーの正確さを保証することもできます。

これらの追加オーダー処理には、品質管理や輸送管理などの他の JD Edwards EnterpriseOne システムを必要とするものもあります。

### 手持在庫の更新

出荷確認または売上の更新の際に、品目の手持数量を差し引くことができます。選択する方法によって、履歴ファイルが F4111 テーブルに書き込まれる時期が変わります。使用する方法を決定する際には、この点を考慮してください。

- 出荷確認時に手持数量を在庫から差し引く場合、受注オーダー番号は伝票番号で、オーダー タイプは伝票タイプとして品目元帳にレコードが作成されます。

売上更新時に、請求書番号、請求書タイプ、総勘定元帳日付、およびバッチ番号のレコードが一時変更されます。

- 売上更新時に手持数量を在庫から差し引く場合は、請求書番号、請求書タイプ、元帳日付が品目元帳ファイルに書き込まれます。

出荷確認時にはレコードの書込みは行われません。

また、在庫のリリースは、出荷確認の前、製造プロセス中のコンフィギュレーション品目の完成時にも実行できます。

出荷確認中に品目の手持数量をリリースするには、UDC テーブル (40/IU) にオーダー タイプを追加する必要があります。売上更新時に、請求書番号、請求書タイプ、元帳日付、およびバッチ番号の品目元帳レコードが一時変更されます。

## 積荷確認と配送確認

正しく輸送を行うには、積荷確認と配送確認を正確にタイミングよく実行することが不可欠です。積荷の確認時には、積荷を構成する製品が検証されます。配送を確認する際は、積荷が最終目的地に届いたかどうかを確認されます。JD Edwards EnterpriseOne 輸送管理システムでは、バルクおよびパッケージ製品の積荷を迅速に確認できます。

積荷は、1 つまたは複数の出荷で構成されます。積荷を確認することにより、出荷する製品の実際数量を記録します。積荷確認時には、積載日付と時刻に対して実際の出荷日付と時刻が取り込まれます。実際の配送日付と時刻は必要に応じて更新可能です。

納品の時点で所有権が顧客に移行します。配送確認を実行し、積荷の仕様に従って配送済み製品の数量を確認します。バルク製品、パッケージ製品、計画外配送など、全ての配送タイプに対して確認されます。1 度に 1 つのトリップまたはオーダーを確認したり、同時に複数の配送を確認することも可能です。

次の処理により在庫が正確に管理されます。

- 積荷中に行われた温度測定と密度測定に応じて必要な在庫の調整を行う
- 積荷確認を完了する前に、バルク製品の有効な試験結果を記録できるようにする
- オーダーの状況を変更してバッチ処理で伝票を印刷できるようにしたり、自動的に配送票が印刷されるようにする
- 品目元帳に各トランザクションに対する履歴レコードを作成し、品質基準などの事前定義された基準に満たない場合には、積荷確認が実行されないようにする
- 配送確認中に、バルク製品の残数量の処分が記録できるようにする
- システムで必要な仕訳を作成する

輸送管理は、航空業務や船舶業務にも対応しています。航空/船舶業務については、積荷や配送の確認時にフライト番号や船舶番号、給油時間、到着および出発時間などの追加情報を入力できます。

受注管理のエネルギー/化学システムの使用を有効にすると、倉庫やデポから顧客へ配送するバルク製品やパッケージ製品をトラッキングできるほか、バルクオーダーの出荷を確認できます。出荷を確認する前にその他の必須フィールドに値を入力する必要があります。出荷確認情報は受注オーダー明細ファイル - タグ ファイル テーブル (F49211) に保管されます。

## 確認時のシリアル番号情報の入力

事業所品目にある品目にシリアル番号条件がある場合、出荷確認時にシリアル番号情報を入力する必要があります。出荷確認中にオーダー明細行を確認する際には、事業所品目にある品目のロット処理タイプに基づいてシリアル番号を入力してください。



自動採番形式か日付形式に基づいてシリアル番号が自動的に割り当てられることを示すロット処理タイプを入力する場合、出荷数量を 1 として確認してください。自動採番形式かシステム日付形式のいずれかに基づいて、必要に応じて F41021 に新しい保管場所が作成されます。1 より大きな数量を出荷する場合、[ロー] メニューの [複数保管場所からの選択] を選択し、[複数保管場所からの選択] フォームで行数量が 1 のシリアル番号を選択します。

手作業でシリアル番号を割り当てる必要があることを示すロット処理タイプを入力する場合、保管場所の選択についてオプションを入力してください。保管場所シリアル番号と入荷数量 1 を入力するように指示するプロンプトが表示されます。必要に応じてこれらの情報を使用し、F41021 テーブルにロットを作成できます。1 より大きい数量を出荷しようとする、[複数保管場所からの選択] フォームが自動的に表示され、数量が 1 より大きい行は確認されません。

出荷しようとしている品目のシリアル番号がシステムのシリアル番号と一致しない場合には、その情報を変更して出荷を正確に反映することが可能です。[シリアル番号の改訂] フォームで品目のシリアル番号を新規に設定することができます。

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「シリアル番号情報の処理」、452 ページ

## 出荷品目の試験結果の確認

JD Edwards EnterpriseOne 品質管理システムを使用している場合、出荷事業所に対して事業所固定情報で品質制御を有効にすると、出荷確認時に試験結果のサンプルを確認できます。試験結果は入力後にシステムにより処理され、回収した結果が定義した試験に合格するかどうかが決まります。試験結果は最小値および最大値と突き合わせられ、その合否に応じて各オーダー明細行のロット状況が調整されます。そのロットが合格すると、出荷用にそのオーダー明細行が確認されます。不合格の場合は、[出荷確認] フォームの [ロー] メニューから試験結果の改訂にアクセスして、顧客と受注オーダー品目に対する品質基準を満たすロットを検索して選択できます。

さらに、出荷確認プログラム (P4205) の処理オプションを設定して、分析証明書 (COA) に試験結果が自動的に印刷されるようにもできます。分析証明書は、顧客に販売されるロット品目の試験とその結果が一覧された文書です。この文書を希望することが請求指示に指定されている顧客にのみ、分析証明書は印刷されます。さらに、試験定義に定義されているパラメータに基づいて分析証明書に試験結果が印刷されます。

## 出荷確認について

倉庫の従業員がオーダーのピッキングを行った後、オーダーを出荷する前に品目と出荷情報を確認してください。出荷確認プログラム (P4205) を使用して、在庫が倉庫から出荷されたことを確認します。出荷前に品目のピッキングが行われた保管場所、数量、全ての品目および出荷情報、追加料金、シリアル番号などを確認することができます。また、許容ロット状況が割り当てられている保留中の品目も出荷できます。

出荷確認中には受注オーダーに対して在庫品目を追加することはできませんが、処理オプションの設定しだいでは取扱料金や運賃などの非在庫品目の金額を追加できます。

オーダーを確認すると、オーダーは次の状況に進みます。たとえば、状況コード 540 のオーダーは、出荷確認後には 560 になります。

出荷数量がオーダー数量よりも少ない場合は、受注オーダーの出荷数量を調整することができます。品目の受注数量に満たない場合は、次のオプションの設定に従ってオーダーが処理されます。

- 出荷確認プログラムにバックオーダー、取り消し、または出荷可能な品目が設定されている
- 顧客請求指示でバックオーダーが許容されている

事業所固定情報、事業所品目、品目マスターの設定でバックオーダーが許容されている

出荷確認では、オーダー行の確認時に実際出荷時刻値を入力できます。また、輸送出荷確認 (P49645) と輸送積荷確認 (P49640) アプリケーションから実際出荷時刻を取得することもできます。

キットは次のように出荷確認できます。

- 手作業で出荷を確認する

処理オプションでキット構成成品を全て表示するように設定します。手作業でキットの各構成成品を確認し、残数量を調整する必要があります。

- カートン再構成 (P4620) を使用して出荷を確認する

行レベルの調整に失敗した場合や出荷確認時に数量が変更された場合、カートン データを訂正できます。[カートン詳細] タブの出荷確認カートン状況および出荷明細とカートン明細の調整処理オプションを使用すれば、出荷を確認する前に必要な編集をカートンに必ず実行できます。出荷確認 (W4205K) の [ロー] メニューからカートン再構成プログラム (P4620) にアクセスして訂正できます。

たとえば、全てのラベルを出荷に割り当ててから、カートン状況を変更してカートン明細が出荷明細に対して調整済みであることを示すことができます。出荷の全てのカートンがその状況にない場合、出荷は確認できません。状況を空白のままにすれば、カートン状況を確認せずに処理を進めることができるため、この処理は任意です。また、出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) のバッチ バージョンを使用してこの機能を実行することもできます。バッチ バージョンは、処理オプションで指定された対話型バージョンの処理オプションを取り込みます。

- 出荷を自動的に確認する。

処理オプションでキットの構成成品を表示しないように設定します。キットの構成成品はシステムにより確認され、各キット構成成品の残数量が調整されます。

## キットおよびコンフィギュレーション品目の部分オーダー数量

キットとコンフィギュレーション品目の受注オーダー数量はほとんどの場合、部品や半組立品を含めると大量になります。通常、その受注オーダーに対して品目と構成成品が全て揃っても、全体のオーダーが全て揃うまで在庫として置かれます。その一方で、完了した分だけの数量を出荷すると、経費を削減しながら在庫管理を効率よく行えます。また、オーダー全体の数量を充当できるまで待たずに完了分だけを定期的に請求できます。

## 出荷昇順日付

消費者パッケージ商品や製薬業界は、ロット処理でさまざまな日付を扱います。顧客は、前回出荷の日付以降の有効期限、販売期限、失効日付で製品ロットを出荷してほしいと考えています。

出荷確認時、ピッキングされたロットと保管場所が昇順に従っているか確認されます。規則を満たしていない場合は、警告やエラー メッセージが発行されます。

## 自重および梱包情報について

出荷を作成し、出荷に当たって品目のピッキングを行うと、梱包情報を入力して内装やパレットを確認できます。

出荷を確認するときには、自重と梱包情報が検証されます。各出荷に対して、製品とオーダーの梱包方法についての情報を入力できます。自重情報を入力するときには、出荷しようとしているパレットや大規模の製品の集合体についての情報も同時に記録することになります。梱包情報を入力するときには、内装も記録することになります。たとえば、2 つの異なるモデルで、2 台で 1 箱に梱包される電子レンジを持つパレットの情報を記録することができます。それぞれの電子レンジの UPC (Universal Product Code) と電子レンジが事前に梱包されているカートンの SCC (Shipping Container Code) の両方が品目マスターに取り込まれます。自重と梱包情報を記録するには、電子レンジが積み込まれたパレットのタイプを入力します。

複合 SCC を入力する場合、アスタリスクが 2 つ (\*\*) 表示されて、関連 UPC があることが示されます。[UCC128 - 改訂] フォームから品目別品目相互参照の改訂にアクセスして、UPC を検討できます。

自重と梱包の明細を入力するかどうかを指示するには、出荷確認プログラム (P4205) の処理オプションで梱包確認と梱包確認バージョンを設定してください。両方の処理オプションを設定すると、オーダー明細行を確認するときにシステムによる梱包確認を実行するかどうかも指定できます。

注: 会社別の SSCC (Serial Shipping Container Code) 自動採番を生成するには、UDC テーブル (00/DT) で伝票タイプを設定する必要があります。

## 出荷確認バッチ アプリケーションについて

出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) では、複数のオーダーを同時に確認できます。この処理により EDI 受信購買変更見出し (F47131) および EDI 受信購買変更明細 (F47132) テーブルが更新されます。出荷確認バッチ アプリケーションは、受信トランザクション バッチ処理 (R47500) を呼び出します。顧客オーダー変更テーブルも使用されます。

バッチ モードで出荷確認するときには、出荷確認バッチ アプリケーションの処理オプションで指定した状況に該当する全てのオーダーが検索されます。

次の基準に該当するオーダーは処理されません。

- 現在保留中のオーダー
- 倉庫管理で処理されているオーダー
- すでに出荷確認済みのオーダー
- ゼロより大きな先日付引当数量を持つオーダー

このプログラムはテスト モードと最終モードのどちらでも実行できます。バッチ処理による出荷確認をテスト モードで実行すると、オーダーの状況やデータベースの更新は行われません。このモードではエラーが発生した場合にワーク センターに電子メールが送信されます。この場合、[受注オーダー明細の改訂] フォームでエラーを訂正し、オーダーを再投入して確認できます。

出荷確認バッチ アプリケーションを実行するたびに受信トランザクション バッチ処理が自動的に実行されるため、バッチ処理を合理的に実行できます。出荷確認バッチ アプリケーションの処理オプションを設定するには、出荷確認プログラムのバージョンを指定してください。また、受信トランザクション バッチ処理に処理オプションを設定してください。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 対話型出荷確認プログラムの場合は、状況コードが出荷確認に設定されていることを確認する
- 出荷確認バッチ アプリケーションのバージョンを作成して、会社の業務の必要性に応じて処理オプションを設定する

たとえば、テスト モードと最終モードで実行するバージョンを複数作成するとします。この場合、実際にオーダーが確認されデータベースが更新される前にオーダーを検討することができます。

- 出荷確認のバージョンを作成して、会社の業務の必要性に応じて処理オプションを設定する
- 受信トランザクション バッチ処理のバージョンを作成して、業務の必要性に応じて処理オプションを設定する
- 出荷確認バッチ アプリケーションの処理オプションに、受信トランザクション バッチ処理の正しいバージョンが指定されていることを確認する
- 受信トランザクション バッチ処理の処理オプションに、出荷確認の正しいバージョンが指定されていることを確認する

**関連項目:**

JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「ロット処理の使い方」、「許容ロット状況コードの設定」

**出荷の確認で使用するフォーム**

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[出荷確認の処理]	W4205H	[受注オーダー処理] (G4211)、[出荷確認]	出荷を確認するオーダー の検討と検索
[出荷確認]	W4205K	[出荷確認の処理]で確認 するオーダーを選択する。  [SEL = 1 /] フィールドに 入力して [OK] をクリック します。	数量と出荷オーダー の確認
[梱包確認詳細の改訂]	W4216A	自重と梱包情報を入力お よび改訂する。	オーダーの確認

**出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定**

次のオプションを使用して、データ選択基準の指定、デフォルト値および表示値の指定、データの処理方法と編集方法の定義、印刷オプションの定義、バージョンの指定、前払処理の有効化を行います。

**選択**

この処理オプションでは、オーダー明細行が確認用に選択されるとき選択基準を指示します。

- 1. 開始「次の状況」(必須)** 終了「次の状況」処理オプションの値と組み合わせて使用する開始状況コードを入力します。これにより、出荷確認で処理する行を判断する際に使用する有効な次の状況の範囲が決まります。
- 2. 終了「次の状況」(必須)** 開始「次の状況」処理オプションの値と組み合わせて使用する終了状況コードを入力します。これにより、出荷確認で処理する行を判断する際に使用する有効な次の状況の範囲が決まります。
- 3. 受注オーダー タイプ (必須)** 伝票タイプを入力します。このコードはトランザクションの起点も指定します。伝票、請求書、領収書、およびタイム シートの伝票タイプ コードが予約されており、転記プログラムを実行したときに自動的に相殺仕訳が作成されます。初期入力時には、これらの仕訳は自動残高調整されません。

UDC 00/DT に設定されている値を入力してください。

出荷確認中に品目の手持数量をリリースするには、UDC 40/IU にオーダータイプを追加する必要があります。UDC テーブルにオーダータイプを入力しない場合、品目の手持在庫数量は売上更新で自動的にリリースされます。

UDC 40/IU にオーダータイプを追加すると、手持在庫数量は出荷確認時に在庫から自動的に差し引かれます。受注オーダーは伝票番号として、オーダータイプは伝票タイプとして品目元帳にレコードが作成されます。売上更新時に、請求書番号、請求書タイプ、元帳日付、およびバッチ番号のレコードが既存レコードに追加されます。

作業オーダー処理では、コンフィギュレーション品目構成品の在庫がリリースされ、受注オーダー明細ファイルテーブル (F4211) の SO02 フィールドが

更新されます。このフィールドは、その行に在庫がリリースされていることを示します。また、UDC がオーダー タイプと行タイプの組み合わせに設定されている場合でも、出荷確認で在庫はリリースされません。

UDC 40/IU にオーダー タイプを追加しない場合、売上更新の実行時に在庫をリリースする必要があるかどうか判断するために F4211 の SO02 フィールドが検討されます。必要であれば、売上更新時に在庫から手持在庫数量が差し引かれ、請求書番号、タイプ、元帳日付が品目元帳に書き込まれます。出荷確認時にはレコードの書込みは行われません。

## デフォルト

この処理オプションでは、トランザクションに値が入力されていない場合に出荷確認プログラムで使用する伝票タイプなどのデフォルト値を決定します。

### 1. 新規受注明細行の行タイプ

トランザクションの行の処理方法を制御するコードを入力します。値は [行タイプ固定情報の改訂] フォーム (P40205) に定義されています。在庫品目の S、直送品目の D、作業原価の J、非在庫品目の N、運賃の F、テキスト情報の T、その他の料金や貸方額の M、作業オーダーの W があります。

出荷確認中、受注オーダーに在庫品目を追加することはできませんが、取扱料金や運賃などの非在庫品目の金額は追加できます。

新しい受注オーダー明細行に非在庫行タイプを入力し、追加行の入力処理オプションを設定すると、受注オーダー明細行を確認した後に [追加行品目] ウィンドウが表示されます。

### 2. 確認済み受注明細行

オーダー処理の別の手順を示す、次の状況の一時変更用コードを入力します。入力する UDC (40/AT) は、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいてオーダー処理順序定義に設定されている必要があります。受注オーダー明細行の次の状況と一時変更用コードの組み合わせは、オーダー処理順序定義にある有効な前の状況/次の状況の組み合わせにします。

### 3. 入力された追加の非在庫品目行

出荷確認中、受注オーダーに在庫品目を追加することはできませんが、取扱料金や運賃などの非在庫品目の金額は追加できます。オーダー処理の別の手順は、出荷確認時に非在庫品目を追加する際に入力します。入力する UDC (40/AT) は、オーダー処理順序定義に設定されており、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいている必要があります。受注オーダー明細行の次の状況と追加の非在庫行の一時変更用コードの組み合わせは、オーダー処理順序定義にある有効な前の状況/次の状況の組み合わせにします。

この処理オプションは、追加行の入力処理オプションを有効にしている場合のみ使用できます。

### 4. バックオーダーの残数量

出荷確認時に使用できない数量についてオーダー処理の別の手順を入力します。確認済みオーダーの当初オーダー明細行は、出荷が確認された数量を示します。引当可能数量がオーダー数量よりも少ない場合、未出荷のままである数量を示すオーダー明細行が追加されます。新しい明細行の現在の状況コードは 904 (出荷確認時のバックオーダー) です。オーダー処理から次の状況コードを取得できるほか、代替状況を指定することもできます。

入力する UDC (40/AT) は、オーダー処理順序定義に設定されており、使用するオーダー タイプと行タイプに基づいている必要があります。

受注オーダー明細行の次の状況とバックオーダー数量または取り消し数量の一時変更用コードの組み合わせは、オーダー処理順序定義にある有効な前の状況/次の状況の組み合わせにします。

この処理オプションは、[処理] タブの未出荷数量のバックオーダーまたは取り消し処理オプションを有効にしている場合のみ使用できます。

#### 5. 承認済み行

承認済み行の一時変更用状況コードを入力します。状況コードを入力する場合、オーダー処理順序定義の UDC (40/AT) テーブルに設定されている状況を使用し、オーダー タイプと行タイプの組み合わせに基づいている必要があります。

#### 6. 決済済み行

決済済み行の一時変更用状況コードを入力します。

状況コードを入力する場合、オーダー タイプと行タイプの組み合わせに基づき、オーダー処理順序定義の UDC (40/AT) テーブルに設定されている状況を使用する必要があります。

### 表示

この処理オプションでは、特定の受注オーダー情報を表示するかどうか、また確認時に行を追加できるかどうかを指示します。

#### 1. 追加行の入力

出荷確認時に、非在庫品目を受注オーダーに追加できるかどうかを指定します。たとえば、取扱料金や運賃などの非在庫品目の金額を追加できません。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [追加行品目] フォームを表示しません。

1: 受注オーダー明細行が確認されると、[追加行品目] フォームを表示します。

#### 2. キット構成品行の表示

キットの構成品行を表示するかどうかを指定します。キットの出荷を確認する際、手作業でキットの各構成品を確認できます。または、親品目の確認時にその構成品を自動的に確認できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: キット構成品行は表示しませんが、各構成品を自動的に確認してキットの各品目の残り数量を調整します。数量を引当てられない構成品がある場合は、キット全体がバックオーダーまたは取り消されます。

1: 全てのキット構成品行を表示し、手作業で各構成品を確認します。任意の構成品の数量が引当てられない場合、その構成品はバックオーダーまたは取り消されますが、親品目はそのままです。

#### 3. テキスト行の表示

オーダーの出荷確認時にテキスト行を表示するかどうかを指定します。テキスト行タイプ (通常は T) を持つオーダー明細行には、メモ情報があります。

オーダーの出荷を確認する際、テキスト行情報を表示する必要があるかもしれません。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テキスト行を表示しません。

1: テキスト行を表示します。

#### 4. 保管場所品目の保留エラー

保管場所品目が保留中の場合にエラーを受け取るかどうかを指定します。品目マスター、品目事業所、ロット マスターの改訂で、ロット状況コードを設定し、保管場所に状況コードを割り当てることができます。承認済みのロットや保管場所に状況コードはありません。状況コードを保管場所やロットに割り当てない場合、それは承認済みのロットや保管場所です。他の全

てのコードは保留中を示します。保留中である保管場所の品目が処理される場合があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 保管場所品目が保留中の場合エラーを表示しません。

1: ロット状況が承認されるまでこの保管場所からの品目の出荷を確認しません。

## 5. 確認する明細行の事前選択

改訂フォームに選択値を入力するかどうかを指定します。キット構成品行や半組立品を表示する場合、明細行を事前選択するオプションを選択できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 確認する明細行を自動的に選択しません。選択値を入力して明細行を確認する必要があります。

1: 改訂フォームの全てのオーダー明細行に選択値 1 が入力されます。確認しない明細行はクリアできます。

## 編集

この処理オプションでは、オーダー明細行の確認前に引当可能数量チェックを実行するか、またその数量は変更可能かを指示します。

### 1. 引当可能数量のチェック

オーダー明細行を確認する前に引当可能数量を通知するかどうかを指定します。出荷確認まで在庫をハードコミットしない場合、出荷確認時に引当可能数量のチェックを実行できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 引当可能数量のチェックを実行しますが、オーダー数量が引当可能数量を超えている場合でも警告を発行しません。

1: 引当可能数量のチェックを実行し、オーダー数量が引当可能数量を超えている場合に警告を発行します。

出荷確認 (P4205) の [処理] タブにある未出荷数量の自動バックオーダーまたは取り消し処理オプションで未出荷数量をバックオーダーする、または取り消すように設定されている場合、品目マスター、事業所品目、事業所固定情報、顧客請求指示でバックオーダー情報が検証され、引当できない数量が自動的にバックオーダーまたは取り消されます。この処理オプションをブランクのままにすると、数量は出荷可能なままになります。

### 2. マイナスの手持数量からの出荷

保管場所の手持数量がマイナスの場合、またはオーダー数量が保管場所の数量よりも多い場合、保管場所から出荷できるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: オーダー明細行を確認し、手持数量がマイナスの保管場所から出荷できます。

1: 出荷元の保管場所に引当可能数量がないこと、およびこの保管場所からオーダー明細行を確認できないことを示すエラーメッセージが発行されます。出荷元となる別の保管場所を選択する必要があります。

### 3. 過剰出荷の回避

出荷確認時にオーダー明細行の数量を増やすことができるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 出荷確認時にオーダー明細行の数量を増やすことができます。

1: 出荷確認時にオーダー明細行の数量は増やすことができません。

### 4. 検証する許可済みロット状況グループの入力

検証する許容ロット状況グループを入力します。出荷確認時、ユーザー定義の状況コード値に対してブランク以外のロット状況コードが検証されます。ブランク以外のロット状況コードが許容ロット状況テーブル (F41081) に

ある場合、ユーザー定義のロット状況コードは空白と見なされ、保留中の品目は出荷確認処理を通してそのままになります。

## 処理

この処理オプションでは、出荷確認プログラムで次の操作を可能にするかどうかを指示します。

- 行タイプや出荷先住所などのオーダー情報を一時変更する
- 手持数量をリリースする

### 1. 行タイプの一時変更

トランザクションの行の処理方法を制御するコードを指定します。[行タイプ固定情報の改訂] フォームに定義されている値を入力します。有効値は以下のとおりです。

空白: オーダー明細タイプ情報はこのオーダーに対してのみ変更できます。別の行タイプを入力する場合、非在庫明細タイプである必要があります。

1: 行タイプは変更できません。行タイプはフォームに表示されますが、一時変更できません。

### 2. 出荷先住所の一時変更

出荷先住所のデフォルト住所情報が変更できるかどうかを指定します。顧客マスター情報と顧客請求指示を設定する際、請求書の送付先住所を販売先住所として、出荷の配送先住所を出荷先住所としてそれぞれ定義します。有効値は以下のとおりです。

空白: 出荷先住所は変更できません。

1: 出荷先住所はこのオーダーについてのみ変更できます。

### 3. 未出荷数量のバックオーダーまたは取り消し

引当てられない数量についてオーダーをバックオーダーするか取り消すかを指定します。

品目または顧客別にバックオーダーできるほか、特定の事業所でバックオーダーを許可するかどうかを指定します。品目をバックオーダーするには、品目マスター、品目事業所、事業所固定情報、顧客請求指示でバックオーダー許可オプションを設定する必要があります。バックオーダーを許可する場合、オーダー明細行は数量が引当可能になるまで保留されます。バックオーダーを許可しない場合、オーダー明細行は取り消されます。

空白: 未出荷の数量をバックオーダーまたは取り消しません。全ての残り数量は、引当可能になると出荷可能になります。

1: 顧客請求指示、品目マスター情報、品目事業所、事業所固定情報のバックオーダー情報に基づいて、未出荷の数量はバックオーダーまたは取り消されます。

### 4. 一時変更用手持在庫のリリース

出荷確認時に在庫をリリースできるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: 出荷確認時に品目の手持数量をリリースします。オーダータイプを UDC テーブル (40/IU) に追加する必要があります。

1: 出荷確認時に品目の手持数量をリリースしません。手持数量をリリースしない場合、基本シリアル番号処理、インタオペラビリティ、契約情報などの追加処理を実行しません。



**5. シップ アンド デビット  
処理**

出荷確認プログラムの実行時に、シップ アンド デビット契約を特定および調整するためにサブシステムまたはバッチ処理 (R45100) を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: サブシステム処理やバッチ処理を使用しません。

1: サブシステム処理を使用します。

2: バッチ処理を使用します。

**6. 受注オーダー価格/原価  
のバッチ更新**

出荷確認時に価格と原価を更新するために、受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラム (R42950) でサブシステム処理を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラムを使用しません。

1: サブシステム処理を使用します。

**7. 昇順日付規則チェックの  
警告/エラー表示**

出荷確認時に日付規則をチェックし、規則に従っていない場合に警告やエラー メッセージを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 警告メッセージを表示します。

1: エラー メッセージを表示します。

**8. 返品オーダーの新規ロッ  
トの処理**

出荷確認時に返品オーダーに新規ロット番号を割り当てるかどうかを指定します。新規ロット番号を割り当てるには、まず、ロット管理を無効にします。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 返品オーダーに新規ロット番号を割り当てません。

1: 新規ロット番号を返品オーダーに割り当てます。

**9. 次のオーダー状況優  
先情報**

出荷確認 (P4205) で「次のオーダー状況」優先を有効にする値を入力します。「次のオーダー状況」優先が有効な場合、確認済み出荷の全てのオーダー明細レコードに適用されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 「次のオーダー状況」優先を有効にしません。

1: 「次のオーダー状況」優先を有効にしません。

**10. 積送中積荷の会計処理**

出荷確認処理の一部として、輸送オーダー (ST/OT) の積送中積荷の会計処理を含めるかどうかを指定します。このオプションがオンの場合、手持在庫がリリースされ、出荷数量は対応する入荷工程の最初のステップに移動します。これにより、積送中の転送オーダー在庫が明確になります。このオプションをオンにする前に全ての必要な入荷工程と自動仕訳が設定されていることを確認します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 積送中積荷の会計処理を開始しません。

1: 積送中積荷の会計処理を開始します。

**運賃**

この処理オプションでは、運賃情報を取り込むかどうかと、その運賃と運送業者情報を一時変更できるかどうかを指示します。

**1. 運賃処理**

運賃情報を取り込むかどうかを指定します。適切な経路、中継点、区域で運賃計算を正確に実行できるように、運賃と運送業者情報を標準化できま

す。品目（品目マスターと事業所品目）や顧客（顧客請求指示）に対して優先運送業者を指定できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 運賃情報を取り込まないため、現在のオーダーのみに影響する値を入力できます。

1: 運賃情報が取り込まれ、オーダーは顧客請求指示または品目マスター情報に設定されているデフォルト情報に基づいて処理されます。

## 2. 運賃の一時変更（将来使用）

オーダーはデフォルト情報に基づいて処理されます。オーダーの運賃情報の一時変更を避けるには、この情報を無効にします。有効値は以下のとおりです。

ブランク: オーダーは、顧客請求指示または品目マスター情報に設定されているデフォルト情報に基づいて処理されます。

1: このオーダーについてののみデフォルトを変更できます。

## 印刷

この処理オプションでは、サブシステムで請求書を印刷するかどうかを指示します。

### 1. サブシステム請求書 (R42565)

サブシステムから請求書を印刷するかどうかを指定します。請求書の印刷にサブシステム処理を使用する場合、サブシステム処理を有効にする請求書印刷プログラム (P42565) のバージョンを指定する必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 自動的に請求書を印刷しません。

1: 請求書を印刷します。

## バージョン

この処理オプションでは、オーダー明細行を確認する際に使用するバージョンを決定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

### 1. 受注オーダー入力 (P4210)

出荷確認時に追加のオーダー明細行を作成するために使用する受注オーダー入力 (P4210) のバージョンを入力します。他のプログラムで受注オーダー入力のこのバージョンを使用する場合、出荷確認処理オプションで設定されているオーダー行タイプは、受注オーダー入力のこのバージョンの処理オプションのオーダー行タイプに一時変更されます。

### 2. 請求書印刷 (R42565)

サブシステムから請求書を自動的に印刷する際に使用する請求書印刷 (R42565) のバージョンを入力します。サブシステム処理を有効にするには、請求書の自動印刷処理オプションを有効にする必要があります。

この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

### 3. シップ アンド デビット (R45100)

出荷確認プログラムの実行時にシップ アンド デビット契約を特定および調整するために使用するサブシステム処理 (R45100) のバージョンを入力します。

### 4. 受注オーダー価格/原価のバッチ更新 (R42950)

出荷確認プログラム (P4205) で各オーダーを処理した後に使用する受注オーダー価格/原価のバッチ更新 (R42950) のバージョンを入力します。バージョンによってサブシステム処理が必ず指定されます。指定されていない場合は、レポート作成に必要なデータが使用できないことがあります。

- 5. カートン再構成 (P4620)**      使用するカートン再構成プログラム (P4620) のバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 倉庫

この処理オプションでは、自重と梱包情報に対する追加処理を定義します。UCC 128 に準拠する場合、オーダー明細行の確認後に自重と梱包情報を確認できます。

### 1. 梱包確認

出荷の梱包を確認するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 梱包確認を行いません。

1: 梱包確認を行います。

各レコードに対して正しい SSCC と SCC が入力されていることと、出荷の入力時に指定された階層構成に対応していることが検証されます。たとえば、出荷入力時に SOTPI (出荷、オーダー、自重、梱包、品目) 構成は入力したが、梱包 SSCC または SCC を入力しなかった場合、エラーメッセージが表示されます。

各品目の SCC と計量単位が品目マスターと品目相互参照の改訂の情報が対応していることが検証されます。自重/梱包数量の合計は、受注オーダー行の出荷数量と等しくなります。SCC が入力されると、SCC 計量単位は UPC 数量に変換されます。たとえば、24 ケースの炭酸飲料を出荷確認する場合、144 缶の炭酸飲料の出荷確認が実行されます。

UCC 128 に準拠する場合、梱包確認のバージョンを指定する必要があります。

### 2. 梱包確認バージョン (P4216)

出荷の梱包を確認するときに使用する梱包確認のバージョンを入力します。梱包確認を使用する処理オプションを有効にしている場合のみ、この処理オプションは影響します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 品質

受注管理システムを品質管理システムと連携して使用している場合、この処理オプションにより試験結果と分析証明書を作成するバージョンを定義します。

### 1. 試験結果の改訂バージョン (P3711)

品目の出荷を確認する際に、品質仕様の検証で使用する試験結果の改訂 (P3711) のバージョンを入力します。このバージョンを使用して、許容される最小値および最大値、ロット状況、合格数量または割合について品目の特性が検証されます。ロットが品質検査に合格して仕様を満たしている場合、顧客に出荷できます。

この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

### 2. 分析証明書

分析証明書 (COA) を印刷するかどうかを指定します。COA は、顧客に販売されるロットに実行された全てのテストとその結果を一覧したものです。有効値は以下のとおりです。

空白: 分析証明書を自動的に印刷しません。

1: 分析証明書を自動的に印刷します。

COA を生成するには、処理オプションで分析証明書の抽出バージョンを指定し、情報を取得する必要があります。

**3. 分析証明書の抽出バージョン (R37900)**

COA の生成に使用する分析証明書の抽出プログラム (P37900) のバージョンを入力します。この処理オプションは、分析証明書の印刷の処理オプションを有効にしている場合のみ影響します。

この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**4. サブシステムでの分析証明書**

サブシステムから COA を印刷するかどうかを指定します。サブシステム処理を使用する場合は、処理オプションで分析証明書の抽出のサブシステムバージョンも指定する必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: サブシステム処理から COA を印刷しません。

1: サブシステム処理で COA を印刷します。

**5. 品質試験の評価**

出荷確認を行うロットについて品質の再評価が必要な場合の値を入力します。テスト結果が入力されたロットのロット状況は、試験結果がその品目の品質の許容範囲に当てはまるかどうかによって決まります。ただし、顧客が独自の品質標準を製品に設定している場合があります。

このオプションが有効な場合、出荷するロットがこのオーダーの顧客の品質標準を満たしているかどうか判断するために品質試験が再評価されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 試験結果を再評価しません。このオプションが選択されている場合、この製品に対する顧客独自の品質基準を満たしていなくてもロットは出荷確認されます。

1: 品質管理優先情報を使用してテスト結果を再評価します。

**契約**

受注管理システムを契約管理システムとともに使用している場合に、この処理オプションで契約の選択方法を定義します。

**1. 借入契約の出荷先指定**

受注管理と契約管理を連携させて使用する場合に、品目の特定の出荷先を契約の一部として入力します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 借入契約の出荷先指定処理オプションで特定の出荷先を入力する必要があります。

1: 出荷先は契約で定義されているどの場所でもかまいません。

2: デフォルトの事業所を出荷先とします。

**2. 契約の検索方法**

契約を選択する方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 最も早い失効日付に基づいて契約を割り当てます。

1: 1 つだけ見つかった場合に自動的に契約を割り当てます。

2: 契約を割り当てるようにプロンプトが表示されます。

3: 最も早い失効日付に基づいて契約を割り当てます。

**インタオペラビリティ**

この処理オプションでは、インタオペラビリティ処理を実行するかどうかを指示します。

**1. インタオペラビリティトラ  
ンザクション タイプ**

インタオペラビリティ処理を有効にするかどうかを示します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 送信インタオペラビリティをバイパスします。

JDESC: 出荷確認トランザクション タイプに入力します。

## 2. 送信サブシステム UBE の実行

サブシステム経由で、送信インタオペラビリティトランザクション処理を実行するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 送信サブシステム処理をバイパスします。

1: サブシステム処理を実行します。

## バルク

この処理オプションでは、温度による増減レコードの処理方法を指示します。

### 1. バルクトランザクション 容量

トランザクション数量がトランザクションのどのバルク フィールドを表すかを指定します。

ブランク: トランザクション数量を使用して常温体積を決定します。

1: トランザクション数量を使用して標準量を決定します。

2: 常温体積に価格を掛けた値と、標準温度の体積に価格を掛けた値の差を計算します。計算には、価格設定計量単位が使用されます。

## 事業所間

この処理オプションでは、事業所間オーダーのオーダー タイプを指示します。

### 1. 会社間受注オーダーの 作成 (R4210IC) のバージョ ンの入力

会社間オーダーのオーダー タイプの確認で使用する会社間受注オーダーの作成 (R4210IC) のバージョンを入力します。事業所間オーダーを使用すると、販売事業所以外の事業所から顧客の受注オーダーを充当できます。このオーダーは販売元と出荷事業所（中央供給倉庫など）が異なる場合に役立ちます。

この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

### 2. 会社間受注オーダーの 作成の呼び出し

会社間オーダーを作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 会社間オーダーを作成しません。

1: 会社間受注オーダーの作成 (R4210IC) をバッチ モードで実行してオーダーを作成します。バッチ モードでは、ジョブが即座に処理されますが、オーダーの処理が完了するまで対話型の作業を実行できません。

2: 会社間受注オーダーの作成 (R4210IC) をサブシステム モードで実行してオーダーを作成します。サブシステム モードでは、ジョブは待ち行列に入ってから処理されます。オーダーをサブシステム モードで実行する場合は対話型の作業を継続できます。

## 前払

この処理オプションでは、オーダーの前払情報を記録できるかどうかを指定します。

オーダーの前払は、オーダー入力の時点で売り手が顧客から支払を受け取る際に発生します。顧客は、現金、小切手、クレジット カードなど、さまざまな前払タイプを使用することができます。前払を使用すると、オーダー明細行に対しトランザクション情報が記録され、請求書に支払が示されます。

オーダー明細行に対して過剰出荷があった場合やオーダーに明細行が追加された場合は、新規承認を得る必要があります。

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| <b>1. 前払処理</b>                | 前払トランザクションを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 前払トランザクションを更新しません。<br>1: 前払トランザクションを更新します。                      |
| <b>2. 承認処理</b>                | 承認を処理する方法を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 承認を処理しません。<br>1: 承認を対話型で処理します。<br>2: バージョンによって、バッチまたはサブシステム モードで承認を処理します。 |
| <b>3. 決済処理</b>                | 決済を処理する方法を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>1: 決済を対話型で処理します。<br>2: バッチまたはサブシステム モードで決済を処理します。<br>空白: 決済を処理しません。           |
| <b>4. 前払取引 (トランザクション) の承認</b> | 実行する前払トランザクションの承認 (R004201) のバージョンを入力します。空白にすると、承認は実行されません。  |
| <b>5. 前払取引 (トランザクション) の決済</b> | 前払トランザクションの決済のバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、アプリケーションは実行されません。   |
| <b>6. 前払処理の承認保留</b>           | 承認処理が失敗する場合にオーダーに表示する保留コードを入力します。  |
| <b>7. 前払処理の決済保留</b>           | 決済処理が失敗する場合にオーダーに表示する保留コードを入力します。  |

## カートン詳細

カートンの処理方法を指定します。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <b>1. 出荷確認カートン状況</b>     | 出荷と積荷確認のカートン状況を入力します。確認する全てのカートンはこの状況である必要があります。カートン状況 UDC (46/CS) から値を選択します。空白の場合、カートン状況は検証されません。    |
| <b>2. 出荷明細とカートン明細の調整</b> | カートン明細を出荷明細に対して調整するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: カートン明細を出荷明細に対して調整しません。<br>1: カートン明細を出荷明細に対して調整します。 |

## 出荷の確認

[出荷確認] フォームにアクセスします。

出荷確認 - 出荷確認

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

保存

キャンセル

印刷

グリッド

ヘルプ

オーダーNo.

235168

SO

74005

事業所

\*

ピッキング・リストNo.

\*

出荷No.

顧客 PO

\*

レコード 1 - 1

グリッドのカスタマイズ

> Basic

	SEL = 1	出荷数量	計量単位	品目 No.	保管場所	ロットシリアル	事業所
<input type="checkbox"/>			10 KG	ITEM001			

[出荷確認] フォーム

- 出荷数量

受注オーダー入力で出荷に引き当てられた数量を入力します。入力時の計量単位か、品目に定義された基本計量単位を使用します。  
製造システムと作業オーダーの時間入力では、このフィールドで完了数量や仕損数量を表すことができます。数量タイプは、入力したタイプコードで決まります。
- ロット/シリアル

ロットまたはシリアル番号を識別する番号です。ロットは、類似の特性を持つ品目のグループです。
- バックオーダー数量

受注管理または作業オーダー処理でバックオーダーされた数量を入力します。入力時の計量単位か、品目に定義された基本計量単位を使用します。
- 取消数量

受注オーダーまたは作業オーダー処理で取り消された数量を入力します。入力時の計量単位か、品目に定義された基本計量単位を使用します。  
製造では、仕損累計の数量でもあります。

自重および梱包情報の入力

[梱包確認詳細の改訂] フォームにアクセスします。

出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) の実行

追加オーダー処理メニュー (G4212) の [出荷確認バッチ アプリケーション] にアクセスします。

出荷確認バッチ アプリケーション (R42500) の処理オプションの設定

これらの処理オプションを使用して、出荷確認のバージョン名を選択および指定するレコードを判断します。

レコード (必須) 選択

これらの処理オプションで、プログラムの実行時に選択する状況の範囲が決まります。

- 開始「次の状況」(必須)** 行タイプのオーダー フローの次のステップの開始状況を示すコード (UDC 40/AT) を入力します。このオプションは、終了「次の状況」処理オプションと組み合わせて使用し、処理するオーダー行の範囲を決定します。
- 終了「次の状況」(必須)** 行タイプのオーダー フローの次のステップの終了状況を示すコード (UDC 40/AT) を入力します。このオプションは、開始「次の状況」処理オプションと組み合わせて使用し、処理するオーダー行の範囲を決定します。

## 処理

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- R47500 バージョン名** 出荷確認で使用する受信トランザクション バッチ処理 (R47500) のバージョンを入力します。

---

## (Rapid Start CAN and USA) Confirming Shipment for Equipment Sales Order

You must ship confirm the sales order previously created for an inventory item that will be converted to an equipment master record. This section discusses:

- How to confirm shipment for equipment sales order.
- Preconfigured processing options for Canada and United States Shipment Confirmation (P4205).

### Confirming Shipment for Equipment Sales Order

This table list the task for confirming shipment for equipment sales order.

Task	Navigation	Program and Version
Ship confirm the sales order.	Sales Order Processing Ship Confirm	P4205/RIS0001

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Canada and United States Shipment Confirmation (P4205)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

#### Selection

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	560



Processing Option Description	Value or Status
2. Next Status Thru (Required)	560
3. Sales Order Type (Required)	SO

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Line Type for New Sales Detail Lines	F
2. Enter a Next Status Override Code for:	blank
Confirmed Sales Detail Lines	blank
Additional Non-inventory Line Items Entered	580
Remaining Backordered Quantities	540
Authorized Lines	blank
Settled Lines	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Allow Additional Line Entry	1
2. Display Kit Component Lines	1
3. Display Text Lines	blank
4. Item Location Hold Error	1
5. Pre-select Detail Lines for Confirmation	1

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Check Availability	1
2. Ship from Negative On-hand Quantity	1
3. Prevent Over-shipping	1
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Override Line Type	blank
2. Override Ship To Address	blank
3. Backorder or Cancel Unshipped Quantity	blank
4. Relieve On Hand Inventory Override	blank
5. Ship and Debit Processing	blank
6. Sales Order Batch Price/Cost Update	blank
7. Display Warning/Error for Ascending Date Rule check	blank
8. Process New Lots for Credit Orders	blank
9. Enable Next Order Status Preference	blank
10. In-Transit Accounting	blank

**Freight**

Processing Option Description	Value or Status
1. Freight Program (FUTURE)	blank
2. Override Freight (FUTURE)	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Subsystem Invoice (R42565)	1

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Order Entry (P4210)	RIS0001
2. Print Invoices (R42565)	RIS0008
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Sales Order Batch Price/Cost Update (R42950)	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. Carton Reorganization (P4620)	blank
6. PO Receipt (P4312)	blank

## Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Pack Confirmation (UCC128 or Container Entry)	blank
2. Pack Confirmation Version (P4216)	blank

## Quality

Processing Option Description	Value or Status
1. Test Results Revisions Version (P3711)	blank
2. Certificate of Analysis	blank
3. Certificate of Analysis Extract Version (R37900)	blank
4. Certificate of Analysis Subsystem	blank
5. Evaluate Quality Tests	blank

## Agreements

Processing Option Description	Value or Status
1. Specify Borrow Agreement Destination	blank
OR...	blank
2. Agreement Search Method	blank

## Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Interoperability Transaction Type	blank
2. Run the Outbound Subsystem UBE	blank

**Bulk**

Processing Option Description	Value or Status
1. Bulk Transaction Volumes	blank

**InterBranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the version for the Create Intercompany Sales Order (R4210IC).	blank
2. Call the Create Intercompany Sales Order	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction	blank
5. Settle Prepayment Transaction	blank
6. Authorization Hold For Prepayment Processing	blank
7. Settlement Hold For Prepayment Processing	blank

**Carton Detail**

Processing Option Description	Value or Status
1. Shipment Confirmation Carton Status	blank
2. Reconcile Carton Detail to Shipment Detail	blank

**関連項目:**

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定」、460ページ

---

## (Rapid Start) Confirming Shipment for Customer Credit With Return

This section discusses:

- How to confirm shipment for customer credit with return.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Shipment Confirmation (P4205).

## Confirming Shipment for Customer Credit With Return

This table lists the tasks for confirming shipment for customer credit with return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Confirm shipment for customer credit with return.	Sales Order Processing, Ship Confirm	P4205/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO = Sales Order, II = Inventory Issue and IT = Inventory Transfer</li> <li>Line Type: C = Credit Stock Item</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type CO and line type C.</li> <li>Hold Code: XX = Administrative Hold</li> <li>AAIs: AAIs are provided for inventory issues and transfers using document types II and IT</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Status = 560	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Shipment Confirmation (P4205)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Selection

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	560
2. Next Status Thru (Required)	560
3. Sales Order Type (Required)	SO

## Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Line Type for New Sales Detail Lines	F
2. Enter a Next Status Override Code for:	blank
Confirmed Sales Detail Lines	blank
Additional Non-inventory Line Items Entered	580
Remaining Backordered Quantities	540
Authorized Lines	blank
Settled Lines	blank

## Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Allow Additional Line Entry	1
2. Display Kit Component Lines	1
3. Display Text Lines	blank
4. Item Location Hold Error	1
5. Pre-select Detail Lines for Confirmation	1

## Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Check Availability	1
2. Ship from Negative On-hand Quantity	1
3. Prevent Over-shipping	1
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

## Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Override Line Type	blank
2. Override Ship To Address	blank
3. Backorder or Cancel Unshipped Quantity	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Relieve On Hand Inventory Override	blank
5. Ship and Debit Processing	blank
6. Sales Order Batch Price/Cost Update	blank
7. Display Warning/Error for Ascending Date Rule check	blank
8. Process New Lots for Credit Orders	blank
9. Enable Next Order Status Preference	blank
10. In-Transit Accounting	blank

### Freight

Processing Option Description	Value or Status
1. Freight Program (FUTURE)	blank
2. Override Freight (FUTURE)	blank

### Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Subsystem Invoice (R42565)	1

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Order Entry (P4210)	RIS0001
2. Print Invoices (R42565)	RIS0008
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Sales Order Batch Price/Cost Update (R42950)	blank
5. Carton Reorganization (P4620)	blank
6. PO Receipt (P4312)	blank

**Warehouse**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pack Confirmation (UCC128 or Container Entry)	blank
2. Pack Confirmation Version (P4216)	blank

**Quality**

Processing Option Description	Value or Status
1. Test Results Revisions Version (P3711)	blank
2. Certificate of Analysis	blank
3. Certificate of Analysis Extract Version (R37900)	blank
4. Certificate of Analysis Subsystem	blank
5. Evaluate Quality Tests	blank

**Agreements**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specify Borrow Agreement Destination	blank
OR...	blank
2. Agreement Search Method	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Interoperability Transaction Type	blank
2. Run the Outbound Subsystem UBE	blank

**Bulk**

Processing Option Description	Value or Status
1. Bulk Transaction Volumes	blank



**InterBranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the version for the Create Intercompany Sales Order (R4210IC).	blank
2. Call the Create Intercompany Sales Order	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction	blank
5. Settle Prepayment Transaction	blank
6. Authorization Hold For Prepayment Processing	blank
7. Settlement Hold For Prepayment Processing	blank

**Carton Detail**

Processing Option Description	Value or Status
1. Shipment Confirmation Carton Status	blank
2. Reconcile Carton Detail to Shipment Detail	blank

**関連項目:**

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定」、460ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment Online for Selling a Make-To-Order Item

This section discusses how to confirm shipment online for selling a make-to-order item.

**Confirming Shipment Online for Selling a Make-To-Order Item**

This table lists the tasks for confirming shipment online for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Confirm shipment online for selling a make-to-order item.	Sales Order Processing, Ship Confirm	P4205/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W = Make-to-Order item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, 99</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Shipment Confirmation (P4205)」、477ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Confirming Shipment Online for Selling from Inventory

This section discusses how to confirm shipment online for selling from inventory.

## Confirming Shipment Online for Selling from Inventory

This table lists the tasks for confirming shipment online for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Confirm shipment online for selling from inventory.	Sales Order Processing, Ship Confirm	P4205/RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Canada and United States Shipment Confirmation (P4205)」、472 ページ

## (Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Selling from Inventory

This section discusses:

- How to confirm shipment for selling from inventory.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Ship Confirm Domestic Sales Orders (P4205).

### Confirming Shipment for Selling from Inventory

This table lists the tasks for confirming shipment for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Confirm shipment for selling from inventory.	Sales Order Processing, Ship Confirm	R4205/RIS3001	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: S = Stock Item, F = Freight Line, and T = Text Line</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>• Hold Code: C1 = Credit Hold and XX = Administrative Hold</li> <li>• Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>• To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>• Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Ship Confirm Domestic Sales Orders (P4205)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

### Selection

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	560
2. Next Status Thru (Required)	560
3. Sales Order Type (Required)	SO

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Line Type for New Sales Detail Lines	F
2. Enter a Next Status Override Code for:	blank
Confirmed Sales Detail Lines	blank
Additional Non-inventory Line Items Entered	580
Remaining Backordered Quantities	540
Authorized Lines	blank
Settled Lines	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Allow Additional Line Entry	1
2. Display Kit Component Lines	1
3. Display Text Lines	blank
4. Item Location Hold Error	1
5. Pre-select Detail Lines for Confirmation	1

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Check Availability	1
2. Ship from Negative On-hand Quantity	1
3. Prevent Over-shipping	1
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Override Line Type	blank
2. Override Ship To Address	blank
3. Backorder or Cancel Unshipped Quantity	1
4. Relieve On Hand Inventory Override	blank
5. Ship and Debit Processing	blank
6. Sales Order Batch Price/Cost Update	blank
7. Display Warning/Error for Ascending Date Rule check	blank
8. Process New Lots for Credit Orders	blank
9. Enable Next Order Status Preference	blank
10. In-Transit Accounting	blank

**Freight**

Processing Option Description	Value or Status
1. Freight Program (FUTURE)	blank
2. Override Freight (FUTURE)	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Subsystem Invoice (R42565)	1

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Order Entry (P4210)	RIS0001
2. Print Invoices (R42565)	RIS3008
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Sales Order Batch Price/Cost Update (R42950)	blank
5. Carton Reorganization (P4620)	blank
6. PO Receipt (P4312)	blank

## Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Pack Confirmation (UCC128 or Container Entry)	blank
2. Pack Confirmation Version (P4216)	blank

## Quality

Processing Option Description	Value or Status
1. Test Results Revisions Version (P3711)	blank
2. Certificate of Analysis	blank
3. Certificate of Analysis Extract Version (R37900)	blank
4. Certificate of Analysis Subsystem	blank
5. Evaluate Quality Tests	blank

## Agreements

Processing Option Description	Value or Status
1. Specify Borrow Agreement Destination	blank
OR...	blank
2. Agreement Search Method	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Interoperability Transaction Type	blank
2. Run the Outbound Subsystem UBE	blank

**Bulk**

Processing Option Description	Value or Status
1. Bulk Transaction Volumes	blank

**InterBranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the version for the Create Intercompany Sales Order (R4210IC).	blank
2. Call the Create Intercompany Sales Order	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction	blank
5. Settle Prepayment Transaction	blank
6. Authorization Hold For Prepayment Processing	blank
7. Settlement Hold For Prepayment Processing	blank

**Carton Detail**

Processing Option Description	Value or Status
1. Shipment Confirmation Carton Status	blank
2. Reconcile Carton Detail to Shipment Detail	blank

**関連項目:**

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定」、460ページ



## (Rapid Start CAN and USA) Confirming Shipment for Transfer Order with Receipt Routing

This section discusses:

- How to confirm shipment for transfer order with receipt routing.
- Preconfigured processing options for Canada and United States Ship Confirm Transfer Orders with Routing (P4205).

### Confirming Shipment for Transfer Order with Receipt Routing

This table lists the tasks for confirming shipment for transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Confirm shipment for transfer order with receipt routing.	Transfer Order Processing, Ship/Confirm Transfer Order	R4205/RIS0003	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: ST and OT</li> <li>• Line Type: S = Stock Item</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type ST, OT and line type S.</li> <li>• Purchased Item: Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Verify branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that is receiving the goods.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> <li>• verify the PINS process is setup in the routing. This is a two step process which takes the item to In-Transit and then Stock. Address book number 99999900 is setup and is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Canada and United States Ship Confirm Transfer Orders with Routing (P4205)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0003.

**Selection**

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	520
2. Next Status Thru (Required)	560
3. Sales Order Type (Required)	ST

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Line Type for New Sales Detail Lines	S
2. Enter a Next Status Override Code for:	blank
Confirmed Sales Detail Lines	580
Additional Non-inventory Line Items Entered	blank
Remaining Backordered Quantities	blank
Authorized Lines	blank
Settled Lines	blank

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Allow Additional Line Entry	blank
2. Display Kit Component Lines	blank
3. Display Text Lines	blank
4. Item Location Hold Error	blank
5. Pre-select Detail Lines for Confirmation	1

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Check Availability	1
2. Ship from Negative On-hand Quantity	1
3. Prevent Over-shipping	blank
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Override Line Type	blank
2. Override Ship To Address	blank
3. Backorder or Cancel Unshipped Quantity	blank
4. Relieve On Hand Inventory Override	blank
5. Ship and Debit Processing	blank
6. Sales Order Batch Price/Cost Update	blank
7. Display Warning/Error for Ascending Date Rule check	blank
8. Process New Lots for Credit Orders	blank
9. Enable Next Order Status Preference	blank
10. In-Transit Accounting	1

**Freight**

Processing Option Description	Value or Status
1. Freight Program (FUTURE)	blank
2. Override Freight (FUTURE)	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Subsystem Invoice (R42565)	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Order Entry (P4210)	RIS0007
2. Print Invoices (R42565)	blank
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Sales Order Batch Price/Cost Update (R42950)	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. Carton Reorganization (P4620)	blank
6. PO Receipt (P4312)	RIS0022

## Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Pack Confirmation (UCC128 or Container Entry)	blank
2. Pack Confirmation Version (P4216)	blank

## Quality

Processing Option Description	Value or Status
1. Test Results Revisions Version (P3711)	blank
2. Certificate of Analysis	blank
3. Certificate of Analysis Extract Version (R37900)	blank
4. Certificate of Analysis Subsystem	blank
5. Evaluate Quality Tests	blank

## Agreements

Processing Option Description	Value or Status
1. Specify Borrow Agreement Destination	blank
OR...	blank
2. Agreement Search Method	blank

## Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Interoperability Transaction Type	blank
2. Run the Outbound Subsystem UBE	blank

**Bulk**

Processing Option Description	Value or Status
1. Bulk Transaction Volumes	blank

**InterBranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the version for the Create Intercompany Sales Order (R4210IC).	blank
2. Call the Create Intercompany Sales Order	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction	blank
5. Settle Prepayment Transaction	blank
6. Authorization Hold For Prepayment Processing	blank
7. Settlement Hold For Prepayment Processing	blank

**Carton Detail**

Processing Option Description	Value or Status
1. Shipment Confirmation Carton Status	blank
2. Reconcile Carton Detail to Shipment Detail	blank

**関連項目:**

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定」、460ページ

---

## (Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Transfer Order Without Receipt Routing

This section discusses how to confirm shipment for transfer order without receipt routing.

## Confirming Shipment for Transfer Order Without Receipt Routing

This table lists the tasks for confirming shipment for transfer order without receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version
Confirm shipment for transfer order without receipt routing.	Sales Order Processing, Ship Confirm	P4205/RIS3001

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、「Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Ship Confirm Domestic Sales Orders (P4205)」、485ページ

---

## (Rapid Start AUS and NZL) Confirming Shipment for Intercompany Sales Order

This section discusses:

- How to confirm shipment for intercompany sales order.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Ship Confirm Intercompany Sales Orders (P4205).

### Confirming Shipment for Intercompany Sales Order

This table lists the tasks for confirming shipment for intercompany sales order:

Task	Navigation	Program and Version
confirm shipment for intercompany sales order.	Sales Order Processing Ship Confirm Intercompany Order	P4205/RIS3003

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Ship Confirm Intercompany Sales Orders (P4205)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3003.

#### Selection

Processing Option Description	Value or Status
1. Next Status From (Required)	560

Processing Option Description	Value or Status
2. Next Status Thru (Required)	560
3. Sales Order Type (Required)	SI

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Line Type for New Sales Detail Lines	F
2. Enter a Next Status Override Code for:	blank
Confirmed Sales Detail Lines	blank
Additional Non-inventory Line Items Entered	580
Remaining Backordered Quantities	540
Authorized Lines	blank
Settled Lines	blank

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Allow Additional Line Entry	1
2. Display Kit Component Lines	1
3. Display Text Lines	blank
4. Item Location Hold Error	1
5. Pre-select Detail Lines for Confirmation	1

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Check Availability	1
2. Ship from Negative On-hand Quantity	1
3. Prevent Over-shipping	1
4. Enter Allowed Lot Status Group to validate	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Override Line Type	blank
2. Override Ship To Address	blank
3. Backorder or Cancel Unshipped Quantity	1
4. Relieve On Hand Inventory Override	blank
5. Ship and Debit Processing	blank
6. Sales Order Batch Price/Cost Update	blank
7. Display Warning/Error for Ascending Date Rule check	blank
8. Process New Lots for Credit Orders	blank
9. Enable Next Order Status Preference	blank
10. In-Transit Accounting	blank

**Freight**

Processing Option Description	Value or Status
1. Freight Program (FUTURE)	blank
2. Override Freight (FUTURE)	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Subsystem Invoice (R42565)	1

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Order Entry (P4210)	RIS3009
2. Print Invoices (R42565)	RIS3008
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Sales Order Batch Price/Cost Update (R42950)	blank



Processing Option Description	Value or Status
5. Carton Reorganization (P4620)	blank
6. PO Receipt (P4312)	blank

## Warehouse

Processing Option Description	Value or Status
1. Pack Confirmation (UCC128 or Container Entry)	blank
2. Pack Confirmation Version (P4216)	blank

## Quality

Processing Option Description	Value or Status
1. Test Results Revisions Version (P3711)	blank
2. Certificate of Analysis	blank
3. Certificate of Analysis Extract Version (R37900)	blank
4. Certificate of Analysis Subsystem	blank
5. Evaluate Quality Tests	blank

## Agreements

Processing Option Description	Value or Status
1. Specify Borrow Agreement Destination	blank
OR...	blank
2. Agreement Search Method	blank

## Interop

Processing Option Description	Value or Status
1. Interoperability Transaction Type	blank
2. Run the Outbound Subsystem UBE	blank

**Bulk**

Processing Option Description	Value or Status
1. Bulk Transaction Volumes	blank

**InterBranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter the version for the Create Intercompany Sales Order (R4210IC).	RIS3001
2. Call the Create Intercompany Sales Order	2

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Prepayment Processing	blank
2. Process Authorization	blank
3. Process Settlement	blank
4. Authorize Prepayment Transaction	blank
5. Settle Prepayment Transaction	blank
6. Authorization Hold For Prepayment Processing	blank
7. Settlement Hold For Prepayment Processing	blank

**Carton Detail**

Processing Option Description	Value or Status
1. Shipment Confirmation Carton Status	blank
2. Reconcile Carton Detail to Shipment Detail	blank

**関連項目:**

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「出荷確認 (P4205) の処理オプションの設定」、460ページ

---

## 出荷伝票の印刷

このセクションでは、船荷証券と配送票の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 船荷証券 (B/L) の印刷
- 船荷証券の印刷 (R42530) の処理オプションの設定

- 配送票の印刷
- 配送票印刷 (R42535) の処理オプションの設定

## 船荷証券について

オーダーの出荷前に、船荷証券 (B/L) や配送レポートなどの出荷伝票を印刷することができます。出荷伝票はオーダーの出荷先に納品する商品に添付されます。配送担当者はこれらの伝票を使用して、実際に積送中の商品と出荷予定の商品を比較することができます。

船荷証券にはオーダーに関する次の情報が記載されます。

- 品目  
品目記述、数量、重量、容量
- 請求情報  
顧客住所および価格
- 出荷  
出荷指示、総重量、総容量
- 納入  
運転担当者および顧客の署名用の行

このプログラムを実行する際に、文書の上部に印刷する“船荷証券”などの見出しを指定できます。出荷伝票には配送担当者および顧客の署名用の行があるので、これを受領書として使用することができます。

JD Edwards EnterpriseOne 需要スケジューリング (40R) を使用する場合、レポートには日付/時間という見出しのカラムに次のフィールドが表示されます。

- 要求納期時刻 (DRQT)
- 約束納入時刻 (RSDT)
- 約束出荷時刻 (PMDT)

## 配送票について

配送票の印刷プログラムのバージョンを実行して、配送担当者が配送中に使用できる配送情報を印刷できます。たとえば、配送車両に積載された品目と実際に配送する品目とを比較することが可能です。これは、配送用に他の業者ではなく自社の車両を使用する場合に役に立ちます。

顧客請求指示で配送票を使用できるように設定されている場合のみ、配送票を顧客に送付できます。

顧客の請求書を正確なものにするように、出荷確認後にオーダーに対する請求書を生成する前に配送票を印刷できます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 顧客に対する顧客請求指示で、配送票の印刷ができるように設定されていることを確認します。  
参照: 第 4 章、「顧客関連情報の設定」、「顧客請求指示の設定」、78ページ
- オーダー処理順序定義で、出荷確認と請求書印刷の間に配送票印刷用の状況コードがあることを確認します。

参照: 第 2 章、「受注管理システムの設定」、「オーダー処理順序定義の設定」、43ページ

## 船荷証券 (B/L) の印刷

受注オーダー レポート (G42111) の [出荷伝票の印刷] にアクセスします。

## 船荷証券の印刷 (R42530) の処理オプションの設定

これらの処理オプションを使用して、デフォルト値の設定、データの処理方法の定義、印刷オプションの制御、およびデフォルト通貨の指定を行います。

### デフォルト 1

オーダー フローの次の状況を指示します。

- |                  |  |
|------------------|--|
| 1. 状況コード値を入力します。 | 行タイプのオーダー フローの次のステップを示す UDC (40/AT) を入力します。この状況のオーダーに関する出荷伝票が印刷されます。 |
|------------------|--|

### デフォルト 2

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1. 一時変更用「次の状況」を入力します。 | このオーダー タイプに関する処理サイクルの次の標準ステップを指定する UDC (40/AT) を入力します。処理サイクルのステップは、[オーダー処理順序定義] フォームで設定します。                          |
| 2. 「次の状況」コード          | オーダー処理順序定義から次の状況コードを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: オーダー処理順序定義から次の状況コードを更新します。<br>1: オーダー処理順序定義から次の状況コードを更新しません。 |
| 3. 先日付引当在庫を表示しません。    | 先日付引当在庫を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 先日付引当在庫を表示します。<br>1: 先日付引当在庫を表示しません。                                     |

## 処理

これらの処理オプションでは、容量と重量の計算で使用する計量単位を指定します。

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 1. 容量の計量単位 | 容量の計算で使用する計量単位を指定します。 |
| 2. 重量の計量単位 | 重量の計算で使用する計量単位を指定します。 |

## 印刷

これらの処理オプションでは、レポート実行時の印刷オプションを指定します。

- |          |   |
|----------|---|
| 1. 価格の表示 | 価格を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 価格を表示しません。<br>1: 価格を表示します。 |
|----------|---|

- 2. キット構成品の印刷**      キット構成品を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: キット構成品を印刷します。  
1: キット構成品を印刷しません。
- 3. 品目番号と顧客品目番号の両方の印刷**      品目番号と顧客品目番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 品目番号と顧客品目番号を印刷しません。  
2: 品目番号と顧客品目番号の両方を印刷します。
- 4. 顧客品目番号を取得する相互参照**      顧客品目番号を取得する相互参照のタイプを入力します。
- 5. シリアル番号の印刷**      シリアル番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: シリアル番号を印刷しません。  
1: シリアル番号を印刷します。
- 6. 追加見出しテキストの印刷**      追加見出しテキストを印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 追加見出しテキストを印刷しません。  
1: 当初見出しテキストを印刷します。  
2: 見出しテキストを再印刷します。

## 通貨

この処理オプションでは、印刷する通貨を指定します。

- 印刷通貨のタイプ**      国内通貨、外貨、またはその両方を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 国内通貨のみを印刷します。  
1: 外貨のみを印刷します。  
2: 外貨と国内通貨の両方を印刷します。

## 配送票の印刷

受注オーダー レポート (G42111) の [配送票印刷] にアクセスします。

## 配送票印刷 (R42535) の処理オプションの設定

これらの処理オプションを使用して、デフォルト値の設定、データの処理方法の定義、印刷オプションの制御、およびデフォルト通貨の指定を行います。

### デフォルト

これらの処理オプションでは、状況を制御します。

1. 一時変更用「次の状況」を入力します。 このオーダー タイプに関する処理サイクルの次の標準ステップを指定する UDC (40/AT) を入力します。処理サイクルのステップは、[オーダー処理順序定義] フォームで設定します。
2. 次の状況を更新しない 次の状況コードを更新できるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 次の状況を更新します。  
 1: オーダー処理順序定義から次の状況コードを更新しません。

## 表示

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに變更できます。

1. キット構成品の印刷 キット構成品を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: キット構成品を印刷しません。  
 1: キット構成品を印刷します。
2. 合計金額の印刷 合計金額を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 合計金額は印刷されません。  
 1: 合計金額を印刷します。
3. 輸送理由を入力します。 輸送理由を示す UDC (40/CR) を入力します。

## 表示 1

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに變更できます。

1. 各配送票に印刷する一括印刷メッセージを入力します。 印刷メッセージを指定するコードを入力します。メッセージで使用されるテキストとしては、生産設計仕様、休暇中の作業時間数、特殊配送指示などがあります。
2. 関連テキストの印刷 関連テキストを印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 関連テキストを印刷しません。  
 1: 関連テキストを印刷します。
3. 追加見出しテキストの印刷 追加見出しテキストを印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 追加見出しテキストを印刷しません。  
 1: 当初テキストを印刷します。  
 2: テキストを再印刷します。

## 品目番号

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに變更できます。

1. 顧客品目番号の印刷      顧客の品目番号を印刷するには「1」を入力します。
2. 取得する相互参照番号のタイプ      取得する相互参照番号のタイプを入力します。

### 処理

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 配送票履歴ファイルへの書き込み      配送票履歴テーブル (F4290) に書き込むには「1」を入力します。

### 通貨

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 外貨による金額の印刷      外貨で金額を印刷するには「1」を入力します。

---

## UCC 128 に従った出荷処理

このセクションでは、UCC 128 に従った出荷処理の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 出荷処理 (P4915) の処理オプションの設定
- 出荷、梱包、および UCC 138 の情報の入力

### UCC 128 に従った出荷処理について

受注オーダーを作成した後に、ピッキングと出荷用にその製品を準備できます。UCC 128 に準拠してオーダーや出荷の詳細情報を転送できるため、製品 ID を統一して仕入先と顧客との出荷情報を円滑にやりとりできます。

UCC 128 に従った出荷処理は、次のタスクで構成されます。

- 出荷準備
- 受注オーダーの出荷の作成
- 梱包、UCC 128、出荷に関する見出し情報の入力

### 出荷の準備

出荷商品と出荷形態の正確な情報を顧客に伝える EDI トランザクションを送信する際には、出荷を準備したときに収集した情報も伝送します。製品の輸送形態や経路指示、参照情報など、出荷情報を入力してください。

## 受注オーダーの出荷の作成

輸送管理を使用すると、処理オプションを設定して受注オーダー入力時に UDC テーブル (49/SD) で定義したオーダー タイプと行タイプの組み合わせに基づいて、オーダーに対する出荷を自動作成できます。ここで言う出荷は、事業所から顧客へ商品を配送する要求のことを指します。オーダー入力時に運送業者と輸送モードを入力しない場合、デフォルトの運送業者と輸送情報が次のいずれかから取得されます。

- 事業所品目情報
- 顧客マスター情報
- 在庫引当優先情報

輸送管理システムで配送経路オプションを検討するときに、運送業者と輸送モードも検討および改訂できます。前述のマスター テーブルまたはオーダー入力時のどちらにも運送業者を指定しない場合には、運送業者優先情報に基づいて [運送業者] と [輸送モード] フィールドの値が自動入力されます。

運送業者と輸送モードが指定されている場合は、出荷の作成時に料金および配送経路オプションも省略できます。この機能を有効にするには、出荷経路、レベル設定の回避 UDC テーブル (42/FR) に特殊取扱コード 9 でコードを設定します。

## 梱包、UCC 128、出荷に関する情報の確認

出荷を確認するときには、顧客の条件に出荷情報が検証されます。出荷情報を検討するときには、UCC 128 見出し情報を入力できます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 顧客と品目に対して階層構成と UCC 128 が設定されていることを確認します。

参照: 第 5 章、「UCC 128 準拠の設定」、91 ページ

- 輸送管理システムがアクティブになっていることを確認します。

## 出荷、梱包、UCC 128 に関する情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[出荷処理]	W4915B	[出荷管理] (G4911)、[出荷処理]	出荷を確認するオーダーの検討と検索
[出荷の改訂]	W4915K	[出荷処理] で確認するオーダーを選択する	出荷情報の追加と改訂
[パッケージの改訂]	W4916A	オーダーを選択し、[出荷処理] の [ロー] メニューにある [パッケージの改訂] を選択する	オーダーの梱包情報の追加と改訂
[UCC-128 改訂]	W4916A	オーダーを選択し、[出荷処理] の [ロー] メニューにある [UCC-128 改訂] を選択する	オーダーの UCC-128 情報の追加と改訂



## 出荷処理 (P4915) の処理オプションの設定

これらのオプションを使用して、表示値の設定、データの処理方法の定義、状況の一時変更、バージョンの指定、手入力での出荷調整を実行します。

### 表示

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| <b>1. 開始出荷状況</b>        | 出荷状況コードの範囲の開始値を指定します。   |
| <b>終了出荷状況</b>           | 出荷状況コードの範囲の終了値を指定します。   |
| <b>2. 配送経路状況</b>        | 表示する出荷配送経路情報を入力します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 全ての出荷を表示します。<br>0: 配送経路が指定されている出荷を表示します。<br>1: 配送経路が指定されていない出荷を表示します。<br>9: 配送経路を指定できない出荷を表示します。            |
| <b>3. 積荷出荷</b>          | 全ての出荷を表示するか、積荷に組み込まれていない出荷のみを表示するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 全ての出荷を表示します。<br>1: 積荷に組み込まれていない出荷を表示します。  |
| <b>4. 配送経路ステップ</b>      | 配送経路ステップの表示方法を指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 全ての配送経路ステップを表示します。<br>1: 最初の出荷の配送経路ステップのみを表示します。   |
| <b>5. 保留受注オーダーを持つ出荷</b> | 出荷に保留受注オーダーが含まれることを示す通知 (目立つ色の X で示す) を記載するフォームを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>1: [出荷処理] フォームに通知を表示します。<br>2: [出荷明細] フォームに通知を表示します。<br>3: 両方のフォームに通知を表示します。 |

### 処理

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| <b>1. 出荷の作成</b>             | 出荷を手作業で作成できるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 出荷を手作業で作成できません。<br>1: 出荷を手作業で作成できます。 |
| <b>2. 保護された出荷状況</b>         | 変更が認められない出荷状況を指定します。この処理オプションを空白にすると、輸送固定情報プログラム (P49002) の確認済み出荷状況が使用されます。      |
| <b>3. 最小の出荷状況 - 配送伝票の印刷</b> | 配送票を印刷する最小の出荷状況番号を指定します。   |

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| <b>4. 最小の出荷状況 - 配送確認 (必須)</b> | 配送を確認する最小の出荷状況番号を指定します。  |
| <b>5. 最大の出荷状況 - 配送確認 (必須)</b> | 配送を確認する最大の出荷状況番号を指定します。  |
| <b>6. セルフサービス モード</b>         | <p>この処理オプションを使用して、セルフサービス機能を有効にするかどうか、および Java と HTML ユーザーに有効にできるセルフサービス機能のタイプを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: カスタマ セルフサービス機能を有効にしません。</p> <p>1: カスタマ セルフサービス機能を有効にします。</p> <p>2: 運送業者セルフサービス機能を有効にします。</p> |

## 承認

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| <b>1. 受注オーダーの「次の状況」更新の回避</b> | <p>受注オーダーを含む出荷の承認時に、受注オーダーの次の状況を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 次の状況を更新します。</p> <p>1: 次の状況を更新しません。</p>   |
| <b>2. 受注オーダー「次の状況」の一時変更</b>  | 受注オーダーを含む出荷の承認時に使用される、一時変更用の受注オーダー「次の状況」を指定します。この処理オプションをブランクにすると、オーダー処理順序定義プログラム (P4004) の次の状況が使用されます。  |
| <b>3. 倉庫要求処理モード</b>          | <p>アウトバウンド受注オーダーを含む出荷のピッキング要求を生成するかどうか、およびサブシステムを使用してその要求を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: ピッキング要求を生成しません。</p> <p>1: ピッキング要求のみを生成します。</p> <p>2: ピッキング要求を生成し、サブシステムで処理します。</p> |
| <b>4. 一時変更用承認出荷状況</b>        | ピッキング要求の処理で使用する、保管場所選択ドライバ プログラム (R46171) のバージョンを入力します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン XJDE0007 が使用されます。  |
| <b>5. 返品承認が必須となるオーダー タイプ</b> | <p>受信出荷承認の前に有効な RMA (返品承認) が必要なオーダー タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>1: 返品受注オーダーに有効な RMA が必要です。</p> <p>2: 購買オーダーに有効な RMA が必要です。</p> <p>3: 返品受注オーダーと購買オーダーの両方に有効な RMA が必要です。</p>          |
| <b>6. 購買オーダー「次の状況」の更新</b>    | <p>購買オーダーを含む出荷の承認時に、オーダーの次の状況を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: オーダーの次の状況を更新します。</p> <p>1: オーダーの次の状況を更新しません。</p>   |
| <b>7. 購買オーダー「次の状況」の一時変更</b>  | 購買オーダーの一時変更用「次の状況」を指定します。購買オーダーを含む出荷の承認時に一時変更用「次の状況」を適用します。この処理オプション   |

ションをblankにすると、オーダー処理順序定義プログラム (P4004) の次の状況が使用されます。

#### 8. 一時変更用購買オーダー「次の状況」- 未承認 (将来使用)

これらは将来使用の処理オプションです。

このオプションを使用して、購買オーダーを含む出荷の承認時に使用される一時変更用オーダー「次の状況」を指定します。

### バージョン

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 1. 積荷の作成 (P4960)          | 転送に使用する積荷の処理プログラム (P4960) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| 2. 出荷のトラッキング (P4947)      | 転送に使用する輸送出荷確認プログラム (P49645) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| 3. 輸送出荷確認 (P49645)        | 使用する輸送出荷確認プログラム (P49645) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。   |
| 4. 配送確認 (P49650)          | 使用する配送確認プログラム (P49650) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。   |
| 5. 配送伝票 (P49590)          | 伝票制御処理オプションの取得で使用する伝票印刷 - 対話型プログラム (P49590) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。                          |
| 6. UCC 128 出荷の編集 (R42071) | 使用する出荷バッチ編集プログラム (R42071) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| 7. 梱包確認明細 (P4216)         | 使用する梱包確認明細プログラム (P4216) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| 8. 優先情報プロファイル (R40400)    | [優先情報選択] フォームで有効な優先情報に基づいてオーダーを処理する際に使用される、優先情報プロファイル プログラム (P42520) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
| 9. 受注オーダー入力 (P4210)       | 出荷処理(P4915) からの転送時に使用される受注明細 (P4210) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。                                 |
| 10. ピッキング要求の処理 (R46171)   | ピッキング要求の処理で使用する、保管場所選択ドライバ プログラム (R46171) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン XJDE0007 が使用されます。                            |
| 11. カートン推奨 (P4615)        | カートン推奨 (P4615) のバージョンを入力します。この処理オプションをblankにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。   |

### 手入力での出荷調整

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

**1. オーダー行選択の出荷状況**

出荷状況のために、既存の出荷から新しい出荷にオーダー行を移動できない場合を指定します。処理オプション値と同じかそれより進んでいる状況を持つ出荷のオーダー行は、新しい出荷に移動できません。値は、出荷状況 (41/SS) UDC から選択します。

ブランクのままにすると、輸送固定情報 (P49002) の確認済み出荷状況が使用されます。

**2. オーダー行選択の受注オーダー「次の状況」**

この処理オプションは、出荷状況オーダー行選択処理オプションと組み合わせて使用し、受注オーダー「次の状況」のために、オーダー行を既存の出荷から新しい出荷に移動できない場合を示します。処理オプション値と同じかそれより進んでいる次の状況を持つオーダー行は、新しい出荷に移動できません。処理オプションの状況が確認済み出荷の受注オーダー行の次の状況より進んでいる場合、そのオーダー行は選択できません。値は、処理状況コード (40/AT) UDC から選択します。ブランクは、選択可能かどうかが出荷状況オーダー行選択処理オプションで決定されることを示します。

**3. 手入力出荷調整のための手入力出荷作成**

出荷調整に適切な手入力の出荷作成を有効にするかどうか指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 出荷を手入力で作成できません。

1: 出荷を手入力で作成できます。

## 出荷、梱包、および UCC 128 出荷の情報の入力

[出荷の改訂] フォームにアクセスします。

**出荷デポ**

出荷または積荷の当初デポを表示します。

**個数**

出荷を構成する個数、パレット、コンテナの数を入力します。

出荷貨物テーブル (F4943) で個数情報が定義されていない出荷の場合、トランザクション計量単位の数量を出荷計量単位に変換して品目の予定個数が計算されます。

整数の個数を得るために、計量単位は切捨てによって丸められます。

全ての明細行の残り数量の重量と容量を加算し、合計を 1 個あたりの最大重量および最大容量で割ります。

生成された個数の重量または容量は、次の整数に切り上げられます。この数を整数の個数に加えて個数を得ます。

**出荷予定日**

受注オーダーの出荷予定日を入力します。この日付は、品目を倉庫から出荷できる日付を表します。

**約束納入日付**

品目を顧客に納入する日付を入力します。

**貨物取扱コード**

上級輸送管理では、最初の次の値で運賃の責任者を指定できます。

取扱コードの最初に「1」を入力します。1 は運賃が回収されること、および運賃の支払責任が荷受人にあることを示します。上級輸送管理は、送信出荷の回収運賃を計算しません。

取扱コードの最初に「2」を入力します。2 は運賃が前払いされていること、および運賃の支払責任が出荷者にあることを示します。上級輸送管理は、送信出荷の支払運賃を計算しますが、請求運賃は計算しません。

取扱コードの最初にある他のコードは、運賃が前払いされており、運賃の支払責任は出荷者にあることを示します。上級輸送管理は、請求運賃と支払い運賃の両方を計算します。

### バルク/パッケージ区分

車両がバルク液体製品やパッケージ製品を輸送できるかどうかを指定します。バルク製品用車両の場合、温度と密度/重量の変換を実行する必要があります。このため、製品の移動はバルク製品用に設計された画面を使用して記録する必要があります。輸送画面で編集を実行し、適切な製品が処理されるようにします。有効値は以下のとおりです。

P: パッケージ品目（製品）

B: バルク液体品目（製品）



## 第 13 章

# 前払処理

この章では、前払処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 前払処理の設定
- クレジット カード取引の承認
- 前払の更新
- 前払状況コードの更新
- 前払取引の決済
- 前払の手形の処理

---

## 前払処理について

顧客のオーダーを入力する際、受領された商品の請求書を顧客に送付できます。場合によっては、オーダー入力の直後に顧客が前もって支払を済ませることもあります。前払処理を使用することにより、顧客の領収書として請求書を生成して前払の全額を記載できます。

オーダーの前払は、オーダー入力の時点で売り手が顧客から支払を受け取る際に発生します。顧客は、現金、小切手、クレジット カードなど、さまざまな前払タイプを使用することができます。前払を使用すると、オーダー明細行に対しトランザクション情報が記録され、請求書に支払が示されます。

前払トランザクションには 2 つのタイプがあります。

- 2 者間前払

2 者間前払は、会社と顧客間に発生するトランザクション（通常は現金または小切手）です。オーダーに対して現金または小切手により前払が行われると、前払フォーム、トランザクションおよび請求書上の合計が表示されます。

- 3 者間前払

3 者間前払は通常、会社、顧客、クレジット カード会社間に発生するクレジット カード取引です。

システム上ではトランザクションとは、銀行、クレジット カード会社、クレジット カード処理機のためのトランザクション情報伝送のことです。

前払処理システムは、受注オーダー入力 (P4210) などの JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションと売り手側が指定するクレジット カード処理機間のインターフェイスを提供します。前払処理システムを使用することにより、クレジット カード承認と最終処理を会社の業務処理（オーダー入力や請求手順）に統合できます。

3 者間前払トランザクションについては、システムにミドルウェアやクレジット カード取引処理機は含まれていません。クレジット カード前払処理を完了するためには、クレジット カード処理機、サードパーティ（他社）やミドルウェア ソリューションを選択して、JD Edwards EnterpriseOne、クレジット カード会社、銀行間で情報を伝送できるようにする必要があります。

## 事前設定

クレジット カード処理機の設定が正しいことを確認してください。これには、代理店 ID、端末 ID、承認および決済用電話番号など電送処理に必要な情報が含まれます。

受注オーダー入力プログラム (P4210) の設定が正しいことを確認してください。[前払] タブの処理オプションも設定します。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理 8.11 SP1 PeopleBook、「買掛管理伝票の処理」、「前払処理」

---

## 前払処理の設定

このセクションでは、前払状況コードと前払保留コードの概要について説明します。

2 者または 3 者間トランザクションを処理する前に、システムがクレジット カード会社に対してオーダーを承認する時点とトランザクション タイプ、決済を実行する状況を識別する必要があります。

## 前払状況コードについて

承認は通常、オーダー入力後に発生します。決済は通常、出荷確認後、請求書発行前に発生します。システムは、オーダー タイプと行タイプの組合せに対するオーダー処理順序定義に従います。次のプログラムの処理オプションで、一時変更用状況コードを設定することができます。

- 受注オーダー入力 (P4210)
- 出荷確認 (P4205)
- 請求書印刷 (R42565)
- 保留オーダー リリース (P43070)
- 売上更新 (R42800)

前払処理情報プログラム (P004201) でオーダーを照会します。[前払取引の処理] フォームでは、ユーザー定義コード (UDC) テーブル (00/SP) の前払状況コードに基づいてトランザクション状況を確認できます。たとえば、承認、決済、却下などの準備が整っているトランザクションがあります。次の状況は事前定義済みです。

- ブランク: 事前承認
- 01: 承認のために送信
- 02: 承認済み
- 03: 決済準備完了
- 04: 決済のために送信
- 05: 決済済み



- 06: 権限拒否/エラー
- 07: 決済拒否/エラー

## 前払タイプについて

支払手段コード (00/PY) は、手形や小切手、電子資金決済などさまざまな支払手段を表します。各請求書や買掛伝票に対して支払手段コードを割り当てます。必要な支払手段のタイプごとにコードを設定します。このユーザー定義コード テーブルは、他のシステムでも買掛伝票および請求書用に使用されます。前払処理用のトランザクションを識別するには、割当済み取扱コードを持つ支払タイプを使用する必要があります。デフォルトはブランクです。

### ハードコード化されたコード

次の値はハードコード化されています。

- X - 電子データ交換 (EDI) 手形 (AR & AP)
- Y - EDI 振込 (AR & AP)
- Z - EDI 小切手 (AR & AP)
- ? - クレジット カード支払
- . - 現金
- ! - 小切手

### ソフトコード化されたコード

次の値はソフトコード化されています。

- C - 小切手 - 8 3/4 (AR & AP)
- D - 受取/支払手形 (請求書別)
- N - 小切手の印刷 - ブラジル
- T - 電子資金決済 (EFT) (AR & AP)
- W - 小切手 - 8 1/2 (AP のみ)

### 特殊取扱コード

前払処理は、支払手段タイプの特殊取扱コード カラムの値によって制御されます。つまり、支払タイプの取扱コードを設定する場合は、承認と決済サイクルを通じて取引が処理されます。特殊取扱コードには事前定義の支払タイプがいくつかあります。

- 11 - 現金
- 12 - 小切手
- 13 - クレジット カード支払

## 前払保留コードについて

オーダーの保留に使用されるオーダー保留情報を設定します。受注オーダー入力プログラム (P4210) で該当する処理オプションを設定すると、この情報が適用されます。前払トランザクション用に次の保留コードを定義することをお勧めします。

- 決済保留、保留コード CS によって識別

- ・ 承認保留、保留コード CA によって識別

### 承認保留コード

支払方法にクレジットカードを使用する場合は、オーダー入力時に、クレジット情報を確認できます。ミドルウェア ソリューションを介して、承認情報が検索され、前払トランザクションが更新されます。承認が得られない場合は、オーダーは承認保留となり、オーダー処理の継続は許可されません。保留を解除するには、承認プロセスがバッチ モードで正常に実行される必要があります。

### 決済保留コード

前払取引（トランザクション）の決済プログラム（R004202）を実行して決済を実行できます。ミドルウェア ソリューションを介して、決済情報が取り込まれ、前払トランザクションが更新されます。決済が実施されると、ミドルウェア ソリューションにより、顧客の口座から販売元の口座に金額がリリースされます。決済トランザクションでエラーが生じた場合は、オーダーは決済保留となり、オーダー処理の継続は許可されません。保留を解除するには、承認プロセスがバッチ モードで正常に実行される必要があります。

オーダー保留固定情報プログラム（P42090）で、UDC テーブル（42/HC）に保留コードを設定し保留情報を定義します。

前払処理に定義した受注オーダー入力プログラム（P4210）のバージョンの処理オプションで、承認と決済保留コードを入力してオーダー保留処理を有効にする必要があります。

### 関連項目:

第 2 章、「受注管理システムの設定」、「UDC の設定」、22 ページ

第 3 章、「オーダー処理情報の設定」、「オーダー保留情報の設定」、64 ページ

---

## クレジット カード取引の承認

このセクションでは、クレジット カード承認の概要と、以下の方法について説明します。

- ・ 前払取引の承認プログラム（R004201）の実行
- ・ 前払取引の承認の処理オプションの設定

### クレジット カードの承認について

オーダー入力時に顧客のクレジット カード取引情報を取り込み、ミドルウェア ソリューションであるクレジット カード処理機を経由してオーダー金額を転送します。そうすると、処理機によりクレジット カード所有者の勘定科目に資金があるかどうかチェックされ、クレジット カード上限貸出額内でオーダー金額分だけ押さえられます。このあと、クレジット カード処理機により売り手に対して承認コードの確認が行われます。

承認処理は、クレジット カード処理機により異なります。承認が完了すると承認コードが戻され、前払取引テーブル（F004201）のトランザクション状況が更新されます。

### 前払取引（トランザクション）の承認プログラムの実行

[前払処理] メニュー（G42131）の [前払取引（トランザクション）の承認] を選択します。

## 前払取引（トランザクション）の承認（R004201）の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 承認済み行                      次の状況の一時変更用 UDC (40/AT) を入力します。

### 保留

処理オプションは JD Edwards EnterpriseOne 導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 前払処理の承認保留              オーダーが保留されている理由を示す UDC (42/HC) を入力します。

---

## 前払トランザクションの更新

このセクションでは、前払トランザクションの概要と前払トランザクションを更新する方法について説明します。

前払トランザクションに影響するような変更を加えると、取引レコードが更新され、必要に応じて再処理できるようになります。たとえばオーダーを取り消した場合、前払トランザクションは無効になります。数量を増やす場合、承認処理が再実行されます。

2 者間トランザクションも 3 者間トランザクションも、標準のオーダー処理サイクルで処理することができます。数量を増やしたりオーダーを取り消すなどしてオーダー情報を変更すると、オーダー処理順序定義に従って受注見出しテーブル (F4201)、受注明細テーブル (F4211)、販売明細実績テーブル (F42199) などの標準受注管理テーブルのオーダー情報が更新されるのに加え、前払取引テーブルの前払状況が更新されます。

受注管理プログラムの処理オプションで前払処理を有効にする必要があります。

- 受注オーダー入力 (P4210)
- 出荷確認 (P4205)
- 請求書印刷 (R42565)
- 保留オーダー リリース (P43070)
- 売上更新 (R42800)

参照: 第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー入力 (P4210) の処理オプション」、135 ページ

### オーダー入力時の前払情報の使い方

受注オーダー入力プログラム (P4210) の前払用処理オプションで前払処理が定義されている場合、オーダー入力中に前払を入力または更新することができます。オーダー入力後、前払取引の改訂にアクセスすると小切手番号またはクレジット カード情報を入力できます。取り込まれたオーダー金額に計算した税が加算されたものが前払金額となります。前払情報を入力すると、レコードが F004201 テーブルに書き込まれます。

オーダーを照会して情報を変更した場合、再度承認が必要となる場合があります。オーダーに対する変更を受け入れると、オーダー合計が F004201 テーブルの承認された金額と比較されます。オーダー金額が承認された金額よりも大きい場合、承認を得るためにトランザクション状況が更新されます。

オーダー明細行が部分的にバックオーダーされたり取り消されている場合、他のトランザクションが決済済み状況に移行されていない限り新規の承認は必要ありません。現在はオーダーに対し 1 つの前払タイプのみが許可されています。

### 承認および決済のための保留オーダー リリース

オーダーが承認または決済を通らなかったために保留になっている場合、保留オーダー リリース プログラム (P43070) を使用してオーダーを処理サイクルに戻すことができます。ただし、顧客のオーダーをリリースしない限り、オーダーの処理は行われません。オーダーをリリースするには、適切なセキュリティ権限が必要です。

保留オーダー リリース時に前払状況を“承認準備完了”または“決済準備完了”に更新するには、保留オーダー リリース プログラムの前払処理オプションを設定する必要があります。保留受注オーダーの印刷レポート (R42640) を印刷して保留状態の受注オーダーを全て検討することができます。

### 出荷確認中のトランザクション状況の更新

オーダー明細行に対して過剰出荷があった場合やオーダーに明細行が追加された場合は、新規承認を得る必要があります。

### 請求書への前払情報の印刷

請求書の印刷時に、前払情報を印刷するように処理オプションを設定することができます。請求書印刷プログラム (R42565) で前払処理を有効にすると、請求書を集計できなくなります。

### 売上更新での前払情報の更新

売上更新 (R42800) で前払処理オプションを有効にする必要があります。この設定により、決済取引が有効であり、売上更新でエラーが検出されなかった場合に、クレジットカード会社の銀行に請求する手形が生成されます。

前払取引の売上更新バージョンを設定するときに、請求書印刷 (R42565) でオーダーを処理していない場合に請求書番号が自動的に割り当てられるように処理オプションを設定できます。ただし、請求書は集計できません。

前払処理用の処理オプションが有効になっていて前払トランザクションの決済が発生した場合、クレジットカード会社の銀行から（顧客に対して）請求されている売掛金に対して手形レコードが書き込まれます。売上更新の実行中に、事前承認済手形のバージョンを呼び出して手形レコードを生成します。いったん手形が書き込まれたら、次のような方法で締めることができます。

- 仕訳入力 (P0911)
- 手形回収 (R03B680)

### 関連項目:

第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新」、626ページ

第 10 章、「オーダーの保留、リリース、および検討」、「保留オーダーのリリース」、345ページ

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「受注オーダー明細情報について」、129ページ

第 14 章、「請求書作成」、521ページ

第 12 章、「受注オーダーの処理」、「出荷確認について」、457ページ

## 手作業によるトランザクション状況の更新

このセクションでは、トランザクション状況の更新の概要について説明します。

### トランザクション状況の更新について

受注オーダー入力プログラム (P4210) の前払用処理オプションで前払処理が定義されている場合、オーダー入力中に前払を入力または更新することができます。オーダー入力後、前払取引の改訂にアクセスすると小切手番号またはクレジット カード情報を入力できます。システムはオーダー金額に算出した税額を加え、それを前払金額として取り込みます。前払情報を入力すると、レコードが F004201 テーブルに書き込まれます。

前払状況を特定の顧客または状況に関して検討できます。前払処理情報の処理プログラム (P004201) を使用すると、トランザクションの前払状況を修正できます。

#### 例: 処理オプションの設定による影響

次の表に、受注オーダー入力の [前払] タブで処理オプションを設定した場合の前払取引状況への影響と必要なアクションを示します。

【前払】タブの【承認処理】の値	【前払】タブの【決済処理】の値	【前払取引状況】	アクション
blank	blank	blank	前払取引の承認プログラムを手作業で実行し、トランザクション状況を 2 に変更します。
1 または 2	blank	2 (承認済み)	前払取引の決済プログラムを手作業で、または出荷確認で実行します。
1 または 2	1 または 2	5 (決済済み)	アクション不要。

### トランザクション状況の更新で使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
【前払取引の処理】	W004201A	【前払処理】(G42131)、【前払処理情報】を選択します。	前払の状況の検討と改訂するレコードの選択
【前払取引の改訂】	W004201E	【前払取引の処理】フォームでトランザクションを選択します。	【前払取引状況】フィールドの改訂

### トランザクション状況コードの更新

【前払取引の改訂】フォームにアクセスします。

前払処理情報 - 前払取引の改訂			
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)			
  			
オーダーNo.	28	承認取引額	1,300.00
オーダータイプ	CM	現金支払額	0.00
オーダー会社	00200	小切手支払額	0.00
オーダーサフ...	001	税	0.00
前払が入力されたシステム	02	決済取引額	1,300.00
順序No.			
行No.	0.001		
支払手段	?		
前払取引状況	05		

[前払取引の改訂] フォーム

<b>前払が入力されたシステム</b>	前払の発生元システムを指定する UDC (00/PO) を表示します。たとえば、01 は受注オーダー入力です。
<b>順序 No.</b>	情報の順序を指定する番号を表示します。
<b>前払取引状況</b>	前払取引の状況を表示します。
<b>承認取引金額</b>	前払クレジット カード承認の金額を表示します。
<b>現金支払額</b>	現金で前払いされた金額を表示します。
<b>小切手支払額</b>	小切手で前払いされた金額を表示します。
<b>決済取引額</b>	前払決済金額を表示します。

## 前払取引の決済

このセクションでは、前払取引の決済の概要と以下の方法について説明します。

- 前払取引の決済プログラムの実行
- 前払取引の決済 (R004202) の処理オプションの設定

最終決済は、選択したミドルウェア ソリューションの方法で、会社とクレジット カード会社間に発生します。この時点で全ての承認済みトランザクションは、クレジット カード処理機に転送されます。

決済処理は、クレジット カード処理機により異なります。決済が完了すると決済コードが表示され、F004201 テーブルのトランザクション状況が“決済済み”に更新されます。

決済は通常、出荷確認後、請求書発行前に発生します。決済は、商品を出荷確認した後に実行可能となります。こうすると、請求書の印刷時に、顧客がその金額を支払ったことを示すことができます。

## 前払取引の決済プログラムの実行

[前払処理] (G42131) の [前払取引の決済] を選択します。

## 前払取引の決済 (R004202) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 決済済み行                      行タイプのオーダー フローの次のステップを示す、次の状況の一時変更用 UDC (40/AT) を入力します。

### 保留

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 前払処理の決済保留              オーダーが保留されている理由を示す UDC (42/HC) を入力します。

---

## 前払の手形の使い方

決済処理が完了すると、クレジット カード会社の銀行から (顧客に対して) 請求されている売掛金に対して手形を生成することができます。手形を書き込んだら、手作業で仕訳を入力するかまたは手形回収プログラム (R03B680) を実行して手形を締めることができます。

このセクションでは、事前承認手形と手形の回収の概要について説明します。

## 事前承認手形について

処理オプションで前払処理が設定されている場合、売上更新 (R42800) では前払決済が問題なく発生すれば、その決済が発生した後に手形レコードを生成できます。バッチ手形の作成プログラム (R03B671) のバージョンを使用して、手形として支払われる未払請求書が選択されます。

## 手形の回収について

貴社の取引銀行は、手形の支払期日にクレジット カード会社の取引銀行から送金を受け取ります。支払期日の当日またはそれ以降に、貴社とクレジット カード会社は現金送金を計上します。ここで手形が回収済みであることを示すように手形状況を更新します。

手形を決済日付に締めるのを好む会社もあれば、自社の銀行残高照合表に支払が表示されるまで待つ会社もあります。会社の方針に基づいて、手形回収プログラム (R03B680) を使用して次を実行します。

- 受注スピード状況更新 (P42040) (仕訳入力あり) で手形満期日に仕訳を作成する
- 支払状況コードの P (支払済み) 以外を使用して、手形満期日に受注スピード状況更新 (仕訳入力なし) を実行する

支払額が回収されたことを確認した後に、受注スピード状況更新 (仕訳入力あり) を実行します。

さらに、クレジット カード会社が承認手数料を徴収する場合があります。全ての料金を計上するためには、仕訳入力プログラム (P0911) で仕訳を別に作成してください。

このバッチ処理は、テスト モードと最終モードのいずれかで実行できます。

モード	プロセスの説明
テスト モード	<p>テストモードでは、次の処理が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>銀行送金済み状況の手形を選択する。</li> </ul> <p>これは、送金されているけれども回収されていない手形のことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>更新する手形を示すレポートを印刷する。</li> </ul> <p>これには、処理オプションで指定した支払期日を持ち、支払状況が“G(預入済み決済前手形)”である手形が全て表示されます。</p>
最終モード	<p>最終モードでは、次の処理以外はテストモードと同じ処理が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手形の支払状況を“P(支払済み)”または選択した値に変更する。</li> <li>手形回収後、仕訳を承認して総勘定元帳に転記する。</li> </ul> <p>手形を締めるには、このオプションを使用してプログラムを実行する必要があります。作成された仕訳では、現金勘定は借方に、送付された手形は貸方に入力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手形が偶発債務で作成された場合、その勘定科目は消去される。</li> </ul>

この処理により入金明細テーブル (F03B14) にレコードが作成され、売掛金元帳テーブル (F03B11) のレコードが更新されます。

### 手形の回収 (状況更新) のデータ選択

支払手段を基にクレジット カード処理に対して手形 (クレジット カード トランザクションを示す) を選択する必要があります。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「受取手形の処理」



## 第 14 章

# 請求書作成

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、請求書作成処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 請求書サイクルの設定
- サイクル請求の実行
- 標準請求書の印刷
- (Rapid Start AUS and NZL) Print and reprint credit order acknowledgements and credit memos
- (Rapid Start AUS and NZL) Print and reprint invoices and sales order acknowledgements
- (Rapid Start AUS and NZL) Print invoices automatically from ship confirm
- (Rapid Start CAN and USA) Print invoices for transfer order with receipt routing
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print invoices for customer credit
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print return authorizations for customer credit with return
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print sales order acknowledgements
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print invoices automatically from ship confirm
- (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print invoices for selling from inventory
- (Rapid Start) Print sales order acknowledgements for selling a direct ship item
- (Rapid Start) Print invoices for selling a direct ship item
- (CHN) Set up next numbers and matching versions to print sales orders for China
- (CHN) Print invoices from Sale Order Management
- (ARG) Print invoices
- (ARG) Print shipment notes
- (ARG) Work with prenumbered documents
- (PER) Select Voucher Print Universal Batch Engine (UBEs)
- (CHL) Select Voucher Print UBEs

---

## 請求書について

出荷/積荷確認で受注明細行を処理して必要な請求および支払運賃計算を実行すると、納品した商品の請求書を発行できます。顧客のニーズに合う請求スケジュール用サイクルを設定することが可能です。たとえば、1 か月の全出荷に対する請求書を月末にまとめて受け取ることを希望する顧客もいれば、特定の品目に対する週次の請求を希望する顧客もいます。

計画請求書日付を計算するにはサイクル請求プログラム (R49700) を使用します。請求書印刷プログラム (R42565) を適切なタイミングで実行して、請求書の個別印刷や一括印刷を行うことができます。

印刷された請求書には、オーダーに関する以下の情報が記載されます。

- 品目、数量、価格
- 出荷日付および支払期日
- 追加料金および適用可能な割引

請求書処理をスムーズに行うため顧客固有の情報を設定することができます。優先情報、サイクル計算ルールおよびスケジュールを組み合わせ、会社のビジネス ニーズに適した請求書を印刷することが可能です。

請求書サイクルを設定すると、顧客および品目との組み合わせに応じて、異なる請求書サイクル計算ルールやスケジュールを適用することができます。請求書サイクルを設定するためには、請求書サイクル計算ルールを設定し、請求書サイクル優先情報を作成します。

納品を確認したらサイクル請求プログラムを使用して処理を行います。サイクル請求プログラムでは、請求書サイクル優先情報、請求書サイクル計算ルール、計画請求書日付範囲を基に計画請求書日付が算出されます。

### 関連項目:

[第 11 章、「受注オーダー情報の使い方」、「\(POL and RUS\) Working with Sales Order Management Processes for Poland and Russia」、420ページ](#)

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「請求書の処理」、「(POL and RUS) Working with Invoices for Poland and Russia」

---

## 請求書サイクルの設定

このセクションでは、請求書サイクルの設定の概要と、以下の方法について説明します。

- 請求書サイクル優先情報の作成
- 計画請求書日付範囲の追加

### 請求書サイクルの設定について

請求書サイクルを設定して、サイクル請求プログラムの計画請求書日付の計算方法を決定します。請求書サイクルを設定すると、顧客と品目の組み合わせに応じて、別々の請求書サイクル規則やスケジュールを適用することができます。たとえば、1 か月の全出荷に対する請求書を月末にまとめて受け取ることを希望する顧客もいれば、特定の品目に対する週次の請求を希望する顧客もいます。

請求書サイクル計算ルールを設定して、請求書日付の計算に使用される計算タイプを定義します。請求書サイクルを設定した後、請求書サイクル優先情報を使用して、顧客と品目の組み合わせに対してその請求書サイクルを割り当てることができます。必要であれば、計画請求書日付を後から変更することもできます。

### 請求書サイクル優先情報

請求書サイクル優先情報は、顧客番号、顧客グループ、品目番号、または品目グループの組み合わせに基づいて請求書サイクルを割り当てるために設定します。組み合わせは優先階層で定義されます。たとえば、全ての顧客が全ての品目に対して同じ請求書サイクルを使用する場合、優先階層は全ての顧客および全ての品目に対して設定されます。請求書サイクルは、必要であれば追加することができます。

### 請求書サイクル計算ルール

請求書サイクル計算ルールを設定して、請求書日付の計算に使用される計算タイプを定義します。たとえば、日次、隔週、または基準日に請求が行われるように設定することができます。定義した後、テスト用の日付で計算した請求書日付を検討することにより、計算の設定が正しいかどうかを確認できます。

計算ルールが、隔週、半月ごと、または月末の場合には、計画請求書日付の範囲も設定する必要があります。

次の表に示す請求書サイクルの計算ルールはハードコード化されており、特定の設定が必要です。

計算ルール	必要な設定
日次請求	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [曜日コード] はブランクに設定します。</li> <li>• [基準日コード] はゼロに設定します。</li> <li>• [増分日数] の設定は任意です。</li> </ul>
週次請求	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [基準日コード]、および [曜日コード] は必ず設定します。</li> <li>• [増分日数] の設定は任意です。</li> </ul>
隔週請求	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [基準日コード] は必ず設定します。</li> <li>• [曜日コード] はブランクに設定します。</li> <li>• [増分日数] の設定は任意です。</li> </ul>
半月ごとの請求	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [基準日コード] は必ず設定します。</li> <li>• [曜日コード] はブランクに設定します。</li> <li>• [増分日数] の設定は任意です。</li> </ul>
月末請求	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [基準日コード] は必ず設定します。</li> <li>• [曜日コード] はブランクに設定します。</li> <li>• [増分日数] の設定は任意です。</li> </ul>
基準日請求	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [基準日コード] は必ず設定します。</li> <li>• [曜日コード] はブランクに設定します。</li> <li>• [増分日数] の設定は任意です。</li> </ul>

### 例: 計画請求書日付の計算

次の例は、サイクル請求プログラムによる計画請求書日付の計算と、この計算が請求書の生成に与える影響を示します。請求書サイクル計算ルール用に入力する値は次のとおりです。

- 基準日: オーダーまたはトランザクション日付 (2005 年 9 月 27 日)
- 増分日数: 0
- 計算ルール: 月末
- 計画請求書日付の範囲は次のとおりです。
  - 開始日付: 2005 年 9 月 1 日および 2005 年 10 月 1 日
  - 終了日付: 2005 年 9 月 30 日および 2005 年 10 月 31 日
  - 請求書日付: 2005 年 9 月 30 日および 2005 年 10 月 31 日

2005 年 9 月 29 日に納品確認が行われた場合は、次のイベントが発生します。

- 2005 年 9 月 29 日  
サイクル請求プログラムによりオーダー行が処理され、計画請求日付が 2005 年 9 月 30 日と計算されます。計画請求日付がシステム日付 (2005 年 9 月 29 日) 以降であるため、サイクル請求プログラムにより繰延仕訳が作成されます。
- 2005 年 9 月 30 日  
計画請求日付がシステム日付以前であるため、サイクル請求プログラムにより請求書が作成され、売上更新プログラム (R42800) により繰延仕訳が逆仕訳され必要な元帳仕訳の値が作成されます。

### 請求書サイクル用 AAI (自動仕訳)

在庫品目の請求書サイクル情報を処理する場合には、次の AAI を設定する必要があります。

- 4221 - 繰延売上原価 (COGS)
- 4231 - 繰延収益
- 4232 - 未請求売掛金

### 請求書サイクル用ユーザー定義コード

請求書サイクル処理で使用する次のユーザー定義コード (UDC) テーブルを設定する必要があります。

- 請求書サイクル - 40/CY
- 曜日コード - 42/DW
- 基準日コード - 42/DN
- 計算ルール - 42/CR

### 関連項目:

第 18 章、「優先情報の設定」、699ページ

## 請求書サイクル優先情報の作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[優先マスターの処理]	W40070C	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]	請求書について、優先レコードを検討し選択します。
[請求書サイクルの処理]	W40315A	[優先マスターの処理] でサイクル請求書作成 (15) を選択します。	請求書サイクルレコードの確認と選択を行います。 選択された優先情報の組み合わせから請求書サイクルを作成します。
[優先階層の選択]	W40073F	[請求書サイクルの処理] で、[追加] をクリックします。	作成する請求書サイクルの優先情報の組み合わせを選択します。
[請求書サイクル計算ルール]	W40315F	レコードを選択し、[請求書サイクルの処理] で [ロー] メニューの [計算ルール] を選択します。	計算パラメータの追加または改訂を行います。
[計画請求書日付]	W40315D	[請求書サイクル計算ルール] で、[フォーム] メニューの [計画請求書日付] を選択します。	指定された請求書日付に対する日付範囲の追加と改訂を行います。

## 請求書サイクル優先情報の作成

[優先マスターの処理] フォームにアクセスします。

**優先マスター - 請求書サイクル計算ルール**

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

会計年度

**日付計算パラメータ**

請求書サイクル	WK1	第1週
計算ルール	2	週ごと
増分日数	0	
基準日コード	6	実際出荷日付
曜日コード	6	金曜日

**請求書日付の検証テスト**

テスト日付	テスト結果
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

[請求書サイクル計算ルール] フォーム

このフォームには請求書サイクルの計算ルールが表示されます。

- [会計年度]** 該当年度を 2 桁の数字で指定します。blank にすると、システム日付が使用されます。
- [請求書サイクル]** 請求書サイクルを入力します。[請求書サイクル] フィールドは、サイクル請求で使用されて請求書の作成方法（たとえば、日次、週次、月次など）を決定します。
- [優先状況]** 優先情報を有効、または無効にするコードを指定します。有効値は以下のとおりです。
- 1: 有効にします。
  - 2: 無効にします。
- [計算ルール]** 計画請求書日付の算出に使用される計算の種類を定義する UDC (JE42/CR) を入力します。
- [増分日数]** 基準日に追加する日数を入力します。たとえば、オーダー日付と配送日付との間に数日の余裕を見るためにこのフィールドに入力を行うことがあります。このフィールドに入力された数値は、サイクル請求プログラムが計画請求書日付を計算するときに基準日に加えられます。

- [基準日コード]** 計画請求書日付の計算に使用される、受注オーダー見出しまたは受注オーダー明細のいずれかが指定された日付フィールドの名前の UDC (42/DN) を入力します。
- たとえば、顧客が配送時に請求書を要求している場合は、配送確認日付を選択することになります。
- [曜日コード]** 請求書印刷プログラムが顧客の請求書を作成する曜日を定義する UDC (JE42/DW) を入力します。このコードは、毎週同じ曜日に顧客に請求を行うのでない限り、ブランクにしておきます。このフィールドは週次請求書計算ルールを使用する場合にのみ設定します。

## 計画請求書日付範囲の追加

[計画請求書日付] フォームにアクセスします。

- [請求書日付]** 各有効日付の開始日から終了日に対応する指定の請求書日付を割り当てます。次の優先情報に関しては、増分日数は無視されます。
- 隔週
  - 半月ごと
  - 月次

---

## 標準請求書の印刷

このセクションでは、請求書印刷プログラムの概要と以下の方法について説明します。

- 請求書印刷プログラムの実行
- 請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定

### 請求書印刷プログラムについて

請求書印刷プログラム (R42565) により、受注明細テーブル (F4211) の次のフィールドが更新されます。

- 請求書番号
- 請求書日付
- 請求書伝票タイプ
- 状況コード (売上更新プログラムの実行がプログラムにより「次の状況」コードとして指定されます)

システムが次の処理のために選択する「次の状況」コードを指定する必要があります。

---

**注:** 請求書グループは、テスト モードまたは最終モードのどちらかで一括して処理および印刷することができます。請求書印刷をテスト モードで実行すると、状況コードやファイルの更新は行われません。テスト モードは、受注オーダー承認書または請求書再印刷など他の機能にも使用することができます。テスト モードで請求書を正しく処理するには、バージョン XJDE0005 またはこのバージョンのコピーを実行してください。

---

## 請求書タイプ

顧客に対する請求書のタイプを次の中から 1 つ指定します。

請求書タイプ	説明
個別請求書	顧客が発注した各オーダーに対して個別の請求書が印刷されます。
合計請求書	<p>複数の受注オーダーが 1 つの請求書にまとめられます。顧客請求指示のオプションで請求書をまとめるように設定することができます。請求書のまとめを選択すると、売掛金と元帳の項目がまとめられます。</p> <p>合計請求書を実行するときにシステムによって売掛金番号が自動的に割り当てられないようにするには、売上更新プログラムで請求書番号を割り当てるバージョンを選択する必要があります。</p>
集計請求書	各行品目の品目番号、原価、価格が同じ場合は、複数の行品目がまとめられます。たとえば同じ品目を複数の場所に出荷するような場合、特定の請求先に送られる請求書の行品目をまとめることがあります。

注: 請求書を合計または集計のいずれかで実行することはできますが、合計と集計を同時に行うことはできません。

## 通貨

請求書に正味金額、税額、および総額を印刷する場合には、通貨を決定することができます。請求書印刷プログラムの処理オプションを設定すると、国内通貨、外貨、または次の 2 つの通貨で金額を印刷できます。

- 国内通貨と仮定通貨
- 外貨と仮定通貨

請求書印刷プログラムでは仮定通貨を使って処理を実行して、別の通貨で入力されたように請求書金額が印刷されます。仮定通貨処理の利点の 1 つは、ディスクスペースを必要としないことです。仮定通貨額は一時的に F42565 に保存され請求書処理後に削除されます。

外貨と仮定通貨で印刷するときには、請求書印刷プログラムは次の処理を実行します。

- 受注オーダーの国内通貨金額に基づいて、外貨と仮定通貨で金額を計算する
- 請求書日付ではなく、受注オーダー日付の為替レートを使用する
- 外貨金額は各明細行のみに印刷する

また、仮定通貨で請求書に金額を印刷する場合、同じ仮定通貨で税集計が印刷されるよう処理オプションを設定できます。

## 税

税集計情報は次のいずれかに従って、国内通貨/外貨、および仮定通貨で印刷できます。

- 税グループ - 課税対象金額合計
- 税域 - 県などの税域



- ・ 納税先 - 市などその地域における納税先

オーダーに異なる税率で課税される品目がある場合、その税額は計算されますが税率の代わりに「N/A (不適用)」と印刷されます。税額の計算は出荷する品目に対してのみ行われます。請求書のバックオーダー品目には、税額情報は記載されません。また、仮定通貨で請求書に金額を印刷する場合、同じ仮定通貨で税集計が印刷されるよう処理オプションを設定できます。

## 会社間請求書

会社間の受注オーダーは、請求書の処理中、販売事業所への請求書が印刷される点を除けば、その他の受注オーダーと同様に処理されます。

受注オーダー入力プログラム (P4210) の事業所間処理オプションで、会社間伝票タイプを指定する必要があります。これにより F49211 に受注明細レコードが作成されます。請求書印刷プログラムを使用して会社間オーダーを処理した後で、会社間請求書番号を使用して F49211 が更新されます。

会社間請求書は、請求書印刷プログラムまたはサイクル請求プログラムの通常の請求処理で印刷できます。ただし、顧客請求書と会社間請求書は同時には印刷できません。会社間請求書で合計請求書を印刷するには、販売事業所の顧客請求指示でこの機能を指定する必要があります。

会社間請求書を生成する場合、受注オーダー入力、出荷確認バッチ アプリケーション (R42500)、請求書印刷、売上更新 (R42800) の各プログラムで会社間伝票タイプと同じタイプを指定する必要があります。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- ・ 受注オーダーの状況コードが、請求書の印刷用のコードになっていることを確認してください。
- ・ 顧客セットを使用する場合は、請求書印刷レポートで顧客セットに属する全ての対象が表示されるよう、事業所品目プログラム (P41026) で顧客セットのシステム固定情報が有効になっていることを確認してください。

## 請求書印刷プログラムの実行

[受注オーダー処理] (G4211) の [請求書印刷] を選択します。

## 請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定

この処理オプションでは、システム デフォルト値の設定、印刷パラメータの定義、原価および価格の更新処理の指定、データの処理方法の定義を行います。

### デフォルト

この処理オプションでは、システムが使用するデフォルト値を指定します。

1. 状況コード - 開始、2. 状況コード - 終了
- 請求書印刷を行うオーダー選択の範囲指定に使用される開始および終了の状況コードを指定します。

オーダー処理順序定義の UDC テーブル (40/AT) に設定されている状況コードを使用する必要があります。[状況コード - 開始] と [状況コード - 終了] の組み合わせは、処理中のオーダータイプと行タイプに基づいたオーダー処理順序定義の「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせである必要があります。

3. 基準状況

受注オーダー明細テーブルの選択を「前の状況」と「次の状況」のどちらに従って行うのかを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 「前の状況」に従って選択します。
- 2: 「次の状況」に従って選択します。
- 4. 一時変更用「次の状況」コード**
- オーダー処理の次のステップを示す UDC (40/AT) を指定します。指定する UDC は、使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義で設定されている必要があります。
- この一時変更用状況は、請求書処理で実行できるオプションのもう 1 つのステップになります。開始状況と一時変更された「次の状況」の組み合わせは、オーダー処理順序定義テーブルの「前の状況」と「次の状況」の有効な組み合わせになっている必要があります。
- 5. 「次の状況」の更新**
- オーダー処理順序定義の「次の状況」を更新するかどうかを指定します。指定するユーザー コード (40/AT) は、使用中のオーダー タイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義で設定されている必要があります。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 「次の状況」を更新します。
- 1: 「次の状況」を更新しません。
- 6. 売掛金番号の割当て**
- 売掛金番号をトランザクションに割り当てるかどうかを指定します。
- ブランク: 請求書がテスト モードで処理されている場合、売掛金番号をトランザクションに割り当てます。
- 1: 処理中、売掛金番号を割り当てません。
- 7. 売掛金「次の番号」の割当て**
- 売掛金の「次の番号」の割り当てに使用するインデックス番号を指定します。売掛金の「次の番号」の割り当てには、10 種類の順序設定バケットから選択できます。この処理オプションをブランクにすると、“01” が割り当てられます。
- 8. 請求書伝票タイプ**
- 請求書に割り当てられた伝票タイプを指定する UDC (00/DT) を指定します。
- UDC テーブル (00/DT) で設定されている伝票タイプを入力してください。このオプションをブランクにすると、伝票タイプ “RI” が使用されます。

## 印刷

この処理オプションでは、印刷するデータを指定します。

- 1. 請求書日付**
- 請求書に記載される日付を入力します。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が印字されます。
- 2. バックオーダー/取消行の印刷**
- バックオーダー行、取消行、またはこの両方を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- 1: バックオーダー行を印刷します。
- 2: 取消行を印刷します。
- 3: バックオーダー行と取消行の両方を印刷します。
- 4: バックオーダー行と取消行のどちらも印刷しません。
- 3. バックオーダー行の合計価格**
- バックオーダー品目の合計価格を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: バックオーダー品目の合計価格を印刷しません。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
|                       | 1: バックオーダー品目の合計価格を印刷します。   |
| 4. バックオーダー行の 1 回のみの印刷 | <p>バックオーダー行および取消行を複数回印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: バックオーダー行および取消行を複数回印刷します。</p> <p>1: バックオーダー行と取消行を 1 回印刷します。</p>  |
| 5. 合計原価の印刷            | <p>合計原価と売上総利益率を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 合計原価と売上総利益率を印刷しません。</p> <p>1: 合計原価と売上総利益率を印刷します。</p> <p>この処理オプションを“1”に設定した場合は、合計原価が印刷されるように印刷の向きを横長に設定してください。</p>             |
| 6. 適用できる値引の印刷         | <p>顧客に適用できる値引を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 適用できる値引を印刷しません。</p> <p>1: 顧客に適用できる値引を印刷します。</p>  |
| 7. キット構成品行の印刷         | <p>キット構成品行を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: キット構成品行を印刷しません。</p> <p>1: キット構成品行を印刷します。</p> <p>販売コンフィギュレータを使用する場合は、このオプションを“1”に設定します。</p>  |
| 8. 先日付引当行の印刷          | <p>先日付引当行を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 先日付引当行を印刷しません。</p> <p>1: 先日付引当行を印刷します。</p>   |
| 9. 品目番号の印刷            | <p>自社の品目番号に添えて、顧客の品目番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 自社の品目番号のみを印刷します。</p> <p>1: 自社の品目番号と共に、顧客の品目番号を印刷します。</p> <p>このオプションをブランクにすると、自社の品目番号のみが印刷されます。</p>                    |
| 10. 顧客相互参照            | <p>請求書に顧客の品目番号を印刷する場合、顧客の品目番号を識別する相互参照コードを指定する UDC (41/DT) を入力します。</p>   |
| 11. 品目の集計             | <p>各行品目の品目番号、原価、価格が同一である場合、同じ品目に関する複数行を集計するかどうかを指定します。たとえば同じ品目を複数の場所に出荷するような場合、請求先に送られる請求書の行品目を集計することがあります。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランクまたは 1: 各行品目の品目番号、原価、価格が同一である場合は、複数の行品目が集計されます。</p> |

このオプションを“1”に設定すると、第 2 品目番号、単価、計量単位、行タイプ、価格設定計量単位、伝票番号、伝票タイプ、および伝票会社の各フィールドを基準に集計が行われます。

キット品目の処理を行う場合は、このオプションを“1”に設定してください。

2: 引当ごとに分割して集計を印刷します。

このオプションを“2”に設定すると、オーダー番号、オーダータイプ、オーダー会社、行番号、単価、計量単位、行タイプ、および価格設定計量単位の各フィールドを基準に集計が行われます。

## 12. シリアル番号の印刷

請求書にシリアル番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 請求書にシリアル番号を印刷しません。

1: 請求書にシリアル番号を印刷します。

## 13. 外貨での印刷

外貨を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 外貨を印刷しません。

1: 外貨を印刷します。

## 14. 税集計の印刷

請求書に税集計情報を印刷するかどうかを指定します。このオプションの設定に従って、税情報が集計されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 税集計情報を印刷しません。

1: グループ別に税集計情報を請求書に印刷します。

2: 税域別に税集計情報を請求書に印刷します。

3: 納税先別に税集計情報を請求書に印刷します。

## 15. 一括印刷メッセージ

全ての請求書に印刷される一括印刷メッセージを指定する UDC (40/PM) を入力します。

## 16. 関連テキストの印刷

受注オーダーの関連テキストを請求書に印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 受注オーダーの関連テキストを請求書に印刷しません。

1: 受注オーダーの関連テキストを請求書に印刷します。

このオプションを“1”に設定すると、受注オーダー見出しと受注オーダー明細の両方に関係付けられたテキストが印刷されます。

## 17. 手形の印刷

手形を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 手形を印刷しません。

1: 手形を印刷します。

## 18. 手形の振出し

手形を振出す市の名前を入力します。ここに市の名前を入力すると、手形に表示されます。

## 19. 印刷メッセージ優先情報

受注オーダーに表示される品目番号と顧客番号の組み合わせに対するユーザー定義の印刷メッセージ優先情報を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 受注オーダーに表示される品目番号と顧客番号の組み合わせに対するユーザー定義の印刷メッセージ優先情報を印刷しません。

- 1: ユーザー定義の印刷メッセージ優先情報を印刷します。
- 20. 仮定通貨コード**  
正味金額、売上税、オーダー合計金額を請求書に印刷する場合の仮定通貨を指定します。請求書印刷プログラムでは仮定通貨を使って処理を実行して、国内通貨または外貨以外の通貨で入力されたかのように請求書金額が計算されて印刷されます。
- 21. 仮定通貨での税集計の印刷**  
税集計金額を仮定通貨で印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 税集計情報を仮定通貨で印刷しません。  
1: 税集計情報を仮定通貨で印刷します。  
[仮定通貨] 処理オプションで指定された通貨コードと、[税集計の印刷] 処理オプションで指定されたフォーマットが使用されます。
- 22. 追加見出しテキストの印刷**  
レポートのページ見出しに追加見出しテキストを印刷するかどうかを指定します。追加見出しテキストは、伝票がオリジナルか再印刷であることを識別します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 追加見出しテキストを印刷しません。  
1: 帳票がオリジナルであることを示す追加見出しテキストを印刷します。  
2: 帳票が再印刷であることを示す追加見出しテキストを印刷します。
- 23. 転送先住所のコピーの印刷**  
転送先住所に送付する請求書のコピーを印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 転送先住所は印刷されません。  
1: 転送先住所へ請求書のコピーを印刷します。

## 原価/価格の更新

この処理オプションでは、原価の処理方法および使用する原価プログラムのバージョンを指定します。

- 1. 原価の更新**  
請求書を印刷する前に、品目の原価、価格、または為替レートを更新するかどうかを指定します。選択された全ての受注オーダーは、現行の原価、為替レート、価格に更新されます。売上高総利益率が正確に計算されていることを確認するために、売上原価の更新を実行することができます。購買原価または製造原価の変更が頻繁に起こる場合、またはかなりの時間が経過してからオーダーの更新を行う場合は、この更新を実行してください。有効値は以下のとおりです。  
空白: 請求書を印刷する前に、品目の原価を更新しません。  
1: 請求書を印刷する前に、受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラム (R42950) を使用して原価を更新します。
- 
- 注:** 原価が更新されるのは、在庫がリリースされていない場合に限りられます。
- 
- 2. 販売価格/売上原価の更新バージョン (R42950)**  
請求書の印刷前に原価を更新するために使用される受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラムのバージョンを入力します。この処理オプションを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。



- 6. 取引先ID** EDI 取引先の ID 番号を指定します。
- 7. トランザクション・セット目的** EDI 処理のトランザクション セットの目的を示す UDC (47/PU) を入力します。UDC テーブル 47/PU で設定されているトランザクション セット目的を使用してください。
- 8. 拡張EDI請求書の処理** これは将来使用の処理オプションです。  
請求書の印刷時に、EDI 請求書拡張見出しテーブル (F470462) および EDI 請求書拡張明細テーブル (F470472) に自動入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: テーブルに自動入力しません。  
1: テーブルに自動入力します。
- 9. ～ 13. 参照修飾子 1 から 5** これは将来使用の処理オプションです。  
対応する出荷参照番号を見つけるために使用される参照修飾子を入力します。

## 需要スケジューリング

この処理オプションでは、需要スケジューリングの処理方法を指定します。

- 連絡先タイプ 1、連絡先タイプ 2、連絡先タイプ 3、連絡先タイプ 4、連絡先タイプ 5** 連絡先名と ID 番号の値を取り込むための連絡先タイプ修飾子を入力します。[EDI] タブの [拡張EDI請求書の処理] フィールドが有効になっていると、F470462 テーブルに連絡先名と ID 番号が自動入力されます。

## 電子メール

この処理オプションでは、電子メールの処理方法を指定します。

- 1. 電子メール承認選択** 請求書印刷プログラムを実行するときに、電子メール承認を送信するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 電子メール承認を送信しません。  
1: 電子メール承認を送信します。
- 2. 電子メール・アドレス・タイプ** 人名録連絡先情報から電子メールアドレスの作成と定義を行うときに使用される UDC (01/ET) を入力します。電子メール承認にはこのアドレスが使用されます。この処理オプションをブランクにすると、デフォルト値 "E" が使用されます。
- 3. 金額を電子メールに含める** 電子メール承認に全ての行の金額と合計 (オーダー合計金額、価格、合計金額、税など) を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 電子メール承認に全ての行の金額と合計を印刷しません。  
1: 電子メール承認に全ての行の金額と合計を印刷します。
- 4. 電子メール見出しのメッセージ** 電子メール承認に含まれる一括印刷メッセージを指定する UDC (40/PM) を入力します。この処理オプションをブランクにすると、一括メッセージは含まれません。
- 5. 電子メールの件名の行** 電子メール承認の送信時に件名の行に設定されるテキストを指定する UDC (40/PM) を入力します。この処理オプションをブランクにすると、件名の行はブランクになります。

- 6. 電子メールの送り手の住所番号** 電子メール承認の送信者の名前と電子メールアドレスを指定する住所番号を指定します。

## サイクル請求の実行

このセクションでは、サイクル請求の概要と以下の方法について説明します。

- 計画請求書サイクル プログラムの実行
- 計画請求書サイクル (R49700) の処理オプションの設定

### サイクル請求について

計画請求書日付を計算するには計画請求書サイクル プログラムを使用します。計画請求書サイクル プログラムは、「請求書サイクル」優先情報および請求書サイクル計算ルールと共に使用するバッチ プログラムです。「請求書サイクル」優先情報が検索されない場合、処理オプションで指定されたデフォルトの請求書サイクルが適用されます。

勘定科目に対して繰延仕訳が書き込まれるかどうかは、計画請求書日付によって決まります。計画請求書日付が現行日付よりも後の場合、請求書は請求書サイクルに投入されます。

計画請求書サイクル請求は、繰延売上原価、繰延収益、未請求売掛金を更新します。このプログラムは、データを確認する場合はテスト モードで、データを更新する場合は最終モードで実行してください。

オーダーを顧客に納品後も、次の請求サイクルで請求が行われるまでオーダーは売上更新の対象とならないため、繰延仕訳が必要となります。システムがレコードを更新するのは、在庫が輸送段階を完了したことと繰延請求を総勘定元帳に反映させるためです。

オーダーの計画請求書日付が現行日付またはそれ以前である場合は、次のいずれかの可能性があります。

- 請求書サイクルが日次である
- 請求書サイクルがない
- 現行日付がサイクル日付である

オーダーはその夜の売上更新により処理されるため、繰延仕訳は作成されません。

サイクル請求と非サイクル請求のオーダー処理方法は異なります。次の表では、勘定科目の処理が非サイクル請求とサイクル請求とで異なる例を示しています。ここでの借方および貸方金額は各取引例の金額です。

### 非サイクル請求仕訳

この表では、非サイクル請求の勘定科目と対応する仕訳を示しています。

プログラム	勘定科目	AAI	借方	貸方
積荷確認	輸送中在庫	4241	410	
	在庫	4240		410
顧客売上更新	売上原価	4220	410	



プログラム	勘定科目	AAI	借方	貸方
	輸送中在庫	4241		410
	請求済み売掛金	なし	990	
	収益	4230		990

## サイクル請求仕訳

この表では、サイクル請求在庫品目の勘定科目と対応する仕訳を示しています。

プログラム	勘定科目	AAI	借方	貸方
積荷確認	輸送中在庫	4241	410	
	在庫	4240		410
サイクル請求	繰延売上原価	4221	410	
	輸送中在庫	4241		410
	未請求売掛金	4232	990	
	繰延収益	4231		990
顧客売上更新	売上原価	4220	410	
	繰延売上原価	4221		410
	繰延収益	4231	990	
	収益	4230		990
	未請求売掛金	4232		990
請求書転記	売掛金	なし	990	

次の例外に注意してください。

- ・ 積荷確認と配送確認が同時に発生した場合（つまり在庫が一度も積送中と見なされない場合）は、輸送積荷確認プログラム（P49640）で仕訳が作成されません。計画請求書サイクル プログラムでは、運送中在庫ではなく在庫の貸方仕訳が作成されます。
- ・ 輸送積荷確認プログラムで基本請求書を印刷した場合、繰延仕訳は生成されません。この場合、非サイクル請求仕訳が生成されます。

オーダーを積荷確認で処理し、請求/支払運賃計算を実行すると、オーダーは次にサイクル請求状況に進みます。配送伝票と同時に請求書を印刷したかどうかによって、計画請求書サイクル プログラムではオーダー行を次のように処理します。

- ・ 受注オーダー行が請求された場合

計画請求書サイクル請求プログラムにより受注オーダー行の状況が変更され、定期請求の対象から外されます。オーダー行の状況は「顧客売上更新」に更新されます。

- 受注オーダー行が請求されなかった場合

計画請求書サイクル プログラムにより「請求書サイクル」優先情報またはその処理オプションがチェックされ、計画請求書日付が算出されます。最終モードで計画請求書サイクル プログラムを実行すると、請求サイクルと計画請求書日付で F49211 が更新されます。また受注オーダー行の状況が変更され、定期請求の対象になることを示します。プログラムは将来日付で請求するオーダー行の繰延仕訳を書き込みます。

## サイクル請求トランザクション レポートの検討

総勘定元帳の仕訳に誤記がないか検討する場合は、繰延仕訳用に作成されるサイクル請求トランザクション レポートを確認できます。レポートには、特定のオーダー行に対する総勘定元帳仕訳が詳述されます。1 件のオーダー行に対して最高 4 つまでの総勘定元帳仕訳が使用できます。計画請求書サイクル プログラムをテスト モードで実行すると、最終モードでプログラムを実行する場合と総勘定元帳仕訳がレポートに表示されます。最終モードでプログラムを実行すると、レポートには実行済みの更新情報が表示されます。

## 事前設定

デフォルト請求書サイクル用の UDC が設定されていることを確認してください。顧客と品目の組み合わせに対応する優先情報が見つからない場合、このコードが使用されます。

## 計画請求書サイクル プログラムの実行

[請求書の処理] (G42113)、[計画請求書サイクル] を選択します。

## 計画請求書サイクル (R49700) の処理オプションの設定

この処理オプションでは、レポートのデフォルト値を設定します。

### デフォルト 1

この処理オプションでは、請求済みオーダーおよび処理中オーダーの一時変更、呼び出される売上更新のバージョンの決定、プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するか決定、およびデフォルトの請求書サイクルの指定を設定します。

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. 請求済みオーダーの「次の状況」の一時変更 | 既に請求済みのオーダーの「次の状況」を一時変更するために使用される値を指定します。  |
| 2. 処理中オーダーの「次の状況」の一時変更  | 処理中オーダーの「次の状況」を一時変更する値を指定します。値が指定されないと、オーダー状況フローの「次の状況」の値が使用されます。                            |
| 3. 売上更新バージョン            | 処理オプションを取り込む売上更新プログラムのバージョンを指定します。   |
| 4. テストまたは最終モード          | プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: テスト モードで実行します。<br>1: 最終モードで実行します。 |
| 5. デフォルトの請求書サイクル        | 優先情報が設定されていない行に対して使用されるデフォルトの請求書サイクルの値を指定します。  |

## (Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Credit Order Acknowledgements and Credit Memos

This section discusses:

- How to print and reprint credit order acknowledgement for customer credit with and without return.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Reprint Order Acknowledgement (R42565).
- How to print and reprint credit memo for customer credit with and without return.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print Credit Invoice (R42565).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Reprint Credit Note (R42565).

### Printing and Reprinting Credit Order Acknowledgement for Customer Credit With and Without Return

This table lists the tasks for printing and reprinting credit order acknowledgement for customer credit with and without return:

Task	Navigation	Program and Version
Print credit order acknowledgement for customer credit with and without return.	Sales Order Processing Print Sales Order Acknowledgement	R42565/RIS3002
Reprint credit order acknowledgement for customer credit with and without return.	Sales Order Processing Re-print Sales Order Acknowledgement	R42565/RIS3009

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3002.

#### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	525
2. Status Code – To	525
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	blank
8. Invoice Document Type	blank

## Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	3
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	ACKNOW
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank

Processing Option Description	Value or Status
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank

Processing Option Description	Value or Status
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	blank

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Order Acknowledgement (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3009.

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	540
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	1
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	blank
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	3
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	ACKNOW

Processing Option Description	Value or Status
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	2
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank



Processing Option Description	Value or Status
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	blank

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## Printing and Reprinting Credit Memo for Customer Credit With and Without Return

This table lists the tasks for printing and reprinting credit memo for customer credit with and without return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data
Print credit memo for customer credit with and without return.	Credit Order Processing, Print Credit Memo	R42565/RIS3005	For CO/C and CO/NC.
Reprint credit memo for customer credit with and without return.	Credit Order Processing, Print Credit Memo	R42565/RIS3011	Same.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Credit Invoice (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3005.

### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	580
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	blank
7. Assign A/R Next Number	1
8. Invoice Document Type	RM

### Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	CREDIT
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

**Demand Scheduling**

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

**E-mail**

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

**関連項目:**

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Credit Note (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3011.

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	620
2. Status Code – To	999
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	1
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	blank
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	CREDIT
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	2
23. Print copy for Forwarded To address	blank

**Cost/Price Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

**Demand Scheduling**

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

**E-mail**

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

**関連項目:**

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

---

## **(Rapid Start AUS and NZL) Printing and Reprinting Invoices and Sales Order Acknowledgements**

This section discusses:

- How to print and reprint invoices in batch.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print Invoice in Batch by B/P (R42565).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Reprint Sales Order (R42565).
- How to print and reprint sales order acknowledgement.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Reprint Order Acknowledgement (R42565).



## Printing Invoices in Batch

This table lists the tasks for printing invoices in batch:

Task	Navigation	Program and Version
Print invoices in batch.	Sales Order Processing Print Invoice	R42565/RIS3001
Reprint invoices.	Sales Order Processing Print Invoice	R42565/RIS0010

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Invoice in Batch by B/P (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	580
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	blank
7. Assign A/R Next Number	1
8. Invoice Document Type	RI

### Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	blank
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

**Demand Scheduling**

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

**E-mail**

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

**関連項目:**

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Sales Order (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0010.

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	620
2. Status Code – To	999
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	1
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4

Processing Option Description	Value or Status
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	3
15. Global Print Message	blank
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

**Demand Scheduling**

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## Printing and Reprinting Sales Order Acknowledgements

This table lists the tasks for printing and reprinting sales order acknowledgement:

Task	Navigation	Program and Version
Print sales order acknowledgement.	Sales Order Processing Print Sales Order Acknowledgement	R42565/RIS3002
Reprint sales order acknowledgement.	Sales Order Processing Re-print Sales Order Acknowledgement	R42565/RIS3009

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3002.

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	525
2. Status Code – To	525
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	3
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	ACKNOW



Processing Option Description	Value or Status
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Reprint Order Acknowledgement (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3009.

### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	540
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	1
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

### Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	3
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank

Processing Option Description	Value or Status
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	ACKNOW
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	2
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

**関連項目:**

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## (Rapid Start AUS and NZL) Printing Invoices Automatically from Ship Confirm

This section discusses:

- How to print invoice automatically from ship confirm.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print Invoice from Ship Confirm (R42565).

### Printing Invoice Automatically from Ship Confirm

This table lists the tasks for printing invoice automatically from ship confirm:

Task	Navigation	Program and Version
Print invoice automatically from ship confirm.	Sales Order Processing, Print Invoice or Packing List	R42565/RIS3008

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print Invoice from Ship Confirm (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3008.

#### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	580
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	blank
7. Assign A/R Next Number	1
8. Invoice Document Type	RI

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	blank
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

**Cost/Price Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank



## Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

## E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

---

## (Rapid Start CAN and USA) Printing Invoices for Transfer Order with Receipt Routing

This section discusses:

- How to print invoice for transfer order with receipt routing.
- Preconfigured processing options for Canada and United States Print Invoice for Transfer Orders (R42565).

## Printing an Invoice for Transfer Order with Receipt Routing

This table lists the tasks for printing invoice for transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print invoice for transfer order with receipt routing.	Sales Order Processing Print a Sales Order Invoice	R42565/RIS0014	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: ST and OT</li> <li>Line Type: S (Stock Item).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type ST, OT and line type S.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verify branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that is receiving the goods.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> <li>verify the PINS process is setup in the routing. This is a two step process which takes the item to In-Transit and then Stock. Address book number 99999900 is setup and is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada and United States Print Invoice for Transfer Orders (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0014.

### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	580
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Prevent A/R Number Assignment	blank
7. Assign A/R Next Number	1
8. Invoice Document Type	RI

## Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	3
15. Global Print Message	blank
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank

Processing Option Description	Value or Status
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank

Processing Option Description	Value or Status
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices for Customer Credit

This section discusses how to: .

- Print invoice for customer credit with return.
- Print invoice for customer credit without return.

- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Credit Memo (R42565).

## Printing Credit Memo for Customer Credit With Return

This table lists the tasks for printing invoice for customer credit with return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Print invoice for customer credit with return.	Credit Order Processing Print Credit Memo	R42565/RIS0005	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: CO (Sales Order), II (Inventory Issue), and IT (Inventory Transfer).</li> <li>• Line Type: C (Credit Stock Item).</li> <li>• Order activity rules are set up for the combination of document type CO and line type C.</li> <li>• Hold Code: XX (Administrative Hold).</li> <li>• AAI's are set up for inventory issues and transfers using document types II and IT.</li> <li>• Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Status = 580	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Credit Memo (R42565)」、575ページ

## Printing Credit Memo for Customer Credit Without Return

This table lists the tasks for printing invoice for customer credit without return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print invoice for customer credit without return.	Credit Order Processing Print Credit Memo	R42565/RIS0005	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO (Credit Order)</li> <li>Line Type: CN (Miscellaneous Credit)</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type CO and line type CN.</li> <li>Hold Code: XX (Administrative Hold).</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Status = 580	<ul style="list-style-type: none"> <li>Set up required AAIs.</li> <li>Activate the Edit Item Master for Non-Stock Items option in the Line Type Constants.</li> <li>Set up any required dummy item numbers.</li> <li>Verify that the G/L class code on the Item Master is correct.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Credit Memo (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0005.

### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	580
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	blank
7. Assign A/R Next Number	1
8. Invoice Document Type	RM

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	3
15. Global Print Message	Credit
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank



**Cost/Price Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

## Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

## E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

## 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Return Authorizations for Customer Credit With Return

This section discusses:

- How to print return authorization for customer credit with return.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Acknowledgement On Demand (R42565).

## Printing Return Authorization for Customer Credit With Return

This table lists the tasks for printing return authorization for customer credit with return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Print return authorization for customer credit with return.	Sales Order Processing  Print Sales Order Acknowledgement	R42565/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO (Sales Order), II (Inventory Issue), and IT (Inventory Transfer).</li> <li>Line Type: C (Credit Stock Item).</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type CO and line type C.</li> <li>Hold Code: XX (Administrative Hold).</li> <li>AAIs are set up for inventory issues and transfers using document types II and IT.</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Status = 525	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation.
Print return authorization for customer credit with return on demand.	Access the batch version program.	R42565/RIS0006	Same.	Same.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	525
2. Status Code – To	525
3. Based On Status	2

Processing Option Description	Value or Status
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

## Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	3
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	3
15. Global Print Message	ACKNOW
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank

Processing Option Description	Value or Status
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank

Processing Option Description	Value or Status
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Acknowledgement On Demand (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0006.

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	525
2. Status Code – To	525
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	3
3. Extend Price on Backordered Lines	1
4. Print Backordered Lines Once Only	1
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	1
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	2
15. Global Print Message	ACKNOWLEDG

Processing Option Description	Value or Status
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	1
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	1

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank



Processing Option Description	Value or Status
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Sales Order Acknowledgements

This section discusses how to:

- Print sales order acknowledgements for selling a make-to-order item.
- Print sales order acknowledgements for selling from inventory.

### Printing Sales Order Acknowledgements for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for printing sales order acknowledgement for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print sales order acknowledgement for selling a make-to-order item.	Sales Order Processing Print Sales Order Acknowledgement	R42565 /RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: W (Make-to-Order Item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>• Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>• Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold)</li> <li>• Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, and 99.</li> <li>• Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>• Manufacturing Item: Item Sample1 is set up for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>• To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>• Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. If other branches are used, some setup will need to be changed.</li> <li>• Enter item numbers as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565)」、579ページ

## Printing Sales Order Acknowledgements for Selling from Inventory

This table lists the tasks for printing sales order acknowledgement for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print sales order acknowledgement for selling from inventory.	Sales Order Processing Print Sales Order Acknowledgement	R42565 /RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S (Stock Item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565)」、579ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices Automatically from Ship Confirm

This section discusses:

- How to print invoices automatically from ship confirm for selling a make-to-order item.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Packing List from Ship Confirm (R42565).

- How to print invoices automatically from ship confirm for selling from inventory.

## Printing Invoices Automatically from Ship Confirm for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for printing invoice automatically from ship confirm for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print invoice automatically from ship confirm for selling a make-to-order item.	Not applicable.	R42565/RIS0007	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: W (Make-to-Order item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>• Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>• Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>• Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, and 99.</li> <li>• Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>• Manufacturing Item: Item Sample1 is set up for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>• To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>• Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Packing List from Ship Confirm (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0007.

**Default**

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	562
2. Status Code – To	562
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	1
7. Assign A/R Next Number	0
8. Invoice Document Type	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	blank
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	blank
15. Global Print Message	PACK LIST

Processing Option Description	Value or Status
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	1
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

### Cost/Price Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

### Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

### EDI

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank

Processing Option Description	Value or Status
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

### Demand Scheduling

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

### E-mail

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## Printing Invoices Automatically from Ship Confirm for Selling from Inventory

This table lists the tasks for printing invoice automatically from ship confirm for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print invoice automatically from ship confirm for selling from inventory.	Sales Order Processing  Print Invoice or Packing List	R42565 /RIS0007	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S (Stock Item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print Packing List from Ship Confirm (R42565)」、588ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices for Selling a Make-To-Order Item

This section discusses how to print an invoice for selling a make-to-order item.

### Printing an Invoice for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for printing invoice for selling a make-to-order item.



Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print invoice for selling a make-to-order item.	Sales Order Processing Print Invoice	R42565 /RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W (Make-to-Order item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, and 99.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set up for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. If other branches are used, some setup will need to be changed.</li> <li>Enter item numbers as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Print Invoices (R42565)」  
、596ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Printing Invoices for Selling from Inventory

This section discusses how to print invoice for selling from inventory.

### Printing Invoice for Selling from Inventory

This table lists the tasks for printing invoice for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print invoice for selling from inventory.	Sales Order Processing Print Invoice	R42565 /RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S (Stock Item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Print Invoices (R42565)」  
、596ページ

## (Rapid Start) Printing Sales Order Acknowledgement for Selling a Direct Ship Item

This section discusses how to print sales order acknowledgement for selling a direct ship item.

### Printing Sales Order Acknowledgement for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for printing sales order acknowledgement for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Print sales order acknowledgement for selling a direct ship item.	Sales Order Processing  Print a sales order acknowledgement	R42565/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D (Direct Ship Item).</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul> Next Status = 525	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 14 章、「請求書作成」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565)」、579 ページ

## (Rapid Start) Printing Invoices for Selling a Direct Ship Item

This section discusses:

- How to print invoices for selling a direct ship item.
- Preconfigured processing options for Rapid Start Print Invoices (R42565).

### Printing an Invoice for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for printing invoice for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Print invoice for selling a direct ship item.	Sales Order Processing Print Invoice	R42565 /RIS0001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D (Direct Ship Item).</li> <li>Order Activity Rules: Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is setup for direct ship orders.</li> </ul> Sales Order Next Status = 580	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Print Invoices (R42565)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Default

Processing Option Description	Value or Status
1. Status Code – From	580
2. Status Code – To	580
3. Based On Status	2
4. Override Next Status Code	blank
5. Prevent Next Status Update	blank
6. Prevent A/R Number Assignment	blank
7. Assign A/R Next Number	1
8. Invoice Document Type	RI

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date	blank
2. Print Backordered/Cancelled Lines	4
3. Extend Price on Backordered Lines	blank
4. Print Backordered Lines Once Only	blank
5. Print Extended Cost	blank
6. Print Available Discount	1
7. Print Kit Component Lines	1
8. Print Future Committed Lines	blank
9. Print Item Number	2
10. Customer Cross Reference	C
11. Item Summary	2
12. Print Serial Numbers	blank
13. Print in Foreign Currency	blank
14. Print Tax Summary	3
15. Global Print Message	blank
16. Print Associated Text	1
17. Print Drafts	blank
18. Draft Origination	blank
19. Print Message Preference	blank
20. As If Currency Code	blank
21. As If Print Tax Summary	blank
22. Print Additional Header Text	blank
23. Print copy for Forwarded To address	blank

**Cost/Price Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Cost	blank
2. Sales Price/ Cost Update Version (R42950)	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Prepayments on Invoice	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Enable Next Order Status Preference	blank
2. Printing Invoice Selection	blank

**EDI**

Processing Option Description	Value or Status
1. EDI Processing Selection	blank
2. EDI Transaction Type	blank
3. EDI Document Type	blank
4. EDI Transaction Set Number	blank
5. EDI Translation Format	blank
6. Trading Partner ID	blank
7. Transaction Set Purpose	blank
8. Extended EDI Invoice Processing	blank
9. Reference Qualifier 1	blank
10. Reference Qualifier 2	blank
11. Reference Qualifier 3	blank
12. Reference Qualifier 4	blank
13. Reference Qualifier 5	blank

**Demand Scheduling**

Processing Option Description	Value or Status
1. Party Type 1	blank
2. Party Type 2	blank
3. Party Type 3	blank
4. Party Type 4	blank
5. Party Type 5	blank

**E-mail**

Processing Option Description	Value or Status
1. E-mail Acknowledgement Selection	blank
2. Electronic Address Type	blank
3. Include Amounts on E-mail	blank
4. E-mail Heading Message	blank
5. E-mail Subject Line	blank
6. E-mail Sender Address Number	0

**関連項目:**

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

---

## (CHN) Setting Up Next Numbers and Matching Versions to Print Sales Orders for China

This section discusses how to:

- Set up next numbers for JinSui processing.
- Set up a version of the GUI Interface File from Sales Order program.
- Set processing options for GUI Interface File from Sales Order (R75C421).

## Forms Used to Set Up Next Numbers for JinSui Processing

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Set Up Next Numbers by System	W0002C	Fast path, nn On the Work With Next Numbers form, select system 75.	Set up next numbers for JinSui processing.

### Setting Up Next Numbers for JinSui Processing

Access the Set Up Next Numbers by System form.

JinSui is a third-party software. To perform JinSui processing, you must set up next numbers for system 75 (ASEAN Localization), row 1 before you run the Print Invoices program (R42565).

### Setting Up a Version of the GUI Interface File from Sales Order Program

Before you run the Print Invoices program, you must set up matching versions for the GUI Interface File from Sales Order program. For example, if you run version ZJDE0005 of the Print Invoices program, you must set up version ZJDE0005 of the GUI Interface File from Sales Order program. You can set up versions by either copying or adding versions. The GUI Interface File from Sales Order program holds the processing options that are retrieved by the other programs.

From the System Administration Tools menu (GH9011), select Batch Version and enter R74C421 in the Batch Application field.

### Setting Processing Options for GUI Interface File from Sales Order (R75C421)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

#### Defaults

Use these processing options to identify the invoice type, the number of line items per invoice, an item category code, a specification code, and checked by and received by default address book numbers.

- |  |   |
|--|---|
| <b>1. Printing Invoice Type</b>            | Leave blank and the system generates only the JinSui Interface file. Values are:<br><br>1: Generate a standard invoice only.<br><br>2: Generate a JinSui Interface file and standard invoice. |
| <b>2. Number of Line Items per Invoice</b> | Specify how many line items print on one GUI invoice. The default values creates one invoice for each sales order line.   |



<b>3. Item Category Code Name</b>	Specify which field name in the F4101C table the system uses for item classification in the JinSui interface table. Values are: <ul style="list-style-type: none"> <li>• SRP6 (default)</li> <li>• SRP7</li> <li>• SRP8</li> <li>• SRP9</li> <li>• SRP0</li> <li>• PRP6</li> <li>• PRP7</li> <li>• PRP8</li> <li>• PRP9</li> <li>• PRP0</li> </ul>
<b>4. Default Item Category Value</b>	Specify the default item category value for line items on the JinSui detail record. The value that you enter will apply when the item category code field is blank in the item branch/plant master.
<b>5. Default Item Specification</b>	Enter the default item specification for line items on the JinSui detail record. The value that you enter will apply when the second item description field (DSC2) is blank on the sales order
<b>6. Checked by</b>	Enter a number that identifies an entry in the Address Book system, such as employee, applicant, participant, customer, supplier, tenant, or location.
<b>7. Received by</b>	Enter a number that identifies an entry in the Address Book system, such as employee, applicant, participant, customer, supplier, tenant, or location.

---

## (CHN) Printing Invoices from Sales Order Management

This section provides an overview of printing invoices for China and discusses how to run the Print Invoice from Sales Order program.

### Understanding the Invoice Print Process for China

Use the Print Invoice from Sales Order program (R42565) to print the invoices for review and to create a flat file that you can submit to JinSui. When you run the Print Invoices from Sales Order program, the system also runs the Create GUI flat file from SO invoice work file – China program (R75C422), which populates the Text Processor Header table (F007101) and the Text Processor Detail table (F007111). You must use the Text File Processor to copy information from these tables to a file that you can submit to JinSui.

The Print Invoices program also produces a paper report that you can use to review the invoices before you submit them to JinSui.

---

**注:** You can print invoices for JinSui from the Accounts Receivable system, from the Sales Order Management system, or both.

---

After you set up the item master, the item branch/plant, or both, you need to complete the processing option Item Category Code Name field for the Chinese GUI Interface file from Sales Order–Set Up – China program. You must use the same value for the category code that you chose for the item master and item branch/plant.

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529 ページ

## Run the Print Invoice from Sales Order program

Select A/R Sales – China (G75C03), Print Invoice from Sales Order.

---

## (ARG) Printing Invoices

This section provides overviews of printing invoices for Argentina and discusses how to set processing options for PO Invoice/Shipment Note Print (R76A565)

In Sales Order Management, the process of printing invoices has been modified to comply with Argentinian legal requirements.

## Understanding the Invoice Print Program for Argentina

You can use the Invoice Print program (R42565) to print invoices that comply with the legal requirements for printing, numbering, and taxes as stipulated on General Resolution 1415.

---

**注:** The F4211 table contains the legal number of the invoice in the Reference 2 field (VR02).

The Invoice Total – ARG – 03B table (F76A09) contains one record for each invoice and contains the legal number of the invoice in the Supplier Invoice Number field (VINV). This table also contains the tax total; the invoice total with taxes; and, depending on the order line type, the accounts receivable self-withholding tax code in the Category Code – Address Book 18 field (AC18).

The Taxes – Tax Amounts By Sales Order Line – ARG – 03B table (F76A18) contains one record for each line and tax code.

---

Table F76A09 controls the reprinting process.

The invoice format shows the taxes in the body of the document, one below the other and in accordance with tax code definitions. The description of the invoice taxes is obtained from the Description 01 field of UDC 76A/B3.

During invoice printing, the system prints an error report if it detects that mandatory parameters, such as legal numbering, are missing.

---

**注:** Do not select invoice summarization.

---

## Printing Pro Forma Invoices

Printing pro forma invoices enables you to print invoices in proof mode so that you can see a printed copy of all the invoices that are generated before the current billing without updating tables or legal numbers.

Printing pro form invoices differs from the standard invoice print process in these ways:

- No legal number is generated.
- Next numbers for accounts receivable are not updated.
- No records are generated in the F76A09 table or the F76A18 table.

To print pro forma invoices, set the first processing option on the PO Invoice/Shipment Note Print program to run in proof mode, and set the processing options on the Invoice Print program to prevent next status update and accounts receivable number assignment.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Set up identically named versions of the Print Invoices program and the PO Invoice/Shipment Note Print program, and set up the processing options for these programs.
- Verify that the XJDE0001 version of the Print Invoice/Shipment Note – ARG – 42 program (R76A566) exists. Do not modify the data selection of this version.
- Verify that the ZJDE0001 version of the Generate Invoice/Shipment Note WF – ARG – 42 program (R76A567) exists. Do not modify the data selection of this version.
- Verify that the sales orders have a status code for invoice printing.
- Verify the next legal number setup for companies and issue places in the Legal Next Numbers program (P76001A).
- Verify the configuration of RG100.
- Verify the tax setup.

### 関連項目:

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷プログラムの実行」、529ページ

第 14 章、「請求書作成」、「請求書印刷 (R42565) の処理オプションの設定」、529ページ

## Setting Processing Options for PO Invoice/Shipment Note Print (R76A565)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

### General

These processing options control whether the system prints shipment notes and invoice location, runs in final mode, prints lot numbers, and defines the maximum print lines per page.

- |   |  |
|---|--|
| <b>1. Enter 'Y' to print Shipment Notes.</b>                              | Specify whether the system prints shipment notes. Values are:<br>Y: Print shipment notes.<br>N: Do not print shipment notes.   |
| <b>2. Enter Y to run in proof mode</b>                                    | Specify whether the system runs in proof or final mode. Values are:<br>Blank: Run in final mode.<br>Y: Run in proof mode.  |
| <b>3. Enter the Issue Place.</b>  | Enter the place where the invoice or the shipment note is printed.   |
| <b>4. Enter '1' to print Lot Number in Domestic Items (Not Imported).</b> | Specify whether the system prints the lot number in domestic items. Values are:<br>Blank: Do not print the lot number.<br>Y: Print the lot number in domestic items. |
| <b>5. Enter the maximum number of detail lines per page.</b>              | Enter a line printer parameter that specifies the number of lines per page. For example, 60 or 66.   |

### Default

These processing options specify the status codes used for invoices and shipment notes when an error is detected.

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>Status Code – Next</b> | Enter the next status code to be used for invoices when an error is detected. If this option is left blank, the default value is 831.       |
| <b>Status Code – Next</b> | Enter the next status code to be used for shipment notes when an error is detected. If this option is left blank, the default value is 832. |

### Receipt Invoice

These processing options control global print messages in the invoice receipt footer.

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| <b>7. Print Message 1</b> | Enter the first global print message to be printed in each invoice receipt footer. This is a code identifying the Text Message you want the system to print next to this order line on selected documents.   |
| <b>8. Print Message 2</b> | Enter the second global print message to be printed in each invoice receipt footer. This is a user defined code that you assign to each print message. Examples of text used in messages are engineering specifications, hours of operation during holiday periods, and special delivery instructions. |

### Shipment Note

These processing options control the conversion units of measure for weight and volume.

- |                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <b>9. Weight Unit of Measure</b>  | Enter the weight unit of measure to convert all the items. This is the unit of measure that indicates the weight of an individual item. Typical weight units of measure are: GM for gram, OZ for ounce, LB for pound, KG for kilogram, and so forth. |
| <b>10. Volume Unit of Measure</b> | Enter the volume unit of measure to convert all the items. This is the unit of measure for the cubic space occupied by an inventory item. Typical volume   |

unit of measures are: ML for milliliter, OZ for fluid ounce, PT for pint, and so forth.

## RG 100

This processing option controls whether the you are entering a voucher corresponding to RG 100.

- |   |  |
|---|--|
| <b>1. Voucher corresponding to RG 100</b> | Specify whether you are entering a voucher corresponding to RG 100. Values are:<br><br>Blank: Vouchers are not included in RG 100.<br>1: You are entering a voucher corresponding to RG 100. |
|---|--|

## Perception

These processing options control whether to print the report and which version to use.

- |   |  |
|---|--|
| <b>1. Do you want to print the report? (Y/N)</b>                  | Specify whether the system prints the report. Values are:<br>N: Do not print the report.<br>Y: Print the report. |
| <b>2. Enter the version for R76A8050 (default value ZJDE0001)</b> | Enter the version for R76A8050. If you leave this option blank, the default value is ZJDE0001.                   |

## Transportation

These processing options control whether to use transportation and if you want to print Seals.

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <b>Do you use transportation Y/N</b> | Specify whether the system should use transportation. Values are:<br>N: Do not use transportation.<br>Y: Use transportation. |
| <b>Do you print Seals Y/N</b>        | Specify whether the system prints seals. Values are:<br>N: Do not print seals.<br>Y: Print seals.                            |

## Bulk

This processing options controls the type of temperature information printed on the shipment note.

- |   |   |
|---|---|
| <b>Print temperature and density information in Shipment Note</b> | Specify whether the system print temperature and density information on the shipment note or print this information only if the invoice is in standard temperature. Values are:<br><br>Blank: Print temperature and density information in the shipment note.<br>1: Print this information only if the invoice is in standard temperature.<br>2: Prevent the system from printing this information. |
|---|---|

**RG 889**

This processing options controls whether the Autoprinter information in the shipment note corresponding to RG 889.

**Print the Autoprinter information**

Specify whether you want the system to print the Autoprinter information in the shipment note, corresponding to RG 889. Values are:

Blank or N: Do not print.

Y: Print the Autoprinter information in the shipment note, corresponding to RG 889.

**Carrier**

This processing option controls whether to print carrier information.

**Print the information carrier** Specify whether the system prints the information carrier. Values are:

N: Do not print information carrier.

Y: Print the information carrier.

**Credit Invoice**

These processing options control whether credit invoices are generated and the number of copies to print.

**Generate Credit Invoices**

Specify whether the system generate credit invoices. Values are:

Blank: Do not generate credit invoices.

1: Generate credit invoices.

**Issue Place**

Enter the place where the invoice or the shipment note is printed.

**Number of Copies**

Enter the number of copies required by the customer. The system prints the number of invoices specified in this field. The system always prints at least one invoice.

---

## (ARG) Printing Shipment Notes

This section provides overviews and discusses how to print shipment notes and print shipment notes according to RG 889.

In Sales Order Management, the process of printing shipment notes has been modified to comply with Argentinian legal requirements.

### Understanding Shipment Note Print for Argentina

You can use the Invoice Print program to print shipment notes that include legal numbering and printing formats that comply with General Resolution 1415.

---

**注:** The F4211 table contains the legal number of shipment notes in the User Reserved Reference field (URRF) and the date of the shipment note in the User Reserved Date field (URDT).

---

You can reprint shipment notes.

The total weight and volume of items to be shipped is printed on the shipment note. The units are converted to the units of measurement that are specified in the processing options, which requires that all possible and required conversions be set in the general units of measurement table (UDC 00/UM).

If some of these conversions have not been included in the table, the affected item is printed on the shipment note with asterisks in the weight and volume fields, and the item is not added to the shipment note's total.

During shipment note printing, the system prints an error report if it detects that mandatory parameters, such as legal numbering, are missing.

## Understanding Shipment Note Print According to RG 889

General Resolution 889/00 implements changes to the way shipment notes are printed by the responsible registered parties. The letter X that is used to identify the shipment note is replaced by the letter R, and the legal document type 39 changes to 91. The Print Authorization Code (CAI) must also appear on shipment notes.

According to Art. 3, those shipment notes, equivalent documents, or both, that were printed on or before September 30<sup>th</sup>, 2000, and issued by the registered parties on the VAT can be used until the 28<sup>th</sup> of February, 2001, or until none is left, whichever happens sooner. After this time, unused shipment notes must be clearly marked with VOID to discontinue their use.

To set up RG 889, complete these tasks:

1. Add these values to UDC 76/B1:
  - R: Remito
  - X: Shipping Note
2. Add these values to UDC 76A/B8:
  - R: Remito
  - X: Shipment Group
3. Add this value to UDC 76/DT:
  - 91: Remito
4. Relate the desired document type with legal document type 91 and the letter R.
5. Define the numbering for legal document type 91 for the issue place and company.
6. Enter the CAI for legal document type 91 for the desired company and issue place.
7. Assign the letter R for shipment groups to the tax groups.
8. Complete the processing option on the RG 889 tab for the PO – Invoice/Shipment Note Print – ARG – 42 program to specify that the shipment note being generated falls under RG 889 and that the CAI number should be printed.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Set up identically named versions of the Print Invoices program and the PO Invoice/Shipment Note Print program, and set up the processing options for these programs.

- Verify that the processing options for the PO Invoice/Shipment Note Print program are set to print shipment notes.
- Verify that the processing options for the Print Invoices program are set so that status is not updated and accounts receivable numbers are not generated.
- Set up the XJDE0001 version of the Print Invoice/Shipment Note – ARG – 42 program. Do not modify the data selection of this version.
- Set up the ZJDE0001 version of the Generate Invoice/Shipment Note WF – ARG – 42 program. Do not modify the data selection of this version.
- Verify that the sales orders have a status code for shipment note printing.
- Verify the next legal number setup for companies and issue places in the Legal Next Numbers program (P76001A).

---

## (ARG) Working with Prenumbered Documents

This section provides an overview prenumbered documents and discusses how to:

- Set processing options for Invoice Print (P76A715)
- Set processing options for Invoice Void (P76A725)
- Verify legal numbers
- Void printed invoices
- Unlock legal numbering
- Void a shipment note
- Reprint documents

### Understanding Prenumbered Documents

The Sales Order Management system enables companies that are not autoprinters to work with prenumbered invoices and shipment notes.

When prenumbered documents are required, you can:

- Hide data that already exists in the preprinted form.
- Generate voided legal numbers for pages other than the first page.
- Void a printed invoice (new billing) for open orders.
- Void a shipment note.
- Unlock legal numbering.

### Verifying Legal Numbers

You can use the Invoice Print program to verify that the legal number which the system assigns to the invoice and shipment notes matches the preprinted form.

---

**注:** If the printing company is an autoprinter, do not run the process twice at the same time for the same company, issue place, and document type.

---



## Printing on Preprinted Forms with Page Breaks

The system uses the next legal number of an invoice (for the same company, issue place, and document type) when the invoice program detects a page break. This situation ensures that the legal numbers that are assigned by the system and the preprinted forms match.

You can also hide some of the fields, such as company information, invoice letter, and other data that are already included in the preprinted invoice.

The system creates a record in the F76A09 that contains the invoice internal number and type of document for each invoice, as well as a record for each legal number that is void. The Processed (Y/N) field (PRCS) of these records has a value of Y (for reclassified). A legal number is used for shipment notes; no records are created in the table.

The S.O. Detail Ledger File table (F42199) also saves the legal numbers of shipment notes as a backup.

## Voiding Printed Invoices

You can void invoices if they are still open and are not records of voids. You can query the F76A09 table to determine which invoices can be voided.

When you void an invoice, the system makes these table changes for each of the voided records:

- In the F4211 table, the system clears these fields:
  - Document (Voucher, Invoice, and so forth) (DOC).
  - Document Type (DCT).
  - Document Company (KCO).
  - Reference 2 (VR02).
  - Date – Invoice (IVD)
- In table F4211, the value from Status Code – Next field (NXTR) is moved to the Status Code – Last (LTTR), and the Status Code – Next field (NXTR) is populated with the value from the Status Code – Next – Invoice processing option from the Invoice Void program.
- In table F76A09, the invoice has a void status and the amounts are zero. The value in the Document Type field (DCT) is changed to # and the Date – For G/L and Voucher – Julian field (DGJ) is populated with the date on which the invoice was voided. The Processed (Y/N) field (PRCS) is changed to Y.
- The corresponding tax records are cleared from the F76A18 table.

After you void an invoice, you can print the invoice for the sales order again on a preprinted form.

## Unlocking Legal Numbering

You unlock the invoicing process whenever a failure occurs in the system, or when you want to invoice a company or issue place more than once.

## Voiding Shipment Notes

You can use the Shipment Note Void program (P76A725) to void shipment notes that have been previously generated.

After you void a shipment note, you can print the shipment note for the sales order again on a preprinted form and re-issue it.

When you void a shipment note, the system makes these table changes for each of the voided records:

- In the F4211 table, the system clears these fields:
- User Reserved Reference (URRF)
- User Reserved Date (URDT)
- In table F4211, the Status Code – Next field (NXTR) is populated with the value from the Status Code – Next – Shipment processing option from the Shipment Note Void program (P76A725).

## Reprinting Documents

You can reprint invoices, shipment notes, and perception certificates.

The word Reprint appears at the bottom of the reprinted invoices and the shipment notes. The reprinted documents are exact copies of the original documents.

## Forms Used to Work with Prenumbered Documents

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Prenumbered Invoice/Shipment Note Print	W76A715A	Prenumbered Setup (G76A101), Invoice Print	Verify that the legal number on the preprinted form matches the value in the Next Legal Number field.
Work With Invoice Reprint	W76A725A	Prenumbered Setup (G76A101), Invoice Void	Locate the invoice to void and select Reprint from the Form menu.
Work With Prenumbered Invoice/Shipment Note Print	W76A715BA	Prenumbered Setup (G76A101), Unlock Prenumbered Invoice/Shipment	Locate and select the invoice to unlock, and then select Unlock from the Row menu.
Work With Shipment Note Reprint	W76A725D	Prenumbered Setup (G76A101), Shipment Note Void	Locate and select the shipment note record to void, and then select Reprint from the Form menu.
Reprint Invoice Print WF – ARG	W76A0209A	Processes (G76A421), Invoice Reprint	Locate and select the documents to reprint. When you select the document, the text of the selected line changes to the color red.  After selecting all of the documents to reprint, select Reprint from the Form menu.

## Setting Processing Options for Invoice Print (P76A715)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

## Legal Number

These processing options control default information used for transaction entries, the DGI transaction document type, whether you are printing a shipment note, and whether legal numbers can be changed before printing.

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Company</b>                       | Specify the company that you use for transaction entries. The company name must identify a reporting entity that has a complete balance sheet.  |
| <b>2. Issue Place</b>                   | Specify the issue place that you use for the transaction entries.   |
| <b>3. DGI Transaction Document Type</b> | Specify the type of legal document given by DGI for documents.  |
| <b>4. Shipment Note (Y/N)</b>           | Specify whether the shipment note you are printing is a shipment note or other document such as an invoice. Values are:<br><br>Y: This is a shipment note.<br><br>N: This is not a shipment note.   |
| <b>5. Legal Number.</b>                 | Specify whether to allow a legal number change prior to printing the invoice or shipment note. Values are:<br><br>Blank: Do not allow a legal number change.<br><br>1: Allow a legal number change. |

## Invoice Print

This processing option controls the version of the Invoice Print program used by the system.

- |  |   |
|--|---|
| <b>1. Invoice Print Version (R42565)</b> | Specify the version of the Invoice Print program to use. If you leave this processing option blank, the system uses the version of the Invoice Print program that has the same name as the current version of the Prenumbered Invoice/Shipment Note Print – ARG – 42 program. |
|--|---|

## Setting Processing Options for Invoice Void (P76A725)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

For programs, you can specify options such as the default values for specific transactions, whether fields appear on a form, and the version of the program that you want to run.

For reports, processing options enable you to specify the information that appears on reports. For example, you set a processing option to include the fiscal year or the number of aging days on a report.

Do not modify PeopleSoft EnterpriseOne demo versions, which are identified by ZJDE or XJDE prefixes. Copy these versions or create new versions to change any values, including the version number, version title, prompting options, security, and processing options.

## Status

These processing options control the next step in the order process for the invoice and shipment.

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Status Code – Next – Invoice</b>  | Enter a UDC (40/AT) to specify the next step in the order process. You must enter a code (UDC 40/AT) that has been set up in the order activity rules based on the order type and the line type that you are using. |
| <b>2. Status Code – Next – Shipment</b> | Enter a UDC (40/AT) to specify the next step in the order process. You must enter a UDC (40/AT) that has been set up in the order activity rules based on the order type and the line type that you are using.      |

## Verifying Legal Numbers

Access the Prenumbered Invoice/Shipment Note Print form.

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <b>Next Legal Number</b> | Displays the number that the system will assign next. The system can use next numbers for voucher numbers, invoice numbers, journal entry numbers, employee numbers, address numbers, contract numbers, and sequential W-2s. You must use the next number types already established unless you provide custom programming. |
|--------------------------|--|

## Voiding Printed Invoices

Access the Work With Invoice Reprint form.

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>Invoice Date – From</b> | Displays the date that either you or the system assigns to an invoice or voucher. This can be either the date of the supplier's invoice to you or the date of the invoice to the customer.   |
| <b>Invoice Date – To</b>   | Displays the date that either you or the system assigns to an invoice or voucher. This can be either the date of the supplier's invoice to you or the date of the invoice to the customer.   |
| <b>Legal Number – From</b> | Displays the legal document type given by DGI for documents.   |
| <b>To</b>                  | Displays the number that the system will assign next. The system can use next numbers for voucher numbers, invoice numbers, journal entry numbers, employee numbers, address numbers, contract numbers, and sequential W-2s. You must use the next number types already established unless you provide custom programming. |

## Unlocking Legal Numbering

Access the Work With Prenumbered Invoice/Shipment Note Print form.

- |                    |  |
|--------------------|--|
| <b>Issue Place</b> | Enter the place where the invoice or the shipment note is printed. |
|--------------------|--|

## Voiding a Shipment Note

Access the Work With Shipment Note Reprint form.

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <b>Shipment Note Number – From</b> | Displays the legal document type given by DGI for documents. |
|------------------------------------|--|

## Reprinting Documents

Access the Reprint Invoice Print WF – ARG form.

---

## (PER) Selecting Voucher Print UBEs

This section provides an overview of voucher print and discusses how to select a version of the Voucher Print program.

### Understanding Voucher Print

You can create a version of the Voucher Print program (R76H3B30) by legal voucher and user. The system stores all records in the Legal Documents Print UBE & Versions table (F76H3B39). When you print from the Lot Review Inquiry program, the system uses the version that you create for the Voucher Print Program.

### Forms Used to Select Voucher Print UBEs

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work with Legal Documents UBE & Versions	W76H3B39A	Sales Order Processing (G76H42), Legal Document Print UBE/Version	Add a voucher print version.
Legal Documents UBE & Versions	W76H3B39C	Click Add on the Work with Legal Documents UBE & Versions.	Add a version of Voucher Print.

### Selecting a Voucher Print Version

Access the Work with Legal Documents UBE & Versions form.

---

## (CHL) Selecting Voucher Print UBEs

This section provides an overview of voucher print and discusses how to select a version of the Voucher Print program.

### Understanding Voucher Print

You can create a version of the Voucher Print program by legal voucher and by user. The system stores all records in the F76H3B39 table. When you print from the Lot Review Inquiry program, the system uses the version that you create for the Voucher Print Program.

## Forms Used to Select Voucher Print UBEs

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work with Legal Documents UBE & Versions	W76H3B39A	Sales Order Processing (G76H42), Legal Document Print UBE/Version	Add a voucher print version.
Legal Documents UBE & Versions	W76H3B39C	Click Addon Work with Legal Documents UBE & Versions.	Add a version of Voucher Print.

## Selecting Voucher Print Version

Access the Work with Legal Documents UBE & Versions form.

## 第 15 章

# 価格の更新

この章では、以下の作業手順について説明します。

- 基本価格の更新
- 顧客価格の更新
- 価格レベルの変換
- 他通貨での新規基本先価格の生成

---

## 基本価格の更新

このセクションでは、基本価格の更新の概要と以下の方法について説明します。

- 基本/価格の保守管理 (バッチ) プログラム (R41830) の実行
- 基本/価格の保守管理 (バッチ) の処理オプションの設定

### 基本価格の更新について

基本価格の定義後に、価格の変更や、将来の日付で有効となる価格の作成など、必要に応じて更新を行います。基本価格を個別に更新するには、基本価格の改訂プログラム (P4106) を使用します。また一度に複数価格を更新するには、基本/価格の保守管理 (バッチ) プログラムを実行します。複数価格をバッチ モードで更新すると、品目販売価格レベルの換算 (R41816) の処理オプションの設定により、既存価格が新規価格で一時変更されるか、または既存価格が計算により調整されます。

最新の価格や価格調整を基準として受注オーダーが再計算されるように、顧客に対する価格を更新します。これは、価格変動の激しい品目などに使用します。この処理を使用して、受注オーダーの品目の単位原価および合計原価を最新の原価に更新することもできます。

バッチ プログラムで選択された有効価格に基づいて新しい価格が作成されます。基本/価格の保守管理 (バッチ) のバージョンをテスト モードで実行すると、最終モードで実行する際に選択レコードに対して行われる更新を表示したレポートが作成されます。

このプログラムのバージョンを設定する際に、特定のフィールドを指定して選択されるようにします。たとえば、バージョンを作成して、そのバージョン用に顧客、顧客グループ、品目、品目グループなどを選択することができます。更新する必要のない特定の価格タイプなどは除外することもできます。

システムが作成した新しい価格やその有効日付、新しい価格の基準となった旧価格等が、全てレポートに表示されます。このプログラムは、テスト モードで必要な回数だけ実行することができます。

## 既存価格の変更

複数の価格を変更するには、基本/価格の保守管理（バッチ）プログラムの基本価格改訂バージョンを実行します。処理オプションの設定によって、既存の価格が新規価格に一時変更されるかまたは既存の価格に対する調整が計算されます。調整には、加算や減額、パーセント計算などの方法があります。

基本価格改訂バージョンをテスト モードで実行すると、最終モードで実行する際に選択レコードに対して行われる更新を表示したレポートが作成されます。このプログラムの更新処理オプションで品目基本価格テーブル（F4106）に更新が実行されるように設定してください。

## 先日付価格の作成

先日付で使用する複数の基本価格を作成するには、基本/価格の保守管理（バッチ）プログラムの先日付価格の追加バージョンを実行します。このバージョンでは、プログラムの価格追加処理オプションの有効日付に基づいた新しい価格レコードが、F4106 テーブルに書き込まれます。開始日付および終了日付を入力してください。入力しない場合、処理は行われません。

先日付価格の追加バージョンをテスト モードで実行すると、最終モードで実行する際に選択レコードに対して行われる更新を表示したレポートが作成されます。

先日付価格は、一番早い有効期限の既存価格に基づいて作成されます。処理オプションの設定によって、既存の価格が新規価格に一時変更されるかまたは既存の価格に対する調整が計算されます。調整には、加算や減額、パーセント計算などの方法があります。調整タイプと係数をブランクにすると、先日付価格は現行の価格からそのままコピーされ、新たな調整は適用されません。

## 関連項目:

第 15 章、「価格の更新」、「異なる通貨を使用した基本価格の新規作成」、622ページ

## 基本/価格の保守管理（バッチ）プログラムの実行

[価格管理] (G4222) の [基本/価格の保守管理（バッチ）] (R41830) を選択します。

## 基本/価格の保守管理（バッチ）(R41830) の処理オプションの設定

この処理オプションで、F4106 を更新するかどうかの制御、価格調整の指定、新規レコードを作成するか、既存レコードを更新するかの指定を行います。

### 更新

品目基本価格テーブル（F4106）を更新するかどうかを設定します。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>1. 基本価格テーブルの更新</b> | F4106 テーブルを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク: ファイルを更新しません。<br>1: ファイルを更新します。 |
|-----------------------|---|

### 調整

価格調整のタイプと係数を指定します。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| <b>1. 価格調整タイプ</b> | F4106 テーブルに行う調整のタイプを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>A: 価格を金額で調整します。 |
|-------------------|--|



%: 価格をパーセントで調整します。

\*: 価格を一時変更価格に調整します。

## 2. 金額

価格の計算に使用する金額またはパーセント係数を指定します。この処理オプションは、価格調整タイプと組み合わせて使用します。たとえば、調整タイプ A を入力した場合、10 単位で価格を増やすには 10 を、減らすには -10 を入力します。調整タイプ % を入力した場合、10 パーセント単位で価格を増やすには 10 を、減らすには -10 を入力します。

## 日付

基本価格を更新するか、新規レコードを作成するかを制御します。

有効開始日付 と有効終了日付

価格更新に使用される日付を指定します。有効開始日付と有効終了日付が入力されると、新しい基本価格レコードが作成されます。これらの処理オプションが両方ともblankの場合、既存の基本価格レコードが更新されます。

# 顧客価格の更新

このセクションでは、顧客価格の更新の概要と以下の方法について説明します。

- 受注オーダー価格/原価のバッチ更新の実行
- 受注オーダー価格/原価のバッチ更新の処理オプションの設定

## 顧客価格の更新について

最新の価格や価格調整を基準として受注オーダーが再計算されるように、顧客に対する価格を更新します。これは、価格変動の激しい品目などに使用します。この処理を使用して、受注オーダーの品目の単位原価および合計原価を最新の原価に更新することもできます。多通貨処理を有効にしている場合は単位原価（外貨）および合計原価（外貨）フィールドも更新されます。

受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラムでは、以下の処理を行います。

タスク	説明
受注オーダー原価の更新	手配済み未出荷オーダーの単位原価および合計原価は、品目原価テーブル (F4105) の現行の原価に置き換えられます。
受注オーダー価格の更新	最新の基本価格および価格調整を使用して、受注明細ファイルテーブル (F4211) の単価および合計価格が再計算されます。この再計算には、処理オプションで入力した日付が使用されます。
受注オーダー為替レートの置換	このプログラムを使用して、オーダーの原価と価格を計算する際に使用される為替レートを更新することができます。オーダー入力時に有効だった為替レートは、既存の為替レートに置き換えられます。

受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラムの処理オプションを設定して、原価または価格の再計算が必要であるかどうかの決定に使用する受注オーダーの日付を指定できます。たとえば、約束日付を再計算の基準とすることができます。約束日付が本日以前になっているオーダー行のみが更新されます。受注オーダーの価格は複数回更新することができます。

受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラムを実行すると、受注残となっているオーダーの明細情報が更新されます。明細行の現行価格を新規価格で一時変更するか、あるいは現行価格と新規価格の差異に対して非在庫行を追加することができます。行を追加するには、処理オプションに非在庫行タイプを指定してください。行タイプを指定しない場合、当初価格が新規価格に一時変更されます。顧客または品目用に定義された特別の価格割引は考慮されません。

基本価格および上級価格調整再計算の基準となる日付または優先情報を指定することができます。

再計算が優先情報を基準として行われるように指定すると、次の優先情報に基づいて調整が計算されます。

- オーダー準備日数
- 納期

受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラムを実行した後、各受注オーダーの当初単価および合計価格に対する変更が表示された受注オーダー価格/原価のバッチ更新レポートを検討することができます。

注: 売上更新プログラムまたは請求書印刷プログラムの処理オプションの設定によって、総勘定元帳 (GL) レコードを作成する前に受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラムを実行できます。選択された受注オーダーは、総勘定元帳レコードの作成前に現行の原価 (オーダーが出荷されていない場合)、為替レート、価格で全て更新されます。

## 受注オーダー価格/原価のバッチ更新の実行

[価格管理] (G4222) の [販売価格/原価のバッチ更新] を選択します。

## 受注オーダー価格/原価のバッチ更新 (R42950) の処理オプションの設定

次の処理オプションを使用して、システムの処理や更新を制御し、バージョンを指定します。

### 処理

受注オーダーの原価、為替レート、会社間為替レートを更新するかどうかを指定します。

- 1. 原価**

受注オーダーで原価を更新するかどうかを指定します。原価変更は、当初の受注オーダー入力行で必ず更新されます。原価は、在庫が在庫からリリースされていない場合のみ更新されます。有効値は以下のとおりです。

空白: 原価を更新しません。

1: 原価を更新します。
- 2. 為替レート**

為替レートを更新するかどうかを指定します。為替レートが更新されると、国内価格と外貨原価のみ再計算されます。有効値は以下のとおりです。

空白: 為替レートを更新しません。

1: 為替レートを更新します。
- 3. 会社間為替レート**

会社間為替レートを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: 会社間為替レートを更新しません。

1: 会社間為替レートを更新します。

---

注: 外貨金額は再計算されません。

---

## 価格処理

次の処理オプションは、受注オーダーの価格を更新するかどうか、価格の更新に使用する有効日付を定義するかどうか、および受注オーダー価格有効日付を保持するかどうかを指定します。

### 1. 価格

受注オーダーで価格を更新するかどうかを指定します。価格変更は当初の受注オーダー行で更新できます。または、[表示/計算] タブの価格変更の新規行への反映処理オプションを自動入力して別の行として表示できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 価格を更新しません。

1: 価格を更新します。

### 2. 価格有効日付

価格の更新で使用する受注オーダーの開始日付を入力します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: トランザクション日付

1: 要求出荷日付

2: 約束出荷日付

3: 当初約束納入日付

4: 実際出荷日付

5: システム日付

6: 請求書日付

\*: システム固定情報

### 3. 受注オーダーの価格有効日付を保持する

受注オーダーの一時変更価格有効日付、または価格有効日付を優先情報から保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 価格有効日付の処理オプションを使用して、価格有効日付を決定します。

1: 日付がユーザーによって手作業で一時変更された場合、または価格有効日付が日付優先情報に基づいて販売価格から判断された場合、受注オーダーの価格有効日付を保持します。

## 表示/計算

次の処理オプションでは、当初受注オーダーについて、価格変更に対して新しい行と状況を作成するかどうか、数量または分割数量に基づいて価格を更新するかどうか、および無償品を処理するかどうかを指定します。

### 1. 価格変更の新規行への反映

価格変更の生じた受注オーダー行の合計価格差異を記述する新規行を作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 変更は当初受注オーダー行で更新します。

行タイプ: 変更は、指定した行タイプを使用して新規受注オーダー行で更新します。

- 2. 新規行の「次の状況」一時変更**      新規オーダー明細行の次の状況を指定します。ブランクの場合、当初明細行の次の状況が使用されます。
- 3. 当初数量に基づいて価格を更新する**      価格を当初の行数量、または現在の行数量のどちらに基づいて更新するか指定します。受注オーダー明細行を分割する場合、分割行の価格は分割前の当初詳細行の数量に基づいて更新できます。たとえば、数量が 10 の受注オーダー行を入力するとします。顧客の要望に従って、2 個を保管場所 A に、残りの 8 個を保管場所 B に出荷します。当初行は 2 つの受注オーダー行に分割されます。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 現在の数量に基づいて価格を更新します。
- 1: 当初数量に基づいて価格を更新します。
- 4. 無償品レコードの保存**      既存の無償品プロモーションを保存するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 既存の無商品プロモーションを取り消し、新しい無償品を加えます。
- 1: オーダーに無償品を保存し、それ以外の価格を再設定します。

## バージョン

受注オーダー入力プログラムを呼び出すときに使用するバージョンを制御します。

- 1. 受注オーダー入力 (P4210)**      受注オーダー価格と原価の更新に使用する受注オーダー入力プログラムのバージョンを選択します。

---

## 価格レベルの変換

このセクションでは、価格レベルの変換の概要と以下の方法について説明します。

- 品目販売価格レベルの換算プログラムの実行
- 品目販売価格レベルの換算の処理オプションの設定

### 価格レベルの換算について

品目販売価格レベルの換算プログラムを使用して、品目マスター テーブル (F4101) に既に入力済みの品目または品目グループの販売価格レベルを変更します。

このプログラムは、テスト モードと最終モードのどちらでも実行できます。エラーを確認するために最初にはテスト モードで常に行うことをお勧めします。このプログラムでは、販売価格レベルの変換中に発生した問題を表示したレポートが生成されます。最終モードで実行する前にエラーを修正できます。

品目販売価格レベルの換算プログラムでは、前のレベルの価格レコードが全て削除され新しいレベルの価格レコードが新規作成されます。たとえば、品目/事業所レベルから品目レベルへの変換を行うと、各品目/事業所に対する価格レコードが全て削除され、品目に対する新しい価格レコードが作成されます。

このプログラムが最終モードで実行中の場合は、品目マスターおよび品目基本価格テーブルにアクセスしないでください。

このプログラムは F4101 ファイルを基準としているため、特定の事業所に基づく検索は実行できません。

## 品目販売価格レベルの換算プログラムの実行

[上級および技術的操作] (G4231) の [販売価格レベルの換算] を選択します。

## 品目販売価格レベルの換算 (R41816) の処理オプションの設定

データを処理する方法を制御します。

### 処理

テスト モードと最終モードのどちらで実行するか、変更する価格レベルを定義するか、例外レポートを印刷するか、期限切れレコードを削除するかを制御します。

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| <b>1. 価格レベル</b>              | 品目または品目グループの販売価格レベルを変更する新しい価格レベルを指定します。  |
| <b>2. デフォルトとして使用する価格の事業所</b> | <p>デフォルトの価格を取得する事業所を指定します。</p> <p>価格レベルの処理オプションが 1 の場合、デフォルト価格を取得する事業所を入力します。価格レベルの処理オプションが 3 の場合、基本保管場所に基づいてデフォルト価格を取得する事業所を入力します。</p> <hr/> <p>警告: レベル 2 または 3 からレベル 1 に移行する場合、品目が 1 つまたは複数の事業所に存在し、このフィールドでいずれの事業所も指定されていない場合は、“事業所が処理オプションに一致しません” というメッセージが出力ファイルに表示されます。プログラムが最終モードで実行されている場合、F4106 の全てのレコードは削除されます。プログラムは、既存の基本価格レコードを削除し、この処理オプションで指定されている転送元事業所を基にしてそれらを新しいレコードに置き換えて機能します。品目が転送元事業所がない場合、その品目に F4106 レコードは作成されません。</p> <hr/> |
| <b>3. 処理するモード (テストまたは最終)</b> | <p>テスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。最終モードではファイルが更新されます。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: テスト モード</p> <p>1: 最終モード</p> <hr/> <p>注: このプログラムは、最終モードで実行する前にテスト モードで実行することをお勧めします。</p> <hr/>   |
| <b>4. 例外の印刷</b>              | <p>レポートに全てのレコードを出力するか、例外のみを出力するかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 全品目を印刷する。</p> <p>1: 例外のみを印刷する。</p>   |
| <b>5. 期限切れレコードの削除</b>        | <p>期限切れレコードを削除するか、履歴目的で保存するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 期限切れレコードを削除しない。</p> <p>1: 期限切れレコードを削除する。</p>  |

## 異なる通貨を使用した基本価格の新規作成

このセクションでは、異なる通貨による基本価格の新規作成の概要と以下の方法について説明します。

- 新しい基本価格/通貨の生成
- 基本価格/通貨の生成 (R410601) の処理オプションの設定

### 異なる通貨を使用した新しい基本価格について

基本価格/通貨の生成プログラムを実行すると、複数のレコードに対して異なる通貨での新しい基本価格を一度に作成できます。このプログラムは、既存のレコードに基づいて新しい基本価格を生成します。

基本価格/通貨の生成プログラムは、異なる通貨で複数の基本価格レコードを作成する必要がある場合に非常に役に立ちます。たとえばこのプログラムは、基本価格レコードにない通貨を使用する顧客と取引する場合などに使用します。1 件のレコードについて新しい価格を作成する場合は、[基本価格の改訂] フォームで既存のレコードを更新します。この場合はこのプログラムを実行する必要はありません。

基本価格/通貨の生成プログラムを実行する際は、次の処理オプションを使用して新しい基本価格を作成する通貨と為替レートを制御します。

基本価格/通貨の生成プログラムは、当初の基本価格レコードのコピー、新しい金額の計算、および新しい通貨の金額による価格レコードの作成を行います。このプログラムでは、次の処理が実行されます。

- 計量単位ごとに新しい基本価格レコードを 1 件だけ作成する。  
すでにレコードが存在する場合は、通貨の価格レコードは作成されません。ただし、品目に関連付けられた通貨コードに異なる失効日付がある場合は除きます。日付に応じて、プログラムにより新しい価格レコードが複数作成されることがあります。
- 次のように、基本価格/通貨の生成プログラムをまずテスト モードで実行した後で、最終モードで実行してください。

#### - テスト モード

監査レポートを検討して、生成されたレコードが正しいか確認してください。監査レポートが不正確な場合、処理オプションとデータ選択の値を変更した上でプログラムを再実行してください。

#### - 最終モード

テスト モードで作成した監査レポートが正しいければ、プログラムを最終モードで実行してください。監査レポートで新しい基本価格レコードを検討します。[基本価格の改訂] フォームで新しいレコードの検討もできます。金額は、単価 (UPRC) のデータ辞書に設定されている小数点以下の桁数に従って丸められます。

必要に応じて [基本価格の改訂] フォームで、新しい基本価格レコードを手入力により調整してください。たとえば、50,000 円に対して作成された新しい基本価格が 675.1155 カナダドルであれば、675 カナダドルに手入力で変更できます。

### 例: 新しい基本価格の生成

この例では、異なる通貨で新規の基本価格を生成する前後の、基本価格レコードを持つ品目を取り上げます。

新規の基本価格を生成する前、既存の品目には次の基本価格レコードがあります。

単価	計量単位	通貨コード
1,000.00	EA	USD
1,563.00	EA	CAD
642.26	EA	GBP

基本価格/通貨の生成プログラムの処理オプションを次のように設定します。

- 実行モード
  - モード = 1 (最終)
  - 日付 = 30.06.05
- 通貨
  - 換算先 = ユーロ
  - 換算元 = アメリカドル
  - 為替レート = 1.02011
  - 方式 = 1 (乗数)

品目に複数の通貨金額が関連付けられていても、アメリカドル価格に基づいて新しいユーロ金額が 1 つだけ生成されます。

基本価格/通貨の生成プログラムで、1,000.00 アメリカドルのレコードを基に 1020.11 ユーロの新しい価格レコードが生成されました。元のレコード、1,000.00 アメリカドルは、顧客への請求に必要なときのためにそのまま残ります。基本の品目には、次のような新しい価格レコードができます。

単価	計量単位	通貨コード
1,020.11	EA	EUR
1,000.00	EA	USD
1,563.00	EA	CAD
642.26	EA	GBP

1020.11 ユーロの新しい価格レコードが生成された後は、既存の価格レコードの有効期限が処理オプションに入力した日付以降にならない限り、その品目に対し別の価格レコードは生成されません。

### 基本価格/通貨の生成用データ選択

通常、新しい基本価格は特定の事業所の顧客全てに対して作成します。別通貨を使用する事業所が複数ある場合、基本価格/通貨の生成プログラムを繰り返して実行できます。事業所を持たない基本価格レコードには、データ選択で事業所にブランクを指定してください。

## 新しい基本価格/通貨の生成

[価格管理] (G4222) の [基本価格/通貨の生成] を選択します。

## 通貨別基本価格の生成 (R410601) の処理オプションの設定

この処理オプションを使用して、プログラム実行時の処理モードを制御し、通貨データを指定します。

### 実行モード

プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定し、新規価格レコード生成時に使用する日付を決定します。

**処理するモード (テストまたは最終)**      テスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。いずれのモードでも監査レポートが生成されます。最終モードではファイルが更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モード

1: 最終モード

### 価格レコード日付

生成する価格レコードの判断に使用する日付を入力します。価格の失効日がこの日付以降の場合、新しい価格レコードが作成されます。ブランクにすると、システム日付が使用されます。

### 通貨

通貨コード、換算レート、換算方法を指定します。

**換算先通貨コード**      換算先の通貨コードを入力します。

**換算元通貨コード**      換算元の通貨コードを入力します。

**換算レート**      通貨換算レートを入力します。

**現行換算レート**      現行価格を換算レートに掛けるのか、換算レートで割るのかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 現行価格を換算レートで割ります。

1: 現行価格に換算レートを掛けます。



## 第 16 章

# 日次締め処理の実行

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、日時処理の概要と以下の方法について説明します。

- 顧客売上の更新
  - (Rapid Start AUS and NZL) Update customer sales
  - (Rapid Start CAN and USA) Update transfer order sales
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Update customer sales
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Update item, inventory, and transfer order sales
  - (Rapid Start) Update direct ship item sales
- 顧客売上更新レポートの検討
  - (ARG) Review the sales journal for Argentina
- オーダーの再転記
- 仕訳バッチの検討と承認
- 仕訳バッチの転記
  - (Rapid Start AUS and NZL) Post invoices
  - (Rapid Start CAN and USA) Post sales transactions for transfer order with receipt routing
  - (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Post sales transactions for selling a direct ship item
  - (Rapid Start) Post journal entries for customer credit
  - (Rapid Start) Post invoices for selling from inventory
  - (Rapid Start) Post sales transactions for selling a make-to-order item
- データの除去
  - (ARG) Purge sales orders for Argentina

---

## 日次締め処理について

日次締め処理は受注オーダー処理の最終ステップであり、この処理には日次売上情報の更新、確認、転記が含まれます。受注管理システムおよび、それとインターフェイスがある売掛管理システムや在庫管理システムのレコードが更新されるため、この日次締め処理は受注オーダー処理サイクルの中で最も重要なステップと言えます。

正確な売上情報を管理するために、日次締め処理は毎日行ってください。プログラムの実行後、売上情報の検討と転記を行い、レポートを印刷することができます。

日次締め処理実行時にシステムが提供する情報は以下のとおりです。

- 売掛金取引
- 在庫、売上原価 (COGS)、収益、売掛金の仕訳
- 手持数量の在庫残高
- 日次活動レポート
- 中間売上レポート

日次ベースで売上レコードの更新を行わない場合、以下の情報が不正確になることがあります。

- 手持数量の在庫残高
- 売上、在庫、売上原価、税、および運賃の勘定に転記された金額
- 売掛金明細に転記された金額
- 中間売上レポート

---

## 顧客売上の更新

このセクションでは、顧客売上の更新 (R42800) プログラム、事業所間や会社間の取引、および自動仕訳 (AAI) の概要、および以下の方法について説明します。

- 顧客売上の更新プログラムの実行
- 顧客売上の更新プログラムの処理オプションの設定
- (PER) Sales Close – Invoice Legal Number in Current Account
- (CHL) Sales Close – Invoice Legal Number in Current Account

### 顧客売上更新プログラムについて

売上情報をより正確に管理するために、受注管理システムで売上レコードを毎日更新できます。正確な売上情報を維持するために、顧客売上の更新プログラムバージョンを毎日実行してください。受注管理システム、およびそれとインターフェイスを持つ売掛管理システムや在庫管理システムなどのレコードが更新されます。このプログラムの実行後に、売上取引の検討、転記、およびレポートの印刷ができます。

**注:** 顧客売上の更新プログラムでは多数の取引件数を処理するため、はじめにテスト モードでプログラムを実行してエラーを修正してから、最終モードで実行してください。

売上の更新中に、警告メッセージとエラー メッセージを出力します。エラー メッセージのみを出力する処理オプションを設定すると、システム パフォーマンスを向上させることができます。

---

**重要:** 誰もシステムを使用していない時間に売上更新を実行することを強くお勧めします。レコードはロックされません。このため、売上更新中に受注オーダー レコードにアクセスすると、レコードが正しく処理されない可能性があります。

---

### テーブルの更新

顧客売上の更新プログラムを実行すると、以下の処理が行われます。

- 顧客売上情報
- 売掛金および総勘定元帳の仕訳
- 在庫売上、運賃、売上原価、利益パーセントなど、異なるカテゴリに対する売上
- プログラムの実行で発生したエラー

処理オプションの設定に応じて、次のものの更新、または作成が行われます。

- オーダー状況規則による全ての状況コード  
たとえば、状況 600 を持つオーダー明細行は全て、終了状況 999 に更新されます。
- 品目保管場所ファイル テーブル (F41021)、品目元帳ファイル テーブル (F4111)、および 品目履歴ファイル テーブル (F4115) の手持在庫 (出荷確認中に数量が更新されなかった場合)

---

注: F41021 テーブルへの出力は、品目の手持数量を出荷確認時に差し引いたかどうかによって異なります。

---

- F41021 テーブルのバルク製品の手持在庫。さらに、レコードがバルク製品トランザクション ファイル テーブル (F41511) に書き込まれます。
- 販売コミッション ファイル テーブル (F42005) のコミッション情報、および販売集計履歴 (F4229) の売上原価および品目別売上の集計
- 受注オーダー明細ファイル テーブル (F4211) の状況。999 または指定の状況に更新されます。
- 品目原価ファイル テーブル (F4105) の原価の現行情報、価格調整元帳ファイル テーブル (F4074) の価格

---

注: F4105 テーブルは、在庫を出荷確認時に差し引いていない場合にのみ更新されます。

---

- 初回および最終の請求書日付や請求書の年累計などの請求書情報
- 取引明細テーブル (F0911)、売掛金元帳テーブル (F03B11)、受注オーダー元帳ファイル テーブル (F42199)
- 事業所間売上情報
- シップ アンド デビット履歴テーブル (F4575) のシップ アンド デビット情報、およびシップ アンド デビット保証請求テーブル (F4576)

処理オプションの設定に応じて、以下のものが除去されます。

- メディア オブジェクト保存テーブル (F00165) に入力した見出しと明細のテキスト
- F4201 テーブルのレコードが F42019 テーブルに移動されます。
- F4211 テーブルのレコードが F42199 テーブルに移動されます。

請求書の印刷プログラム (P42565) で未処理の請求書が作成され、受注オーダーに請求書番号が割り当てられます。

### 顧客売上の更新に使用するバージョンおよびモードの選択

テーブルを更新するには、顧客売上の更新プログラムの適切なバージョンを選択する必要があります。会社の処理に基づいて、バージョンを選択します。

- 売上更新

このバージョンは、受注オーダーが請求書の印刷プログラムで処理済みであり、F4211 テーブルに請求書番号とタイプが記録されている場合に使用することができます。

- 請求書番号の割り当て

受注オーダーが請求書の印刷プログラムで処理されていない場合は、このバージョンを使用する必要があります。このプログラムでは請求書（売掛用）番号が割り当てられます。

顧客売上の更新プログラムでは多数の取引件数を処理するため、はじめにテストモードでプログラムを実行してエラーを修正してから、最終モードで実行してください。以下のいずれかの処理モードを選択します。

処理モード	説明
テストモード	<p>テストモードで顧客売上の更新を行うと、次の処理が実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕訳を確認し、エラーを修正する。</li> <li>請求書仕訳、エラーのオンラインレビュー、および売上仕訳（処理オプションの設定による）のテストコピーを確認する。</li> </ul> <p>このモードでは状況コードとテーブルは更新されません。売上更新と請求書番号の割り当てのいずれのバージョンでも、最終モードを実行する前にテストモードを実行して、エラーの検出と修正ができます。</p> <p>プログラムをテストモードで実行した後にエラーの検討と修正を行ってから、最終モードで売上の更新を実行できます。</p>
最終モード	<p>顧客売上の更新を最終モードで実行するときに、請求書仕訳、オンラインでのエラー、売上仕訳（処理オプションの設定による）を検討できます。</p> <p>状況コードとテーブルの更新、および編集（総勘定元帳、売掛金および買掛金用の本稼働サーバーに対する重複レコードのチェックなど）が行われます。</p>

## トランザクション処理

売掛更新プログラムのトランザクション処理を使用して、データの整合性の問題を防ぎます。

参照: 第 12 章、「受注オーダーの処理」、427ページ

## 事業所間売上情報

売上更新の処理中に顧客売上の更新プログラムを実行して、事業所間売上の仕訳を作成できます。

### 例:売掛/買掛の仕訳

顧客売上の更新プログラムの事業所間処理オプションを設定して、販売事業所と供給事業所の両方について売掛金仕訳および買掛金仕訳を作成すると、以下のタイプのバッチが作成されます。

- バッチ タイプ I: 供給事業所と販売事業所で、借方が売上原価勘定、借方が売掛金勘定と在庫勘定の仕訳が作成されます。
- バッチ タイプ V: 販売事業所で、貸方が買掛金勘定、借方が在庫勘定の仕訳が作成されます。

### 例:売掛の仕訳

該当する処理オプションで売掛金仕訳のみを作成するように設定している場合は、以下のタイプのバッチが作成されます。

- バッチ タイプ I: 販売事業所で、貸方が収益勘定と在庫勘定、借方が売上原価勘定の仕訳が作成されます。
- バッチ タイプ ST: 供給事業所で、借方が収益勘定と在庫勘定、借方が売上原価の仕訳が作成されます。販売事業所で、借方が在庫勘定の仕訳が作成されます。

売掛金明細 (F0311)、および売掛金元帳 (F03B11) のレコードを作成しないように処理オプションを設定することができます。

## 手持在庫

出荷確認または売上の更新の際に、品目の手持数量を差し引くことができます。選択する方法によって、F4111 テーブルに書き込まれる履歴レコードが異なります。手持ち数量を在庫から差し引く時点により、レコードは以下のようになります。

- 出荷確認時の場合は、受注オーダー番号が伝票番号、オーダー タイプが伝票タイプのレコードが F4111 テーブルに作成されます。

売上更新時の場合は、請求書の番号とタイプ、総勘定元帳日付、およびバッチ番号を持つレコードが上書きされます。

- 売上更新時の場合は、F4111 テーブルに請求書の番号とタイプ、および総勘定元帳日付が書き込まれます。

出荷確認時にはレコードの書き込みは行われません。

品目の手持数量を出荷確認中に差し引くには、ユーザー定義コード (UDC) テーブル (40/1U) にオーダータイプを追加する必要があります。売上更新時の場合は、請求書の番号とタイプ、総勘定元帳日付、およびバッチ番号を持つ F4111 テーブルのレコードが上書きされます。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 在庫管理 8.11 SP1 PeopleBook、「品目および数量情報の検討」、「手持ち数量情報の検索」

## バルク在庫情報

積荷確認の処理中に、F41021 テーブルのバルク品目の手持在庫数量が更新されます。

輸送積荷確認プログラム (P49640) で明細行を処理しない場合、顧客売上の更新プログラムまたは出荷確認 (P4205) プログラムによってバルク在庫が更新され、F41511 テーブルにレコードが書き込まれます。積荷確認で受注オーダー明細行を処理する場合、売上更新のときには在庫数量の更新は行われません。

請求された数量に基づいて数量を更新することができます。これは常温と標準温度のいずれでも可能です。ただし品目元帳は標準温度数量で更新されます。常温の数量で更新を行うと、予想外のエラーが発生することがあります。

## 顧客売上の更新プログラムの対話型バージョン

顧客売上の更新プログラムの処理オプションを設定するときには、売掛管理システムおよび一般会計システムの処理のバージョンのみを指定できます。元帳タイプや多通貨オーダー用の税処理など、売掛管理や一般会計管理に影響する処理オプションを確認するには、売掛管理や一般会計管理の対話型バッチ バージョンを照会する必要があります。

[システム アドミニストレーション ツール] (GH9011) の [対話型バージョン] を選択し、以下の対話型アプリケーションを照会します。

- 請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011)

バージョンは ZJDE0002 を使用します。

[通貨] タブで、税 (VAT) 処理を許可するように設定する必要があります。1 を入力して、通貨での税処理を許可します。

- 仕訳入力 MBF の処理オプション (P0900049)

## 売上更新エラーに関する電子メールの検討

顧客売上の更新プログラムをテスト モードで実行した後、最終更新を実行する前にエラーを確認して修正することができます。エラーがある場合、およびジョブの正常完了時に、電子メールでメッセージが従業員ワーク センターに送信されます。顧客売上の更新プログラムの実行後、電子メールでジョブの状況を確認する必要があります。ジョブが正常に完了していない場合は、エラー メッセージを検討します。通常は、ジョブにエラーがあることを伝えるメッセージが送信され、次にエラーの内容を説明するメッセージが 1 通以上送信されます。

---

注: 売上更新中に、エラー メッセージと共に検討用の警告メッセージも書き出されます。エラー メッセージのみを書き出すように処理オプションを設定すると、システム パフォーマンスを向上させることができます。

---

## 事業所間および会社間の取引について

会社間請求書を作成する場合、受注オーダー入力プログラム (P4210)、請求書の印刷プログラム、および顧客売上の更新プログラムで、同一の会社間伝票タイプを指定する必要があります。

売上の更新では、以下のものを作成できます。

- 販売事業所の売掛金および買掛金の仕訳と、供給事業所の売掛金の仕訳
- 販売事業所のみの売掛金仕訳

売上更新の処理中に顧客売上の更新プログラムを実行して、事業所間売上の仕訳を作成できます。

### 例:売掛/買掛の仕訳

顧客売上の更新プログラムの事業所間処理オプションを設定して、販売事業所と供給事業所の両方について売掛金仕訳および買掛金仕訳を作成すると、以下のタイプのバッチが作成されます。

- バッチ タイプ IB

供給事業所および販売事業所で、借方が売上原価勘定、貸方が売掛金勘定と在庫勘定の仕訳を作成します。

- バッチ タイプ V

販売事業所で、貸方が買掛金勘定、借方が在庫勘定の仕訳を作成します。

### 例:売掛の仕訳

該当する処理オプションで売掛金仕訳のみを作成するように設定している場合は、以下のタイプのバッチが作成されます。

- バッチ タイプ IB

販売事業所で、貸方が収益勘定と在庫勘定、借方が売上原価勘定の仕訳が作成されます。

- バッチ タイプ ST

販売事業所の貸方が収益勘定と在庫勘定、供給事業所の借方が売上原価勘定の仕訳が作成されます。

## 顧客売上の更新に使用する AAI について

AAI は、会社、日次業務、勘定科目表、および財務レポート間のリンクです。AAI は、仕訳を自動作成する勘定科目を決定する際に使用されます。たとえば、受注管理システムでは、在庫品目を顧客に販売するときにその取引の記録方法が AAI により指定されます。

AAI	説明
売上原価 (4220)	売上原価勘定の金額と勘定科目コードを指定します。
収益 (4230)	売上収益勘定の在庫の実績売上金額を指定します。
在庫 (4240)	在庫勘定の貸方の勘定科目コードを指定します。
売掛金 (4245)	売掛金勘定の借方に売上金額を指定します。売掛金更新オプションをオフにしている場合のみ、総勘定元帳に売掛金の相手仕訳が書き込まれます。
RC	売掛金を省略します。
税 (4250)	売上更新時に作成された税勘定の仕訳があります。
事業所間収益 (4260)	製造が完了した商品と在庫の事業所間振替の仕訳があります。
価格調整 (4270)	売上更新時に作成された個々の価格調整の仕訳があります。
支払リベート (4280)	支払リベート勘定の相手仕訳があります。
遅延売上原価 (4221)	繰延売上原価の相手仕訳があります。
シップアンド デビット仮払請求 (4234)	シップアンド デビット仮払請求の相手仕訳があります。

以下のフィールドに情報を指定して、さまざまな勘定に取引を振り分けることができます。

フィールド	用途の説明
[会社 No.]	[受注オーダー明細] フォームに指定した会社番号と、該当する AAI テーブルが比較されます。たとえば、会社番号として 100 を入力し、AAI テーブルに会社 100 用の設定が存在しない場合は、[受注オーダー明細] フォームの番号と、会社 000 用の設定が比較されます。

フィールド	用途の説明
[伝票タイプ]	オーダーの伝票タイプが使用されます。受注オーダーの場合は SO です。
[元帳クラス]	<p>オーダー行タイプの設定で[在庫インターフェイス]オプションが“Y”の場合、F41021 テーブルの元帳クラスが使用されます。[在庫インターフェイス]オプションが“N”の場合、行タイプ定義にある元帳クラスが使用されます。</p> <p>売掛金 AAI に対しては、[顧客マスター情報]フォームの顧客レコードの元帳クラスが使用されます。ただし、売掛金 AAI 用の元帳クラスは必須ではありません。値としてブランクを使用できます。</p> <p>ブランクの値を読み取ることができるように、元帳クラスコード“****”を設定する必要があります。</p>

AAI の勘定科目コードに関連するビジネスユニットが、会社、伝票タイプ、および元帳クラスに対して検証されます。AAI にビジネスユニットを指定しない場合は、顧客売上の更新プログラムのデフォルト値の処理オプションを使用して、オーダーに対する仕訳を追跡するビジネスユニットの選択順位を指定することができます。

顧客売上の更新で選択した処理オプションに基づいて、以下の方法でビジネスユニットが処理されます。

- AAI 行のビジネスユニットがブランクの場合、事業所詳細のビジネスユニット マスター テーブル(F0006)に定義されているプロジェクト番号が使用されます。

売掛金および収益については、総勘定元帳の仕訳が見出し事業所のプロジェクト番号に割り当てられます。在庫および売上原価には、事業所詳細のプロジェクト番号が使用されます。

- AAI のビジネスユニット、および見出し事業所と事業所詳細のプロジェクト番号が両方ともブランクの場合は、売上原価、売掛金、収益の記録にはオーダー見出しのビジネスユニット、在庫の記録にはオーダー明細のビジネスユニットが使用されます。
- 勘定科目コードのビジネスユニットとして販売先住所番号が使用されます。

請求書処理を省略し、売上更新により仕訳を処理する場合は、相手科目用に“4245”を設定する必要があります。元帳クラス コードは在庫品目には関連付けられません。顧客マスター情報テーブルの売掛金の相手科目に関連付けられます。つまり、システムは仕訳を記録するために AAI 4245 を顧客マスター情報テーブルの売掛仕訳の相手科目に一致させます。4245 には、オーダーの明細行ではなく、見出しレベルの情報のみが使用されます。

特定の勘定に情報を送るには、顧客マスター情報テーブルを編集して、対応する AAI 4245 と RC (売掛管理、システム 03B) の AAI を設定する必要があります。ただし、項目は顧客に関連する請求書合計として記録されるだけで、個別のオーダー明細行は記録されません。全てアスタリスク(\*)を使用すると、元帳と売掛金の相手科目を一致させません。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- システムを使用しているユーザーがいないことを確認します。
- 適切な行タイプを設定し、一般会計システムと売掛管理システムが正しくインターフェイスをとるように処理オプションを設定していることを確認します。



- ・ 売上仕訳と売上更新の状況コード、およびそれ以降の状況コードをオーダー処理順序定義で設定していることを確認します。
- ・ 顧客売上の更新を実行する前に、サブシステム処理が終了していることを確認します。
- ・ 必要な会計項目を作成するための適切な処理オプションを設定していることを確認します。
- ・ 事業所間売上の処理オプションを、以下のように設定していることを確認します。
  - 事業所間オーダーに使用するオーダー タイプを認識する。
  - 会計仕訳の必要な種類を作成する。

## 顧客売上の更新プログラムの実行

[日次締め処理] (G4213) の [顧客売上の更新] を選択します。

## 顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定

以下の処理オプションを使用して、原価の更新、事業所間オーダー、フレックス会計、バルク製品、契約管理、および前払処理の実行方法を制御するデフォルト値を設定します。また、更新処理中にテーブルの処理を省略するかどうか、売上仕訳を印刷するかどうか、仕訳を明細形式と集計形式のいずれで書き出すかを指定したり、バージョンを指定することができます。

### デフォルト

以下の処理オプションにより、顧客売上の更新プログラムで総勘定元帳および売掛金の項目の作成に使用されるデフォルト値が決定されます。売掛請求書の日付に特定の日付を入力する場合は、元帳日付として使用する日付の処理オプションにも日付を入力する必要があります。日付の値を売掛請求書の日付として入力する場合は、総勘定元帳の日付を入力する必要があります。

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <b>1. 請求書日付として使用する日付</b>              | 売掛請求書の日付を入力します。特定の日付を入力すると、[請求書日付として使用する日付を次から選択してください] 処理オプションは無視されます。   |
| <b>2. 請求書日付として使用する日付を次から選択してください。</b> | <p>オーダーの処理日付を指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>1: 請求書の印刷プログラムで処理された、オーダーについて顧客用に印刷された請求書の日付が使用されます。</p> <p>2: 出荷確認 (P4205) プログラムで処理された、オーダーについて出荷が確認された日付が使用されます。</p> <p>3: プログラムの実行日付が使用されます。</p> |
| <b>3. 元帳日付として使用する日付</b>               | <p>元帳日付を入力するか、オーダー処理情報に基づいてシステムにより元帳日付が入力された日付を入力します。</p> <p>特定の日付を入力すると、請求書日付として使用する日付の処理オプションは無視されます。</p>   |
| <b>4. 元帳日付として使用する日付</b>               | <p>オーダーの処理日付を指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>1: 請求書の印刷プログラムで処理された、オーダーについて顧客用に印刷された請求書の日付が使用されます。</p> <p>2: 出荷確認プログラムで処理された、オーダーについて出荷が確認された日付が使用されます。</p> <p>3: プログラムの実行日付が使用されます。</p>          |

## 5. 勘定科目ビジネスユニット

AAI にビジネスユニットを指定していない場合に、総勘定元帳の仕訳を割り当てるビジネスユニットを指定します。AAI の勘定科目コードに関連するビジネスユニットが、会社、伝票タイプ、および元帳クラスに対して検証されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:3 の値が使用されます。

1: 詳細ビジネスユニットが使用されます。

2: 販売先住所番号が使用されます。

3: 在庫を除く全ての勘定について、収益ビジネスユニットが使用されます。在庫勘定については、詳細ビジネスユニットが使用されます。

## 6. 一時変更用「次の状況」コード

オーダー処理の次のステップを示す UDC (40/AT) を入力します。使用するオーダー タイプと行タイプに基づいて、オーダー処理順序定義に設定した UDC 値を指定する必要があります。

この一時変更用状況は、この処理で実行できるもう 1 つのステップになります。

顧客売上の更新プログラムを最終モードで実行する場合は、更新済みのオーダーがシステムにより読み取られたり、顧客売上の更新プログラムで再び処理されないように、状況コードを 999 に更新する必要があります。

## 7. 請求備考

レポートの目的でメモ専用のフィールドを使用していることを示すには、この処理オプションを使用します。UDC テーブル (42/BR) に設定済みの 3 文字の値を入力できます。

請求備考を使用して、F0911 テーブルの“備考、摘要、名称”フィールドが更新されます。顧客売上の更新プログラムの前に売上仕訳を実行している場合、仕訳の見出し部分の請求備考を検討することができます。

## 更新

以下の処理オプションにより、顧客売上の更新プログラムの実行モード、および売上更新処理中に省略されるテーブルが指定されます。

### 1. 実行モード

プログラムをテスト モードと最終モードのいずれで実行するかを指定します。会社の更新処理に対応するバージョンを使用する必要があります。また、どのバージョンについてもテスト モードと最終モードのいずれを使用するかを指定する必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク:テスト モードで実行します。

状況コードやテーブルは更新されません。仕訳の印刷と検討、従業員ワーク センターでのエラーの検討と修正、および処理オプションによっては売上仕訳の検討ができます。

1: 最終モードで実行します。

状況コードとテーブルの更新、および編集（総勘定元帳、売掛金および買掛金用の本稼働サーバーに対する重複レコードのチェックなど）が行われます。仕訳の印刷と検討、従業員ワーク センターでのエラーの検討と修正、および処理オプションによっては売上仕訳の検討ができます。

受注オーダーが請求書の印刷プログラムで処理済みであり、F4211 テーブルに請求書番号とタイプが記録されている場合には、売上更新プログラムのテスト バージョンまたは最終バージョン (XJDE0001、XJDE0002) を使用する必要があります。

受注オーダーについて請求書の印刷プログラムで処理されていない場合は、売上更新 - 請求書番号の割り当てプログラムのテストバージョンまたは最終バージョン (XJDE0003、XJDE0004) を使用する必要があります。このプログラムでは請求書 (売掛用) 番号が割り当てられます。

売上更新の前に売上仕訳の印刷など、複数のジョブを実行する場合は、処理結果、売上仕訳、および仕訳が検討用にオープンのままになっています。

## 2. 売掛金明細 (F0311) の更新

F03B11 テーブルを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:F03B11 テーブルを更新します。

1: テーブルを更新しません。その代わりに、配賦 AAI (売掛金勘定) 4245 を使用して、売掛金の相手科目仕訳が作成されます。

## 3. 在庫 (F41021/F4115) の更新

F41021 テーブルと F4115 テーブルの手持在庫を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:出荷確認中に数量を更新しなかった場合、F41021、F4115、および F4111 のテーブルの手持在庫を更新します。

1: F41021、F4115、および F4111 のテーブルの手持在庫を更新しません。

## 4. コミッション テーブル (F42005) の更新

F42005 テーブルのコミッション情報を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:F42005 テーブルのコミッション情報を更新します。

1: F42005 テーブルのコミッション情報を更新しません。

コミッション情報を記録していない場合は、パフォーマンスを向上させるために F42005 テーブルの更新を省略することができます。

## 5. 販売実績集計 (F4229) の更新

F4229 テーブルを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:F4229 テーブルの売上原価と品目別売上を更新し、集計します。この結果はレポート用に使用できます。

1: F4229 テーブルを更新しません。

レポートに販売実績集計を使用しない場合は、パフォーマンスを向上させるために F4229 テーブルの更新を省略することができます。

## 6. 販売明細実績 (F42119) への移動

F4211 テーブルから明細情報を移動するかどうかを指定します。顧客売上を更新すると、F4211 テーブルの明細行が F42119 テーブルに移動されます。F4211 テーブルから情報を移動することにより、テーブルのサイズが小さくなり、パフォーマンスが向上します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:F4211 テーブルから F42119 テーブルにレコードをコピーし、元のレコードを削除します。

1: F4211 テーブルから F42119 テーブルにレコードをコピーしません。

レポートに販売実績集計を使用しない場合は、パフォーマンスを向上させるために F42119 テーブルの更新を省略することができます。

## 7. 販売見出し実績 (F42019) への移動

F4201 テーブルから F42019 テーブルにレコードをコピーして元のレコードを削除するかどうかを指定します。F4211 テーブルから情報を移動することにより、テーブルのサイズが小さくなり、パフォーマンスが向上します。

一致するオーダー タイプとオーダー番号の組み合わせを F4211 テーブルに持つ処理中の明細行がない場合にのみ、レコードが移動されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:F4211 テーブルから F42119 テーブルにレコードをコピーし、元のレコードを削除します。

1: F4211 テーブルから F42119 テーブルにレコードをコピーしません。

## 8. 価格設定レコード (F4074) の除去

F4074 テーブルのレコードを除去するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:F4074 テーブルから価格レコードを除去しません。価格実績を検討することができます。

1: F4074 テーブルから価格レコードを除去します。価格実績を別のファイルに保持しません。

## 9. 補助元帳

組織に固有の補助元帳の仕訳を作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:補助元帳の仕訳を作成しません。

1: 補助元帳の仕訳、およびオーダーの仕訳に割り当てられたオーダー番号を総勘定元帳に書き込みます。

2: 補助元帳の仕訳、および顧客請求指示に割り当てられた販売担当者番号を総勘定元帳に書き込みます。

3: 補助元帳の仕訳、およびオーダーに入力した販売先番号を総勘定元帳に書き込みます。

4: 補助元帳の仕訳、およびオーダーに入力した出荷先番号を総勘定元帳に書き込みます。

5: 補助元帳の仕訳、および略式品目番号を総勘定元帳に書き込みます。

売掛金の相手科目は、行レベルではなくオーダー レベルに書き込まれます。したがって、略式品目番号は、AAI 4245 の補助元帳の選択には使用されません。

## 10. 売掛採番用インデックス

請求書 (売掛用) 番号の割り当てに使用する次の番号を指定します。ブランクの場合、システム 03 のバケツ 01 が使用されます。

受注オーダーについて請求書の印刷プログラムで処理されていない場合は、売上更新 - 請求書番号の割り当てプログラムのテスト バージョンまたは最終バージョン (XJDE0003、XJDE0004) を使用する必要があります。このプログラムでは、自動採番に基づいて請求書 (売掛用) 番号が割り当てられます。

## 11. 請求書の伝票タイプ

請求書 (売掛用) 番号の割り当てに使用する伝票タイプを指定します。

受注オーダーについて請求書の印刷プログラムで処理されていない場合は、売上更新 - 請求書番号の割り当てプログラムのテスト バージョンまたは最終バージョン (XJDE0003、XJDE0004) を使用する必要があります。このプログラムでは、この取引に伝票タイプと請求書 (売掛用) 番号が割り当てられます。

## 12. 関連テキストの除去

F00165 テーブルから関連テキストを移動するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:F00165 テーブルから見出しと明細行の添付情報を削除しません。

1: F00165 テーブルから見出しと明細行の添付情報を削除します。

### 13. シップ アンド デビット 処理

顧客売上の更新プログラムを実行するときに、サブシステムまたはバッチ処理 (R45100) を使用してシップ アンド デビット契約の指定と調整を行うかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:R45100 を呼び出しません。

1: サブシステム処理を使用します。

2: バッチ処理を使用します。

### 14. シップ アンド デビット 仮払請求

顧客売上の更新プログラムの実行時に、補償請求と補償請求仮払仕訳の生成 (R45800) 処理を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:R45800 処理を使用しません。

1: R45800 処理を使用します。

## バージョン

この処理オプションでは、売掛管理システムと一般会計システムのテーブルに仕訳レコードを書き込むために使用するバージョンを決定します。処理オプションをブランクにすると、売掛管理システムにはバージョン ZJDE0002 が、一般会計システムには ZJDE0001 が使用されます。

### 1. 請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011)

請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011) のバージョンを指定します。元帳タイプや多通貨オーダー用の税処理など、売掛管理に影響する処理オプションを確認するには、売上更新に使用する売掛管理のバッチバージョンを照会する必要があります。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0002 が使用されます。

ZJDE0002 以外の請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011) のバージョンを指定すると、このバージョンでの税処理が許可されます。売掛管理マスター ビジネス関数プログラムの処理オプションの [通貨] タブに 1 を設定して、その通貨での税処理を許可します。

### 2. 仕訳入力 MBF 処理オプション (P0900049)

一般会計の処理に使用する仕訳入力 MBF 処理オプション (P0900049) のバージョンを指定します。一般会計の処理に影響する処理オプションを確認するには、売上更新に使用する一般会計の対話型バッチバージョンを照会する必要があります。

仕訳入力 MBF 処理オプション (P0900049) が使用されます。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

### 3. シップ アンド デビット (R45100)

顧客売上の更新プログラムを実行するときに、シップ アンド デビット契約の指定と調整を行うバッチまたはサブシステムの処理 (R45100) のバージョンを指定します。

### 4. シップ アンド デビット 仮払請求 (R45800)

顧客売上の更新プログラムの実行時に使用する、補償請求と補償請求仮払仕訳の生成 (R45800) のバージョンを指定します。

## 印刷

この処理オプションでは、仕訳更新前に売上仕訳を印刷するかどうか、印刷する場合には使用するバージョンを指定します。

### 1. 売上仕訳の印刷

仕訳更新前に売上仕訳を印刷するかどうかを指定します。売上仕訳には、集計情報のみがあります。このレポートには、合計請求金額、売上原価、

利益金額および利益率が表示されます。このレポートは、売上収益の分配方法を検討する場合に役立ちます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:更新前に売上仕訳を印刷しません。

1: 更新前に売上仕訳を印刷します。

売上仕訳の印刷 (P42810) のバージョンに、受注オーダーの状況コードを更新しない処理オプションを設定していることを確認します。

## 2. 売上仕訳 (R42810) バージョン

顧客売上の更新プログラムの実行前に、売上仕訳の印刷に使用する売上仕訳 (P42810) のバージョンを指定します。更新前の売上仕訳の印刷の処理オプションをオンにしている場合にのみ、この処理オプションは有効です。売上仕訳には、集計情報のみがあります。このレポートには、合計請求金額、売上原価、利益金額および利益率が表示されます。このレポートは、売上収益の分配方法を検討する場合に役立ちます。

この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

売上仕訳の印刷のバージョンに、受注オーダーの状況コードを更新しない処理オプションを設定していることを確認します。

## 集計

この処理オプションでは、売掛金元帳テーブル、取引明細テーブル、売上原価、および在庫、売上原価に仕訳を書き込むときに、集計モードと明細モードのいずれで記録するかを指定します。

### 1. 請求書別売掛金仕訳の集計

売掛仕訳を集計モードと明細モードのいずれで書き込むかを指定します。売掛仕訳は、バッチ タイプ IB で作成されます。バッチ タイプ IB には、各請求書と各オーダー明細行のいずれに個別の仕訳を作成するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:売掛仕訳を集計せず、F03B11 テーブルに、請求書の各オーダー明細行について個別の仕訳を作成します。

1: 売掛仕訳を集計せず、F03B11 テーブルに請求書の仕訳を作成します。

2: 売掛仕訳を集計せず、F03B11 テーブルに出荷の仕訳を作成します。

### 2. 請求書別仕訳の集計

総勘定元帳仕訳を集計モードと明細モードのいずれで書き込むかを指定します。総勘定元帳仕訳は、バッチ タイプ IB で作成されます。バッチ タイプ IB には、各請求書と各オーダー明細行のいずれに個別の仕訳を作成するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:総勘定元帳仕訳を集計しません。請求書の各オーダー明細行について、F0911 テーブルに個別の仕訳が作成されます。

1: 総勘定元帳仕訳を集計せず、F0911 テーブルに各請求書の仕訳を作成します。

### 3. 売上原価および在庫仕訳の集計

在庫と売上原価の仕訳について、タイプ G の個別のバッチを作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:在庫と売上原価の仕訳を個別のバッチに集計しません。仕訳転記用のバッチ タイプ IB のみが作成されます。

1: 在庫と売上原価の仕訳について、個別のバッチ タイプ G を作成しません。

## 原価の更新

以下の処理オプションでは、売上更新前に原価を更新するかどうか、および更新する場合は、販売価格/売上原価の更新のバージョンを指定します。

### 1. 原価の更新

売上更新前に、原価を更新するかどうかを指定します。売掛レコードおよび総勘定元帳レコードの作成前に、選択した受注オーダー全ての現行原価、為替レート、および価格が更新されます。出荷確認で在庫が差し引かれた受注オーダー行の原価は更新されません。

販売原価や製造原価が頻繁に変化する場合、また更新前のオーダーがシステム内に長期間あった場合は、売上原価の更新を実行します。これにより、粗利益率を正確に更新できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:品目の在庫原価を更新しません。

1: 売掛レコードおよび総勘定元帳レコードの作成前に、更新処理オプションで参照した販売価格/売上原価の更新のバージョンを使用して、選択した受注オーダー全ての現行原価、為替レート、および価格を更新します。

在庫を差し引いていない場合にのみ、原価が更新されます。

### 2. 販売価格/売上原価の更新 (R42950) バージョン

売上更新前に、原価の更新に使用する販売価格/売上原価の更新 (R42950) バージョンを指定します。デフォルトのバージョンは ZJDE0001 です。売掛レコードおよび総勘定元帳レコードの作成前に、選択した受注オーダー全ての現行原価、為替レート、および価格が更新されます。

販売原価や製造原価が頻繁に変化する場合、また更新前のオーダーがシステム内に長期間あった場合は、売上原価の更新を実行します。これにより、粗利益率を正確に更新できます。

事業所間オーダーについては、販売価格/売上原価の更新 (R42950) バージョンの処理オプションを、供給事業所と販売事業所の両方の為替レートだけでなく価格情報を更新するように設定する必要があります。

## 事業所間

以下の処理オプションにより、事業所間オーダーのオーダー タイプを指定します。

### 1. 事業所間オーダー タイプ

事業所間オーダーのオーダー タイプ用の UDC (00/DT) を指定します。複数のオーダー タイプを区切り文字やスペースを使用せずにリストできます。事業所間オーダーを全て正確に更新するには、受注オーダー入力プログラムのオーダー タイプ処理オプションに入力した事業所間オーダー タイプを全て入力する必要があります。

UDC テーブル (00/DT) に設定されている値を入力してください。

### 2. 売掛金/買掛金 バッチ

事業所間/会社間オーダーのバッチ タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:事業所間オーダーに個別のバッチ タイプ ST を作成します。ST バッチは、供給事業所と販売事業所との間の取引の記録に使用され、会社間オーダーを作成していない場合に使用されます。

1: 販売事業所の売掛金および買掛金の仕訳と、供給事業所の売掛金の仕訳を作成します。

### 3. 伝票突合せバージョン (P4314)

買掛取引レコードの作成に使用する伝票突合せマスター ビジネス関数のバージョンを指定します。会社間請求には、販売会社から供給会社への買掛仕訳が作成されます。

買掛管理の処理に影響する処理オプションを確認するには、売上更新に使用する買掛管理のバッチ バージョンを照会する必要があります。

## 任意勘定科目

この処理オプションには、任意売上勘定科目の設定を使用するかどうかを指定します。

1. 任意売上勘定科目設定 任意勘定科目の設定を使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク:総勘定元帳仕訳の作成に、任意勘定科目の設定プログラム (P42096) を使用しません。  
 1: 任意勘定科目の設定プログラム (P42096) で設定した勘定科目コードに従って、原価の主科目情報を持つ仕訳を作成します。

## バルク製品

この処理オプションでは、温度増減レコードの計算方法を指定します。

1. 温度変化による増減 在庫を標準温度で差し引いた場合に、常温で請求した顧客用に温度変化による増減レコードを作成する方法を指定します。増減は、原価または収益のいずれかで計算されます。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク:温度変化による増減レコードを処理しません。  
 1: 原価について、常温体積に原価を掛けた値と、標準温度の体積に原価を掛けた値の差を計算します。計算には、基本計量単位が使用されます。  
 2: 収益について、常温体積に価格を掛けた値と、標準温度の体積に価格を掛けた値の差を計算します。計算には、価格設定計量単位が使用されます。

## 契約

受注管理システムを契約管理システムと共に使用している場合に、以下の処理オプションで契約を選択する方法を定義します。

1. 借入契約検索用の配送先ビジネスユニット 契約品目の配送先を指定します。この処理オプションをブランクにする場合は、配送先ビジネスユニットを選択するための値を入力する必要があります。
2. 配送先ビジネスユニットの選択 契約品目の配送先の値を指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク:ブランクの場合、配送先ビジネスユニットを入力する必要があります。  
 1: 配送先を契約に指定した場所にすることができます。  
 2: デフォルトの事業所が配送先として指定されます。
3. 選択基準 契約の選択方法を指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク:最短の有効期限に基づいて、契約を割り当てます。  
 1: 契約が 1 つのみ検出された場合に、契約を自動的に割り当てます。  
 2: 最短の有効期限に基づいて、契約を割り当てます。



## パフォーマンス

この処理オプションでは、顧客売上の更新中に、エラー メッセージだけでなく警告メッセージも従業員ワーク センターに送信するかどうかを指定します。

1. **警告メッセージの非表示** 顧客売上の更新中に、警告メッセージを従業員ワーク センターに送信するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク:警告メッセージを従業員ワーク センターに送信します。  
 1: 警告メッセージを従業員ワーク センターに送信しません。このオプションを選択すると、システムのパフォーマンスを向上させることができます。

## 前払

この処理オプションは前払処理に使用します。顧客売上の更新バージョンを前払取引用に設定し、かつ請求書の印刷プログラムでオーダーを処理していない場合、この処理オプションで、請求書番号を割り当てるように設定します。

前払処理用の処理オプションが有効になっていて、かつ前払取引が決済された場合、クレジット カード会社の銀行から請求されている売掛金に対して手形レコードが書き込まれます。売上更新中に、事前承認済み手形のバージョンを呼び出して手形レコードが生成されます。

1. **決済済み前払取引の更新** 未処理の請求書を持つクレジット カードの前払取引を手形で支払うかどうかを指定します。請求書を選択すると未処理の金額が支払われ、手形伝票が作成されます。  
 手形は、受け取り状況で、銀行で金額が徴収されていない段階で作成されます。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク:決済済み前払レコードを更新しません。  
 1: 決済済み前払レコードを更新し、クレジット カードの取引に対して手形が作成されます。
2. **事前承認済み手形バージョン (R03B671)** 会社の銀行から金額を請求する手形の印刷に使用する、事前承認済み手形 (R03B671) のバージョンを指定します。この処理オプションは、前払処理オプションをオンにし、売掛金の更新を省略せず、かつ最終モードを選択している場合にのみ有効です。  
 この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0007 が使用されます。

## (PER) Sales Close – Invoice Legal Number in Current Account

The Sales Close program (R42800) updates the invoice legal number field in the F03B11 table. This update enables you to locate invoices by using the legal number when reviewing invoices in the Accounts Receivable Inquiry (P03B2002) program.

Before you run the Sales Close program, ensure that you run the Image Generation program and the Lot Review Inquiry (P76H3B50) program to number and print invoices.

## (CHL) Sales Close – Invoice Legal Number in Current Account

The Sales Close program (R42800) updates the invoice legal number field in the F03B11 table. This update enables you to locate invoices by using the legal number when reviewing invoices in the Accounts Receivable Inquiry (P03B2002) program.

Before you run the Sales Close program, ensure that you run the Image Generation program and the Lot Review Inquiry (P76H3B50) program to number and print invoices.

## (Rapid Start AUS and NZL) Updating Customer Sales

This section discusses:

- How to update customer sales for customer credit with and without return.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800).
- How to update customer sales for selling from inventory.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800).
- How to update customer sales for transfer order without receipt routing.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types ST (R42800).
- How to update customer sales for intercompany sales order.
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SK (R42800).

### Updating Customer Sales for Customer Credit With and Without Return

This table lists the tasks for updating customer sales for customer credit with and without return:

Task	Navigation	Program and Version
Update customer sales for customer credit with and without return.	Sales/Finance Integration Sales Update – SO, SD, SI, CO	R42800/RIS3001

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

### Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

#### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Date as A/R Invoice Date	blank
2. Select Date Value as A/R Invoice Date	1
3. Specific Date as G/L Date	blank

Processing Option Description	Value or Status
4. Select Date Value as G/L Date	1
5. G/L Account Business Unit	blank
6. Override Next Status Code	blank
7. Billing Remark	blank

## Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Proof or Final Mode	1
2. Bypass Update to Accounts Receivable (F0311)	blank
3. Bypass Update to Inventory (F41021/F4115)	blank
4. Bypass Update to Commissions (F42005)	blank
5. Bypass Update to Sales History Summary (F4229)	blank
6. Purge to Sales Detail History (F42119)	blank
7. Purge to Sales Header History (F42019)	blank
8. Purge Pricing Records (F4074)	blank
9. Subledger:	blank
10. A/R Next Number Index	blank
11. Document Type for Invoices	blank
12. Purge Associated Text	blank
13. Ship and Debit Processing	blank
14. Ship and Debit Accrual	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Master Business Function (P03B0011)	RIS0002
2. G/L Master Business Function (P0900049)	RIS0001
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Ship and Debit Accrual (R45800)	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Sales Journal before Update	blank
2. Sales Journal Version (R42810)	blank

**Summarization**

Processing Option Description	Value or Status
1. Summarize A/R entries by Invoice	1
2. Summarize G/L entries by Invoice	1
3. Summarize COGS and Inventory Entries	blank

**Cost Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Costs	blank
2. Sales Price/Cost Update Version (R42950)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Interbranch Order Types	SK
2. A/R and A/P Batches	1
3. Voucher Match Version (P4314)	RIS3001

**Flex Acctg**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Flexible Accounting	blank

**Bulk Product**

Processing Option Description	Value or Status
1. Temperature Gain/Loss	blank

**Agreements**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Destination Business Unit for Borrow Agreement Search OR	blank
2. Select Destination Business Unit	blank
3. Selection Criterion	blank

**Performance**

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Warning Messages	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Settled Prepayment Transactions	blank
2. Pre-Authorized Drafts Version (R03B671)	blank

**関連項目:**

第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定」、633 ページ

**Updating Customer Sales for Selling from Inventory**

This table lists the tasks for updating customer sales for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Update customer sales for selling from inventory.	Sales/Finance Integration  Sales Update – SO, SD, SI, CO	R42800 /RIS3001	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO, SD, SI, and CO</li> <li>Line Type: S (Stock Item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. If other branches are used, some setup will need to be changed.</li> <li>Enter item numbers i as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Date as A/R Invoice Date	blank
2. Select Date Value as A/R Invoice Date	1
3. Specific Date as G/L Date	blank
4. Select Date Value as G/L Date	1
5. G/L Account Business Unit	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Override Next Status Code	blank
7. Billing Remark	blank

## Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Proof or Final Mode	1
2. Bypass Update to Accounts Receivable (F0311)	blank
3. Bypass Update to Inventory (F41021/F4115)	blank
4. Bypass Update to Commissions (F42005)	blank
5. Bypass Update to Sales History Summary (F4229)	blank
6. Purge to Sales Detail History (F42119)	blank
7. Purge to Sales Header History (F42019)	blank
8. Purge Pricing Records (F4074)	blank
9. Subledger:	blank
10. A/R Next Number Index	0
11. Document Type for Invoices	blank
12. Purge Associated Text	blank
13. Ship and Debit Processing	blank
14. Ship and Debit Accrual	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Master Business Function (P03B0011)	RIS0002
2. G/L Master Business Function (P0900049)	RIS0001
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Ship and Debit Accrual (R45800)	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Sales Journal before Update	blank
2. Sales Journal Version (R42810)	blank

**Summarization**

Processing Option Description	Value or Status
1. Summarize A/R entries by Invoice	1
2. Summarize G/L entries by Invoice	1
3. Summarize COGS and Inventory Entries	blank

**Cost Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Costs	blank
2. Sales Price/Cost Update Version (R42950)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Interbranch Order Types	SK
2. A/R and A/P Batches	1
3. Voucher Match Version (P4314)	RIS3001

**Flex Acctg**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Flexible Accounting	blank

**Bulk Product**

Processing Option Description	Value or Status
1. Temperature Gain/Loss	blank



**Agreements**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Destination Business Unit for Borrow Agreement Search OR	blank
2. Select Destination Business Unit	blank
3. Selection Criterion	blank

**Performance**

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Warning Messages	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Settled Prepayment Transactions	blank
2. Pre-Authorized Drafts Version (R03B671)	blank

**関連項目:**

第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定」、633 ページ

**Updating Customer Sales for Transfer Order Without Receipt Routing**

This table lists the tasks for updating customer sales for transfer order without receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version
Update customer sales for transfer order without receipt routing.	Sales/Finance Integration Sales Update – ST	R42800/RIS3002

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

**Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types ST (R42800)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3002.

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Date as A/R Invoice Date	blank
2. Select Date Value as A/R Invoice Date	1

Processing Option Description	Value or Status
3. Specific Date as G/L Date	blank
4. Select Date Value as G/L Date	1
5. G/L Account Business Unit	blank
6. Override Next Status Code	blank
7. Billing Remark	blank

## Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Proof or Final Mode	1
2. Bypass Update to Accounts Receivable (F0311)	1
3. Bypass Update to Inventory (F41021/F4115)	blank
4. Bypass Update to Commissions (F42005)	blank
5. Bypass Update to Sales History Summary (F4229)	blank
6. Purge to Sales Detail History (F42119)	blank
7. Purge to Sales Header History (F42019)	blank
8. Purge Pricing Records (F4074)	blank
9. Subledger:	blank
10. A/R Next Number Index	blank
11. Document Type for Invoices	blank
12. Purge Associated Text	blank
13. Ship and Debit Processing	blank
14. Ship and Debit Accrual	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Master Business Function (P03B0011)	RIS0002
2. G/L Master Business Function (P0900049)	RIS0001

Processing Option Description	Value or Status
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Ship and Debit Accrual (R45800)	blank

## Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Sales Journal before Update	blank
2. Sales Journal Version (R42810)	blank

## Summarization

Processing Option Description	Value or Status
1. Summarize A/R entries by Invoice	1
2. Summarize G/L entries by Invoice	1
3. Summarize COGS and Inventory Entries	1

## Cost Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Costs	blank
2. Sales Price/Cost Update Version (R42950)	blank

## Interbranch

Processing Option Description	Value or Status
1. Interbranch Order Types	blank
2. A/R and A/P Batches	blank
3. Voucher Match Version (P4314)	blank

## Flex Acctg

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Flexible Accounting	blank

**Bulk Product**

Processing Option Description	Value or Status
1. Temperature Gain/Loss	blank

**Agreements**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Destination Business Unit for Borrow Agreement Search OR	blank
2. Select Destination Business Unit	blank
3. Selection Criterion	blank

**Performance**

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Warning Messages	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Settled Prepayment Transactions	blank
2. Pre-Authorized Drafts Version (R03B671)	blank

**関連項目:**

第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定」、633ページ

**Updating Customer Sales for Intercompany Sales Order**

This table lists the tasks for updating customer sales for intercompany sales order:

Task	Navigation	Program and Version
Update customer sales for intercompany sales order.	Sales/Finance Integration Sales Update – SO, SD, SI, CO	R42800/RIS3001
Update customer sales for intercompany sales order.	Sales/Finance Integration Sales Update – SK	R42800/RIS3003

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Date as A/R Invoice Date	blank
2. Select Date Value as A/R Invoice Date	1
3. Specific Date as G/L Date	blank
4. Select Date Value as G/L Date	1
5. G/L Account Business Unit	blank
6. Override Next Status Code	blank
7. Billing Remark	blank

### Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Proof or Final Mode	1
2. Bypass Update to Accounts Receivable (F0311)	blank
3. Bypass Update to Inventory (F41021/F4115)	blank
4. Bypass Update to Commissions (F42005)	blank
5. Bypass Update to Sales History Summary (F4229)	blank
6. Purge to Sales Detail History (F42119)	blank
7. Purge to Sales Header History (F42019)	blank
8. Purge Pricing Records (F4074)	blank
9. Subledger:	blank
10. A/R Next Number Index	0
11. Document Type for Invoices	blank
12. Purge Associated Text	blank

Processing Option Description	Value or Status
13. Ship and Debit Processing	blank
14. Ship and Debit Accrual	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Master Business Function (P03B0011)	RIS0002
2. G/L Master Business Function (P0900049)	RIS0001
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Ship and Debit Accrual (R45800)	blank

## Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Sales Journal before Update	blank
2. Sales Journal Version (R42810)	blank

## Summarization

Processing Option Description	Value or Status
1. Summarize A/R entries by Invoice	1
2. Summarize G/L entries by Invoice	1
3. Summarize COGS and Inventory Entries	blank

## Cost Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Costs	blank
2. Sales Price/Cost Update Version (R42950)	blank

## Interbranch

Processing Option Description	Value or Status
1. Interbranch Order Types	SK

Processing Option Description	Value or Status
2. A/R and A/P Batches	1
3. Voucher Match Version (P4314)	RIS3001

**Flex Acctg**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Flexible Accounting	blank

**Bulk Product**

Processing Option Description	Value or Status
1. Temperature Gain/Loss	blank

**Agreements**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Destination Business Unit for Borrow Agreement Search OR	blank
2. Select Destination Business Unit	blank
3. Selection Criterion	blank

**Performance**

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Warning Messages	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Settled Prepayment Transactions	blank
2. Pre-Authorized Drafts Version (R03B671)	blank

**関連項目:**

第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定」、633 ページ

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Sales Update – Order Types SK (R42800)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3003.

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Date as A/R Invoice Date	blank
2. Select Date Value as A/R Invoice Date	2
3. Specific Date as G/L Date	blank
4. Select Date Value as G/L Date	2
5. G/L Account Business Unit	blank
6. Override Next Status Code	blank
7. Billing Remark	blank

**Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Proof or Final Mode	1
2. Bypass Update to Accounts Receivable (F0311)	1
3. Bypass Update to Inventory (F41021/F4115)	blank
4. Bypass Update to Commissions (F42005)	blank
5. Bypass Update to Sales History Summary (F4229)	blank
6. Purge to Sales Detail History (F42119)	blank
7. Purge to Sales Header History (F42019)	blank
8. Purge Pricing Records (F4074)	blank
9. Subledger:	blank
10. A/R Next Number Index	blank
11. Document Type for Invoices	blank
12. Purge Associated Text	blank
13. Ship and Debit Processing	blank
14. Ship and Debit Accrual	blank



**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Master Business Function (P03B0011)	RIS0002
2. G/L Master Business Function (P0900049)	RIS0001
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Ship and Debit Accrual (R45800)	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Sales Journal before Update	blank
2. Sales Journal Version (R42810)	blank

**Summarization**

Processing Option Description	Value or Status
1. Summarize A/R entries by Invoice	1
2. Summarize G/L entries by Invoice	1
3. Summarize COGS and Inventory Entries	1

**Cost Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Costs	blank
2. Sales Price/Cost Update Version (R42950)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Interbranch Order Types	SK
2. A/R and A/P Batches	1
3. Voucher Match Version (P4314)	RIS3002

**Flex Acctg**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Flexible Accounting	blank

**Bulk Product**

Processing Option Description	Value or Status
1. Temperature Gain/Loss	blank

**Agreements**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Destination Business Unit for Borrow Agreement Search OR	blank
2. Select Destination Business Unit	blank
3. Selection Criterion	blank

**Performance**

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Warning Messages	blank

**Prepayment**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Settled Prepayment Transactions	blank
2. Pre-Authorized Drafts Version (R03B671)	blank

**関連項目:**

第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定」、633ページ

---

## (Rapid Start CAN and USA) Updating Transfer Order Sales

This section discusses how to run sales update for transfer order with receipt routing.

### Running Sales Update for Transfer Order with Receipt Routing

This table lists the tasks for running sales update for transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Run sales update for transfer order with receipt routing.	Sales/Finance Integration Sales Update	R42800/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: ST and OT</li> <li>Line Type: S (Stock Item).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type ST, OT and line type S.</li> <li>Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verify branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that receives the goods.</li> <li>Enter item numbers as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers.</li> <li>Verify that the PINS process is setup in the routing. This is a two-step process that takes the item to In-Transit. Stock. Address book number 99999900 is setup and is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800)」、660ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Updating Customer Sales

This section discusses:

- How to run sales update for customer credit without return.
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800).
- How to run sales update for customer credit with return.

### Running Sales Update for Customer Credit Without Return

This table lists the tasks for running sales update for customer credit without return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Run sales update for customer credit without return.	Sales/Finance Integration Sales Update	R42800/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO (Credit Order)</li> <li>Line Type: CN (Miscellaneous Credit)</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type CO and line type CN.</li> <li>Hold Code: XX (Administrative Hold)</li> <li>Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Status = 620	<ul style="list-style-type: none"> <li>Set up required AAIs.</li> <li>Activate the Edit Item Master for Non-Stock Items option in the Line Type Constants.</li> <li>Set up any required dummy item numbers.</li> <li>Verify that the G/L class code on the Item Master is correct.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update–Invoice Number Already Assigned (R42800)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Date as A/R Invoice Date	blank
2. Select Date Value as A/R Invoice Date	1
3. Specific Date as G/L Date	blank
4. Select Date Value as G/L Date	1
5. G/L Account Business Unit	blank
6. Override Next Status Code	blank
7. Billing Remark	blank

### Update

Processing Option Description	Value or Status
1. Proof or Final Mode	blank
2. Bypass Update to Accounts Receivable (F0311)	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Bypass Update to Inventory (F41021/F4115)	blank
4. Bypass Update to Commissions (F42005)	blank
5. Bypass Update to Sales History Summary (F4229)	blank
6. Purge to Sales Detail History (F42119)	blank
7. Purge to Sales Header History (F42019)	blank
8. Purge Pricing Records (F4074)	blank
9. Subledger:	blank
10. A/R Next Number Index	0
11. Document Type for Invoices	blank
12. Purge Associated Text	blank
13. Ship and Debit Processing	blank
14. Ship and Debit Accrual	blank

## Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Master Business Function (P03B0011)	RIS0002
2. G/L Master Business Function (P0900049)	RIS0001
3. Ship and Debit (R45100)	blank
4. Ship and Debit Accrual (R45800)	blank

## Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Sales Journal before Update	blank
2. Sales Journal Version (R42810)	blank

## Summarization

Processing Option Description	Value or Status
1. Summarize A/R entries by Invoice	1

Processing Option Description	Value or Status
2. Summarize G/L entries by Invoice	1
3. Summarize COGS and Inventory Entries	blank

**Cost Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Costs	blank
2. Sales Price/Cost Update Version (R42950)	blank

**Interbranch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Interbranch Order Types	blank
2. A/R and A/P Batches	blank
3. Voucher Match Version (P4314)	blank

**Flex Acctg**

Processing Option Description	Value or Status
1. Sales Flexible Accounting	blank

**Bulk Product**

Processing Option Description	Value or Status
1. Temperature Gain/Loss	blank

**Agreements**

Processing Option Description	Value or Status
1. Specific Destination Business Unit for Borrow Agreement Search OR	blank
2. Select Destination Business Unit	blank
3. Selection Criterion	blank

## Performance

Processing Option Description	Value or Status
1. Suppress Warning Messages	blank

## Prepayment

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Settled Prepayment Transactions	blank
2. Pre-Authorized Drafts Version (R03B671)	blank

## 関連項目:

第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新 (R42800) の処理オプションの設定」、633ページ

## Running Sales Update for Customer Credit With Return

This table lists the tasks for running sales update for customer credit with return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configured Onsite
Run sales update for customer credit with return.	Sales/Finance Integration Sales Update	R42800 /RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO (Sales Order), II (Inventory Issue), and IT (Inventory Transfer).</li> <li>Line Type: C (Credit Stock Item).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type CO and line type C.</li> <li>Hold Code: XX (Administrative Hold).</li> <li>AAIs are set up for inventory issues and transfers using document types II and IT.</li> <li>Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul> Status = 620	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800)」、660ページ

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Updating Item, Inventory, and Transfer Order Sales

This section discusses:

- How to run sales update for selling a make-to-order item.
- How to run sales update for selling from inventory.
- How to run sales update for transfer order with receipt routing.

### Running Sales Update for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for running sales update for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Run sales update for selling a make-to-order item.	Sales/Finance Integration Sales Update	R42800/RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: SO</li> <li>• Line Type: W (Make-to-Order item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>• Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>• Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>• Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, and 99.</li> <li>• Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>• Manufacturing Item: Item Sample1 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>• To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>• Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>• Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>• Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>• Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>• Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: [第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update-Invoice Number Already Assigned \(R42800\)」、660ページ](#)



## Running Sales Update for Selling from Inventory

This table lists the tasks for running sales update for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Run sales update for selling from inventory.	Sales /Finance Integration  Sales Update	R42800 /RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S (Stock Item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800)」、660ページ

---

## (Rapid Start) Updating Direct Ship Item Sales

This section discusses how to run sales update for selling a direct ship item.

### Running Sales Update for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for running sales update for selling a direct ship item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Run sales update for selling a direct ship item.	Sales/Finance Integration Sales Update	R42800 /RIS0002	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D (Direct Ship Item)</li> <li>Order activity rules are provided for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is set up for direct ship orders.</li> </ul> Sales Order Next Status = 620	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800)」、660ページ

## 顧客売上の更新レポートの検討

このセクションでは、売上更新レポートの概要と、以下の方法について説明します。

- 請求書仕訳の検討
- 売上仕訳の検討
- (ARG) Review the sales journal for Argentina
- 売上仕訳の印刷 (R42810) の処理オプションの設定

### 売上更新レポートについて

顧客売上の更新プログラムを実行すると、以下のレポートが作成されます。

- 請求書仕訳: 売掛金および総勘定元帳の仕訳が全て表示されます。
- 売上仕訳: 集計仕訳または明細仕訳を使い、在庫の売上や運賃などをカテゴリ別に分析し、売上原価と利益率を検討します。

### 請求書仕訳の検討

顧客売上の更新プログラムを実行するたびに、請求書仕訳が作成されます。このレポートには、処理オプションの設定方法に基づいて、集計または明細の総勘定元帳仕訳がリストされます。

請求書仕訳には総勘定元帳取引が以下の項目別にリストされます。

- 顧客勘定科目コード
- 請求書別合計金額
- 全オーダーの合計金額

## 売上仕訳の検討

顧客売上の更新を実行すると、このレポートが自動作成されますが、[受注オーダー レポート] メニュー (G42111) の [売上仕訳の印刷] を選択して、個別に実行することもできます。このレポートは、売上収益の分配方法を検討する場合に役立ちます。

請求書仕訳とは異なり、売上仕訳には集計情報のみが含まれます。このレポートには、合計請求金額、売上原価、利益金額および利益率が表示されます。

---

**重要:** 顧客売上の更新で、売上更新前に売上仕訳を印刷する印刷処理オプションを設定し、かつ売上仕訳の印刷 (R42810) のバージョンを参照しない場合、売上仕訳プログラムでは、顧客売上の更新に指定したものと同一データが使用されます。

---

## (ARG) Reviewing the Sales Journal for Argentina

The Print Sales Journal program (R42810) prints a report that shows the total amounts of the invoice at the detail level, including the tax totals and the legal number of the invoice.

## 売上仕訳の印刷 (R42810) の処理オプションの設定

以下の処理オプションを使用して、印刷モードのデフォルト値とコントロールを設定します。

### デフォルト 1

この処理オプションは、受注オーダーの状況コードを更新するかどうかを制御します。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <b>1. 受注オーダーの状況コード更新</b> | 受注オーダーの状況コードを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:状況コードを更新しません。<br>1: 受注オーダーの状況コードを更新します。 |
|--------------------------|---|

### デフォルト 2

この処理オプションは、受注オーダーの状況コードを一時変更するかどうかを制御します。

- |                   |   |
|-------------------|---|
| <b>一時変更用状況コード</b> | 処理オプションを 1 に設定した場合は、使用する新しい状況コードを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>ブランク:オーダー処理順序定義テーブル (F40203) 内の次の状況コードを使用します。<br>一時変更用状況コード: 受注オーダーの状況コードが一時変更されます。 |
|-------------------|---|

## 印刷

この処理オプションでは、レポートの印刷モードを制御します。

**通貨印刷モード**

レポートの印刷モードの値を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:国内通貨で印刷します。

1: 外貨で印刷します。

2: 国内通貨と外貨の両方で印刷します。

---

## (ARG) Updating Customer Sales for Argentina

This section provides an overview of updating customer sales and discusses how to update customer sales.

### Understanding Updating Customer Sales for Argentina

You run Update Customer Sales as the last step in sales order processing to update, verify, and post daily sales information. When you run this program, the system transfers the legal numbers of the invoices and the taxes that are generated during the Sales Order Management billing process to the Accounts Receivable system.

The Update Customer Sales program updates the F76A19 table. The accounts receivable invoice taxes are saved in the F76A18 table.

---

**注:** Detailed end of day processing is not supported. Verify that the processing options are set to summarize entries.

---

### Data Selection for Update Customer Sales

This data selection prevents the system from processing any unbilled lines and ensures that all of the lines of the invoice are included, regardless of their status:

Operator	Left Operand	Comparison	Right Operand
Where	BC Company (F4201) (CO)	is equal to	"00028"
And	BC Document (Voucher, Invoice, and so forth) (F4211) (DOC)	is not equal to	<Blank>
And	BC Document Type (F4211) (DCT)	is not equal to	<Blank>

### Updating Customer Sales for Argentina

Select End of Day Processing (G4213), Update Customer Sales.

---

## オーダーの再転記

このセクションでは、オーダーの再転記処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 処理中受注オーダーの再転記プログラムの実行
- 処理中受注オーダーの再転記 (R42995) の処理オプションの設定

## オーダーの再転記処理について

処理中受注オーダーの再転記プログラム (R42995) のバージョンを設定して、将来の受注オーダーを再引当して処理中の受注オーダーを再転記することができます。各機能では、それぞれ別の一連の処理が実行されます。

このプログラムでは以下の情報の復元または再計算は行われません。

- 非在庫品目
- キット構成品を含むオーダー
- 取り消し済み明細行
- 見出し情報がないオーダー

---

**重要:** 誰もシステムを使用していない時間に処理中受注オーダーの再転記を実行することを強くお勧めします。レコードはロックされません。そのため、更新中に受注オーダー レコードにアクセスすると、レコードが正しく処理されない可能性があります。

---

### 先日付受注オーダーの再引当

先日付オーダーを再引当するときに、以下の処理を行うように指定できます。

- 先日付受注オーダーに対する顧客の与信限度額をチェックする。
- 先日付受注オーダーに対して品目をハード コミットする。
- 先日付受注オーダーを検討するために保留する。

先日付受注オーダーを再引当すると、F4211 テーブルの予定ピッキング日付と、現在の日付に事業所固定情報プログラム (P41001) で指定した引当日数を加えた日付が比較されます。たとえば、6 月 5 日に自転車 1 台に対する受注オーダーを入力し、納期を 6 月 12 日、事業所固定情報で引当日数を 5 日間と指定した場合、以下の計算が行われます。

6 月 12 日 > (6 月 5 日 + 5 日) = 先日付引当日付

品目の約束納期 (6 月 12 日) が受注オーダー入力日付 (6 月 5 日) に事業所固定情報プログラムで指定した 5 日間の引当日数を足したものより後の日付であるため、オーダーが先日付で引き当てられます。品目の約束納期が受注オーダー入力日付に引当日数を足したものと等しい場合、先日付で引き当てられたオーダーが差し引かれます。

再引当手順が完了すると、先日付引当品目がある各明細行を表示したレポートを印刷することができます。このレポートは、先日付引当について更新済み情報が必要な場合に役立ちます。

### 処理中オーダーの復元

再転記は、システムの故障など通常とは異なる状況で実行します。処理中オーダーを全て再転記すると、保管場所からの引当が全て消去され、F4211 テーブルの数量に基づいて引当が復元されます。この再転記により、処理中オーダー (保留オーダーも含む) が整理され、ピッキングリスト、出荷確認、請求書の引当数量の変更により生じた引当可能数量計算の差異が解消されます。

[再転記] タブにある以下の処理オプションの設定に従って、品目の数量情報を消去して再計算できます。

- 品目引当の更新

- オーダー見出しの更新
- 顧客の受注残金額

保留中品目も常にこの手順に含まれます。

### オーダーの省略

以下の場合には、オーダーが省略されます。

- オーダーの次の状況が 999 である。
- 受注オーダーの見出しレコードに明細レコードがない。

### 同一バージョンの再引当と再転記の組み合わせ

1 つのバージョンを使用して先日付オーダーの再引当と処理中の受注オーダーの再転記の機能の両方を実行すると、バックオーダーが 2 回追加されます。バックオーダーの重複を防ぐために、[再転記] タブの処理オプション 1 がブランクの場合は、残りの処理オプションを 1 に設定する必要があります。同様に、[再転記] タブの処理オプション 1 が 1 の場合は、残りの処理オプションをブランクにする必要があります。2 つの個別のバージョンを設定することをお勧めします。1 つは先日付オーダーの再引当用、もう 1 つは再転記用です。

## 処理中受注オーダーの再転記プログラムの実行

[日次締め処理] (G4213) の [処理中受注オーダーの再転記] を選択します。

## 処理中受注オーダーの再転記 (R42995) の処理オプションの設定

以下の処理オプションを使用して、再引当と再転記のオプションを実行するときの機能を制御します。

### 再引当

この処理オプションでは、処理中および先日付の受注オーダーの再引当時に実行する機能を決定します。先日付オーダーを再引当するときに、顧客の与信限度、ハードコミット品目、または保留オーダーを自動チェックして検討できます。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <b>1. 先日付オーダーのハードコミット (将来使用)</b> | オーダーをハードコミットして、F0301 と F03B01 のテーブルの受注残額、および F4201 テーブルのオーダー合計を調整するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク:先日付受注オーダーに対して品目をハードコミットします。<br><br>1: 先日付受注オーダーに対して品目をハードコミットしません。<br><br>先日付受注オーダーを再引当すると、品目の約束納期と、受注オーダーの入力日付に事業所固定情報プログラムで指定した引当日数を加えた日付が比較されます。 |
| <b>2. 与信チェック保留コード</b>            | 先日付受注オーダーの顧客与信限度をチェックするために使用する保留コードを指定します。ブランクにすると、与信チェックを実行しません。UDC テーブル (42/HC) に設定されている保留コードを使用する必要があります。  |
| <b>3. 先日付オーダーの保留コード</b>          | 先日付受注オーダー全てに使用する保留コードを指定します。保留コードを入力すると、現在までにリリース済みの先日付オーダーを全て保留にします。UDC テーブル (42/HC) に設定されている保留コードを使用する必要があります。  |

#### 4. 受注オーダー入力 (P4210) のバージョン

受注オーダーの更新に使用する受注オーダー入力プログラム (P4210) のバージョンを指定します。在庫確認の必要がある場合は、在庫確認処理オプションをオンにしたバージョンを使用します。

### 再転記

この処理オプションでは、処理中および先日付受注オーダーの再引当時に実行する機能を決定します。引当やオーダー見出し合計、受注残額の更新などの処理を実行するかどうかをこの処理オプションで制御します。

#### 1. 先日付オーダーの再引当

受注オーダーの再転記時に、先日付オーダーの再引当を省略するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:先日付オーダーを再引当します。

1: 先日付オーダーの再引当を省略します。

オプション 1 を使用すると、他の処理オプションの設定には関係なくプログラムは再転記のみを実行し、先日付オーダーを再引当しません。

#### 2. 品目引当の更新

処理中の受注オーダーの再転記時に、F41021 テーブルからの値で引当フィールドの更新を省略するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:ピッキング リストの印刷、出荷確認、および請求を行った時点で引当が変更された場合、F4211 テーブルからの数量で引当フィールドを更新し、引当可能数量の計算をリセットします。

1: 再引当フィールドの更新を省略します。

常に取り消し行を処理し、保留中品目を更新に含めます。

#### 3. オーダー見出しの更新

処理中の受注オーダーの再転記時に、オーダー合計を F4211 テーブルの合計金額にリセットするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:オーダー見出しテーブルを、F4211 テーブルの合計累計に更新します。

1: オーダー見出しの合計の更新を省略します。

保留中品目は常に、更新に含められます。

#### 4. 顧客の受注残金額

処理中の受注オーダーの再転記時に、F4211 テーブルの顧客の受注残金額の更新を省略するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:受注残金額を F4211 テーブルの合計累計に更新し、顧客マスターテーブル (F0301) も更新します。

1: 顧客の受注残金額の更新を省略します。

保留中品目は常に更新に含められます。

## 仕訳バッチの検討および承認

顧客売上の更新プログラムで作成した総勘定元帳の仕訳を総勘定元帳に転記する前に検討することにより、正しい受注取引レコードを使用できます。

顧客売上の更新プログラムは、仕訳を転記するために各取引をバッチ タイプ別にグループ化します。

- 顧客売上 (バッチ タイプ IB)

売上、売上原価および在庫に関する仕訳を顧客売上仕訳帳に転記します。

顧客売上の更新プログラムの集計処理オプションで、集計または明細の形式で仕訳の書き込みを設定している場合、バッチ タイプ IB が作成されます。

- 在庫/売上原価 (バッチ タイプ G)

在庫/売上原価仕訳に転記します。

顧客売上の更新プログラムの集計処理オプションで、売上原価と在庫の仕訳を個別バッチに集計するように設定した場合、各仕訳に対してバッチ タイプ G が作成されます。

各バッチの情報を以下の 3 つのレベルで検討することができます。

- 全般的なバッチの検討

ユーザー ID、バッチ状況、バッチ番号、および入力日付範囲別にバッチを表示します。

- 明細バッチの検討

請求書番号、伝票タイプ、および総額などの、単一バッチに対する仕訳の見出し情報を表示します。

- 個別仕訳の検討

売上原価、在庫、または収益の勘定に対する借方の金額などの、仕訳の明細情報を表示します。

この情報を使用して、以下のことができます。

- 状況や日付範囲など、各バッチに特定の情報を検討する。
- バッチ内の取引の追加または変更を行う。
- バッチの状況を変更する。

---

## 仕訳バッチの転記

仕訳のバッチを検討し承認した後で、仕訳の転記プログラム (R09801) を使用して、各タイプの取引の編集および転記を行うことができます。

またこのプログラムは、F0911 テーブル用の取引バッチを編集し、バッチ状況を更新して勘定残高テーブル (F0902) への転記を可能にします。編集集中にエラーが発生した場合は、バッチにエラー状況が割り当てられ、転記は行われません。

任意で、税テーブル (F0018) の税情報を更新することもできます。税ファイルが更新されなかったり更新が正しく行われなかった場合、その情報を再転記することはできません。

仕訳を転記した後に、仕訳のバッチが正しく転記されたことを確認します。このプログラムでは転記情報を確認するための各種メッセージとレポートも作成されます。

### 事業所間売上の転記

異なる会社の事業所間売上取引が転記される場合は、転記プログラムを使って会社間決済項目が作成され、2 つの会社の残高が調整されます。

### 転記処理中の変更

転記の実行中は、勘定科目や受注管理システムの AAI、または転記プログラム用の処理オプションを変更しないでください。



## 転記プログラムのカスタマイズ

転記プログラムは多くの複雑な処理を実行します。転記プログラムは、原則としてカスタマイズしないでください。

### 仕訳転記の確認

仕訳を転記した後に、仕訳のバッチが正しく転記されたことを確認します。転記されていないバッチがある場合には、バッチが転記される前にエラーを全て修正し、バッチを承認済み状況に設定する必要があります。このプログラムでは転記情報を確認するための各種メッセージとレポートも作成されます。

### メッセージの電子メールの検討

エラーが発生した場合、およびジョブが清浄に終了した場合には、従業員ワーク センターに電子メールでメッセージが送信されます。転記プログラムの実行後は、ジョブの状況を確認するために電子メールをチェックする必要があります。ジョブが正常に完了していない場合は、エラー メッセージを検討します。通常は、ジョブにエラーがあることを伝えるメッセージが送信され、次にエラーの内容を説明するメッセージが 1 通以上送信されます。

エラー メッセージから [バッチの処理] フォームにアクセスして、問題を特定し対話形式で変更することができます。

### 転記レポートの検討

F0902 テーブルと F0911 テーブルに転記した取引を確認するには、転記レポートを確認します。

転記レポートには、正常に転記されたバッチの一覧が表示されます。バッチにエラーがあった場合、レポートの最後にエラーが検出されたことを示すメッセージが印刷されます。電子メールをチェックして詳細に関するメッセージを検討してください。電子メールから [バッチの処理] フォームと [仕訳入力] フォームにアクセスして、エラーを修正することができます。

---

## (Rapid Start AUS and NZL) Posting Invoices

This section discusses:

- How to post invoices for transfer order without receipt routing.
- How to post invoices for intercompany sales order.

### Posting Invoices for Transfer Order Without Receipt Routing

This table lists the tasks for posting invoices for transfer order without receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version
Post invoices for transfer order without receipt routing.	Review and Post Invoices Post an Invoice Batch	R09801/RIS0006

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)」、678 ページ

## Posting Invoices for Intercompany Sales Order

This table lists the tasks for posting invoices for intercompany sales order:

Task	Navigation	Program and Version
Post invoices for intercompany sales order.	Review and Post Invoices Post an Invoice Batch	R09801/RIS0006

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)」、678ページ

---

## (Rapid Start CAN and USA) Posting Sales Transactions for Transfer Orders

This section discusses how to post sales transactions for transfer orders with receipt routing.

### Posting Sales Transactions for Transfer Orders with Receipt Routing

This table lists the tasks for posting sales transactions for transfer order with receipt routing:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post sales transactions for transfer order with receipt routing.	Post to the General Ledger  Post Sales Transactions	R09801/RIS0006	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Types: ST and OT.</li> <li>Line Type: S (Stock Item).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type ST, OT, and line type S.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Verify that branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. B10 is used to transfer goods from and B20 is the branch that receives the goods.</li> <li>Enter item numbers as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers.</li> <li>Verify that the PINS process is setup in the routing. This two-step process takes the item to In-Transit and then Stock. Address book number 99999900 is associated with branch/plant B10 and B20.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)」, 678ページ

---

## (Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Posting Sales Transactions for Selling a Make-To-Order Item

This section discusses how to post sales transactions for selling a make-to-order item.

### Posting Sales Transactions for Selling a Make-To-Order Item

This table lists the tasks for posting sales transactions for selling a make-to-order item:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post sales transactions for selling a make-to-order item.	Post to the General Ledger  Post Sales Transactions	R09801/RIS0006	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: W (Make-to-Order Item), F (Freight Line), and T (Text Line).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line types F, W, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Work Order Status: 10, 20, 30, 80, 82, 84, 86, 88, 94, 95, 96, 97, and 99.</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> <li>Manufacturing Item: Item Sample1 is set for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)」、678ページ

## (Rapid Start) Posting Journal Entries for Customer Credit

This section discusses:

- How to post journal entries for customer credit with return.
- How to post journal entries for customer credit without return.
- Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)

### Posting Journal Entries for Customer Credit with Return

This table lists the tasks for posting journal entries for customer credit with return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post journal entries for customer credit with return.	Post the General Ledger  Post Sales Transactions	R09801/RIS0006	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Document Type: CO (Sales Order), II (Inventory Issue), and IT (Inventory Transfer)</li> <li>• Line Type: C (Credit Stock Item).</li> <li>• Order activity rules are set up for the combination of document type CO and line type C.</li> <li>• Hold Code: XX (Administrative Hold)</li> <li>• AAI's are set up for inventory issues and transfers using document types II and IT.</li> <li>• Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	Create a location in the branch/plant for returned product. Place the location on hold and ensure that the branch/plant constants exclude held quantities from the availability calculation.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)」、678ページ

## Posting Journal Entries for Customer Credit Without Return

This table lists the tasks for posting journal entries for customer credit without return:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post journal entries for customer credit without return.	Post to the General Ledger  Post All Invoices	R09801/RIS0006	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: CO (Credit Order)</li> <li>Line Type: CN (Miscellaneous Credit)</li> <li>Order activity rules exist for the combination of document type CO and line type CN.</li> <li>Hold Code: XX (Administrative Hold)</li> <li>Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Set up required AAIs.</li> <li>Activate the Edit Item Master for Non-Stock Items option in the Line Type Constants.</li> <li>Set up any required dummy item numbers.</li> <li>Verify that the GL class code for the item master is correct.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0006.

### Print

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	1

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank

**Taxes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	3
2. Update VAT Discounts	2
3. Update VAT Receipts and W/O	2

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

**Cash Basis**

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

**関連項目:**

JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「仕訳の処理」、「総勘定元帳への転記 (R09801) の処理オプションの設定」

---

## (Rapid Start) Posting Invoices for Selling from Inventory

This section discusses how to post an invoice for selling from inventory:

### Posting an Invoice for Selling from Inventory

This table lists the tasks for posting invoices for selling from inventory:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post invoices for selling from inventory.	Post to the General Ledger  Post All Invoices	R09801 /RIS0006	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: S (Stock Item), F (Freight Line), and T (Text Lin).e</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line types F, S, and T.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Purchased Item: Item Sample3, Sample4 can be used for this process.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To produce a packing list from the shipment confirmation transaction, ensure that 562 (Print Packing List) is in the status flow in the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to print the invoice automatically via the subsystem and reference version RIS0004 of R42565 on the Versions tab of P4205.</li> <li>To produce a packing list after the shipment confirmation transaction, add status 563 to and remove status 562 from the order activity rules. Set the processing option on the Print tab of P4205 to not print the invoice automatically via the subsystem.</li> <li>Remove the bill of lading from the process, if necessary.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)」、678ページ

## (Rapid Start) Posting Sales Transactions for Selling Direct Ship Items

This section discusses how to post sales transactions for selling a direct ship item.

### Posting Sales Transactions for Selling a Direct Ship Item

This table lists the tasks for posting sales transactions for selling a direct ship item:



Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data	Data to Configure Onsite
Post sales transactions for selling a direct ship item.	Post to the General Ledger Post All Invoices	R09801 /RIS0006	<ul style="list-style-type: none"> <li>Document Type: SO</li> <li>Line Type: D (Direct Ship Item).</li> <li>Order activity rules are set up for the combination of document type SO and line type D.</li> <li>Hold Code: C1 (Credit Hold) and XX (Administrative Hold).</li> <li>Item Sample3, Sample4 can be used for this process. Item Sample5 is set up for direct ship orders.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Determine if SO/OP or SD/OD will be used and perform additional setup as required.</li> <li>Enter a single price for each item as part of item setup.</li> <li>Branch/plant B10 is set up in the preconfigured data. Some setup will need to be changed if other branches are used.</li> <li>Enter item numbers in the system as part of defining inventory.</li> <li>Enter customer numbers in the system.</li> </ul>

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「Preconfigured Processing Options for Rapid Start Invoice Post (R09801)」、678ページ

## データの除去

このセクションでは、受注管理と受注オーダー テキスト行の除去プログラムの概要、および以下の方法について説明します。

- 受注オーダーのテキスト行の除去
- 受注オーダーの見出しレコードの除去
- 処理済みの受注オーダー バッチの除去
- 受注オーダー明細行の除去
- 監査ログ トランザクションの除去
- 監査ログの除去 (R42420) の処理オプションの設定

### 受注管理の除去プログラムについて

データが古くなったり、ディスク スペースが足りなくなった場合に、除去プログラムを使用してテーブルからデータを削除できます。

このシステムにはテーブルからデータを除去するプログラムがあり、除去するデータを選択基準で詳細に指定できます。除去プログラムには事前定義済みの選択基準があり、データを削除する前にチェックされます。この選択基準により、他のテーブルの関連データを削除することを防止します。

データの除去は、次のタスクから構成されます。

- 削除する情報の指定
- 除去プログラムの実行
- テーブル構造を再構成するテーブル再編成プログラムの実行

## 受注オーダー テキスト行の除去プログラムについて

受注オーダー/購買テキスト明細行テーブルから特定の情報を削除するには、テキスト行の終了プログラム (R42960) を使用します。

この除去では、F4211 テーブルと購買明細ファイル テーブル (F4311) に、オーダー タイプおよびオーダー番号の組み合わせが一致する未処理明細行があるかどうかチェックされます。以下の処理のいずれかが実行されます。

- 一致するレコードがない場合は、テキスト行テーブルから終了テキスト行が削除されます。
- 一致するレコードがある場合は、その明細テーブルの状況が 999 の場合にのみテキスト行テーブルから終了テキスト行が削除されます。

### 有効なオーダー行の除去

オーダーのその他の行が全て終了している場合にのみ、テキスト行の終了プログラムにより終了テキスト行が削除されます。状況が 999 以外のオーダー行は削除できません。

テキスト行の終了プログラムを使用して、未処理の明細行がないオーダーのテキスト行の状況を「999 (終了)」に変更することができます。顧客売上の更新プログラムの処理オプションで終了オーダーのテキスト行を除去するように設定していない場合にのみ、このプログラムを使用します。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 影響を受けるテーブルをバックアップします。
- 除去するデータを決定します。
- 除去と再構成を行うデータを他のユーザーが使用していないことを確認します。

## 受注オーダーのテキスト行の除去

[テーブル データの除去] (G42312) の [受注オーダーのテキスト行] を選択します。

## 受注オーダーの見出しレコードの除去

F4201 テーブルから受注見出しレコードを削除するには、受注見出しの除去プログラムを使用します。一致するオーダー タイプとオーダー番号の組み合わせを F4211 テーブルに持つ処理中の明細行がない場合にのみ、F4201 テーブルからレコードが除去されます。レコードの除去に加えて、任意で情報を F42019 テーブルに移動することができます。処理オプションで情報を移動するかどうかを指定します。

[テーブル データの除去] (G42312) の [受注見出し (F4201) の除去] を選択します。

## 処理済み受注オーダー バッチの除去

バッチ入荷確認ファイルの除去プログラム (R4001ZP) を使用して、バッチ入荷確認テーブルから処理済み受注オーダーを削除します。バッチ入荷確認テーブルの [処理済み(Y/N)] フィールドが Y のレコードのみが選択されます。

この除去を行ってもバッチ入荷確認ファイル — 出荷先数量テーブル (F4012Z) からレコードは削除されません。このテーブルからデータを除去するには、除去 (一般) プログラムを使用します。

[テーブル データの除去] (G42312) の [バッチ入荷確認テーブル除去] を選択します。

## 受注オーダー明細行の除去

状況が 999 の明細行を F4211 テーブルから除去して、F42119 テーブルに移動するには、明細から履歴への除去プログラム (R42996) を実行します。

顧客売上を更新するときに、このプログラムを実行できます。

[テーブル データの除去] (G42312) の [明細から履歴への除去] を選択します。

## 監査ログ トランザクションの除去

監査ログ トランザクション テーブル (F42420) からレコードを削除するには、監査ログの除去プログラム (R42420) を使用します。オーダーがまだ存在しているかどうかを確認するために、F4211 テーブルがチェックされます。さらに、監査ログの除去プログラムの処理オプションを設定している場合は、オーダーがまだ存在しているかどうかを確認するために F42119 テーブルがチェックされます。いずれのテーブルにもオーダーが存在していない場合は、F42420 テーブルにあるオーダーに対応するレコードが削除されます。

[テーブル データの除去] (G42312) の [監査ログの除去] を選択します。

## 監査ログの除去 (R42420) の処理オプションの設定

この処理オプションを使用して、監査ログを除去するかどうかを制御します。

### オプションの除去

監査ログ レコードが F42119 テーブルに存在するかどうかを確認するには、1 を入力します。

---

## (ARG) Purging Sales Orders for Argentina

This section provides an overview of the purge process for Argentinean sales orders and discusses how to run the Invoice Total Purge – Argentina program.

### Understanding the Purge Process for Argentinean Sales Orders

The Invoice Total Purge –Argentina– program (R76A09P) purges the localized tables and saves their information in new tables. The program first verifies that the records in the Invoice Total table (F76A09) correspond to records with a next status of 999 in the F4211 table. The program then purges the records from these tables:

- Invoice Total (F76A09).
- Taxes – Tax Amounts by Sales Order Line (F76A18).
- Credit Invoice Header (F76A21).
- Credit Invoice Detail (F76A22).
- Credit Invoice Withholding (F76A23).
- Header & Footer Invoice/Shipment Note History WF (F76A0209).

- Detail Lines Invoice/Shipment Note History WF (F76A0219).

The program saves the purged information to these tables:

- Invoice Total Purge (F76A09P).
- Taxes – Tax Amounts Sales Order Line Purge (F76A18P).
- Credit Invoice Header Purge (F76A21P).
- Credit Invoice Detail Purge (F76A22P).
- Credit Invoice Withholding Purge (F76A23P).
- Header/Footer Inv./Shipment Note History WF Purge (F76A020P).
- Detail Lines Inv./Shipment Note History WF Purge (F76A021P).

---

**注:** If the program does not find F4211 records that correspond to records in table F76A09, the program assumes that these records have been moved to the Sales Order History File table and eliminates the records.

---

After you run the Invoice Total Purge –Argentine– program (R76A09P), run these purge programs:

- Sales Header Purge (F4201) (R4201P).
- Sales Order Detail (F4211) (R4211P).

---

**注:** The purge processes always run in final mode.

---

## Running the Invoice Total Purge – Argentine Program

Select Processes (G76A03B1), Invoice Total Purge –Argentine–.

## 第 17 章

# 返品承認の設定

この章では、返品承認 (RMA) の概要と、以下の方法について説明します。

- 返品承認デフォルト値の設定
- 返品承認の設定
- 返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新の実行
- 返品承認の除去プログラムの実行

---

## 返品承認について

返品承認 (RMA) は、仕入先が顧客からの返品に対して貸方入力、交換、修理を承認することです。仕入先用に、在庫の返品をトラッキングするための承認番号が作成されます。RGA (返品承認) とも呼ばれます。

返品承認を作成するには、返品を受け取るための購買オーダーと、交換製品を出荷するための受注オーダーを作成します。交換製品を出荷する代わりに、返品オーダーを作成することもできます。購買オーダーと受注オーダーの作成方法を指定するには、受注オーダー入力 (P4210) と購買オーダー (P4310) の各バージョンの処理オプションを設定し、それらのバージョンを返品承認の改訂 (P40052) で指定します。

### 一般的なビジネス例

あるコンピュータ販売会社が 6 ケ月の保証付きでラップトップ コンピュータを顧客 123 に販売したとします。顧客 123 はその 3 ケ月後ラップトップ コンピュータが壊れ、修理を依頼しました。コンピュータ販売会社は RMA を作成し、それによって受注オーダーと購買オーダーが自動的に作成されます。受注オーダーを使用して新しいコンピュータを出荷し、購買オーダーを使用して故障したコンピュータの入荷をトラッキングします。このコンピュータ販売会社の方針では、顧客が故障したコンピュータを 20 日以内に返品すれば、一切請求を行わないことになっています。20 日を過ぎると、新しいコンピュータの料金が顧客に請求されます。この顧客の場合は、故障したラップトップ コンピュータを 20 日以内に返品したので、出荷確認された時点で受注オーダーは取消になります。

この例は単一のトラッキングトランザクションの場合で、受注オーダーと購買オーダーをこのトランザクションに結び付けることができます。

---

## 返品承認デフォルト値の設定

このセクションでは、返品承認デフォルト情報の設定の概要と、以下の方法について説明します。

- 返品承認の改訂の処理オプションの設定

- 返品承認デフォルト値の設定 (P40052)

## 返品承認デフォルト値について

返品承認デフォルト情報を設定する際、サービス タイプ、モデル、推奨部品、返品承認タイプ、サービス 業者を基準としたデフォルト データを使用して出荷用部品が予約、リリースされるようシステムに指示します。購買オーダー、返品オーダーおよび受注オーダーの返品承認デフォルト情報を入力します。

住所録情報は、サービス オーダー入力時に作成された作業オーダー マスター(F4801) から取り込まれます。

サービス オーダーからの返品承認を入力すると、サービス業者情報がサービス オーダーから取り込まれます。メニューから直接返品承認を入力した場合、サービス業者は自動入力されません。この場合、[出荷先] の値が顧客のデフォルト値として使用されます。

[検索順序] フォームで、コールと配送経路規則が一致する組合せを検索するための順序を定義します。検索はもっとも詳細なものから一般的なものへ順番に進められます。各フィールドの項目を階層型検索に組み込む場合は「Y」、組み込まない場合は「N」を入力します。

## 返品承認デフォルトの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[返品承認 (RMA) デフォルト値の改訂]	W40052B	[日次受注オーダー管理処理] メニュー (G4210)、[追加オーダー処理] (G4212)、[返品承認デフォルト]	返品承認デフォルト値を設定します。

## 返品承認の改訂 (P400511) の処理オプションの設定

次の処理オプションで、システム デフォルト値の設定、編集するフィールドの制御、システム処理の制御、およびバージョンの指定を行います。

### デフォルト

次の処理オプションで、RMA の改訂処理で使用するデフォルト情報を制御します。

- デフォルトの返品承認 (RMA) 伝票タイプ**

デフォルトの返品承認 (RMA) 伝票タイプの UDC 00/DT を入力します。たとえば、R8 または R9 を入力します。
- 受注オーダーへの作業オーダー番号**

受注オーダーの補助元帳フィールドに作業オーダー番号を入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 受注オーダーの補助元帳フィールドに作業オーダー番号は入力しません。

1: 受注オーダーの補助元帳フィールドに作業オーダー番号が入力されます。
- サービス作業オーダーからの在庫品目番号**

部品の入荷時に RMA に品目番号を入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入荷時に品目番号は入力しません。

1: サービス作業オーダー見出しからの入荷に対し在庫品目番号を入力します。

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <b>4. サービス作業オーダーからの出荷在庫品目番号</b> | <p>部品の出荷時に RMA に品目番号を入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 出荷伝票に品目番号は入力しません。</p> <p>1: サービス作業オーダー見出しからの出荷在庫品目番号を入力します。</p> |
| <b>5. サービス作業オーダーからの入荷設備 No.</b> | <p>部品の入荷時に RMA に設備シリアル番号を入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: シリアル番号を入力しません。</p> <p>1: 部品の入荷時に RMA にシリアル番号を入力します。</p>     |
| <b>6. サービス作業オーダーからの出荷設備 No.</b> | <p>部品の出荷時に RMA に設備シリアル番号を入力するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: シリアル番号を入力しません。</p> <p>1: 部品の出荷時に RMA にシリアル番号を入力します。</p>     |
| <b>7. クレジット メモの行タイプ</b>         | <p>販売明細から RMA が作成され、RMA によってクレジット メモが作成される場合の RMA 明細行の行タイプを指定します。UDC 40/RN から値を入力します。</p>                                      |
| <b>8. 保証請求の前の処分</b>             | <p>保証請求から RMA が作成される場合に、RMA 明細行を作成するための行タイプを示す UDC (40/RN) 値を指定します。</p>  |
| <b>9. 仕入先回収請求の前の処分</b>          | <p>仕入先回収請求から RMA が作成される場合に、RMA 明細行を作成するための行タイプを示す UDC (40/RN) 値を指定します。</p>   |

## 編集

次の処理オプションで、RMA の入力時に必要となるフィールドを制御します。

- |                      |   |
|----------------------|---|
| <b>1. 作業オーダー番号</b>   | <p>RMA を入力する際に、作業オーダー番号を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 作業オーダー番号は必須ではありません。</p> <p>1: 作業オーダー番号は必須です。</p>       |
| <b>2. 要求番号</b>       | <p>RMA を入力する際に、要求番号を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 要求番号は必須ではありません。</p> <p>1: 要求番号は必須です。</p>                   |
| <b>3. 当初受注オーダー番号</b> | <p>RMA を入力する際に、当初受注オーダー番号を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 当初受注オーダー番号は必須ではありません。</p> <p>1: 当初受注オーダー番号は必須です。</p> |
| <b>4. 当初請求書番号</b>    | <p>RMA を入力する際に、当初請求書番号を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 当初請求書番号は必須ではありません。</p> <p>1: 当初請求書番号は必須です。</p>          |

- 5. 受注オーダー変更の理由コード** RMA を入力する際に、理由コードを必須にするかどうかを指定します。  
ブランク:理由コードは必須ではありません。  
1: RMA の作成時に理由コードは必須です。  
2: 処分の添付時に理由コードは必須です。

## 処理

次の処理オプションで、返品が予定される商品のメッセージを送信するかどうか、部品リストの検索/選択フィールドを追加モードで表示するかどうかを制御します。

- 1. 返品が予定される商品のメッセージの送信** 返品が予定される商品のメッセージを送信するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:メッセージを送信しません。  
1: メッセージを送信します。
- 2. 追加モードでの部品リストの検索/選択の表示** 追加モードで部品リストの検索/選択を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:追加モードでは部品リストの検索/選択を表示しません。  
1: 追加モードで部品リストの検索/選択を表示します。

## バージョン

次の処理オプションで、プログラムで呼び出されるバージョンを制御します。

- 1. クレジット メモ** クレジット メモ (P42025) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 2. 顧客の追加** 顧客の追加 (P01015) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 3. 作業オーダーの処理** 作業オーダーの処理 (P48201) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0002 が使用されます。
- 4. 保守要求の処理** 保守要求の処理 (P17500) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 5. オンライン請求書照会** オンライン請求書照会 (P42230) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 6. 出荷確認** 出荷確認 (P4205) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 7. 入荷確認照会** 入荷確認照会 (P43214) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 8. 品目引当可能数量** 品目引当可能数量 (P41202) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 9. 品目相互参照** 品目相互参照 (P4104) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
- 10. 購買オーダー入荷入力** 購買オーダー入荷入力 (P4312) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。



## 11. 受注残照会

受注残照会 (P4310) のバージョンを入力します。ブランクのままにしておくと、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

## 返品承認デフォルト値の設定

[返品承認 (RMA) デフォルト値の改訂] フォームにアクセスします。

**返品承認デフォルト - 返品承認(RMA)デフォルト 値の改訂**

返品承認(RMA)デフォルトの処理    返品承認(RMA)デフォルト値の改訂

OK(O) キャンセル(L) 前へ 次へ ツール(T)

返品承認タイプ	R6	RMA - Sales Order	事業所	
サービス・タイプ			サービス・グループ	
サービス業者				

修理可能事業所 *	30
修理可能保管場所	
仕損事業所 *	30
仕損保管場所	SC.RAP.
購買オーダー・バージョン	ZJDE0014    Return Material Authorization
入荷リードタイム	10    日

[返品承認 (RMA) デフォルト値の改訂] フォーム

## [サービス グループ]

地域、提供されるサービス タイプ、請求条件など、エンド ユーザーがサービス業者を論理グループに分類できるようにするためのサービス業者の属性。

## [修理可能事業所]

修理可能保管場所が属する事業所。このフィールドは、RMA から作成された購買オーダー明細行に表示されます。

## [修理可能保管場所]

在庫を入庫する倉庫内の区域。保管場所フォーマットは事業所別にユーザーが定義します。

返品された在庫品目が修理可能である場合、その在庫品目は修理可能事業所に割り当てられます。返品された在庫品目が修理不能である場合、仕損事業所に割り当てられます。

## [仕損事業所]

このビジネスユニットは、売掛金請求書を生成するために使用します。

## [購買オーダー バージョン]

購買オーダーの作成に使用される購買オーダー入力のバージョン (P4310)。

[入荷リードタイム]	返品在庫品目番号の約束納入日付の計算に、[入荷リードタイム] フィールドの値が使用されます。
[出荷事業所]	受注オーダー明細行の出荷事業所。
[出荷保管場所]	RMA から作成された受注オーダーの出荷保管場所。ブランクのままにした場合、オーダー明細行は基本保管場所にソフトコミットされます。保管場所が指定されている場合、この保管場所へのハードコミットとしてオーダー明細行が表示され、それに合わせて品目保管場所テーブル (F41021) が更新されます。
[受注オーダー バージョン]	受注オーダーの作成に使用される受注オーダー入力のバージョン。

---

## 返品承認の設定

このセクションでは、返品承認の概要と以下の方法について説明します。

- 返品承認の処理の処理オプションの設定
- 返品承認の入力

### 返品承認の設定について

返品承認 (RMA) とは、払戻、交換、または修理のための顧客からの返品を仕入先が承認することです。仕入先用に、在庫の返品をトラッキングするための承認番号が作成されます。この一連のプログラムで、在庫品目番号で返品在庫を管理しているユーザーをサポートします。

返品を受け取る際に購買オーダーを作成すると、入荷工程、倉庫貯蔵、および品質検査などのシステム処理を利用できます。また、顧客に代替品目を出荷する受注オーダーを作成したり、返品用の貸方入力する返品オーダーを作成することもできます。

返品承認モジュールの機能は次のとおりです。

- 返品されていない部品または機械に対する請求処理のトリガ
- 在庫削減、用途にもとづいた発注点予測
- 部品番号が使用される際の（予約、出荷、入荷、残高調整、バックオーダー補充など）の部品代用

返品を管理して、貸方入力または修理するには、返品承認情報を入力します。顧客から欠陥品目についてクレームの電話がかかってきた場合、返品承認プログラムを使用して次の処理を行うことができます。

- 返品に対する承認番号の採番
- 返品品目を記録する購買オーダーの定義
- 顧客の勘定科目に貸方入力する返品オーダーの定義
- 出荷品目を予約およびリリースする受注オーダーの定義
- 返品に対する受注オーダー番号または請求書番号の関連付け
- 品目の受領または再出荷などの他の処分タイプの実行

必要に応じて、コンサルタントは返品修理用のサービス オーダーを入力できます。また、サービス オーダーが承認の見出しに記載されている場合、返品承認処理を使用して顧客、サービス業者、技術者に対して置換品目を出荷することも可能です。返品承認を入力すると、返品承認テーブル (F40051) にレコードが作成されます。

返品承認番号の生成には自動採番機能が使用されます。返品承認番号により、購買オーダーと受注オーダーが関連付けられます。

購買オーダーまたは受注オーダーの情報を入力できます。適切なオプションを選ぶことで、生成されるオーダータイプを選択して、オーダー情報を入力できます。たとえば、請求書を作成する場合は、受注オーダーを選んで [ロー] メニューから [オンライン請求書] を選択します。

## クレジット メモ

クレジット メモを入力すると、既存の受注オーダーに対する逆仕訳が作成されます。これにより、受注オーダーの金額が差し引かれます。

クレジット メモを作成する際に、オーダーの履歴 (販売実績) 情報が表示されます。ここからオーダー全体またはオーダー明細行を選択することができます。クレジット メモは、オーダーまたはオーダー明細行の組合せから作成できます。オーダーまたはオーダー明細行を選択すると、販売履歴照会 (P42025) から [返品承認の改訂] に情報が取り込まれます。[販売履歴照会] を終了した後に、与信情報を確認できます。

金額を貸方入力するには、行タイプに返品取引を示すコードが指定されている必要があります。

クレジット メモを作成する際、販売明細履歴テーブル (F42199) からオーダーの履歴情報が取り込まれます。

---

**注:** クレジット メモを消去すると、[フォーム] メニューから [クレジット メモの消去] を選択するたびに与信額が清算されます。

---

クレジット メモの作成後に与信情報を削除するには、[返品承認の改訂] で、該当する明細行を消去します。

一度に 1 つのオーダー明細行が取り込まれます。

誤った明細行またはオーダーを選択してクレジット メモを作成してしまった場合、返品オーダーの作成前であれば、与信情報を消去することができます。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 受注オーダーと購買オーダーを作成するためのデフォルト値を定義します。
- 返品承認状況用ユーザ一定義コード (40/RN) を設定します。
- 次のシステムが購入およびインストール済みであることを確認します。必ずこれらのシステムをインストールして、返品承認の処理 (P40051) を使用できるようにしてください。
  - システム 41: 在庫管理
  - システム 42: 受注管理
  - システム 43: 調達管理
- 返品承認用に固有の伝票タイプを設定します。
- 返品オーダー用に [受注オーダー入力] のバージョンを設定します。
- 返品承認用に [販売履歴照会] のバージョンを設定します。請求済みのオーダーのみを取り込むように、販売履歴照会プログラムの状況コードに関する処理オプションを設定してください。
- [返品承認の処理] と [返品承認の改訂] のバージョンを設定します。[返品処理の改訂] の処理オプションで、返品処理用に設定する [販売履歴照会] のバージョンを入力できます。

- 返品承認デフォルト プログラムを設定します。[返品承認 (RMA) デフォルト] で、返品承認に使用する受注オーダー入力、返品オーダー、購買オーダーのバージョンを指定できます。ブランクにした場合、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

### 関連項目:

第 17 章、「返品承認の設定」、「返品承認デフォルト値の設定」、685ページ

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:Foundation

第 7 章、「受注オーダーの入力」、「デフォルト行情報の入力」、168ページ

## 返品承認の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[返品承認 (RMA) の改訂]	W400511E	<p>[作業オーダー日次処理] (G1712) または [追加オーダー処理] (G4212)、[返品承認]</p> <p>[返品承認 (RMA) の処理] で、[追加] をクリックします。</p> <p>クレジットメモを追加するには、[返品承認 (RMA) の改訂] の [フォーム] メニューで [販売明細実績] を選択します。[クレジットメモ] を選択した後、[販売履歴照会の処理] の [ロー] メニューで明細行またはオーダーを選択します。</p>	返品承認およびクレジットメモを設定します。

## 返品承認 (RMA) の処理 (P40051) の処理オプションの設定

次の処理オプションで、システム デフォルト値の設定およびバージョンの指定を行います。

### デフォルト

次の処理オプションで、返品承認情報を入力する際に提供されるデフォルト情報を制御します。

- 1. 返品承認伝票タイプ**

作成する返品承認レコードの伝票タイプを示す UDC (00, DT) を指定します。たとえば、受注オーダーを作成する返品承認の場合は R8、返品オーダーを作成する返品承認の場合は R9 を指定します。
- 2. 見出し事業所**

デフォルト事業所を指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: ユーザー保管場所から事業所を使用します。

  - 1: 出荷先住所から事業所を使用します。
  - 2: 販売先住所から事業所を使用します。
- 3. デフォルト事業所**

返品承認レコードを作成するときのデフォルト事業所を指定します。データ入力に既存の事業所値を使用できます。

## バージョン

次の処理オプションで、使用するプログラムのバージョンを制御します。

- |  |   |
|--|---|
| 1. 返品承認 (RMA) の改訂<br>- P400511(ZJDE0001) | 返品承認情報の入力に使用する、返品承認の改訂プログラムのバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| 2. 出荷確認 - P04205<br>(ZJDE0001)           | 返品承認 (RMA) から作成される受注オーダーの出荷確認に使用する、出荷確認プログラムのバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。                             |
| 3. 入荷入力 - P4312<br>(ZJDE0001)            | 入荷の入力に使用する購買オーダー入荷プログラムのバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| 4. 受注オーダー入力 -<br>P4210 (ZJDE0001)        | 返品承認 (RMA) の処理プログラム (P40051) からのアクセスに使用する受注オーダー入力プログラムのバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。                   |
| 5. 購買オーダー入力 -<br>P4310 (ZJDE0001)        | 返品承認 (RMA) の処理プログラム (P40051) から購買オーダー プログラムへのアクセスに使用する購買オーダー入力のバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。           |
| 6. 作業オーダーの改訂 -<br>P17714 (ZJDE0001)      | 作業オーダーの作成に使用する、作業オーダーの改訂プログラム (P17714) のバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。                                  |
| 7. オンライン請求書 -<br>P42230 (ZJDE0001)       | 返品承認 (RMA) から作成される受注オーダーの請求書の作成に使用するオンライン請求書照会プログラム (P42230) のバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。            |
| 8. 入荷確認照会 - P43214<br>(ZJDE0001)         | 返品承認 (RMA) から作成される購買オーダーの検索に使用する入荷確認照会プログラム (P43214) のバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。                    |
| 9. 入荷確認 - P4312<br>(ZJDE0001)            | 購買オーダー入荷の入力に使用する購買オーダー入荷プログラムのバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。  |
| 10. 作業オーダーの処理 -<br>P48201 (ZJDE0002)     | 作業オーダーの検索または追加に使用する、作業オーダーの処理プログラム (P48201) のバージョンを指定します。空白の場合、バージョン ZJDE0002 が使用されます。                                |
| 11. ケースの処理 - P17500<br>(ZJDE0001)        | 返品承認に該当する要求番号の検索に使用する、ケースの処理 (P17500) のバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。                                 |
| 12. 設備マスターの処理 -<br>P1701 (ZJDE0001)      | 設備マスター レコードの追加または検索に使用する、設備マスターの処理プログラム (P1701) のバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン ZJDE0001 が使用されます。                         |
| 13. ピッキング リストの印刷<br>- R42520 (XJDE0001)  | 返品承認 (RMA) を使用して作成した受注オーダーのピッキング リストの処理に使用する、ピッキング リストの印刷プログラム (R42520) のバージョンを指定します。空白にした場合は、バージョン XJDE0001 が使用されます。 |

## 返品承認の入力

[返品承認 (RMA) の改訂] フォームにアクセスします。

### [顧客]

住所録レコードを識別するユーザー定義の名前または番号。この番号を使用して、住所録レコードに関する情報の検索や入力ができます。住所番号 (AN8) 以外の値 (詳細住所、税 ID など) を入力する場合は、住所録固定情報で定義した特殊文字を先頭に付ける必要があります。レコードを検索すると、このフィールドに住所番号が表示されます。

たとえば、住所番号 4100 (Total Solutions) の詳細住所が TOTAL で、住所録固定情報で定義した詳細住所を区別する文字が \* (アスタリスク) の場合、このフィールドに TOTAL\* と入力して検索すると、住所番号 4100 が表示されます。

### [顧客参照番号]

返品承認と顧客番号の相互参照に使用されます。

### [保証請求/PO No.]

保証修理のためにサービス業者が提示する保証請求。

### [事業所]

受注オーダーおよび購買オーダーの作成時に使用する事業所。

### [コール]

顧客案件を特定する番号。

### [前の処分]

返品承認行の現行状況を示すユーザー定義コード (40/AT)。**[前の処分]** の特殊取扱コードで、返品承認行に状況を入力したときに購買オーダーと受注オーダー (または返品オーダー) のどちらが作成されるのか、あるいは購買オーダーと受注オーダー (または返品オーダー) の両方が作成されるのかが決まります。

特殊取扱コードは次のとおりです。

- 1: 購買オーダーのみ。
- 2: 受注オーダーのみ。
- 3: 推奨のみ。購買オーダーも受注/返品オーダーも作成されません。これは、返品承認の作成時に、受注オーダーと購買オーダーのどちらかまたはその両方を作成するのかわからない場合に便利です。
- 4: クローズ。
- 5: 購買オーダーと受注オーダー。
- 6: 返品オーダーのみ。
- 7: 購買オーダーと返品オーダー。

### [返品承認品目番号]

システムが品目に割り当てる番号。略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。

### [返品承認品目記述]

ユーザーが定義した名前または備考。

### [返品承認数量]

引当可能数量を示します。たとえば、手持残高数量－引当数量－予約数量－バックオーダー数量から算出した数量を設定できます。この値は、事業所固定情報プログラム (P41001) で入力します。

### [返品承認行番号]

返品承認レコードの明細行の番号。

### [入荷在庫品目]

システムが品目に割り当てる番号。略式、明細形式、第 3 品目番号形式があります。

### [入荷設備 No.]

資産を示す ID コードを入力します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 資産番号のフォーマット (自動的に割り当てられる 8 桁の数値による制御番号)。
- 2: ユニット番号のフォーマット (12 文字の英数字フィールド)。
- 3: シリアル番号のフォーマット (25 文字の英数字フィールド)。

資産には全て資産番号が割り当てられています。ユニット番号とシリアル番号を使用して、さらに資産を識別できます。データ入力フィールドの場合、最初に入力する文字で、システムに定義されている基本 (デフォルト) フォーマットなのか、それ以外の 2 つのフォーマットのいずれかなのかわかります。このフィールドの先頭位置の特殊文字 (/ や \* など) が、使用している資産番号形式を示します。特殊文字を資産番号形式に割り当てるには、固定資産システム固定情報フォームを使用します。

#### [返品承認タイプ]

返品承認レコードの伝票タイプを示すユーザー定義コード (システム 00、タイプ DT)。

#### [顧客]

交換部品を出荷するまたは返品を受けてその代わりに在庫品目を出荷する出荷先を示す住所番号。

## 返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新 (R400502) の実行

このセクションでは、返品承認 (RMA) 受注オーダー状況の更新の概要および以下の方法について説明します。

- 返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新の実行
- 返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新の処理オプションの設定

### 返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新について

返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新プログラム (R400502) は、上級交換用に実行します。たとえば、品目出荷用の受注オーダーを作成し、欠陥製品ではあるけれども類似したものを入荷するために購買オーダーを作成するとします。約束納入日付までに欠陥製品が入荷されない場合、関連受注オーダー明細行の状況が請求書の印刷などのユーザー定義状況に更新され、置換品目の料金が顧客に請求されます。約束納入日付までに欠陥製品が入荷された場合、関連受注オーダー明細行の状況が完了-除去可能などのユーザー定義状況に更新されます。さらに、置換品目の価格がゼロに変更され、販売請求書は印刷されません。

F40051 テーブルに基づいてデータが選択されます。返品承認 (RMA) デフォルト プログラム (P40052) の [入荷リードタイム] フィールドから約束納入日付が計算されます。納期が過ぎた後に欠陥品目が返品されてきた場合、受注オーダー状況が更新されます。欠陥品目を受け取った時点で、購買オーダー状況が更新されます。

### 返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新 (R400502) の実行

[作業オーダー日次処理] (G1712) から [返品承認 - 受注オーダーの更新] を選択します。

### 返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新 (R400502) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、プロンプト オプション、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## 処理

次の処理オプションで、品目番号の次の状況を制御します。

<b>未入荷在庫品目番号の関連受注オーダーに対する「次の状況」を入力します。</b>	入荷していない在庫品目番号に関連する受注オーダーが次に変更される次の状況を入力します。これは UDC (40/AT) です。
--	--

<b>入荷済み在庫品目番号の関連受注オーダーの「次の状況」を入力します。</b>	入荷した在庫品目番号に関連する受注オーダーが次に変更される次の状況を入力します。これは UDC (40/AT) です。
--	---

## バージョン

この処理オプションで、プログラムから呼び出される受注オーダー入力のバージョンを制御します。

<b>1. 受注オーダー入力 - P4210</b>	受注オーダー入力プログラムのバージョンを入力します。この処理オプションを空白のままにしておくと、デフォルト バージョン ZJDE0001 が使用されます。
--------------------------------	---

---

## 返品承認の除去プログラム (R400510) の実行

このセクションでは、返品承認の除去の概要と以下の方法について説明します。

- 返品承認の除去プログラム (R400510) の実行
- 返品承認の除去の処理オプションの設定

### 返品処理の除去について

クローズされた返品承認レコードを全て F40051 テーブルから削除するために、返品承認の除去プログラムを実行します。関連受注オーダーまたは購買オーダーがクローズされると (F4211 または F4311 に明細行がなくなると)、返品承認レコードが削除されます。また、補足検証として、返品承認の除去プログラムの適切な処理オプションを設定することもできます。これによって、受注明細テーブル (F4211) だけでなく受注履歴テーブル (F42119) をチェックして、どちらのテーブルにも受注オーダー明細レコードがないことを確認できます。受注オーダー明細レコードがそのどちらかまたは両方のテーブルにある場合は、返品承認レコードは削除されません。

### 返品承認の除去プログラム (R400510) の実行

[作業オーダー日次処理] (G1712) または [追加オーダー処理] (G4212) の [返品承認の除去]



## 返品承認の除去 (R400510) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

プレフィックスが ZJDE または XJDE で識別されている EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、プロンプト オプション、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

### 除去

次の処理オプションで、受注履歴 (F42119) テーブルを検証して、関連受注オーダー明細行がないことを確認します。除去プログラムが返品承認を除去するのは、F4211 または F42119 テーブルに関連受注オーダー行がない場合だけです。

**'1' を入力して受注オーダー履歴テーブル (F42119) に対してレコードを検証する**

返品承認レコードを除去する前に F42119 テーブルとレコードを照合して検証を行うかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: F42119 テーブルと照合した検証は行いません。

1: F42119 テーブルとレコードを照合して検証を行います。



## 第 18 章

# 優先情報の設定

この章では、優先情報とそのタイプ、基本と詳細の優先情報の違い、カスタム優先タイプの概要、および以下の方法について説明します。

- 優先マスター情報の設定
- 優先階層の作成
- 基本優先情報の設定
- 詳細優先情報の設定
- グループへの顧客および品目の割り当て
- 優先情報のアクティブ化
- 顧客セグメント ベース販売の設定

---

## 優先情報と優先タイプについて

優先情報は、特定の顧客と品目の組み合わせに基づいて、特定の受注オーダー明細行のデフォルト情報を一時変更するために使用されます。通常、受注管理システムのデフォルトとは異なる設定を常に使用する場合に、優先情報が使用されます。

事前定義済みの優先情報が用意されています。これらの優先情報は基本または詳細として定義されています。基本優先情報プロファイルは、オーダーの処理方法を一時変更するために使用する特定の優先タイプを基にしています。基本優先情報は、特別に定義されたビジネス ニーズをカスタマイズする場合に便利です。詳細優先情報は、基本優先プロファイルで使用する優先タイプの多くを使用しますが、より詳細で複雑な処理機能を有します。詳細優先情報は、上級価格設定システムと同様のロジックを使用します。

通常、受注管理システムのデフォルトとは異なる設定を常に使用する場合に、優先情報を使用します。たとえば、優先情報は以下の要件に応じて作成できます。

- 顧客固有のニーズ
- 品目固有のニーズ
- 品目数量のニーズ、オーダー独自のニーズ
- 会社の業務方針に固有のニーズ

優先情報を使用するには、特定のビジネス ニーズに合わせて優先情報をカスタマイズする設定タスクを実行する必要があります。事業の拡大や変更に応じて優先情報をさらにカスタマイズするときにも、この設定タスクを使用できます。

基本または詳細に関わらず、各優先情報の設定と使用には綿密な計画が必要です。たとえば、優先情報を使用する業務目的だけでなく、処理時間の短縮についても考慮します。

注: 状況によって変化する情報については、優先情報は使用しないでください。このような場合は、顧客情報または品目情報の該当フィールドに例外情報を手作業で入力します。

## 優先タイプ

オーダー処理をカスタマイズするために、基本または詳細の優先情報を設定できます。優先情報には、基本および詳細の両方として利用できるものがあります。また、基本優先情報としてのみ、または詳細優先情報としてのみ利用できるものもあります。基本と詳細の両方の優先情報と共に、別の優先タイプを使用できます。優先タイプには、全ての優先情報で共有するフィールドが含まれています。

優先情報のフィールドは通常、以下のように分類されます。

- キー フィールド
- 定義フィールド

これらのフィールドを使用して、標準となる優先情報を入力します。キー フィールドは省略可能であり、受注オーダーと優先情報とを照合するときの検索条件として使用することができます。このフィールドは [優先マスターの改訂] フォームの見出し領域にあります。

優先情報の定義フィールドは、優先情報を解決するときに使用されます。それぞれの優先情報には、その条件に応じた固有の定義フィールドが 1 つ以上あります。これらのフィールドは、[優先マスターの改訂] フォームの詳細領域にあります。ブランクが有効な値になる場合もありますが、定義フィールドは必須フィールドです。通常、これらのフィールドに入力した値を使用して、受注オーダーの情報の一時変更または追加が行われます。

優先情報はさまざまな方法で使用されます。

- オーダー入力時にオーダー明細レコードに優先情報を追加して、それを [オーダー見出し] または [オーダー明細] のフォームに表示する。  
たとえば、在庫引当情報は受注明細テーブル (F4211) に追加され、[受注オーダー明細の改訂] フォームに表示されます。
- オーダー入力時に優先情報を明細レコードに追加するが、優先情報を表示しない。  
たとえば、収益ビジネスユニット情報は受注明細テーブルに追加されますが、[受注オーダー明細の改訂] フォームには表示されません。
- 優先情報により優先コードなどのデフォルト情報を一時変更したり、業種のような追加情報を提供する。

次の表に、優先タイプの概要を示します。

優先タイプ	優先情報?	業務目的	一時変更	適用時期および表示場所
運送業者	はい	顧客または顧客グループへ優先運送業者を割り当てる。また、運送業者の除外も可能。		オーダー入力時に受注明細テーブル (F4211) に適用。
顧客通貨	はい	顧客または顧客グループへ通貨を割り当てる。検索条件として事業所を使用し、その事業所の通貨がオーダーの基準となる。1 件のオーダーに対して使用可能な通貨コードは 1 つのみ。	なし	オーダー入力時に受注オーダー見出しファイルテーブル (F4201) に適用。オーダー見出しの [通貨コード] フィールドに表示。

優先タイプ	優先情報?	業務目的	一時変更	適用時期および表示場所
顧客運賃		運賃レート、貨物取扱、および配送経路タイプを指定。出荷に請求可能な費用を適用する方法も指定可能。		オーダー入力時に受注明細テーブル (F4211) に適用。
配送日付	はい	品目の配送に要する日数に基づき配送日付を計算する。	なし	オーダー入力時に受注明細テーブル (F4211) に適用。オーダー明細行のグリッドに表示。
伝票配布	いいえ	特定の配送伝票、出力待ち行列、内部と顧客に配布する部数、および配送モードを指定。	なし	バルク/パッケージ積荷確認または配送伝票の事前印刷の実行中に適用。
伝票セット	はい	印刷する配送伝票グループを定義する。デポ別に異なる伝票セットを割り当てることも可能。	なし	バルク/パッケージ積荷確認または配送伝票の事前印刷の実行中に適用。[伝票選択] フォームで選択した伝票セットに表示。
最終用途	はい	製品の最終用途および関税状況を定義する。規制、価格設定、および市場分析の目的で使用する。	なし	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。オーダー明細行のグリッドにある [最終用途] フィールドに最終用途の結果を表示。オーダー明細行の [関税] フィールドに関税状況を表示。
拡張条件取引		特定の品目または品目の組み合わせを購入する顧客に拡張条件を提供。		バスケット価格設定 (R42750) の実行中に適用。
運賃	はい	顧客請求運賃または契約業者に支払う運賃を決める運賃テーブルを選択する。運賃が距離、区域、固定手数料、または時間のいずれを基準としているかを指定する。また、運賃が、支払可能運賃か、請求可能運賃かも指定する。	なし	運賃更新およびレポート バッチプログラム (R4981) の実行時に適用し、請求運賃または支払運賃を決定する。通常、これは日次締め処理の一部になる。配送伝票の印刷前に、請求可能な運賃計算が可能。
等級/濃度	はい	納品用に選択された梱包製品が、顧客の許容等級または濃度範囲にあることを確認する。在庫引当と共に使用するように設計されている。	製造データ(事業所品目情報に含まれる)のデフォルト等級/濃度範囲	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。[購買オーダー明細情報] フォームの等級/濃度範囲に表示。
売上高総利益率の価格設定		目標利益率に合わせて品目の価格を定義。		オーダー入力時に受注明細テーブル (F4211) に適用。オーダー明細行に利益率を表示。

優先タイプ	優先情報?	業務目的	一時変更	適用時期および表示場所
在庫引当	はい	顧客が製品または製品グループをオーダーするときに使用する供給元の事業所を1つ以上指定する。選択される事業所に対して、補充されるべきオーダーの最小パーセントも指定する。	オーダー見出しの[事業所]フィールドから読み取られたオーダー明細のデフォルトの事業所	オーダー入力時に受注明細テーブル(F4211)に適用。受注オーダー明細に、出荷元事業所、輸送モード、運送業者、経路コードを表示。
業種	はい	価格調整、受注分析、その他のビジネスニーズの基準として使用される顧客の業種を指定。	なし	オーダー入力時にF4211テーブルに適用。レポートに結果を表示。
輸送モード		商品の輸送に使用する運送業者のタイプ、出荷元、出荷先の情報、および供給元の配送方法を指定。		オーダー入力時に受注明細テーブル(F4211)に適用。オーダー明細行に輸送モードを表示。
複数の入出荷保管場所	いいえ	製品の保管場所を割り当てる入出荷用の保管場所を定義する。指定する保管場所のアクティブ化/非アクティブ化が可能。	事業所固定情報のデフォルト保管場所	受注オーダーおよび購買オーダーの入力時に適用。以下のプログラムで割り当てられる入出荷保管場所を表示。 要求照会(P4600) 倉庫移動確認(P4617) 出荷保管場所の一時変更(P460501) 出荷処理(P4915) 積荷の処理(P4960)
次のオーダー状況	はい	顧客が特定の製品をオーダーするときに、次のオーダー状況を変更する。オーダー入力後にオーダー状況を変更することにより、オーダー行に対する標準処理のステップを省略したり、処理ステップを追加することが可能。	オーダー処理順序定義のデフォルトの次の状況コード	オーダー入力時にF4211テーブルに適用。オーダー明細行のグリッドの状況(前/次)のフィールドに次の状況コードを表示。
オーダー明細のデフォルト	はい	支払条件、価格設定計量単位、収益ビジネスユニット、業種、最終用途、およびユーザー定義価格コードの優先タイプの組み合わせによる業務目的使用してオーダーを処理。	優先タイプ別に指定	オーダー入力時にF4211テーブルに適用。優先タイプ別に指定して表示。

優先タイプ	優先情報?	業務目的	一時変更	適用時期および表示場所
オプション/設備		出荷用の特殊なオプションまたは設備を指定。		出荷/積荷オプションおよび設備テーブル (F4944) への出荷の改訂中に適用。[出荷/積荷オプションおよび設備の改訂] フォームのグリッドに [オプション/設備] フィールドを表示。
オーダー準備日数	はい	品目のピッキング、梱包、出荷に要する日数に基づいて、受注オーダーの納品に要する日数を正確に計算する。	なし	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。
支払条件	はい	顧客に対する標準支払条件を指定する。支払条件は、請求書の支払期日および割引に影響する。	オーダー見出しに表示され、顧客マスター (P03013) に設定される支払の条件または手段	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。オーダー明細情報に支払条件を表示。
支払条件 (事業所)	はい	事業所別に顧客に対する標準支払条件を指定。	オーダー見出しに表示され、顧客マスター (P03013) に設定される支払の条件または手段	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。オーダー明細情報に支払条件を表示。
価格調整スケジュール	はい	品目または品目グループ別に顧客ごとの複数の価格設定スケジュールを使用する。	顧客マスターのデフォルトスケジュール	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。オーダー明細行の [単価] の次の [価格設定計量単位] フィールドに表示。
価格設定計量単位	はい	品目の価格設定に使用する計量単位を設定。請求書の印刷時に、正しい価格を決定するのに使用される。	品目マスターテーブル (F4101) の価格設定計量単位	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。オーダー明細行の記述フィールドの次の [価格設定計量単位] フィールドに表示。
価格設定計量単位 (事業所)	はい	事業所別に価格設定計量単位と価格の拡張計算方法を設定。		オーダー入力時に受注明細テーブル (F4211) に適用。オーダー明細行の記述フィールドの次の [価格設定計量単位] フィールドに表示。
製品割当て	はい	顧客が購入できる製品の量を制限する。需要が供給よりも多い場合に使用する。製品が特定の顧客または顧客グループ向けにのみ生産され、その他の顧客には流通しないようにする場合にもこの優先情報を使用可能。	なし	オーダー入力時に F4211 テーブルに適用。その顧客への割当て限度を超過する数量をオーダー明細行に入力すると、警告メッセージが送信される。残りの割当て数量にまで減らない場合は、オーダーは保留となる。メッセージを無視して超過数量を使用することも、超過数量を取り消すことも可能。

優先タイプ	優先情報?	業務目的	一時変更	適用時期および表示場所
製品割当て(事業所)		事業所別に、顧客が購入可能な最大数量を制限し、特定の顧客または顧客グループに引当可能な最大数量およびその割合を指定。		オーダー入力時に受注明細テーブル(F4211)に適用。
品質管理		特定の顧客または顧客グループに対して、品質試験と仕様、許容値、推奨値、サンプル要件、および結果を指定。この優先情報は事業所に固有。		試験結果ファイル(F3711)への出荷確認時に適用。
収益ビジネスユニット	はい	顧客、製品、またはその組み合わせに基づいて、ビジネスユニット(会計事業所)を割り当てる。収益が中央で認識される分散倉庫作業などに使用する。	オーダー見出しの[ビジネスユニット]フィールドから読み取られたデフォルトのビジネスユニット	オーダー入力時にF4211テーブルに適用。[購買オーダー明細情報]フォームの[収益ビジネスユニット]に全ての列を表示。
収益ビジネスユニット(事業所)	はい	事業所に収益事業所、業種、および販売担当者を割り当てる。		オーダー入力時に受注明細テーブル(F4211)に適用。
販売コミッション	はい	顧客/品目の組み合わせに基づいて、販売担当者およびコミッションレートを設定する。事業所や業種別に情報を変更することも可能。	顧客請求指示(請求2)のデフォルトのコミッションコード/レートデータ	オーダー入力時にF4211テーブルに適用。[オーダー明細情報]フォームのオーダー明細行に販売コミッションデータを表示。
販売価格基準日		価格設定に使用する日付を指定。たとえば、要求日付、出荷日付、取引日付などを使用可能。		オーダー入力時に受注明細テーブル(F4211)に適用。
ユーザー定義価格コード	はい	特殊な価格設定要求に対して使用されるコードを指定。たとえば、価格コードを定義して、商品価格が一定期間公表された後に価格の再設定が必要となるオーダー行を指定する。	なし	オーダー入力時にF4211テーブルに適用。オーダー明細行のグリッド領域にある[価格コード]フィールドに表示。

## 基本優先情報

基本優先情報を使用して、受注オーダーの処理方法をカスタマイズできます。事前定義済みの標準の基本優先情報が用意されています。基本優先情報を使用して特定のビジネス ニーズに対応します。

基本優先情報または優先プロファイルは、顧客、品目、または顧客情報(販売先、出荷先または親住所)、顧客グループ、品目、および品目グループの組み合わせについて定義する情報のことです。優先プロファイルにより、オーダー入力時に通常使用される顧客および品目の設定情報が一時変更されます。



## 基本優先情報の使用方法

それぞれの優先情報には標準の見出し行があります。この行のフィールドを使って、以下の項目に優先情報を定義します。

- 顧客
- 顧客グループ
- 品目
- 品目グループ
- 顧客または顧客グループの組み合わせ
- 品目または品目グループの組み合わせ

優先情報を使用するには、その情報を有効にする必要があります。受注オーダー入力 (P4210) などのプログラムで、各オーダー行の顧客と品目の組み合わせに影響する情報を含む、適用可能な優先情報が検索されます。

受注オーダー入力では、この情報はオーダーの一部です。定義した階層を使用して、適切な顧客と品目の優先情報が検索されます。

作成した各優先情報に対してプログラムが実行されます。優先情報を使用しオーダーを入力している場合は、設定した階層を使用して、オーダー行ごとに顧客と品目の組み合わせに影響する情報の優先プロファイルが検索されます。この情報を基に、受注オーダーの一部が入力されます。

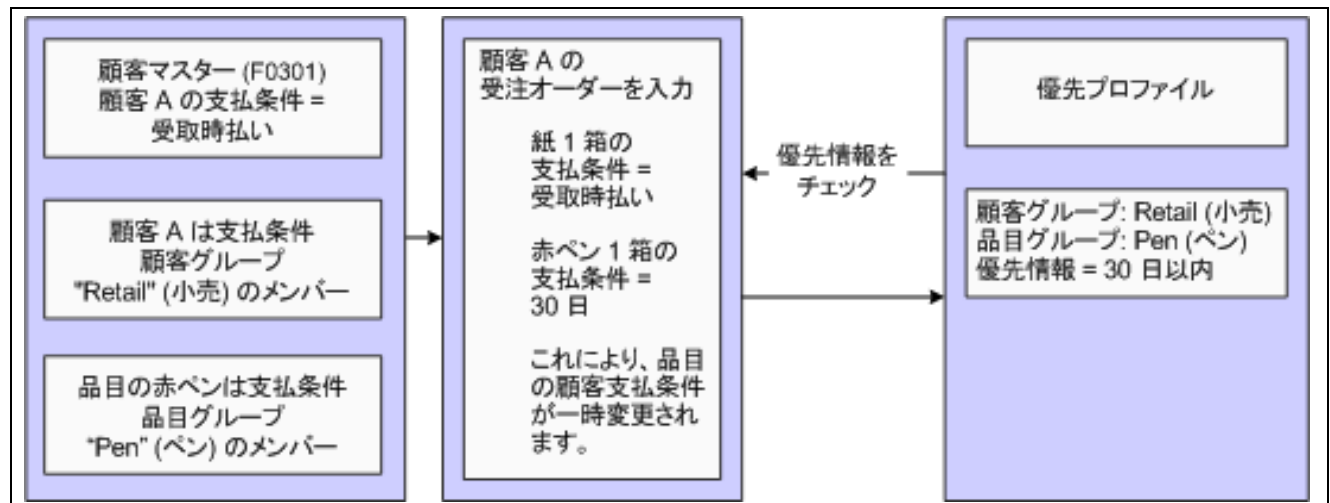
優先情報には、デフォルト情報を一時変更するものと、受注オーダーの処理中に使用する情報を追加するものがあります。このため、優先情報が受注オーダーにすぐに表示されないことがあります。

### 例: 基本優先情報の適用

デフォルトの支払は、品目が顧客に納品された時点で請求されます。たとえば、小売業の顧客を支払条件の基本優先顧客グループ "RETAIL" (小売り) に定義したとします。"RETAIL" (小売り) グループに属する顧客 A が赤ペンを発注します。赤ペンは、支払条件の基本優先品目グループ "PEN" (ペン) に属し、このグループの支払条件は 30 日と設定されています。この優先情報の階層に基づき、この顧客グループおよび品目グループの組み合わせに対する支払条件は 30 日となり、顧客マスターに設定した顧客の支払条件が一時変更されます。

顧客 A のオーダーを入力すると、顧客マスター テーブル (F0301) からのデフォルト値である顧客の支払条件がオーダー見出しに表示されます。

次の図は、システムによる優先情報の適用方法を示します。



優先情報

## 優先マスターと階層

受注オーダー処理において、システムのデフォルトと異なるビジネス要件が常に必要な場合に、基本優先情報を設定できます。

[優先プロファイル] フォームには論理グループの優先情報が表示されます。[優先マスターの改訂] フォームを使用して優先情報をフォームのどこに表示するか、および有効日付と数量を優先情報に含めるかどうかを指定します。

各優先情報に階層を定義して、受注オーダーに優先情報を適用する順序を指定する必要があります。

## 基本優先情報と詳細優先情報との違いについて

1 つのカテゴリ内の全優先タイプに適用される標準優先情報は、全ての優先情報で共有されます。基本優先情報を設定するときに、各優先情報についてこの基本優先情報を [優先マスターの処理] フォームの見出し領域に入力します。グリッドには、それぞれの優先情報に固有の情報を入力します。

顧客と品目の組み合わせに対して複数の優先情報を設定する場合、受注オーダー処理用に優先情報を検索するときの順序番号を指定できます。

適用可能な [優先プロファイル] フォームのグリッドには、カスタム優先情報を入力します。それぞれの優先情報には、各条件に固有の定義フィールドが 1 つ以上あります。たとえば、運送業者優先情報の定義フィールドは、輸送モード優先情報の定義フィールドとは異なります。

全ての優先情報にはキー フィールドと呼ばれる共通のフィールドがあり、このフィールドに標準優先情報を入力します。各優先情報について、この情報を優先プロファイルの改訂フォームの見出し領域に入力する必要があります。

標準優先情報の入力時に、優先レコードの検索に使用する順序番号も指定できます。たとえば、顧客と品目の組み合わせに対して優先情報を設定し、追加のキー フィールドごとにその優先情報を変更するには、優先情報レコードに順序を付けます。事業所 A の優先順序を "1"、事業所 B の優先順序を "2"、その他の事業所を全て "999" に設定すると、その他の事業所に適用する優先情報が使用される前に、事業所 A および B の優先情報が先に検索されます。

このため、優先情報レコードの順序番号は注意して設定してください。全ての事業所に適用される優先情報の順序番号が 1 の場合は、全事業所に適用する優先情報が最初に検索されるので、事業所 A や B に割り当てられた特定の優先情報は検索されません。順序番号を昇順で設定すると、新しい優先情報を後で挿入することができます。

## カスタム優先タイプについて

優先情報の定義フィールドは、駆動フィールドや値フィールドとも呼ばれ、優先情報を解決するときに使用されます。それぞれの優先情報には、各条件に固有の定義フィールドが 1 つ以上あります。これらのフィールドは、各優先情報の改訂フォームの詳細領域にあります。ブランクが有効な値になる場合もありますが、定義フィールドは必須フィールドです。通常、これらのフィールドに入力した値を使用して、受注オーダーの情報の一時変更または追加が行われます。

### 運送業者の優先情報

運送業者の優先情報を使用することにより、以下の項目について特定の運送業者を選択したり除外することができます。

- 顧客
- 顧客グループ
- 品目
- 品目グループ

また、この情報を使って優先運送業者リストから運送業者を選択することもできます。リストから運送業者を除外する場合も運送業者の優先情報を使用できます。たとえば、易損品の出荷にあたって顧客が特定の運送業者を常に指定する場合、この情報を運送業者の優先情報として設定します。

配送経路を評価する場合にも、運送業者の優先情報が使用されます。除外された運送業者が割り当てられている配送経路は、配送経路の自動選択では選択されません。出荷の配送経路オプションとして除外された運送業者の配送経路を選択すると、配送経路オプションには警告メッセージが表示されます。

購買オーダーや顧客からの返品などのインバウンド出荷の輸送情報を入力するときに、顧客、品目、および納入倉庫を基に運送業者の優先情報を設定することができます。購買オーダーについては、仕入先/品目/倉庫の組み合わせがデフォルト情報として使用されます。

運送業者の優先情報は、詳細優先情報として使用できます。

### 顧客通貨優先情報

顧客通貨優先情報を使用して、通貨コードを顧客番号または顧客グループに割り当てます。通貨コードは 1 件のオーダーの全品目に対して同じである必要があるため、他の優先情報と異なり、この優先情報には品目や品目グループは含まれません。

この優先情報により、オーダー見出しレコードにある顧客マスター テーブル(F0301) のデフォルト通貨コードが一時変更されます。それでも、顧客通貨は顧客マスターに指定する必要があります。この理由は、売掛処理では優先情報がチェックされないからです。売掛処理では各オーダー明細行からの通貨が使用されます。

見出し通貨コードは、オーダーの全明細行に適用されます。このため、顧客通貨優先情報のみを使用してオーダーの通貨コードを設定する場合は、1 件のオーダーにつき 1 つの通貨コードのみを使用できます。

顧客通貨優先情報は、特定の販売事業所に対しても全事業所に対しても定義することができます。たとえば、ジェット機燃料を国際航空会社に販売する場合、オーダーで使用される通貨はフランスのデポで使用しているユーロになったり、イギリスのデポで使用しているポンドになることもあります。

## 顧客運賃の優先情報

顧客運賃の優先情報は、以下のタイミングで使用されます。

- オーダーへの請求金額追加
- 配送経路の選択
- 出荷用の運賃支払条件の指定

たとえば、1 件のオーダーに運賃が複数ある場合、全ての運賃を単一の行に集計するか、各運賃を個別の行に表示するかをこの優先情報で指定できます。

また顧客運賃の優先情報により、配送経路を自動選択する要素が決定されます。顧客運賃の優先情報に基づいて、原価、パフォーマンス、配送時刻が評価されます。

## 納期の優先情報

納期の優先情報を使用し、納品に要する日数に基づいて納期を計算することができます。

受注オーダーには、納期の決定に使用できる日付がいくつかあります。

日付	説明
オーダー日付	オーダーをシステムに入力した日付、またはオーダーに表示する日付。
要求日付	顧客がオーダーの納期として要求している日付。オーダー全体に対して日付を 1 つ入力するか、個別明細行に対してそれぞれの日付を入力することができます。
ピッキング日付	倉庫の従業員が在庫のピッキングを行う日付。
出荷日	オーダーの出荷を約束した日付。各明細行に日付を入力できます。
納期	顧客に連絡したオーダー納品日。

以下の場合に出荷日および納期が計算されます。

- 優先情報が有効になっている。
- [事業所]、[経路コード]、[輸送モード]、[優先コード]、[運送業者No.] のフィールドのうちの 1 つ以上が、優先情報のキー フィールドと一致する。

[輸送モード] フィールドを除いて、オーダー明細には [顧客請求指示] のフィールドが表示されます。これらのフィールドがブランクの場合は、日付計算時にフィールドが一致する必要はありません。

この優先情報を設定する場合は、以下の項目を定義してください。

- オーダー入力からピッキング予定日付までの最低日数
- 出荷から納品までに要する商品の積送日数

### 例: 納期の優先情報のある製品への日付の適用

以下の例では、納期およびオーダー準備日数の優先情報に、オーダー準備日数が 4 日、輸送リードタイム日数が 5 日と指定されています。

作業	結果
受注担当者が手作業で出荷日付を入力する	<p>プログラムにより約束日付があらかじめ入力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受注オーダー入力日:11 月 6 日(金)</li> <li>計算されたピッキング日付:11 月 8 日(日)</li> <li>入力した出荷日付:11 月 12 日(木)</li> <li>計算された約束納期:11 月 17 日(火)</li> </ul> <p>出荷日付に輸送リードタイム日数が加算されて、約束日付が計算されます。ピッキング日付は出荷日付から 4 日差し引いて計算されます。</p>
受注担当者が手作業で約束日付を入力する	<p>プログラムにより出荷日付が逆算されます。約束日付から輸送リードタイム日数が減算され、出荷日付が計算されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受注オーダー入力日:11 月 6 日(金)</li> <li>入力した約束納期入力:11 月 23 日(月)</li> <li>計算された出荷日付:11 月 18 日(水)</li> <li>計算されたピッキング日付:11 月 14 日(土)</li> </ul> <p>ピッキング日付は出荷日付から 4 日差し引いて計算されます。ピッキング日付がオーダー入力日付よりも前の場合は、警告が表示されます。</p>
受注担当者が約束日付と出荷日付を手作業で入力しない	<p>約束日付は、オーダー準備日数をピッキング日付に加算し、それに積送リードタイム日数を加算して計算されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受注オーダー入力日:11 月 13 日(火)</li> <li>入力したピッキング日付:11 月 13 日(火)</li> <li>計算された出荷日付:11 月 7 日(土)</li> <li>計算された約束納期:11 月 12 日(木)</li> </ul>
計算された出荷日付がオーダー入力日付よりも前の日付になる	<p>出荷日付とピッキング日付がオーダー入力日付よりも前になる場合、その旨を告げるソフトウェアが表示されます。オーダー処理には影響ありません。</p>

顧客の優先コード情報が [顧客請求指示] で設定されていることを確認してください。

### 伝票セットの優先情報

伝票セットの優先情報を使用して、特定の顧客と品目の組み合わせについて配送伝票のセットを指定します。伝票セット名は [伝票セット プロファイルの改訂] フォームとリンクしており、このフォームで伝票セットを個別に割り当てます。

配送伝票を使用する場合は、伝票セットの優先情報を少なくとも 1 つ定義する必要があります。優先情報の定義方法は、バルク製品や潤滑油などの製品タイプや、顧客の所在地が海外または国内のいずれかによって異なります。事業所別に異なる優先情報を定義することもできます。

以下の段階で伝票を印刷するときに、伝票セットの優先情報が適用されます。

- 出荷確認
- バルク/パッケージ製品の積荷確認
- 配送伝票の事前印刷

各段階の終わりに、[伝票選択] フォームで伝票セット情報を確認したり、変更することができます。

### 例: 伝票セットの優先情報

通常、バルク製品やパッケージ製品については、伝票セット優先情報を個別に作成します。この例では、各製品と共に該当する伝票セットが出荷されるように、伝票セットの優先情報を 2 つ設定する効率的な方法についてまとめています。

1. 品目グループを作成する。
2. 伝票セットの優先情報を品目グループに割り当てる。
3. [顧客]、[顧客グループ]、[品目]、および [品目グループ] のフィールドをブランクにして、全ての品目と顧客に対して別の伝票セットの優先情報を設定する。
4. 伝票セットの優先情報に、以下の優先階層を設定する。
  - 品目グループ/全ての住所を第 1 階層
  - 全ての品目/全ての住所を第 2 階層

積荷確認時に伝票セットの優先情報が処理されるときには、この優先階層によって品目グループの優先情報が最初に検索されます。受注オーダー行の品目がバルク品目で、それを品目グループに割り当てた場合、バルク製品用の伝票セットが使用されます。品目グループに割り当てなかった場合は、デフォルト値により全ての品目および全ての顧客用の伝票セットが発行されます。ここでは、パッケージ製品はバルク品目グループに割り当てていないため、パッケージ製品用の伝票セットが使用されます。

---

**注:** 伝票セットの優先情報を設定するときには、顧客と品目の組み合わせに対する請求書サイクルの優先情報と矛盾しないことを確認してください。請求書サイクル (繰延請求) と配送伝票請求とを同時に使用することはできません。

---

配送伝票と共に請求書を生成するには、基本請求書を含む伝票セットを選択します。

定期的 (週次または月次) に請求書を生成するには、サイクル請求プログラム (R49700) を実行します。

## 最終用途優先情報

最終用途優先情報は、価格調整を適用する基準として使用します。この優先情報を使用して、関税用混合蔵置の在庫の支払済み状況や免税状況を設定することもできます。

最終用途とは、製品に対する顧客の最終的な用途のことです。たとえば、最終用途に合わせて、同じ品目でも異なる価格を請求する必要がある場合などに使用できます。航空関係の製品などでは、最終用途ごとに異なる関税率 (この場合は、別々の空港を基準とした異なる関税率) が適用されることがあります。

[最終用途] および [関税状況] は、キー フィールドです。異なる最終用途優先情報を作成して、さまざまな顧客および品目の組み合わせに対して値を割り当てることができます。さらに、業務ニーズに合わせて、各顧客および品目の組み合わせに対して適切な [最終用途] および [関税状況] のフィールドに値を割り当てることができます。

## 延長期限優先情報

延長期限優先情報はバスケット価格設定と共に機能して、指定品目または品目の組み合わせを購入する顧客に対して支払条件の延長をオファーします。

バスケットレベル調整が適用されるときに、バスケットレベル支払条件の優先情報が決定されます。支払条件の優先情報が検索され、オーダー入力明細にある現行の支払条件が一時変更されます。優先情報が処理された後でも、手作業で支払条件を一時変更できます。

## 運賃優先情報

運賃優先情報は、受注明細行と運賃テーブルをリンクさせるために使用します。運賃を距離、区域、固定料金に基づいて決定するために、運賃テーブルが使用されます。また運賃テーブルは、運賃が請求可能か、支払可能か、またはその両方かを決定するためにも使用されます。運賃優先情報を使用して、顧客/顧客グループおよび品目/配送手配グループに対する運賃テーブルを指定します。

運賃優先情報はその他の優先情報と異なり、品目グループの選択は行われません。その代わり、輸送管理システムで使用されるものと同じ配送手配グループが使用され、配送手配用製品がグループ化されます。

運賃優先情報は運賃テーブルと共に使用されます。距離基準運賃テーブル、区域基準運賃テーブル、固定料金運賃テーブルを基に運賃優先情報を定義します。1 つ以上の運賃テーブルを指定することができます。たとえば、同じ品目や配送手配グループを使用する 1 顧客に対して、固定料金と追加の距離基準による料金を請求する場合などです。

また運賃が顧客に請求可能かどうか、契約者に支払可能かどうか、またはその両方であるかどうかを指定する必要もあります。[事業所] および[輸送モード] は、任意検索フィールドです。

運賃更新およびレポート プログラム (R4981) を実行して請求可能/支払可能の運賃を決定するとき、運賃優先情報が適用されます。通常、これは日締め処理になります。ただし、配送伝票を印刷する前に、請求可能な運賃を計算することもできます。

## 等級および濃度の優先情報

等級および濃度の優先情報を使用して、品目の特定の等級または濃度に基づき、顧客に納品する在庫を選択します。品目の等級または濃度ごとに基本価格を設定することが可能です。事業所品目テーブルに定義した標準範囲と顧客の要求する等級/濃度範囲が異なる場合に、この優先情報を使用することができます。

---

**注:** バルク製品を等級または濃度別に選択したり、積荷をロット別に確認することはできないため、この優先情報はパッケージ製品のみに使用してください。

---

等級および濃度の優先情報は、在庫引当優先情報および引当方法と共に使用され、製品の引当可能数量を決定します。この優先情報により、顧客の指定した等級/濃度パラメータの範囲内にある引当可能数量が確実に引き当てられます。

さらに等級および濃度の優先情報の [失効までの日数] フィールドに入力した値を使用して、有効日付が顧客の許容日付範囲内かどうか判断されます。これにより、製品の引当可能数量が顧客が許容した等級または濃度、かつ有効日付以前のものになります。

等級および濃度の優先情報は、[濃度制御] または [等級制御] が該当品目に対して有効になっている場合にのみ使用できます。これは、事業所品目プログラム (P41026) で行われます。この優先情報は主に、[品目/事業所情報] で設定した標準範囲と、顧客の要求する等級または濃度範囲が異なる場合にのみ使用します。

同じ品目に対して等級と濃度の両方を指定することはできません。ただし、等級および濃度の優先情報を作成すると、[等級] および [濃度] の両方のフィールドが表示されます。これらのフィールドは、事業所品目に設定する濃度制御と等級制御の状況に関わらず表示されます。

等級および濃度の優先情報を作成するときには、[事業所品目] での設定がアクティブかどうかはチェックされません。したがって、[下限等級]、[上限等級]、[下限濃度]、[上限濃度] のいずれのフィールドにも値を入力できます。両方のフィールドに値を入力することもできます。いずれの場合にも、アクティブな設定やデータ入力規則と矛盾する優先情報は適用されません。

## 売上高総利益率価格設定優先情報

売上高総利益率価格設定優先情報は、目標利益を達成するためには品目の価格をいくらにすればよいかを決定するときに役立ちます。また、オーダー行に売上高総利益率を入力すると、その率に基づいた価格が計算されます。

この優先情報により、品目/品目グループおよび顧客/顧客グループの売上高総利益率の目標値を算出できます。優先情報で目標の最大値と最小値を指定して、利益率をより細かくカスタマイズできます。

利益率の範囲はテスト後に決定され、設定したパラメータ外に利益率がある場合はソフト エラーが表示されますが、オーダーはシステムより受け取られます。

## 在庫引当優先情報

在庫引当優先情報は以下の目的で使用します。

- 顧客/顧客グループ、または品目/品目グループに基づき、各オーダー行に対する補充が 1 つ以上の事業所から行われるように指定する。
- 製品を出荷する事業所を指定する。
- オーダーの補充を行う各事業所のパーセントを指定する。
- 受注明細行の輸送モードおよび運送業者情報を指定する。
- 将来のオーダー用の在庫出荷元を指定する (1 つ以上の事業所からオーダーを出荷可能にする)。

この優先情報を使用して、製品の調達元の事業所を指定する場合は、[順序 No.] フィールドおよび [事業所] フィールドを使用して製品の出荷元保管場所を制御します。次に、優先情報の順序付けを行い優先順位を設定します。

この優先情報を使用して、オーダー見出しにある事業所の引当日付には関係なく、常に在庫の調達元を指定することができます。オーダーが将来、オーダー見出しの事業所に基づく場合は、この優先情報により在庫が引き当てられます。各事業所の引当日付に基づいて、調達元の全事業所について引当が行われます。受注オーダーの入力処理オプションの [優先情報] タブにある在庫引当優先情報の処理オプションに 2 と入力する必要があります。

この優先情報を使用して各事業所から補充するオーダーのパーセントを決定する場合は、優先順序を使用して順序を設定します。どの事業所からもオーダーを補充することができない場合は、順序番号が最小の事業所でバックオーダーが作成されます。通常、パッケージ製品のみがバックオーダーされます。バルク在庫はバックオーダーされません。

この優先情報は、受注オーダーの入力時に適用されます。指定した調達元事業所は、オーダー明細行グリッドの [事業所] フィールドに表示されます。

### 補充パーセント値および関連システムのアクション

補充パーセント値が 0 の場合は、通常の処理が行われます。手持数量のチェックは行われず、その数量に関係なくオーダーの補充用に出荷されます。



補充パーセント値が 1 ～ 99 の場合は、どの事業所も指定パーセントの補充を行うことができるものとみなされます。事業所でそのパーセントを補充できる場合は、その引当可能数量が出荷され、残りの数量は次の事業所に転送されます。各事業所がチェックされ、その数量が出荷できるかどうか調べられます。

複数の事業所のそれぞれに対して補充パーセントを 100 パーセントと指定した場合は、そのオーダーを補充するための在庫が十分ある事業所 1 つのみから補充されます。オーダーを 100 パーセント補充できる事業所がない場合は、オーダーはバックオーダーとなるか、優先順位が一番高い事業所から一部数量が出荷されます。

補充パーセント値が 100 の場合は、その事業所で全数量を出荷する必要があります。このため、複数の事業所から出荷することはできませんが、全ての事業所をチェックして、全数量の出荷が可能かどうか調べられます。複数の事業所のそれぞれに対して補充パーセントを 100 パーセントと指定した場合は、そのオーダーを補充するための在庫が十分ある事業所 1 つのみから補充されます。オーダーを 100 パーセント補充できる事業所がない場合は、オーダーはバックオーダーとなるか、あるいは優先順位が一番高い事業所から一部数量が出荷されます。

次の表に、数量 500 のオーダーの例を示します。

事業所コード:引当可能数量	優先情報に設定された補充パーセント	引当可能な最小オーダー数量	結果
事業所 A: 99	50 %	200	この事業所の引当可能数量は最小オーダー数量に満たないので、この事業所からは出荷されません。
事業所 B: 400	80 %	400	この事業所から 400 が出荷されます。
事業所 C: 96	95 %	95	この事業所の引当可能数量がオーダー残数の少なくとも 95 %達しているので、この事業所から 96 が出荷されます。

事業所 B で残りの数量 4 がバックオーダーとなります。

### 例: 在庫引当優先情報

[補充パーセント] フィールドを使用して、オーダーを 1 つ以上の事業所から柔軟に補充することができます。在庫引当優先情報は引当可能数量に対する通常のチェックと共に機能し、優先情報に定義された全ての事業所に対するチェックを追加します。

各事業所がチェックされるので、オーダー全体を補充できるどの事業所からでもオーダーを出荷することができます。[補充パーセント] フィールドの値によっては、オーダー行を複数の事業所で補充することができます。

### 技術上の考慮事項

在庫引当優先情報については、以下の点を考慮します。

タスク	説明
在庫引当優先情報を有効にする	在庫引当優先情報は、受注オーダー入力プログラム (P4210) の個別の処理オプションで有効にしてください。
キットおよびコンフィギュレーション品目の処理	在庫引当優先情報は、キットまたはコンフィギュレーション品目では使用できません。

この優先情報を使用する前に、在庫引当用の受注オーダー入力の優先オプションがブランクになっていることを確認します。

## 業種優先情報

この優先情報を使用して、“航空”のような顧客の業種を指定します。業種優先情報は、顧客/顧客グループ、品目/品目グループの組み合わせに対して設定できます。

業種優先情報を定義すると、販売分析に有用なデータを取り出すことができます。業種別のレポートを作成できます。業種を基準にした価格設定ができます。

この優先情報は、受注オーダーの入力時に適用されます。

## 輸送モード優先情報

輸送モード優先情報は、顧客または品目レベルの優先情報に加えて、出荷先に基づいた特定の輸送方法を選択するために使用されます。たとえば、ある顧客が特定の出荷先に対しては常に翌日着の航空便で出荷するように希望する場合は、この情報を輸送モード優先情報として設定します。

購買オーダーや顧客からの返品などのインバウンド取引について輸送情報を入力するときに、顧客、品目、および入荷倉庫を基にして輸送モード優先情報を設定できます。購買オーダーについては、仕入先/品目/倉庫の組み合わせがデフォルト情報として使用されます。

## 複数の入出荷保管場所優先情報

この優先情報に、システムが製品を割り当てる入出荷用の保管場所を定義します。また、指定する保管場所のアクティブ化/非アクティブ化もできます。保管場所をアクティブにすると、事業所固定情報 (P41001) で指定したデフォルトの保管場所は複数の入出荷保管場所優先情報により一時変更されます。

たとえば、大量の製品を出荷する場合、倉庫従業員が製品のピッキングを行って適切なドックに配置すると運転手がその製品をトラックに積荷します。配送運転手はさまざまな納品先を回って納品することがあります。配送の対象となる入出荷保管場所を全て定義することにより、製品のさまざまな入出荷を受注管理システムで計画できるようになります。

システムにより製品が割り当てられた保管場所と異なる保管場所を選択する場合には、倉庫管理または輸送管理のいずれかのシステムでシステム割当ての保管場所を一時変更できます。

**注:** 倉庫管理システムで保管場所を一時変更する場合は、要求照会プログラム (P4600) または確認プログラム (P4617) を使用できます。

輸送管理システムで保管場所を一時変更する場合は、出荷処理プログラム (P4915) または積荷の処理プログラム (P4960) を使用できます。

## 次のオーダー状況優先情報

次のオーダー状況優先情報を使用して、受注オーダー入力後の処理ステップの省略または挿入を行います。処理の流れはオーダー処理順序定義によって決定されます。次のオーダー状況優先情報により、オーダー処理順序定義の次のステップが一時変更されます。オーダーの入力時にオーダー処理順序定義のステップを変更する場合にのみ、この優先情報を使用します。

たとえば、顧客と品目の組み合わせについて電子データ交換 (EDI) オーダー承認を送信するとします。別のある顧客に対しては、オーダー処理順序定義に定義された確認手順を省略するとします。

オーダー処理順序定義により、省略するステップを指定できます。たとえば、受注オーダー入力 (状況 520) からあるステップを省略して別の状況ステップに進むには、その他の使用可能状況コードのいずれかを選択する必要があります。代替ステップがオーダー処理順序定義に設定されていないため、受注オーダー入力から直接サイクル請求 (状況 580) に進むことはできません。

---

**注:** 優先情報の設定中は、無効な処理順序/状況コードを入力することができます。ただし、受注オーダーの処理中に、受注オーダーの [状況コード] フィールドが強調表示され、無効な処理順序/状況コードが検索されたことが示されます。

---

この優先情報を使用する前に、オーダー処理順序定義と、処理フローから省略できるステップを指定します。

## オプションおよび設備の優先情報

オプションおよび設備の優先情報には、出荷に必要なオプションと設備を指定します。この優先情報は優先階層内の該当する全てのグリッド位置で解決されるため、オプション/設備の複数の条件が出荷に追加されます。

さらに、各優先情報にオプションや設備のリストを含めることができます。たとえば、腐敗しやすい品目には冷蔵トレーラーが必要です。この場合、冷蔵トレーラーで運送するこれらの品目に対してオプション優先情報を設定します。このオプションは、腐敗しやすい品目が含まれる出荷全体に適用されます。出荷の配送経路を設定するときには、冷蔵トレーラーを提供できる運送業者、輸送モード、または配送経路のみが選択されます。

## オーダー準備日数優先情報

オーダー準備日数優先情報には、オーダーの出荷準備に要する日数に関する情報を設定することができます。これにより、顧客がオーダーを発注してからその納品までに要する日数を正確に決めることができます。

オーダー準備日数とは、受注オーダーを出荷する前にそのピッキングと梱包に要する日数のことです。[顧客請求指示] で顧客用に設定した優先コードを使用して、準備日数が決定されます。ただし、単一オーダーに対する優先コードは、オーダー入力時に一時変更することができます。

オーダー入力時には、オーダー準備日数優先情報を使用して、逆算スケジューリングにより日数の計算が行われます。逆算スケジューリングでは、納期と作業日から溯ってオーダーのピッキング日付、出荷日付、配送日付の計算が行われます。

ピッキング日付が本日の日付よりも前の場合は、オーダー日付を基にしてピッキング、出荷、および納期が調整されます。

### 例: 製品日付へのオーダー準備日数優先情報の適用

以下の例では、優先情報にオーダー準備日数を 4 日、輸送リードタイム日数を 5 日として指定しています。

作業	結果
受注担当者が手作業で出荷日付を入力する	<p>プログラムにより約束日付があらかじめ入力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受注オーダー入力日:11 月 6 日(金)</li> <li>計算されたピッキング日付:11 月 8 日(日)</li> <li>入力した出荷日付:11 月 12 日(木)</li> <li>計算された約束日付:11 月 17 日(火)</li> </ul> <p>積荷日付に輸送リードタイム日数が加算されて、約束日付が計算されます。ピッキング日付は出荷日付から 4 日差し引いて計算されます。</p>
受注担当者が手作業で約束日付を入力する	<p>プログラムにより出荷日付が逆算されます。約束日付から輸送リードタイム日数が減算され、出荷日付が計算されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受注オーダー入力日:11 月 6 日(金)</li> <li>入力した約束日付:11 月 23 日(月)</li> <li>計算された出荷日付:11 月 18 日(水)</li> <li>計算されたピッキング日付:11 月 14 日(土)</li> </ul> <p>ピッキング日付は出荷日付から 4 日差し引いて計算されます。ピッキング日付が本日の日付よりも前の場合は、警告が表示されます。</p>
受注担当者が、[約束日付]と[出荷日]フィールドをブランクにする	<p>約束日付は、オーダー準備日数をピッキング日付に加算し、それに輸送リードタイム日数を加算して計算されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受注オーダー入力日:11 月 3 日(火)</li> <li>入力したピッキング日付:11 月 3 日(火)</li> <li>計算された出荷日付:11 月 7 日(土)</li> <li>計算された約束納期:11 月 12 日(木)</li> </ul>
計算された出荷日がオーダー入力日付よりも前の日付になる	<p>出荷日付とピッキング日付がオーダー日付よりも前になる場合、その旨を告げるソフトエラーが表示されます。オーダー処理には影響ありません。</p>

## 支払条件優先情報

支払条件優先情報を使用して、特定の顧客と品目の組み合わせに対する支払条件と手段を指定します。支払条件の適用は品目の詳細レベルでのみ行われます。この優先情報に含まれない品目に対しては、オーダー レベルで顧客マスター情報の支払条件が適用されます。

## 支払条件（事業所）優先情報

支払条件（事業所）優先情報を使用して、特定の顧客と品目の組み合わせに対する支払条件と手段を指定します。支払条件の適用は事業所レベルでのみ行われます。この優先情報に含まれない品目に対しては、オーダー レベルで顧客マスター情報の支払条件が適用されます。

## 価格調整スケジュール優先情報

価格調整スケジュール優先情報は、上級価格設定システムと併用します。この優先情報を使用して、特定の顧客に販売される品目に対して異なる価格調整スケジュールを割り当てることができます。この優先情報を使用して、取引先との契約に対するペナルティスケジュールを作成することもできます。

この優先情報により、[顧客請求指示] のデフォルトのスケジュールが一時変更されます。この優先情報は、受注オーダーの入力時に適用されます。

## 価格設定計量単位優先情報

価格設定計量単位優先情報は以下の目的で使用します。

- (デフォルト受注明細行の) [価格設定計量単位] フィールドを一時変更する。

受注明細行は、処理オプションまたは品目マスター (P4101) の情報を基にして自動入力されます。この優先情報は、顧客と特定の計量単位で価格の交渉を行うときなどに使用できます。この場合、顧客および品目に対する価格設定をその計量単位で行い、オーダーに対して価格設定計量単位を自動的に追加するための価格設定計量単位優先情報を入力する必要があります。価格設定計量単位は、取引の計量単位と同じである必要はなく、事業所ごとに別の単位を使用することができます。

- 常温/標準温度で価格を計算する。

このフラグを使用して、配送確認時に、ユーザーの選択した標準温度または常温を用いて価格が再計算されます。

---

**注:** キー フィールドをブランクにすると、そのフィールドに対する有効な値の全てを指定したことになります。たとえば、[ビジネスユニット] フィールドをブランクにすると、価格設定計量単位優先情報が全てのビジネスユニットに適用されます。

---

この優先情報を使用するには、以下の作業を行います。

- システム固定情報に、販売価格の検索用の計量単位を設定します。
- この優先情報に入力される価格設定計量単位の基本価格レコード、または上級価格設定レコードが存在することを確認します。

### 関連項目:

[第 6 章、「基本価格設定および標準価格設定の設定」、105 ページ](#)

[第 2 章、「受注管理システムの設定」、「システム固定情報の設定」、31 ページ](#)

## 価格設定計量単位（事業所）優先情報

価格設定計量単位（事業所）優先情報は、以下の目的で使用します。

- (デフォルト受注明細行の) [価格設定計量単位] フィールドを一時変更する。

受注明細行は、処理オプションまたは品目マスター (P4101) の情報を基にして自動入力されます。この優先情報は、顧客と特定の計量単位で価格の交渉を行うときなどに使用できます。この場合、顧客および品目に対する価格設定をその計量単位で行い、オーダーに対して価格設定計量単位を自動的に追加するための価格設定計量単位優先情報を入力する必要があります。価格設定計量単位は、取引の計量単位と同じである必要はなく、事業所ごとに別の単位を使用することができます。

- 常温/標準温度で価格を計算する。

このフラグを使用して、配送確認時に、ユーザーの選択した標準温度または常温を用いて価格が再計算されます。

---

**注:** キー フィールドをブランクにすると、そのフィールドに対する有効な値の全てを指定したことになります。たとえば、[ビジネスユニット] フィールドをブランクにすると、価格設定計量単位優先情報が全てのビジネスユニットに適用されます。

---

この優先情報を使用するには、以下の作業を行います。

- システム固定情報に、販売価格の検索用の計量単位を設定します。
- この優先情報に入力される価格設定計量単位の基本価格レコード、または上級価格設定レコードが存在することを確認します。

#### 関連項目:

第 6 章、「基本価格設定および標準価格設定の設定」、「基本価格の設定」、111 ページ

第 2 章、「受注管理システムの設定」、「システム固定情報の設定」、31 ページ

## 製品割当て優先情報

製品割当て優先情報を使用して、顧客または顧客グループが購入できる品目または品目グループの数量を制限します。たとえば、その品目に対する需要が供給を上回る場合や政府の規制によって特定の品目が制限される場合に、この優先情報を使用します。

数量限度を設定して、顧客または顧客グループが購入できる数量、または販売できる品目または品目グループの数量を定義できます。引当可能数量よりも前に、割当て限度がチェックされます。製品割当ては、顧客間での製品の分配方法を示します。製品引当可能数量は、事業所保管場所における製品の数量を示します。

製品割当ては以下のいずれかの値で設定できます。

- 品目単位の固定数量
- 割当て可能な製品のパーセント

オーダー数量が割当て数量を超過する場合は、受注オーダーの入力時に警告メッセージが表示されます。その場合は、オーダーを保留にするか、オーダー数量を引当可能または割当て可能な数量に減らします。

割当て済み製品に対するオーダーを入力するたびに、有効日付範囲内にオーダーされた数量が割当て限度まで累計されます。また、オーダー入力のたびに、[販売数量] フィールドがシステムにより更新されます。このフィールドは、割当てが有効になった時点でオーダー済みの数量を示します。オーダーの変更または取消しを行うと、現在合計からその数量が差し引かれます。製品割当て優先情報は、引当可能数量のチェックの前に適用されます。

---

**注:** 製品割当て優先情報用の優先マスター (P40070) の [開始数量] および [終了数量] のフィールドを無効にする必要があります。これにより、この優先情報に対する計量単位が自動的に換算されます。

---

#### 技術上の考慮事項

製品割当て優先情報については、以下の点を考慮します。

タスク	説明	タスク	説明
キットおよびコンフィギュレーション品目の処理	製品割当て優先情報は、キットまたはコンフィギュレーション品目には使用できません。	キットおよびコンフィギュレーション品目の処理	製品割当て優先情報は、キットまたはコンフィギュレーション品目には使用できません。
販売数量と残高の計算	<p>以下のいずれかに当てはまる場合は、[製品割当てプロファイルの改訂] フォームの残高カラムは、販売可能数量に更新されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 割当て方法 1 を使用</li> <li>• [数量プール サイズ] の残高に割当て方法 2 を使用</li> </ul> <p>割当て数量を超過するという理由でオーダーを保留にする場合は、割当て方法 1 および 2 の両方に対して、残高は負の数で表示されます。</p>	販売数量と残高の計算	<p>以下のいずれかに当てはまる場合は、[製品割当てプロファイルの改訂] フォームの残高カラムは、販売可能数量に更新されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 割当て方法 1 を使用</li> <li>• [数量プール サイズ] の残高に割当て方法 2 を使用</li> </ul> <p>割当て数量を超過するという理由でオーダーを保留にする場合は、割当て方法 1 および 2 の両方に対して、残高は負の数で表示されます。</p>
製品割当てを有効にする	<p>数量限度を設定して、顧客または顧客グループが購入できる数量、または販売できる品目または品目グループの数量を定義できます。</p> <p>製品引当保留コードは製品割当て優先情報と共に使用する必要があります。</p>	製品割当てを有効にする	<p>数量限度を設定して、顧客または顧客グループが購入できる数量、または販売できる品目または品目グループの数量を定義できます。</p> <p>製品割当て保留コードは製品割当て優先情報と共に使用する必要があります。</p>

以下の両方に当てはまる場合は、この優先情報を使用するには、受注オーダー入力の処理オプションで製品割当て保留コードを指定する必要があります。

- 製品割当て優先情報を作成する
- 顧客のオーダーが割当てを超過する場合にオーダーを保留にする

## 製品割当て（事業所）優先情報

製品割当て（事業所）優先情報を使用して、顧客または顧客グループが事業所別に購入できる品目または品目グループの数量を制限します。たとえば、その品目に対する需要が供給を上回る場合や政府の規制によって特定の品目が制限される場合に、この優先情報を使用します。

数量限度を設定して、事業所から顧客または顧客グループが購入できる数量、または販売できる品目または品目グループの数量を定義できます。引当可能数量よりも前に、割当て限度がチェックされます。製品割当ては、顧客間での製品の分配方法を示します。製品引当可能数量は、事業所保管場所における製品の数量を示します。

製品割当ては以下のいずれかの値で設定できます。

- 品目単位の固定数量
- 割当て可能な製品のパーセント

オーダー数量が割当て数量を超過する場合は、受注オーダーの入力時に警告メッセージが表示されます。その場合は、オーダーを保留にするか、オーダー数量を引当可能または割当て可能な数量に減らします。

割当て済み製品に対するオーダーを入力するたびに、有効日付範囲内にオーダーされた数量が割当て限度まで累計されます。また、オーダー入力のたびに、[販売数量] フィールドがシステムにより更新されます。このフィールドは、割当てが有効になった時点でオーダー済みの数量を示します。オーダーの変更または取消しを行うと、現在合計からその数量が差し引かれます。製品割当て優先情報は、引当可能数量のチェックの前に適用されます。

**注:** 製品割当て優先情報用の優先マスター (P40070) の [開始数量] および [終了数量] のフィールドを無効にする必要があります。これにより、この優先情報に対する計量単位が自動的に換算されます。

## 技術上の考慮事項

製品割当て優先情報（事業所）については、以下の点を考慮します。

タスク	説明
キットおよびコンフィギュレーション品目の処理	製品割当て優先情報は、キットまたはコンフィギュレーション品目には使用できません。
販売数量と残高の計算	<p>以下のいずれかに当てはまる場合は、[製品割当てプロファイルの改訂] フォームの残高カラムは、販売可能数量に更新されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 割当て方法 1 を使用</li> <li>• [数量プール サイズ] の残高に割当て方法 2 を使用</li> </ul> <p>割当て数量を超過するという理由でオーダーを保留にする場合は、割当て方法 1 および 2 の両方に対して、残高は負の数で表示されます。</p>
製品割当てを有効にする	<p>数量限度を設定して、顧客または顧客グループが購入できる数量、または販売できる品目または品目グループの数量を定義できます。</p> <p>製品割当て保留コードは製品割当て優先情報と共に使用する必要があります。</p>

以下の両方に当てはまる場合は、この優先情報を使用するには、受注オーダー入力の処理オプションで製品割当て保留コードを指定する必要があります。

- 製品割当て優先情報を作成する
- 顧客のオーダーが割当てを超過する場合にオーダーを保留にする

## 品質管理優先情報

品質管理優先情報は、顧客と品目の組み合わせに対して検査を実行したり、一定の品質を保つために使用します。

この優先情報を使用するには、試験を実行したり品質基準を設定する試験仕様を設定します。



## 収益ビジネスユニット優先情報

収益ビジネスユニット優先情報は、中央のビジネスユニットとは異なるビジネスユニットの収益を認識するために使用します。この優先情報を使用することで、デフォルトの事業所をこの優先情報に入力した事業所に一時変更できます。収益ビジネスユニット優先情報は事業所間売上には適用されません。

この優先情報は、関連する収益ビジネスユニットに属する販売担当者に対しても使用することができます。

### 例: 収益ビジネスユニット優先情報

この例では、収益を単一のビジネスユニットに転記する一方、複数のビジネスユニットから品目を出荷する場合の収益ビジネスユニット優先情報の設定方法を説明します。

1. 品目に対する“南西部”顧客グループを作成する
2. 収益ビジネスユニット優先情報を設定する
3. [出荷先顧客グループ]と[品目 No.]の交差部分に収益ビジネスユニット優先情報のための優先階層を設定する
4. [収益ビジネスユニット プロファイルの改訂] フォームの[ビジネスユニット] フィールドに事業所を入力する
5. [収益ビジネスユニット プロファイルの改訂] フォームの[収益ビジネスユニット] フィールドに、[ビジネスユニット] フィールドに入力した事業所とは別の事業所を入力する

この優先情報を使用するには、顧客売上更新プログラム (R42800) の処理オプションを収益ビジネスユニットを指定する設定にします。

## 収益ビジネスユニット優先情報 (事業所)

収益ビジネスユニット優先情報 (事業所) は、事業所別に中央のビジネスユニットとは異なるビジネスユニットの収益を認識するために使用します。この優先情報を使用することで、デフォルトの事業所をこの優先情報に入力した事業所に一時変更できます。収益ビジネスユニット (事業所) 優先情報は事業所間売上には適用されません。

この優先情報は、関連する収益ビジネスユニットに属する販売担当者に対しても使用することができます。

### 例: 収益ビジネスユニット (事業所) 優先情報

この例では、収益を単一のビジネスユニットに転記する一方、複数のビジネスユニットから品目を出荷する場合の収益ビジネスユニット (事業所) 優先情報の設定方法を説明します。

1. 品目に対する“南西部”顧客グループを作成する
2. 収益ビジネスユニット (事業所) 優先情報を設定する
3. [出荷先顧客グループ]と[品目 No.]の交差部分に収益ビジネスユニット (事業所) 優先情報のための優先階層を設定する
4. [収益ビジネスユニット プロファイルの改訂] フォームの[ビジネスユニット] フィールドに事業所を入力する
5. [収益ビジネスユニット プロファイルの改訂] フォームの[収益ビジネスユニット] フィールドに、[ビジネスユニット] フィールドに入力した事業所とは別の事業所を入力する

この優先情報を使用するには、顧客売上更新プログラム (R42800) の処理オプションを収益ビジネスユニットを指定する設定にします。

## 販売コミッション優先情報

販売コミッション優先情報は、顧客と品目の組み合わせを基準としたコミッション レートおよび販売担当者の設定に使用します。コミッション レートを設定するときには、複数の営業担当者または営業グループを割り当てることができます。[業種] および [事業所] がこの優先情報の補足検索フィールドです。業種および事業所の値に基づき、さまざまな顧客および品目の組み合わせに対して別々のコミッション優先情報を割り当てることができます。

受注オーダー見出しの [販売コミッション] フィールドには、通常、顧客マスター テーブルのデフォルト値が表示されます。[コミッション/ロイヤリティ情報] で顧客請求指示の [レート] フィールドが空白の場合は、システムによりコミッション レートのデフォルト値を自動入力できます。通常、受注オーダーの各行にはデフォルト値が自動入力されます。優先情報により、見出し情報が行レベルで一時変更されます。

この優先情報を使用するには、販売担当者を優先情報に入力する前に、全ての販売担当者を住所録および [コミッション/ロイヤリティ情報] フォームに設定する必要があります。

### 関連項目:

第 3 章、「オーダー処理情報の設定」、「コミッション情報の設定」、49ページ

## 販売価格基準日優先情報

販売価格基準日優先情報を使用して、一定期間、特定の価格を保証します。たとえば、6 月の受注オーダーの品目に対して、5 月の価格をオファーする場合にこの優先情報を設定できます。

販売価格基準日優先情報は、優先情報が使用されるかどうか、有効日付が価格に対して設定されているかどうか、また受注オーダーの日付に関連する価格を適用するかどうかを評価するために、システムにより使用されます。

販売価格基準日優先情報により、販売価格基準日の有効期間内の全ての調整が一時変更されます。

## ユーザー定義価格コード優先情報

ユーザー定義価格コード優先情報を使用して、会社独自の価格設定ニーズに合わせてコードを定義します。価格コードは、オーダー入力時に受注明細行に追加されます。

価格コードを上級価格設定システムのプログラムで使用し、価格調整を定義することができます。価格コードはレポート用に使用することもできます。たとえば、一時的な価格設定に価格コードを使用することができます。価格コードを定義して、商品価格が一定期間公表された後に価格の再設定が必要となるオーダー行を識別することができます。

価格が既知の場合は、受注オーダー価格/原価のバッチ更新プログラム (R42950) を実行できます。これらの行は、指定した値と価格コードが等しい場合にのみ選択します。

### 関連項目:

第 15 章、「価格の更新」、615ページ

第 6 章、「基本価格設定および標準価格設定の設定」、「基本価格の設定」、111ページ

---

## 優先マスター情報の設定

このセクションでは、優先マスターの設定の概要と優先マスター情報の追加方法について説明します。

## 優先マスターの設定について

[優先プロファイルの処理] フォームには論理グループの優先情報が全て表示されます。[優先マスターの改訂] フォームを使用して優先情報をフォームのどこに表示するか、および有効日付と数量を優先情報に含めるかどうかを指定します。

マスター優先情報で優先情報の数量を使用可能にする場合は、計量単位は換算されません。このため、オーダーで入力した計量単位とまったく同じ計量単位を持つ優先情報のみが検索されます。

たとえば、ある優先情報に計量単位 LT(リットル) を設定している場合に、受注オーダーをガロンで入力すると、優先レコードの検索時にはガロンからリットルへ換算されないの、リットルで設定した優先情報は選択されません。

特定の優先情報に対して使用できる有効数量フィールドが必要な場合は、受注オーダーのトランザクション計量単位として使用できる各計量単位に対して、個別の優先情報を作成する必要があります。

## 優先マスター情報の設定に使用するフォーム




フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[優先マスターの改訂]	W40070D	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]、[優先マスターの改訂] の [追加] をクリックします。	優先情報の追加と改訂を行います。

## 優先マスター情報の設定

[優先マスターの改訂] フォームにアクセスします。

優先マスター - 優先マスターの改訂

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

優先タイプ

記述

優先分類

順序No.

その他優先情報

☒ 有効日付の使用
☐ 有効数量の使用

[優先マスターの改訂] フォーム

### [優先タイプ]

優先タイプを示す UDC (40/PR) を指定します。

### [優先分類]

[優先プロファイル] の優先情報をグループ化するために使用される分類またはタイトルを指定します。

### [有効日付の使用]

優先情報について、有効日付範囲のフィールドを表示するかどうかを指定します。優先情報に有効日付と有効数量を入力する場合、有効日付範囲を表示することができます。

**[有効数量の使用]**

優先情報について、有効数量範囲のフィールドを表示するかどうかを指定します。有効数量のフィールドは省略可能なフィールドで、優先レコードの設定前に無効にすることができます。ただし、優先レコードの設定後に無効にすることはできません。

有効数量を割り当てる場合は、有効日付を割り当てる必要があります。

## 優先階層の作成

このセクションでは、優先階層の作成の概要とその方法について説明します。

### 優先階層の作成について

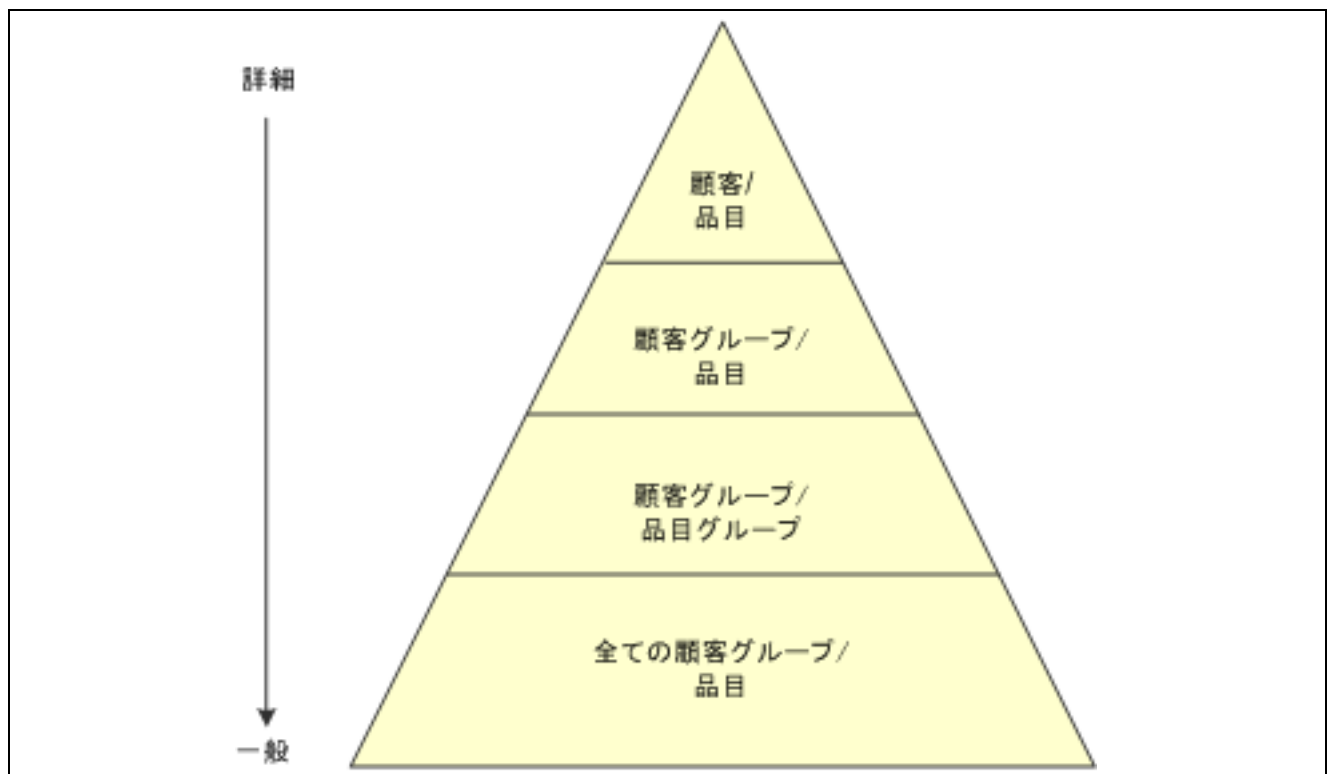
各優先タイプに階層を定義して、受注オーダーに適用する優先情報の順序を指定する必要があります。

[優先階層の改訂] フォームには、顧客と顧客グループを示すローと品目と品目グループを示すカラムがあります。ローとカラムの交差部分に階層順序を入力します。

階層は、オーダーの検索方法を示します。階層は、1 から開始して 1 ずつ増分する必要があります。番号をとばすことはできません。

優先情報の検索時には、優先階層により優先情報の検索順序が決まります。“1” を入力した交差部分から、その顧客と品目の組み合わせに対して定義されたレコードの検索が開始されます。この交差部分に対応する優先情報が検出されない場合、“2” を入力した交差部分の検索が実行され、これ以降も同様に検索が続けられます。

次の図に、優先情報の検索方法を示します。



優先階層

注: 階層を定義するときには、最も一般的なグループ（品目のみや顧客のみ）から始め、その後細分化したグループを定義します。印刷メッセージなどの一部の優先情報では、特定の組み合わせが使用できないことに注意してください。

## 優先階層の作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[優先階層の改訂]	W40073D	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から優先情報を選択し、[ロー]メニューの[階層]を選択します。	受注オーダーに優先情報を適用する順序を定義します。

## 優先階層の作成

[優先階層の改訂] フォームにアクセスします。

優先マスター - 優先階層の改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

優先タイプ

CS

サービス/ワランティ管理の階層

		品目 No.	品目 グループ	全 品目
出荷先	顧客 No.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	顧客グループ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
販売先	顧客 No.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	顧客グループ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
親	顧客 No.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	顧客グループ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
すべての顧客		1 <input type="text"/>	2 <input type="text"/>	3 <input type="text"/>

[優先階層の改訂] フォーム

## 基本優先情報の設定

このセクションでは、基本優先情報の設定の概要について説明します。

## 基本優先情報の設定について

優先マスターと階層情報を設定すると、基本優先情報を入力できます。

## 基本優先情報の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[運送業者プロフィールの改訂]	W40333B	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 優先情報を選択して、[選 択]をクリックします。[運送 業者プロフィールの処理] の [追加] をクリックしま す。[優先階層の選択] か ら該当する組み合わせ を選択して、[選択] をク リックします。	運送業者プロフィールの 優先情報の追加と変更 を行います。
[顧客通貨プロフィールの改訂]	W40345D	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 顧客通貨を選択して、[選 択]をクリックします。[顧客 通貨の処理] の [追加] をク リックします。	顧客通貨プロフィールの 優先情報の追加と変更 を行います。
[顧客運賃の改訂]	W40332B	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 顧客運賃を選択して、[選 択]をクリックします。[顧客 通貨プロフィールの処理] の [追加] をクリックしま す。[優先階層の選択] か ら該当する組み合わせ を選択して、[選択] をク リックします。	顧客運賃プロフィールの 優先情報の追加と変更 を行います。
[納期プロフィールの改訂]	W40309A	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 納期を選択して、[選択] を クリックします。[納期プロ ファイルの処理] の [追加] をクリックします。[優先階 層の選択] から該当する組 み合わせを選択して、[選 択] をクリックします。	納期優先情報の追加と変 更を行います。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[伝票配賦プロファイルの改訂]	W40329A	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から伝票配賦を選択して、[選択]をクリックします。[伝票配賦プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	伝票配賦優先情報の追加と変更を行います。
[伝票セットプロファイルの改訂]	W40330A	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から伝票セットを選択して、[選択]をクリックします。[伝票セットプロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	伝票セット優先情報の追加と変更を行います。
[最終用途プロファイルの改訂]	W40304D	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から最終用途を選択して、[選択]をクリックします。[最終用途プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	最終用途優先情報の追加と変更を行います。
[等級/濃度プロファイルの改訂]	W40308B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から等級および濃度を選択して、[選択]をクリックします。[等級/濃度プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	等級および濃度の優先情報の追加と変更を行います。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[在庫引当プロファイルの改訂]	W40306B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から在庫引当を選択して、[選択]をクリックします。[在庫引当プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	在庫引当優先情報の追加と変更を行います。
[業種優先プロファイル]	W40310B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から業種を選択して、[選択]をクリックします。[業種プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	業種優先情報の追加と変更を行います。
[輸送モードプロファイルの改訂]	W40334B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から輸送モードを選択して、[選択]をクリックします。[輸送モードプロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	輸送モード優先情報の追加と変更を行います。
[入荷保管場所プロファイルの改訂]、[出荷保管場所プロファイルの改訂]	W40320B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から入荷保管場所または出荷保管場所を選択して、[選択]をクリックします。場所優先プロファイルの処理の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	入荷保管場所と出荷保管場所の優先情報の追加と変更を行います。
[「次のオーダー状況」プロファイルの改訂]	W40341B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から次のオーダー状況を選択して、[選択]をクリックします。[「次のオーダー状況」の処理]の[追加]をクリックします。</p>	次のオーダー状況優先情報の追加と変更を行います。



ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[オプション/設備プロファイルの改訂]	W40331A	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] からオプション/設備を選択して、[選択]をクリックします。[オプション/設備プロファイルの処理] の [追加] をクリックします。[優先階層の選択] から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	オプション/設備優先情報の追加と変更を行います。
[オーダー準備日数の改訂]	W40316B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] からオーダー準備日数を選択して、[選択]をクリックします。[オーダー準備日数の処理] の [追加] をクリックします。[優先階層の選択] から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	オーダー準備日数の追加と変更を行います。
[支払条件プロファイルの改訂]	W40301C	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から支払条件を選択して、[選択]をクリックします。[支払条件プロファイルの処理] の [追加] をクリックします。[優先階層の選択] から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	支払条件優先情報の追加と変更を行います。
[支払条件プロファイルの改訂]	W40338B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から支払条件(事業所)を選択して、[選択]をクリックします。[支払条件プロファイルの処理] の [追加] をクリックします。[優先階層の選択] から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	事業所の支払条件優先情報の追加と変更を行います。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[価格調整スケジュールプロファイルの改訂]	W40314B	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 価格調整スケジュールを選 択して、[選択] をクリックし ます。[価格調整スケジュー ルの処理] の [追加] をク リックします。	価格調整スケジュール 優先情報の追加と変更 を行います。
[価格設定計量単位の 改訂]	W40302C	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 価格設定計量単位を選択 して、[選択] をクリックしま す。[価格設定計量単位プ ロファイルの処理] の [追 加] をクリックします。[優先 階層の選択] から該当する 組み合わせを選択して、[ 選択] をクリックします。	価格設定計量単位優先 情報の追加と変更を行 います。
[価格設定計量単位の 改訂]	W40347B	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 価格設定計量単位(事業 所)を選択して、[選択] をク リックします。[価格設定計 量単位プロファイルの処 理] の [追加] をクリックしま す。[優先階層の選択] か ら該当する組み合わせ を選択して、[選択] をク リックします。	事業所の価格設定計量単 位優先情報の追加と変更 を行います。
製品割当てプロファイル (事業所)	W40307A	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から 製品割当てを選択して、[選 択] をクリックします。[製品 割当てプロファイルの処理] の [追加] をクリックしま す。[優先階層の選択] か ら該当する組み合わせ を選択して、[選択] をク リックします。	製品割当て優先情報の追 加と変更を行います。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[製品割当(事業所)プロファイルの改訂]	W40339A	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から製品割当て(事業所)を選択して、[選択]をクリックします。[製品割当プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	事業所の製品割当て優先情報の追加と変更を行います。
[品質管理優先情報の改訂]	W40318B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から品質管理を選択して、[選択]をクリックします。[品質管理プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	品質管理優先情報の追加と変更を行います。
[収益ビジネスユニットプロファイルの改訂]	W40303C	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から収益ビジネスユニットを選択して、[選択]をクリックします。[収益ビジネスユニットの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	収益ビジネスユニット優先情報の追加と変更を行います。
[収益ビジネスユニットプロファイルの改訂]	W40349B	<p>[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]</p> <p>[優先マスターの処理] から収益ビジネスユニット(事業所)を選択して、[選択]をクリックします。[収益ビジネスユニットの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。</p>	事業所の収益ビジネスユニット優先情報の追加と変更を行います。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[販売コミッション プロファイルの改訂]	W40344B	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] から販売コミッションを選択して、[選択]をクリックします。[販売コミッションの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。	販売コミッション優先情報の追加と変更を行います。
[価格コード 1 プロファイルの改訂]	W40311B	[上級および技術的操作] (G4231)、[優先マスター]  [優先マスターの処理] からユーザー定義価格コード 1を選択して、[選択]をクリックします。[価格コード 1 プロファイルの処理]の[追加]をクリックします。[優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。	価格コード優先情報の追加と変更を行います。

## 詳細優先情報の設定

このセクションでは、詳細優先情報の設定の概要、および以下の方法について説明します。

- 優先情報の定義の改訂の設定
- 優先スケジュールの改訂の設定
- 優先詳細の改訂の設定

### 詳細優先情報について

優先情報は、オーダーの処理方法のユーザー定義仕様です。システムでは標準と詳細の両方の優先情報が使用されます。上級価格設定システムで使用する機能と同じ機能を使って、詳細優先情報が設定されます。たとえば、基本優先情報では、品目と顧客グループが上級価格設定と同様にカテゴリコードの定義に基づいて処理されます。

上級価格設定では、複合顧客グループ、複合品目グループを使用して価格設定スケジュールを管理します。詳細優先情報を使用するときにも、複合顧客グループと複合品目グループを使用してオーダーの処理方法を指定できます。詳細優先情報は、優先情報の処理方法を指定するスケジュールと共に設定します。

詳細優先情報には 1 つ以上の優先情報名 (タイプ)、優先スケジュール、および優先詳細があります。

詳細優先情報を設定するときに、特定のオーダー処理時に優先情報により一時変更する特定のキーフィールドを指定します。キー フィールドと共に戻り値フィールドも指定します。

## 詳細優先タイプ

優先タイプまたは名前は、デフォルトのオーダー処理を一時変更するために作成するプロファイルです。優先タイプは通常、優先情報の目的と一致します。

優先タイプを設定するときには、優先階層も割り当てます。優先階層によって特定の品目、品目グループ、顧客、顧客グループ、またはそれらの組み合わせに優先情報を設定できます。

詳細優先情報には、複数の基本優先情報がまとめられています。まとめられた詳細優先情報の例としては、オーダー明細デフォルト優先情報があります。オーダー明細デフォルト優先情報には、支払条件、価格設定計量単位、収益ビジネスユニット、最終用途などの多くの基本優先情報が含まれます。基本優先情報を組み合わせて詳細優先情報にまとめると、設定時間や処理時間が短縮されます。

## 詳細優先スケジュール

優先スケジュールは 1 つ以上の優先タイプを含み、優先情報の処理方法を管理します。スケジュールに優先情報の処理順序を指定します。スケジュールの有効日も指定できます。

優先タイプを定義して、各スケジュールの優先詳細を入力する必要があります。

## 詳細優先詳細

優先スケジュールに優先タイプを追加するときに、詳細優先明細を定義します。具体的には、詳細とは、キー フィールドと戻り値フィールドです。キー フィールドは優先タイプに定義されているので、キー フィールドは優先階層によって異なります。戻り値フィールドは、処理を行うためのユーザー定義仕様です。

詳細優先明細にはグループ、品目番号と顧客番号、数量レベル分岐、計量単位などを含めることができます。定義した詳細優先明細を使用して、ビジネス ニーズに対応する特定の処理方法と要件が決定されます。

## 詳細優先情報の処理

詳細優先情報の処理は、優先スケジュールに基づきます。優先スケジュールには、1 つ以上の優先情報名 (タイプ) があります。各スケジュールには、オーダーの処理方法に固有の詳細や値を追加することもできます。

最初にシステム固定情報内のスケジュールが検索されます。このスケジュールによって、オーダー処理時に解決する優先情報が決まります。システム固定情報に指定したスケジュールを一時変更するために、受注オーダー入力プログラム (P4210) の [優先情報] タブの上級優先スケジュールの一時変更処理オプションを設定した場合、受注オーダー入力のバージョンに指定されているスケジュールが使用されます。このスケジュールを使用して適切な優先情報名 (タイプ) が検索され、処理されます。

価格調整タイプ プログラム (P4071) の [詳細優先情報名の改訂] メニュー オプションを使用して、優先情報の識別方法が検索されます。優先タイプだけでなく、設定した優先階層も考慮されます。優先情報履歴レコードを更新するか、数量レベル分岐を処理するかも配慮されます。

次に、優先情報に設定した詳細が使用されます。これらの詳細にはグループ、品目と顧客番号、数量レベル分岐、および計量単位などが含まれます。この時点で使用される詳細には、優先タイプを定義するときに定義する固有キーと戻り値のフィールドも含まれます。

次の表に、詳細優先情報の処理順序を示します。

順序	優先情報	プログラムまたはフィールド
1	詳細優先スケジュールに指定した優先タイプ	P4070 – 詳細優先スケジュールの改訂

順序	優先情報	プログラムまたはフィールド
2	以下のような優先タイプ仕様 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 階層</li> <li>・ 数量レベル分岐</li> <li>・ 複合グループ</li> </ul>	P4071 – 詳細優先情報名の改訂
3	以下に基づく優先情報詳細: <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優先階層</li> <li>・ 優先タイプで定義された顧客グループと品目グループの両方、または一方</li> </ul>	P4072 – 詳細優先情報の詳細の改訂
4	キー フィールド	P4072 で指定したキー フィールドと戻り値

## 詳細優先情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[優先定義の改訂]	W4071A	[詳細優先情報](G40311)の[詳細優先情報名の改訂]を選択します。 [優先タイプの処理]の[追加]をクリックします。	優先タイプを新規作成します。
[優先スケジュールの改訂]	W4070C	[詳細優先情報](G40311)の[詳細優先情報スケジュールの改訂]を選択します。 [優先スケジュールの処理]の[追加]をクリックします。	優先スケジュールを作成します。
[優先詳細の改訂]	W4072A	[詳細優先情報](G40311)の[詳細優先情報詳細の改訂]を選択します。 [優先明細の処理]で優先名を検索して、[追加]をクリックします。 [優先階層の選択]から該当する組み合わせを選択して、[選択]をクリックします。	キー フィールドと戻り値フィールドを優先情報に追加します。

## 優先定義の改訂の設定

[優先定義の改訂] フォームにアクセスします。

## 優先スケジュールの改訂の設定

[優先スケジュールの改訂] フォームにアクセスします。

## 優先詳細の改訂の設定

[優先詳細の改訂] フォームにアクセスします。

---

## 顧客と品目のグループへの割当て

このセクションでは、顧客と品目のグループへの割当ての概要と、以下の方法について説明します。

- 優先グループへの顧客の割当て
- 優先グループへの品目の割当て

### 顧客と品目のグループへの割当てについて

基本優先情報を使用するには、特定のビジネス ニーズに合わせて優先情報をカスタマイズする設定タスクを実行する必要があります。業務の拡大や変更に応じて、同じタスクを使用して優先情報をさらにカスタマイズできます。

効率よく基本優先情報を定義するために、顧客または品目をグループに割り当てることができます。これにより、顧客や品目それぞれに対してではなく、そのグループに対して優先情報を定義できます。たとえば、同じ支払条件を適用する顧客全てを 1 グループにまとめることができます。次に、支払条件優先情報を作成して、グループに対して 1 つの優先情報を定義できます。

#### 優先グループへの顧客の割当て

どの優先情報についても、顧客を顧客グループに割り当てることができます。たとえば、ある顧客を季節的な顧客として指定し、その顧客用に特別な支払条件を作成することができます。このためには、以下の作業を行います。

- 顧客グループのユーザー定義コード “SEASON” を設定します。
- 季節的な顧客を全てこのグループに割り当てます。

この季節的な顧客グループに 1 つの支払条件優先情報を作成します。

また、この顧客グループに季節的な新規の顧客を割り当てすることもできます。これにより、この新規顧客の受注オーダー全てに支払条件優先情報が自動的に適用されます。

### 事前設定

顧客グループと品目グループのユーザー定義コードが設定されていることを確認します。

## 顧客と品目をグループに割り当てるために使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[顧客グループの改訂]	W40071D	<p>[上級および技術的操作] (G4231) の [優先マスター] を選択します。</p> <p>[優先マスターの処理] の [フォーム] メニューから [顧客グループ] を選択します。</p> <p>[顧客グループ優先情報の処理] で、顧客番号を検索して選択し、[選択] をクリックします。</p>	顧客グループに顧客を割り当てます。
[品目グループ優先情報の改定]	W40072D	<p>[上級および技術的操作] (G4231) の [優先マスター] を選択します。</p> <p>[優先マスターの処理] で、[フォーム] メニューから [品目グループ] を選択します。</p> <p>[品目グループ優先情報の処理] で、顧客番号を検索して選択し、[選択] をクリックします。</p>	品目グループに品目を割り当てます。

## 優先情報グループへの顧客の割当て

[顧客グループの改訂] フォームにアクセスします。



優先マスター - 顧客グループの改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

顧客 No. 27

顧客グループ 1 顧客グループ 2 顧客グループ 3

支払条件	<input type="text"/>
価格設定計量単位	<input type="text"/>
収益ビジネスユニット	<input type="text"/>
最終用途	<input type="text"/>
印刷メッセージ	<input type="text"/>
在庫引当て	<input type="text"/>
製品割当て	<input type="text"/>
等級/濃度	<input type="text"/>
納期	<input type="text"/>
業種	<input type="text"/>
価格コード 1	<input type="text"/>
価格コード 2	<input type="text"/>
価格コード 3	<input type="text"/>

[顧客グループの改訂] フォーム

## 優先情報グループへの品目の割当て

[品目グループ優先情報の改訂] フォームにアクセスします。

## 優先情報の有効化

このセクションでは、優先情報を有効にする方法と選択方法の概要、および優先情報を選択する処理オプションの設定方法について説明します。

### 優先情報の有効化について

オーダー処理に使用する各優先情報を有効にできます。オンライン処理により、優先情報処理のバージョンで各優先情報を有効にします。このバージョンには、システムの処理について有効な優先情報と無効な優先情報のリストがあります。

受注オーダーの入力時に使用するオンライン処理の代わりに、優先情報のバッチ処理を使用することができます。優先情報のバッチ処理は、オーダー入力後に実行できます。バッチ処理では、オーダー入力のたびに各優先情報を検索して適用する必要がないので、受注オーダー入力を短縮できます。

特定の優先情報を検索して、優先情報がどのように定義されているかを確認できます。また、優先情報を検索して、優先情報を新規作成する前に顧客と品目の組み合わせに対して優先情報が存在しているかどうかをチェックすることができます。

---

注: 受注オーダー行の品目に手作業で入力した値により、優先情報が一時変更されます。

---

## 優先情報の選択方法について

優先情報を適用するオーダー入力プログラムの全バージョンについて、優先プロファイル処理の処理オプションを設定する必要があります。在庫引当優先情報、製品割当て優先情報、納期優先情報のバッチ処理はできません。

処理に使用する各優先情報を有効にする必要があります。これは、優先情報処理オプション プログラム (R40400) のバージョンで行います。有効な優先情報と無効な優先情報をリストしたプロンプトが表示されます。

優先情報が有効になっているかどうかを調べるには、検討している優先情報に固有の優先情報の照会または改訂フォームの [優先状況] フィールドを参照します。

優先情報値により、品目マスター テーブル (F4101)、事業所品目テーブル (F4102)、顧客マスター テーブル (F0301)、データ辞書テーブルからのデフォルト値が一時変更されます。受注オーダー プログラムまたは優先情報プロファイル プログラムで優先情報を有効にしない場合は、通常のデフォルト値が使用されます。

### 優先情報の検索

特定の優先情報を検索して、優先情報の定義内容を表示できます。また、優先情報を検索して、優先情報を新規作成する前に顧客と品目の組み合わせに対して優先情報が存在しているかどうかをチェックすることができます。

---

注: その顧客と品目の組み合わせに対して優先情報が既に存在する場合は、新しい優先情報が既存の優先情報と矛盾する恐れがあるため、優先情報の使用方針を決定する必要があります。

---

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- システム固定情報に優先スケジュールを定義します。
- 受注オーダー入力 (P4210) の処理オプションで優先情報プロファイルを有効にします。

## 優先情報の選択プログラムの実行

[上級および技術的操作] メニュー (G4231) から [優先情報選択] を選択します。

## 優先情報選択 (R40400) の処理オプションの設定

優先情報を処理するには、以下の処理オプションを使用します。

## 処理制御

オーダー準備日数、価格調整スケジュール、次のオーダー状況、販売コミッション、顧客通貨

システムにより優先情報を処理するか、および優先情報解決元帳テーブル (F40300R) に書き込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 処理しません。

- 1: 優先情報を処理します。
- 2: 優先情報を処理し、F40300R テーブルに書き込みます。

## 処理制御 2

配送日付、業種、価格コード 1、価格コード 2、価格コード 3

システムにより優先情報を処理するか、および優先情報解決元帳テーブル (F40300R) に書き込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 処理しません。

- 1: 優先情報を処理します。
- 2: 優先情報を処理し、F40300R テーブルに書き込みます。

## 処理制御 3

オーダー準備日数、価格調整スケジュール、次のオーダー状況、販売コミッション、顧客通貨

システムにより優先情報を処理するか、および優先情報解決元帳テーブル (F40300R) に書き込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 処理しません。

- 1: 優先情報を処理します。
- 2: 優先情報を処理し、F40300R テーブルに書き込みます。

## 処理制御 4

支払条件 (事業所)、価格設定計量単位 (事業所)、収益ビジネスユニット (事業所)、製品割当て (事業所)、入荷保管場所、出荷保管場所

システムにより優先情報を処理するか、および優先情報解決元帳テーブル (F40300R) に書き込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 処理しません。

- 1: 優先情報を処理します。
- 2: 優先情報を処理し、F40300R テーブルに書き込みます。



## 付録 A

# JD Edwards EnterpriseOne 受注管理の標準ワークフロー

この付録では、JD Edwards EnterpriseOne 受注管理の標準ワークフローについて説明します。

### 関連項目:

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:ワークフロー ツール

---

## JD Edwards EnterpriseOne 受注管理の標準ワークフロー

このセクションでは、JD Edwards EnterpriseOne 受注管理の標準ワークフローについて説明します。

### JDESOENTRY ワークフロー プロセス

このセクションでは、JDESOENTRY ワークフロー プロセスについて説明します。

#### 説明

ワークフローの概要	JDESOENTRY ワークフロー処理をオンにしている場合にオーダーが保留になると、現行のオーダーが保留になっていることを伝えるアクション メッセージが販売担当者へ送信されます。
ワークフロートリガ	[OK] をクリックしてオーダーを受け入れると、ワークフローがアクティブかどうか、オーダー入力 (P4210) の [ワークフロー] タブにある処理オプションがチェックされます。また、保留コードの処理オプションがチェックされ、オーダーとその保留情報が比較されます。
ワークフロー処理	オーダー入力の承認者は、オーダーが保留になっていることを示すメッセージを電子ワークベンチで受信します。その後、承認者は、保留オーダーの処理アプリケーションへのリンクを選択して、このオーダーをリリースします。

#### ワークフロー オブジェクト

システム	42B
ワークフロー オブジェクト名	JDESOENTRY
オブジェクト ID	N4201570、B4200310
イベント記述/関数名	WorkflowProcessingSOE
順序/行番号	10

## 受信確認ワークフロー

このセクションでは、受信確認ワークフローについて説明します。

### 説明

ワークフローの概要	アウトバウンド EDI メッセージの EDI 受信確認をシステムがいつ受信したか、およびアウトバウンドメッセージが受理されたか、却下されたかをユーザーに通知します。
ワークフロートリガ	受信確認見出しテーブルに、手動またはフラットファイルの変換によりレコードが追加されたとき。受信確認コードに基づいて、優先情報が解決されます。たとえば、オーダーが受理されたか、却下されたかです。優先情報が検出されると、ワークフローが開始されます。
ワークフロー処理	ユーザーは、受信確認が受理されたか、却下されたかを示すメッセージを受信します。アウトバウンドメッセージが受理されたか、却下されたかをユーザーが調べるときに役に立つ、販売先、出荷先、出荷番号、請求書番号などの明細情報があります。

### ワークフロー オブジェクト

システム	42B
ワークフロー オブジェクト名	K470600
オブジェクト ID	N4700600
イベント記述/関数名	LaunchAcknowledgmentWorkflow
順序/行番号	45

## 受注オーダー変更承認

このセクションでは、受注オーダー変更承認ワークフローについて説明します。

## 説明

ワークフローの概要	ワークフローをアクティブにするには、受注オーダー入力の [監査ログ] タブにある、受注オーダー変更承認処理が必須の処理オプションを設定する必要があります。受注オーダーの特定のフィールドを変更して [OK] をクリックすると、そのオーダーが保留になり、指定した承認者にメッセージが送信されます。承認保留を示す AH 保留コードが入力されます。承認者が変更内容を受理した場合にのみ、オーダーがリリースされ、変更内容が受け付けられます。
ワークフロートリガ	[数量] (トランザクションと 2 次)、[計量単位] (トランザクションと 2 次)、[価格] (単位と拡張)、[要求日付]、[約束納入日付]、[支払条件] のいずれかのフィールドを変更しようとしたとき。
ワークフロー処理	オーダー変更の承認者は、ワークセンターの “受注オーダー変更の承認” キューの下でメッセージを受信します。その後、承認者はメッセージを選択して変更内容を確認し、ワークフローのリンクを選択して、変更内容の受理または却下を行います。承認者は、承認または却下に関するコメントも入力できます。

## ワークフロー オブジェクト

システム	42B
ワークフロー オブジェクト名	JDESOCHNG
オブジェクト ID	N4202130、B4200310
イベント記述/関数名	ApprovalProcessWorkflow
順序/行番号	25





## 付録 B

# JD Edwards EnterpriseOne 受注管理のレポート

この付録では、販売実績レポートの概要、および以下の情報の表示方法について説明します。

- 買掛管理の全レポートの一覧表
- 選択したレポートの詳細

---

## 受注管理のレポート

オーダーの状況に関する以下の情報を確認するには、受注管理のさまざまなレポートを作成します。

- 未処理オーダー
- 保留オーダー
- バックオーダー

さまざまな販売実績情報にアクセスして、検討することもできます。

---

## JD Edwards EnterpriseOne 受注管理のレポートの一覧

次の表に、JD Edwards EnterpriseOne 受注管理のレポートをレポート ID 順（昇順）に示します。

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション
R004203 前払取引レポート	取引の状況を識別できます。	[前払処理] (G42131)、[前払取引レポート]
R42600 販売履歴レポート	販売履歴を分析できます。	[受注オーダーレポート] (G42111)、[販売履歴レポート]
R42611 売上分析集計	期間累計/年累計の売上金額と粗利益を検討できます。	[受注オーダーレポート] (G42111)、[販売分析の集計]

レポート ID/レポート名	説明	ナビゲーション
R42620 顧客別発注残レポート	以下の情報を確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ピッキングは完了したが未出荷のオーダー</li> <li>• ピッキングは完了したが未請求のオーダー</li> <li>• 顧客の要求出荷日付を過ぎたオーダー</li> </ul>	[受注オーダーレポート] (G42111)、[顧客別受注残レポート]
R42632 品目別受注残レポート	品目について受注残となっているオーダーの数を確認し、引当可能数量情報を使用してどのようにオーダーを充当するかを検討できます。	[受注オーダーレポート] (G42111)、[品目別受注残レポート]
R42640 保留オーダーレポート	以下の理由により保留になっている全受注オーダーのリストを確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 与信</li> <li>• 粗利益</li> <li>• 部分オーダー保留</li> <li>• 価格検討</li> </ul>	[受注オーダーレポート] (G42111)、[保留オーダーレポート]

## JD Edwards EnterpriseOne 受注管理のレポート

このセクションでは、個々のレポートについて処理オプションなどの詳細情報を説明します。説明は、レポート ID 順になっています。

### R004203 – 前払取引レポート

前払取引レポート (R004203) を使用して、取引の状況を確認できます。データ選択に基づいて、承認済みで未決済の前払や、エラーのある取引を表示することができます。

### 前払取引レポート (R004203) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## 除去

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

1. 前払取引の除去      ブランクにすると、前払取引は除去されません。決済済みの前払取引を除去するには、「1」と入力します。

---

## R42600 – 販売履歴レポート

販売履歴を分析するには、販売履歴レポート (R42600) を作成します。選択した販売履歴レポートのバージョンにより、販売履歴を以下の項目で分析できます。

- 電話によるオーダー、一括オーダー、着払オーダー、返品オーダーなどのオーダー (伝票) タイプ別
- 在庫販売、非在庫販売、運賃、その他料金などの行タイプ別
- 出荷済み、バックオーダー、取消などのオーダー状況別
- 顧客、販売担当者、オーダー入力担当者別
- 顧客の支払条件別
- 価格別

オーダー処理順序定義に、販売明細実績テーブル (F42199) にレコードを入力する処理のステップを指定できます。

販売明細実績テーブルでは単一のオーダー明細行に対して複数のレコードを保存できるので、販売明細履歴レポートのデータ選択で、次の状況コードまたは前の状況コードを指定する必要があります。状況コードを指定しない場合は、販売履歴情報が重複して表示されることがあります。

このレポートにデータを販売レポートに印刷できない主な理由として、以下のものが挙げられます。

- 処理オプションに正しい状況コードを指定していない。
- オーダーに 1 つ以上の保留コードがある。
- 顧客売上の更新プログラム (R42800) の実行時に、販売集計履歴ファイル (F4229) テーブルを更新していない。

顧客売上の更新プログラム (R42800) の処理オプションで、販売集計履歴ファイル (F4229) テーブルのレコードを更新するように設定したことを確認してください。

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新」、626 ページ

---

## 販売履歴レポート (R42600) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## 日付

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

**開始日付** レポートの日付範囲の開始日付を入力します。

**終了日付** レポートの日付範囲の終了日付を入力します。

---

## R42611 – 売上分析集計

売上分析集計レポート (R42611) を作成して、期間累計/年累計の売上金額と粗利益を検討します。販売売上の集計プログラムにより、販売集計履歴テーブル (F4229) から情報が取り込まれます。

このレポートにデータを販売レポートに印刷できない主な理由として、以下のものが挙げられます。

- 処理オプションに正しい状況コードを指定していない。
- オーダーに 1 つ以上の保留コードがある。
- 顧客売上の更新プログラム (R42800) の実行時に、販売集計履歴ファイル (F4229) テーブルを更新していない。

顧客売上の更新プログラム (R42800) の処理オプションで、販売集計履歴ファイル (F4229) テーブルのレコードを更新するように設定したことを確認してください。

参照: 第 16 章、「日次締め処理の実行」、「顧客売上の更新」、626 ページ

---

## 売上分析集計レポート (R42611) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## 印刷

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

**要求された期間開始日付を入力します。** 確認用ワークファイルの作成に使用する開始日付 (SPC 有効日付の範囲)。日付は MM/DD/YY のフォーマットでなければなりません。

**要求された期間終了日付を入力します。** 確認用ワークファイルの作成に使用する終了日付 (SPC 有効日付の範囲)。日付は MM/DD/YY のフォーマットでなければなりません。

---

## R42620 - 顧客別発注残レポート

検討する顧客別発注残レポートを印刷します。

- ピッキングは完了したが未出荷のオーダー
- ピッキングは完了したが未請求のオーダー
- 顧客の要求出荷日付を過ぎたオーダー

このレポートの異なるバージョンを作成して、以下の項目を検討できます。

- 受注残およびその総額
- 特定の日付を過ぎた受注残
- 特定の伝票タイプまたは行タイプの受注残

受注オーダー入力プログラムの処理オプションで、在庫が不足している場合にバックオーダーを作成するように設定すると、レポートにバックオーダー品目が表示されます。バックオーダーおよび受注残の情報を正確に反映するように、このレポートを作成する前にバックオーダーをリリースしてオーダー処理過程に移行させてください。

需要スケジュール管理を使用する場合は、レポートの日付/時間列にピッキング予定時刻が記載されます。

### 関連項目:

第 9 章、「追加オーダーの入力」、267 ページ

---

## 顧客別発注残レポート (R42620) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

各プログラムについて、特定のトランザクションのデフォルト値、フォームに表示するフィールド、実行するプログラムのバージョンなどのオプションを指定できます。

レポートの場合は、処理オプションによって、表示する情報を指定できます。たとえば、レポートに会計年度や経過日数を含めるように処理オプションを設定できます。

ZJDE または XJDE のプレフィックスを持つ JD Edwards EnterpriseOne のデモ バージョンは、修正しないでください。バージョン番号、バージョン タイトル、オプションのプロンプト表示、セキュリティ、処理オプションなどの値を変更するには、これらのバージョンをコピーするか、新規バージョンを作成してください。

## 通貨処理

処理オプションはシステムの導入時に設定されますが、プログラムを実行するたびに変更できます。

### 通貨印刷オプション

外貨で印刷するには、「1」と入力します。外貨と国内通貨外貨で印刷するには、「2」と入力します。この処理オプションをブランクにすると、金額は国内通貨でのみ印刷されます。

---

## R42632 – 品目別受注残レポート

品目別受注残レポート (R42632) を作成して、受注残となっているオーダーの数を検討し、引当可能数量情報を使用してどのようにオーダーを充当するかを検討できます。

このレポートには受注オーダーの各明細行の品目が印刷され、品目番号順に情報がソートされます。倉庫内の保管場所にある各品目の手持ち数量も印刷されます。

需要スケジュール管理を使用する場合は、レポートの日付/時間列にピッキング予定時刻が記載されます。

必要なバックオーダーが全てリリースされて処理できる状態であることを確認します。

---

## R42640 – 保留オーダー レポート

以下の理由により保留になっている全受注オーダーのリストを確認できます。

- 与信
- 粗利益
- 部分オーダー保留
- 価格検討

# EnterpriseOne 用語集

DNT - 変換なし	BLOB データの制約のため、iSeries サーバーに必要なデータソースのタイプです。
EnterpriseOne オブジェクト	アプリケーションのビルドに使用される再利用可能なコードです。オブジェクトタイプには、テーブル、フォーム、ビジネス関数、データ辞書項目、バッチ処理、ビジネスビュー、イベントルール、バージョン、データ構造体、メディアオブジェクトなどがあります。
EnterpriseOne プロセス	EnterpriseOne クライアントと EnterpriseOne サーバーでのプロセスリクエストの処理とトランザクションの実行のためのソフトウェア プロセスです。クライアントでは 1 つのプロセスが実行され、サーバーでは 1 つのプロセスの複数のインスタンスを処理することができます。EnterpriseOne プロセスをワークフロー メッセージやデータレプリケーションなどの特定のタスク専用指定することで、サーバーが大量のタスクを処理する場合でも重要なプロセスの実行を確保することができます。
FTP サーバー	ファイル転送プロトコルを通じてファイルへのリクエストに応答するサーバーです。
IServer サービス	JD Edwards 独自のサービスです。このインターネット サーバー サービスは Web サーバーに常駐し、データベースからクライアントへの Java クラスのファイル配信を高速化するために使用されます。
Java アプリケーション サーバー	サーバー中心のアーキテクチャの中間層に置かれるコンポーネントベースのサーバーです。このサーバーは、データアクセスや永続性と共に、セキュリティとステータスの管理を行うためのミドルウェア サービスを提供します。
JDBNET	異種サーバー間でのデータアクセスを行うためのデータベースドライバです。
JDEBASE データベースミドルウェア	クライアント/サーバー間のアクセスとプラットフォーム非依存型の API を提供する JD Edwards 独自のデータベースミドルウェア パッケージです。
JDECallObject	ビジネス関数から他のビジネス関数を呼び出すための API です。
JD Edwards EnterpriseOne データベース	“JDEBASE データベースミドルウェア”を参照してください。
jde.ini	EnterpriseOne の初期設定に必要なランタイム設定を提供する JD Edwards EnterpriseOne のファイル (または iSeries 用のメンバー) です。EnterpriseOne を実行する各マシンには、ファイルまたはメンバーの特定バージョンを常駐させる必要があります。これには、ワークステーションとサーバーが含まれます。
JDEIPC	サーバーコードによって使用される通信プログラミングツールであり、マルチプロセス環境における同一データへのアクセス制限、プロセス間の通信と調整、新規プロセスの作成を行います。
jde.log	EnterpriseOne の主要な診断ログ ファイルです。このファイルは常に主ドライブのルートディレクトリに置かれ、EnterpriseOne の起動時からの状況とエラー メッセージが書き込まれます。
JDENET	JD Edwards 独自の通信ミドルウェア パッケージです。このパッケージは、ピアツーピア、メッセージベース、ソケットベースのマルチプロセス通信ミドルウェアソリューションです。EnterpriseOne の全てのサポート対象プラットフォームでクライアント/サーバー間、サーバー/サーバー間の通信を処理します。
Nota Fiscal	ブラジルでは、税務処理のために全ての商取引についてこの書式を作成し、税法で指定された情報を含めることが義務付けられています。
Nota Fiscal Factura	ブラジルで使用する書式です。伝票情報を伴う “Nota Fiscal” です。

	Nota Fiscal の説明も参照してください。
<b>QBE</b>	Query by Example (例示照会) の略語です。EnterpriseOne では、QBE 行は、詳細グリッドの最上段にあり、データのフィルタリングに使用されます。
<b>wchar_t</b>	ワイド文字の内部タイプです。国際市場向けの移植可能プログラムの記述に使用します。
<b>Web アプリケーション サーバー</b>	Web アプリケーションと、バックエンドシステムおよび電子商取引に使用されているデータベースとの間のデータ交換を可能にする Web サーバーです。
<b>Web サーバー</b>	ブラウザから送信されたリクエストに応じて、TCP/IP プロトコルを使用して情報を送信するサーバーです。Web サーバーでは、ブラウザからのリクエストへの対応以外にも、アプリケーションやデータの格納など、通常のサーバーが行うあらゆるタスクを処理することができます。どのようなコンピュータでも、サーバーソフトウェアをインストールし、インターネットに接続すれば、Web サーバーとして使用できます。
<b>Windows ターミナル サーバー</b>	マルチ ユーザー機能を持つサーバーであり、このサーバーに接続することで、それ自体では Windows ソフトウェアを実行できない端末や最小限構成のコンピュータでも Windows アプリケーションを使用することができます。全てのクライアント処理は、Windows ターミナル サーバーで集中的に実行され、画面表示、キー入力、およびマウス操作のコマンドのみがネットワーク経由でクライアントの端末機器とターミナル サーバー間で転送されます。
<b>XAPI イベント</b>	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムを呼び出すサービスです。
<b>XML CallObject</b>	ビジネス関数の呼び出しを行うためのインタオペラビリティ機能です。
<b>XML サービス</b>	EnterpriseOne システムからイベントをリクエストし、別の EnterpriseOne システムから応答を受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。
<b>XML ディスパッチ</b>	EnterpriseOne で受信する全ての XML ドキュメントへの応答のための、単一のエン트리 ポイントを提供するインタオペラビリティ機能です。
<b>XML トランザクション</b>	事前定義済みのトランザクション タイプを使用して EnterpriseOne にデータをリクエストしたり、EnterpriseOne からデータを受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。XML トランザクションではインターフェイス テーブル機能が使用されます。
<b>XML トランザクション サービス (XTS)</b>	EnterpriseOne のフォーマットではない XML ドキュメントを EnterpriseOne で処理可能なフォーマットに変換するサービスです。このサービスでは、応答時に、変換されたドキュメントが元の (発信側の) XML フォーマットに戻されます。
<b>XML リスト</b>	EnterpriseOne データベース情報のチャンク単位でのリクエスト/受信を可能にするインタオペラビリティ機能です。
<b>Z イベント</b>	インターフェイス テーブル機能を使用して EnterpriseOne トランザクションを取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
<b>Z テーブル</b>	EnterpriseOne 以外のデータを保存し、EnterpriseOne 用に変換することができるワークテーブルです。EnterpriseOne データの取得にも Z テーブルを使用できます。Z テーブルはインターフェイス テーブルとも呼ばれます。
<b>Z トランザクション</b>	EnterpriseOne データベースへの更新のためにインターフェイス テーブルで正しくフォーマットされたサードパーティのデータです。
<b>アクティビティ ルール</b>	フロー内でオブジェクトがあるポイントから次のポイントに進むための条件です。



<b>アプリケーション一時変更</b>	代替的なデータ辞書項目の記述であり、現在のオブジェクトのシステムコードに基づいて EnterpriseOne や World で表示されます。
<b>アプリケーション サーバー</b>	ネットワーククライアントに共有されるアプリケーションを含む、ローカル エリア ネットワーク内のサーバーです。
<b>イベントルール</b>	フォームの入力や、フィールド間の移動など、特定のアプリケーションで実行される操作に基づく処理(複数可)の実行をシステムに指示する論理ステートメントです。
<b>イベントルールビジネス関数 (NER)</b>	C 言語ではなく、イベントルールを使用して作成され、カプセル化された再利用可能なビジネスロジックです。イベントルールビジネス関数は、“NER” とも呼ばれます。NER は、複数のプログラムの複数の場所で再利用することができます。このモジュラー性の高さによって、コードの合理性や再利用性が高まり、必要な作業がより少なくなります。
<b>インターフェイス テーブル</b>	“Z テーブル” を参照してください。
<b>インタオペラビリティ モデル</b>	サードパーティシステムから EnterpriseOne への接続やアクセスを行うための機能です。
<b>インテグレーション サーバー</b>	コンピュータが内部および外部のネットワークで接続されたシステム環境で、各種のオペレーティングシステムやアプリケーション間でのデータの交換を行うための機能を提供するサーバーです。
<b>埋め込みイベントルール</b>	特定のテーブルやアプリケーションのためのイベントルールです。たとえば、フォーム間の呼び出し、処理オプションの値に基づくフィールドの非表示化、ビジネス関数の呼び出しなどが含まれます。“イベントルールビジネス関数”とは機能的に対照を成すルールです。
<b>エスカレーション モニター</b>	処理待ちのリクエストや活動を監視し、それらが非アクティブの状態のまま指定した時間が経過すると、再実行するか、または次のステップやユーザーに処理を進めるバッチプロセスです。
<b>エラー表示の有効化</b>	EnterpriseOne におけるフォームレベルのプロパティであり、有効時にはアプリケーション エラーのエラー メッセージがフォーム上に表示されます。
<b>エンタープライズ サーバー</b>	EnterpriseOne や World のデータベースとロジックを格納するサーバーです。
<b>オープン データ アクセス (ODA)</b>	データの集計とレポートの作成のために、SQL ステートメントを使用して EnterpriseOne のデータを抽出することができるインタオペラビリティ モデルです。
<b>オブジェクト構成マネージャ (OCM)</b>	EnterpriseOne では、ランタイム環境のオブジェクトリクエストブローカーおよび制御センターとして機能します。OCM によって、ビジネス関数、データ、バッチアプリケーションのランタイム ロケーションを追跡します。これらのオブジェクトのいずれかが呼び出されると、OCM では、指定された環境/ユーザーのデフォルト値と一時変更情報に基づいて、そのオブジェクトにアクセス先が指定されます。
<b>オブジェクトライブラリアン</b>	アプリケーションのビルドに再利用可能な全てのバージョン、アプリケーション、ビジネス関数のリポジトリです。オブジェクトライブラリアンによって、開発者にチェックアウト機能とチェックイン機能が提供されます。また、EnterpriseOne オブジェクトの作成、変更、使用の制御も行われます。オブジェクトライブラリアンは複数の環境(生産環境や開発環境など)に対応しているため、異なる環境間でオブジェクトを簡単に移動することができます。
<b>オブジェクトライブラリアン マージ</b>	前のリリースでオブジェクトライブラリアンに加えられた全ての変更を新規リリースのオブジェクトライブラリアンに統合するプロセスです。
<b>オフライン機能</b>	サーバーと接続されていないユーザーがトランザクションを入力し、後にサーバーに接続してそれらのトランザクションをアップロードすることができる処理モードです。

拡張プランニング エージェント (APAg)	業務データの抽出、加工、読み込みに使用できる EnterpriseOne のツールです。APAg は、リレーショナル データベース、フラットファイル フォーマットおよび XML のような他のデータまたはメッセージ エンコーディング形式によるデータソースへのアクセスをサポートしています。
活動	EnterpriseOne の Form Design Aid で使用される、スケジュール機能をもつエンティティであり、カレンダー上で指定した時間の量を表します。
仮定処理	取引に実際に使用されている通貨とは異なる通貨で入力されたように、取引の金額を表示することができる処理です。
環境ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、各環境の環境情報とオブジェクト構成マネージャテーブルを、プランナ データソースからシステム リリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、環境プラン詳細レコードも更新されます。
期間パターン	標準の会計処理と 52 期間会計で、会計年度の開始日とその会計年度内の各期間の終了日を表すカレンダーです。
基準日処理	ある時点を指定して、その日付までの取引を集計する処理です。たとえば、日付を指定して EnterpriseOne の各種のレポートを実行し、その時点での勘定科目やビジネスユニットなどの残高や金額を確認することができます。
計画ファミリ	設計と製造に類似点があるため、まとめて計画することが合理的である複数の最終品目をグループ化する手段です。
原価要素	EnterpriseOne 製造管理において、特定の品目（資材費、人件費、間接費など）の原価の一要素を表します。
コスト割当	EnterpriseOne 収益性分析のプロセスであり、リソースのトレースや、活動やコストオブジェクトへの配賦に使用されます。
コネクタ	EnterpriseOne とサードパーティアプリケーションの間でのロジックとデータの共有を可能にするコンポーネントベースのインタオペラビリティ（相互運用）モデルです。EnterpriseOne コネクタアーキテクチャには Java コネクタと COM コネクタが含まれています。
コントロール テーブル マージ	顧客が変更したコントロール テーブルを新規リリースのデータに統合するプロセスです。
コントロール テーブル ワークベンチ	インストール ワークベンチの処理中に、プランで指定したデータ辞書、ユーザー定義コード、メニュー、ユーザー時変更テーブルを更新するバッチアプリケーションを実行するアプリケーションです。
サーバー ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、サーバー設定ファイルを、プランナ データソースからシステム リリース番号データソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、サーバープラン詳細レコードも更新されます。
差異	<p>キャピタル アセット マネジメントでは、1 つの設備で発生した収益と、その設備に関連して発生した原価の差を意味します。</p> <p>JD Edwards EnterpriseOne プロジェクト原価管理と JD Edwards EnterpriseOne 製造管理では、同じ品目に対する 2 つの原価計算方式の間に生じる差異を意味します。たとえば、凍結標準原価と現行原価の差は設計差異です。凍結標準原価は原価要素テーブルから取得され、現行原価は資材、工程、間接費の各レートを使用して計算されます。</p>
最終モード	データレコードの更新や作成を行うプログラムの処理モードのレポート処理モードの 1 つです。
作業日カレンダー	JD Edwards EnterpriseOne 製造管理で、計画の作成に使用されるカレンダーです。稼働可能な日数に基づいて構成部品と作業指示のスケジュールを設定

	できるように、このカレンダーには作業日のみが連続的に表示されます。作業日カレンダーは、計画カレンダー、製造カレンダー、または製造現場カレンダーと呼ばれる場合もあります。
<b>差し込み印刷ワークベンチ</b>	業務文書を自動的に印刷するために、Microsoft Word 6.0(またはそれ以上のバージョン)の文書と EnterpriseOne のレコードをマージするアプリケーションです。雇用の証明に関する書式などの文書の印刷に、差し込み印刷ワークベンチを使用することができます。
<b>サブスクリバテーブル</b>	F98DRSUB テーブルを指しています。このテーブルは F98DRPUB テーブルと共にパブリッシャサーバーに置かれ、各パブリッシュ済みテーブルの全てのサブスクリバマシンの識別に使用されます。
<b>3 方向伝票突合せ</b>	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、入荷情報と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。3 方向突合せでは、入荷レコードを使用して伝票を作成します。
<b>施設</b>	原価のトラッキング対象となる業務の単位の 1 つです。たとえば、倉庫所在地、ジョブ、プロジェクト、ワークセンター、事業所などがあります。施設は、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
<b>指定通貨</b>	会社の財務レポートで基準として使用される通貨です。
<b>従業員ワークセンター</b>	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。各ユーザーには、アクティブ メッセージなど、ワークフローやその他のメッセージを含むメールボックスが割り当てられます。
<b>出力ストリーム アクセス (OSA)</b>	EnterpriseOne のインターフェイスを設定し、別のソフトウェア パッケージ (Microsoft Excel など) にデータを渡して処理を実行することができるインタオペラビリティ モデルです。
<b>処理オプション</b>	このデータ構造によって、ユーザーはバッチ プログラムやレポートの実行を制御するパラメータを指定することができます。たとえば、処理オプションを使用して、特定のフィールドのデフォルト値の指定、情報の表示および印刷の方法、日付範囲の指定、プログラムの実行を制御するランタイム値の入力などができます。
<b>スペック</b>	EnterpriseOne オブジェクトの完全な説明です。各オブジェクトには固有の仕様またはアプリケーションのビルドに使用される名称があります。
<b>スペックテーブル マージ ワークベンチ</b>	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、スペックテーブルを更新するバッチ アプリケーションを実行するアプリケーションです。
<b>スペック マージ</b>	オブジェクトライブラリアン マージ、バージョンリスト マージ、およびセントラル オブジェクト マージで構成されるマージ機能です。この機能を使用して、顧客が変更したデータを新規リリースのデータに統合することができます。
<b>スポットレート</b>	トランザクションレベルで入力される為替レートです。このレートは、2 つの通貨の間に設定されている為替レートより優先されます。
<b>3 ステップ処理</b>	EnterpriseOne でのバッチトランザクションの入力、検討と承認、転記のタスクを指します。
<b>整合性テスト</b>	社内の貸借一致手順を補足するために使用するプロセスであり、問題のある残高情報やデータ不整合の特定とレポート作成を行うことができます。
<b>セグメント間編集</b>	コンフィギュレーション品目セグメント間の関係を設定する論理ステートメントです。セグメント間編集を使用して、製造不可能のコンフィギュレーションのオーダーを防ぐことができます。
<b>選択</b>	メニューに表示される選択項目は、メニューからアクセスできる各機能を表します。選択するには、関連する番号を選択フィールドに入力して Enter キーを押します。

セントラルオブジェクト マージ	現行のリリースで顧客がオブジェクトに加えた変更を、次の（新規の）リリースのオブジェクトに統合する処理です。
セントラル サーバー	クライアントマシンに配布されるソフトウェアの、最初にインストールされたバージョン（セントラルオブジェクト）の格納用に指定されたサーバーです。EnterpriseOne の典型的なインストールでは、ソフトウェアは1つのマシン（セントラルサーバー）にロードされます。次に、セントラルサーバーにつながっている各種のワークステーションに向けてソフトウェアのコピーがプッシュアウトされます（またはワークステーションからダウンロードされます）。このような構成にすることで、ワークステーション上での使用によってソフトウェアが変更されたり、破損した場合には、常にセントラルサーバー上にある変更前のオブジェクトのセット（セントラルオブジェクト）にアクセスすることができます。
相殺/仮勘定	EnterpriseOne Financial Management の一般会計勘定科目であり、仕訳入力 of 相殺（貸借一致）処理に使用されます。たとえば、相殺/仮勘定を使用して、EnterpriseOne 一般会計の配賦によって作成された会計入力の貸借一致を行うことができます。
即時バッチオブワン	処理をクライアントワークステーション上で実行してから、後続の処理のために全てを一度にサーバーアプリケーションに投入するトランザクションの方式です。バッチ処理はサーバー上で実行されるため、クライアントアプリケーションは引き続き他のタスクを実行できます。 “ダイレクト接続”と“オフライン処理”も参照してください。
ターミナル サーバー	このサーバーを使用して、端末、マイクロコンピュータ、その他の機器を、ネットワーク、ホストコンピュータ、または特定のコンピュータに取り付けられたデバイスに接続することができます。
代替通貨	取引通貨（国内のみの取引の場合は国内通貨）として指定した通貨と異なる通貨です。 EnterpriseOne Financial Management では、代替通貨を使用して、領収書や支払の入力を発行時と異なる通貨で行うことができます。
ダイレクト接続	クライアントアプリケーションとサーバーアプリケーションが対話形式で直接通信するトランザクション方式です。 “即時バッチオブワン”、“オフライン処理”の説明も参照してください。
チャート	EnterpriseOne の情報の表形式の表示であり、ソフトウェアのフォームに表示されます。
追加モード	ユーザーによるデータの入力可能なフォームの状態です。
通貨再換算	通貨を別の通貨に換算するプロセスであり、一般的にはレポートに使用されます。たとえば、通貨再換算のプロセスを使用して、さまざまな通貨を単一の通貨に換算する必要がある連結レポートの作成に対応することができます。
突き合わせ伝票	取引を完了または変更するために、当初伝票と関連付けられる伝票です。たとえば、EnterpriseOne Financial Management では、入金請求書の突き合わせ伝票であり、支払が支払伝票の突き合わせ伝票です。
データソースワークベンチ	インストールワークベンチの処理中に、インストールプランに定義された全てのデータソースを、プランナのデータソースに含まれるデータソースマスターとテーブル/データソースサイジングテーブルから、システムのリリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、データソースプラン詳細レコードも更新されます。
データベース サーバー	データベースの管理やクライアントマシンの検索を実行するローカルエリアネットワーク内のサーバーです。

<b>テーブルアクセス管理 (TAM)</b>	ユーザー定義データの保存と取得を処理する EnterpriseOne コンポーネントです。TAM には、データ辞書定義、アプリケーション/レポートスペック、イベントルール、テーブル定義、ビジネス関数入力パラメータ、ライブラリ情報などの情報と、アプリケーション、レポート、ビジネス関数を実行するためのデータ構造体の定義が保存されます。
<b>テーブルイベントルール</b>	データベーストリガに添付されるロジックであり、トリガに指定されたアクションがテーブルに対して発生した場合に起動します。EnterpriseOne では、イベントルールをアプリケーションイベントに添付できますが、この機能はアプリケーション固有です。テーブルイベントルールでは、テーブルレベルでの埋め込みロジックを提供します。
<b>テーブル変換</b>	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
<b>テーブル変換ワークベンチ</b>	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
<b>デプロイメントサーバー</b>	複数のエンタープライズサーバーとクライアントマシンへのソフトウェアのインストールや、それらのソフトウェアの管理、配布に使用されるサーバーです。
<b>電子データ交換 (EDI)</b>	EnterpriseOne システムとサードパーティシステムの間で、コンピュータ間の業務トランザクションデータの交換をペーパーレスに行うことを可能にするインタオペラビリティモデルです。EDI を使用する会社は、EDI 標準フォーマットからその会社のシステムで使用されているフォーマットにデータを変換するためのソフトウェアを備えている必要があります。
<b>トランザクション処理 (TP) モニター</b>	ローカル端末およびリモート端末と、それらを設定したアプリケーションの間でのデータ交換を制御するモニター機能です。また、TP モニターによって、分散環境でのデータの整合性が守られます。TP モニターには、データの検証と端末画面のフォーマットのプログラムが含まれる場合もあります。
<b>トランザクションセット</b>	複数のセグメントで構成されている電子的ビジネストランザクション (電子データ交換標準ドキュメント) です。
<b>トリガ</b>	データ辞書項目に固有の複数のイベントの 1 つです。イベントの発生時にシステム内で自動的に処理されるデータ辞書項目にロジックを添付することができます。
<b>トリガ イベント</b>	特殊なアクションが必須であるか、または結果アクションが定義済みの、特定のワークフローイベントです。
<b>2 重価格設定</b>	商品やサービスに 2 つの通貨で価格を設定するプロセスです。
<b>2 方向伝票突合せ</b>	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、購買明細行と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。入荷情報は記録しません。
<b>バックツール バックプロセス</b>	EnterpriseOne ワークフロー管理で使用されるプロセスであり、別のプロセスで使用されるキーと同じキーが含まれています。
<b>パッケージ</b>	EnterpriseOne オブジェクトは、デプロイメントサーバーからのパッケージとしてワークステーションにインストールされます。パッケージは、部品表やキットに例えることができ、ワークステーションに必要なオブジェクトと、インストールプログラムがそれらのオブジェクトを検出できるようにデプロイメントサーバー上の位置情報を含んでいます。パッケージは、デプロイメントサーバー上のセントラルオブジェクトの特定時点のスナップショットでもあります。
<b>パッケージビルド</b>	ソフトウェアの変更や新規アプリケーションの既存ユーザーへの反映を容易に行うことができるソフトウェアアプリケーションです。また、EnterpriseOne では、パッケージビルドとは、ソフトウェアのコンパイル済みバージョンを指す場合もあります。たとえば、使用中の ERP ソフトウェアのアップグレード時に、パッケージビルドの実行を指示されたとします。

	<p>“パッケージビルド”という用語について、以下のコンテキストを検討してください。“パッケージビルド時に実行されるビジネス関数のグローバルビルドでは新規の関数が自動的に含められるため、配布の準備が整うまでビジネス関数を本稼働用パスコードに転送しないでください。”このように、パッケージビルドを作成するプロセスが“パッケージビルド”と呼ばれる場合もあります。</p>
パッケージ ロケーション	<p>パッケージとそのパッケージのレプリケート(複製)オブジェクトのセットが格納されるディレクトリ構造上の位置です。通常は、¥¥deployment server¥release¥path_code¥package¥package name に置かれます。このパスの下サブディレクトリに、パッケージ用のレプリケートオブジェクトが格納されます。パッケージがビルドまたは格納される場所を指す場合もあります。</p>
パッケージ ワークベンチ	<p>インストール ワークベンチプロセスの実行時に、パッケージ情報テーブルを、プランナ データソースからシステムリリース番号データソースに転送するアプリケーションです。処理の結果を反映するため、パッケージプラン詳細レコードも更新されます。</p>
バッチ サーバー	<p>バッチ処理リクエストの実行用に指定されたサーバーです。通常、バッチサーバーにデータベースは格納されず、対話型アプリケーションも実行されません。</p>
バッチ処理	<p>サードパーティシステムから EnterpriseOne にレコードを転送する処理です。</p> <p>EnterpriseOne Financial Management では、バッチ処理を使用して、EnterpriseOne 以外のシステムで入力された請求書や伝票のデータを EnterpriseOne 売掛管理や EnterpriseOne 買掛管理のシステムに転送することができます。また、顧客レコードや仕入先レコードを含む住所録情報を EnterpriseOne に転送することも可能です。</p>
パブリッシャ	<p>パブリッシュされたテーブルを受け持つサーバーです。F98DRPUB テーブルでは、企業内の全てのパブリッシュ済みテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャの識別が行われます。</p>
パブリッシュされたテーブル	<p>マスターテーブルとも呼ばれ、他のマシンにレプリケートされる元のテーブルです。パブリッシャマシンに格納される F98DRPUB テーブルにより、企業内の全てのパブリッシュされたテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャが識別されます。</p>
バージョンリスト マージ	<p>バージョンリスト マージを実行すると、新規リリースにおいて有効なオブジェクトとそれらの処理オプションデータの、非 XJDE および非 ZJDE バージョンの仕様が維持されます。</p>
ビジネス関数	<p>ユーザーによって作成される命名済みの再利用可能なビジネス ルールとログのセットであり、イベントルールを通じて呼び出すことができます。ビジネス関数では、トランザクションやそのサブセット(在庫チェック、作業オーダーの発行など)を実行することができます。また、ビジネス関数には API も含まれているため、フォーム、データベーストリガ、または EnterpriseOne 以外のアプリケーションからも呼び出すことができます。ビジネス関数は、他のビジネス関数、フォーム、イベントルール、その他の構成要素と組み合わせてアプリケーションを構成することができます。ビジネス関数の作成には、イベントルール、または C などの第 3 世代言語を使用します。ビジネス関数の例としては、Credit Check (与信チェック) や Item Availability (在庫照会) が挙げられます。</p>
ビジネスビュー	<p>アプリケーションやレポートでデータが使用されている複数の EnterpriseOne テーブルから特定の列を選択するための手段として使用される機能です。ビジネスビュー自体には特定の行を選択する機能はありません。また、ビジネスビューには実際のデータは含まれていません。ビジネスビューは、情報の表示専用の機能であり、このビューを介してデータを操作することができます。</p>
ビジュアル アシスト	<p>ユーザーがコントロールに属するデータを判別できるように、コントロールからトリガーを介して起動できるフォームです。</p>

ファイル サーバー	ネットワーク上で他のコンピュータからアクセスされるファイルを保存するサーバーです。ユーザーにはリモート ディスクドライブとして表示されるディスクサーバーと異なり、ファイル サーバーには、単にファイルを保存するだけでなく、保存しているファイルを管理し、要求をユーザー リクエスト ファイルとして維持して、それらのファイルの更新も行う高度な機能が備えられています。
プリスティン環境	EnterpriseOne のデモ データを使用した未変更オブジェクトのテストに使用する EnterpriseOne 環境です。研修環境にも使用されます。変更したオブジェクトと変更前のオブジェクトを比較するには、この環境が必要です。
プリント サーバー	ネットワークとプリンタの間のインターフェイスであり、ネットワーククライアントはこれを利用してプリンタに接続し、印刷ジョブを送信することができます。コンピュータ、独立したハードウェア デバイス、またはプリンタ内部のハードウェアでもプリンタサーバーとして使用することができます。
プルレプリケーション	データを個別のワークステーションにレプリケートする方法の 1 つです。プルレプリケーションのレプリケーション先のマシンは、EnterpriseOne のデータレプリケーション ツールを使用して、プル サブスクライバとしてセットアップされます。プル サブスクライバに変更、更新、削除が通知されるのは、その情報を要求した場合のみです。要求は、通常は起動時に、プル サブスクライバから F98DRPCN テーブルが置かれているサーバーにメッセージの形式で送信されます。
プロキシサーバー	企業などがセキュリティ管理、管理統制、サービスのキャッシュ化を確実に行うことができるように、ワークステーションとインターネットの間で防壁として機能するサーバーです。
プログラム一時修正 (PTF)	磁気テープやディスクで提供される、JD Edwards ソフトウェアの変更です。
プロジェクト	EnterpriseOne で使用される、オブジェクト管理ワークベンチで開発されたオブジェクトのための仮想コンテナです。
プロモーション パス	ワークフロー内でオブジェクトやプロジェクトが進む、指定された工程です。標準的なプロモーション サイクル (パス) は以下のとおりです。 11>21>26>28>38>01 このパスでは、11 は検討待ちの新規プロジェクト、21 はプログラミング、26 は品質管理テスト/検討、28 は品質管理テスト/検討の完了、38 は本稼働、01 はサイクルの完了を表します。標準的なプロジェクト プロモーション サイクルの工程内で、開発者は、開発パスコードからオブジェクトをチェックアウトし、チェックインしてから、それらのオブジェクトをプロトタイプ パスコードにプロモートします。次に、オブジェクトは、工程の完了の前に、本稼働用のパスコードに移されます。
編集コード	レポートやフォームの特定の値がどのように表示/フォーマットされるかを示すコードです。レポートに属するデフォルトの編集コードは大量の情報に関連しているため、使用時には注意が必要です。
編集モード	ユーザーによるデータの変更が可能なフォームの状態です。
編集ルール	ユーザー入力を事前に定義されたルールやルールのセットに照合して、フォーマットや検証を行うための方法です。
補足データ	マスターで管理されない全ての情報のタイプを指す用語です。補足データは、通常、従業員、応募者、購買要求、作業 (従業員の技能、取得学位、語学力など) に関する追加情報です。補足データを使用して、組織が要求するあらゆる情報を追跡管理することができます。 たとえば、標準のマスター (住所録マスター、顧客マスター、仕入先マスター) とは別に、それらのテーブルでは管理されない情報を汎用データベースで管理することができます。このような汎用データベースを使用すると、EnterpriseOne システム全体にわたって、標準的な方法で補足データの入力と管理を行うことができます。
本稼働用環境	ユーザーが EnterpriseOne ソフトウェアを実務使用する EnterpriseOne 環境です。

本稼働レベル ファイル サーバー	通常はユーザー サポート サービスと共に提供される、品質保証付きの商品化されたファイル サーバーです。
マスター テーブル	“パブリッシュされたテーブル”を参照してください。
マスター ビジネス関数 (MBF)	データベース内の情報の追加、変更、更新のための中心のロケーションとして機能する対話型のマスター ファイルです。マスター ビジネス関数によって、データ入力フォームとテーブル間でのデータの交換が行われます。マスター 関数によって、全ての必要なデフォルト値と編集ルールを含む関数の共通セットが、関連するプログラムに提供されます。MBF には、データベースの情報の追加、更新、削除の整合性を確保するロジックが含まれています。
見出し情報	テーブルやフォームの先頭に表示される情報です。見出し情報を使用して、後続のレコード グループの制御情報が識別または提供されます。
見積オーダー	EnterpriseOne 調達管理および外注管理では、仕入先からの品目情報と価格情報のリクエストであり、そこから購買オーダーを作成できます。  EnterpriseOne 受注管理では、受注オーダーに対してまだ引当を行っていない顧客の品目情報と価格情報を指します。
明細情報	たとえば、伝票支払品目や受注オーダー明細行など、EnterpriseOne のトランザクションの個別の行に関連する情報です。
メッセージアダプタ	サードパーティ システムから EnterpriseOne に接続し、メッセージング キューを使用したデータの交換を行うためのインタオペラビリティ モデルです。
メッセージ センター	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。
メッセージング サーバー	メッセージング API を使用して、他のプログラムで使用するために送信されるメッセージを処理するサーバーです。メッセージング サーバーには、通常、関数を実行するためにミドルウェア プログラムが配備されます。
メディア ストレージ オブジェクト	テーブル フォーマットにまとめられていない、Gxxx、xxxGT、または GTxxx のいずれかの命名規則を使用するファイルです。
ユーザー一時変更のマージ	新規のユーザー一時変更レコードを顧客のユーザー事変更テーブルに追加するプロセスです。
優先プロファイル	品目、品目グループ、顧客、および顧客グループについて、ユーザー定義の階層 (順序) に基づいて指定したフィールドのデフォルト値を定義する機能です。
用語一時変更	特定の EnterpriseOne または World のフォームやレポートに表示される、データ辞書項目の代替的な説明です。
リアルタイム イベント	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
リフレッシュ	EnterpriseOne ソフトウェアまたはそのサブセット (テーブルや業務データなど) を、新規リリースや PTF/Cum アップデートリリース (B73.2 や B73.2.1 など) に正しく対応させるための変更機能です。
略式コマンド	特定のコマンドを使用することで、メニューやアプリケーション間を迅速に移動できるコマンド プロンプト機能です。
レプリケーション サーバー	セントラル オブジェクトのクライアント マシンへのレプリケーションを受け持つサーバーです。



ロケーションワークベンチ	インストールワークベンチプロセスの実行時に、インストールプランに定義された全てのロケーションを、プランナデータソースの保管場所マスターからシステムデータソースにコピーするアプリケーションです。
ロジックサーバー	アプリケーションプログラムにビジネスロジックを提供する、分散ネットワーク内のサーバーです。典型的なコンフィギュレーションでは、プリスティンオブジェクトは、セントラルサーバーからロジックサーバーに複製されます。EnterpriseOneやWorldソフトウェアの実行時に、ロジックサーバーでは、ワークステーションと連動して、必要な処理が実際に実行されます。
ワークグループサーバー	マスターネットワークサーバーからレプリケートされたデータのサブセットが通常置かれるサーバーです。ワークグループサーバーでは、アプリケーションやバッチ処理は実行されません。
ワークフロー	ビジネスプロセスの一部または全体の自動化を意味する用語です。自動化されたプロセス(ワークフロー)の実行時には、ドキュメント、情報、タスクは、手順規則に従ってユーザーからユーザーへ渡されます。
ワークベンチ	関連のあるプログラムのグループに対する1つのエントリポイントからのアクセスを可能にするプログラムです。通常、ワークベンチからアクセスするプログラムは、大規模な業務プロセスに使用されています。たとえば、JD Edwards EnterpriseOne 支払サイクルワークベンチ(P07210)を使用して、給与計算、支払レポートの印刷、給与レポートの作成、仕訳入力の作成、給与履歴の更新に使用される全てのプログラムにアクセスすることができます。EnterpriseOneには、サービス管理ワークベンチ(P90CD020)、ラインスケジューリングワークベンチ(P3153)、計画ワークベンチ(P13700)、監査人ワークベンチ(P09E115)、支払サイクルワークベンチなどが用意されています。



# 索引

## AAI (自動仕訳)

AAI (自動仕訳) について 36

受注管理のタイプ 37

任意勘定科目設定コード 58

AAI の処理 (P40950) 39

## Argentina

prenumbered documents 608

printing invoices 602

printing shipment notes 606

reviewing tax calculations 406

sales journal 667

sales order information 393

update customer sales 668

## Australia

### Rapid Start

business processes for Sales Order  
Management 4

confirming shipment for customer  
credit with return 477

confirming shipment for intercompany  
sales order 494

confirming shipment for selling from  
inventory 484

confirming shipment for transfer  
order without receipt routing 494

entering and printing blanket order  
for selling a direct ship item 303

entering and printing sales quote for  
selling a direct ship item 319

entering and printing sales quote for  
selling from inventory 334

entering credit order from history  
for customer credit without  
return 272

entering credit order from history for  
customer credit with return 272

entering direct sales order for selling  
a direct ship item 210

entering order detail 185

performing customer service  
inquiry 193

posting invoice for selling from  
inventory 679

posting invoices for intercompany  
sales order 674

posting invoices for transfer order  
without receipt routing 673

posting journal entries for customer  
credit without return 678

posting journal entries for customer  
credit with return 677

posting sales transactions for selling  
a direct ship item 680

preconfigured processing options  
for Held Order Release – Sales  
(P43070) 351

preconfigured processing options for  
Invoice Post (R09801) 678

preconfigured processing options  
for Order Release – Quote Order  
(P420111) 372

preconfigured processing options  
for Print All Pick Slips (B/P 1510)  
(R42520) 445

preconfigured processing options  
for Print All Pick Slips (B/P 1520)  
(R42520) 447

preconfigured processing options  
for Print All Pick Slips (B/P 2510)  
(R42520) 448

preconfigured processing options  
for Print All Pick Slips (B/P 2520)  
(R42520) 449

preconfigured processing options for  
Print Blanket Order (R42565) 311

preconfigured processing options for  
Print Credit Invoice (R42565) 546

preconfigured processing options for  
Print Credit Note (R42565) 549

preconfigured processing options  
for Print Individual Pick Slips  
(R42520) 444

preconfigured processing options for  
Print Invoice from Ship Confirm  
(R42565) 566

preconfigured processing options  
for Print Invoice in Batch by B/P  
(R42565) 553

preconfigured processing options for  
Print Invoices (R42565) 596

- preconfigured processing options for  
Print Quote Order (R42565) 330
- preconfigured processing options  
for Reprint Individual Pick Slips  
(R42520) 442
- preconfigured processing options for  
Reprint Order Acknowledgement  
(R42565) 542, 563
- preconfigured processing options for  
Reprint Sales Order (R42565) 556
- preconfigured processing options for  
Sales Order Acknowledgements in  
Batch by B/P (R42565) 539, 559
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – CO Order Type  
(P4210) 273
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – SB Order Type  
(P4210) 304
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – SD Order Type  
(P4210) 219
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – SO Order Type  
(P4210) 194, 211, 228
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – ST Order Type  
(P4210) 185
- preconfigured processing options for  
Sales Update – Order Types SK  
(R42800) 655
- preconfigured processing options for  
Sales Update – Order Types SO, SI,  
SD, CO (R42800) 642, 646, 653
- preconfigured processing options for  
Sales Update – Order Types ST  
(R42800) 649
- preconfigured processing options  
for Ship Confirm Domestic Sales  
Orders (P4205) 485
- preconfigured processing options for  
Ship Confirm Intercompany Sales  
Order (P4205) 494
- preconfigured processing options  
for Shipment Confirmation  
(P4205) 477
- printing and reprinting credit memo  
for customer credit with and  
without return 546
- printing and reprinting credit order  
acknowledgement for customer  
credit with and without return 539
- printing and reprinting invoices in  
batch 553
- printing and reprinting pick slips 442
- printing and reprinting pick slips  
for transfer order without receipt  
routing 451
- printing and reprinting sales order  
acknowledgement 559
- printing invoice automatically from  
ship confirm 566
- printing invoice for selling a direct  
ship item 595
- printing sales order acknowledgement  
for selling a direct ship item 594
- releasing order hold for selling a  
direct ship item 351
- releasing sales quote for selling a  
direct ship item 372
- running sales update for selling a  
direct ship item 665
- updating customer sales for  
customer credit with and without  
return 642
- updating customer sales for  
intercompany sales order 652
- updating customer sales for selling  
from inventory 645
- updating customer sales for transfer  
order without receipt routing 649
- Brazil
  - Sales Order Brazilian Additional  
Information – Brazil (P4210BR)  
processing options 244
- Canada
  - Rapid Start
    - business processes for Sales Order  
Management 4
    - confirming shipment for customer  
credit with return 477
    - confirming shipment for equipment  
sales order 472
    - confirming shipment for transfer  
order with receipt routing 489
    - confirming shipment online for selling  
a make-to-order item 481
    - confirming shipment online for selling  
from inventory 483

- entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
- entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
- entering and printing sales quote for selling from inventory 334
- entering blanket order for selling a make-to-order item 302
- entering blanket order for selling from inventory 315
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
- entering credit order from history for customer credit without return 272
- entering credit order from history for customer credit with return 272
- entering direct sales order for selling a direct ship item 210
- entering sales order for equipment 202
- entering sales quote for selling a make-to-order item 317
- entering transfer order with receipt routing 287
- posting invoice for selling from inventory 679
- posting journal entries for customer credit without return 678
- posting journal entries for customer credit with return 677
- posting sales transactions for selling a direct ship item 680
- posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
- posting sales transactions for transfer orders with receipt routing 674
- preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
- preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
- preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
- preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
- preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
- preconfigured processing options for Print Invoice for Transfer Orders (R42565) 570
- preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
- preconfigured processing options for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
- preconfigured processing options for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438
- preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 327
- preconfigured processing options for Release Backorder (P42117) 366
- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210) 319
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – ST Order Type (P4210) 288
- preconfigured processing options for Sales Update–Invoice Number Already Assigned (R42800) 660
- preconfigured processing options for Ship Confirm Transfer Orders with Routing (P4205) 489
- preconfigured processing options for Shipment Confirmation (P4205) 477

- printing credit memo for customer credit without return 574
- printing credit memo for customer credit with return 574
- printing invoice automatically from ship confirm for selling a make-to-order item 588
- printing invoice automatically from ship confirm for selling from inventory 592
- printing invoice for selling a direct ship item 595
- printing invoice for selling a make-to-order item 592
- printing invoice for selling from inventory 593
- printing invoice for transfer order with receipt routing 569
- printing return authorization for customer credit with return 578
- printing sales order acknowledgement for selling a direct ship item 594
- printing sales order acknowledgement for selling a make-to-order item 586
- printing sales order acknowledgement for selling from inventory 587
- printing standard pick slip for selling a make-to-order item 437
- printing standard pick slip for selling from inventory 440
- releasing backorders online for selling from inventory 365
- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing order hold for selling a make-to-order item 353
- releasing order hold for selling from inventory 355
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372
- releasing sales quote for selling a make-to-order item 373
- releasing sales quote for selling from inventory 375
- running sales update for customer credit without return 659
- running sales update for customer credit with return 663
- running sales update for selling a direct ship item 665
- running sales update for selling a make-to-order item 664
- running sales update for selling from inventory 665
- running sales update for transfer order with receipt routing 658
- Chile
  - billing information 413
  - invoice legal number in current account 641
  - order inquiry by internal document 398
  - order inquiry by legal document 398
  - Sales Close (R42800) program 641
  - sales ledger history 398
  - sales order – batch inquiry 398
  - Voucher Print UBE 613
- China
  - matching versions for sales orders 599
  - Print Invoice from Sales Order (R42565) 601
- Create GUI Flat File from Sales Order (R75C422) program 601
- credit notes 281, 284
- Customer Connection Web サイト xxx
- Customer Service program (P4210) for Argentina 393
- debit notes 281, 284
- forms
  - Legal Documents UBE & Versions 613
  - Work with Legal Documents UBE & Versions 613
- France
  - Rapid Start
    - business processes for Sales Order Management 4
    - confirming shipment for customer credit with return 477
    - confirming shipment online for selling a make-to-order item 481
    - confirming shipment online for selling from inventory 483
    - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
    - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319

- entering and printing sales quote for selling from inventory 334
- entering blanket order for selling a make-to-order item 302
- entering blanket order for selling from inventory 315
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
- entering credit order from history for customer credit without return 272
- entering credit order from history for customer credit with return 272
- entering direct sales order for selling a direct ship item 210
- entering sales quote for selling a make-to-order item 317
- posting invoice for selling from inventory 679
- posting journal entries for customer credit without return 678
- posting journal entries for customer credit with return 677
- posting sales transactions for selling a direct ship item 680
- posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
- preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
- preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
- preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
- preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
- preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
- preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
- preconfigured processing options for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
- preconfigured processing options for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438
- preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 327
- preconfigured processing options for Release Backorder (P42117) 366
- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210) 319
- preconfigured processing options for Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800) 660
- preconfigured processing options for Shipment Confirmation (P4205) 477
- printing credit memo for customer credit without return 574
- printing credit memo for customer credit with return 574
- printing invoice automatically from ship confirm for selling a make-to-order item 588
- printing invoice automatically from ship confirm for selling from inventory 592
- printing invoice for selling a direct ship item 595
- printing invoice for selling a make-to-order item 592
- printing invoice for selling from inventory 593
- printing return authorization for customer credit with return 578

- printing sales order acknowledgement for selling a direct ship item 594
- printing sales order acknowledgement for selling a make-to-order item 586
- printing sales order acknowledgement for selling from inventory 587
- printing standard pick slip for selling a make-to-order item 437
- printing standard pick slip for selling from inventory 440
- releasing backorders online for selling from inventory 365
- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing order hold for selling a make-to-order item 353
- releasing order hold for selling from inventory 355
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372
- releasing sales quote for selling a make-to-order item 373
- releasing sales quote for selling from inventory 375
- running sales update for customer credit without return 659
- running sales update for customer credit with return 663
- running sales update for selling a direct ship item 665
- running sales update for selling a make-to-order item 664
- running sales update for selling from inventory 665
- general resolution 889
  - setting up 607
- Goods Dispatch Note (R74R3031) program 422
- Great Britain
  - Rapid Start
    - business processes for Sales Order Management 4
    - confirming shipment for customer credit with return 477
    - confirming shipment online for selling a make-to-order item 481
    - confirming shipment online for selling from inventory 483
    - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
    - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
    - entering and printing sales quote for selling from inventory 334
    - entering blanket order for selling a make-to-order item 302
    - entering blanket order for selling from inventory 315
    - entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
    - entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
    - entering credit order from history for customer credit without return 272
    - entering credit order from history for customer credit with return 272
    - entering direct sales order for selling a direct ship item 210
    - entering sales quote for selling a make-to-order item 317
    - posting invoice for selling from inventory 679
    - posting journal entries for customer credit without return 678
    - posting journal entries for customer credit with return 677
    - posting sales transactions for selling a direct ship item 680
    - posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
    - preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
    - preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
    - preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
    - preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
    - preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
    - preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596



- preconfigured processing options
  - for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
- preconfigured processing options
  - for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438
- preconfigured processing options for
  - Print Quote Order (R42565) 327
- preconfigured processing options for
  - Release Backorder (P42117) 366
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 211, 228
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210) 319
- preconfigured processing options
  - for Sales Update–Invoice Number Already Assigned (R42800) 660
- preconfigured processing options
  - for Shipment Confirmation (P4205) 477
- printing credit memo for customer
  - credit without return 574
- printing credit memo for customer
  - credit with return 574
- printing invoice automatically
  - from ship confirm for selling a make-to-order item 588
- printing invoice automatically from
  - ship confirm for selling from inventory 592
- printing invoice for selling a direct
  - ship item 595
- printing invoice for selling a
  - make-to-order item 592
- printing invoice for selling from
  - inventory 593
- printing return authorization for
  - customer credit with return 578
- printing sales order acknowledgement
  - for selling a direct ship item 594
- printing sales order acknowledgement
  - for selling a make-to-order item 586
- printing sales order acknowledgement
  - for selling from inventory 587
- printing standard pick slip for selling
  - a make-to-order item 437
- printing standard pick slip for selling
  - from inventory 440
- releasing backorders online for selling
  - from inventory 365
- releasing order hold for selling a
  - direct ship item 351
- releasing order hold for selling a
  - make-to-order item 353
- releasing order hold for selling from
  - inventory 355
- releasing sales quote for selling a
  - direct ship item 372
- releasing sales quote for selling a
  - make-to-order item 373
- releasing sales quote for selling from
  - inventory 375
- running sales update for customer
  - credit without return 659
- running sales update for customer
  - credit with return 663
- running sales update for selling a
  - direct ship item 665
- running sales update for selling a
  - make-to-order item 664
- running sales update for selling from
  - inventory 665
- GUI Interface File from Sales Order
  - (R75C4241) program 599
- inquiring on sales orders by status by
  - batch 416
- invoice legal numbers 641
- Invoice Print
  - ARG (R42565) program 602
  - POL and RUS – PO (P7420565) program 422
  - RUS (R74R3030) program 421
- invoices
  - printing 602
  - printing from sales order 601

- printing pro forma 602
- voiding printed invoices 609
- Invoice Total Purge –Argentine (R76A09P) program 683
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 xxix
- legal documents
  - printing for Poland 422
  - printing for Russia and Poland 422
- legal document setup notes
  - Russia and Poland 423
- legal numbers
  - unlocking 609
  - verifying 608
- matching versions for sales orders
  - setup 599
- MMA Partners xxx
- New Zealand
  - Rapid Start
    - business processes for Sales Order Management 4
    - confirming shipment for customer credit with return 477
    - confirming shipment for intercompany sales order 494
    - confirming shipment for selling from inventory 484
    - confirming shipment for transfer order without receipt routing 494
    - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
    - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
    - entering and printing sales quote for selling from inventory 334
    - entering credit order from history for customer credit without return 272
    - entering credit order from history for customer credit with return 272
    - entering direct sales order for selling a direct ship item 210
    - entering order detail 185
    - performing customer service inquiry 193
    - posting invoice for selling from inventory 679
    - posting invoices for intercompany sales order 674
    - posting invoices for transfer order without receipt routing 673
    - posting journal entries for customer credit without return 678
    - posting journal entries for customer credit with return 677
    - posting sales transactions for selling a direct ship item 680
    - preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
    - preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
    - preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
    - preconfigured processing options for Print All Pick Slips (B/P 1510) (R42520) 445
    - preconfigured processing options for Print All Pick Slips (B/P 1520) (R42520) 447
    - preconfigured processing options for Print All Pick Slips (B/P 2510) (R42520) 448
    - preconfigured processing options for Print All Pick Slips (B/P 2520) (R42520) 449
    - preconfigured processing options for Print Blanket Order (R42565) 311
    - preconfigured processing options for Print Credit Invoice (R42565) 546
    - preconfigured processing options for Print Credit Note (R42565) 549
    - preconfigured processing options for Print Individual Pick Slips (R42520) 444
    - preconfigured processing options for Print Invoice from Ship Confirm (R42565) 566
    - preconfigured processing options for Print Invoice in Batch by B/P (R42565) 553
    - preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
    - preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 330
    - preconfigured processing options for Reprint Individual Pick Slips (R42520) 442

- preconfigured processing options for Reprint Order Acknowledgement (R42565) 542, 563
- preconfigured processing options for Reprint Sales Order (R42565) 556
- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565) 539, 559
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 194, 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – ST Order Type (P4210) 185
- preconfigured processing options for Sales Update – Order Types SK (R42800) 655
- preconfigured processing options for Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800) 642, 646, 653
- preconfigured processing options for Sales Update – Order Types ST (R42800) 649
- preconfigured processing options for Ship Confirm Domestic Sales Orders (P4205) 485
- preconfigured processing options for Ship Confirm Intercompany Sales Order (P4205) 494
- preconfigured processing options for Shipment Confirmation (P4205) 477
- printing and reprinting credit memo for customer credit with and without return 546
- printing and reprinting credit order acknowledgement for customer credit with and without return 539
- printing and reprinting invoices in batch 553
- printing and reprinting pick slips 442
- printing and reprinting pick slips for transfer order without receipt routing 451
- printing and reprinting sales order acknowledgement 559
- printing invoice automatically from ship confirm 566
- printing invoice for selling a direct ship item 595
- printing sales order acknowledgement for selling a direct ship item 594
- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372
- running sales update for selling a direct ship item 665
- updating customer sales for customer credit with and without return 642
- updating customer sales for intercompany sales order 652
- updating customer sales for selling from inventory 645
- updating customer sales for transfer order without receipt routing 649
- online invoice
  - ARG – program (P42230) 406
- order inquiry by internal document
  - Chile 398
  - Peru 398
- order inquiry by legal document
  - Chile 398
  - Peru 398
- (P7420565) Print Invoice/Invoice Correction – PO) 422
- PeopleBook
  - 注文 xxx
- PeopleCode の表記規則 xxxii
- Peru
  - billing information 413
  - credit notes and debit notes related to documents 284
  - customer service inquiry 398
  - invoice legal numbers 641
  - order inquiry by internal document 398
  - order inquiry by legal document 398
  - sales ledger history 398
  - sales order – batch inquiry 398

- voided documents inquiry 398
- Voucher Print UBE 613
- Poland
  - printing legal documents 422
  - sales order overview 420
- PO Sales Order Entry
  - processing options 247
  - program P76A4210 246
- prenumbered documents 608
- printing
  - shipment notes 606
- Print Invoice from Sales Order (R42565) 601
- Print Invoice/Invoice Correction – PO (P7420565) 422
- print invoices and shipping guides 414
- print legal documents for Chile and Peru 414
- Print Sales Journal (R42810)
  - program 667
- processing options
  - enter credit notes and debit notes related to documents 283
- GUI Interface File from Sales Order (R75C421) 600
- Invoice Print (P76A15) 610
- Invoice Void (P76A725) 611
- P4210BR (sales order entry) 244
- P7420002 (sales legal document inquiry by legal number) 401
- P7420565 (invoice print – PO) 424
- P7420565 (print goods dispatch note – PO) 424
- P7420565 (print invoice /invoice correction – PO) 424
- P7420565 (print stock delivery note – PO) 424
- P7420565 (print stock movement note – PO) 424
- P7424210 (sales order – PO) 248
- P76H2012 Order Inquiry by Legal Document for Peru 400
- P76H2565 Printing Invoices and Shipping Guides 417
- P76H3B50 Lot Inquiry 418
- PO Invoice/Shipment Note Print (R76A565) 603
  - process credit notes and debit notes related to documents 285
- pro forma, printing invoices 602
- purging records
  - sales order management 683
- (R74R3031) Goods Dispatch Note 422
- (R74R3032) Stock Delivery Note 421
- (R74R3033) Stock Movement Note 422
- Rapid Start
  - Australia
    - business processes for Sales Order Management 4
    - confirming shipment for customer credit with return 477
    - confirming shipment for intercompany sales order 494
    - confirming shipment for selling from inventory 484
    - confirming shipment for transfer order without receipt routing 494
    - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
    - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
    - entering and printing sales quote for selling from inventory 334
    - entering credit order from history for customer credit without return 272
    - entering credit order from history for customer credit with return 272
    - entering direct sales order for selling a direct ship item 210
    - entering order detail 185
    - performing customer service inquiry 193
    - posting invoice for selling from inventory 679
    - posting invoices for intercompany sales order 674
    - posting invoices for transfer order without receipt routing 673
    - posting journal entries for customer credit without return 678
    - posting journal entries for customer credit with return 677
    - posting sales transactions for selling a direct ship item 680
    - preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
    - preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678

- preconfigured processing options
  - for Order Release – Quote Order (P420111) 372
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 1510) (R42520) 445
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 1520) (R42520) 447
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 2510) (R42520) 448
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 2520) (R42520) 449
- preconfigured processing options for
  - Print Blanket Order (R42565) 311
- preconfigured processing options for
  - Print Credit Invoice (R42565) 546
- preconfigured processing options for
  - Print Credit Note (R42565) 549
- preconfigured processing options
  - for Print Individual Pick Slips (R42520) 444
- preconfigured processing options for
  - Print Invoice from Ship Confirm (R42565) 566
- preconfigured processing options
  - for Print Invoice in Batch by B/P (R42565) 553
- preconfigured processing options for
  - Print Invoices (R42565) 596
- preconfigured processing options for
  - Print Quote Order (R42565) 330
- preconfigured processing options
  - for Reprint Individual Pick Slips (R42520) 442
- preconfigured processing options for
  - Reprint Order Acknowledgement (R42565) 542, 563
- preconfigured processing options for
  - Reprint Sales Order (R42565) 556
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565) 539, 559
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 194, 211, 228
- preconfigured processing options for
  - Sales Order Entry – ST Order Type (P4210) 185
- preconfigured processing options for
  - Sales Update – Order Types SK (R42800) 655
- preconfigured processing options for
  - Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800) 642, 646, 653
- preconfigured processing options for
  - Sales Update – Order Types ST (R42800) 649
- preconfigured processing options
  - for Ship Confirm Domestic Sales Orders (P4205) 485
- preconfigured processing options for
  - Ship Confirm Intercompany Sales Order (P4205) 494
- preconfigured processing options
  - for Shipment Confirmation (P4205) 477
- printing and reprinting credit memo
  - for customer credit with and without return 546
- printing and reprinting credit order
  - acknowledgement for customer credit with and without return 539
- printing and reprinting invoices in
  - batch 553
- printing and reprinting pick slips 442
- printing and reprinting pick slips
  - for transfer order without receipt routing 451
- printing and reprinting sales order
  - acknowledgement 559
- printing invoice automatically from
  - ship confirm 566
- printing invoice for selling a direct
  - ship item 595
- printing sales order acknowledgement
  - for selling a direct ship item 594

- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372
- running sales update for selling a direct ship item 665
- updating customer sales for customer credit with and without return 642
- updating customer sales for intercompany sales order 652
- updating customer sales for selling from inventory 645
- updating customer sales for transfer order without receipt routing 649
- Canada
  - business processes for Sales Order Management 4
  - confirming shipment for customer credit with return 477
  - confirming shipment for equipment sales order 472
  - confirming shipment for transfer order with receipt routing 489
  - confirming shipment online for selling a make-to-order item 481
  - confirming shipment online for selling from inventory 483
  - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
  - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
  - entering and printing sales quote for selling from inventory 334
  - entering blanket order for selling a make-to-order item 302
  - entering blanket order for selling from inventory 315
  - entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
  - entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
  - entering credit order from history for customer credit without return 272
  - entering credit order from history for customer credit with return 272
  - entering direct sales order for selling a direct ship item 210
  - entering sales order for equipment 202
  - entering sales quote for selling a make-to-order item 317
  - entering transfer order with receipt routing 287
  - posting invoice for selling from inventory 679
  - posting journal entries for customer credit without return 678
  - posting journal entries for customer credit with return 677
  - posting sales transactions for selling a direct ship item 680
  - posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
  - posting sales transactions for transfer orders with receipt routing 674
  - preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
  - preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
  - preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
  - preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
  - preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
  - preconfigured processing options for Print Invoice for Transfer Orders (R42565) 570
  - preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
  - preconfigured processing options for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
  - preconfigured processing options for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438
  - preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 327
  - preconfigured processing options for Release Backorder (P42117) 366

- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210) 319
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – ST Order Type (P4210) 288
- preconfigured processing options for Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800) 660
- preconfigured processing options for Ship Confirm Transfer Orders with Routing (P4205) 489
- preconfigured processing options for Shipment Confirmation (P4205) 477
- printing credit memo for customer credit without return 574
- printing credit memo for customer credit with return 574
- printing invoice automatically from ship confirm for selling a make-to-order item 588
- printing invoice automatically from ship confirm for selling from inventory 592
- printing invoice for selling a direct ship item 595
- printing invoice for selling a make-to-order item 592
- printing invoice for selling from inventory 593
- printing invoice for transfer order with receipt routing 569
- printing return authorization for customer credit with return 578
- printing sales order acknowledgement for selling a direct ship item 594
- printing sales order acknowledgement for selling a make-to-order item 586
- printing sales order acknowledgement for selling from inventory 587
- printing standard pick slip for selling a make-to-order item 437
- printing standard pick slip for selling from inventory 440
- releasing backorders online for selling from inventory 365
- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing order hold for selling a make-to-order item 353
- releasing order hold for selling from inventory 355
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372
- releasing sales quote for selling a make-to-order item 373
- releasing sales quote for selling from inventory 375
- running sales update for customer credit without return 659
- running sales update for customer credit with return 663
- running sales update for selling a direct ship item 665
- running sales update for selling a make-to-order item 664
- running sales update for selling from inventory 665
- running sales update for transfer order with receipt routing 658
- France
  - business processes for Sales Order Management 4
  - confirming shipment for customer credit with return 477
  - confirming shipment online for selling a make-to-order item 481
  - confirming shipment online for selling from inventory 483
  - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
  - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319

- entering and printing sales quote for selling from inventory 334
- entering blanket order for selling a make-to-order item 302
- entering blanket order for selling from inventory 315
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
- entering credit order from history for customer credit without return 272
- entering credit order from history for customer credit with return 272
- entering direct sales order for selling a direct ship item 210
- entering sales quote for selling a make-to-order item 317
- posting invoice for selling from inventory 679
- posting journal entries for customer credit without return 678
- posting journal entries for customer credit with return 677
- posting sales transactions for selling a direct ship item 680
- posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
- preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
- preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
- preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
- preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
- preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
- preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
- preconfigured processing options for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
- preconfigured processing options for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438
- preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 327
- preconfigured processing options for Release Backorder (P42117) 366
- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210) 319
- preconfigured processing options for Sales Update-Invoice Number Already Assigned (R42800) 660
- preconfigured processing options for Shipment Confirmation (P4205) 477
- printing credit memo for customer credit without return 574
- printing credit memo for customer credit with return 574
- printing invoice automatically from ship confirm for selling a make-to-order item 588
- printing invoice automatically from ship confirm for selling from inventory 592
- printing invoice for selling a direct ship item 595
- printing invoice for selling a make-to-order item 592
- printing invoice for selling from inventory 593
- printing return authorization for customer credit with return 578



- printing sales order acknowledgement for selling a direct ship item 594
- printing sales order acknowledgement for selling a make-to-order item 586
- printing sales order acknowledgement for selling from inventory 587
- printing standard pick slip for selling a make-to-order item 437
- printing standard pick slip for selling from inventory 440
- releasing backorders online for selling from inventory 365
- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing order hold for selling a make-to-order item 353
- releasing order hold for selling from inventory 355
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372
- releasing sales quote for selling a make-to-order item 373
- releasing sales quote for selling from inventory 375
- running sales update for customer credit without return 659
- running sales update for customer credit with return 663
- running sales update for selling a direct ship item 665
- running sales update for selling a make-to-order item 664
- running sales update for selling from inventory 665
- Great Britain
  - business processes for Sales Order Management 4
  - confirming shipment for customer credit with return 477
  - confirming shipment online for selling a make-to-order item 481
  - confirming shipment online for selling from inventory 483
  - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
  - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
  - entering and printing sales quote for selling from inventory 334
  - entering blanket order for selling a make-to-order item 302
  - entering blanket order for selling from inventory 315
  - entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
  - entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
  - entering credit order from history for customer credit without return 272
  - entering credit order from history for customer credit with return 272
  - entering direct sales order for selling a direct ship item 210
  - entering sales quote for selling a make-to-order item 317
  - posting invoice for selling from inventory 679
  - posting journal entries for customer credit without return 678
  - posting journal entries for customer credit with return 677
  - posting sales transactions for selling a direct ship item 680
  - posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
  - preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
  - preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
  - preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
  - preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
  - preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
  - preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
  - preconfigured processing options for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
  - preconfigured processing options for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438

- preconfigured processing options for  
Print Quote Order (R42565) 327
- preconfigured processing options for  
Release Backorder (P42117) 366
- preconfigured processing options for  
Sales Order Acknowledgements in  
Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – CO Order Type  
(P4210) 273
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – SB Order Type  
(P4210) 304
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – SD Order Type  
(P4210) 219
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – SO Order Type  
(P4210) 211, 228
- preconfigured processing options for  
Sales Order Entry – SQ Order Type  
(P4210) 319
- preconfigured processing options  
for Sales Update-Invoice Number  
Already Assigned (R42800) 660
- preconfigured processing options  
for Shipment Confirmation  
(P4205) 477
- printing credit memo for customer  
credit without return 574
- printing credit memo for customer  
credit with return 574
- printing invoice automatically  
from ship confirm for selling a  
make-to-order item 588
- printing invoice automatically from  
ship confirm for selling from  
inventory 592
- printing invoice for selling a direct  
ship item 595
- printing invoice for selling a  
make-to-order item 592
- printing invoice for selling from  
inventory 593
- printing return authorization for  
customer credit with return 578
- printing sales order acknowledgement  
for selling a direct ship item 594
- printing sales order acknowledgement  
for selling a make-to-order  
item 586
- printing sales order acknowledgement  
for selling from inventory 587
- printing standard pick slip for selling  
a make-to-order item 437
- printing standard pick slip for selling  
from inventory 440
- releasing backorders online for selling  
from inventory 365
- releasing order hold for selling a  
direct ship item 351
- releasing order hold for selling a  
make-to-order item 353
- releasing order hold for selling from  
inventory 355
- releasing sales quote for selling a  
direct ship item 372
- releasing sales quote for selling a  
make-to-order item 373
- releasing sales quote for selling from  
inventory 375
- running sales update for customer  
credit without return 659
- running sales update for customer  
credit with return 663
- running sales update for selling a  
direct ship item 665
- running sales update for selling a  
make-to-order item 664
- running sales update for selling from  
inventory 665
- New Zealand
  - business processes for Sales Order  
Management 4
  - confirming shipment for customer  
credit with return 477
  - confirming shipment for intercompany  
sales order 494
  - confirming shipment for selling from  
inventory 484
  - confirming shipment for transfer  
order without receipt routing 494
  - entering and printing blanket order  
for selling a direct ship item 303
  - entering and printing sales quote for  
selling a direct ship item 319
  - entering and printing sales quote for  
selling from inventory 334

- entering credit order from history
  - for customer credit without return 272
- entering credit order from history for customer credit with return 272
- entering direct sales order for selling a direct ship item 210
- entering order detail 185
- performing customer service inquiry 193
- posting invoice for selling from inventory 679
- posting invoices for intercompany sales order 674
- posting invoices for transfer order without receipt routing 673
- posting journal entries for customer credit without return 678
- posting journal entries for customer credit with return 677
- posting sales transactions for selling a direct ship item 680
- preconfigured processing options
  - for Held Order Release – Sales (P43070) 351
- preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
- preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 1510) (R42520) 445
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 1520) (R42520) 447
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 2510) (R42520) 448
- preconfigured processing options
  - for Print All Pick Slips (B/P 2520) (R42520) 449
- preconfigured processing options for Print Blanket Order (R42565) 311
- preconfigured processing options for Print Credit Invoice (R42565) 546
- preconfigured processing options for Print Credit Note (R42565) 549
- preconfigured processing options
  - for Print Individual Pick Slips (R42520) 444
- preconfigured processing options for Print Invoice from Ship Confirm (R42565) 566
- preconfigured processing options
  - for Print Invoice in Batch by B/P (R42565) 553
- preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
- preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 330
- preconfigured processing options
  - for Reprint Individual Pick Slips (R42520) 442
- preconfigured processing options for Reprint Order Acknowledgement (R42565) 542, 563
- preconfigured processing options for Reprint Sales Order (R42565) 556
- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch by B/P (R42565) 539, 559
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 194, 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – ST Order Type (P4210) 185
- preconfigured processing options for Sales Update – Order Types SK (R42800) 655
- preconfigured processing options for Sales Update – Order Types SO, SI, SD, CO (R42800) 642, 646, 653
- preconfigured processing options for Sales Update – Order Types ST (R42800) 649

- preconfigured processing options for Ship Confirm Domestic Sales Orders (P4205) 485
- preconfigured processing options for Ship Confirm Intercompany Sales Order (P4205) 494
- preconfigured processing options for Shipment Confirmation (P4205) 477
- printing and reprinting credit memo for customer credit with and without return 546
- printing and reprinting credit order acknowledgement for customer credit with and without return 539
- printing and reprinting invoices in batch 553
- printing and reprinting pick slips 442
- printing and reprinting pick slips for transfer order without receipt routing 451
- printing and reprinting sales order acknowledgement 559
- printing invoice automatically from ship confirm 566
- printing invoice for selling a direct ship item 595
- printing sales order acknowledgement for selling a direct ship item 594
- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372
- running sales update for selling a direct ship item 665
- updating customer sales for customer credit with and without return 642
- updating customer sales for intercompany sales order 652
- updating customer sales for selling from inventory 645
- updating customer sales for transfer order without receipt routing 649
- United States
  - business processes for Sales Order Management 4
  - confirming shipment for customer credit with return 477
  - confirming shipment for equipment sales order 472
  - confirming shipment for transfer order with receipt routing 489
  - confirming shipment online for selling a make-to-order item 481
  - confirming shipment online for selling from inventory 483
  - entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
  - entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
  - entering and printing sales quote for selling from inventory 334
  - entering blanket order for selling a make-to-order item 302
  - entering blanket order for selling from inventory 315
  - entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
  - entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
  - entering credit order from history for customer credit without return 272
  - entering credit order from history for customer credit with return 272
  - entering direct sales order for selling a direct ship item 210
  - entering sales order for equipment 202
  - entering sales quote for selling a make-to-order item 317
  - entering transfer order with receipt routing 287
  - posting invoice for selling from inventory 679
  - posting journal entries for customer credit without return 678
  - posting journal entries for customer credit with return 677
  - posting sales transactions for selling a direct ship item 680
  - posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
  - posting sales transactions for transfer orders with receipt routing 674

- preconfigured processing options
  - for Held Order Release – Sales (P43070) 351
- preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
- preconfigured processing options
  - for Order Release – Quote Order (P420111) 372
- preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
- preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
- preconfigured processing options for Print Invoice for Transfer Orders (R42565) 570
- preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
- preconfigured processing options
  - for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
- preconfigured processing options
  - for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438
- preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 327
- preconfigured processing options for Release Backorder (P42117) 366
- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 202, 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210) 319
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – ST Order Type (P4210) 288
- preconfigured processing options
  - for Sales Update–Invoice Number Already Assigned (R42800) 660
- preconfigured processing options for Ship Confirm Transfer Orders with Routing (P4205) 489
- preconfigured processing options
  - for Shipment Confirmation (P4205) 472, 477
- printing credit memo for customer credit without return 574
- printing credit memo for customer credit with return 574
- printing invoice automatically
  - from ship confirm for selling a make-to-order item 588
- printing invoice automatically from ship confirm for selling from inventory 592
- printing invoice for selling a direct ship item 595
- printing invoice for selling a make-to-order item 592
- printing invoice for selling from inventory 593
- printing invoice for transfer order with receipt routing 569
- printing return authorization for customer credit with return 578
- printing sales order acknowledgement
  - for selling a direct ship item 594
- printing sales order acknowledgement
  - for selling a make-to-order item 586
- printing sales order acknowledgement
  - for selling from inventory 587
- printing standard pick slip for selling a make-to-order item 437
- printing standard pick slip for selling from inventory 440
- releasing backorders online for selling from inventory 365
- releasing order hold for selling a direct ship item 351
- releasing order hold for selling a make-to-order item 353
- releasing order hold for selling from inventory 355
- releasing sales quote for selling a direct ship item 372

- releasing sales quote for selling a make-to-order item 373
- releasing sales quote for selling from inventory 375
- running sales update for customer credit without return 659
- running sales update for customer credit with return 663
- running sales update for selling a direct ship item 665
- running sales update for selling a make-to-order item 664
- running sales update for selling from inventory 665
- running sales update for transfer order with receipt routing 658
- related documents 281, 284
- reprinting documents 610
- reviewing tax calculations for Argentina 406
- RGA (返品承認) 685
- RMA (返品承認) 685
- Russia
  - Invoice Print – Russia (R74R3030) 421
  - printing legal documents 422
  - sales order overview 420
  - sales orders processes 420
- Sales Close – Invoice Legal Number in Current Account (R42800) program 641
- sales journal, reviewing for Argentina 667
- sales ledger
  - history for Chile 398
  - history for Peru 398
- sales legal document inquiry by legal number form 401
- sales order – batch inquiry for Chile 398
- sales order – batch inquiry for Peru 398
- sales order entry
  - for Russia 248
- sales order management
  - overview for Russia and Poland 420
  - prenumbered documents 608
  - purging records 683
- sales orders
  - entering 246
  - inquiry by status by batch 416
  - processes for Russia 420
  - reviewing for Argentina 393
- setup
  - matching versions for sales orders 599
- Shipment Note Void (P76A25) program 609
- shipments
  - printing notes for Argentina 606
  - voiding notes 609
- signature role (74R/RL) user defined code 420
- Stock Delivery Note (R74R3032) program 421
- Stock Movement Note (R74R3033) 422
- system setup
  - matching versions for sales orders 599
- tables
  - F007101 (text processor header) 601
  - F007111 (text processor detail) 601
  - F76A09 (invoice total – ARG – 03B) 602
  - Print UBEs Selection (F76H3B39) 613
- tax calculations for Argentina 406
- text processor header table (F007101) 601
- UCC 128、出荷、梱包情報の入力 508
- UCC 128 準拠について 91
  - SCC 93
  - SSCC 93
  - UCC ID コード 92
  - UPC 92
  - 概要 91
  - バーコード ラベル 94
- UCC 128 処理
  - ID コード 92
  - 概要 91
  - 自重と梱包情報 458
  - 出荷準備 503
  - 出荷処理 503
  - 準拠手順について 91
  - 設定 95, 102
- United States
  - Rapid Start
    - business processes for Sales Order Management 4
    - confirming shipment for customer credit with return 477
    - confirming shipment for equipment sales order 472

- confirming shipment for transfer order with receipt routing 489
- confirming shipment online for selling a make-to-order item 481
- confirming shipment online for selling from inventory 483
- entering and printing blanket order for selling a direct ship item 303
- entering and printing sales quote for selling a direct ship item 319
- entering and printing sales quote for selling from inventory 334
- entering blanket order for selling a make-to-order item 302
- entering blanket order for selling from inventory 315
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling a make-to-order item 227
- entering, changing, and canceling direct sales order for selling from inventory 236
- entering credit order from history for customer credit without return 272
- entering credit order from history for customer credit with return 272
- entering direct sales order for selling a direct ship item 210
- entering sales order for equipment 202
- entering sales quote for selling a make-to-order item 317
- entering transfer order with receipt routing 287
- posting invoice for selling from inventory 679
- posting journal entries for customer credit without return 678
- posting journal entries for customer credit with return 677
- posting sales transactions for selling a direct ship item 680
- posting sales transactions for selling a make-to-order item 675
- posting sales transactions for transfer orders with receipt routing 674
- preconfigured processing options for Held Order Release – Sales (P43070) 351
- preconfigured processing options for Invoice Post (R09801) 678
- preconfigured processing options for Order Release – Quote Order (P420111) 372
- preconfigured processing options for Print Acknowledgement On Demand (R42565) 582
- preconfigured processing options for Print Credit Memo (R42565) 575
- preconfigured processing options for Print Invoice for Transfer Orders (R42565) 570
- preconfigured processing options for Print Invoices (R42565) 596
- preconfigured processing options for Print Packing List from Ship Confirm (R42565) 588
- preconfigured processing options for Print Pick Slips – Batch (R42520) 438
- preconfigured processing options for Print Quote Order (R42565) 327
- preconfigured processing options for Release Backorder (P42117) 366
- preconfigured processing options for Sales Order Acknowledgements in Batch (R42565) 579
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – CO Order Type (P4210) 273
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SB Order Type (P4210) 304
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SD Order Type (P4210) 219
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SO Order Type (P4210) 202, 211, 228
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – SQ Order Type (P4210) 319
- preconfigured processing options for Sales Order Entry – ST Order Type (P4210) 288

preconfigured processing options  
   for Sales Update-Invoice Number  
   Already Assigned (R42800) 660  
 preconfigured processing options for  
   Ship Confirm Transfer Orders with  
   Routing (P4205) 489  
 preconfigured processing options  
   for Shipment Confirmation  
   (P4205) 472, 477  
 printing credit memo for customer  
   credit without return 574  
 printing credit memo for customer  
   credit with return 574  
 printing invoice automatically  
   from ship confirm for selling a  
   make-to-order item 588  
 printing invoice automatically from  
   ship confirm for selling from  
   inventory 592  
 printing invoice for selling a direct  
   ship item 595  
 printing invoice for selling a  
   make-to-order item 592  
 printing invoice for selling from  
   inventory 593  
 printing invoice for transfer order  
   with receipt routing 569  
 printing return authorization for  
   customer credit with return 578  
 printing sales order acknowledgement  
   for selling a direct ship item 594  
 printing sales order acknowledgement  
   for selling a make-to-order  
   item 586  
 printing sales order acknowledgement  
   for selling from inventory 587  
 printing standard pick slip for selling  
   a make-to-order item 437  
 printing standard pick slip for selling  
   from inventory 440  
 releasing backorders online for selling  
   from inventory 365  
 releasing order hold for selling a  
   direct ship item 351  
 releasing order hold for selling a  
   make-to-order item 353  
 releasing order hold for selling from  
   inventory 355  
 releasing sales quote for selling a  
   direct ship item 372

releasing sales quote for selling a  
   make-to-order item 373  
 releasing sales quote for selling from  
   inventory 375  
 running sales update for customer  
   credit without return 659  
 running sales update for customer  
   credit with return 663  
 running sales update for selling a  
   direct ship item 665  
 running sales update for selling a  
   make-to-order item 664  
 running sales update for selling from  
   inventory 665  
 running sales update for transfer  
   order with receipt routing 658  
 Update Customer Sales  
   for Argentina 668  
 user defined code list  
   signature role (74R/RL) 420  
 voided documents inquiry for Peru 398  
 voiding printed invoices 609  
 Voucher Print (R76H3B30) program 613  
 voucher print UBE 613  
 vouchers 613  
   Peru 613

## あ

扱い高基準のアップセル  
   価格の作成 175  
   カスタマ サービス担当者への通知の  
   有効化 263  
   作成 264  
   通知の有効化 175  
 扱い高基準のアップセル価格の作  
   成 175  
 扱い高基準のアップセルの通知の有効化  
   カスタマ サービス担当者用 263  
   受注オーダー入力 175  
 アップセル価格 175  
 アップセル通知 175, 263  
 アップセルの通知 175, 263  
 [アプリケーション固定情報] フォーム 33  
 アプリケーションの基礎 xxix

## い

一時変更  
   オーダー住所 132  
 一括オーダー



説明 268, 300  
 入力 300  
 リリース 368  
 一括オーダーの入力 300  
 一括オーダー リリース (P420111) プログラム 367  
 印刷  
   会社間請求書 529  
   出荷伝票 499  
   注文承認書 403  
   配送票 499  
   標準請求書 527  
   船荷証券 499  
   保留オーダー 516  
 印刷・製本されたドキュメンテーション xxx

## う

売上更新 (R42800) プログラム  
   AAI (自動仕訳) 631  
   バージョン 629  
 売上更新での AAI の使用 631  
 売上更新とレポート 633  
 売上情報の更新  
   売上情報 666  
   売上情報の更新について 626  
   更新エラーに関する電子メールの検討 630  
   仕訳 671  
   対話型バージョンの使用 629  
   テスト モードまたは最終モードの選択 628  
   バッチ 672  
   バージョン 627  
   レポート 666, 667  
 売上仕訳およびレポートの検討  
   売上仕訳 667  
   請求書仕訳 666  
 売上仕訳、検討 667  
 売上高総利益率価格設定優先情報 712  
 売上分析集計レポートの作成 748  
 運送業者の優先情報 707  
 運賃優先情報 711

## え

エラー メッセージ  
   送信 673  
 延長期限優先情報 711

## お

オプションおよび設備の優先情報 715  
 オフライン処理 238  
 オンライン請求書  
   検討 403  
 オンライン請求書 (P42230) プログラム 403  
 オーダー行タイプ 39  
   概要 39  
   設定 39  
 オーダー行タイプ (P40205) 41  
 オーダー住所の一時変更 132  
 オーダー準備日数優先情報 715  
 オーダー状況レポートの作成 750  
   顧客別発注残 749  
   品目別受注残 750  
   保留オーダー 750  
 オーダー処理 47  
 オーダー処理順序定義  
   オーダー処理順序定義について 43  
   状況コード 43  
   状況コードの更新 429  
   プログラム (P40204) 44  
 オーダー処理中の前払トランザクション  
   変更 515  
 オーダー入力  
   処理オプション 135  
   テンプレートの使用 171  
   見出し情報 128  
   明細情報 129  
 オーダーの再転記 669  
 オーダーのバッチ入力プログラム (P4001Z) 237  
 オーダーの保留 344  
 オーダー保留  
   情報フォーム 68  
   保留オーダー レポート 750  
   保留受注オーダー レポート 516  
 オーダー保留固定情報の処理 (P42090) 66  
 [オーダー保留固定情報の処理] フォーム 66, 68  
 オーダー保留コード  
   粗利益チェック 66  
   最小および最大オーダー金額の設定 64  
   非アクティブな顧客 65  
   部分保留 66  
   前払 66

与信チェック 65  
 オーダー保留コードの定義 64, 66, 513

## か

階層構成 95  
 価格グループ  
   関係 119  
   複合 115  
 価格グループ関係の生成 116  
 価格再設定 (顧客価格の更新) 107  
 価格設定  
   階層 108  
   価格再設定 107  
   価格レベルの変換 620  
   基本 615, 616  
   基本価格 106  
   再価格設定 617  
   事業所間の原価割増し 55  
   受注管理システムの価格設定の概要 105  
   調整 119  
   変更 615  
   優先情報 717  
 価格設定階層の定義 108  
 価格設定計量単位優先情報 717  
 価格設定優先情報  
   売上高総利益 712  
   延長期限 710  
   価格設定計量単位 717  
   価格調整スケジュール 716  
 価格ゼロ 132  
 価格調整スケジュール優先情報 717  
 価格履歴  
   アップセル価格 175  
   アップセルの通知 175, 263  
 価格レベルの変換 620  
 隔週請求 523  
 確認  
   売上仕訳 667  
   顧客与信情報 128  
   サイクル請求トランザクション レポート 538  
   取引状況 746  
 カスタマ サービス担当者用のオーダー  
   入力  
     処理オプション 254  
     テンプレートの使用 262  
     見出し情報 253  
     明細情報 253

カスタマ サービス担当者用の受注オーダー  
   概要 251, 252  
   キット 266  
   事前設定 252  
   処理オプション 254  
   代替品目 262  
   見出し情報 253  
   明細情報 253  
 カスタマ サービス担当者用の受注オーダーの複製 261  
 カスタマ サービス担当者用の見出し情報 253  
   処理オプション 254  
 カスタマ サービス担当者用の見出し情報について 253  
 カスタマ サービス担当者用の明細情報  
   概要 253  
   処理オプション 254  
 カスタマー セルフサービスの処理オプションの有効化 70  
 カスタム優先タイプ  
   カスタム優先タイプについて 707  
 仮定通貨  
   受注オーダー 389  
   請求書の仮定通貨 528  
 カテゴリコード  
   顧客グループ 115  
   品目グループ 115  
 監査ログ  
   検討 265  
   承認プロセス 179  
   トランザクションの除去 683  
 監査ログと承認状況  
   カスタマ サービス担当者用 265  
 監査ログの除去 (R42420) プログラム 683  
 関連住所 75  
 関連住所の定義 74  
 関連住所の入力 74  
 関連する受注オーダーと購買オーダーの整合性の維持 297  
 関連ドキュメンテーション xxx  
 関連品目  
   受注オーダーの入力 173  
   受注オーダーへの入力 262  
   相互参照の設定 174, 262

## き

基準日請求 523

既存価格の変更 615  
 既存のテンプレートの更新 61  
 キット  
   運賃計算の制約 183  
   親品目の在庫 183  
   概要 181, 266  
   制約 183  
   タイプ 182  
   転送オーダーの制約 286  
   入力 181, 266  
 キット オーダーの入力 183  
 キット品目の相互参照 183  
 基本価格設定  
   価格グループ関係 119  
   価格優先階層 108  
   価格レベルの変換 620  
   更新 106, 615  
   構造 107  
   先日付価格の作成 616  
   設定 111  
   説明 615  
   複数価格の変更 615  
 基本価格の更新 106, 615  
 基本価格の取込み 130  
 基本優先情報  
   カスタマイズ 704  
   詳細優先情報との違い 706  
   設定 725  
   例 705  
 業種優先情報 714  
 共通フィールド xxxiv  
 行デフォルト情報、出荷確認 470

## く

クレジット カード取引  
   クレジット カード取引について 514  
   前払の承認 515  
 クレジット カード取引の承認 514  
 クレジット メモ 691  
 クレジット メモの入力 691  
 クロスドッキング(受注オーダー) 169

## け

計画請求書日付の計算  
   例 524  
   警告 xxxiii  
   計算ルール 523  
   契約価格設定 120  
   契約(割当て) 131

月末請求 523  
 原価ゼロ 132  
 検索  
   価格および在庫状況情報 378, 381  
   数量情報 381  
 検討  
   売上更新エラーに関する電子メール 630  
   売上仕訳およびレポート 666  
   オンライン請求書 403  
   価格および在庫状況情報 378  
   顧客勘定情報 388  
   コミッション情報 394  
   受注オーダー 388  
   請求書仕訳 666  
   配送経路オプション 504  
   販売明細実績情報 389

## こ

ご意見 xxxiv  
 顧客売上の更新 626  
   R42800 のバージョン 627  
   更新エラーに関する電子メールの検討 630  
   仕訳バッチ 671  
   テスト モードまたは最終モードの選択 628  
   プログラム R42800 626  
 顧客運賃の優先情報 708  
 顧客価格グループ 115  
   価格グループ関係の生成 119  
   設定 107  
 顧客価格の更新 107, 617  
 顧客請求指示 78  
 顧客セグメント品目の作成 336  
 顧客セグメント ベース販売  
   顧客セグメント品目の作成 336  
   顧客セグメント ベース販売について 335  
   顧客へのコードの割り当て 335  
   受注オーダーへの追加 336  
 顧客セット(日付基準) 87  
 顧客セットプログラム(P42430) 87  
 顧客通貨の換算 84  
 顧客通貨優先情報 707  
 顧客別受注残レポートの作成 749  
 固定情報  
   固定情報プログラム(P41001) 33  
 コミッション  
   設定 49

フレックス販売 49, 131  
 割当て 50  
 コミッション固定情報（追加情報の計算） 49  
 コミッション情報の入力 83, 131  
 コミッション情報の割当て 50  
 ご要望 xxxiv  
 コンフィギュレーション品目  
   概要 182  
 コンフィギュレーション品目オーダーについて 182  
 コンフィギュレーション品目（概要） 181, 266

## さ

再価格設定  
   顧客価格の更新 617  
 サイクル請求  
   実行 536  
   仕訳 537  
   請求済みオーダー行と未請求のオーダー行 538  
 在庫価格設定規則 119  
 在庫状況 - 集計と明細 (P41202) 378  
 在庫引当優先情報 712  
   補充パーセント値の指定 712  
   例 713  
 最終用途優先情報 710  
 先日付価格の作成 616  
 先日付受注オーダーの再引当 669

## し

仕入先通貨の換算 84  
 事業所間売上情報の更新 628, 630  
 事業所間オーダー  
   事業所間の原価割増し 55  
   システム更新 628  
   入力 339, 341  
   バッチ タイプ 630  
 事業所間オーダーのデフォルト情報 340  
 事業所間オーダーの入力  
   オーダー入力 341  
   事業所間オーダーの入力について 339  
   出荷確認 341  
 事業所間/会社間取引の更新 630  
 事業所間の原価割増し 55  
 事業所固定情報（設定） 24

[事業所品目の処理] フォーム 108  
 自重と梱包情報の確認 458  
 システムが生成した返品オーダーの入力 269  
 システム固定情報  
   概要 24  
   フォーム 31  
 システム固定情報の定義 24  
 システム生成テンプレートの作成 62  
 システム セットアップ  
   UDC の定義 22  
   アプリケーション固定情報 33  
   固定情報 24  
   システム固定情報 31  
   受注管理の設定 21  
   バッチ制御固定情報 33  
 実行  
   サイクル請求 536  
   終了テキスト行の除去 682  
   受注オーダー見出しの除去 682  
   特殊な除去 681  
   バッチ入荷確認の除去 682  
   返品承認 (RMA) - 受注オーダー状況の更新プログラム 695  
   返品承認の除去 696  
   明細から履歴へ 683  
 自動仕訳 (AAI)  
   売上の更新 631  
 支払条件（事業所）優先情報 716  
 支払条件優先情報 716  
 収益ビジネスユニット（事業所）優先情報 721  
   例 721  
 収益ビジネスユニット優先情報 721  
 週次請求 523  
 受注オーダー  
   売上情報の更新 626, 627, 628  
   オーダー保留 516  
   概要 125  
   価格設定 105  
   キット 181  
   検討 388  
   顧客勘定情報 388, 397  
   コピー 261  
   コミッション情報の入力 129  
   コンフィギュレーション品目 182  
   事前設定 127  
   出荷の確認 457  
   処理 427  
   処理オプション 135

- 請求書 522
- 請求情報 397, 402, 403
- 代替/関連品目フォーム 174, 263
- 代替品目 173
- タイプ 183, 237, 268, 285, 296, 300, 316, 339, 341
- 定期 237
- テンプレートの使用 171, 262
- テーブルの更新 126
- 日次締め処理 625
- バッチ モード 237, 238
- ピッキング リスト 431
- 品目情報 376, 378, 381, 397
- マトリックス品目 241
- 見出し情報 126, 128
- 明細情報 126, 129, 260
- 受注オーダー情報のコピー 170
- 受注オーダー情報の複写 376
- 受注オーダー テンプレート 262
- 受注オーダー入力
  - 処理オプション 135
- 受注オーダー入力 (P4210) 260
- 受注オーダー入力 (P42101) 254
- 受注オーダー入力時のワークフロー処理について 132
- 受注オーダー入力時のワークフロー プロセスについて 253
- 受注オーダーの出荷の作成 504
- 受注オーダーの処理
  - オーダーの保留とリリース 343
- 概要 343
- 受注オーダー見出しの除去 (R4201P) プログラム 682
- 受注オーダー明細の改訂のデフォルト情報について 129
- [受注オーダー明細の改訂] フォーム 260
- 受注管理
  - 概要 1
  - 統合 3
  - 導入ステップ 18
  - ビジネス プロセス 2
- 出荷
  - 確認 457
  - 関連伝票 499
  - [出荷確認] フォーム 470
- 出荷 (UCC 128 準拠) 503
- 出荷確認 (P4205) プログラム 470, 508
- 出荷コンテナ コード (SCC)
  - 構造 93
- バーコード ラベル 94
- 複合 103
- 出荷準備 503
- 出荷情報
  - 設定 101
  - ラベル 99
- 出荷の確認
  - 関連伝票の印刷 498
  - 出荷確認について 457
  - [出荷確認] フォーム 470
  - 説明 455
  - 追加の非在庫行品目 470
  - バッチ 459
  - 部分オーダー数量 458
- [出荷ワークベンチ] フォーム 508
- 状況コード
  - 更新 429
  - 出荷の確認 457
- 請求書 522
- 状況コードの更新 429
- 状況コードの更新 (P42040) プログラム 431
- [状況コードの更新] フォーム 431
- 詳細優先情報
  - 詳細 733
  - 詳細優先情報について 732
  - 処理 733
  - スケジュール 733
  - 設定 732
  - タイプ 732
- 承認書 403
- 承認状況
  - カスタマ サービス担当者用 265
- 承認プロセス
  - 監査ログ 179
  - 承認プロセスについて 180
- 処理
  - UCC 128 処理の出荷 503
  - オンライン請求書 (P42230) 403
  - カスタマ サービス担当者の受注オーダーのサブシステム処理 264
  - カスタマ サービス担当者用の見出し情報 253
  - カスタマ サービス担当者用の明細情報 253
  - キットおよびコンフィギュレーション品目 266
  - キット品目およびコンフィギュレーション品目 181
  - 顧客情報と売上情報 388

- 梱包情報 458
  - 事業所間オーダー 339, 341
  - 受注オーダー 427
  - 受注オーダー入力時のサブシステム  
処理 132
  - 受注オーダー見出し情報 128
  - 受注オーダー明細情報 129
  - 承認プロセス 180
  - シリアル番号条件 131
  - シリアル番号情報 452
  - 注文承認書 403
  - 手形 519
  - バッチ受注オーダー 238
  - ピッキング伝票 431
  - 標準価格調整 119
  - 品目情報 376
  - 返品承認 690
  - 見積オーダー 316
  - 処理オプション
    - R40211Z(編集済み定期オーダー作  
成) 238, 240
    - 売上更新とレポート(R42800) 633
    - 売上分析集計(R42611) 748
    - 計画請求書サイクル(R49700) 538
    - 購買セグメント コードの更新  
(R42442) 338
    - 顧客セグメント品目(P983051) 337
    - 顧客セグメント品目の作成  
(R42441) 338
    - 顧客別発注残(R42620) 749
    - 在庫状況 - 集計と明細 378
    - 受注一括オーダー リリース  
(P420111) 369
    - 受注オーダー入力 135
    - 受注オーダー入力 P42101 254
    - 処理中受注オーダーの再転記  
(R42995) 670
    - 請求書印刷(R42565) 529
    - バックオーダー リリース(オンライン)  
(P42117) プログラム 357
    - バックオーダー リリース/レポート  
(R42118) 361
    - 販売履歴照会(P42025) 269
    - 販売履歴レポート(R42600) 747
    - ピッキング リストの印刷(R42520) 433
    - 保留リリース(P43070) 347
    - 前払取引の決済(R004202) 519
    - 前払取引(トランザクション)の承認  
(R004201) 515
    - 前払取引レポート(R004203) 746
    - 与信保留のバッチ処理(R42542) 344
    - 与信保留のバッチ リリース  
(R42550) 349
    - 処理中受注オーダーの再転記  
(R42995) 670
    - 処理中受注オーダーの復元 669
    - シリアル出荷コンテナ コード(SSCC)  
構造 93
    - バーコード ラベル 95
    - シリアル番号
      - 事業所用の設定 454
      - 受注オーダー入力時の入力 453
      - 出荷確認時の処理 470
      - 出荷確認時の入力 454
      - 入荷確認時のアクセス 453
      - 品目を最初に入力するときの入  
力 453
    - シリアル番号照会(P4220) 454
    - 仕訳
      - 検討 671
      - サイクル請求と非サイクル請求 537
      - 転記の確認 673
      - 転記プログラム(R09801) 672
      - バッチ 671
    - 仕訳の検討および承認 671
    - 仕訳の転記の確認 673
- せ
- 請求書 522
    - オンライン 403
    - 仮定通貨 528
    - 合計 528
    - 集計 528
  - 請求書印刷プログラム(P42565) 522
  - 税情報 528
  - 請求書印刷プログラム(P42565) 522
  - 請求情報
    - オンライン請求書の検討 403
    - 説明 402
    - 注文承認書の印刷 403
  - 請求書サイクル
    - 設定 522
  - 請求書サイクル計算ルール 523
  - 請求書仕訳レポート 666
  - 請求書の税情報 528
  - 請求書の設定 521
    - 関連住所 74
    - 計画日付の計算 524
    - 請求先住所 74
  - 請求書サイクル計算ルール 523

デフォルト住所タイプ 74  
 税情報の変更 130  
 製品割当て(事業所)優先情報 719  
 製品割当て優先情報 718  
 セグメントコードの割り当て 335  
 セグメント品目 336  
 設定  
   AAI(自動仕訳) 36  
   UCC 128 処理における品目情報 102  
   UCC 128 処理の階層構成 95  
   オーダー行タイプ 39  
   オーダー処理順序定義 43  
   オーダー テンプレート 60  
   オーダー保留 64, 65, 66, 513  
   価格設定 105  
   価格設定階層 108  
   基本価格 107, 111  
   グループ内の変動コミッション 53  
   顧客価格グループ 107  
   顧客関連情報 73  
   顧客請求指示 78  
   固定情報 24  
   コミッション 49  
   コミッション固定情報 49  
   事業所間の原価割増し 55  
   出荷通知/積荷目録条件 101  
   請求書 521  
   請求書サイクル 522  
   請求書サイクル計算ルール 523  
   任意勘定科目コード 60  
   任意勘定科目設定コード 56  
   販売グループ 53  
   日付基準顧客セット 87  
   品目価格グループ 108  
   複合顧客価格グループ 115  
   複合品目価格グループ 115  
   部分オーダー保留 66  
   返品承認デフォルト 686  
   保管場所制御 25  
   前払の状況フロー 512  
   前払保留コード 513  
   与信チェックのオーダー保留コード 65  
 セルフサービスの設定  
   受注管理 69  
   製品階層 71  
   セキュリティ問題への対応 70  
 前提知識 xxix

## そ

総勘定元帳への転記 672  
 相互参照 xxxiii

## た

代替/関連品目  
   概要 173, 262  
   相互参照の設定 174, 262  
   入力プログラム P42260 174  
   フォーム 174, 263  
   プログラム P42260 263  
 代替品目、関連品目または販促品の入力 173  
 多通貨(外貨建てオーダーの処理) 126

## ち

注 xxxii  
 注意事項 xxxii  
 注文承認書 403  
 直送オーダー 296  
   キットの制約 183  
   説明 268  
   伝票突合せ 298  
   入荷 298

## つ

追加ドキュメンテーション xxx  
 次のオーダー状況優先情報 715

## て

定期オーダー 237  
   手入力 237  
 定期受注オーダー 238  
 定期受注オーダーの入力 237  
 手形、前払 519  
 手作業によるトランザクション状況の更新 517  
 手作業による返品オーダーの入力 268  
 デフォルト行情報の入力 131  
 デフォルト住所タイプ 74  
 デフォルト住所タイプの定義 74  
 転記  
   エラー メッセージ 673  
   仕訳 672  
 転記レポート 673  
 電子メール メッセージ  
   エラーやその他のメッセージの送信 673  
 転送オーダー

キットの制約 183, 286  
 説明 267, 285  
 入力 287  
 フォーム 287  
 プログラム 287  
 転送オーダーの入力 285  
 伝票セットの優先情報 709  
 テンプレート  
   カスタマ サービス担当者用 262  
   更新 61  
   システム生成 62, 683  
   受注オーダーの入力 171  
   テンプレートの処理 61  
   標準 61  
 テンプレートによるカスタマ サービス担  
 当者用の受注オーダーの入力 262  
 テンプレートを使用した受注オーダーの  
 入力 171  
 データの除去  
   事前設定 682  
   終了テキスト行 682  
   受注オーダー見出し 682  
   受注オーダー明細の履歴への移  
   行 683  
   データの除去について 681  
   バッチ オーダー ファイル 682  
   有効なオーダー行 682  
 テーブル  
   販売明細実績テーブル (F42199) 691  
   返品承認 (F40051) 695

## と

統一商品コード (UPC)  
   構造 92  
   バーコード ラベル 94  
 等級および濃度の優先情報 711  
 導入ステップ  
   グローバル 18  
   受注管理 18  
 ドキュメンテーション  
   印刷・製本 xxx  
   関連 xxx  
 トランザクション処理 428  
 取引値引 120

## に

日次締め処理  
   売上情報の更新 626  
   売上仕訳およびレポートの検討 666

顧客売上の更新 (R42800) プログラ  
 ム 626  
 サイクル請求の実行 536  
 説明 625  
 日次請求 523  
 任意売上勘定科目の処理 (P40296) 60  
 任意売上勘定科目の処理フォーム 60  
 任意勘定科目コード  
   [任意売上勘定科目の処理] フォー  
   ム 60  
 任意勘定科目設定コード 56  
   AAI (自動仕訳) 58  
   概要 56  
   上級価格設定 AAI (自動仕訳) 58  
   定義 56  
   ビジネスユニット 59  
   補助科目 59  
   補助元帳 59  
   例 57

## の

納期回答 176, 264  
 納期の優先情報  
   概要 708  
   例 709, 715

## は

配送票 501  
 バックオーダーのバッチ リリース (R42118)  
   プログラム 356  
 バックオーダーのリリース 361  
   オンライン 361  
   バックオーダー リリースについて 356  
   バッチ 356, 361  
 バックオーダー リリース (オンライン)  
   (P42117) プログラム 356  
 バックオーダー リリース/レポート  
   (R42118) 361  
 バッチ オーダー  
   処理 238  
   定期受注用 237  
 バッチ制御固定情報の定義 24  
 バッチ タイプ  
   事業所間オーダー 630  
   例 628  
 バッチ入荷確認ファイルの除去 (F4001Z)  
   プログラム 682  
 バルク在庫情報の更新 629  
 販促品 173, 262



半月ごとの請求 523  
 販売価格基準日優先情報 722  
 販売価格レベルの変換 620  
 販売グループ  
   設定 53  
   追加コミッション情報の計算 49  
 販売コミッション優先情報 722  
 販売見積 317  
 販売明細実績  
   検討 389  
 販売明細履歴レポートの作成 747  
 販売履歴照会 (P42025) プログラム 691  
 販売履歴レポートの作成  
   売上分析集計 748  
   販売明細履歴 747

## ひ

引当  
   在庫引当優先情報 712  
   等級および濃度の優先情報の利  
   用 711  
 非サイクル請求仕訳 537  
 ビジネス プロセス (受注管理) 2  
 ピッキング伝票、ピッキング リスト 431  
 ピッキング リストの印刷 (R42520) 433  
 日付基準顧客セット 87  
 表記規則 xxxii  
 標準オーダー テンプレートの作成 61  
 品質管理優先情報 720  
 品目  
   関連 173, 262  
   旧 173  
   旧品目 262  
   コンフィギュレーション品目 182  
   相互参照の設定 174, 262  
   代替 173, 262  
   販促 173  
 品目および数量情報の入力 129  
 品目価格グループ 115  
   価格グループ関係の生成 119  
   設定 108  
 品目情報  
   UCC 128 処理 102  
   検討 378, 381  
   顧客別受注残レポートの作成 749  
   説明 376  
   品目別受注残レポートの作成 750  
   品目別受注残レポートの作成 750  
   品目マスター情報 112

品目マスター保守管理 - UCC 128  
 (P41020) 103

## ふ

フォーム  
   アプリケーション固定情報 33  
   オーダー処理順序定義の改訂 44  
   オーダー処理順序定義の処理 44  
   オーダー保留情報 68  
   [基本価格の改訂] 623  
   システム固定情報 31  
   受注オーダー テンプレート 262  
   受注オーダー明細の改訂 260  
   [出荷確認] 470  
   出荷ワークベンチ 508  
   状況コードの更新 431  
   代替/関連品目 174, 263  
   転送オーダー 287  
   任意売上勘定科目の処理 60  
   返品承認 (RMA) デフォルト値の改  
   訂 686  
   返品承認 (RMA) デフォルトの処  
   理 686  
   返品承認 (RMA) の改訂 691  
   返品承認 (RMA) の処理 691  
   保留オーダー固定情報の処理 68  
 複合顧客価格グループ 115  
 複合品目価格グループ 115  
 複数の入出荷保管場所優先情報 714  
 船荷証券 499  
 フレックス販売コミッション 49

## へ

返品オーダー  
   概要 268  
   自動入力 269  
   手動入力 268  
   説明 267  
   保留 516  
 返品オーダーの入力 268  
 返品承認  
   クレジット メモの入力 691  
   受注オーダー状況の更新 (R400502)  
   の実行 695  
   除去プログラム (R400510) の実  
   行 696  
   処理 690  
   デフォルト値の設定 685  
   返品承認の入力 690

返品承認 (RGA) 685  
 返品承認 (RMA) 685  
 返品承認 (RMA) の改訂 (P400511) プログラム 691  
 返品承認 (RMA) の処理 (P40051) プログラム 685, 691  
 返品承認の入力 690

## ほ

保管場所  
   事業所 25  
   保管場所フォーマットの定義 25  
 保留オーダー固定情報の処理 (P42090) 68  
 保留オーダーのリリース 345, 516  
 保留オーダー レポートの作成 750  
 保留コード  
   設定 64  
   定義 64, 513  
 保留コードの割当  
   オーダー入力時 67  
   顧客請求指示 67  
 保留受注オーダー レポート 516  
 保留リリース (P43070) プログラム 345

## ま

前払状況 746  
 前払処理  
   概要 511  
   手形の処理 519  
   トランザクションの更新 515  
   取引の決済 518  
   取引の承認 514  
 前払処理における事前承認手形について 519  
 前払トランザクションの更新 515  
 前払取引の決済 518  
 前払の手形の回収について 519  
 マトリックス品目について 241  
 マージン チェック、リリース 516

## み

見出し情報 128  
   除去 682  
   処理オプション 135  
   複写 376  
   明細情報に対する見出しの更新 169  
 見出し情報について 128  
 見出し情報の編集 253

見積オーダー  
   説明 268  
   入力 316  
 見積オーダーの入力 316  
 見積オーダー リリース 370  
 見積オーダー リリース (P420111) プログラム 370

## め

明細から履歴への除去 (R42996) プログラム 683  
 明細情報  
   概要 129  
   処理オプション 135  
   代替/関連品目フォーム 174, 263  
   代替品目 173, 262  
   入力 260  
   品目情報の入力 260  
   複写 376  
 明細情報の入力 260  
 明細フォームに対する見出し情報の更新 169  
 明細レポート、販売明細実績 389  
 メッセージ、電子メール 673

## や

約束納入日付 265

## ゆ

優先階層 724  
 優先階層の作成 724  
 優先情報  
   運送業者の優先情報 707  
   運賃 711  
   オプションおよび設備の優先情報 715  
   オーダー準備日数 715  
   価格設定計量単位 (事業所) 717  
   業種 714  
   顧客運賃の優先情報 708  
   顧客通貨優先情報 707  
   在庫引当 712  
   最終用途 710  
   支払条件 716  
   支払条件 (事業所) 716  
   収益ビジネスユニット 721  
   収益ビジネスユニット (事業所) 721  
   製品割当て 718  
   製品割当て (事業所) 719

連絡先 xxxiv

設定 699  
 次のオーダー状況 715  
 伝票セット 709  
 等級/濃度 711  
 配送日付 708  
 販売価格基準日 722  
 販売コミッション 721  
 品質 720  
 複数の入出荷保管場所 714  
 輸送モード優先情報 714  
 ユーザー定義価格コード 722  
 優先情報と優先タイプ 699  
 優先タイプ  
   定義 700  
   優先タイプについて 699  
 優先マスター  
   および階層 706  
   設定 722  
 輸送モード優先情報 714  
 ユーザー定義価格コード優先情報 722  
 ユーザー定義コード リスト  
   請求書サイクル 524

## よ

与信情報の入力 84  
 与信保留のバッチ リリース 349  
 与信保留のバッチ リリース (R42550) 345  
 与信保留のバッチ リリース プログラム  
   (R42550) 349  
 与信保留のリリース 345

## り

料金と配送経路の省略 504

## れ

レコード予約 (レコード予約について) 48  
 レポート  
   売上更新 666  
   売上仕訳 667  
   売上分析集計 748  
   顧客別発注残 749  
   請求書仕訳 666  
   請求書の印刷 522  
   転記レポート 673  
   販売明細履歴 747  
   品目別受注残 750  
   保留オーダー 750  
   保留オーダーの印刷 516  
   前払取引 746

